

# 市原市<sup>うな かみ</sup>海上地区遺跡群

2005

千葉県 千葉農林振興センター  
市 原 市 教 育 委 員 会  
財団法人 市原市文化財センター



海上地区遺跡群（南から宮原遺跡を望む）



西野遺跡群B 2 地点（北から）





図1 内面側の漆面 12×



図2 内面側の漆表面に見える麻糸圧痕(反転像) 12×

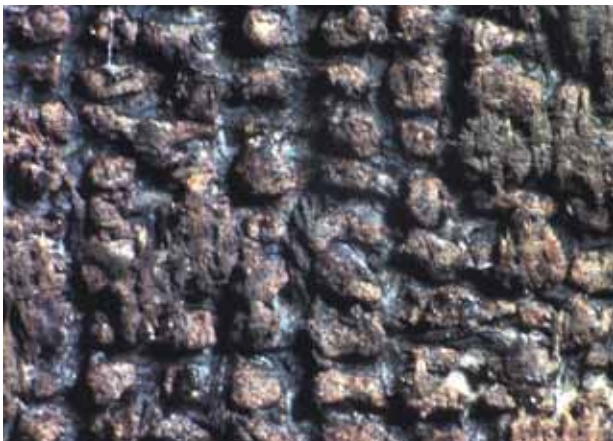


図3 麻布圧痕 12×



図4 内面側漆膜の裏面 麻布圧痕と絹布 12×



図5 絹布 24×

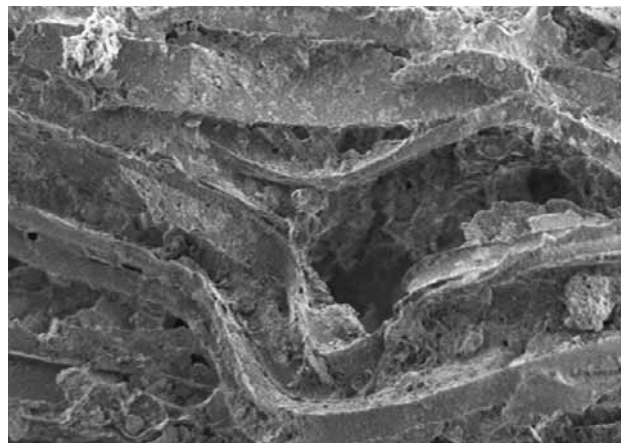


図6 絹布の絹繊維圧痕 電顕像 1000×



図7 内面側漆層の層断面 デジタル顕微画像 100×

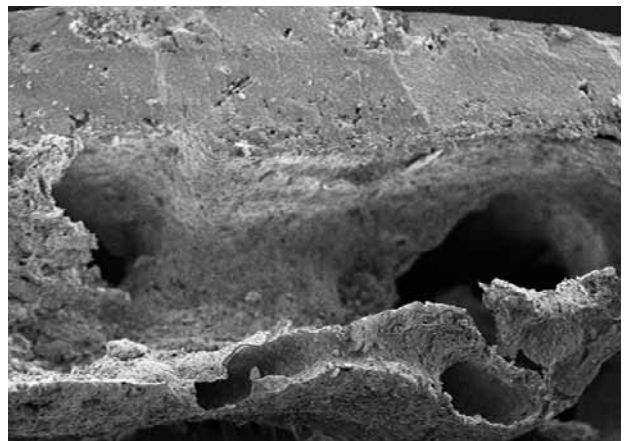


図8 内面側漆層の層断面 電顕像 100×

## 序 文

市原市は、南北に貫流する養老川がもたらした肥沃な平野と、山間部の緑豊かな自然環境をもち、また先史以来の多くの遺跡は、今日にいたる人びとの歩みを我々に伝えてくれます。先人たちの残した文化遺産である遺跡を、豊かな自然とともに残し、後世に伝えていくことが最も重要でしょう。今後、活力ある市原市を創造していくためには、遺跡の保護と調和を図りながら、社会資本の整備もまた整えていかななくてはなりません。

今回の発掘調査は、農業基盤整備における、経営体育成基盤整備事業に伴って実施されました。整備計画の策定にあたっては、関係諸機関が慎重に協議を重ねてまいり、遺跡の一部について記録保存の措置が講じられることとなりました。

海上地区遺跡群には、過去の発掘調査によって、古代の遺構が展開していることが判明しており、先学諸氏の指摘によって「海上郡衙」が存在した可能性も示されているところです。今回の調査では、それに直接結び付く遺構・遺物は見られませんでした。古代から中世にわたる多くの貴重な成果を得ることができました。

発掘調査によって得られた成果は、記録として将来に伝えると同時に、さまざまな機会を捉えて積極的に活用されることが望まれます。市民の生涯学習意欲が年々高まりをみせるなか、本書が広く活用されることを期待します。

最後に、発掘調査の実施から報告書の刊行にいたるまで、ご指導、ご尽力いただきました、千葉県千葉農林振興センター、千葉県教育庁文化財課、並びに地元関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成17年11月

市原市教育委員会  
教育長 山 中 齊

財団法人市原市文化財センター  
理事長 藤 田 国 昭



## 例 言

- 1 本報告書は、千葉縣市原市権現堂地先他に所在する海上地区遺跡群の発掘調査報告書である。  
報告書の名称については、複数の遺跡を調査・報告することから「海上地区遺跡群」とし、章毎の小見出しで遺跡名を記述し、数次にわたる調査ではアルファベットの地点名を付けることとしている。
- 2 発掘調査は、経営体育成基盤整備事業にともない、千葉県及び市原市の委託を受け、千葉県教育委員会、市原市教育委員会の指導のもと、財団法人市原市文化財センターが実施した。
- 3 発掘調査は、対象面積402,440㎡のうち19,491㎡を対象として実施した。これは、平成9年度から平成15年度までに文化庁の海上地区遺跡発掘調査事業（文化庁分）、千葉県の経営体育成基盤整備事業（農林分）、及び市単費事業（市単費分）として当センターが実施した発掘調査面積の総計である。
- 4 海上地区遺跡群の発掘調査は、平成9～15年度までの7年間、整理作業は平成15～17年度までの3年間にわたり行われた。発掘調査遺跡については、「第1章 2. 調査の経緯」の末尾に掲載している。ちなみに、整理作業は以下のとおりに行った。

|      |                       |    |      |
|------|-----------------------|----|------|
| 整理作業 | 平成15年9月4日～平成16年3月19日  | 担当 | 小川浩一 |
|      | 平成16年5月12日～平成17年3月18日 | 担当 | 小川浩一 |
|      | 平成17年6月1日～平成17年11月30日 | 担当 | 小川浩一 |
- 5 本書の編集は小川が担当し、第3章第1節を櫻井敦史、第2節を鶴岡英一、第3節を上奈穂美が執筆分担した。第4節については(株)パレオ・ラボに委託し、第6節については、国立歴史民俗博物館研究部 永嶋正春氏のご厚意により執筆頂いた。
- 6 本書で使用了図面の方位は、すべて座標北である。
- 7 本遺跡群の財団法人市原市文化財センターの調査コードは、「第1章 2. 調査の経緯」遺跡一覧の遺跡コードにセー番号として付している。
- 8 本書に収録した出土遺物及び記録類は、市原市埋蔵文化財調査センターで収蔵、保管している。

## 本文目次

|      |                 |       |                             |     |
|------|-----------------|-------|-----------------------------|-----|
| 序文   |                 | 第16節  | 西野遺跡 A 地点                   | 143 |
| 例言   |                 | 第17節  | 宮原遺跡 A・B 地点                 | 146 |
| 第1章  | はじめに            | 第18節  | 宮原遺跡 C・D 地点                 | 154 |
| 第2章  | 検出された遺構と遺物      | 第19節  | 今富遺跡 A 地点                   | 157 |
| 第1節  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 A 1 地点 | 第20節  | 花やしき塚供養塚                    | 162 |
| 第2節  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 A 2 地点 | 第3章   | 遺物の分析                       | 164 |
| 第3節  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 B 1 地点 | 第1節   | 遺物組成から見た中世の海上地区<br>遺跡群      | 164 |
| 第4節  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 B 2 地点 | 第2節   | 海上地区遺跡群出土貝サンプルの<br>分析結果について | 192 |
| 第5節  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 C 地点   | 第3節   | 海上地区遺跡群出土のウマ                | 198 |
| 第6節  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 D 地点   | 第4節   | 海上地区遺跡群出土木製品の樹種<br>.....    | 201 |
| 第7節  | 十五沢遺跡群 E 地点     | 第5節   | 海上地区遺跡群の出土瓦について<br>.....    | 212 |
| 第8節  | 十五沢遺跡群 F 地点     | 第6節   | 西野遺跡出土の烏帽子片について<br>.....    | 213 |
| 第9節  | 西野遺跡群 B 1 地点    | 第4章   | まとめ                         | 214 |
| 第10節 | 西野遺跡群 B 2 地点    | 報告書抄録 |                             | 巻末  |
| 第11節 | 西野遺跡群 D 1 地点    |       |                             |     |
| 第12節 | 西野遺跡群 D 2 地点    |       |                             |     |
| 第13節 | 西野遺跡群 D 3 地点    |       |                             |     |
| 第14節 | 西野遺跡群 C 1 地点    |       |                             |     |
| 第15節 | 西野遺跡群 C 2 地点    |       |                             |     |

## 挿図目次

|      |                            |      |                  |    |
|------|----------------------------|------|------------------|----|
| 第1図  | 海上地区遺跡群と周辺の遺跡              | 第12図 | 4・8グリッド          | 16 |
| 第2図  | 海上地区遺跡群周辺地籍図               | 第13図 | 9・12グリッド         | 17 |
| 第3図  | 海上地区遺跡群                    | 第14図 | 14グリッド           | 18 |
| 第4図  | グリッド配置図                    | 第15図 | 一括出土遺物           | 18 |
| 第5図  | 12グリッド                     | 第16図 | 4グリッド            | 20 |
| 第6図  | 一括出土遺物                     | 第17図 | 4・5グリッド          | 21 |
| 第7図  | 十五沢坊ヶ谷遺跡 A 2 地点・11トレン<br>チ | 第18図 | 十五沢坊ヶ谷遺跡 B 2 地点① | 25 |
| 第8図  | 4～6・8トレンチ                  | 第19図 | 十五沢坊ヶ谷遺跡 B 2 地点② | 26 |
| 第9図  | 7トレンチ・一括出土遺物               | 第20図 | 一括出土遺物           | 27 |
| 第10図 | 全体図                        | 第21図 | トレンチ配置図          | 28 |
| 第11図 | 4グリッド                      | 第22図 | 3トレンチ①           | 31 |
|      |                            | 第23図 | 3トレンチ②           | 32 |



|      |                                    |      |                                  |
|------|------------------------------------|------|----------------------------------|
| 第24図 | 1 トレンチ、7 グリッド……………33               | 第60図 | 出土遺物④……………82                     |
| 第25図 | 7 グリッド、10グリッド、及び一括<br>出土遺物①……………34 | 第61図 | 出土遺物⑤……………83                     |
| 第26図 | 一括出土遺物②……………35                     | 第62図 | 一括出土遺物……………84                    |
| 第27図 | 一括出土遺物③……………36                     | 第63図 | 10、38、41、47 トレンチ……………88          |
| 第28図 | 全体図……………37                         | 第64図 | 58、77 トレンチ……………89                |
| 第29図 | 平面図、断面図……………40                     | 第65図 | 94 トレンチ……………90                   |
| 第30図 | 出土遺物①……………41                       | 第66図 | 95 トレンチ……………91                   |
| 第31図 | 出土遺物②……………42                       | 第67図 | 96 トレンチ……………92                   |
| 第32図 | 一括出土遺物①……………42                     | 第68図 | 113 トレンチ ……………93                 |
| 第33図 | 一括出土遺物②……………43                     | 第69図 | 118・122 トレンチ……………94              |
| 第34図 | トレンチ配置図……………44                     | 第70図 | 一括出土遺物……………95                    |
| 第35図 | 7、22、28 トレンチ……………46                | 第71図 | 9、17 トレンチ……………97                 |
| 第36図 | 30 トレンチ……………47                     | 第72図 | 35 トレンチ……………98                   |
| 第37図 | 一括出土遺物……………47                      | 第73図 | 28・36 トレンチ……………99                |
| 第38図 | トレンチ配置図……………48                     | 第74図 | 一括出土遺物 ……………100                  |
| 第39図 | 断面図……………49                         | 第75図 | 西野遺跡群 D 1 ～D 3 地点全体図<br>……………101 |
| 第40図 | 一括出土遺物……………49                      | 第76図 | 平面図① ……………117                    |
| 第41図 | 8 A、9 A・B トレンチ ……………51             | 第77図 | 平面図② ……………118                    |
| 第42図 | 24、27 トレンチ①……………52                 | 第78図 | 平面図③ ……………119                    |
| 第43図 | 27 トレンチ②……………53                    | 第79図 | 平面図④ ……………120                    |
| 第44図 | 一括出土遺物……………53                      | 第80図 | 平面図⑤ ……………121                    |
| 第45図 | 西野遺跡群 B 1 ・ 2 地点全体図……………54         | 第81図 | 平面図⑥ ……………122                    |
| 第46図 | 平面図①……………68                        | 第82図 | 平面図⑦ ……………123                    |
| 第47図 | 平面図②……………69                        | 第83図 | 平面図⑧ ……………124                    |
| 第48図 | 平面図③……………70                        | 第84図 | 平面図⑨ ……………125                    |
| 第49図 | 平面図④……………71                        | 第85図 | 平面図⑩ ……………126                    |
| 第50図 | 平面図⑤……………72                        | 第86図 | 断面図① ……………127                    |
| 第51図 | 平面図⑥……………73                        | 第87図 | 断面図② ……………128                    |
| 第52図 | 断面図①……………74                        | 第88図 | 断面図③ ……………129                    |
| 第53図 | 断面図②……………75                        | 第89図 | 断面図④ ……………130                    |
| 第54図 | 断面図③……………76                        | 第90図 | 断面図⑤ ……………131                    |
| 第55図 | 断面図④……………77                        | 第91図 | 出土遺物① ……………132                   |
| 第56図 | 断面図⑤……………78                        | 第92図 | 出土遺物② ……………133                   |
| 第57図 | 出土遺物①……………79                       | 第93図 | 出土遺物③ ……………134                   |
| 第58図 | 出土遺物②……………80                       | 第94図 | 出土遺物④ ……………135                   |
| 第59図 | 出土遺物③……………81                       | 第95図 | 出土遺物⑤ ……………136                   |

|       |                |     |       |                 |     |
|-------|----------------|-----|-------|-----------------|-----|
| 第96図  | 出土遺物⑥          | 137 | 第114図 | トレンチ配置図         | 157 |
| 第97図  | 出土遺物⑦          | 138 | 第115図 | 001号跡           | 159 |
| 第98図  | 出土遺物⑧          | 139 | 第116図 | 出土遺物            | 160 |
| 第99図  | トレンチ配置図        | 141 | 第117図 | 一括出土遺物          | 161 |
| 第100図 | 西野遺跡群 C 1・2 地点 | 142 | 第118図 | グリッド配置図・断面図     | 162 |
| 第101図 | トレンチ配置図        | 143 | 第119図 | 一括出土遺物          | 163 |
| 第102図 | G、M、N トレンチ     | 144 | 第120図 | 中世陶磁器類実測図①      | 168 |
| 第103図 | 一括出土遺物         | 145 | 第121図 | 中世陶磁器類実測図②      | 169 |
| 第104図 | 宮原遺跡 A・B 地点    | 146 | 第122図 | 中世陶磁器類実測図③      | 170 |
| 第105図 | 土層柱状図          | 147 | 第123図 | 中世陶磁器類実測図④      | 171 |
| 第106図 | 出土遺物①          | 148 | 第124図 | 中世陶磁器類実測図⑤      | 172 |
| 第107図 | 出土遺物②          | 149 | 第125図 | 中世陶磁器類実測図⑥      | 173 |
| 第108図 | 一括出土遺物①        | 151 | 第126図 | 中世陶磁器類実測図⑦      | 174 |
| 第109図 | 一括出土遺物②        | 152 | 第127図 | 中世金属製品・石製品実測図   | 174 |
| 第110図 | 一括出土遺物③        | 153 | 第128図 | 海上地区遺跡群調査範囲     | 188 |
| 第111図 | トレンチ配置図        | 154 | 第129図 | 中世村落の推定分布       | 192 |
| 第112図 | J-19 トレンチ      | 155 | 第130図 | 十五沢坊ヶ谷遺跡 B～D 地点 | 215 |
| 第113図 | 一括出土遺物         | 156 | 第131図 | 西野遺跡群 B・D 地点    | 216 |

## 表 目 次

|       |                              |     |      |                                   |         |
|-------|------------------------------|-----|------|-----------------------------------|---------|
| 第 1 表 | 中世実測遺物の観察表                   | 175 | 第15表 | 宮原遺跡出土木製品の用材                      | 204     |
| 第 2 表 | 中世金属製品実測遺物の観察表               | 183 | 第16表 | 測定試料及び処理                          | 208     |
| 第 3 表 | 中世銭の観察表                      | 183 | 第17表 | 放射性炭素年代測定及び暦年代較正<br>の結果           | 208     |
| 第 4 表 | 中世石製品実測遺物の観察表                | 183 | 第18表 | 西野遺跡 B 2 地点 001 号-P 2 木柱試<br>料の年代 | 211     |
| 第 5 表 | 中世陶磁器類の総分類                   | 184 | 第19表 | 西野遺跡 B 2 地点 001 号-P 4 木柱試<br>料の年代 | 211     |
| 第 6 表 | 中世陶磁器類の遺物密度                  | 187 | 第20表 | 出土瓦集計表                            | 212     |
| 第 7 表 | 貝サンプル出土動物遺存体種名一覧<br>.....    | 194 | 第21表 | 土器観察表                             | 218～233 |
| 第 8 表 | 貝サンプル内容物集計表                  | 195 | 第22表 | 出土瓦観察表                            | 234～239 |
| 第 9 表 | 遺構別貝類集計表                     | 196 | 第23表 | 金属器観察表                            | 240     |
| 第10表  | 遺構別貝類組成グラフ                   | 197 | 第24表 | 土製品観察表                            | 241     |
| 第11表  | 各遺跡の出土内容                     | 200 | 第25表 | 石器観察表                             | 242     |
| 第12表  | 樹種同定結果                       | 201 | 第26表 | 銭観察表                              | 242     |
| 第13表  | 西野遺跡出土木製品の用材                 | 203 | 第27表 | 木器観察表                             | 243～244 |
| 第14表  | 西野 B 2 地点における建築材の用材<br>..... | 203 |      |                                   |         |

## 写真図版目次

|      |                    |      |                              |
|------|--------------------|------|------------------------------|
| 図版 1 | 空中写真               | 図版23 | 西野 C 1 ・ 2 ・ A               |
| 図版 2 | 十五沢坊ヶ谷 A 1 ・ 2     | 図版24 | 西野 A ・ 宮原 A ・ B              |
| 図版 3 | 十五沢坊ヶ谷 B 1         | 図版25 | 宮原 B                         |
| 図版 4 | 十五沢坊ヶ谷 B 2 ・ C     | 図版26 | 宮原 C ・ D ・ 今富 A              |
| 図版 5 | 十五沢坊ヶ谷 C ・ D       | 図版27 | 今富 A ・ 花やしき塚                 |
| 図版 6 | 十五沢坊ヶ谷 D ・ E       | 図版28 | 縄文土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・瓦塔・ミニチュア土器 |
| 図版 7 | 十五沢 E ・ F ・ 西野 B 1 | 図版29 | 土師器・中世陶器・カワラケ                |
| 図版 8 | 西野 B 1 ・ 2         | 図版30 | 縄文土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・瓦     |
| 図版 9 | 西野 B 2             | 図版31 | 縄文土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・瓦          |
| 図版10 | 西野 B 2             | 図版32 | 縄文土器・弥生土器・土師器・瓦・木柱           |
| 図版11 | 西野 B 2             | 図版33 | 中世陶磁器・カワラケ                   |
| 図版12 | 西野 B 2             | 図版34 | 中世陶磁器・カワラケ                   |
| 図版13 | 西野 B 2             | 図版35 | 中世陶磁器・カワラケ・板碑                |
| 図版14 | 西野 B 2             | 図版36 | 木製品・銭・金属製品・石製品               |
| 図版15 | 西野 B 2             | 図版37 | ミニチュア土製品・土錘・支脚               |
| 図版16 | 西野 B 2             | 図版38 | 出土貝類・脊椎動物骨・種子類               |
| 図版17 | 西野 B 2             | 図版39 | 出土木製品・木材組織光学顕微鏡写真            |
| 図版18 | 西野 B 2 ・ D 1       |      |                              |
| 図版19 | 西野 D 1 ・ 2         |      |                              |
| 図版20 | 西野 D 2 ・ 3         |      |                              |
| 図版21 | 西野 D 3             |      |                              |
| 図版22 | 西野 D 3 ・ C 1 ・ 2   |      |                              |

# 第1章 はじめに

## 1 遺跡の概要

### (1) 位置と環境

海上地区遺跡群は、市原市南部高滝に水源を発し、北に向かって流れ下る養老川中下流域が、通称「国分寺台」といわれる台地によって行く手を阻まれ、東京湾のある西に大きく流れを変える一帯の沖積地左岸に位置する。このうち、多くの遺構が検出された西野遺跡群は、標高9～10m程度の比較的標高の高い自然堤防上に立地する。西から十五沢・柳原・小折と連なる集落も、西野と同じ左岸沿いの自然堤防上に立地しているが、それらは、宮原遺跡を抱える沖積地に溜まった養老川からの氾濫水が、養老川に向かって還流する時にできた流路によって分断されていると考えられる。宮原遺跡がある沖積地の南寄り中央には、一部「沼」という字名が残存しており、近世期においても排水困難な地形が存在していたと思われる。この標高8m前後の沖積地の背後には立野地区などをのせる標高18m程度の段丘が迫り、宮原堂谷遺跡や布谷台遺跡などの縄文時代の貝塚及び集落遺跡がある。また、この低位部分における標高13m程の段丘崖では、段丘からの湧水地があり、その地点を掌握するように、中世戦国期の城郭である分目要害遺跡が存在している。古代の遺構は、現在で最も標高の高い自然堤防付近に多くが存在しており、沖積地の周縁に中世前期鎌倉期を中心とした遺構・遺物の散布が認められる。中世前期には、沖積地の周縁部では土地利用が行われていた可能性がある。「今富保」の水田経営の場として、土地利用が行われていたのかもしれない。

### (2) 遺跡の概要

海上地区遺跡群は、平成9年度～15年度にわたって発掘調査が行われてきた。この遺跡群の中には、養老川を望む左岸自然堤防上にある西野遺跡群や十五沢坊ヶ谷遺跡、南部段丘崖際の沖積地にある宮原遺跡などが存在し、調査回数は計27回に及ぶ。

これまでの調査の成果をみると、古墳時代終末期の竪穴住居跡や、奈良・平安時代の竪穴建物跡及び掘立柱建物跡を始め、古代から中世期まで下ると考えられる溝状遺構・土坑及び井戸状遺構等多数を検出しており、奈良・平安時代～中世期を中心とした複合遺跡である。

奈良・平安時代の遺構は、北側の自然堤防上を中心に展開しており、特に北東側の西野遺跡群B・D地点における掘立柱建物跡において、複数の建物が規則性を持って展開していることが、注目されるところと思われる。帰属時期は8世紀後半～9世紀代を中心としていると思われ、建物の建て替えや重複が殆ど見られないことから、比較的短期間に廃絶したのではないかとと思われる。

中世期の遺構は、北東側西野遺跡群D3地点において、烏帽子と考えられる布状漆遺物が出土した溝状遺構に代表されるように、海上地区遺跡群の北東側にある西野遺跡群B・D地点を中心に、中世前期の遺構が展開している可能性が高いと思われる。また、当該期のカワラケが多く出土していることが特徴として挙げられ、地域編成秩序の核的な施設が存在していた可能性がある。また、14世紀中葉を中心とした空白期を経て、中世後期の遺物が散在している状況が、西野B・D地点や、北西側に



ある十五沢坊ヶ谷遺跡 B・C・D 地点において共通する出土傾向であり、近世村落へと続く一定量の消費が看取される。

### （３）周辺の遺跡

海上地区遺跡群は、北側に十五沢遺跡群や坊ヶ谷遺跡、東側に西野遺跡群が存在する養老川左岸の自然堤防が走り、南側は宮原堂谷遺跡や布谷台遺跡などを乗せる標高18m前後の段丘崖が迫る沖積地にある宮原遺跡が控えている。そして、西側は東京湾に向かって低位面が続くが、前期の古墳と考えられる今富塚山古墳を乗せる河岸段丘が北に向かって延びており、中流域自然堤防の背後にある標高8m前後の沖積地を、標高10～18m程度の微高地及び河岸段丘が取り囲むような地形を呈している。さらに西側には海上国造の本貫地である姉崎古墳群が控えている。

また、本地区遺跡群西側には、初期寺院である今富廃寺跡が存在しており、国分寺建立に先立つ7世紀後半～8世紀前半にかけて、海上国造から郡司層に再構成される時期の象徴的な遺構が存在していた可能性があると思われる。ちなみに、本遺跡群の西側に位置する十五沢坊ヶ谷遺跡 D 地点から、今富廃寺出土瓦と同範と推定される下総龍角寺式の系譜をひく単弁八葉蓮華文軒丸瓦が出土している。また、国分尼寺の造営に関わったとされる坊作遺跡から「海上厨」と書かれた墨書土器が、国分尼寺跡からは「海上」刻印瓦が出土しており、国分寺建立との関わりが想定される。

北側は、小熊吉蔵氏による字名「小折」に端を発した地名研究によって、小折～西野集落を中心に「海上郡衙」推定地として注目されるようになり、千葉県文化財センターによって調査が行われた西野遺跡・同1次・同2次調査によって、大型の井戸・溝及び総柱の掘立柱建物跡や側柱の掘立柱建物跡が検出され、厨・正倉・館と推定されている。また、本地区北端では、市原市文化財センターによって調査された西野下田遺跡があり、古墳時代後期から奈良・平安期にかけて活発に土地利用が行われたことが明らかになった。さらに、養老川を渡った対岸には村上遺跡群が展開し、白山遺跡では中世期と思われる土坑から、西野遺跡群 D 地点の溝状遺構から出土したものと類似する特徴を持つ布状漆製品が出土しており、この付近一帯における中世期前半の遺構の存在を認識する必要があると思われる。

## 2 調査の経緯

### （１）調査に至る経緯

今回の発掘調査は、千葉県による、経営体育成基盤整備事業（ほ場整備事業）に先行して実施されたものである。工事に先立ち、千葉縣市原土地改良事務所（千葉県千葉農林振興センター）から事業地域内の埋蔵文化財の有無及びその取り扱いについての照会が、千葉県教育委員会教育長及び市原市教育委員会教育長宛に提出された。これを受けて、千葉県教育庁文化財課と市原市教育委員会ふるさと文化課及び千葉縣市原土地改良事務所との三者により慎重に協議を重ねた結果、経営体育成基盤整備事業として計画された約3,000,000㎡の工事対象範囲のうち、遺構の確認を行う上で必要とされた402,440㎡について確認調査を行い、その結果を受け、遺構の存在が認められ、農業道路・用水路等造成時に、やむを得ず遺構面を掘削・破壊すると考えられる地点（9,940㎡）については、本調査を

行い記録保存の措置がとられることとなった。調査期間は平成9～15年度の7年間、整理作業は平成15～17年度の3年間にわたって行われた。

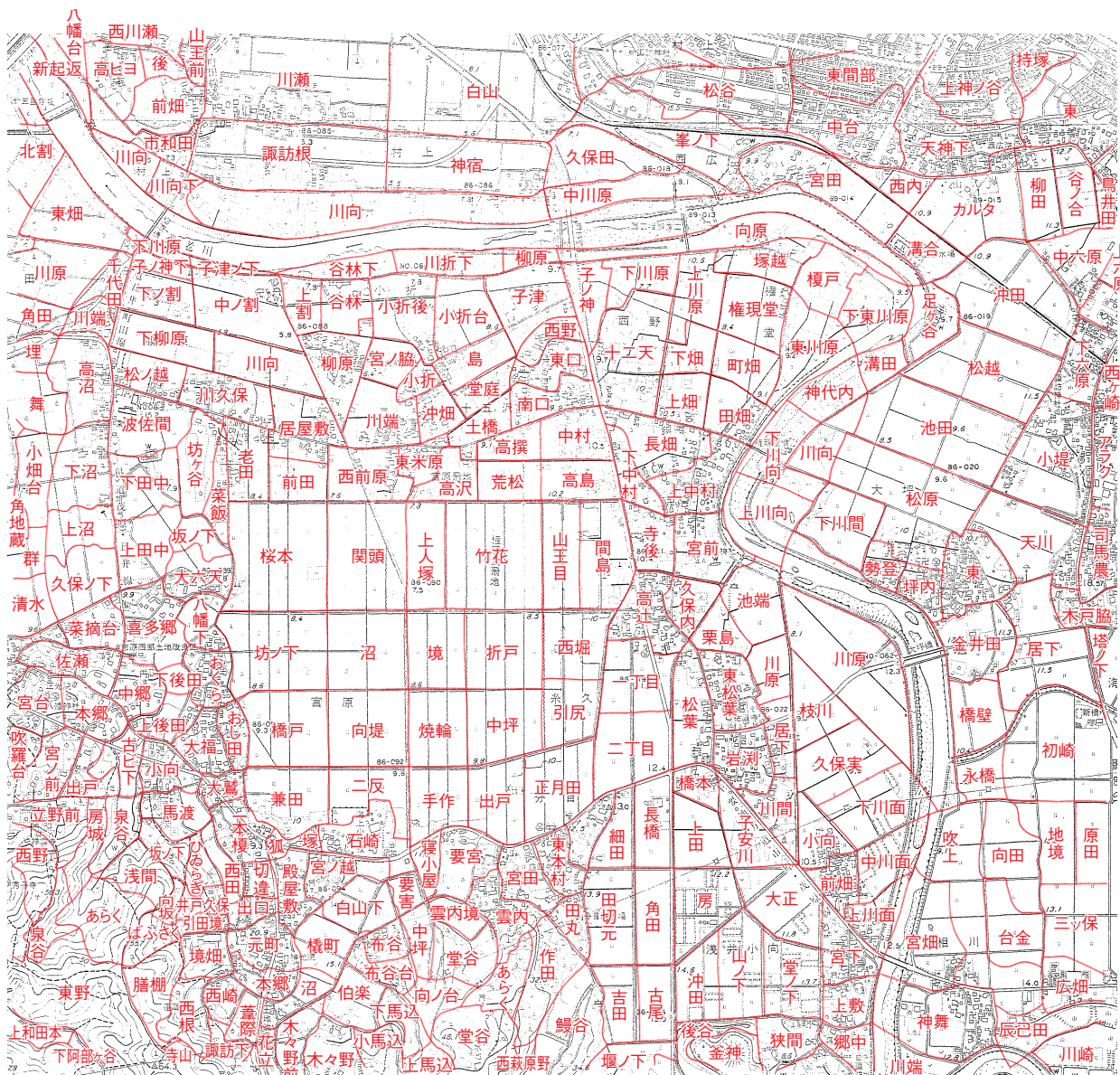
なお、本事業は「海上地区遺跡発掘調査事業」として、国庫補助を受けて実施した。



- ①海上地区遺跡群（西野遺跡群B2地点） ②西野遺跡 ③西野下田遺跡 ④白山遺跡 ⑤今富廃寺跡 ⑥分目要害遺跡  
⑦宮原堂谷遺跡 ⑧宮原布谷台遺跡 ⑨今富塚山古墳 ⑩上総国分僧寺 ⑪上総国分尼寺 ⑫荒久遺跡 ⑬坊作遺跡  
⑭神門5号墳 ⑮稻荷台遺跡 ⑯郡本遺跡（市原郡衙推定地）

第1図 海上地区遺跡群と周辺の遺跡（1：50,000）



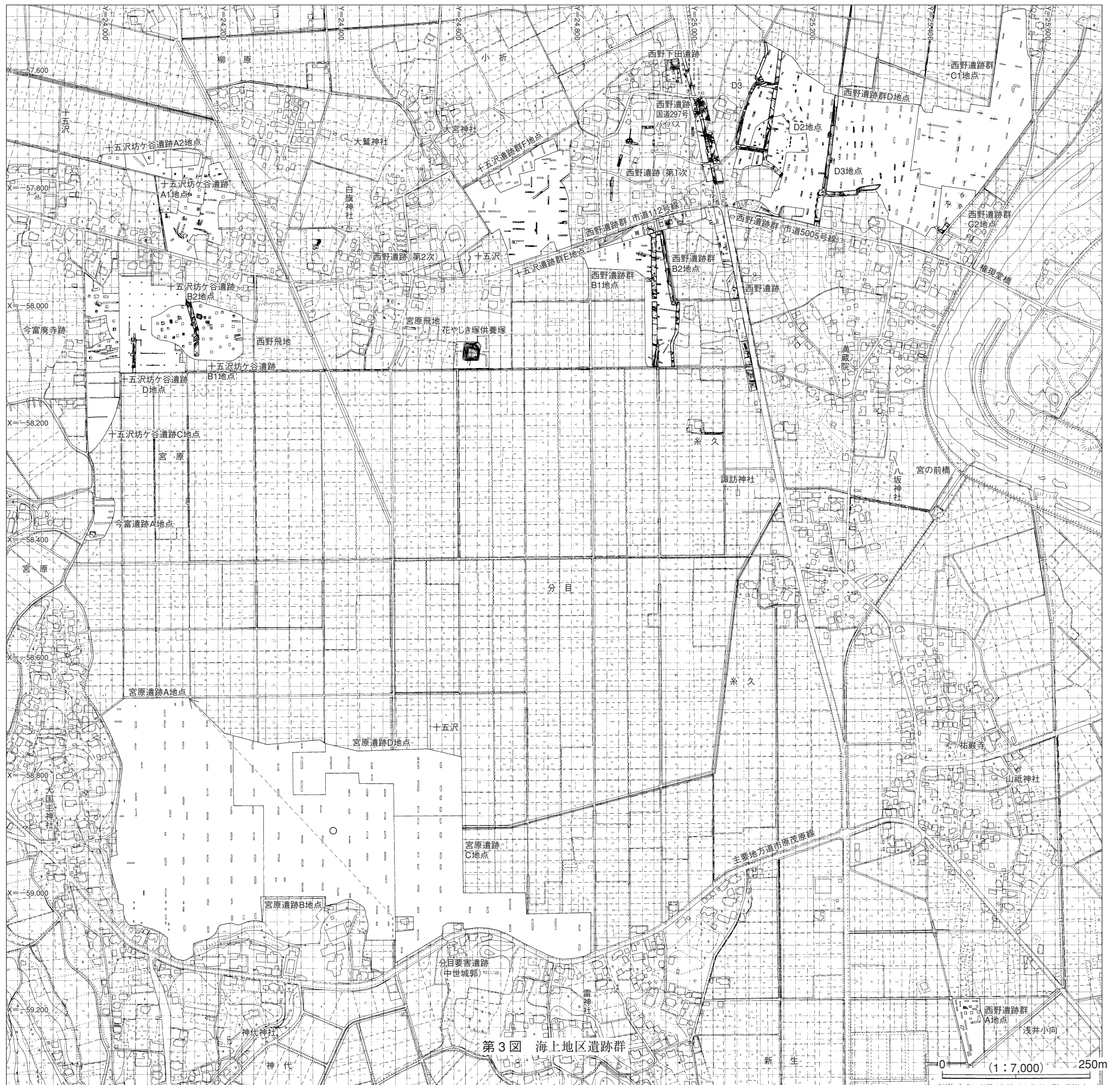


第2図 海上地区遺跡群周辺地籍図 (1/20,000)

海上地区遺跡群発掘調査遺跡一覧

| 調査年度   | 遺跡名(発掘届)         | 遺跡名(報告)  | 遺跡コード | 所在地                    | 調査期間                                  | 確認・本調査   | 調査/対象面積(事業区分)                                   | 担当者       |
|--------|------------------|----------|-------|------------------------|---------------------------------------|----------|-------------------------------------------------|-----------|
| 平成9年度  | 十五沢坊ヶ谷遺跡A地点(第1次) | 十五沢坊ヶ谷A1 | セ-261 | 市原市十五沢字居屋敷             | H10.1.21~H10.3.13                     | 確認調査     | 10m/200m(文化庁分)-170m/3,400m(農林分)-170m/600m(市単費分) | 峰屋孝之      |
| 平成10年度 | 十五沢坊ヶ谷遺跡A地点(第2次) | 十五沢坊ヶ谷A2 | セ-282 | 市原市十五沢字居屋敷259-2ほか      | H10.12.8~H11.2.19                     | 確認調査     | 645m/12,900m(農林分)                               | 近藤 敏      |
| 平成10年度 | 十五沢坊ヶ谷遺跡B地点      | 十五沢坊ヶ谷B1 | セ-283 | 市原市西野字前田331他           | H11.1.6~H11.1.18                      | 確認調査     | 160m/3,200m(文化庁分)                               | 高橋康男      |
| 平成10年度 | 西野遺跡A地点          | 西野A      | セ-285 | 市原市浅井小向240-1ほか         | H11.1.6~H11.1.19                      | 確認調査     | 200m/4,000m(農林分)                                | 牧野光隆      |
| 平成10年度 | 十五沢坊ヶ谷遺跡B地点      | 十五沢坊ヶ谷B2 | セ-284 | 市原市西野字前田324他           | H11.1.19~H11.2.5                      | 確認調査     | 3,200m/6,400m(市単費分)                             | 高橋康男      |
| 平成10年度 | 十五沢坊ヶ谷遺跡C地点      | 十五沢坊ヶ谷C  | セ-289 | 市原市宮原字老田881-1他         | H10.12.8~H11.2.19                     | 確認調査     | 333m/11,100m(農林分)                               | 高橋康男      |
| 平成10年度 | 宮原遺跡A地点          | 宮原A      | セ-286 | 市原市宮原字兼田40-1ほか         | H11.2.1~H11.3.9                       | 確認調査     | 860m/86,000m(農林分)                               | 牧野光隆・近藤 敏 |
| 平成10年度 | 宮原遺跡B地点          | 宮原B      | セ-287 | 市原市宮原字二又2ほか            | H11.1.25~H11.3.9                      | 確認調査     | 612m/61,200m(農林分)                               | 近藤 敏・牧野光隆 |
| 平成11年度 | 今富遺跡A地点          | 今富A      | セ-304 | 市原市宮原343番地ほか           | H11.7.2~H12.2.8                       | 確認・一部本調査 | 100m/2,000m及び7100m(農林分)                         | 田所 真      |
| 平成11年度 | 十五沢坊ヶ谷遺跡B地点      | 十五沢坊ヶ谷B2 | セ-284 | 市原市十五沢250ほか            | H11.7.12~H11.9.10                     | 本調査      | 640m(農林分)                                       | 田所 真      |
| 平成11年度 | 十五沢坊ヶ谷遺跡D地点      | 十五沢坊ヶ谷D  | セ-303 | 市原市十五沢250ほか            | H11.7.2~H11.9.10<br>H11.10.19~H12.2.8 | 確認・一部本調査 | 156m/15,600m及び300m(農林分)                         | 田所 真      |
| 平成11年度 | 宮原遺跡C地点          | 宮原C      | セ-309 | 市原市分目字出戸48-1番地ほか       | H11.10.19~H12.2.8                     | 確認調査     | 383m/38,300m(農林分)                               | 田所 真      |
| 平成11年度 | 宮原遺跡D地点          | 宮原D      | セ-310 | 市原市宮原字向堤地先             | H11.10.25~H12.3.15                    | 確認調査     | 300m/30,000m(文化庁分)                              | 田所 真      |
| 平成11年度 | 花やしき塚供養塚         | 花やしき塚供養塚 | セ-311 | 市原市十五沢字高沢96-1番地ほか      | H11.10.19~H12.2.8                     | 確認調査     | 250m/2,500m(農林分)                                | 田所 真      |
| 平成12年度 | 十五沢遺跡群E地点        | 十五沢E     | セ-333 | 市原市十五沢字土橋144・字庭170番地ほか | H12.11.30~H13.3.15                    | 確認調査     | 897m/17,940m(農林分)                               | 近藤 敏      |
| 平成12年度 | 十五沢遺跡群F地点        | 十五沢F     | セ-336 | 市原市十五沢字家庭              | H13.2.1~H13.3.6                       | 確認調査     | 178m/3,560m(農林分)                                | 山田貴久      |
| 平成12年度 | 西野遺跡群B地点         | 西野B1     | セ-334 | 市原市糸久字高島30番地ほか         | H12.11.30~H13.1.30                    | 確認調査     | 775m/15,500m(農林分)                               | 牧野光隆      |
| 平成12年度 | 西野遺跡群B地点         | 西野B2     | セ-337 | 市原市糸久字高島26-1ほか         | H13.2.1~H13.3.27                      | 本調査      | 900m(農林分)                                       | 牧野光隆      |
| 平成13年度 | 西野遺跡群B地点         | 西野B2     | セ-348 | 市原市西野字中村470他           | H13.6.20~H13.10.16                    | 本調査      | 1,830m(農林分)                                     | 牧野光隆      |
| 平成13年度 | 西野遺跡群B地点         | 西野B2     | セ-350 | 市原市西野字中村470他           | H13.9.12~H13.9.28                     | 本調査      | 320m(文化庁分)                                      | 小川浩一      |
| 平成13年度 | 西野遺跡群C地点         | 西野C1     | セ-358 | 市原市権現堂字田畑306-1ほか       | H14.1.28~H14.3.8                      | 確認調査     | 360m/26,400m(農林分)                               | 牧野光隆      |
| 平成13年度 | 西野遺跡群C地点         | 西野C2     | セ-359 | 市原市権現堂字田畑339-1ほか       | H14.2.4~H14.2.12                      | 確認調査     | 41m/3,160m(文化庁分)                                | 小川浩一      |
| 平成14年度 | 西野遺跡群D地点         | 西野D1     | セ-367 | 市原市権現堂地先               | H14.9.17~H15.2.13                     | 確認調査     | 1,508m/53,360m(農林分)                             | 小川浩一      |
| 平成14年度 | 西野遺跡群D地点         | 西野D2     | セ-369 | 市原市西野字十二天146ほか         | H14.11.11~H14.12.11                   | 確認調査     | 266m/5,320m(文化庁分)                               | 牧野光隆      |
| 平成15年度 | 西野遺跡群D地点         | 西野D3     | セ-379 | 市原市権現堂地先               | H15.8.25~H16.1.15                     | 本調査      | 5,265m(農林分)                                     | 小川浩一      |
| 平成15年度 | 西野遺跡群D地点         | 西野D3     | セ-381 | 市原市西野字十二天115-1ほか       | H15.11.12~H15.12.3                    | 本調査      | 685m(文化庁分)                                      | 小川浩一      |



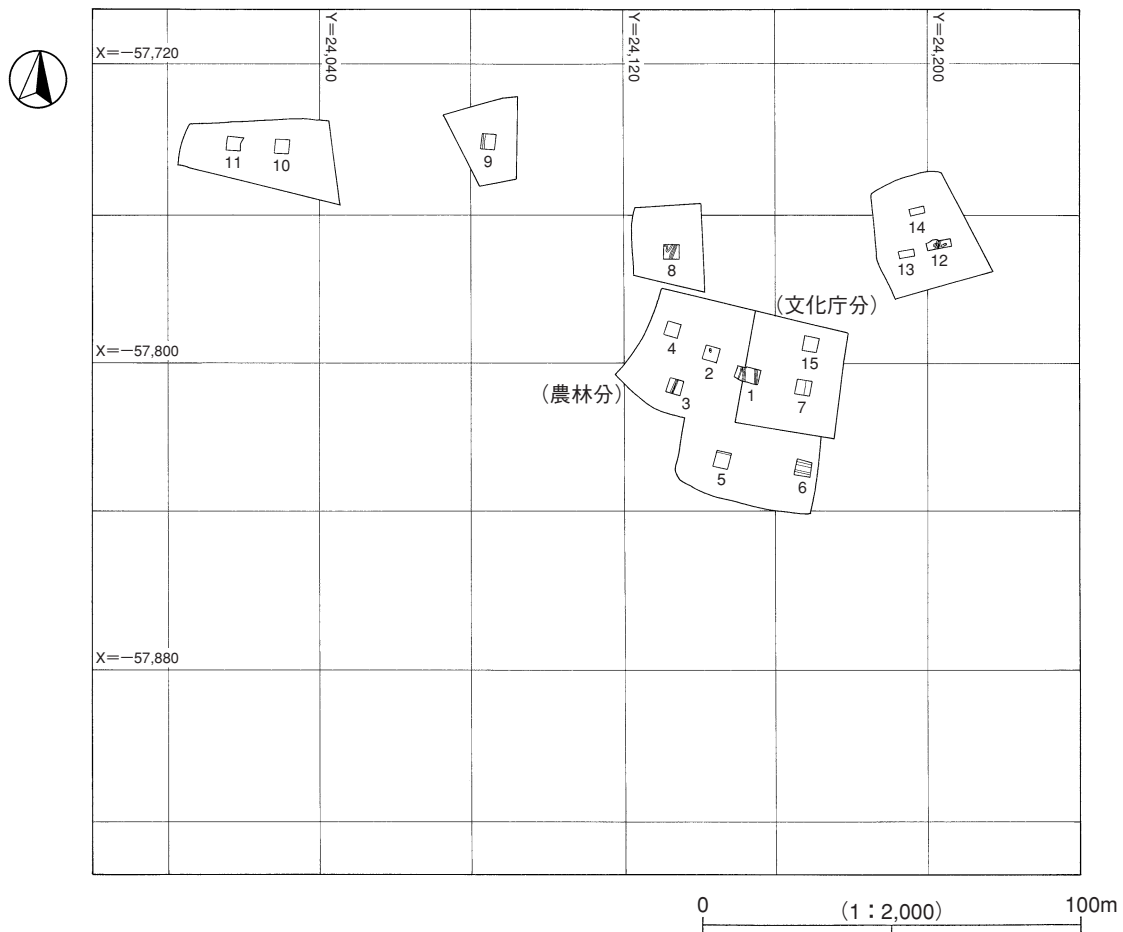


## 第2章 検出された遺構と遺物

### 第1節 十五沢坊ヶ谷遺跡 A1 地点（第1次）

#### 概要

海上地区遺跡群において、平成9年度に調査が行われた唯一の遺跡である。調査によって検出された遺構は、溝状遺構が7条、井戸状遺構が1基検出されたが、溝は遺物が皆無であり、覆土の状況から、近世期以降の畑等地割りの区画溝である可能性が高い。井戸状遺構も遺物の出土は無く、時期不明と言わざるを得ない。グリッドからは、土師器・須恵器の破片が僅かに出土したが、図示できる遺物は須恵器甕片1点のみである。



第4図 グリッド配置図

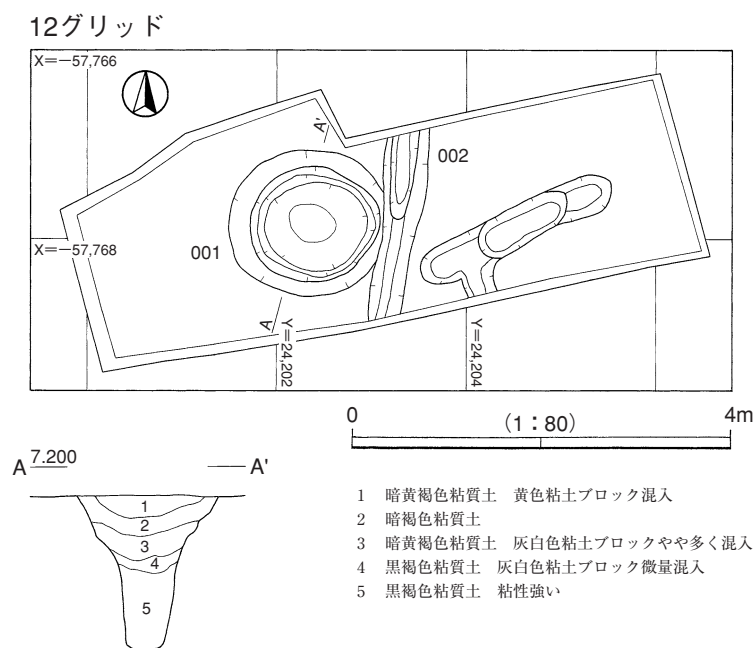


## 12グリッド（第5図）

**位置** 調査区の北東端部に位置する。

**形態** グリッド中央西寄りに、井戸状遺構001が存在する。また、浅い溝状遺構002が、東側に重複している。

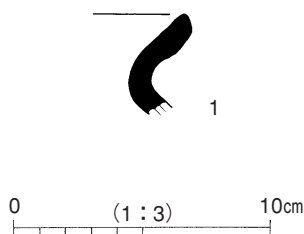
**構造** 001は、径1.60×1.58m、深さ1.62mを測る。暗灰色砂質土を基本としている。遺物の出土はなかった。東側に重複する溝よりは古いと思われるが、時期不明と言わざるを得ない。また、002は、幅0.4～0.5m、現存長2.0m、深さ0.15～0.30m前後を測る。遺物の出土はなかった。覆土は、黄色砂を主体としている。近世期を遡らない地割りの区画溝であろう。



第5図 12グリッド

## 一括出土遺物

一括遺物1は須恵器甕の口縁部1である。8グリッド内より出土している。千葉市域産であろうか。

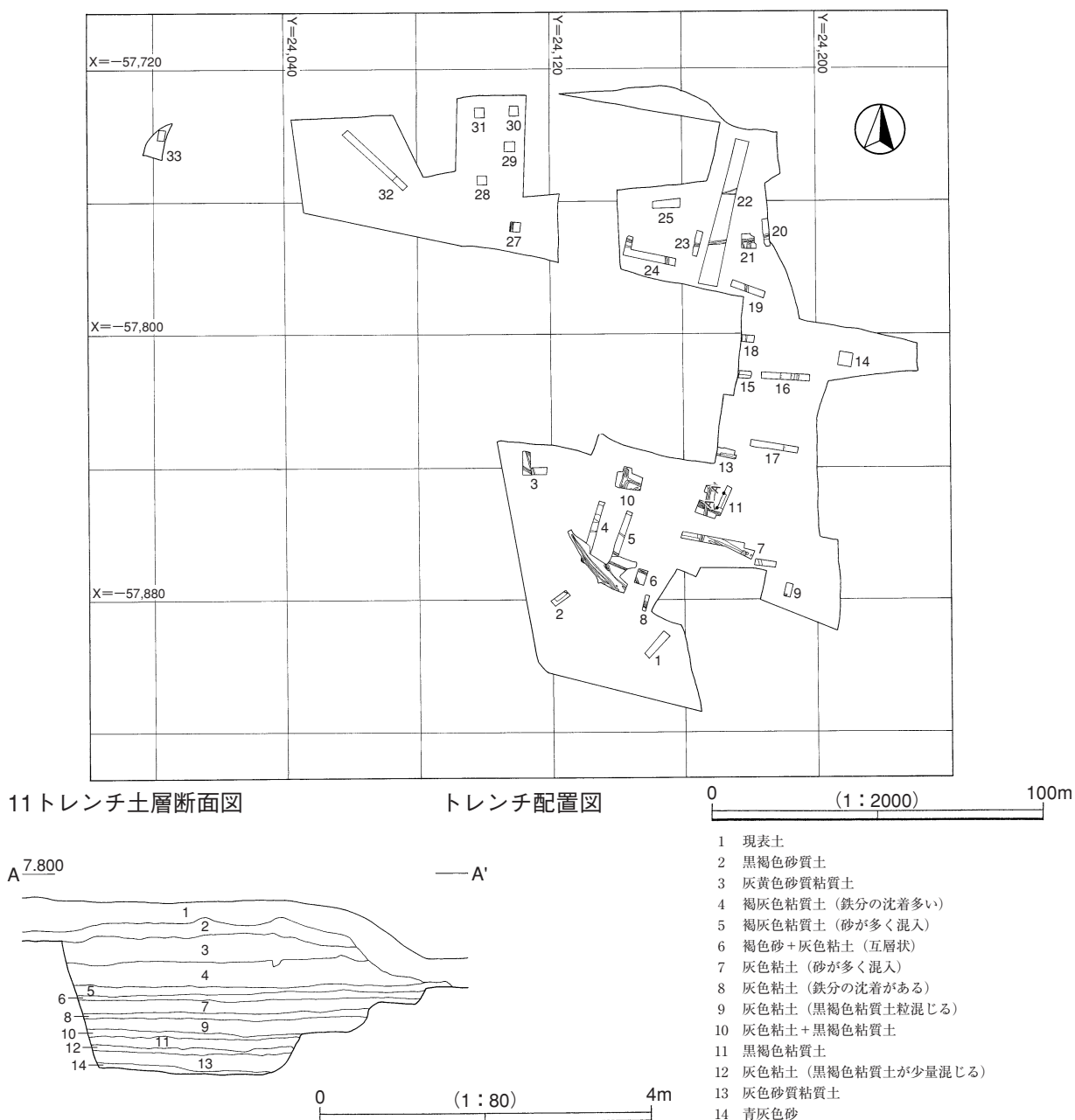


第6図 一括出土遺物

## 第2節 十五沢坊ヶ谷遺跡 A2 地点（第2次）

### 概要

海上地区遺跡群において、平成10年度に調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構は、溝状遺構や土坑が主体となっている。北側は、養老側旧流路が自然堤防際を走っており、古代以前の包含層は流出して残存していないようである。南側は、11トレンチ土層断面図からわかるように、古代遺物包含層である褐灰色粘土層や中世の遺物を包含する灰黄色砂質土層が存在する。このエリアに、上述の覆土が堆積している古代期溝や中世と思われる溝が錯綜する。北側については、現在の畑区画にほぼ沿って溝が開削されているが、南側については、現在の区画に合わない方向に溝が走っている。旧自然地形の微高地に沿う溝であろうか。各グリッドとも、遺物の出土が少なく、覆土の状況から時期を判断したものが多い。



第7図 十五沢坊ヶ谷遺跡A2地点・11トレンチ

#### 4～6・8 トレンチ（第8・120図）

位置 調査区の南寄りに位置する。

形態 トレンチ南側において、溝状遺構が南東方向から北西方向に向かって走っている。また、北側においても浅い溝状遺構が存在する。遺物も数点出土しているが、混入であろう。

構造 001号溝が002号土坑より古いと考えられる。001号溝は、幅1.0m・現存長22.5m・深さ0.30m程度を測る。遺物は、平瓦1が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、覆土の状況から平安期まで遡る可能性がある。002号土坑は、覆土の状況から中世まで遡るか。ちなみに、トレンチ内確認面上より常滑窯の片口鉢（中）3が出土している。15世紀前半頃の遺物であろうか。他には、「寛永通宝」である銭2や、角棒状を呈する鉄製品3が出土している。

#### 7 トレンチ（第9・120図）

位置 調査区の南東側に位置する。

形態 浅い溝状遺構が、3条存在する。東側において、001号溝と002号溝が重複する。001号溝が002号溝より古いと考えられる。

構造 001号溝は、トレンチをほぼ東西に横断する。規模は、幅0.8m・現存長12.4m前後を測る。時期決定する根拠に乏しいが、覆土の状況から平安期まで遡る可能性がある。002号溝は、北側が途切れており土坑となる可能性がある。幅1.3m・現存長1.6mを測る。遺物は、覆土中より常滑窯の甕（中）2が出土している。覆土の状況を勘案すると、16世紀後半頃まで遡るか。ちなみに、003号溝の覆土は002号溝と近似しており、002号溝同様、中世期まで遡る可能性がある。

## 一括出土遺物

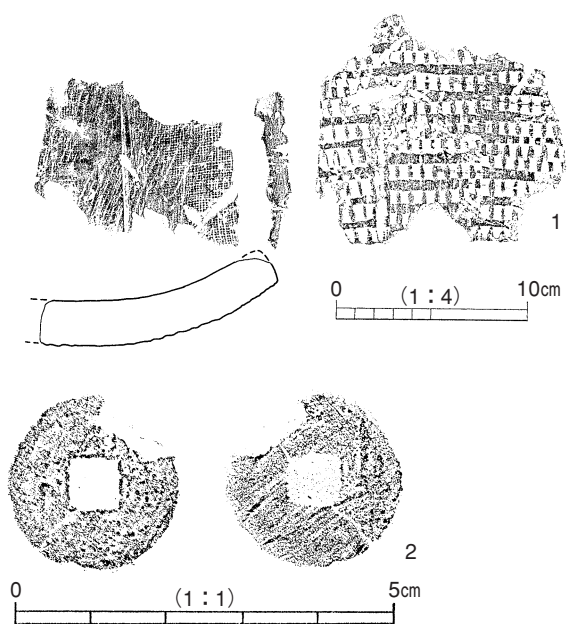
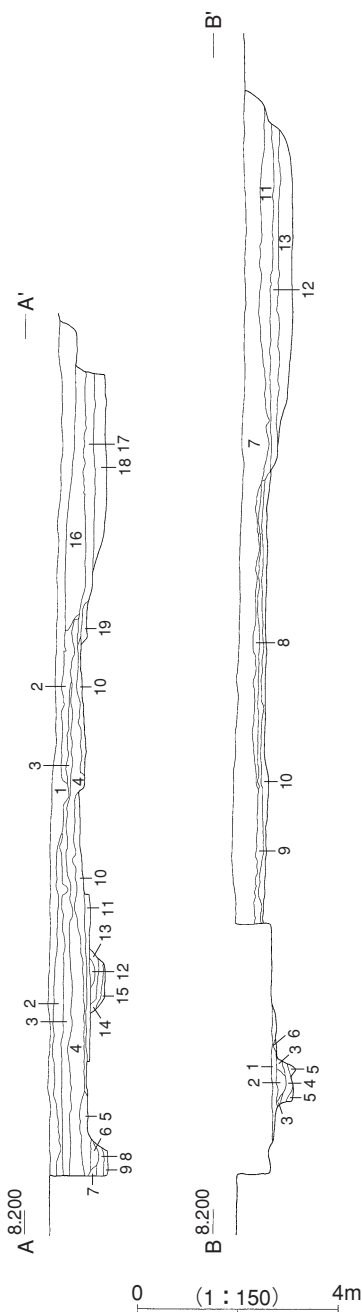
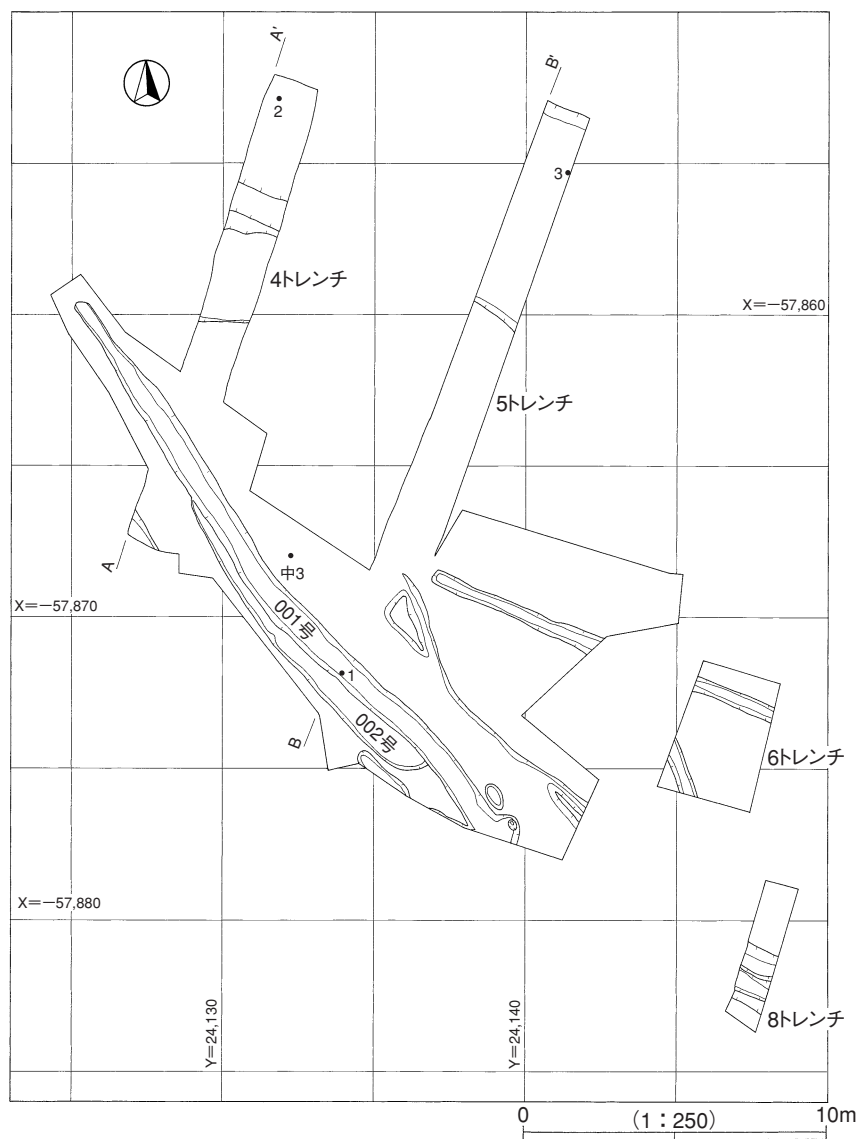
#### 概要（第9図）

当調査地点では、遺物の出土が少なく、調査区一括遺物も同様である。北側を中心とした養老川旧流路に近接する部分等は、遺構・遺物が流失してしまった可能性があるが、それを勘案しても、当初より遺構の存在はあまり濃密ではなかったと言わざるを得ない。当初より古代関連遺構の存在が期待された地域であったが、その主体は、南側にあるのかもしれない。

一括遺物1は須恵器甕の口縁部、2は須恵器甕の底部である。また、3は緑釉陶器の段皿である。口縁部・底部ともに欠失している。器高の浅いタイプであろうか。9世紀第3～4四半期頃に比定されるか。4・5は丸瓦、6・7は平瓦であり、7は側縁部が残存している。8は、管状土錘である。



4トレンチ、5トレンチ、6トレンチ、8トレンチ



(SPA-A')

- 1 現表土
- 2 灰褐色土
- 3 黒褐色土 (しまっている) 橙色粒を含む
- 4 黒褐色粘質土 (橙色粒を均等に含む)
- 5 黒褐色粘質土
- 6 黒褐色粘質土 (黄白色砂質粘土を含む)
- 7 黄褐色粘質土 + 黒褐色粘質土
- 8 6より黄白色粘土を多く含む
- 9 黄白色粘土粒 + 黒褐色土
- 10 黒褐色粘質土 (やや明るい)

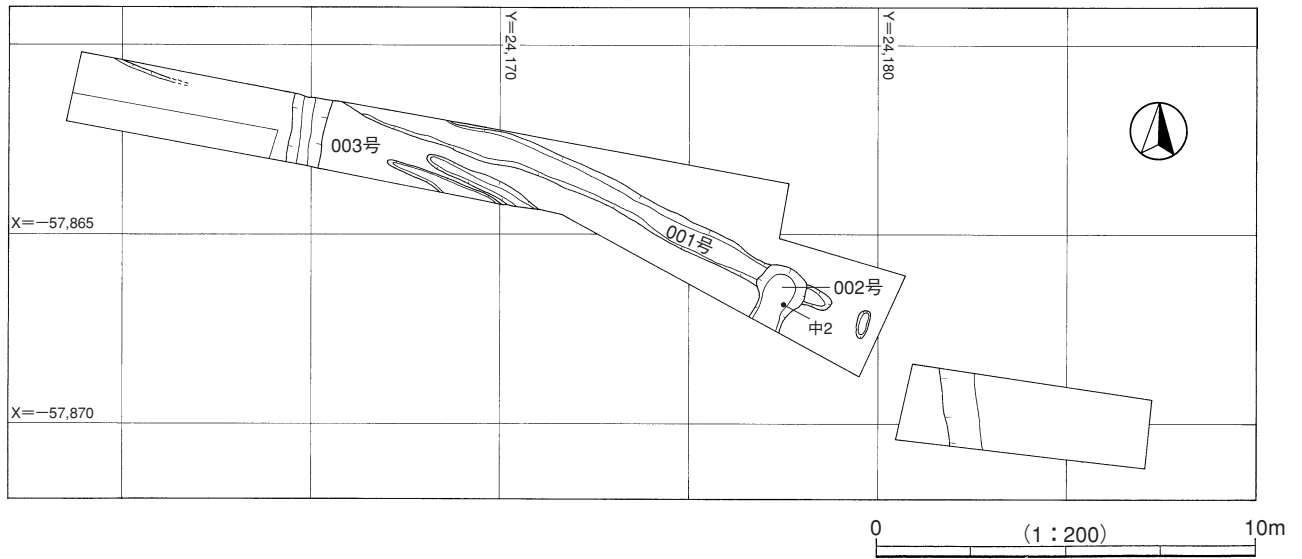
- 11 黒褐色粘質土 + 灰色土 (少量)
- 12 黄褐色粘土ブロック (黒灰色粘質土を少量含む)
- 13 黒灰色粘質土
- 14 灰色粘土 + 黒灰色粘質土
- 15 灰色粘質土
- 16 灰褐色土 (橙色粒を微量含む)
- 17 暗灰色粘質土 (鉄分の沈着あり)
- 18 灰色粘土 (鉄分の沈着あり)
- 19 地山 黄褐色粘質土

(SPB-B')

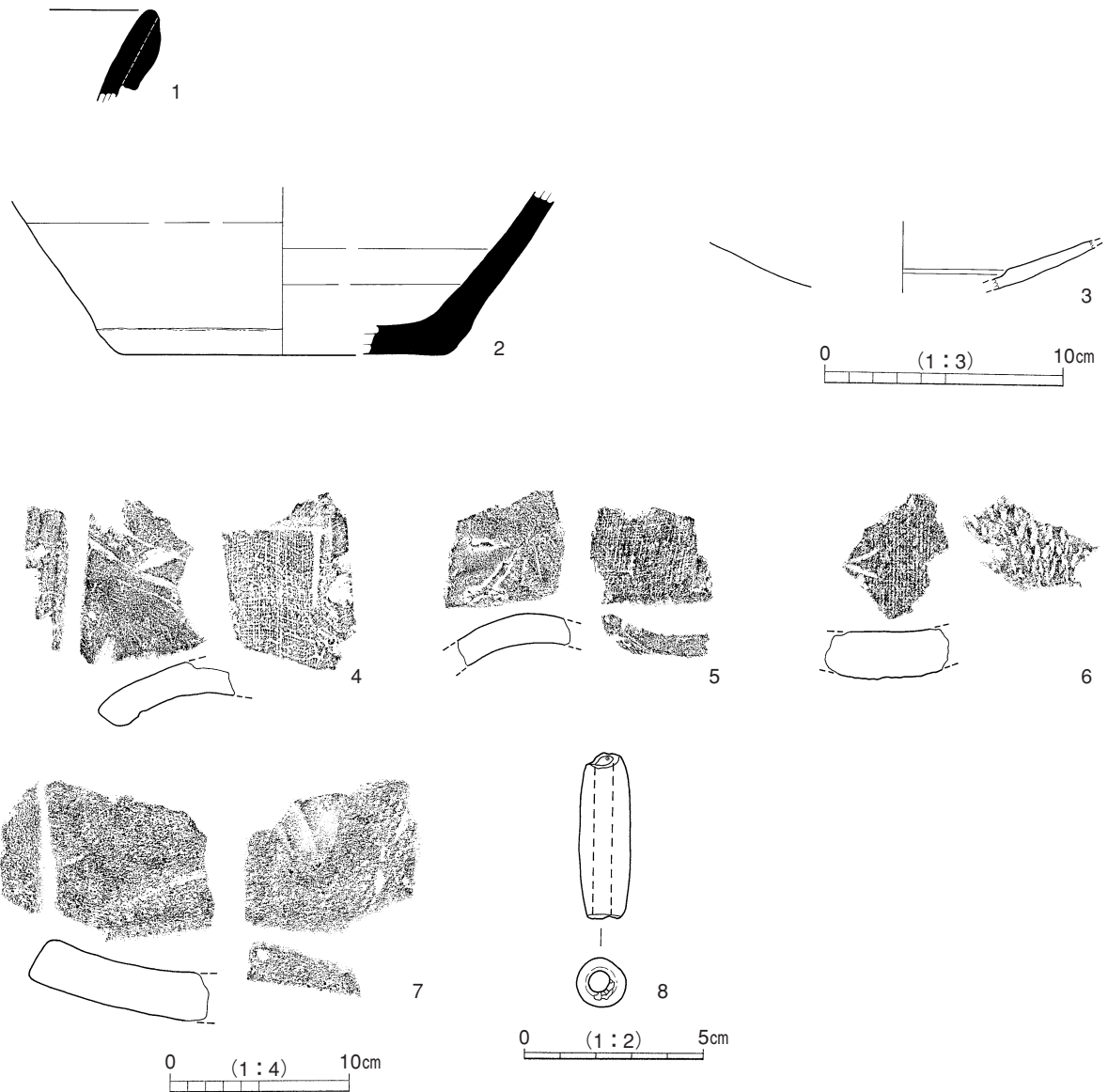
- 1 黒灰色粘質土 (しまっている) 白色粒 (スコリアか) 混入する
- 2 黒灰色土 (黄褐色粘質土混入する)
- 3 黒灰色土 (黄褐色粘質土ブロック混入する)
- 4 黒灰色土 (黄褐色粘質土粒混入する)
- 5 黒灰色土 (灰色粘土混入する)
- 6 地山 黄褐色粘質土
- 7 現表土
- 8 暗灰褐色土
- 9 黒褐色粘質土
- 10 黒褐色土 (黄白色粘質土少量混入する)
- 11 黄褐色土
- 12 暗灰色粘質土
- 13 灰色粘質土 (鉄分沈着する)

第8図 4～6・8トレンチ

7トレンチ



一括出土遺物

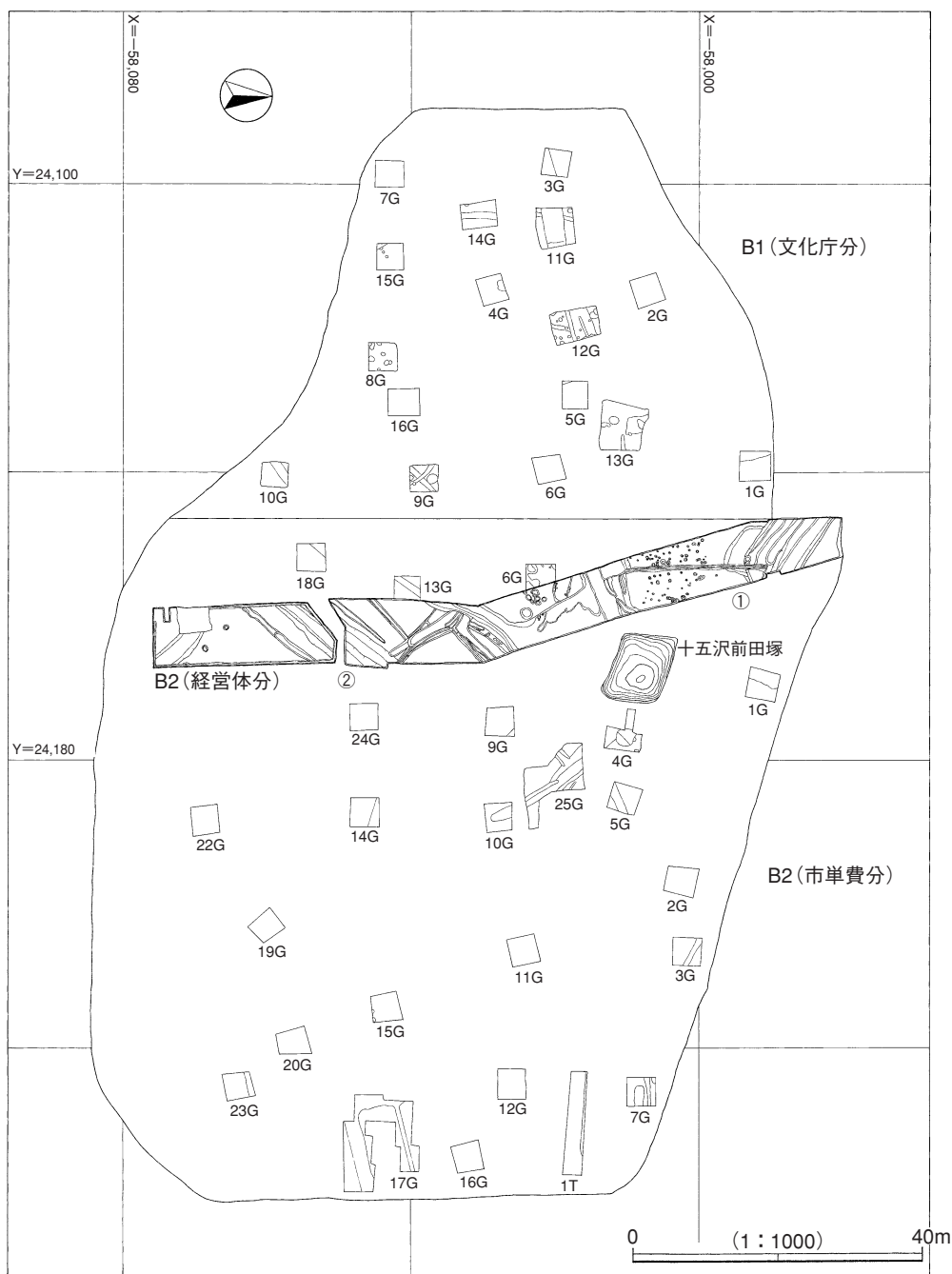


第9図 7トレンチ、一括出土遺物

### 第3節 十五沢坊ヶ谷遺跡 B1 地点（第1次）

#### 概要

海上地区遺跡群において、平成10年度に文化庁による海上地区遺跡発掘調査事業として、調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構は、溝状遺構や井戸状遺構が主体となっている。北側は、養老川の自然堤防が東西に連なり、南側は後背湿地である沖積平野が広がっている。西側200m程度に初期寺院である「今富廃寺」推定地があり、関連遺構の存在も考えられる地域である。



第10図 全体図

#### 4 グリッド（第11・12図）

位置 調査区の中央西寄りに位置する。

形態 井戸状遺構001が存在し、やや隅の丸い不整な方形を呈する。

構造 001はグリッド北側に位置する。井戸状遺構と思われ、規模は、長径1.6m・深さ0.4～0.6m程度を測る。遺物は、井戸状遺構内ピットから土師器杯1や杯2が出土し、1は灯明皿と思われる。また、須恵器杯6・甕13などが出土している。出土する遺物の帰属時期に幅があるが、8世紀中葉～9世紀前葉を中心に機能していたと思われる。

#### 8 グリッド（第12図）

位置 調査区中央南側に位置する。

形態 大小様々なピットが、錯綜して存在している。本グリッド内においては、規則的な配置は確認できなかった。

構造 ピットは、不整な円形を呈するものが多く、P1は、長径1.0m・短径0.7m・深さ0.4m程度を測る。覆土は、暗灰色の砂混じり粘土を主体としている。遺物は、土師器杯3が覆土中から出土している。また、東側確認面上より甕6が出土している。他に、トレンチ一括遺物として土師器杯1・2・4や甕底部片5が出土している。

#### 9 グリッド（第13図）

位置 調査区中央東寄りに位置する。

形態 浅い溝状遺構が、2条交錯しており、北側に井戸状遺構が、一部溝と重複して存在する。

構造 溝は、001・002共に、深さ0.1m程度を測る。図示できる遺物の出土はなかった。北側に不整な円形を呈した井戸状遺構と思われる大型の土坑003が存在し、001に一部重複する。遺物は、確認面上より土師器杯2・3・4及び甕5が出土している。グリッド南端部にもピット004が存在し、深さ0.2m前後を測る。須恵器甕8が出土している。

#### 12グリッド（第13図）

位置 調査区中央北寄りに位置する。

形態 大小様々なピットが、錯綜して存在している。また、溝状遺構が2条交差している。

構造 ピットは、不整な円形を呈するものが多い。溝状遺構001は、幅3.3～3.4m、検出長4.0m、深さ0.35～0.4m前後を測る。002は、幅0.5～0.7m、検出長2.6m、深さ0.1～0.2m前後を測る。図示できる遺物の出土はなかった。現状では時期不明と言わざるを得ないが、覆土の状況から001が中世、002及び周囲のピットは平安期頃まで遡るか。001は、11グリッド内の東西方向溝と同一である可能性がある。

#### 14グリッド（第14・120図）

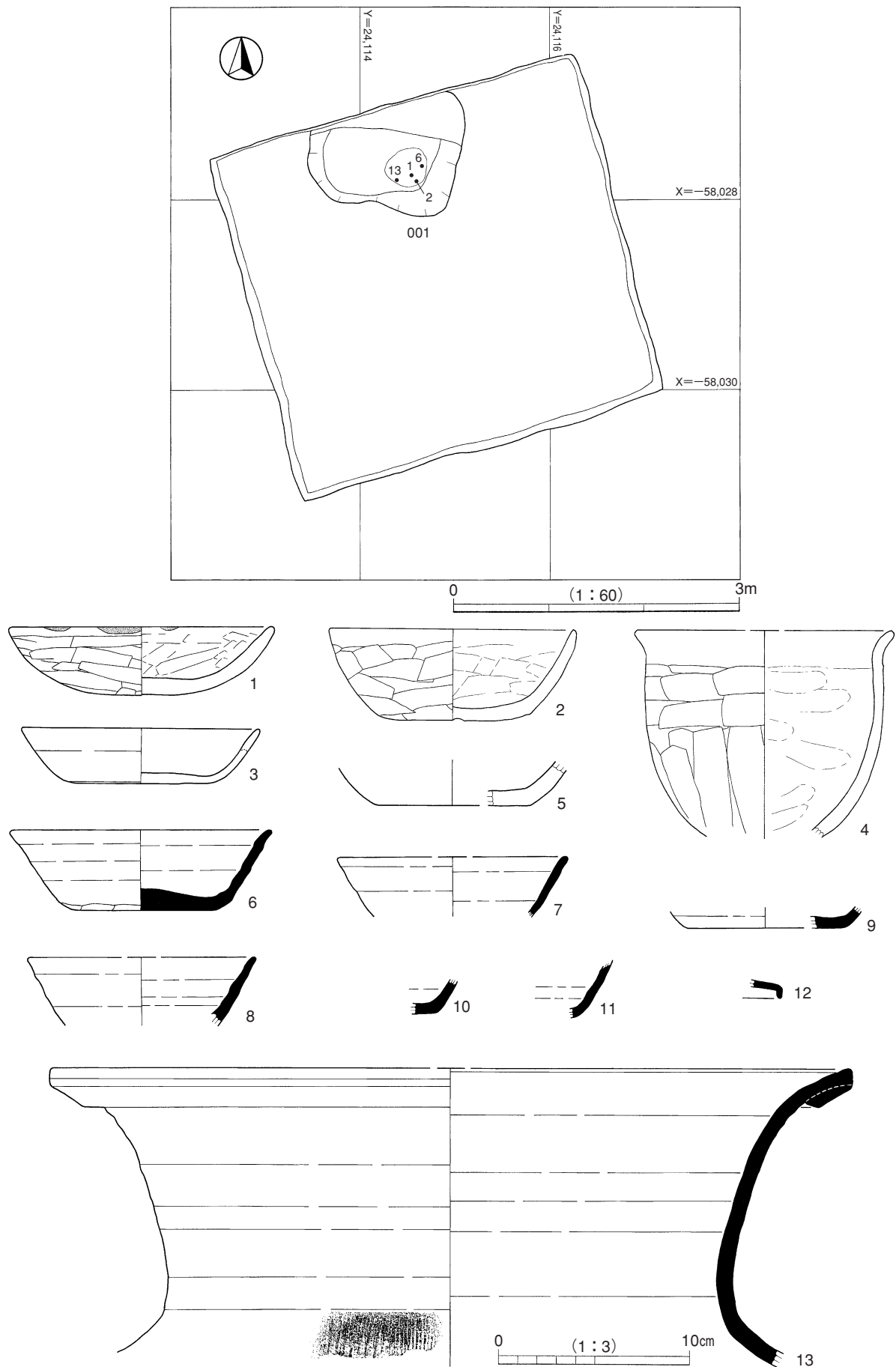
位置 調査区の西側に位置する。

形態 溝状遺構001が、グリッド中央を南北に縦走する。また、グリッド西端に土坑002が存在する。

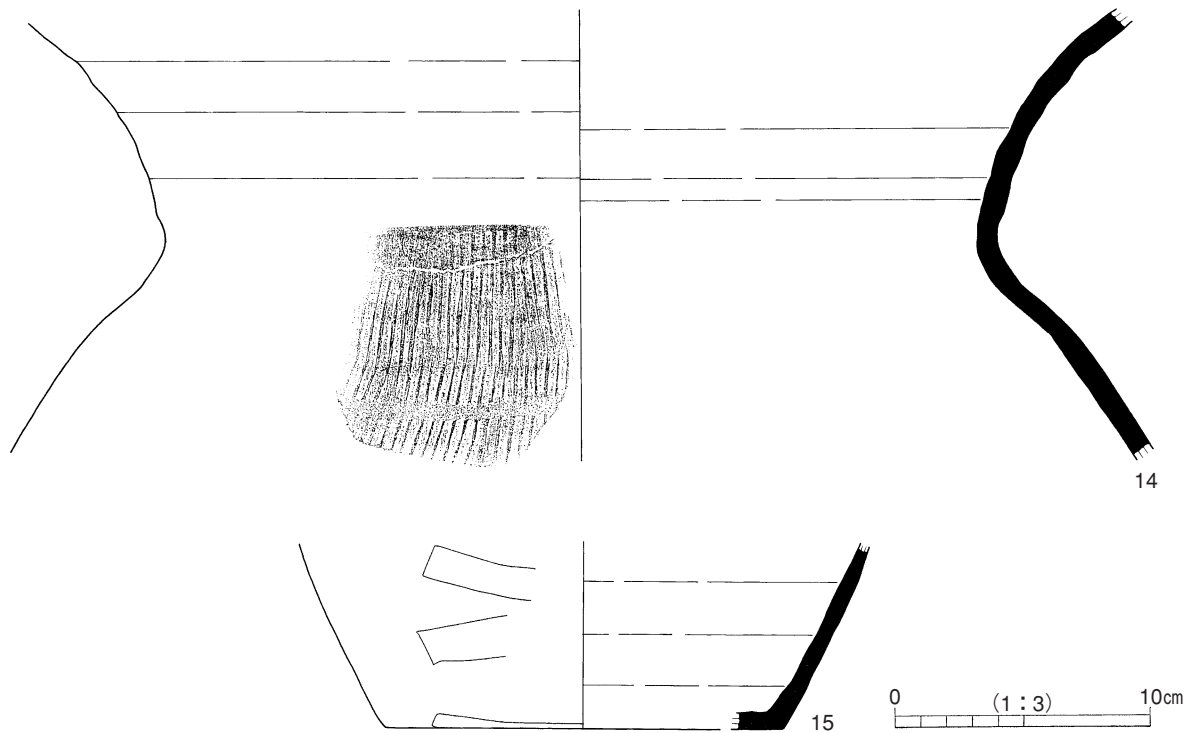
構造 溝状遺構001の規模は、幅0.6～0.8m、検出長5.1m、深さ0.3m前後を測る。遺物は、覆土中より丸瓦2及び平瓦3が出土している。11グリッド内の南北方向溝と同一である可能性がある。一括遺物としては、土師器甕の底部1、中世遺物として大窯4期の志戸呂窯の丸皿（中）1が出土している。



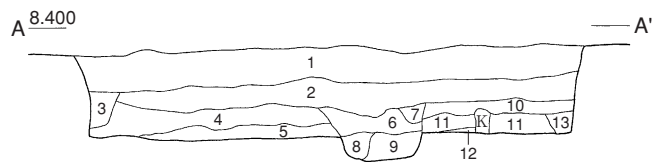
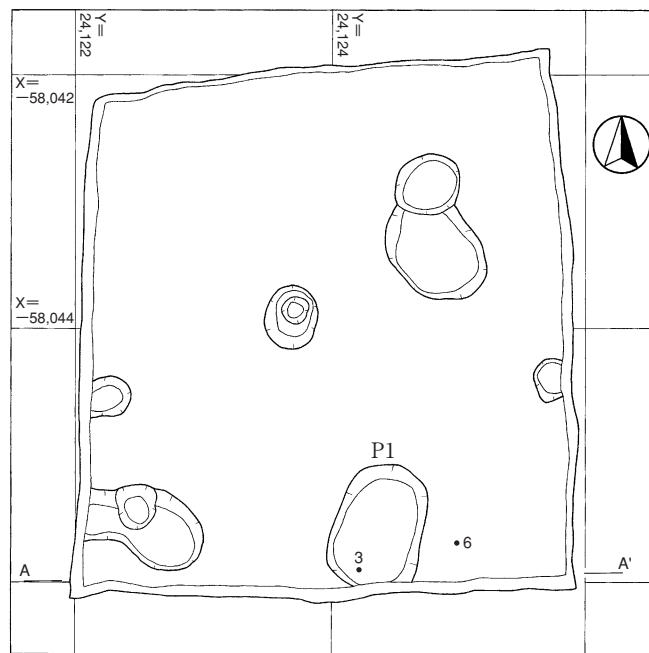
4グリッド



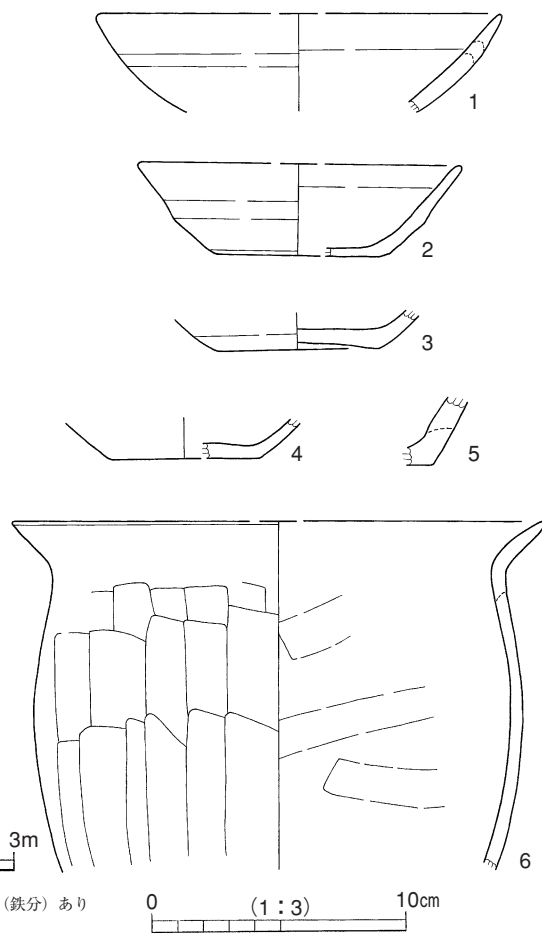
第11図 4グリッド



## 8グリッド

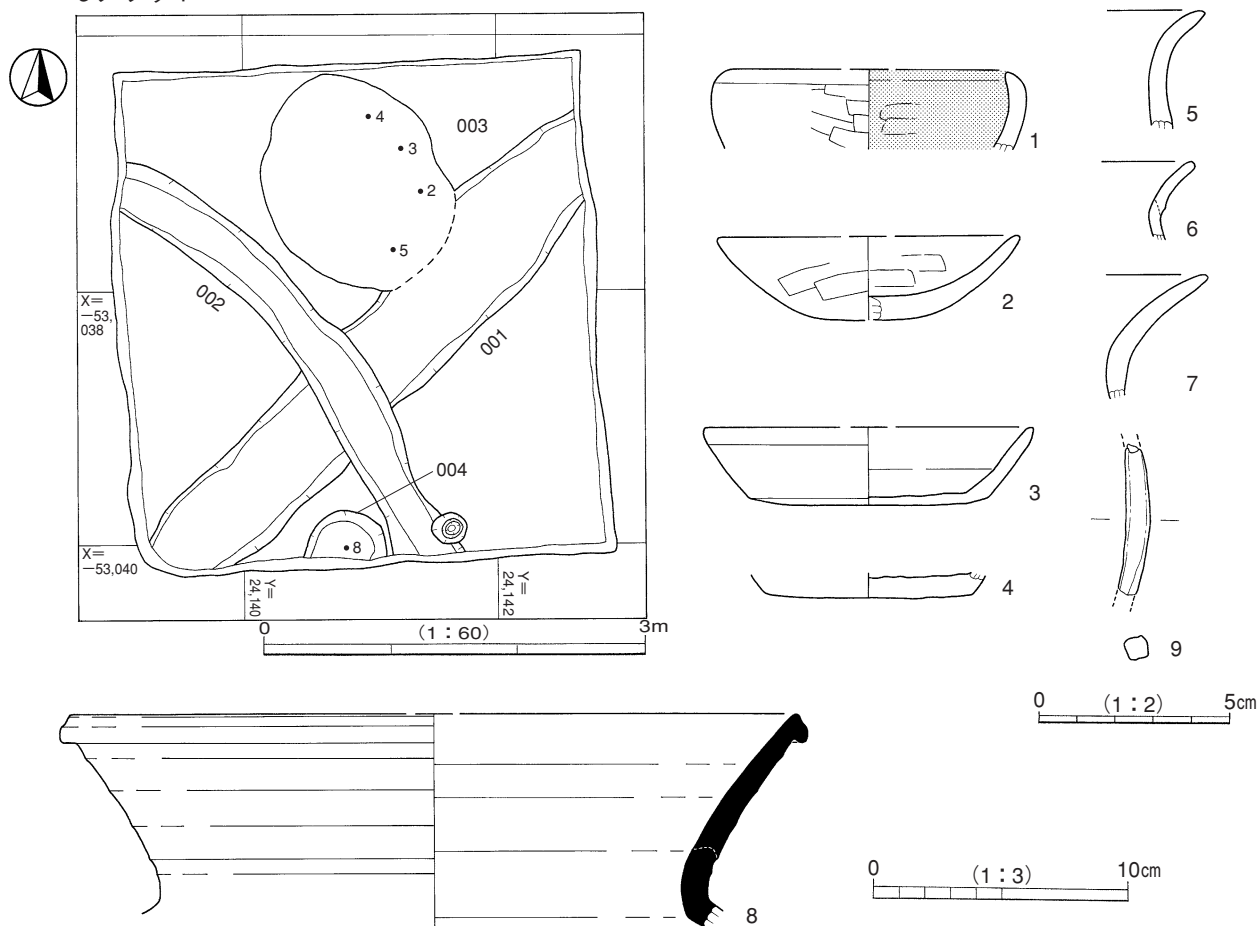


- |                                  |                              |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1 現表土                            | 8 暗灰色粘質土 6よりやや砂多い 褐色の斑（鉄分）あり |
| 2 暗褐色粘質土 黒色味強い 白色粒子を多く含む。        | 9 暗灰色粘質土 灰色粘土を斑に含む。          |
| 3 暗灰色粘質土                         | 10 暗灰色粘質土 褐色の斑（鉄分）顕著         |
| 4 暗灰色シルト質粘土 10より白色味強い 褐色の斑（鉄分）あり | 11 暗灰色粘質土                    |
| 5 暗灰色砂                           | 12 暗灰色砂 11より暗灰色粘質土少ない        |
| 6 暗灰色粘質土 褐色の斑（鉄分）あり              | 13 暗灰色砂質土 色調は10とほぼ同一         |
| 7 暗灰色砂質粘質土                       |                              |

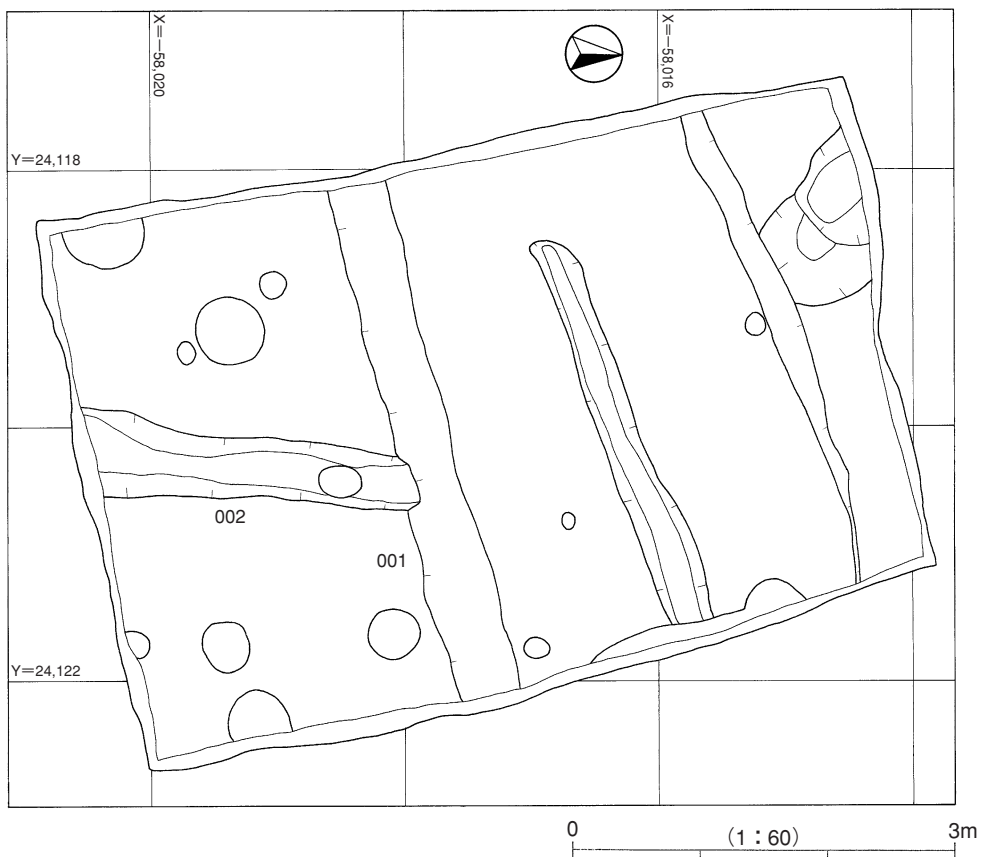


第12図 4、8グリッド

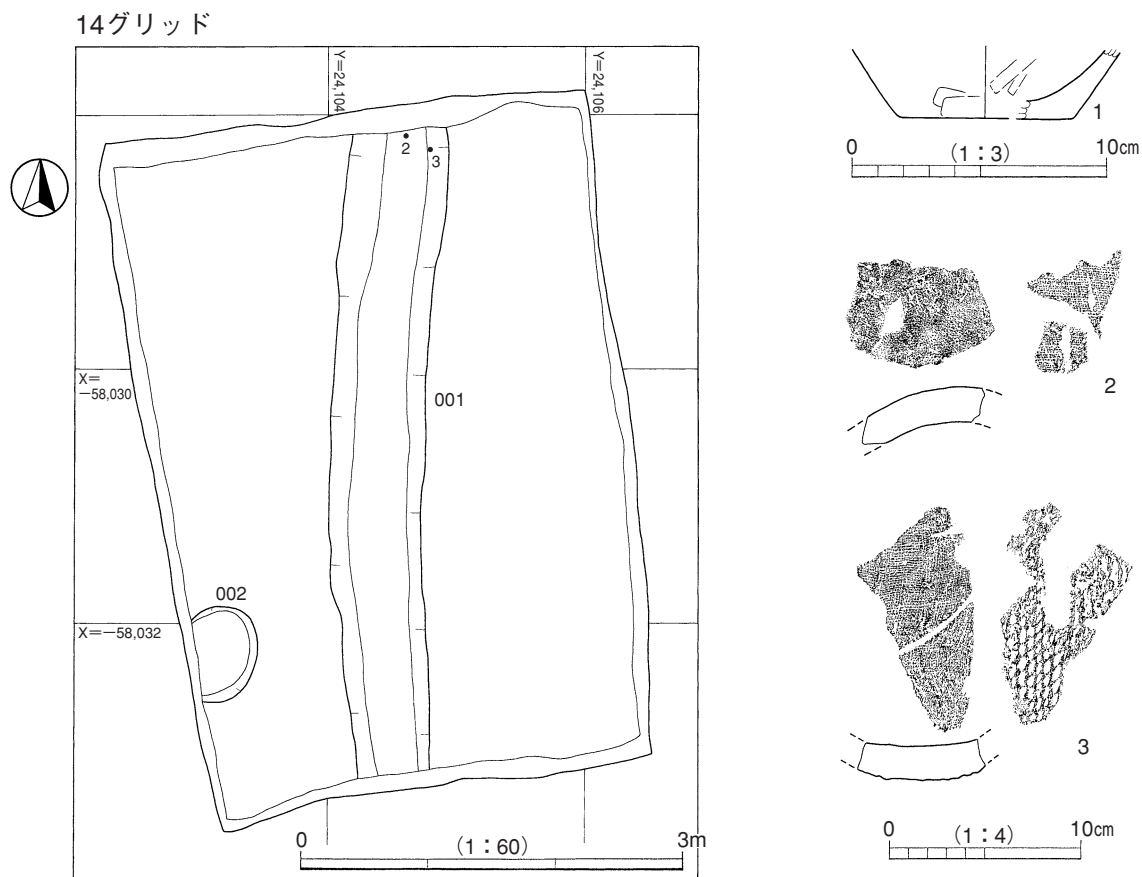
9グリッド



12グリッド



第13図 9、12グリッド



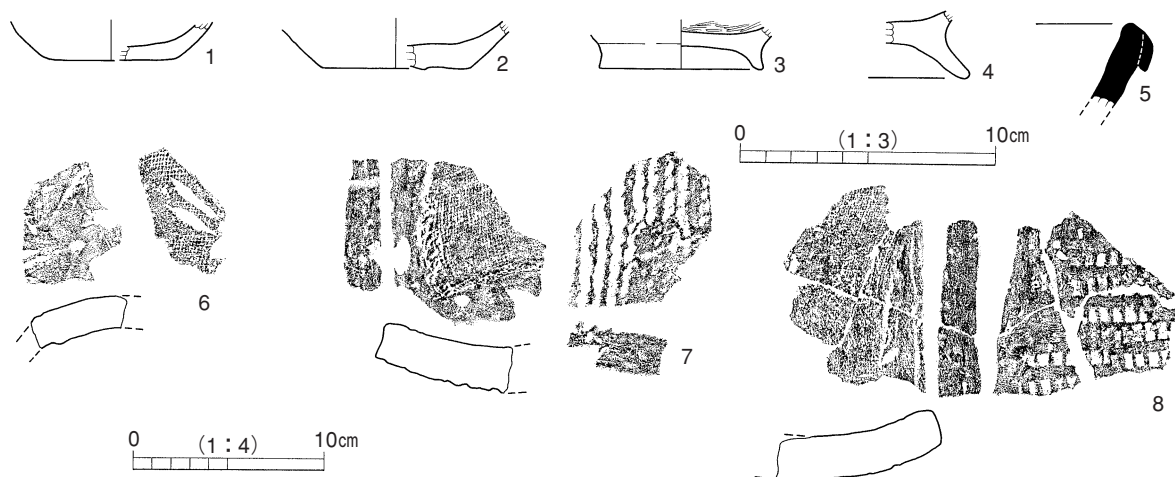
第14図 14グリッド

## 一括出土遺物

### 概要（第15図）

当調査地点では、遺物の出土が少なく、調査区一括遺物も同様である。西側200m程のところ至今富廃寺跡が存在することから、関連遺物の存在も想定されたが、瓦の出土が少数あるものの、多くは日常雑器が主体であった。

一括遺物1・2は土師器杯の底部、3はロクロ土師器杯の底部である。内面にミガキが施されている。4はロクロ土師器杯の高台部である。5は須恵器甕の口縁部、6は丸瓦、7は凸面に縄目タタキ痕、凹面に布目痕が確認できる平瓦、8は凸面に格子目タタキ痕、凹面に布目痕が確認できる平瓦である。布端部が瓦よりひとまわり小さく、凸型台一枚作りと思われる。



第15図 一括出土遺物



## 第4節 十五沢坊ヶ谷遺跡B2地点（第2次）

### 概要

海上地区遺跡群において、平成10年度に調査が行われた遺跡である。市単費事業として確認調査が行われ、経営体育成事業分として道路部分に限り本調査が行われた。調査によって検出された遺構は、溝・土坑及び井戸状遺構が主体となっている。確認調査は調査グリッドが計23ヶ所あり、遺構覆土の状況から奈良・平安期の可能性がある遺構と認定したものがある。下記グリッドの他にも同時期の遺構が存在している可能性があるが、採取されたデータが乏しいため、具体的に記述することは控えたい。北側は、養老川の自然堤防が東西に連なり、南側は沖積平野が広がっている。西側300m程度に初期寺院である今富廃寺跡があり、関連遺構の存在も考えられる地域である。（第10図 全体図参照）

### <確認調査>

#### 4 グリッド（第16・17図）

位置 調査区の北西寄りに位置する。

形態 グリッド中央において、不整な円形を呈する井戸状遺構001が検出された。

構造 001は、規模が、長径2.6m・深さ1.5m程度を測る。遺物は、遺構内から土師器杯1～9・台付甕底部10・甕11、須恵器甕12や灰釉陶器碗13・皿14が出土し、平瓦15・16も出土している。土師器には古相も見られるが、灰釉陶器碗13から10世紀前～中葉頃と考えられる。

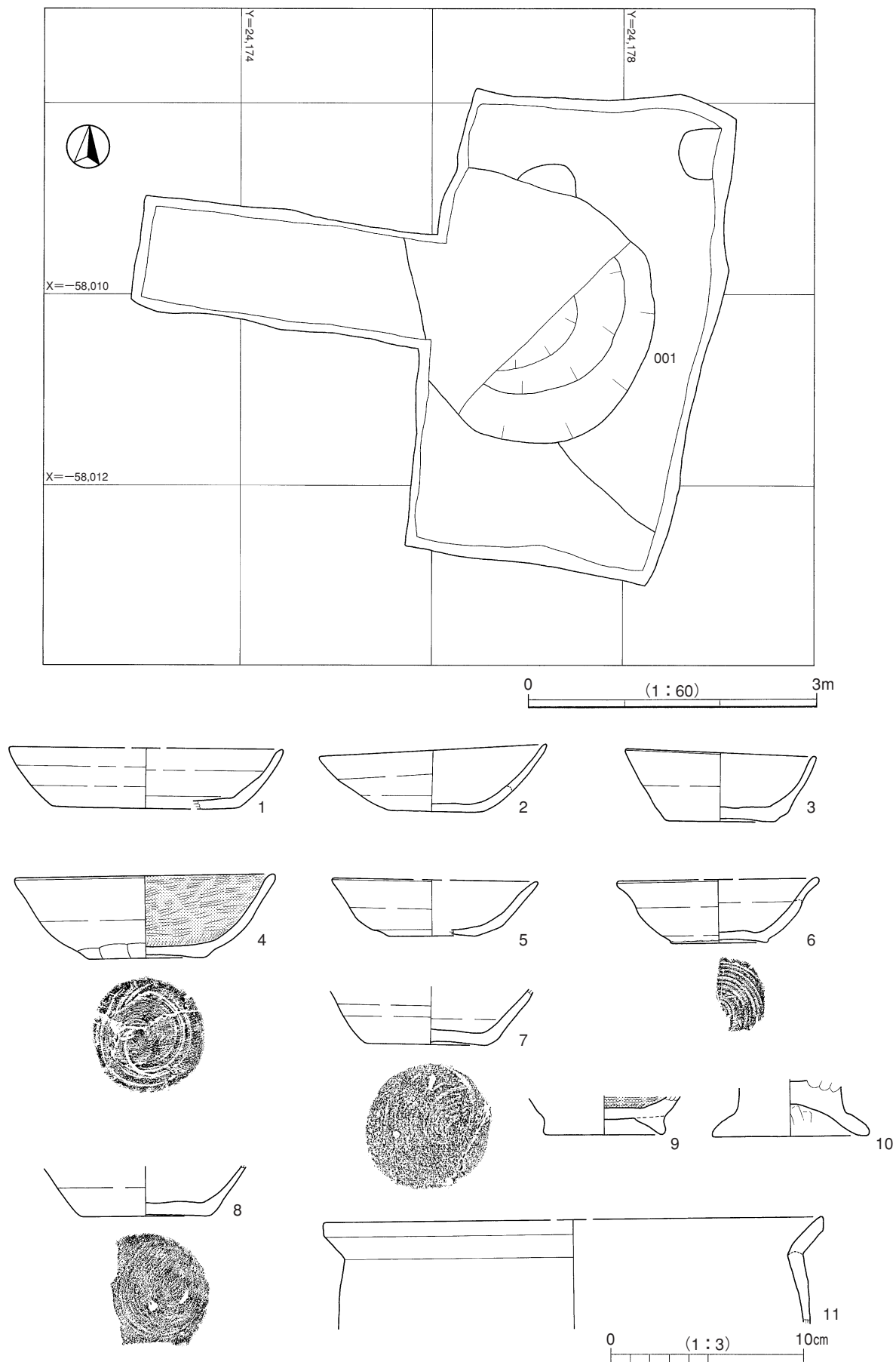
#### 5 グリッド（第17図）

位置 調査区中央北寄りに位置する。

形態 グリッド南東寄りにおいて、溝状遺構001が北東―南西方向に走っている。

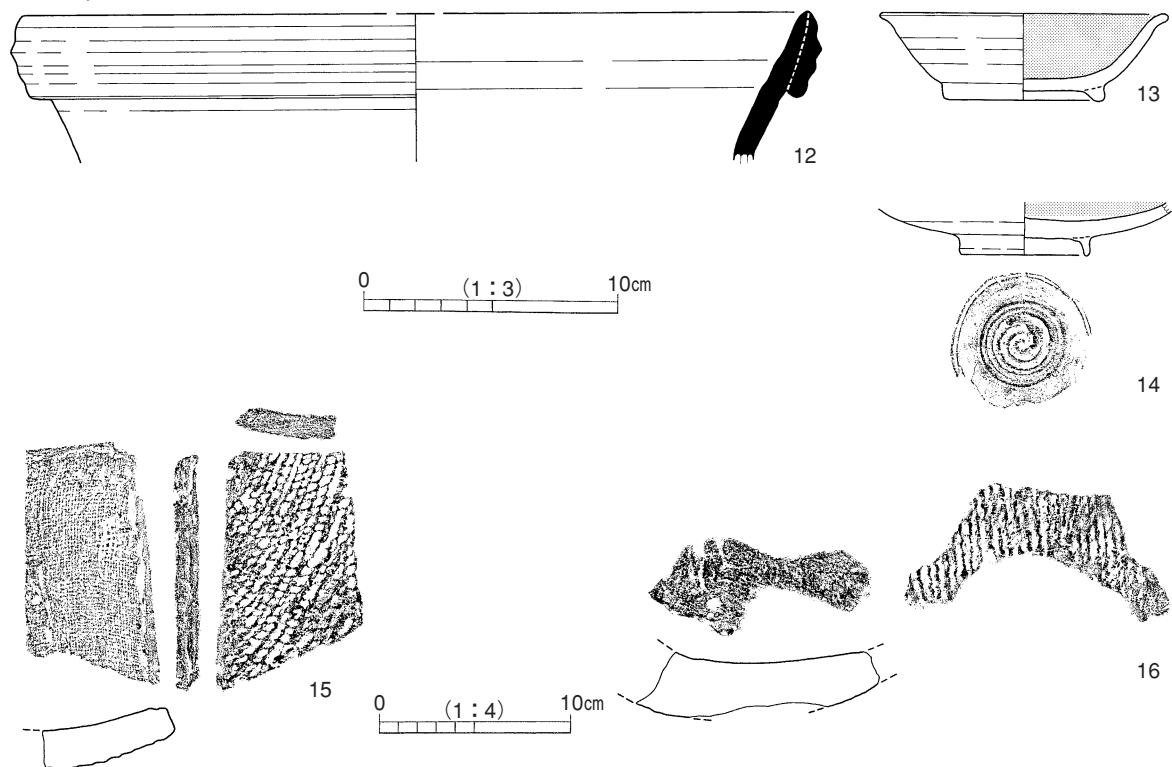
構造 001は、下場が一定せず、やや蛇行しながらグリッドを斜めに横断している。規模は、幅1.1～1.4m・検出長3.7m・深さ0.4m程度を測る。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土の状況から平安期まで遡るか。

# 4グリッド

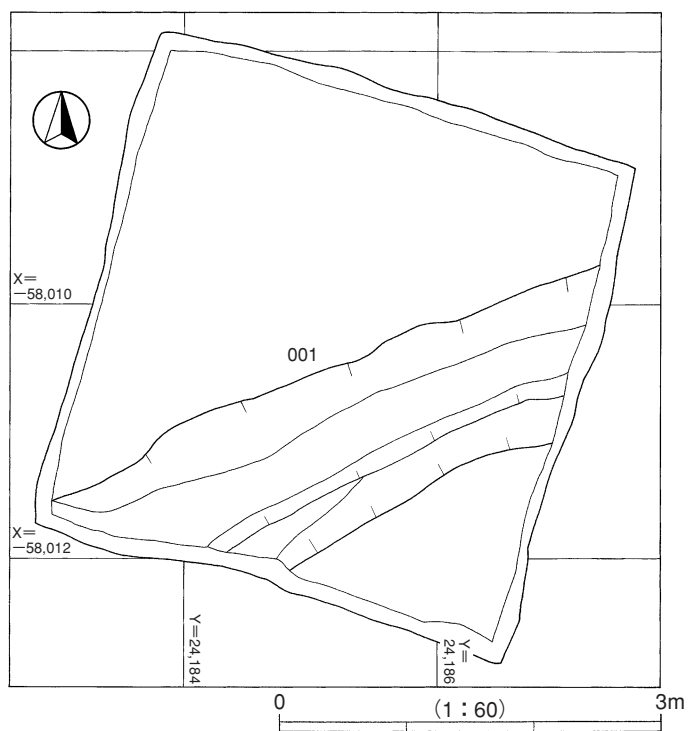


第16図 4グリッド

# 4グリッド



# 5グリッド



第17図 4・5グリッド

## ＜本調査＞

### 1. 竪穴建物（住居）跡・小竪穴状遺構

#### 概要

調査によって検出された竪穴建物（住居）跡は、奈良・平安時代の可能性がある1軒、また、住居としては規模が狭く、小竪穴状遺構とした遺構が1軒ある。

#### 001号跡（第18図）

**位置** 調査区の北側に位置する。

**形態** 北側は近世と思われる溝状遺構に切られており、南側半分程度が残存するのみである。隅の丸い不整な方形を呈する。北西―南東軸長7.05m、北東―南西軸長2.45m前後を測る。

**構造** 確認面からの掘り込みは、10～15cm程度で遺存状態は良くない。床面は、数次にわたる水流の影響を受け、流失してしまったのか一定ではなく、硬化面は検出されなかった。覆土は、暗黒灰色粘質土を主体とする。遺構内に土坑P1が存在する。平面規模は0.78×0.8m、深さ0.5m程度を測る。覆土は暗灰色シルト質粘質土を主体とする。本遺構に伴う柱穴の可能性があるとと思われる。他のピットやカマド及び、壁溝は検出されていない。

図示できる遺物の出土はなかったが、周囲から出土する遺物は、土師器・須恵器等の日常雑器が中心であり、井戸状遺構も少なからず点在していることから、本遺構については竪穴建物（住居）跡と判断しておきたい。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、覆土は暗黒灰色シルト質粘質土を主体としている。

#### 002号跡（第18図）

**位置** 調査区の北側に位置する。遺構の一部が西側調査区外に存在すると思われる。

**形態** 遺構上面は、近世以降と思われる溝によって削られており、下層部分のみが残存している状況である。やや隅の丸い不整な方形を呈する。北西―南東軸長3.7m、北東―南西軸長1.85m前後を測る。

**構造** 確認面からの掘り込みは、0.1～0.45m程度を測る。床面は堅牢ではなく、硬化面は検出されなかった。南側は近世溝によって削平を受けており、かろうじて底面において遺構の規模を推定するしかなかった。柱穴なども検出されていない。

遺物は土師器の小破片が少量出土するが、図示できる遺物の出土はなかった。周囲から出土する遺物は、土師器・須恵器等の日常雑器が中心であり、井戸状遺構も少なからず点在していることから、本地点における竪穴住居跡の可能性は充分考えられる。しかし、規模が小さいため、本遺構については小竪穴状遺構と判断しておく。

## 2. 溝状遺構

### 概要

調査によって検出された溝状遺構は、奈良・平安時代まで遡る可能性のあるものは、3条ある。それ以外に、灰色砂を主体とした近世以降と思われる溝が多数存在する。この中には、現在の畑境界線に平行する溝もあり、圃場整備前の地割りを一部示しているものと思われる。溝状遺構は、いずれも掘り込みが浅く、遺物が僅少であるため、覆土の状況で帰属時期を判断せざるを得なかったものがある。

### 003号跡（第19図）

**位置** 調査区のほぼ中央を北西—南東方向に縦断している。方向は、座標北を基準にして  $N-47^{\circ}$  —  $W$  前後である。

**形態** 平面規模は幅0.4×検出長5.6m、深さ0.1m前後を測る。北西、南東の溝端部は近世以降の溝によって、切られている。

**構造** 覆土は黒色粘質土を主体としている。遺存状況は良くない。図示できる遺物の出土はなかったが、近世以降の溝より遡ると思われる。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、平安期頃まで遡るか。

### 004号跡（第19図）

**位置** 調査区の南寄りを北東—南西方向に縦断している。方向は、座標北を基準にして  $N-39^{\circ}$  —  $E$  前後である。

**形態** 平面規模は幅0.6～0.9×検出長9.6m、深さ0.05m前後を測る。北東端部は、調査区内で途切れている。南西端部は、調査区外に遺構が延びていくと思われる。005号跡と溝の方向はほぼ一致しており、相互に関連する遺構の可能性がある。

**構造** 覆土は黒色粘質土を主体としている。遺存状況は良くない。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土から千葉市域産と思われる須恵器甕胴部片が出土している。あまり磨耗していなかった。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、9世紀前半頃まで遡るか。

### 005号跡（第19図）

**位置** 調査区の南寄りを北東—南西方向に縦断している。方向は、座標北を基準にして  $N-39^{\circ}$  —  $E$  前後である。

**形態** 平面規模は幅0.6～1.1m×検出長11.6m、深さ0.1m前後を測る。004号跡と溝の方向はほぼ一致しており、相互に関連する遺構の可能性がある。

**構造** 覆土は黒色粘質土を主体としている。遺存状況は良くない。遺物は覆土中から、須恵器杯の底部1が出土している。



### 3. ピット群

#### 概要

001号跡と002号跡の間に小規模なピットが多数存在している。直径は、0.16～0.45mを測るが、0.2～0.4m程度のピットが最も多い。また、深さは0.1～1.1m前後を測るが、0.2～0.4m程度のピットが最も多い。一部、千葉市域産と思われる須恵器の甕片や、中世遺物が出土したピットも存在する。しかし、各ピットの埋土等のデータが充分でないため、掘立柱建物跡等、具体的な遺構として認定することはできなかった。

#### 006号跡（第18図）

**位置** 調査区の北寄りに位置する。

**形態** 円形を呈する。平面規模は径0.7×0.7m、深さ1.1m程度を測る。

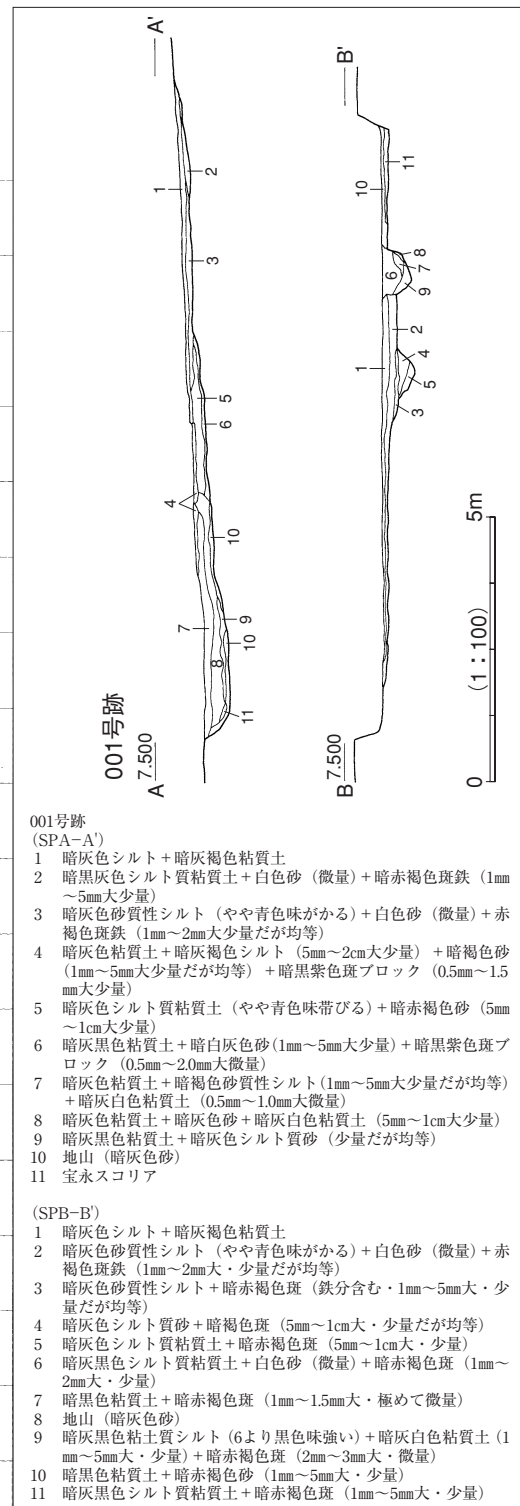
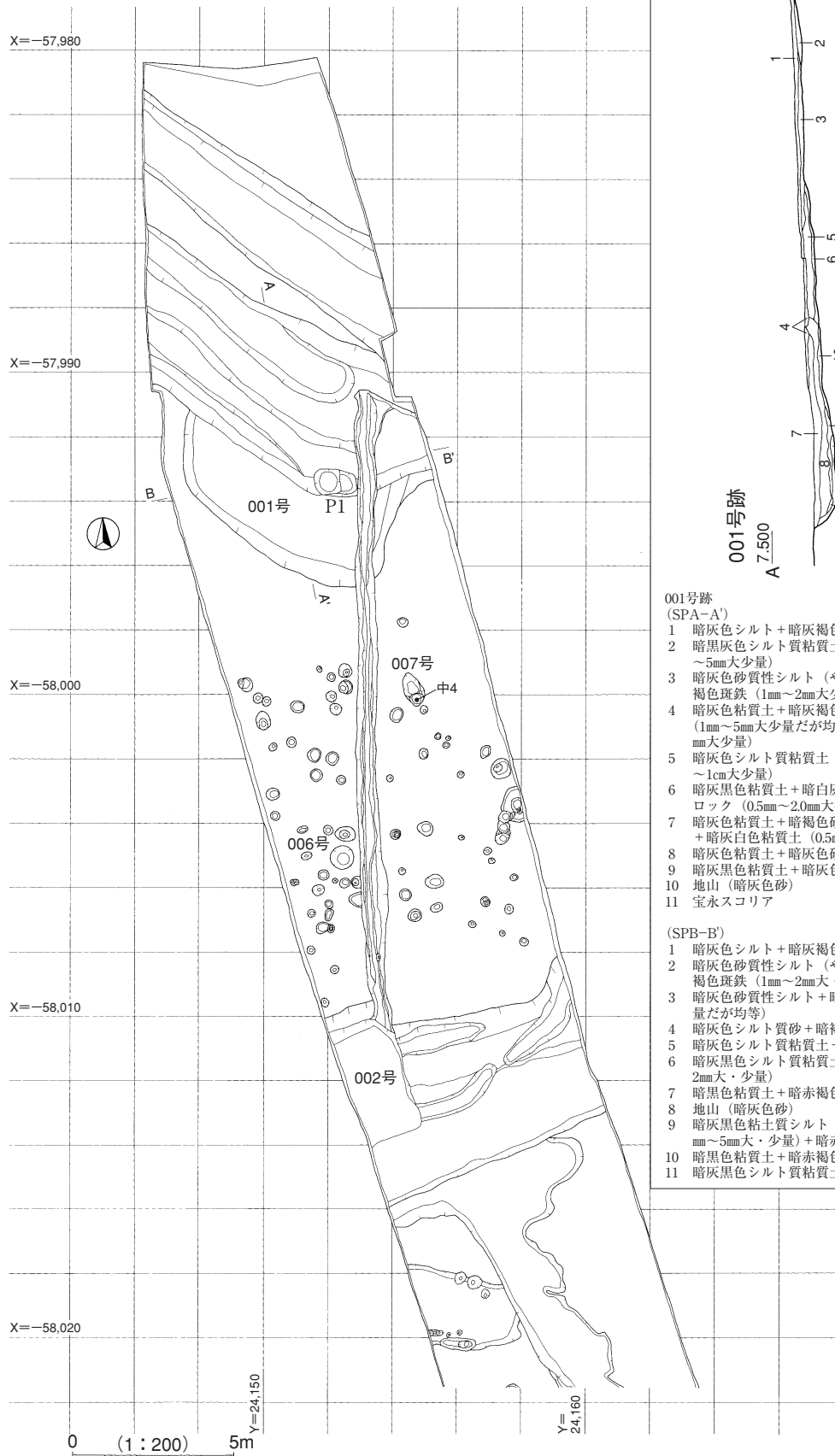
**構造** 図示できる遺物が出土はなかったが、千葉市域産と思われる須恵器の甕胴部片が出土している。埋土の状況が不明のため、遺構の性格を判断する根拠に乏しい。周囲に遺物は出土していないが、同時期のピットが存在している可能性があると思われる。

#### 007号跡（第18・121図）

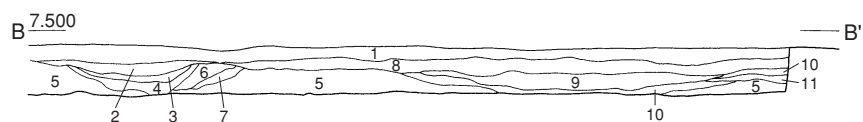
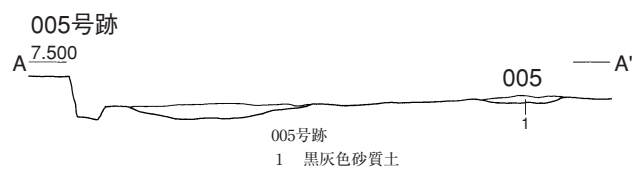
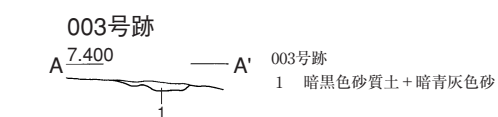
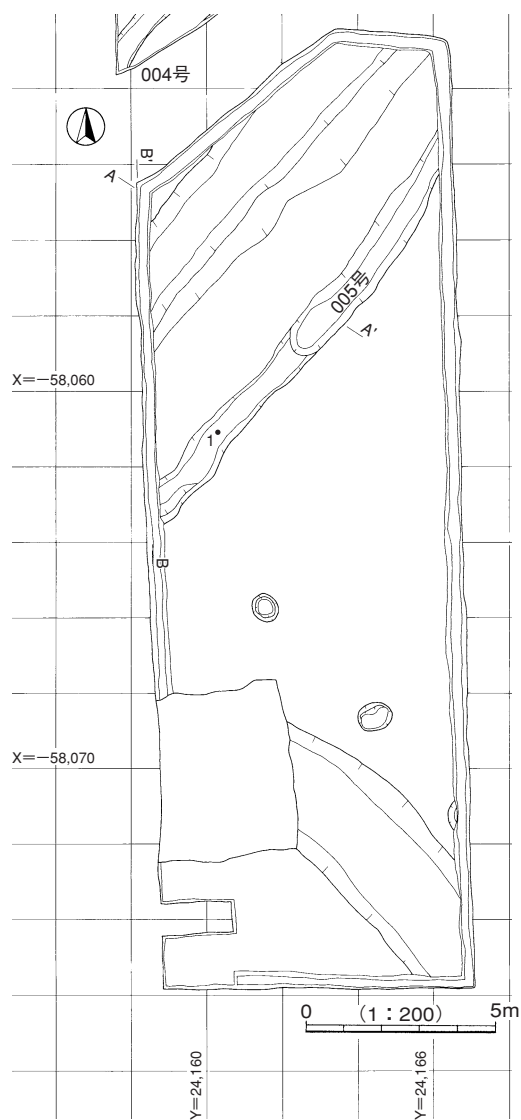
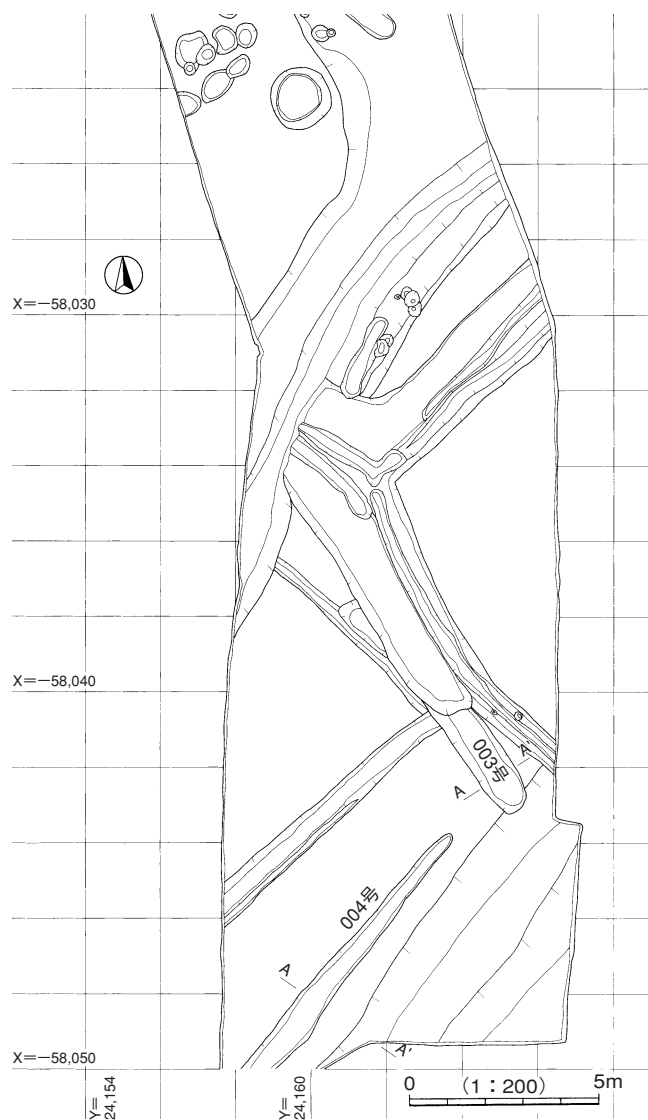
**位置** 調査区の北寄りに位置する。

**形態** 2つのピットが連結されたような形態を呈する。平面規模は径1.1×0.6m、深さ0.39m程度を測る。

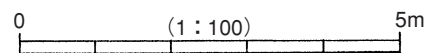
**構造** 2つのピットが連結されたような形態を呈するが、新旧関係は不明である。遺物は、南側ピット覆土より常滑窯の片口鉢（中）4が出土している。埋土の状況が不明のため、遺構の性格を判断する根拠に乏しいが、15世紀前半頃まで遡るか。周囲に遺物は出土していないが、同時期のピットが存在している可能性があると思われる。



第18図 十五沢坊ヶ谷遺跡B2地点①



- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 暗青灰色砂質土     | 7 暗黄色砂      |
| 2 暗緑灰色砂質土     | 8 暗青灰色砂質土   |
| 3 黒色土         | 9 暗緑灰色シルト質土 |
| 4 黄色砂         | 10 黄白色砂     |
| 5 灰オリーブ色砂質シルト | 11 暗灰色シルト   |
| 6 暗灰色シルト質砂    |             |



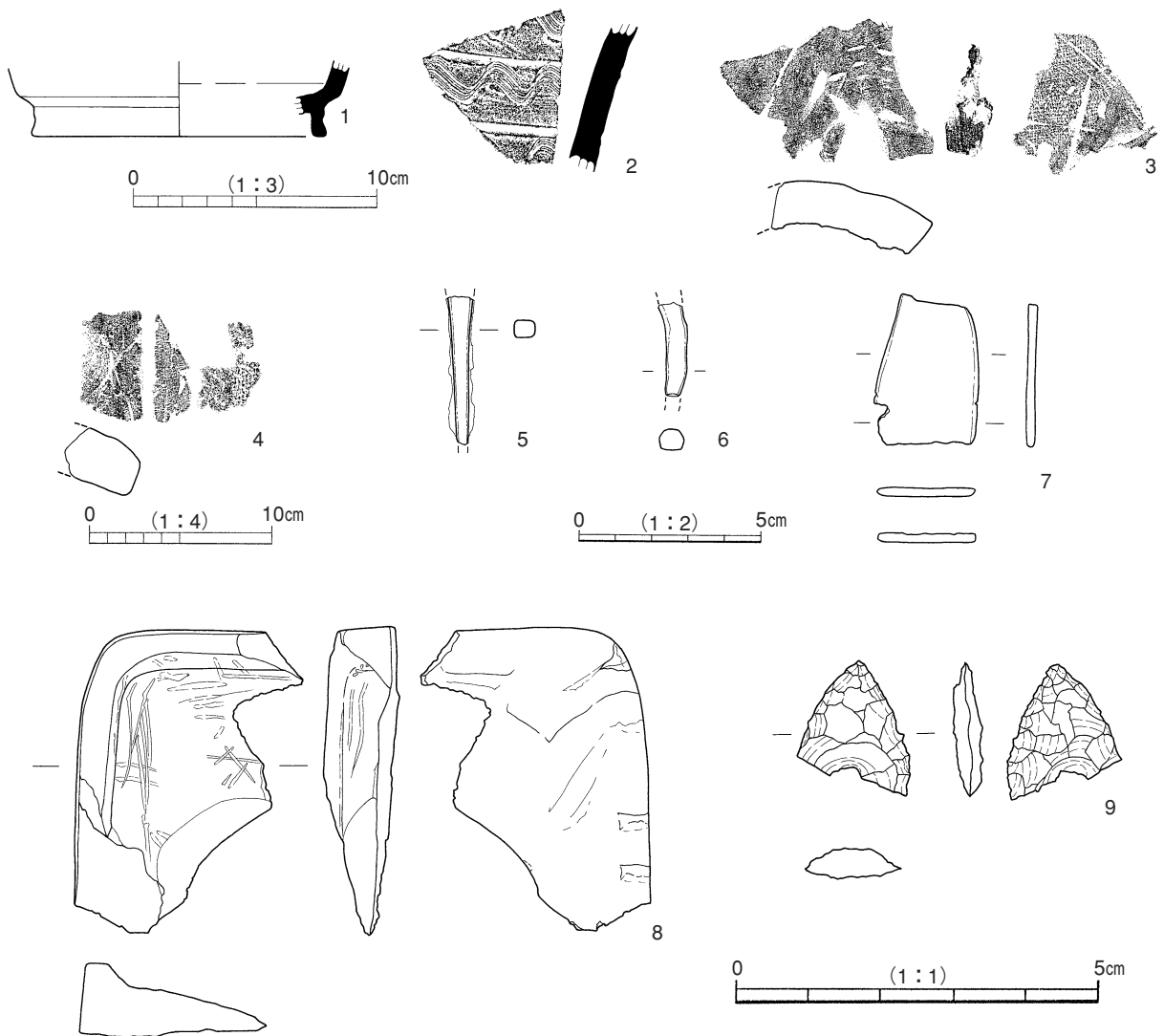
第19図 十五沢坊ヶ谷遺跡B2地点②

## 一括出土遺物

### 概要（第20図）

当調査地点では、遺物の出土が少なく、調査区一括遺物も同様である。西側300m程のところに今富廃寺跡が存在することから、関連遺物の存在も想定されたが、瓦の出土が少数あるものの、多くは日常雑器が主体であった。

一括遺物は、1が須恵器高台付杯の底部、2は須恵器甕の頸部である。沈線で区画された中に櫛描き波状文を施す。3・4は丸瓦。5・6は鉄釘、7は板状鉄製品である。8は硯片であろうか。割れ口が鋭利に磨かれたようになっており、刀子として再利用された可能性があるかもしれない。9は石鏃である。

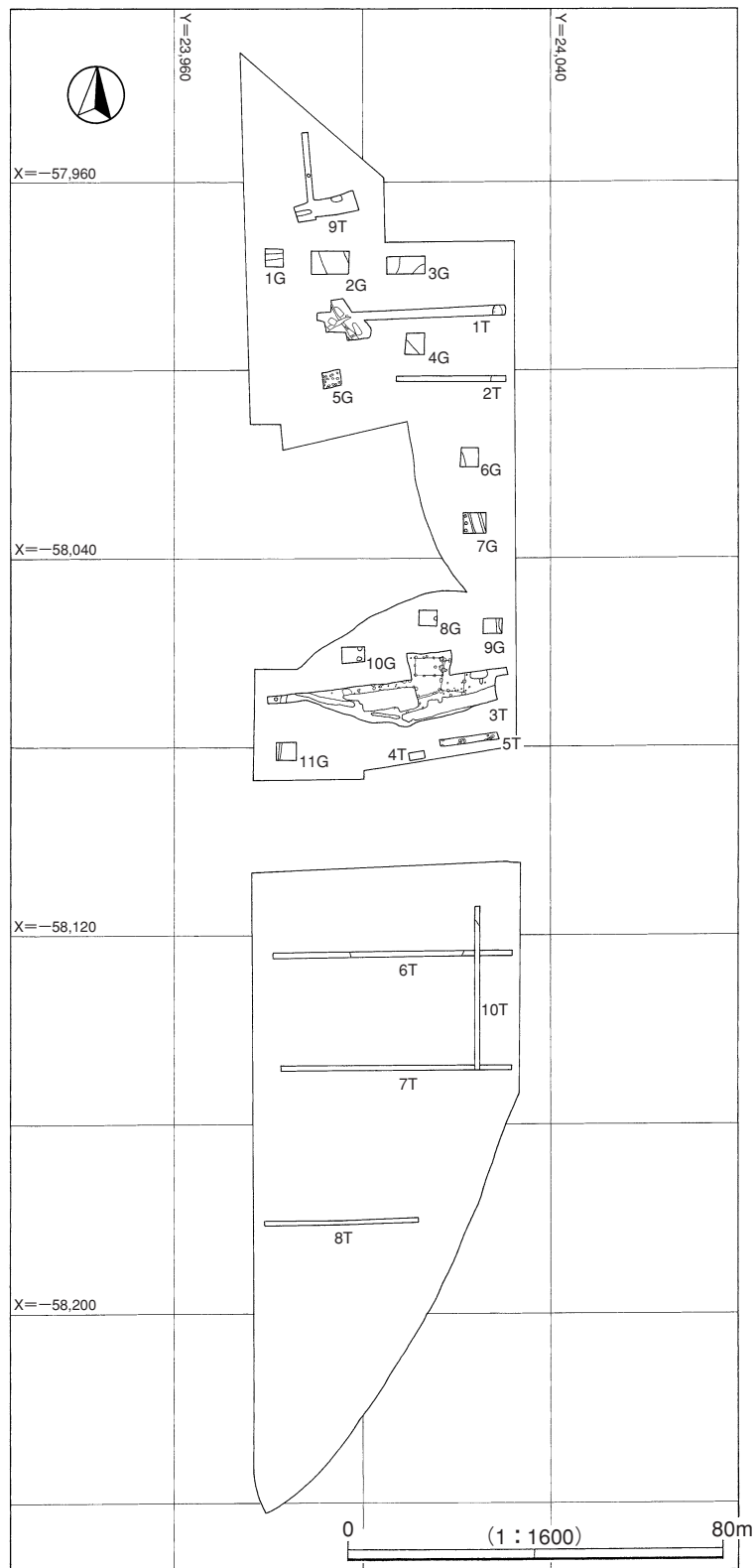


第20図 一括出土遺物

## 第5節 十五沢坊ヶ谷遺跡C地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成10年度に調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構



第21図 トレンチ配置図

は、掘立柱建物跡・溝・土坑及び井戸状遺構が主体となっている。北側は、養老川から供給された砂が自然堤防状に東西に連なり、南側は沖積平野が広がっている。西側約100mのところに初期寺院である今富廃寺跡があり、関連遺構の存在も考えられる地域である。ちなみに、本地点南側において、瓦塔の屋蓋部（隅棟部分）21が表採された。また、一括出土遺物として瓦当面を持つ軒平瓦32が出土している。一方、金属器では本地点南側において、太刀の貴金具（第127図4）が表採されており、中世期の遺構の存在も考えられる地点である。



### 1 トレンチ（第24図）

位置 調査区北寄りに位置する。

形態 トレンチ西側において、ピットや溝が存在している。

構造 ピットは、いずれも不整な方形を呈している。また、これらのピットと重複して溝が2条存在し、ほぼ直交しているように見える。新旧関係は不明である。遺物は平瓦片1が一括遺物として出土するのみである。図示できる中世遺物の出土はないが、覆土の状況から中世期まで遡る可能性がある。

### 3 トレンチ（第22・23図）

位置 調査区のほぼ中央に位置する。

形態 2×3間及び3×3間の掘立柱建物跡や溝状遺構が検出された。002号跡は、北側調査区外に遺構が展開しているものと思われる。

構造 掘立柱建物跡はトレンチ内北側を中心に確実なものは2棟ある。001号は、径40～60cm前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ側柱の掘立柱建物と思われる。桁行き3間・梁間2間で構成され、桁行き柱間の間隔は1.8m前後が多いと思われるが、2.0m程度離れているピットも存在している。また、梁間柱間の間隔も同様であると思われる。梁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-1°-Eである。埋土は、確認面上では暗黒灰色粘質土に黄灰色粘土ブロックが混入しているように見える。遺物は、全て一括出土であるが、土師器杯の底部片などが出土しているようである。002号は、径60～80cm前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ側柱の掘立柱建物と思われる。桁行き3間・梁間3間で構成されている可能性があり、桁行き柱間の間隔は1.8m前後が多いと思われるが、2.0m程度離れているピットも存在している。また、梁間柱間の間隔は1.5～1.8m前後であると思われる。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-8°-Eである（梁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-82°-W）。P1において柱材と思われる木製品がほぼ直立した状態で出土した。他の遺物は、全て一括出土であるが、土師器杯の底部片などが出土しているようである。ただし、遺物は001・002号共に遺構確認面上での出土であり、遺物は角が磨滅したものが少なからず存在している。以上のような状況から、奈良・平安時代まで遡る可能性が高いと思われるものの、それ以上の細かい帰属時期の判断は困難であると言わざるを得ない。ピットは規模が小さく、掘り方も不整な円形を呈するが、西隣する今富廃寺跡に関連する遺構である可能性があると思われる。

ちなみに、西側においてピットが矩形状に並んでいる箇所があり、2×3間の掘立柱建物跡の可能性も考えられたが、検出面積が極めて限定的であることから遺構として認定することは控えたい。

また、西端部から南寄り部分にかけて溝状遺構003号が存在しており、北西—南東方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-77°-W前後である。平面規模は、幅0.5～1.4m、検出長21.8m程度を測る。掘り込みは浅いと思われ、東側において途切れている。遺物は、全て一括出土であるが、土師器杯の底部片や灰釉陶器の長頸壺頸部などが出土しているようである。002号と振れの方法は類似しているが、今回の調査で得られたデータは極めて限定的であり、関連する遺構であると認定することは困難であると思われる。

トレンチ内の遺物は、土師器杯1～4、甕5～7、須恵器蓋8・9、杯10・11、灰釉陶器長頸壺頸

部12などが出土している。瓦は丸瓦13～26、平瓦27～41などが出土している。26は丸・平瓦の判別が難しい。

#### 7 グリッド（第24・25図）

位置 調査区中央東寄りに位置する。

形態 グリッド西側において、ピットが3基存在している。また東側において、溝状遺構が北西—南東方向に走っている。

構造 ピットは、いずれも隅の丸い方形を呈している。これらのピットが関連する柱穴であれば、座標北にかなり近い振れであろう。東側には溝状遺構が存在する。方向は、座標北を基準にしてN—15°—W前後であろうか。遺物は、全て一括出土であるがトレンチ内より須恵器高台付杯1などが出土し、他には丸瓦・平瓦片が出土している。

#### 10 グリッド（第25・121図）

位置 調査区中央西寄りに位置する。

形態 グリッド東側において、ピットが2基存在している。

構造 ピットは、いずれも不整な円形を呈している。これらのピットが関連する柱穴であれば、座標北にかなり近似する振れであろう。遺物は一括出土のみであり、トレンチ内より丸瓦片1や、中世遺物として青白磁の梅瓶（中）1が出土している。

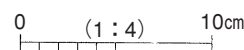
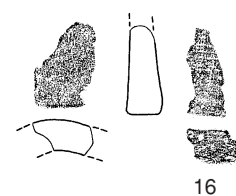
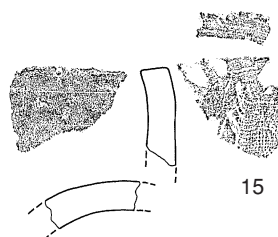
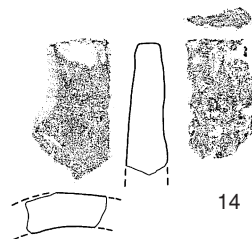
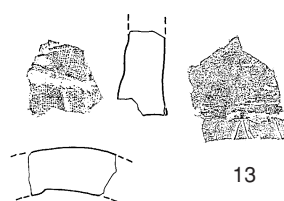
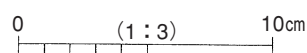
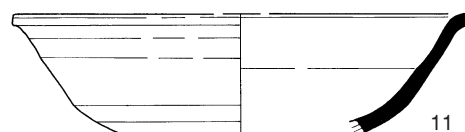
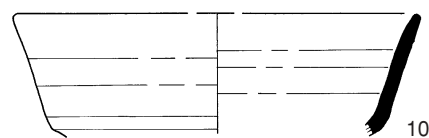
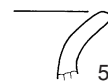
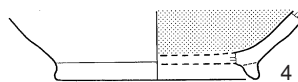
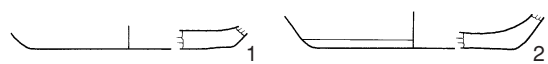
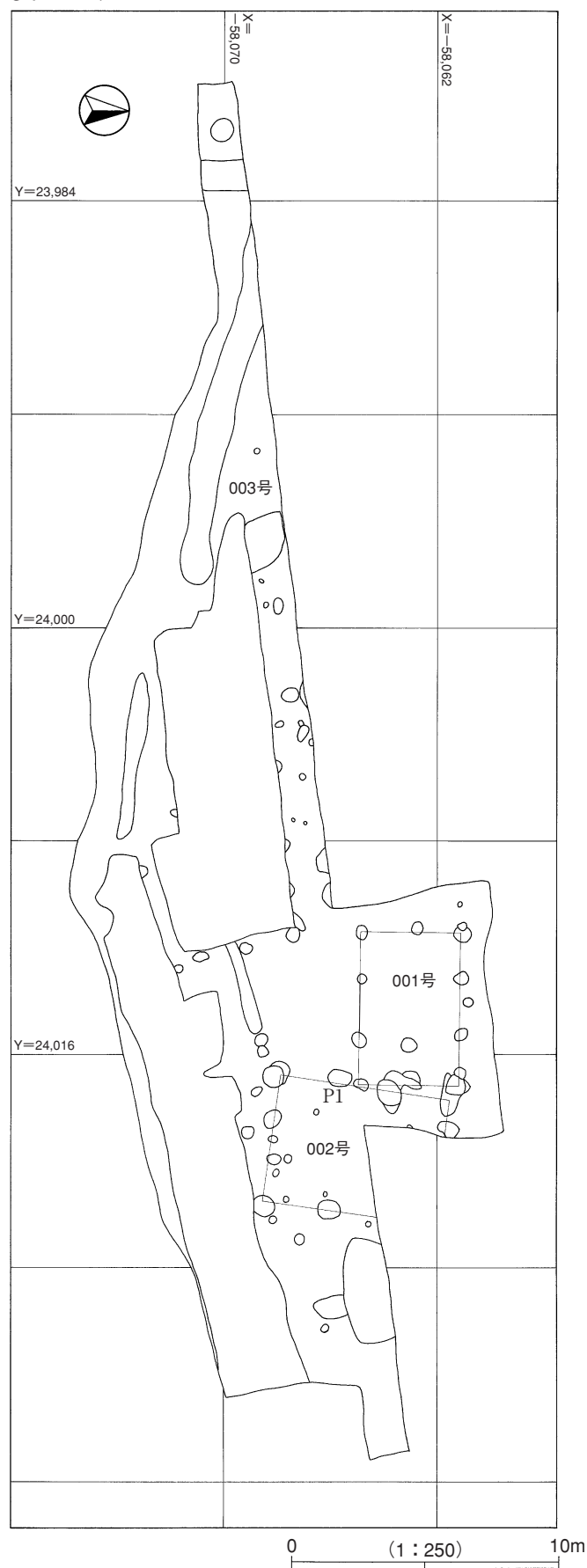
## 一括出土遺物

#### 概要（第25～27図）

本地点は、先述の表採された瓦塔の他に、周囲のB・D両調査地点に比べ瓦の出土が多い。

一括遺物は、1～6が土師器であり、1が無台杯、2～5が高台付杯、6が台付甕の台部である。7～17は須恵器であり、7～12が杯、13～15が蓋、16が長頸壺の底部、17が甕口縁部である。18は緑釉陶器皿の高台部、19は灰釉陶器皿の底部である。高台が三日月状を呈し、9世紀中葉頃か。20は灰釉陶器壺の胴部であろう。肩部に施釉されている。また、瓦塔の屋蓋部（隅棟部分）21が表採されている。半裁竹管を用いた押し引きによって瓦を表現しており、降棟部分はナデによって示されている。裏面は、ヘラ状の工具を用いたヘラ削り出しによって垂木を表現している。22～31は丸瓦。32は軒平瓦である。外区に珠文を持つ瓦当面を持つ。均整唐草文軒平瓦であろう。今富廃寺関連の出土瓦であろうか。33～49は平瓦である。そのうち33～44までは縄目タタキ痕、45～49は格子目タタキ痕をそれぞれ凸面に有する。50・51は「寛永通宝」。52は2トレンチ排土中より採集されたものである。時期は不明である。木偶人形の頭か。53は、加工木片である。

# 3トレンチ

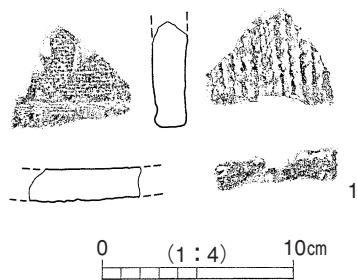
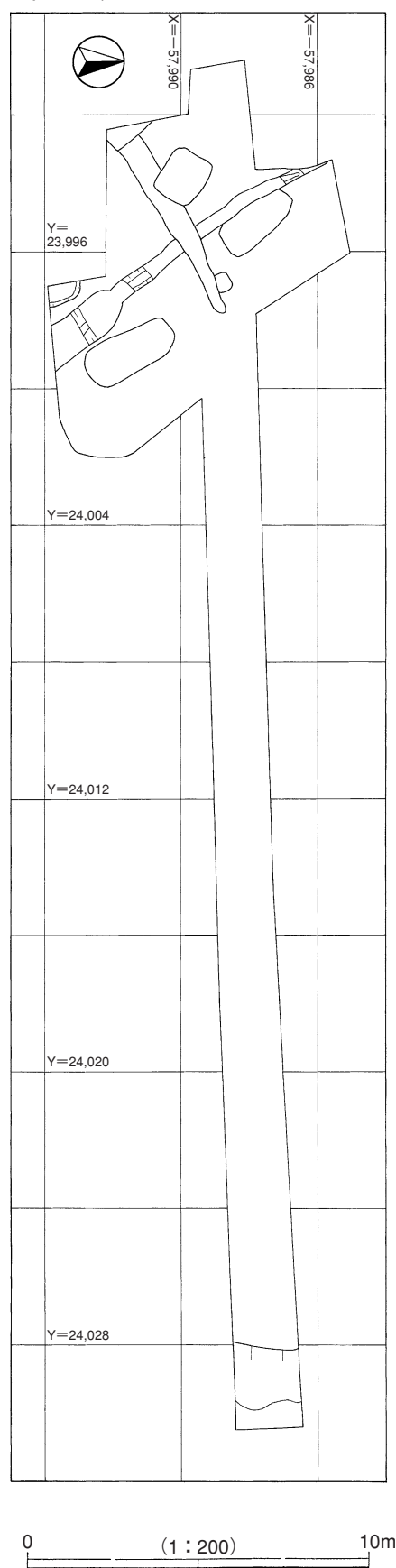


第22図 3トレンチ①

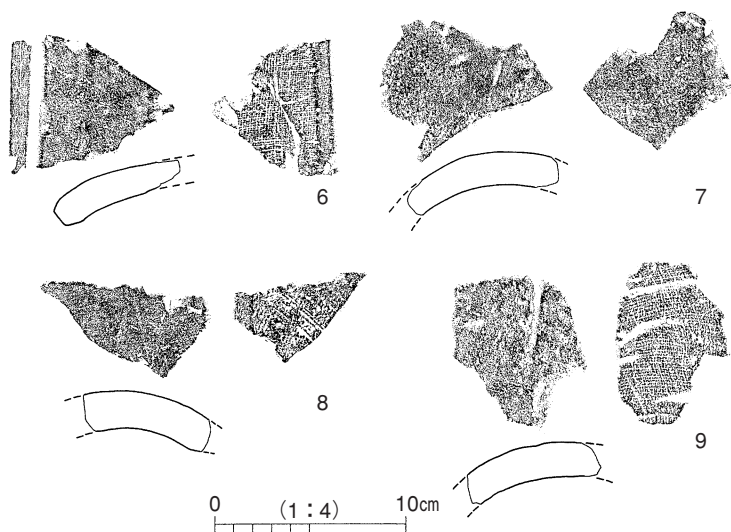
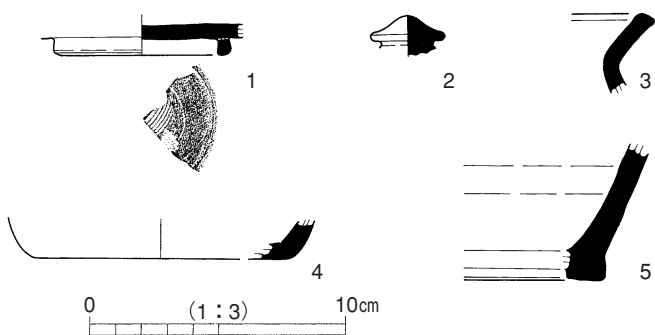
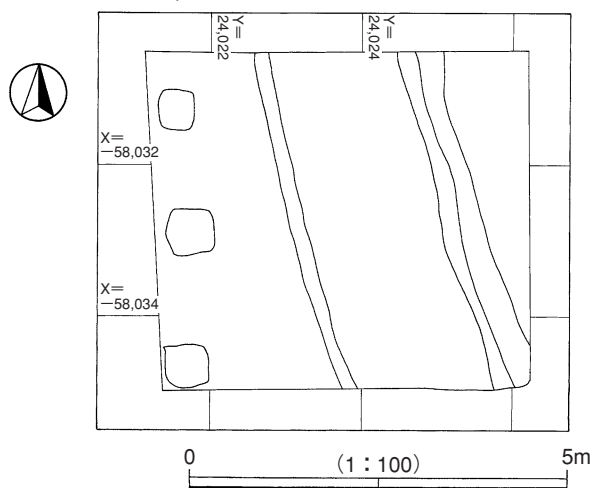


第23図 3トレンチ②

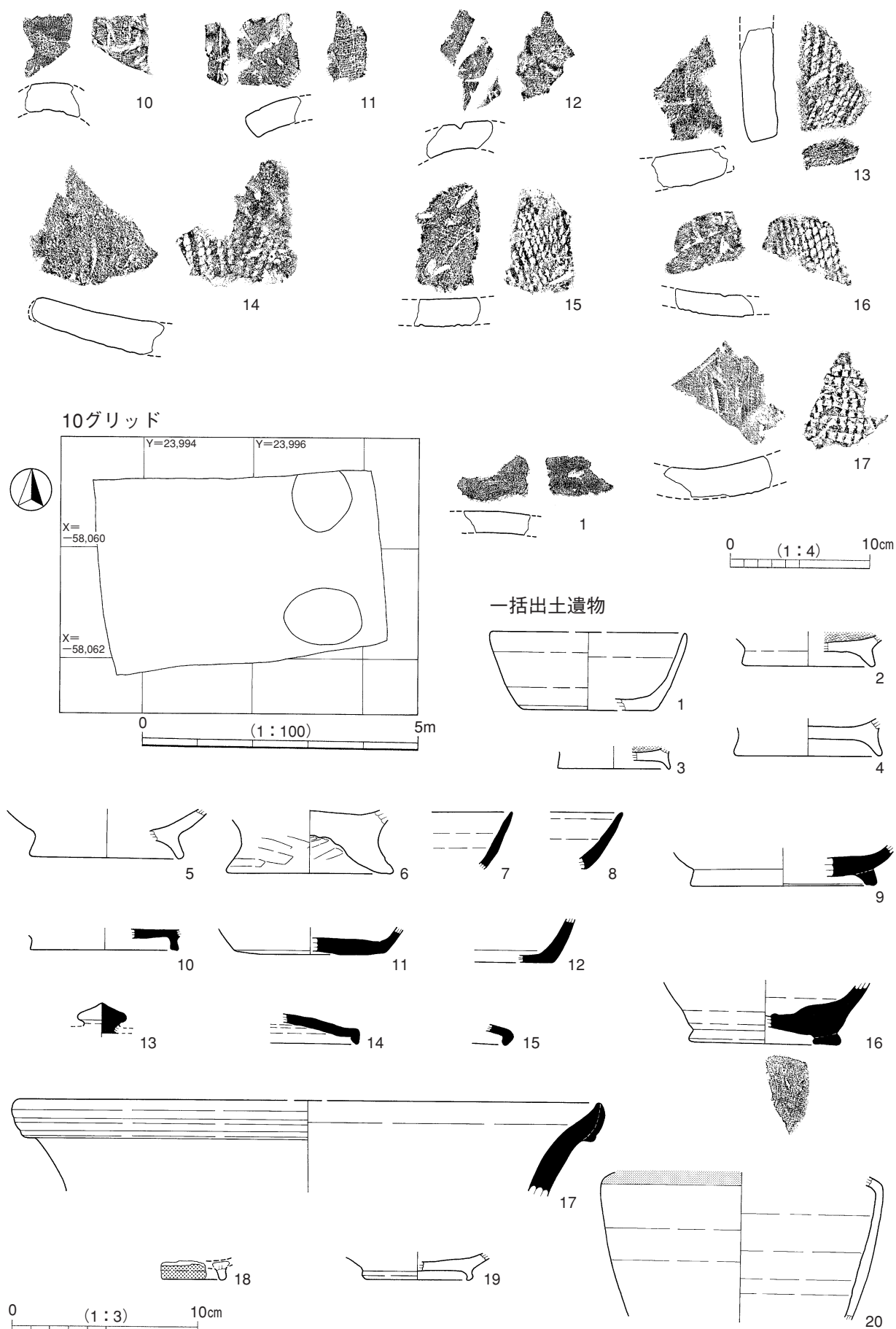
# 1トレンチ



## 7グリッド

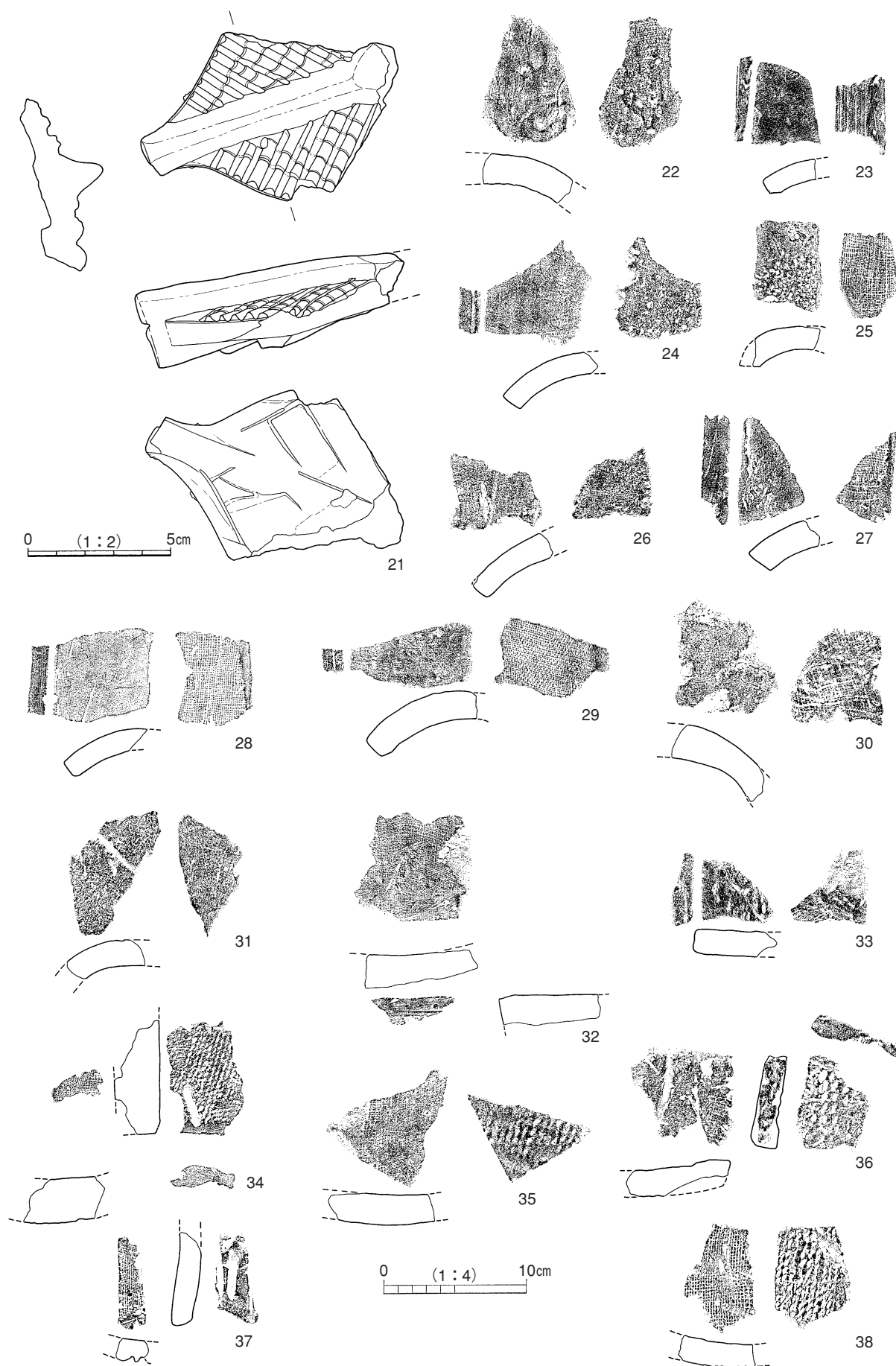


第24図 1トレンチ、7グリッド

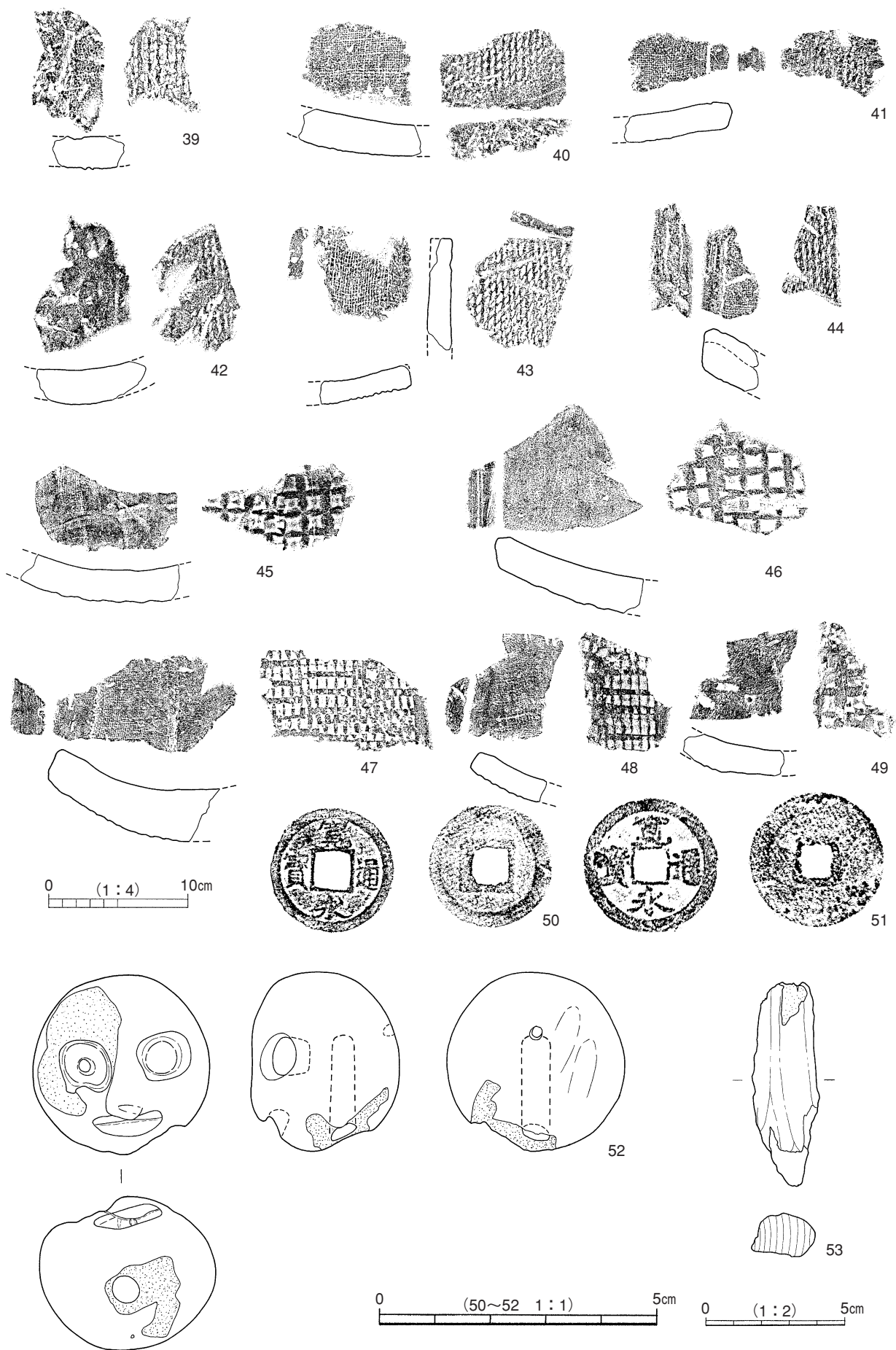


第25図 7グリッド、10グリッド、及び一括出土遺物①





第26図 一括出土遺物②

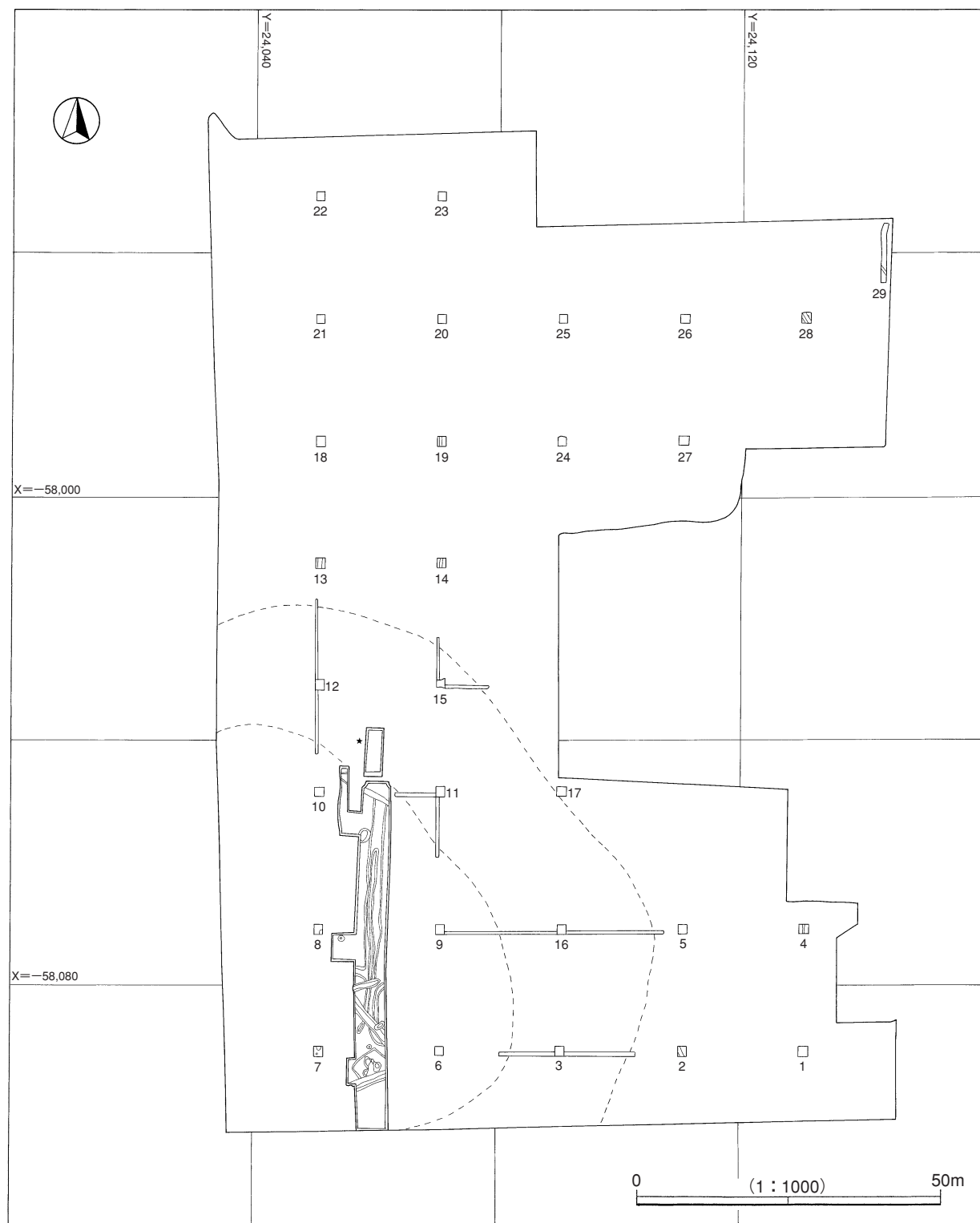


第27図 一括出土遺物③

## 第6節 十五沢坊ヶ谷遺跡D地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成11年度に調査が行われた遺跡である。確認調査グリッドは計29ヶ所あり、7グリッドにおいて掘立柱建物跡の可能性があるピットが確認され、8・28グリッドにおいてもピットが確認されている。他は、近世以降の溝が多くを占めている。



第28図 全体図

また、当地点の南西側において、幅20～25m、深さ2.0m前後を測り、堆積土は暗灰色砂質土を基本とする旧河川跡と考えられる流路に囲まれたエリアがあり、流路内堆積土の分析によると（第28・29図）（註）、平均粒径・歪度それぞれ砂丘砂及び海浜砂の特徴を示す砂が複合的な環境下で堆積していたと結論づけている。西壁砂層は、海浜砂と砂丘砂の境界線上にあるとしていることから、海浜部であった本地点が陸地化した後、旧河川が成立し砂丘砂が供給された可能性が推測できるかもしれないと思われる。旧河川内の調査グリッドより竪穴建物跡等の遺構が確認されたため、保存が困難な道路施行部分に限って、一部本調査が行われた。検出された遺構は、竪穴建物・土坑及び溝が主体となっている。本調査地点において、単弁八葉蓮華文の瓦当を持つ軒丸瓦や均整唐草文軒平瓦が出土しており、今富廃寺関連の出土瓦と思われる。しかし、今回検出された005号跡と西隣するC地点3トレンチ内掘立柱建物跡の関係について、振れの方が近似している部分は見受けられるが、これらを一括して結び付け、さらに西にある今富廃寺跡との規格・関連を考えることについては、データ不足の感否めず、なお検討を要すると言わざるを得ない。

（註）「平成11年度 市原市文化財センター年報 附編 十五沢坊ヶ谷遺跡D地点における砂層の粒度分析」参照

## <本調査>

### 1. 竪穴建物跡

#### 概要

調査によって検出された竪穴建物跡は、奈良・平安時代の可能性がある1軒のみである。

#### 001号跡（第29・30図）

位置 調査区の南側に位置する。

形態 南側は002号跡と重複し、北半分程度が残存するのみである。本遺構の方が古いと思われる。隅のやや丸い不整な方形を呈する。北東—南西軸長5.2m、北西—南東軸長3.7m前後を測る。

構造 確認面からの掘り込みは、0.2m程度で遺存状態は良くない。床面は、数次にわたる水流の影響を受け、流失してしまったのか一定ではなく、掘り方と思われる不整形な土坑状の落ち込みが露出している。硬化面は検出されなかった。カマドや、柱穴及び壁溝も検出されていない。ただ、南西側にあるピットP1や002号跡内にあるピットP2が柱穴の一部となるか。深さはP1が0.3m、P2が0.2m程度を測る。堆積土は、黒色粘質土を主体とする。

遺物は覆土上層からの出土が多く、土師器杯1と甕の底部2が出土している。他に瓦の出土があり、覆土下層より単弁八葉蓮華文の瓦当を持つと思われる軒丸瓦3が出土している。龍角寺出土瓦の系譜を持つものと思われる。西側に所在する今富廃寺跡から出土した軒丸瓦にも、同系のものが含まれており、同廃寺関連の出土瓦である。なお、周囲から出土する遺物は、土師器・須恵器等の日常雑器が中心であり、井戸状遺構も少なからず点在していることから、本地点における竪穴建物（住居）跡の存在は考えられると思われる。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、覆土は黒色粘質土を主体としていた。

## 2. 溝状遺構・土坑跡

### 概要

調査によって検出された溝状遺構は、奈良・平安時代まで遡る可能性のあるものは、4条ある。それ以外に、灰色砂を主体とした近世以降と思われる溝が存在する。溝状遺構は、いずれも掘り込みが浅く、遺物が僅少であるため、覆土の状況で帰属時期を判断せざるを得なかったものがある。

#### 002号跡（第29・30図）

**位置** 調査区の南側を北東—南西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-69°—E前後である。

**形態** 平面規模は幅1.3～1.6×検出長5.5m、深さ0.3m前後を測る。北側において001号跡と重複するが、本遺構の方が新しいと思われる。

**構造** 覆土は黄白色砂質土に黑色粘土ブロックが混入する。遺存状況はあまり良くない。遺物は、底面上から灰釉陶器の碗1や平瓦片4・5が出土している。1は底部内面が著しく磨耗しており、硯に転用された可能性があると思われる。また、覆土中より灰釉陶器の碗2や土師器の甕底部3が出土している。堆積土は新相の印象を持つが、出土遺物はいずれも古く、9世紀中～後葉まで遡る可能性があると思われる。

#### 003号跡（第29～31図）

**位置** 調査区の南側を北西—南東方向に縦断している。方向は、座標北を基準にしてN-43°—W前後である。

**形態** 平面規模は幅1.5～1.7×検出長7.2m、深さ0.1～0.2m前後を測る。西側において004号跡、また東側において溝や土坑と重複するが、新旧関係は判然としない。

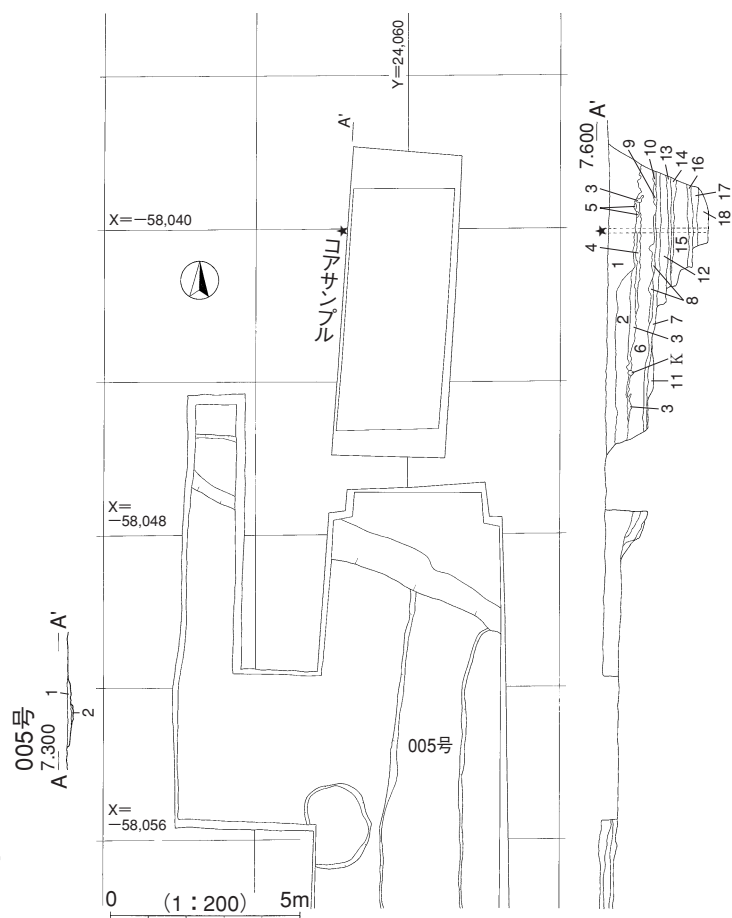
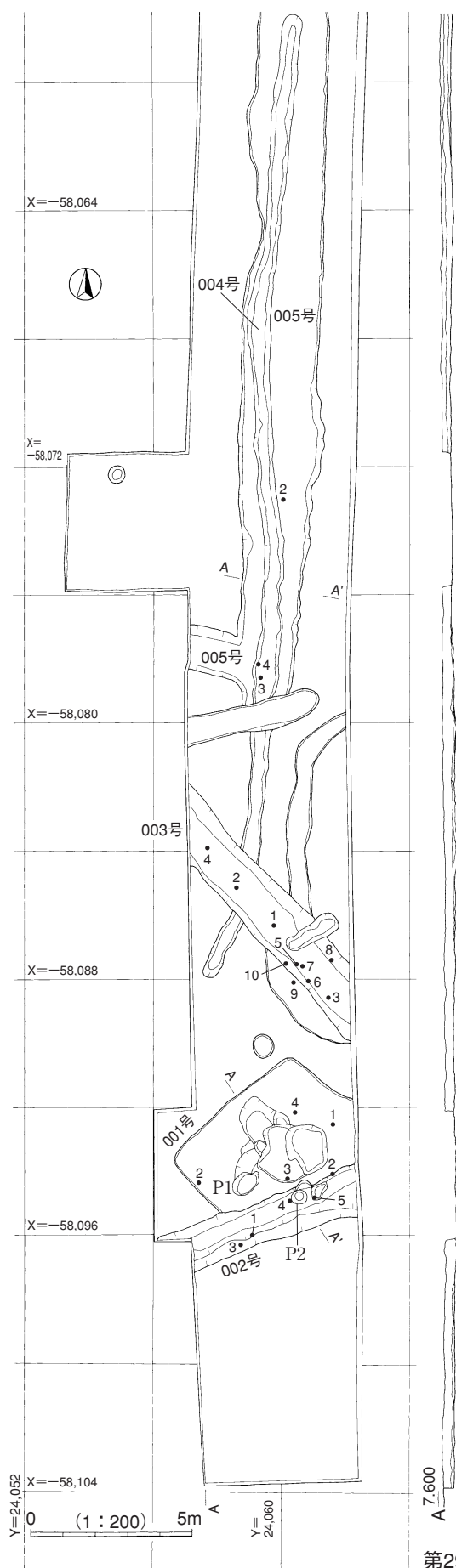
**構造** 覆土は褐色砂を含む黑色粘質土を主体とする。遺存状況は良くない。遺物は、底面上から土師器の杯底部1や灰釉陶器の長頸壺底部2、及び丸瓦3・4、平瓦6が出土し、覆土中より瓦当面のある軒平瓦5が出土している。外区の珠文及び唐草文の一部が残存している。均整唐草文軒平瓦であろう。他には、平瓦7～10が出土している。9世紀中～後葉まで遡る可能性があると思われる。

#### 004号跡（第29・31図）

**位置** 調査区のほぼ中央を南北方向に縦走している。方向は、座標北を基準にしてN-5°—E前後である。

**形態** 緩いS字状を呈する。平面規模は幅0.4～0.8×検出長30.4m、深さ0.2m前後を測る。005号跡及び、南側において003号跡と重複している。005号跡より古いのが、003号跡との新旧関係は判然としない。

**構造** 覆土は褐色砂を含む黑色粘質土を主体とする。遺存状況は良くない。遺物は、底面上から平瓦4が出土し、覆土中より土師器の甕底部3が出土している。他に一括遺物として、灰釉陶器の長頸壺口縁部1・2が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、覆土は003号跡同様、黑色粘質土を主体としており、9世紀中～後葉まで遡る可能性があると思われる。



#### 001・002号跡

- 1 暗褐色粘質土
- 2 黄灰色砂質土 (黒色粘質土ブロック混入)
- 3 黄褐色砂質土
- 4 黒色粘質土
- 5 黒色粘質土 (炭化物若干混入)
- 6 黒色粘質土 (黄褐色砂質土ブロック状に混入)
- 7 灰褐色砂質土 (炭化粒混入)

#### 005号跡

- 1 黒褐色粘質土
- 2 黒色土 + 黄褐色粘質土

#### 調査区セクション (SPA-A')

- 1 現表土
- 2 暗灰褐色粘質土 (黄色・白色粘土粒散る)
- 3 黒色スコリア
- 4 白灰色粘土
- 5 黒色粘質土
- 6 暗灰褐色粘質土 鉄分多量含む
- 7 黒色スコリア
- 8 暗灰褐色粘質土 + 黒色スコリア
- 9 白色粘土
- 10 灰白色粘質土
- 11 灰色シルト
- 12 黒色泥質土 有機質物分解土層 下層に青緑灰色砂ブロック堆積か?
- 13 暗褐色粘質土
- 14 暗褐色シルト質粘質土
- 15 暗褐色砂質シルト 木片混入
- 16 黒色泥質土 有機質物分解土層 中に白色ブロック若干混じる
- 17 黒色泥質土 有機質物分解土層
- 18 黒色泥質土 砂堆積中に流木等有機質物が多く堆積する層 泥炭化している

第29図 平面図、断面図



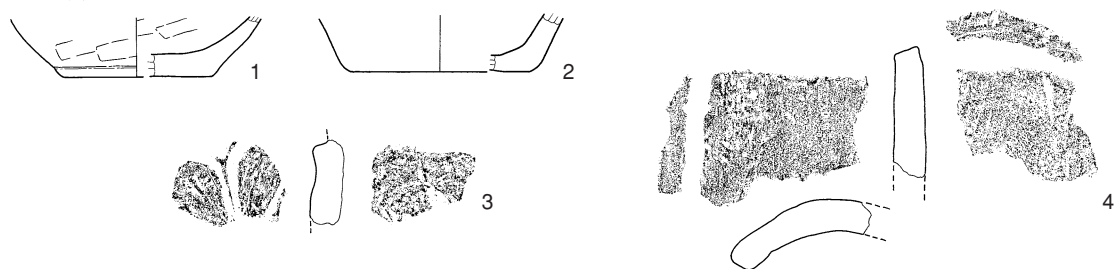
# 005号跡（第29・31図）

**位置** 調査区のほぼ中央を南北方向に縦走している。方向は、座標北を基準にしてN-3°-E前後である。

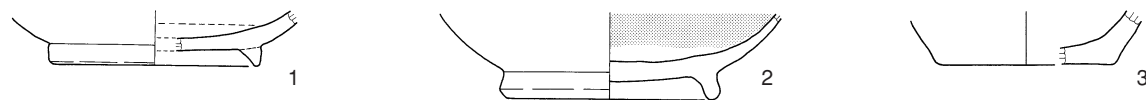
**形態** 平面規模は幅1.4~2.5×検出長29.6m、深さ0.1m前後を測る。北端部において、本地点に遺構が成立する以前に形成されたと思われる流路と重複しており、南端部は時期不明の土坑によって切られている。また、004号跡と重複しているが、本遺構の方が新しいと思われる。

**構造** 覆土は、黒褐色粘質土を主体とする。遺存状況は良くない。遺物は、底面上から灰釉陶器の壺口縁部2が出土しているが、混入である可能性が高い。また、覆土一括遺物として土師器の杯底部1が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、覆土は平安期まで遡る可能性があると思われる。

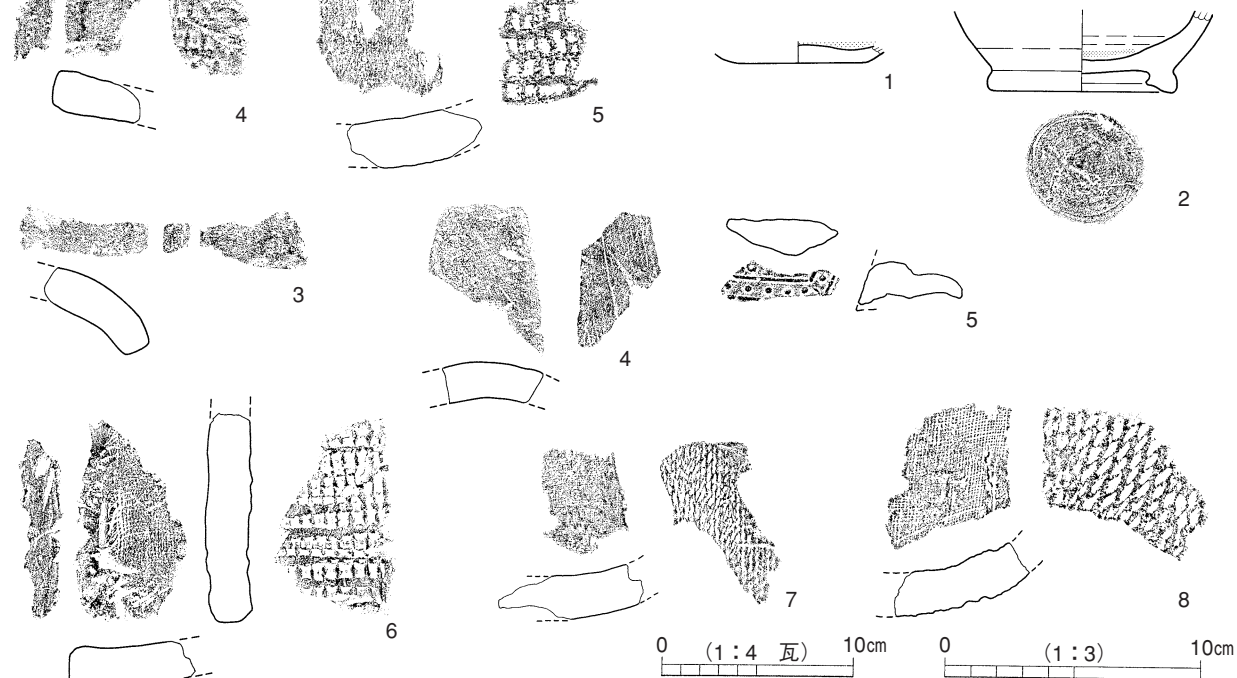
## 001号跡



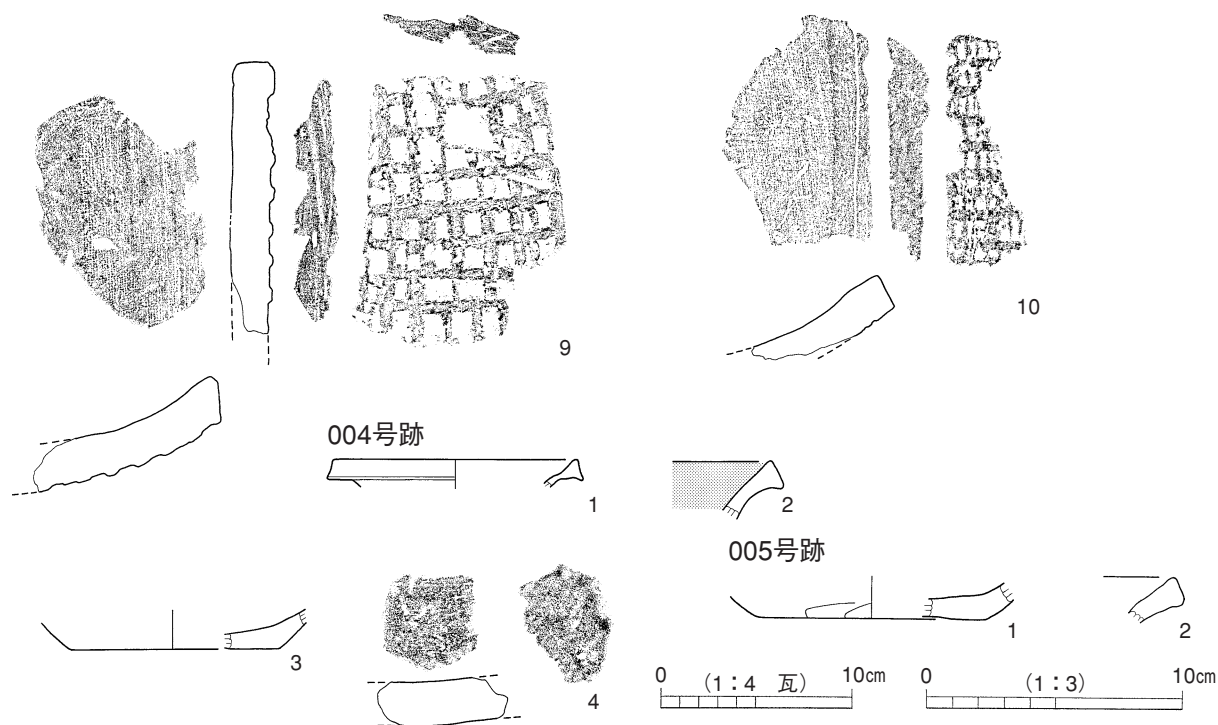
## 002号跡



## 003号跡



第30図 出土遺物①



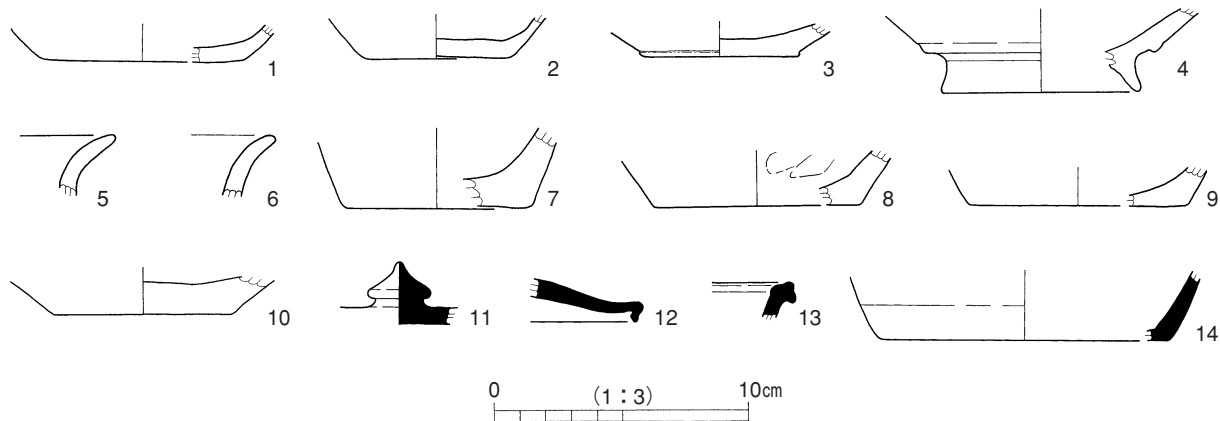
第31図 出土遺物②

## 一括出土遺物

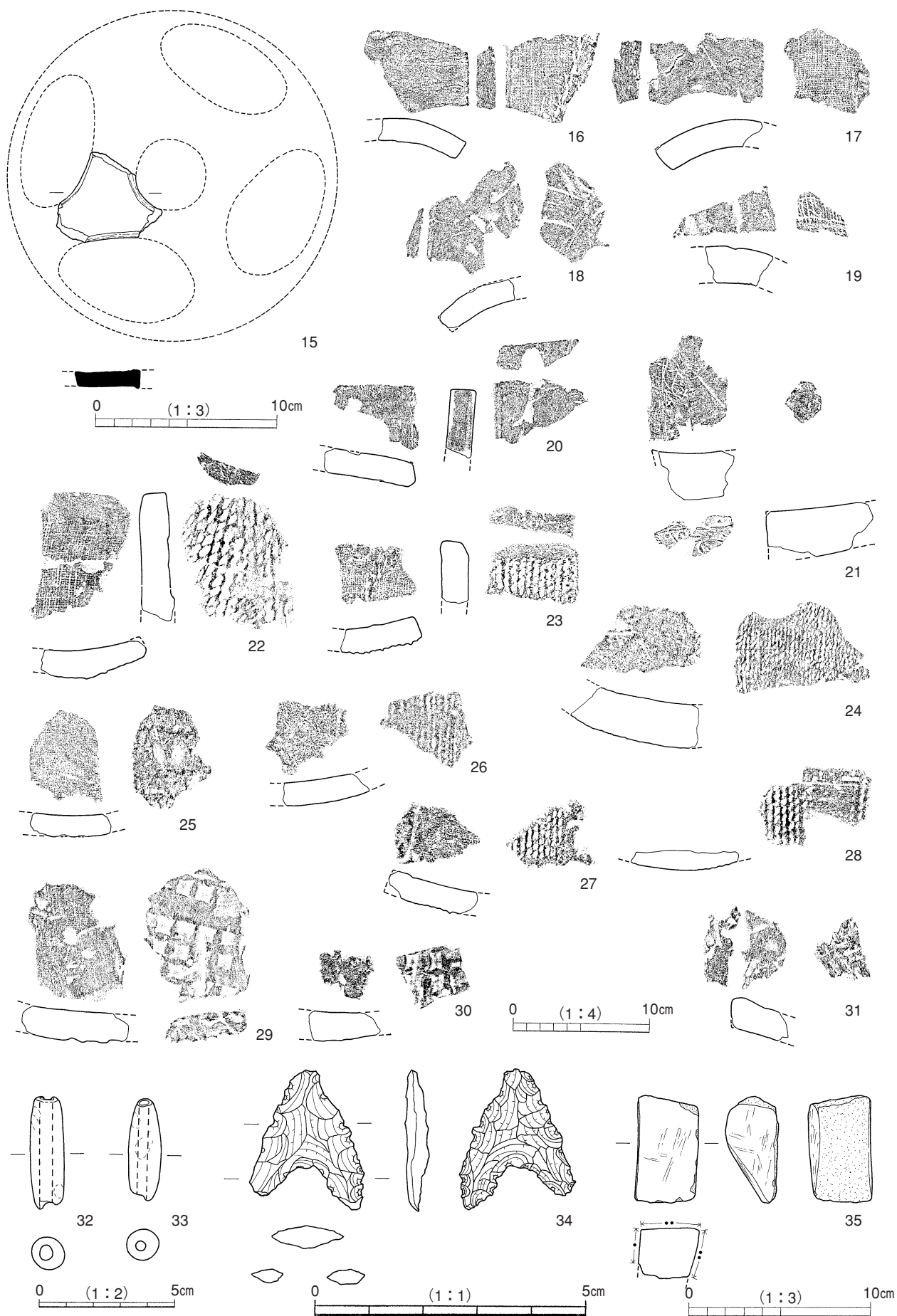
### 概要（第32・33図）

本地点は瓦の出土があり、先述の単弁八葉蓮華文の瓦当を持つ軒丸瓦や均整唐草文軒平瓦の他に、一括遺物として均整唐草文軒平瓦の出土がある。

一括遺物は、1～3が土師器杯、4が椀、5～10が甕であり、須恵器では11・12が蓋、13・14が甕、15が甕の底部片であろう。また、16～20は丸瓦、21は軒平瓦である。外区の珠文及び内区の唐草文の一部が残存している。均整唐草文軒平瓦と思われる。今富廃寺跡関連の出土瓦であろう。上総国分寺創建期の均整唐草文軒平瓦とは異范であると思われる。22～31は平瓦であり、22～28は縄目タタキ、29～31は格子目タタキ痕を凸面に有する。他には、管状土鍾32・33、石鏃34、砥石35などが出土している。



第32図 一括出土遺物①

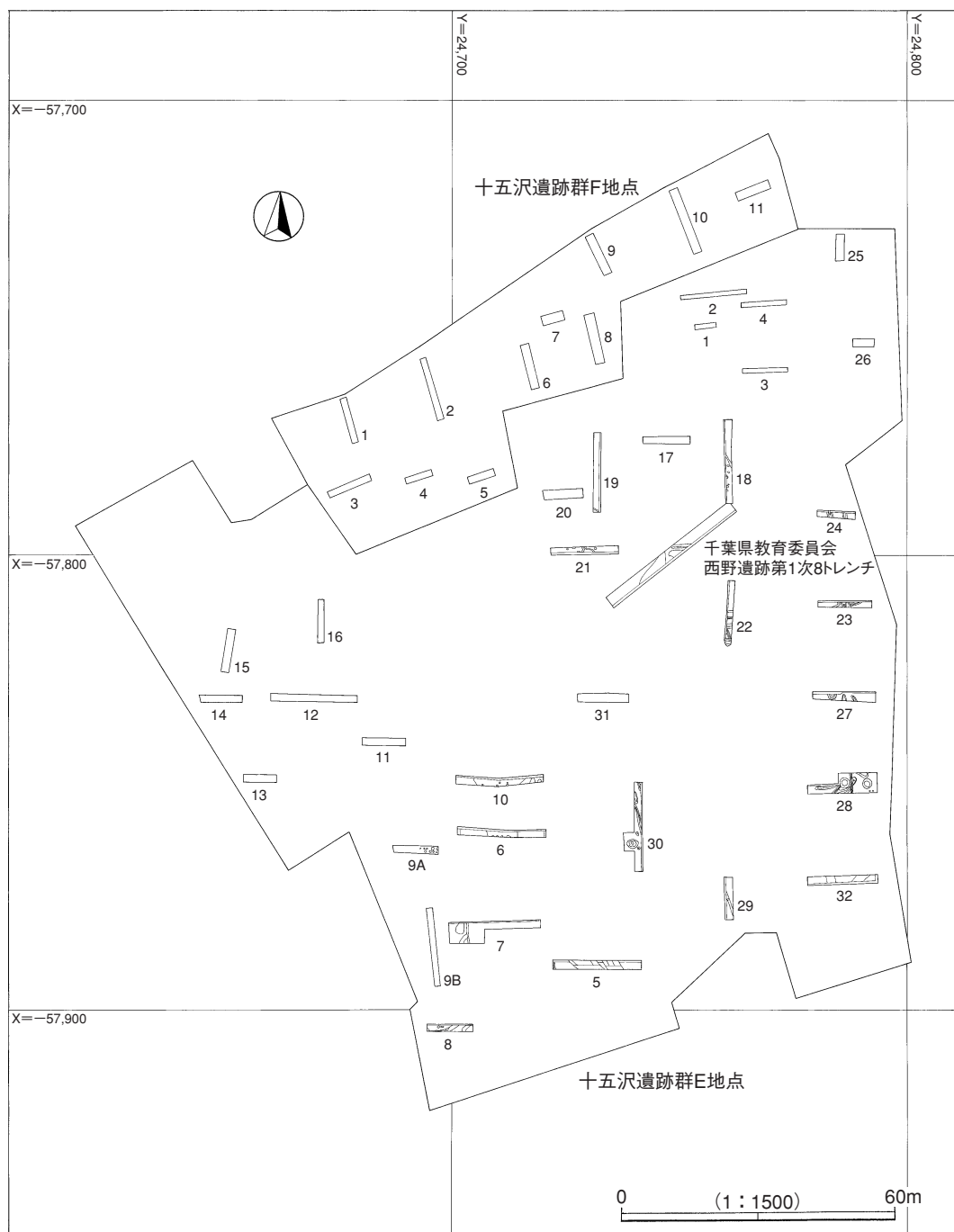


第33図 一括出土遺物②

## 第7節 十五沢遺跡群 E 地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成12年度に調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構は、土坑・井戸状遺構及び溝状遺構が主体となっている。遺構は主に南側に展開しており、北側旧河道に接する部分は古代期の土壌が流失してしまっていると考えられ、確認面に江戸期のテフラが堆積していることから、安定化する近世期以前の遺構は消失している可能性が高いと思われる。



第34図 トレンチ配置図

#### 7 トレンチ（第35図）

位置 調査区の南西寄りに位置する。トレンチ内西端部付近において井戸状遺構001が検出された。

形態 不整な円形を呈する。

構造 井戸状遺構と思われ、断面は掘り鉢状を呈し、覆土は灰色粘質土を主体とする。規模は、径1.9×2.3m・深さ0.9m程度を測る。遺物は、管状土錘3が覆土中より出土している。図示できる遺物が少なく、帰属時期を判断する根拠に乏しいが、内面のタタキ痕を磨り消した須恵器甕の胴部片などが出土している。他にトレンチ一括遺物として丸瓦1・2が出土している。

#### 22 トレンチ（第35・121図）

位置 調査区中央東寄りに位置する。

形態 4条の溝状遺構が存在する。そのうち3条は東西方向に横断し、他の1条は北西—南東方向に縦走している。

構造 溝状遺構001は、浅いレンズ状の掘り込みを呈し、覆土は暗灰色粘質土を主体とする。平面規模は幅0.7×現存長1.2m、深さ0.2m前後を測る。方向は、座標北を基準にしてN-78°—E前後である。遺物は、覆土中より常滑窯の片口鉢（中）6が出土している。12世紀末～13世紀前葉頃に比定できるか。他の溝については、遺物の出土はないが、覆土は暗灰色粘質土を主体としており、001同様、中世期まで遡る可能性があると思われる。ちなみに、001の北側に位置する溝の方向はほぼ平行しており、中世前期頃まで遡る可能性もあるのではないかとと思われる。

#### 28 トレンチ（第35・121図）

位置 調査区南東端部に位置する。

形態 不整な円形を呈した土坑001・002が、2基東西に並んで検出されている。

構造 001は、断面は掘り鉢状を呈し、覆土は黒灰色粘質土を主体とする。規模は、径2.1×2.2m・深さ1.0m程度を測る。遺物は、覆土中より常滑窯の片口鉢（中）5が出土している。遺物から12世紀末～13世紀前葉頃に比定できるか。また002は、断面はレンズ状を呈し、覆土は黒灰色及び黒褐色粘質土を主体とする。規模は、径2.0×2.1m・深さ1.0m程度を測る。遺物は、覆土中より龍泉窯系青磁の碗（中）1が出土している。遺物から13世紀前半頃に比定できるか。また、001に東隣する溝状遺構003も、覆土は黒灰色及び黒褐色粘質土を主体としており、遺物の出土はないものの、中世期まで遡る可能性があると思われる。方向は、座標北を基準にしてN-10°—W前後である。ちなみに、22トレンチ溝状遺構001とは方向がほぼ直行しており、帰属時期も近似すると思われることから、関連する遺構の可能性もあるのではないかとと思われる。

#### 30 トレンチ（第36・121図）

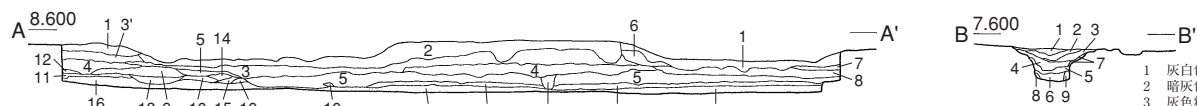
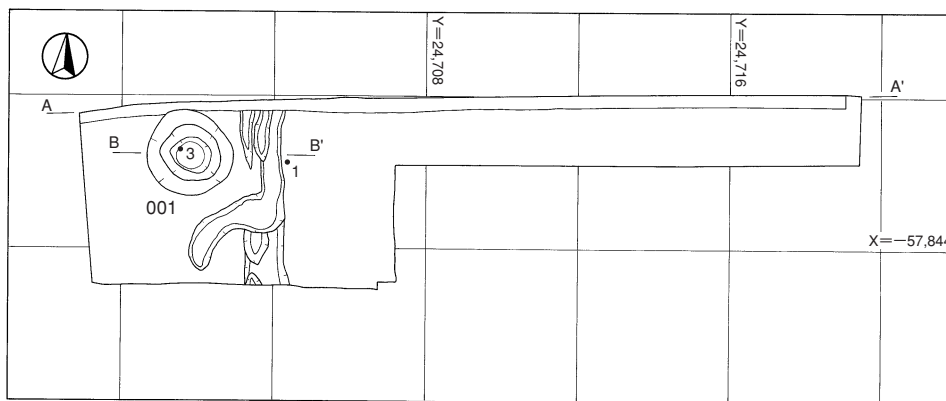
位置 調査区の中央南寄りに位置する。

形態 トレンチ内南側に、不整な円形を呈する土坑001が存在する。

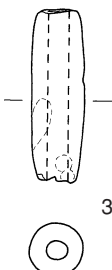
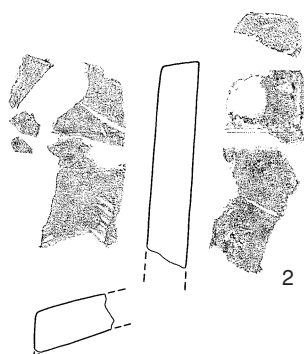
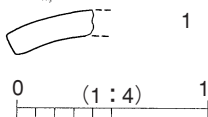
構造 001は、断面はレンズ状を呈し、覆土は暗灰色及び黒褐色粘質土を主体とする。規模は、径2.3×2.35m・深さ0.9m程度を測る。遺物は、覆土中より龍泉窯系青磁の碗（中）9が出土している。遺物から13世紀前半頃に比定できるか。



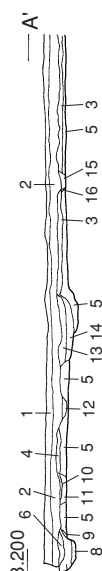
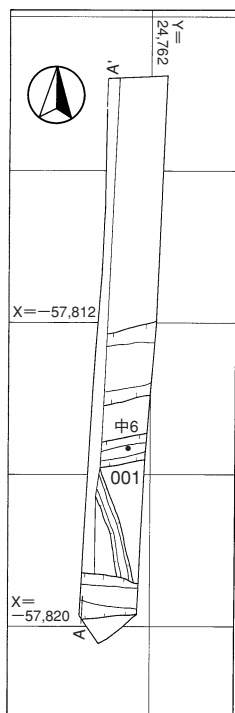
# 7トレンチ



- 1 現水田耕作土
- 2 灰黄色砂質土
- 3 灰黄色砂質土 若干の橙色スコリアが入る
- 4 黒灰色粘質土 よくしまる 乾燥するとクラックが入る
- 5 灰褐色砂
- 6 灰色砂質土
- 7 灰色粘土 鉄分沈着
- 8 灰色粘土
- 9 灰色粘土 (黄褐色シルト質粘土が斑点状に混入する)
- 10 黄褐色シルト質粘土
- 11 黄褐色シルト質粘土+灰褐色砂
- 12 暗灰色砂
- 13 暗灰色土
- 14 黒灰色土
- 15 暗灰色砂
- 16 灰褐色砂 鉄分沈着
- 17 黒灰色砂質土

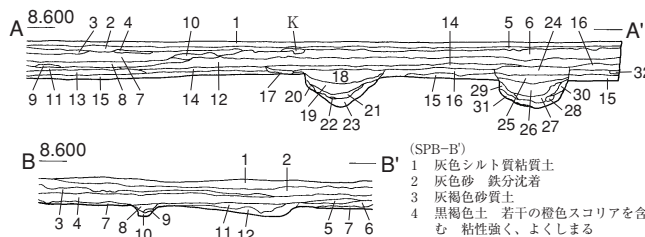
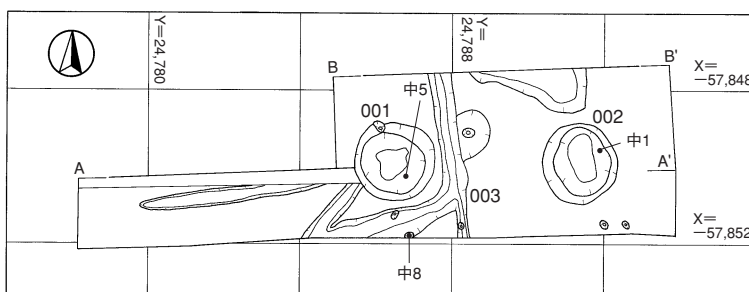


# 22トレンチ



- 1 灰褐色砂質土
- 2 暗灰色粘土
- 3 黒灰色粘土
- 4 黒灰色粘土+黄褐色シルト質粘土
- 5 黄褐色シルト質粘土
- 6 灰色粘土 鉄分沈着
- 7 灰色粘土
- 8 白色シルト質粘土 (黄褐色シルト質粘土混入する)
- 9 白色シルト質粘土
- 10 暗灰色土
- 11 灰色粘土
- 12 灰色粘土
- 13 暗灰色粘質土
- 14 灰褐色粘土
- 15 暗灰色粘質土
- 16 灰褐色粘土

# 28トレンチ

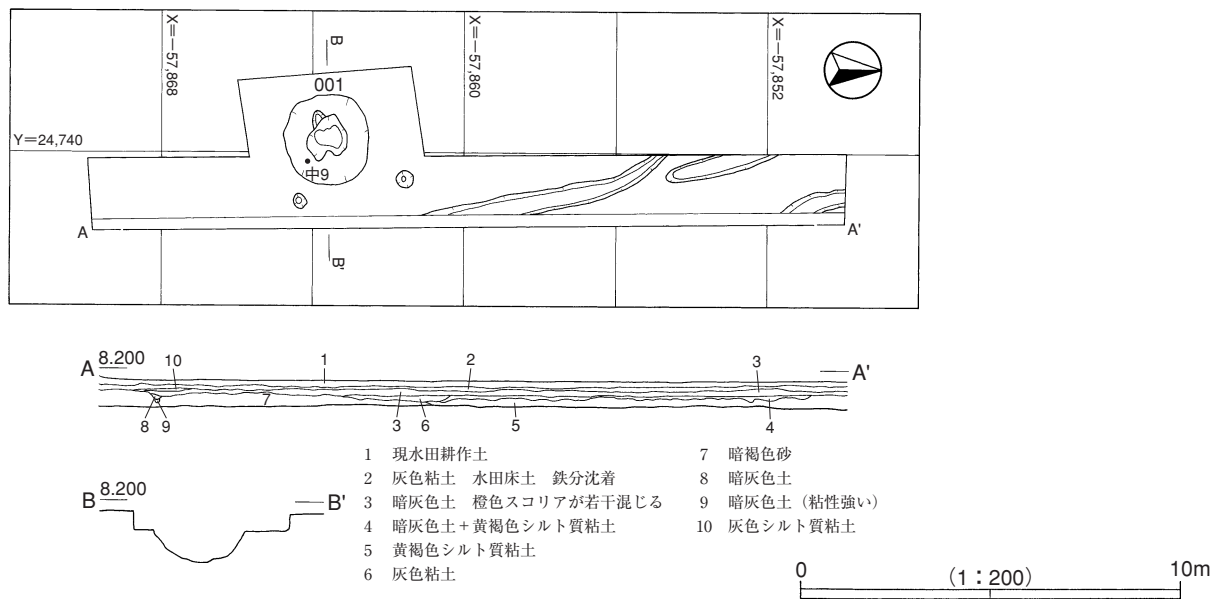


- 1 灰褐色粘土
- 2 灰色粘土 鉄分沈着
- 3 灰褐色シルト質粘土
- 4 灰色砂
- 5 灰色シルト質砂
- 6 灰褐色砂質土 (橙色スコリア若干混入する)
- 7 灰色粘土 鉄分が多い
- 8 灰色粘土 (白黄色スコリア混入・鉄分斑点状に散る) しまりゆるい
- 9 灰色粘土 鉄分沈着
- 10 灰色砂 粘性強い
- 11 灰色砂
- 12 黒褐色土 よくしまる
- 13 黄褐色粘土 砂含む
- 14 黄褐色シルト質粘土
- 15 灰色砂質土
- 16 黒灰色土 よくしまる
- 17 黒灰色粘質土
- 18 暗褐色土 橙色スコリア (2mm~3mm) 若干散る
- 19 黒褐色土 木炭粒若干混じる
- 20 暗灰色粘土 灰色砂質土が粒状に入る
- 21 黒褐色土+灰色砂
- 22 灰色砂 粒子細かい
- 23 黒灰色粘質土
- 24 黒褐色土+黄褐色シルト質粘土 (斑点状に混入)
- 25 黒灰色粘質土 黄褐色砂質粘土が若干混じる
- 26 黒褐色土 (斑状)+黄褐色シルト質粘土
- 27 黒褐色土
- 28 砂層+黒褐色土
- 29 灰色砂
- 30 黒褐色土+灰色砂 (互層状)
- 31 黒褐色土+灰色砂質土
- 32 黒灰色粘質土+黄褐色シルト質粘土

第35図 7、22、28トレンチ



### 30トレンチ



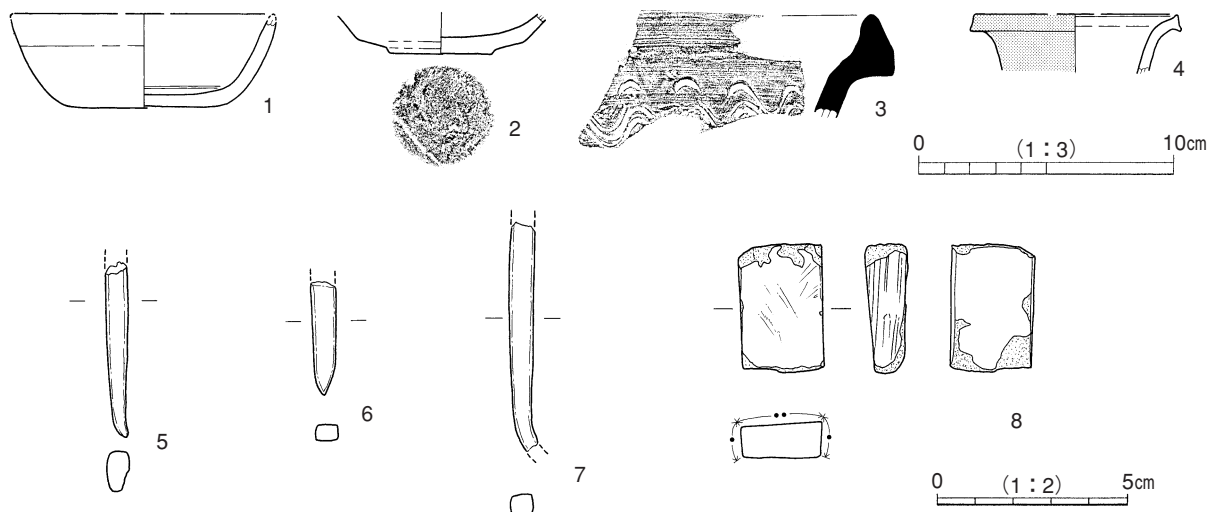
第36図 30トレンチ

### 一括出土遺物

#### 概要(第37図)

当調査地点では、遺物の出土が少なく、調査区一括遺物も同様である。養老川旧流路に面した地理的条件から、近世に至るまでは流水の影響を度々にわたって受けていたと思われる、北側はもとより、南側の遺構確認部分についても溝状遺構等の残存が極めて悪かった。そのため、遺物も広範囲にわたって多くが流失してしまったものと思われる。その中にあって、9 A トレンチでは小規模なピットが多数存在している周囲から土師器の杯や灰釉陶器の長頸壺口縁部が出土している。遺構としては認定できなかったが、8世紀末～9世紀を中心としたピットが存在している可能性がある。

一括遺物は、2 トレンチから、頸部に櫛描き波状文を施す須恵器甕の口縁部3が出土し、9 A トレンチから土師器の杯1や灰釉陶器の長頸壺口縁部4が出土している。13トレンチでは底部回転糸切り無調整の土師器杯2、角釘は1・3・21トレンチより5・6・7が出土しており、29トレンチからは砥石片8が出土している。

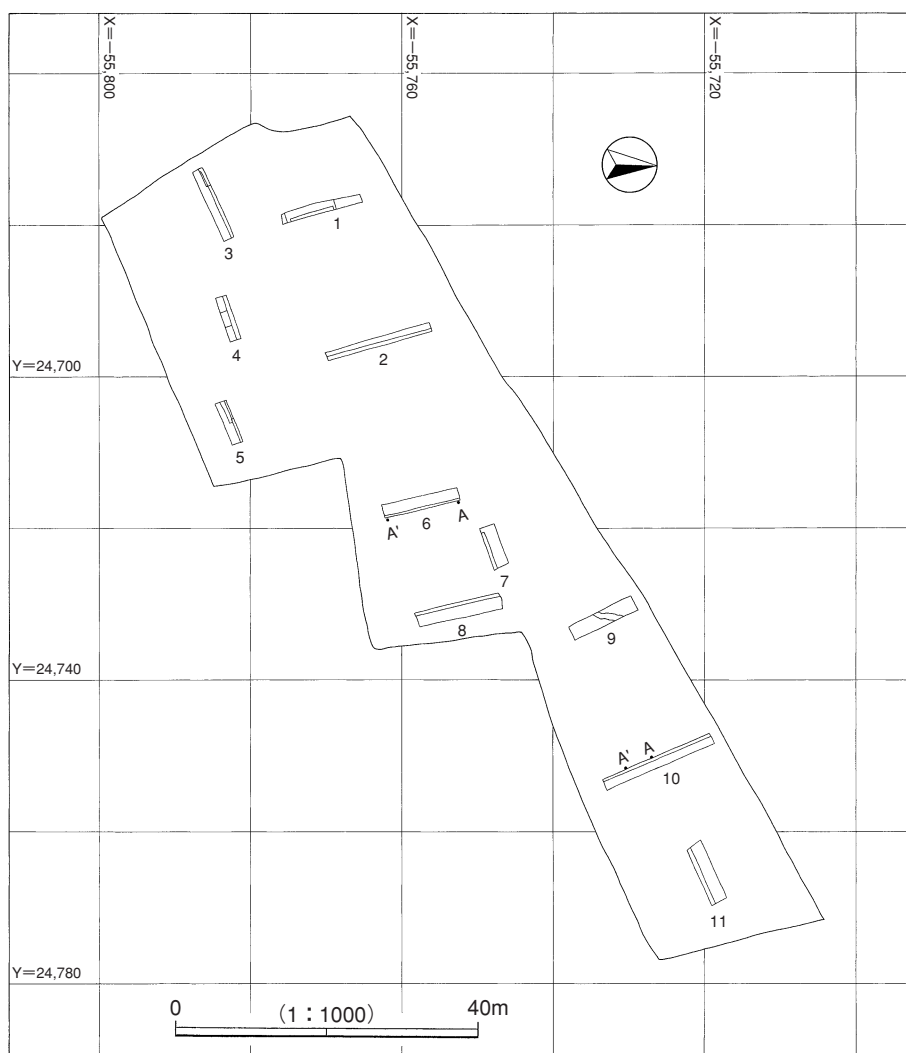


第37図 一括出土遺物

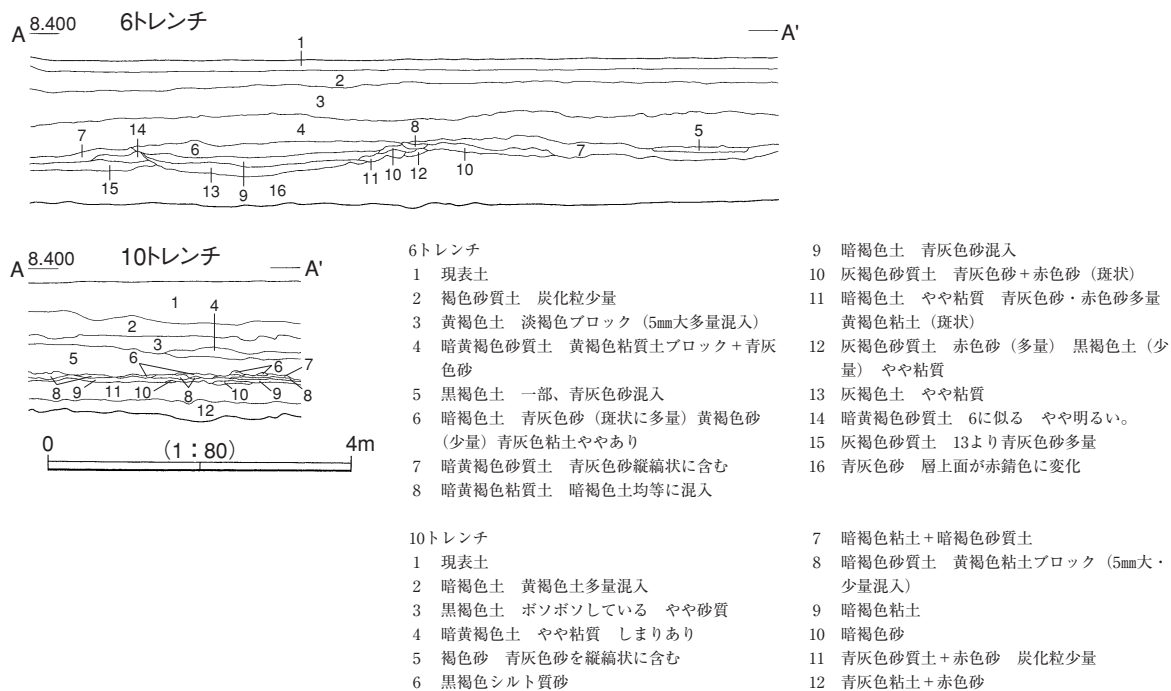
## 第 8 節 十五沢遺跡群 F 地点

### 概要（第38～40図）

海上地区遺跡群において、文化庁の補助事業である「海上地区遺跡発掘調査事業」として平成12年度に調査が行われた遺跡である。現場は東から西の東京湾に向かって注ぎ込む養老川中流域を北に望む、標高 8 m 前後の微高地上に位置する。本地点は十五沢遺跡群 E 地点と南側で隣接しており、E 地点北側から本地点にかけて中世期まで旧河道であったと思われる。計 11 ヲ所のトレンチを設定したが、いずれも古代期の暗黒色粘質土層が流失して堆積しておらず、粒子の細かい河床堆積砂が厚く堆積しているのみであった。ちなみに E 地点では、砂層上に江戸期のテフラが観察されるため、近世期には安定化した耕作地となったのではないかとと思われる。したがって、本地点においては、中世以前の溝状遺構や土坑といった遺構は確認されず、遺物はローリングの著しい角の摩滅した土師器・須恵器の小片や中世遺物片、及び近世銭が出土したのみだった。



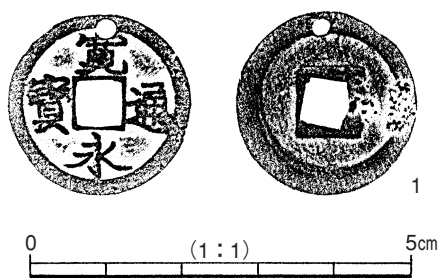
第38図 トレンチ配置図



第39図 断面図

## 一括出土遺物（第40・121図）

出土遺物は、土師器・須恵器では図示できる遺物はなく、中世遺物では6トレンチにおいて常滑窯の甕（中）1が出土し、他には5トレンチにおいて「古寛永」と思われる、寛永通宝1が出土しているのみである。頂部が穿孔されている。（第40図）



第40図 一括出土遺物

## 第9節 西野遺跡群 B1 地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成12年度に確認調査が行われた遺跡である。ちなみに、平成13年度に本調査が実施されている。調査によって検出された遺構は、掘立柱建物跡・土坑・井戸状遺構及び溝状遺構が主体となっている。北側に隣接する市道112号線部分において、平成14年度に本調査が行われており、一定の方向に並んだ掘立柱建物跡群を検出している。本地点でも北側部分において、掘立柱建物跡群の展開が確認された。本地点一帯は郡衙推定地となっており、その周縁部にあたる可能性があるのではないと思われる。また、中世前期の遺物が南側を中心に出土しており、当該期の遺構の存在が考えられる地点である。古代～中世にわたって、歴史景観の変遷を考えていかなければならない地域であると思われる。(第45図 西野遺跡群 B1・2 地点全体図 参照)

### 8A トレンチ (第41図)

**位置** 調査区のほぼ中央に位置する。トレンチ内東端部付近において、土坑001が検出された。

**形態** 不整な方形を呈する。

**構造** 001は大型の土坑であり、井戸状遺構の可能性もあるのではないと思われる。断面は掘り込みのしっかりしたレンズ状を呈し、覆土は砂を含む黒灰色粘質土を主体とする。規模は、径1.7×1.3m・深さ0.8m程度を測る。遺物は、管状土錘1が覆土中より出土している。図示できる遺物が少なく、帰属時期を判断する根拠に乏しいが、内面のタタキ痕を磨り消した須恵器甕の胴部片などが出土している。他にトレンチ一括遺物として、砥石2が出土している。

### 9 トレンチ A・B (第41・122・123図)

**位置** 調査区南東端部に位置する。

**形態** 溝状遺構が存在する。北西―南東方向に横断している。

**構造** 溝状遺構001は、レンズ状の掘り込みを呈し、覆土は暗灰色粘質土を主体とする。深さ1.0m前後を測る。遺物は、9 トレンチ A001覆土中よりカワラケ(中) 51が出土している。東に隣接する西野遺跡群 B2 地点 040号跡と同一である可能性がある。14～15世紀頃まで遡るか。なお、本遺構は14 トレンチ B の東端部をかすめてL字形に北上し、西野遺跡群 B2 地点 036号跡と接続する可能性があるかもしれない。他には、遺構外遺物としてトレンチ内より灰釉陶器壺の底部1や常滑窯の片口鉢(中) 28が出土し、木器では角棒状木製品2や挽物椀3が出土している。3は、ケヤキ材の渋下地漆器である。

### 24 トレンチ (第42・122図)

**位置** 調査区の中央北寄りに位置する。

**形態** トレンチ内東側に掘立柱建物跡、西側に溝状遺構が確認された。

**構造** 東側で確認された掘立柱建物跡001は、本調査区である西野遺跡群 B2 地点における005号跡と思われる。西側にある溝状遺構002は、レンズ状の掘り込みを呈し、覆土は灰色粘質土を主体とす

る。平面規模は幅1.0～1.2×検出長4.0m、深さ0.4m前後を測る。方向は、座標北を基準にしてN－21°－E前後である。遺物は覆土中より渥美窯の壺（中）16が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、12世紀中葉頃まで遡るか。

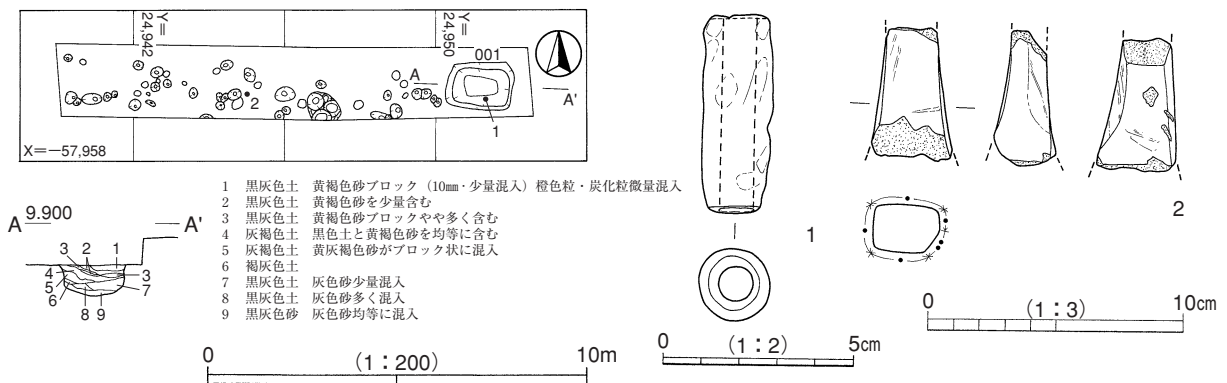
## 27トレンチ（第42・43図）

位置 調査区の中央北端部に位置する。

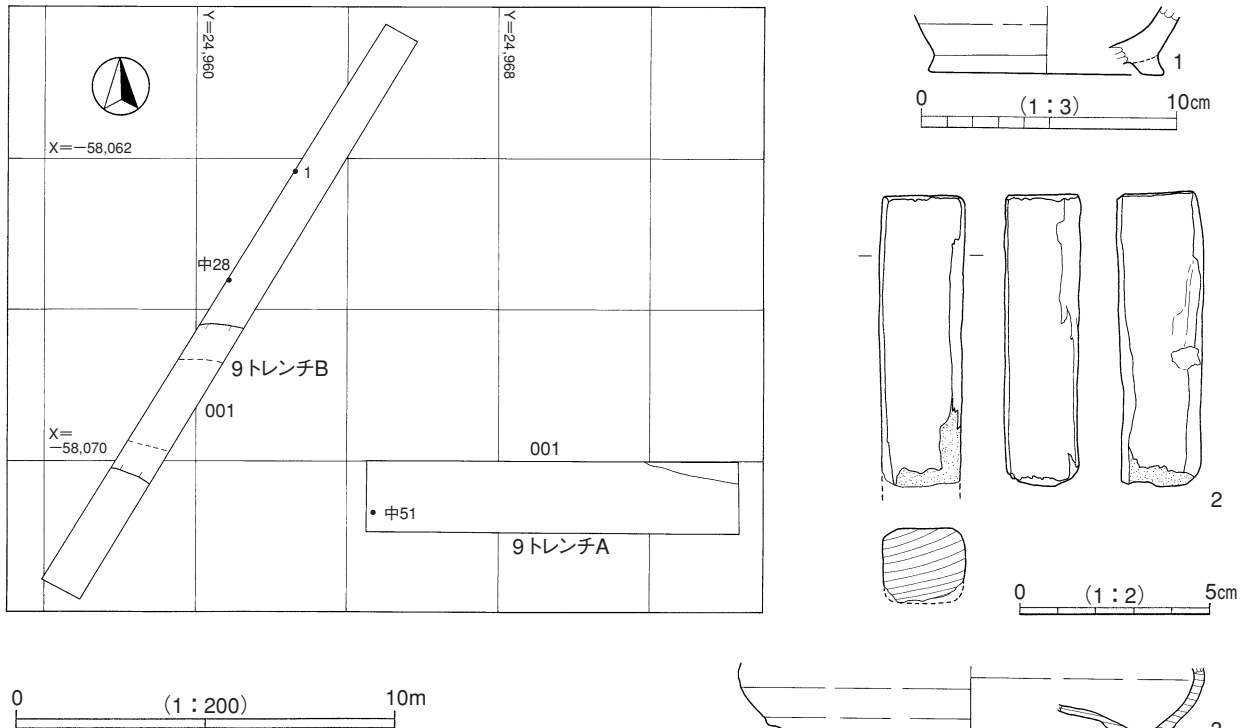
形態 トレンチ内北側に、中期阿玉台式の深鉢片1～23が出土した。

構造 有機質の灰色粘質土層中より出土した。上層には、古代遺構の基盤層である砂質黄褐色粘土層があり、少なくとも縄文中期以降に、古代遺構の基盤層が成立したものと思われる。遺構としては認められず、流水の影響等を受け、流れ込んだものと思われる。

## 8Aトレンチ

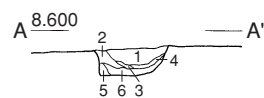
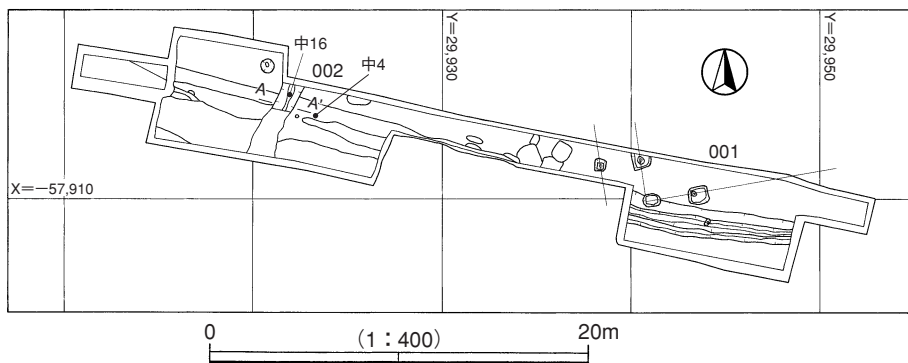


## 9トレンチA・B

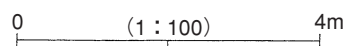


第41図 8A、9A・Bトレンチ

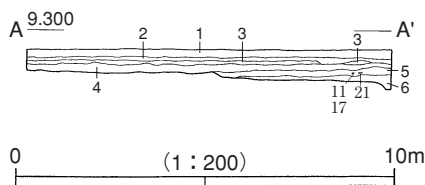
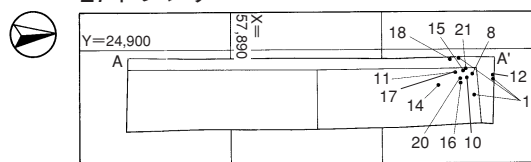
# 24トレンチ



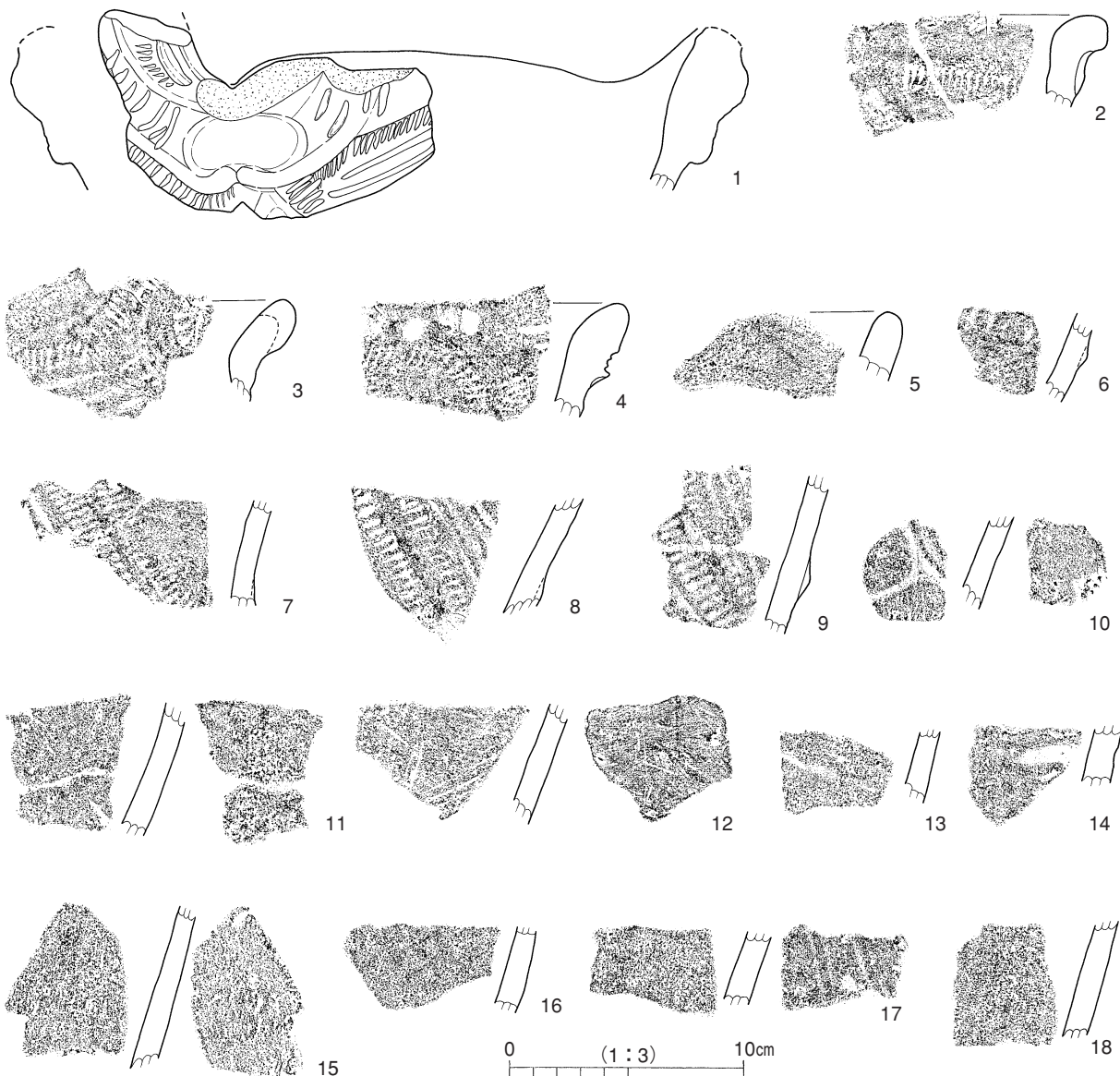
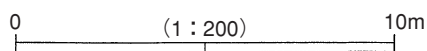
- 1 灰色粘土
- 2 灰色粘土 (粘性強い)
- 3 富士宝永テフラ
- 4 灰色粘土 (宝永テフラ少量混入)
- 5 黒褐色土
- 6 暗灰色粘土



# 27トレンチ

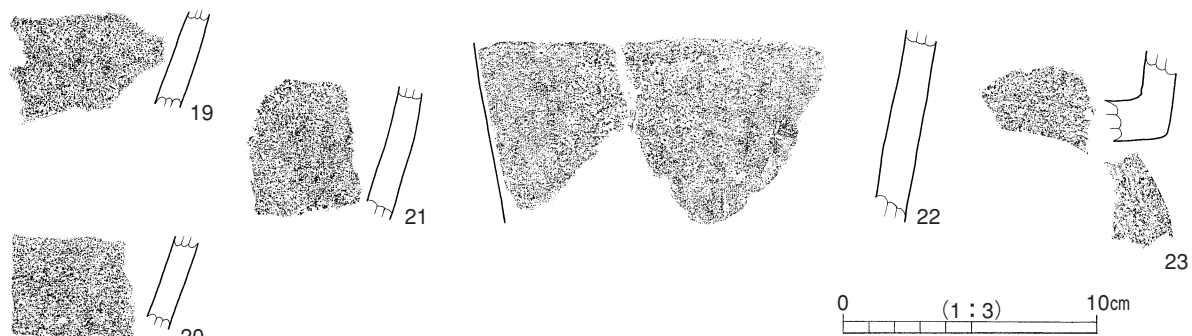


- 1 灰色粘土
- 2 黒灰色粘土
- 3 暗灰色粘土
- 4 黄褐色粘土
- 5 灰色粘質土
- 6 灰色粘土



第42図 24、27トレンチ①





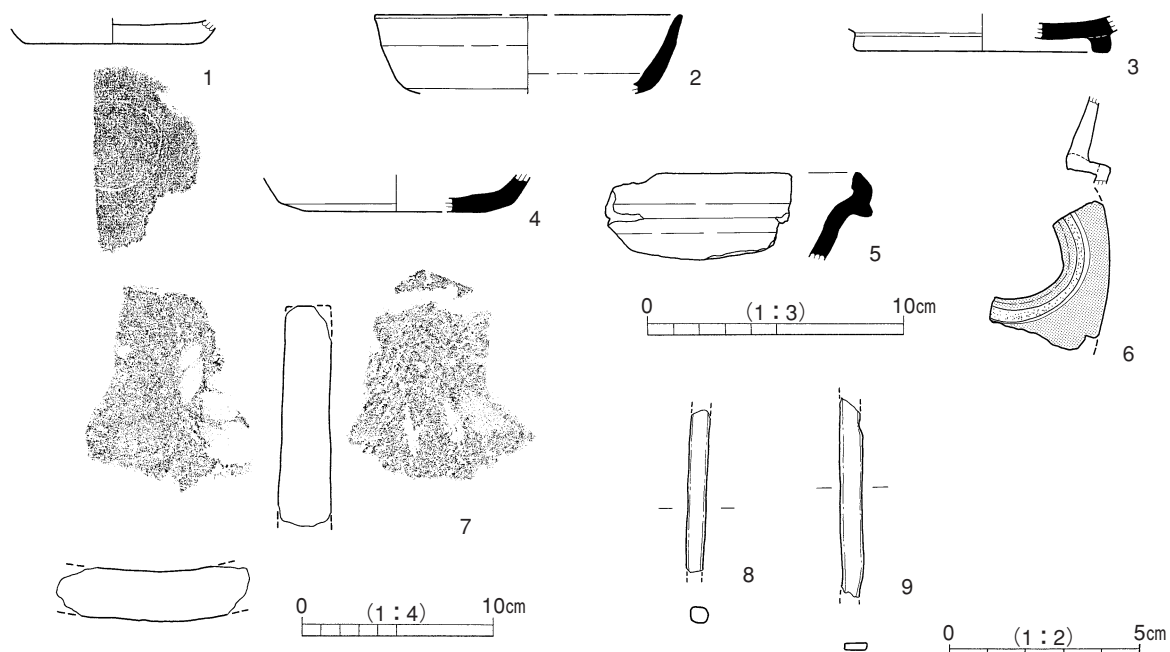
第43図 27トレンチ②

## 一括出土遺物

### 概要（第44図）

当調査地点では、8世紀後半～9世紀にわたる土師器・須恵器を中心に出土している。また、灰釉陶器片などが少量出土しているが、墨書土器や越州窯青磁・緑釉陶器、硯や木簡といった遺物の出土はなかった。瓦の出土も殆どなかった。一方、古代遺構確認面の直下に堆積する灰色粘質土層中において、中期阿玉台式の深鉢片がまとまって出土している。遺構としては認められず、流れ込み遺物と思われる。ちなみに、海上地区遺跡群の南端部に所在する宮原遺跡群において、縄文土器片が出土している。こちら、黒色粘質土層中に流れ込んで出土している。背後に宮原堂谷遺跡や布谷台遺跡を載せる段丘面が迫っていることから、それらの遺跡からの流入かもしれない。一方、本地点では中世前期の12～13世紀と思われる出土遺物が多く存在する。今回の調査は面積が僅少のため、遺構として認定するに足るデータが不足しており、中世期における歴史景観の変遷を復原することはできなかったが、当該期の溝状遺構等が本地点周辺に存在していることは確実であると思われる。

一括遺物は、1が土師器杯の底部である。底部回転ヘラケズリを施す。2～4は須恵器杯。5は須恵器甕の口縁部である。6は灰釉陶器の平瓶。7は平瓦。8・9は鉄釘片であろうか。

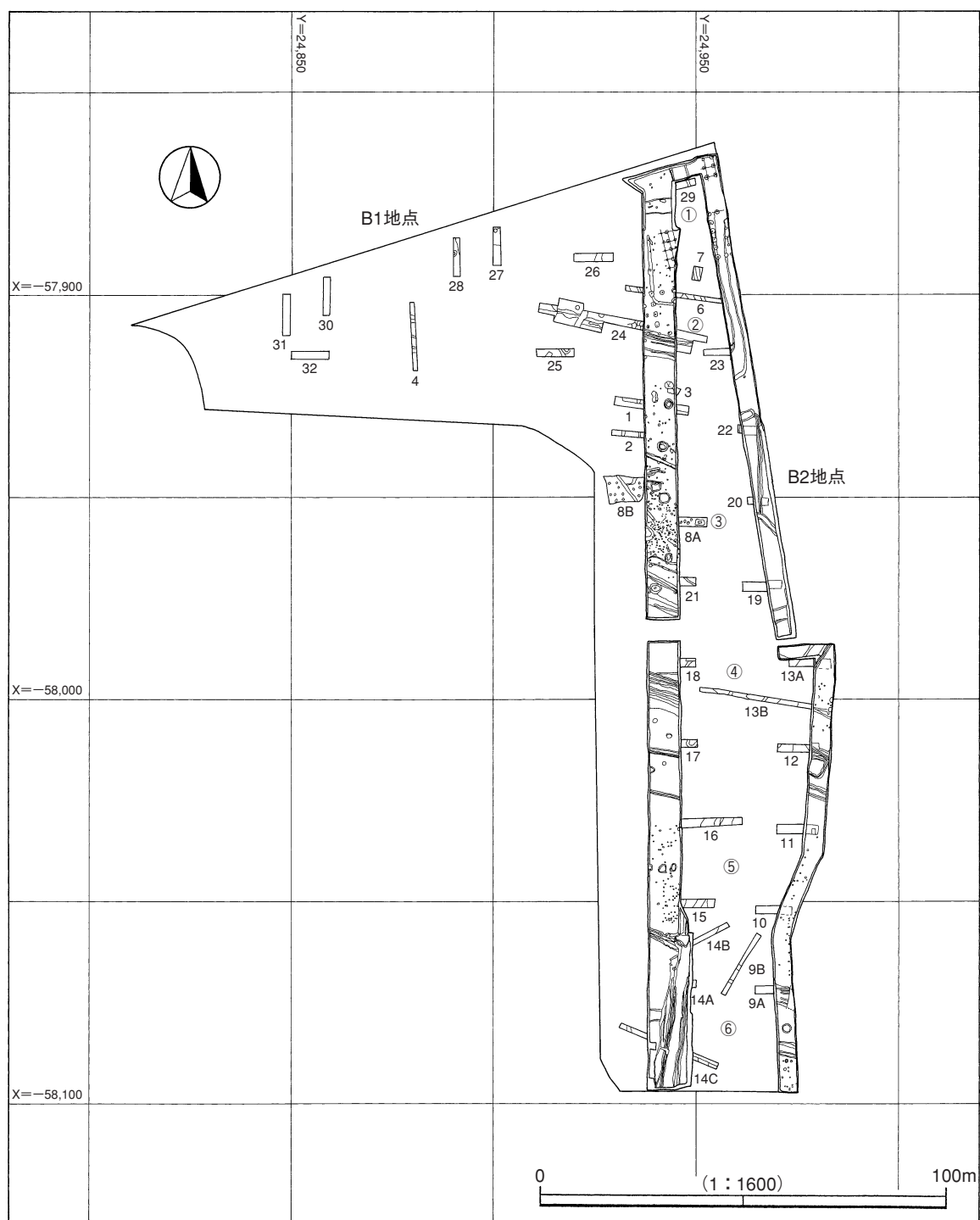


第44図 一括出土遺物

## 第10節 西野遺跡群 B 2 地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成13年度に調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構は、掘立柱建物跡・溝・土坑及び井戸状遺構が主体となっている。ちなみに、北側に隣接する市道112号線部分において、平成14年度に調査が行われており、掘立柱建物跡が規則的に存在していた。



第45図 西野遺跡群B 1・2 地点全体図

本地点における掘立柱建物跡については、掘り方が比較的大きく、中には隅丸の方形を呈するピットも見られた。埋土は、径1.0m程度の掘り方を持つ柱穴については、黒色粘質土と白色粘土の互層が認められた。帰属時期の認定については、土器の小破片が柱穴の掘り方内に若干入り込んでいるのみであり、これによって時期を即断することは控えたい。しかし、本地点の掘立柱建物跡001号に使われていたスダジイとクリの柱材は、炭素年代測定では8世紀後半～10世紀末に帰属する確立が95.4%という結果が示されており（第3章—4節 海上地区遺跡群出土木製品の樹種参照）、B地点における建物跡の帰属時期を示す一つの指針になるだろう。建物跡はいずれも建て替え等が顕著でないことから、比較的短期に廃絶したと思われる。一方、12～13世紀における遺物の存在もあり、中世前期のピットも存在しているようである。ちなみに、B2地点中央部分にある小規模なピット群について、堆積土及び出土遺物から遺構の可能性を検討したが、遺構として認知することはできなかった。

## 1. 掘立柱建物跡

### 概要

調査によって検出された掘立柱建物跡は、調査区の北側に存在している。北側に隣接する市道112号線部分の掘立柱建物群と密接に関連すると思われる、時期的に限定された建物群が規則性を持って展開していたと思われる（第130図 西野遺跡群B・D地点参照）。また、中央部分には中世前半と思われる遺物が出土しているエリアがあり、周囲に多数のピットが存在しているが、遺構と認知することはできなかった。ただし、南側におけるピットについては、埋土・掘り方の状況から柵列と判断したものがある。

### 001号跡（第46・52・57・58図）

**位置** 調査区の北東側端部に位置する。東側調査区外に遺構が展開していると思われる。

**形態** 径70～110cm前後の、不整な円形を呈する柱穴掘り方を持つ、総柱の掘立柱建物と思われる。

**構造** 桁行き1間以上・梁間2間、桁行き柱間2.3m、梁間柱間2.2～2.45m程度を測り、梁間柱穴間の距離は一定していない。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-15°—Wである。埋土は、暗黒色粘質土を基本としており、一部白色粘土を互層にした状況が認められる。遺物は、P1埋土中より須恵器蓋4・礎板10が出土し、P2埋土中より土師器甕1や須恵器蓋3・常陸産と思われる甕6及び木柱7（スダジイ）が出土、P3埋土中より須恵器高台付杯2、P4埋土中から木柱8（クリ）・礎板11・12、P6埋土中から須恵器蓋5や礎板9が出土している。P4から出土した礎板11・12は11がスダジイ、12がクリであることから、スダジイ・クリの木柱製作時にできた複数の木端部を礎板として敷いていたと考えられる。帰属時期を判断する根拠に乏しく、出土土器からは8世紀後半～9世紀前半頃を中心に行っていると考えられるが、P2・P4に使われていた柱材（スダジイ・クリ）は、炭素年代測定では8世紀後半～10世紀代に帰属する確立が95.4%という結果が示されている（第3章—4節 海上地区遺跡群出土木製品の樹種参照）。

002号跡（第46・47・52・59図）

位置 調査区の北東側に位置する。003号跡と一部重複する。東側調査区外に遺構が展開していると思われる。

形態 径100～140cm前後の、不整な円形を呈する柱穴掘り方を持つ、側柱の掘立柱建物と思われる。003号跡より古いと思われる。

構造 桁行き5間・梁間2間以上、桁行き柱間2.0～2.4m、梁間柱間2.1～2.2m程度を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-13°—Wである。埋土は、暗黒色粘質土を基本としており、一部白色粘土を互層にした状況が認められる。遺物は、P1埋土中より、残骸と思われる木柱1、礎板3、P4埋土より礎板2が出土している。樹種は全てクリであった。建物の振れは、001号跡に近似している。

003号跡（第46・47・52図）

位置 調査区の北東側に位置する。002号跡と一部重複する。東側調査区外に遺構が展開していると思われる。

形態 径60～100cm前後の、不整な円形を呈する柱穴掘り方を持つ、掘立柱建物と思われる。002号跡より新しいと思われる。

構造 南北柱列が3間、北西—南東方向に存在する。柱列の座標北を基準とする方位はN-15°—Wである。柱間2.0～2.3m程度を測る。埋土は、暗黒褐色粘質土を基本としており、明瞭な互層状の堆積は認められなかった。図示できる遺物の出土は、なかった。柱穴の規模や、埋土の状況など001・002号跡とは異なる印象を受けるが、建物の振れは近似している。

004号跡（第46・47・52・53図）

位置 調査区の北西側に位置する。東側調査区外に遺構が展開していると思われる。

形態 西側に、径30～70cm前後の不整な円形を呈する柱穴掘り方の底を持ち、径60～100cm前後の柱穴掘り方を持つ、総柱の掘立柱建物と思われる。

構造 桁行き4間・梁間2間以上、桁行き柱間2.0～2.3m、梁間柱間1.4～2.0m程度を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-14°—Wである。埋土は、暗黒色粘質土を基本としており、一部白色粘土を互層にした状況が認められる。図示できる遺物の出土は、なかった。柱穴の規模や、埋土の状況及び底を持っている点など001・002号跡とは異なる印象を受けるが、建物の振れは近似している。

005号跡（第47・53・59図）

位置 調査区の北西側に位置する。東側調査区外に遺構が展開していると思われる。P6が031号跡と重複し、P2・10が032号跡と重複する。031号跡より新しく、032号跡より古い。

形態 西側に、径60～80cm前後の不整な円形を呈する柱穴掘り方の底を持ち、径60～135cm前後の柱穴掘り方を持つ、側柱の掘立柱建物と思われる。

構造 桁行き4間・梁間2間、桁行き柱間2.1～2.7m、梁間柱間2.5～2.75m程度を測る。桁行き柱

列の座標北を基準とする方位は、N-8°-Wである。埋土は、暗黒色粘質土を基本としており、一部白色粘土を互層にした状況が認められる。遺物は、P1埋土より土師器の小型甕3、P4埋土より須恵器の無台杯4、P9一括遺物から土師器杯の底部2、及びP13埋土より土師器杯の底部1が出土しているが、いずれも破片資料で帰属時期を判断する根拠に乏しい。柱穴の規模や、埋土の状況及び底を持っている点など001・002号跡とは異なる印象を受けるが、建物の振れは近似している。

## 2. 土坑跡・井戸状遺構

### 概要

調査によって検出された土坑跡・井戸状遺構は、23基ある。奈良・平安時代及び中世が主体を占める。特に、中世前半期の遺物がまとまって出土しているエリアがあり、周囲に小規模なピットが集中していた。遺構として認定することはできなかったが、当時の建物構造によっては平地式の建物等を示唆している可能性もあると思われる。

#### 006号跡（第47・54・59・60図）

位置 調査区の西側中央北寄りに位置する。

形態 不整な円形を呈し、平面規模は2.55×2.3m・深さ0.6m前後を測る。

構造 一部、攪乱を受けている。断面はなだらかに掘り込まれており、井戸状遺構ではないと思われる。遺物は、多量に出土しており、覆土より土師器杯1～6、8、10、須恵器杯11・12などが出土している。床面直上からは箱型ロクロ土師器杯7・9が出土している。出土遺物には古相の土器も含まれているが、出土状況から8世紀第4四半期を中心とした時期の土器棄て土坑と思われる。

#### 007号跡（第47・54・60図）

位置 調査区の西側中央北寄りに位置する。

形態 2つの土坑が連結したような不整な楕円形を呈し、平面規模は2.7×1.2m・深さ0.3m前後を測る。

構造 掘り込みは、比較的浅くなだらかに掘り込まれている。遺物は、覆土中より土師器杯1が出土している。出土遺物は少ないものの、8世紀前半頃の土器棄て土坑か。

#### 008号跡（第47・54図）

位置 調査区の西側中央北寄りに位置する。

形態 円形を呈し、平面規模は2.25×2.2m・深さ1.0m前後を測る。

構造 掘り込みはしっかりしている。井戸枠痕跡や裏込め土等の有無は判別できないが、井戸状遺構であった可能性も否定できない。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土は暗灰色粘質土を主体としており、中世まで下る可能性がある。

009号跡（第48・54・60・122・123図）

位置 調査区の西側中央北寄りに位置する。

形態 円形を呈し、平面規模は2.5×2.6m・深さ0.6m前後を測る。

構造 掘り込みはしっかりしている。井戸枳痕跡や裏込め土等はなかったが、素掘りの井戸状遺構であった可能性も否定できない。遺物は覆土中より土師器杯1が出土しているが、他は中世期の遺物である。いずれも覆土中から常滑片口鉢（中）20・カワラケ（中）53～56が出土している。覆土は暗灰色粘質土を主体としており、13世紀前葉の遺構と思われる。

010号跡（第48・54・60図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 隅の丸まった方形を呈し、平面規模は2.2×2.5m・深さ0.8m前後を測る。

構造 掘り込みはしっかりしている。覆土は、暗黒褐色土に砂のブロックを多量に含んでおり、人為的に埋め戻された可能性が高い。遺物は殆ど出土せず、一括遺物として円環状の鉄製品1が出土しているのみである。中世期まで遡る土坑であろうか。

011号跡（第48・54図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 やや角の張った不整な円形を呈し、平面規模は2.6×2.65m・深さ0.28m前後を測る。

構造 覆土は、黒灰色粘質土を主体としている。図示できる遺物の出土はなかった。中世期まで遡る土坑であろうか。

012号跡（第48・54・122図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 T字形を呈する土坑であり、平面規模は1.5×0.8m・深さ0.2～0.3m前後を測る。

構造 覆土は、暗灰褐色粘質土を主体としている。底面直上に、骨片・焼土・炭化物が層厚10cm程度にわたって堆積していた。また、燃焼部と焼成部の接続部付近は、地山が焼けていた。図示できる遺物の出土はなかったが、中世期まで遡る火葬土坑であろうか。

013号跡（第48・54・122図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。西側調査区外へ遺構が展開しているものと思われる。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は3.6×2.1m・深さ0.9m前後を測る。

構造 覆土は、黒褐色粘質土を主体としている。中～下層には砂及び粘土のブロックが散見される層があり、埋め戻された可能性があると思われる。素掘りの井戸状遺構となる可能性がある。或いは北東に連結している溝と関連する貯水施設かもしれない。遺物は、覆土より渥美窯の広口壺（中）15が出土している。覆土及び遺物から、12世紀前葉まで遡るであろうか。ちなみに、遺構内より被熱を受けたと思われる獣骨が出土している（第3章—3節 参照）。



014号跡（第48・54図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は2.1×1.8m・深さ0.6～0.8m前後を測る。

構造 覆土は黒褐色粘質土を主体とし、下層にキサゴを主体とした貝層が堆積していた（第3章—2節 出土貝サンプルの分析結果について参照）。図示できる遺物の出土はなかったが、一括遺物として中世と思われる常滑窯の甕片が出土している。覆土から中世期の遺構である可能性が高いと思われる。

015号跡（第49・54図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は1.1×1.2m・深さ0.64m前後を測る。

構造 掘り込みは、底面がやや広がりフラスコ状を呈している。覆土は黒褐色粘質土を主体とし、地山の砂ブロックが混入している。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土から中世期の遺構である可能性があると思われる。

016号跡（第49・54図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は1.4×1.5m・深さ0.78m前後を測る。

構造 覆土は黒褐色粘質土を主体とし、灰色砂が混入している。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土から中世期の遺構である可能性があると思われる。

017号跡（第49・54図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は1.0×1.1m・深さ0.57m前後を測る。

構造 覆土は黒色粘質土を主体とし、灰色砂が混入している。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土から中世期の遺構である可能性があると思われる。

018号跡（第49・54図）

位置 調査区の西側ほぼ中央に位置する。

形態 不整な楕円形を呈する土坑であり、西側調査区外に展開していると思われる。平面規模は1.3×1.5m・深さ0.4m前後を測る。

構造 覆土は、黒色粘質土に灰色砂が均等に混入している。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土から中世期の遺構である可能性があると思われる。

019号跡（第50・54図）

位置 調査区の西側中央南寄りに位置する。

形態 不整な方形を呈する土坑であり、平面規模は1.6×1.2m・深さ0.4m前後を測る。

**構造** 覆土は、黒褐色粘質土に灰色砂が均等に混入している。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土から中世期の遺構である可能性があると思われる。

020号跡（第50・54・60図）

**位置** 調査区の西側中央南寄りに位置する。

**形態** 不整な方形を呈する土坑であり、平面規模は2.1×1.7m・深さ0.6m前後を測る。

**構造** 覆土は、黒褐色粘質土に白色粘土や灰色砂が斑状に混入している。埋め戻されていると思われる、土坑墓の可能性もある。遺物は、一括遺物として管状土錘1が出土している。覆土の状況から中世期まで遡るか。

021号跡（第50・54図）

**位置** 調査区の西側中央南寄りに位置する。

**形態** 不整な方形を呈する土坑であり、西側調査区外に展開していると思われる。平面規模は1.2×1.2m・深さ0.8m前後を測る。

**構造** 覆土は、黒色粘質土に白色粘土や灰色砂が斑状に混入している。埋め戻されていると思われる、土坑墓の可能性もある。図示できる遺物の出土はなかったが、中世期まで遡るか。

022号跡（第49・55・121図）

**位置** 調査区の東側中央南寄りに位置する。

**形態** 不整な方形を呈する土坑であり、東側調査区外に一部展開していると思われる。平面規模は1.1×0.9m・深さ0.8m前後を測る。

**構造** 覆土は、暗灰色粘質土に灰色砂が混入している。遺物は、下層一括として龍泉窯系青磁の碗（中）5が出土している。中世期まで遡るか。

023号跡（第49・55・60・122図）

**位置** 調査区の東側中央南寄りに位置する。

**形態** 不整な方形を呈する土坑であり、西側調査区外に展開していると思われる。平面規模は5.3×4.2m・深さ0.7m前後を測る。

**構造** 覆土は、暗灰色粘質土に黄白色粘土が混入している。遺物は、覆土より須恵器甕1、平瓦2及び常滑窯の甕（中）17が出土している。1は、内面下部が著しく磨耗しており、硯に転用か。覆土の状況から1、2は混入であると思われる、13世紀後半頃に比定されるか。

024号跡（第50・122・123図）

**位置** 調査区の東側中央南寄りに位置する。

**形態** 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は0.4×0.3m・深さ0.25m前後を測る。

**構造** 小規模なピットである。周囲に同規模のピットが散在しているが、連関したピットを認定することはできなかった。遺物は、覆土よりカワラケ（中）39・60が出土している。12世紀末～13世紀前

葉頃に比定されるか。

#### 025号跡（第50・60図）

位置 調査区の東側中央南寄りに位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は0.45×0.5m・深さ0.45m前後を測る。

構造 小規模なピットである。周囲に同規模のピットが散在しているが、関連したピットを認定することはできなかった。遺物は、覆土より板状木製品1が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、近在する024号跡に近い中世前葉頃まで遡るか。

#### 026号跡（第51・55図）

位置 調査区の東側南寄りに位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は2.25×2.3m・深さ0.9m前後を測る。

構造 覆土は、黒灰色粘質土を主体とする。素掘りの井戸状遺構となる可能性もある。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土の特徴から中世期まで遡るか。

#### 027号跡（第51・55・123図）

位置 調査区の東側中央南端部に位置する。

形態 不整な円形を呈する土坑であり、平面規模は0.58×0.6m、深さ0.4m前後を測る。

構造 小規模なピットである。覆土は暗灰色粘質土を主体とする。周囲に同規模のピットが散在しているが、関連したピットを認定することはできなかった。遺物は、覆土中より火鉢の破片（中）64が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、遺物の状況から中世期まで遡るか。

#### 050号跡（第48・61図）

位置 調査区の西側中央部に位置する。

形態 方形を呈するピットであり、中央に不整な円形を呈する落ち込みがある。平面規模は0.78×0.7m、深さ0.35m前後を測る。

構造 小規模なピットである。覆土は灰色砂質土を主体とする。周囲に同規模のピットが散在しているが、関連したピットを認定することはできなかった。遺物は、覆土中よりスギの板状木製品1が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、周囲及び覆土の状況から中世期までは遡らないと思われる。

### 3. 溝状遺構

#### 概要

調査によって検出された溝状遺構は、奈良・平安時代及び中世が主体を占めていると思われ、他に水田及び島畑に関連する近世の溝が数条錯綜して存在する。奈良・平安時代の大規模な溝は今回の調査範囲では、検出されなかった。一方、中世前半と思われる規模の大きな溝状遺構があり、046号跡

などが存在している。この時期に類似する遺構は、西野遺跡群 D 地点内にも存在していると考えられ、中世前半における西野遺跡群の歴史的景観についても注目していく必要があると思われる。

#### 028号跡（第46・55図）

**位置** 2条の溝が平行して、調査区の中央北端を北西—南東方向に縦断している。方向は、座標北を基準にして  $N-15^{\circ}$  —W 前後である。

**形態** 平面規模は幅4.2×現存長3.0m、深さ0.3m前後を測り、両溝の中心間は3.7～3.8mを測る。

**構造** 逆台形状の断面を呈し、覆土は黒灰色粘質土を主体としている。遺存状況は良くない。両溝間の平坦部分には、明瞭な硬化面や轍痕跡は残存せず、上部は削平された可能性が高い。図示できる遺物の出土はなかったが、振れの角度や覆土から001～005号跡に近似する時期の遺構である可能性があるとされる。道路状遺構と判断しておきたい。

#### 029号跡（第46・60・121図）

**位置** 調査区の西側北端を南西—北東方向に横断している。方向は、座標北を基準にして  $N-94^{\circ}$  —W 前後である。

**形態** 平面規模は幅3.0～3.8×現存長6.45m、深さ0.1～0.2m前後を測る。

**構造** 逆台形状の断面を呈し、覆土は暗黒灰色土を主体としている。東西方向に延びていくと思われるが遺存状況は良くなく、東側調査部分では検出されなかった。遺物は、覆土から土師器杯の底部1、底面直上から管状土錘2、中世遺物として瀬戸・美濃窯の折縁深皿（中）9が覆土中より出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、中世期まで遡るか。

#### 030号跡（第47・60・124図）

**位置** 調査区の東側北寄りを南西から方形に巡るようにして、北西方向に走っている。方向は、南東—北西辺において、座標北を基準にして  $N-9^{\circ}$  —W 前後である。

**形態** 南西から現島畑を方形に巡るようにして、北西方向に走る溝である。平面規模は幅2.1～6.5×現存長41.4m、深さ0.2～0.4m前後を測る。

**構造** 逆台形状の断面を呈し、覆土は灰色砂質土を主体とし、底面に富士宝永期テフラが堆積していた。遺物は、覆土から須恵器甕の口縁部1や、常滑窯の片口鉢底部（中）1が出土しているが、混入である。方形に巡ると思われ、島畑を巡る近世溝と思われる。

#### 031号跡（第47・55図）

**位置** 調査区の西側北寄りを南東から方形に巡るようにして、北西方向に走っている。方向は、南北辺において、座標北を基準にして  $N-5^{\circ}$  —W 前後である。コーナー部付近で005号跡 P 6 と重複する。本遺構の方が古いと考えられる。

**形態** 南西から方形に巡るようにして、北西方向に走る溝である。平面規模は幅0.6～0.8×現存長17.4m、深さ0.2m前後を測る。

**構造** 逆台形状の断面を呈し、覆土は黒褐色粘質土を主体とする。図示できる遺物の出土はなかった

が、005号跡に遡ることがわかっており、8世紀以前に比定できるか。

#### 032号跡（第47・60・121・127図）

**位置** 調査区の西側北寄りを東西に横断するように走っている。方向は、座標北を基準にしてN-80°-W前後である。北辺付近において、005号跡P2・P10と重複する。

**形態** 平面規模は幅5.5～6.1×現存長7.6m、深さ0.1～0.3m前後を測る。

**構造** 本溝内に数条の溝が平行して存在している。覆土は灰色砂質土を主体とし、下層に富士宝永期テフラが堆積していた。北辺付近において、005号跡P2・P10と重複し、本遺構の方が新しい。遺物は、覆土から灰釉陶器の皿底部片1や土師器の甕口縁部片2が出土しているが、混入遺物と思われる。他に中世遺物として、志野窯の丸皿底部片（中）14や板碑片（中）62、及び遺構内ピット覆土から龍泉窯系青磁の碗（中）1が出土しているが、これらも混入と思われる。堆積土の状況から近世溝と思われ、調査区東側にある030号跡と同一溝の可能性はある。

#### 033号跡（第48・55・60図）

**位置** 調査区の西側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-66°-W前後である。

**形態** 平面規模は幅0.8～1.3×現存長7.9m、深さ0.2m前後を測る。

**構造** 覆土は黒褐色土を主体とする。遺物は、覆土中より平瓦1が出土しているが、混入と思われる。覆土の状況から、中世期まで遡る可能性があると思われる。

#### 034号跡（第48・49・55・121図）

**位置** 調査区西側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-65°-W前後である。

**形態** 平面規模は幅7.1×現存長8.0m、深さ0.2m前後を測る。

**構造** 覆土は暗灰色粘質土を主体とする。遺物は、覆土中より瀬戸・美濃窯の天目茶碗（中）10が出土しているが、混入と思われる。覆土の状況から近世を遡らない溝と思われる。

#### 035号跡（第48・49・55・60・121図）

**位置** 調査区の東側ほぼ中央を北東から南西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-75°-E前後である。

**形態** 平面規模は幅3.1～3.7×現存長3.6m、深さ0.6m前後を測る。

**構造** 覆土は黒灰色粘質土を主体とする。上面は、近世期に溝として掘り直されている。遺物は、覆土中より丸瓦1が出土しているが、混入と思われる。また、中世遺物として覆土中より瀬戸・美濃窯の折縁深皿（中）7が出土している。また、周囲からは志戸呂窯の緑釉皿（中）13が出土している。遺物・覆土の状況から、中世期まで遡る可能性があると思われる。

036号跡（第49・55・61・121・122・123図）

位置 調査区の東側ほぼ中央を北東から南西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-30°—E前後である。

形態 平面規模は幅4.45×現存長8.0m、深さ1.0m前後を測る。

構造 覆土は灰色粘質土を主体とする。遺物は、覆土中より高杯の脚部1や須恵器甕の口縁部2、丸瓦片3～5及び砥石6が出土しているが、混入遺物と思われる。また、中世遺物として覆土中より瀬戸・美濃窯の平碗（中）12、常滑窯の片口鉢（中）21、カワラケ（中）32～36・（中）38・（中）40・（中）41・（中）44～46・（中）58、一括遺物としてカワラケ（中）59が出土している。遺物・覆土の状況から、中世期13世紀後半～14世紀頃まで遡る可能性があると思われる。本遺構は、西側調査区に直線的に南下した場合、該当する箇所には溝が検出されていないため、やや東側に方向を変えるか、東に大きく屈曲していると考えられるが、断面の形状・覆土の状況から、出土遺物はやや遡ると思われるものの、046号跡との関連が高いのではないかと思われる。

037号跡（第49図）

位置 調査区の東側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-64°—W前後である。

形態 平面規模は幅0.4～0.5×現存長5.0m、深さ0.1m前後を測る。

構造 小規模な溝である。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土は周囲の036号跡に近似すると考えられ、方向はほぼ直交することから、中世期頃まで遡る可能性があると思われる。

038号跡（第49・55図）

位置 調査区の東側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-65°—W前後である。

形態 平面規模は幅1.45～1.58×現存長4.8m、深さ0.5m前後を測る。

構造 覆土は、上層が黒灰色粘質土、下層が灰色粘質土を主体とする。比較的小規模な溝である。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土は周囲の023号跡・036号跡に近似すると考えられ、方向はほぼ平行ないし直交することから、中世期頃まで遡る可能性があると思われる。

039号跡（第50・55・61・122・123図）

位置 調査区の東側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-71°—W前後である。

形態 平面規模は幅2.9×現存長4.8m、深さ0.6m前後を測る。

構造 覆土は、灰色粘質土を主体とする。遺物は、覆土中より丸瓦片1が出土しているが混入遺物であろう。中世遺物は覆土中より、常滑窯の片口鉢（中）25・（中）29、カワラケ（中）43が出土している。遺物や覆土の状況から中世期15世紀頃まで遡ると思われる。



#### 040号跡（第51・55・121・122図）

位置 調査区の東側南寄りを南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN－80°－W前後である。

形態 平面規模は幅4.5～5.0×現存長4.35m、深さ1.2m前後を測る。

構造 覆土は、暗灰色粘質土を主体とする。遺物は中世遺物として、覆土中より瀬戸・美濃窯の平碗（中）11、カワラケ（中）37、一括遺物より常滑窯の甕（中）18・片口鉢（中）27、が出土している。遺物や覆土の状況から中世期14～15世紀頃まで遡ると思われる。本遺構は、直線的に北西方向に進むと046号跡と重複すると考えられるが、出土遺物から、本遺構の方が新しい時期に開削されたと思われる。ただし、046号跡を貫通して西進している状況が見られないため、046号跡が機能している段階で掘削されたのではないかと思われる。

#### 041号跡（第51図）

位置 調査区の東側南寄りを南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN－83°－W前後である。

形態 平面規模は幅0.8～1.0×現存長4.4m、深さ0.1m前後を測る。

構造 小規模な溝である。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土は周囲の040号跡・026号跡に近似すると考えられ、中世期頃まで遡る可能性があると思われる。

#### 042号跡（第49・56・61・123図）

位置 調査区の西側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN－73°－W前後である。

形態 平面規模は幅7.75～8.7×現存長7.5m、深さ0.4m前後を測る。西側において、043号跡と重複する。

構造 上幅は大きい、浅い溝である。覆土は灰色砂質土を主体とする。西側において、043号跡を切っており、本遺構の方が新しいと思われる。遺物は、中世遺物が覆土から瀬戸・美濃窯の緑釉皿（中）4・5、底面直上から土師質土器の播鉢（中）10が出土している。他には、煙管の雁首1が出土しているが混入であろう。覆土は新相である印象を受けるものの、出土遺物の状況から中世期15世紀後半頃まで遡る可能性があると思われる。

#### 043号跡（第49・56図）

位置 調査区の西側ほぼ中央を北東から南西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN－88°－E前後である。

形態 平面規模は幅0.3～0.4×検出長5.5m、深さ0.1m前後を測る。西側において、042号跡と重複する。本遺構の方が古いと思われる。

構造 小規模な溝である。覆土は黒灰色粘質土を主体とする。西側において042号跡に切られており、042号跡より古い。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土の状況から判断して、中世期前半頃まで遡るだろうか。

044号跡（第49・56・123図）

位置 調査区の西側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-80°-W前後である。

形態 平面規模は幅1.3~1.4×検出長7.3m、深さ0.4m前後を測る。

構造 小規模な溝である。覆土は灰色砂を主体とする。底面において、富士山宝永期テフラが堆積していた。遺物は、一括遺物として瀬戸・美濃窯の平碗（中）3が出土しているが、混入遺物であろう。近世期を遡らない溝と思われる。

045号跡（第50・56図）

位置 調査区の西側ほぼ中央を南東から北西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-77°-W前後である。

形態 平面規模は幅0.8~1.0×検出長7.5m、深さ0.4m前後を測る。

構造 小規模な溝である。覆土は、黒褐色粘土ブロックを含む暗灰色粘質土を主体とする。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土の状況から中世期まで遡る可能性があると思われる。

046号跡（第50・51・56・61・123図）

位置 調査区の西側南寄りを北東から南西方向に横断している。

形態 平面規模は幅4.0~4.8×検出長37.7m、深さ0.5m前後を測る。方向は、座標北を基準にしてN-7°-E前後である。また、北端部の遺構中において、平面三角形を呈した土坑が存在している。土坑の平面規模は3.2×3.7m、深さ1.1m前後を測る。一方、西側において、小規模な溝状遺構と重複している。平面規模は幅0.9~1.1×検出長8.0m、深さ0.2m前後を測り、方向は座標北を基準にしてN-62°-W前後である。

構造 上幅は大きい、比較的浅い溝である。覆土は暗灰褐色粘質土を主体とする。中世遺物は龍泉窯系青磁の碗（中）1、常滑窯の甕（中）6・片口鉢（中）7、渥美の片口鉢（中）8、瓦質土器の火鉢（中）9が覆土から、瀬戸・美濃窯の卸皿（中）2、カワラケ（中）11が一括遺物として出土している。片口鉢（中）7など新相と思われる遺物も出土しているが、中世期13世紀前半頃まで遡る可能性があると思われる。他の遺物は、覆土中より須恵器甕の口縁部1、平瓦片2が出土しているが混入であろう。また、砥石3が出土している。他には、覆土中よりウマの歯が出土している（第3章—3節 参照）。本遺構は、直線的に北上した場合に該当する東側調査区に溝が見られないため、やや東に方向を変えて開削されていると考えられ、036号跡が、断面の形状・覆土の状況で近似しており、出土遺物は本遺構よりやや新しい印象を受けるが、関連性が高いのではないと思われる。また、遺構中の北端部において、平面三角形を呈した土坑が存在しているが、覆土は、暗灰色粘質土を主体とし、下層は青灰色を帯びている。常に下部から湧水していると考えられ、本遺構に水を供給する井戸状遺構であった可能性がある。一方、西側においては小規模な溝状遺構と重複しているが、本遺構に関連する可能性があると思われる。新旧関係は判然としないが、三角形を呈した土坑（井戸状遺構）からの水を供給するための溝であろうか。

#### 4. その他の遺構

##### 概要

調査区東側南寄りに検出されたピットの中で、ピット列（柵列状遺構）として認定したものが、3列ある。いずれも、図示できる遺物の出土がないが、堆積土の観察から中世期まで遡る可能性があると判断した。他に西側調査区中央部付近においても、中世期まで遡る可能性のある小規模なピットが多数存在しており、規模及び堆積土の相違に基づく検討を行ったが、遺構と認定するには至らなかった。

##### 047号跡（第50・56図）

**位置** 調査区の東側南寄りに位置する。

**形態** 不整な円形を呈する小規模なピットが5基北東—南西方向に並んでいる。方向は座標北を基準にしてN-17°—E前後である。

**構造** 小規模なピットが列状に並んでいる。ピット間距離は1.5～1.6m、ピットの平面規模は0.35×0.4m、深さ0.2m前後を測る。図示できる遺物の出土はなかった。時期決定する根拠に乏しいが、周囲の状況から中世期まで遡るか。

##### 048号跡（第50・56図）

**位置** 調査区の東側南寄りに位置する。

**形態** 不整な円形を呈する小規模なピットが6基北東—南西方向に並んでいる。方向は座標北を基準にしてN-8°—E前後である。

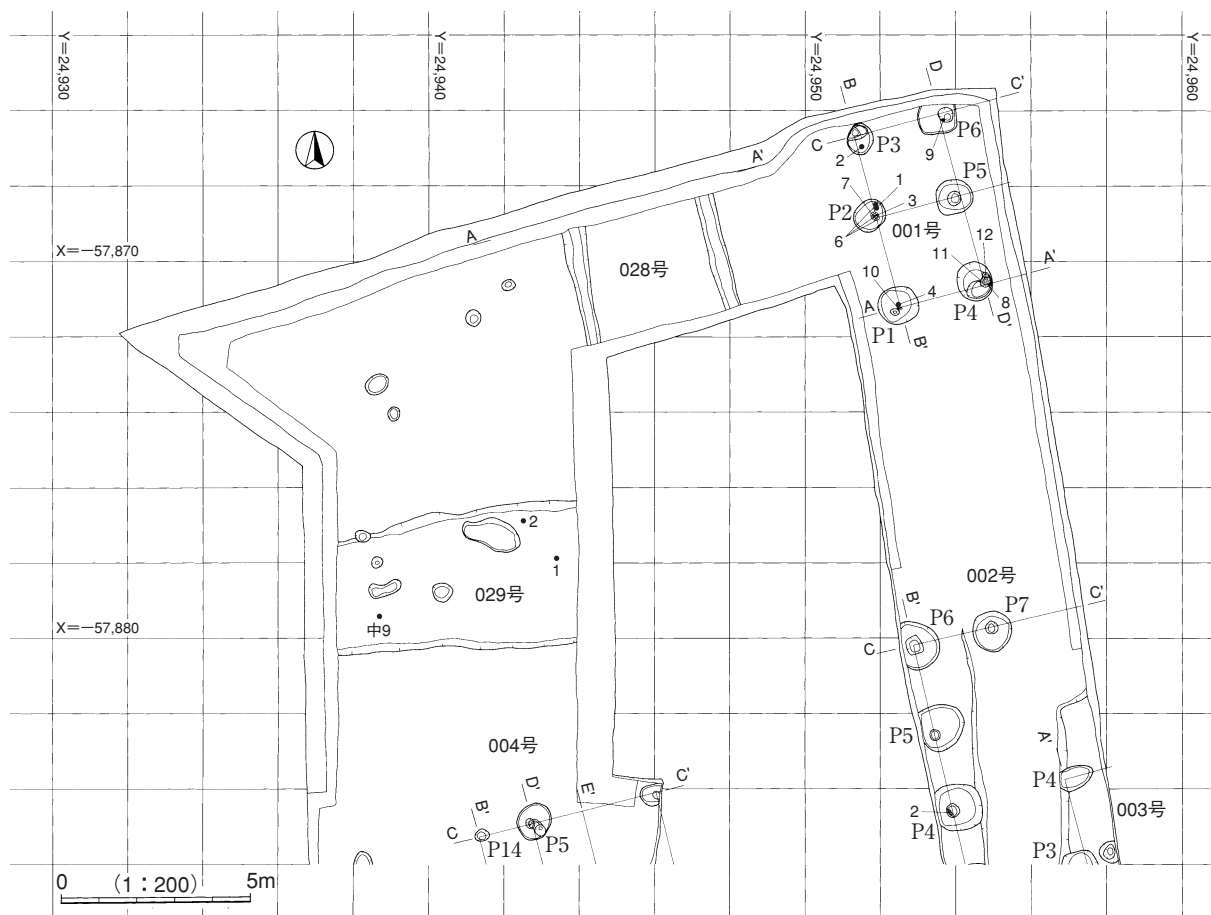
**構造** 小規模なピットが列状に並んでいる。ピット間距離は基本的に0.5～1.3mであるが、P5とP6は近接しており、P5は本遺構には伴わない可能性が高い。ピットの平面規模は0.3×0.5m、深さ0.2m前後を測る。埋土は、黒褐色粘質土を主体とする。図示できる遺物の出土はなかったが、埋土及び周囲の状況から中世期まで遡るか。

##### 049号跡（第50・56図）

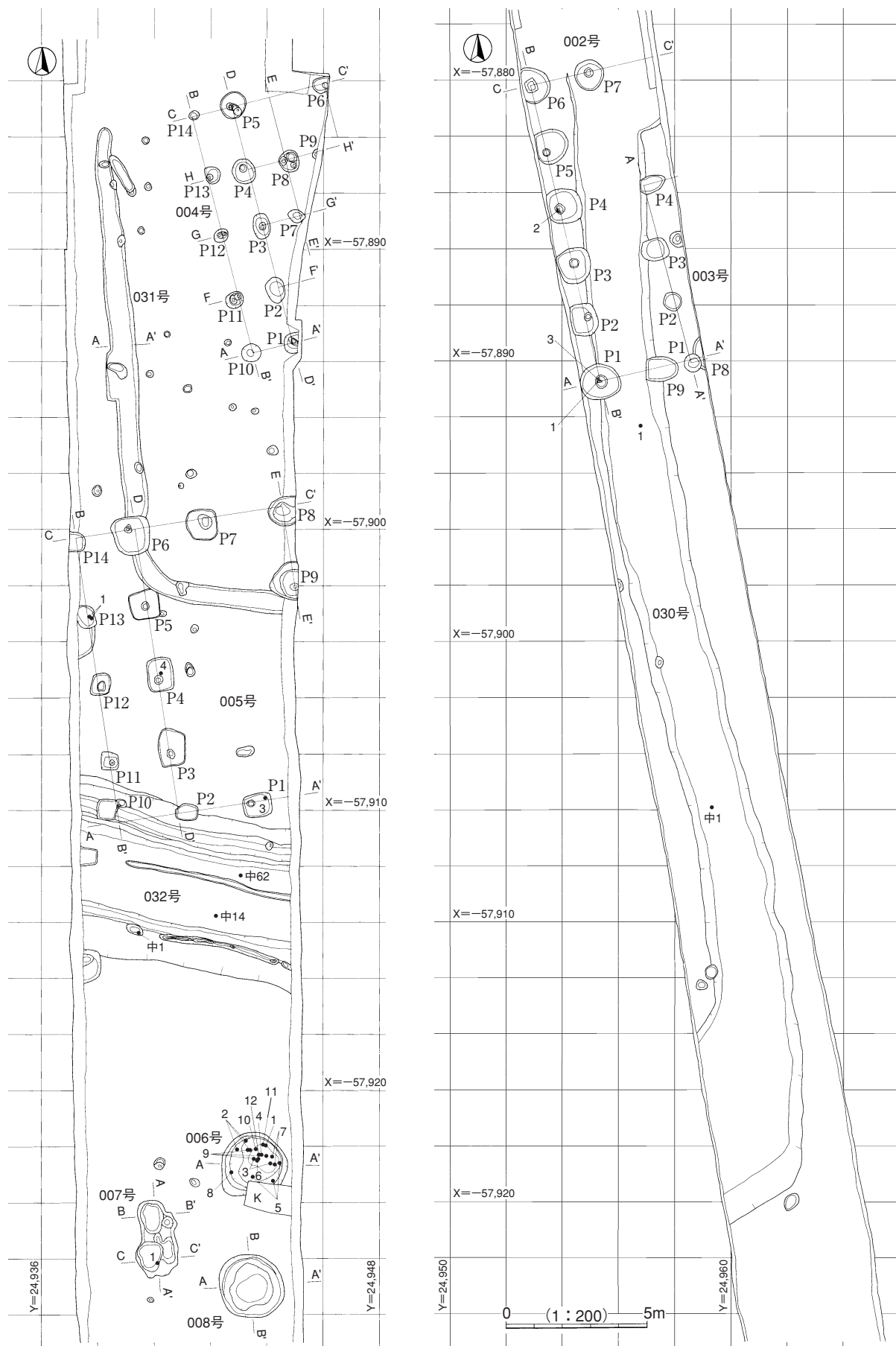
**位置** 調査区の東側南寄りに位置する。

**形態** 不整な円形を呈する小規模なピットが6基南東—北西方向に並んでいる。方向は座標北を基準にしてN-2°—W前後である。

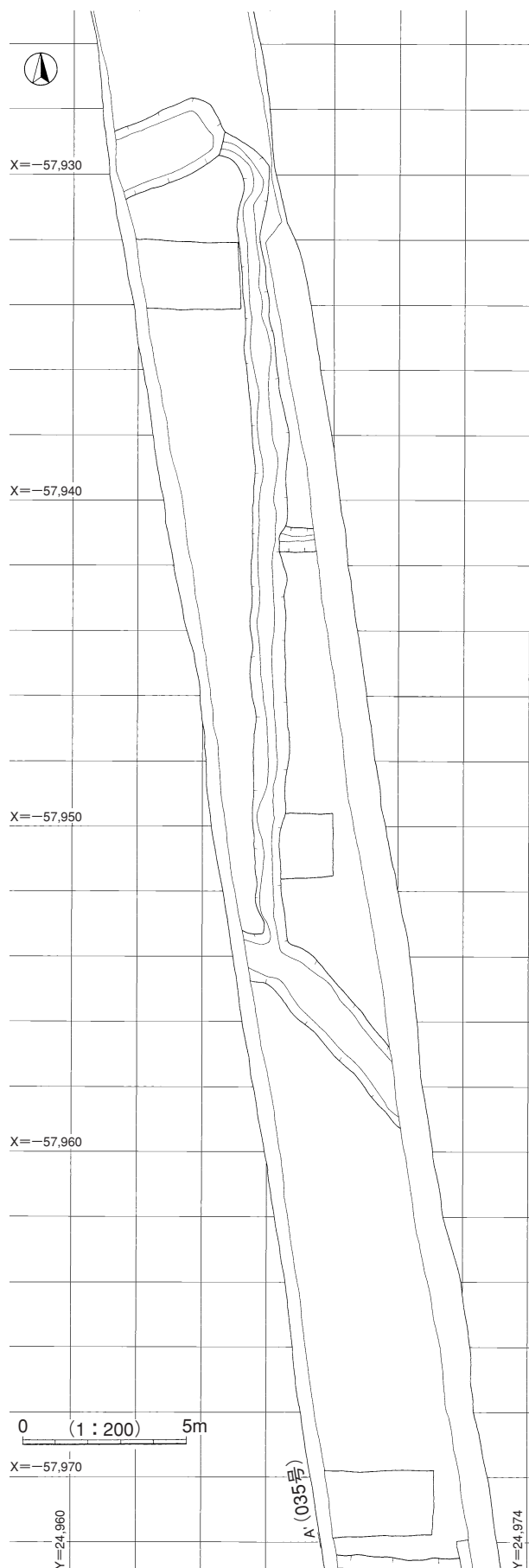
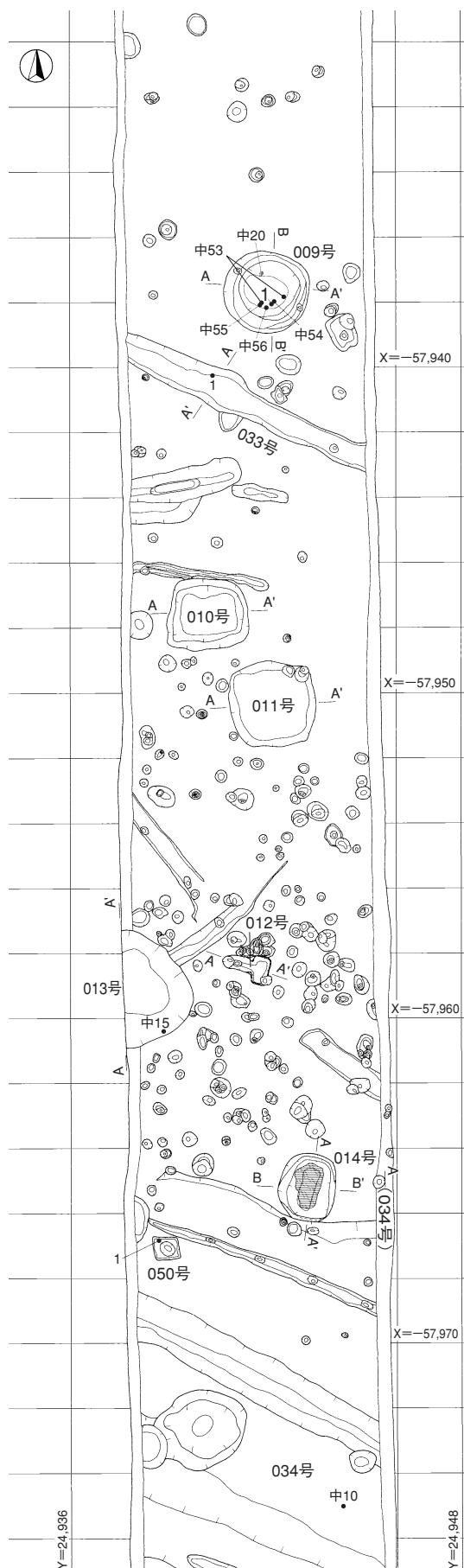
**構造** 小規模なピットが列状に並んでいる。ピット間距離は0.8～1.9mであるが、P1とP2が近接しており、他はほぼ等間隔を保っている。ピットの平面規模は0.2×0.4m、深さ0.3～0.5m前後を測る。図示できる遺物の出土はなかったが、周囲の状況から中世期まで遡るか。



第46図 平面図①

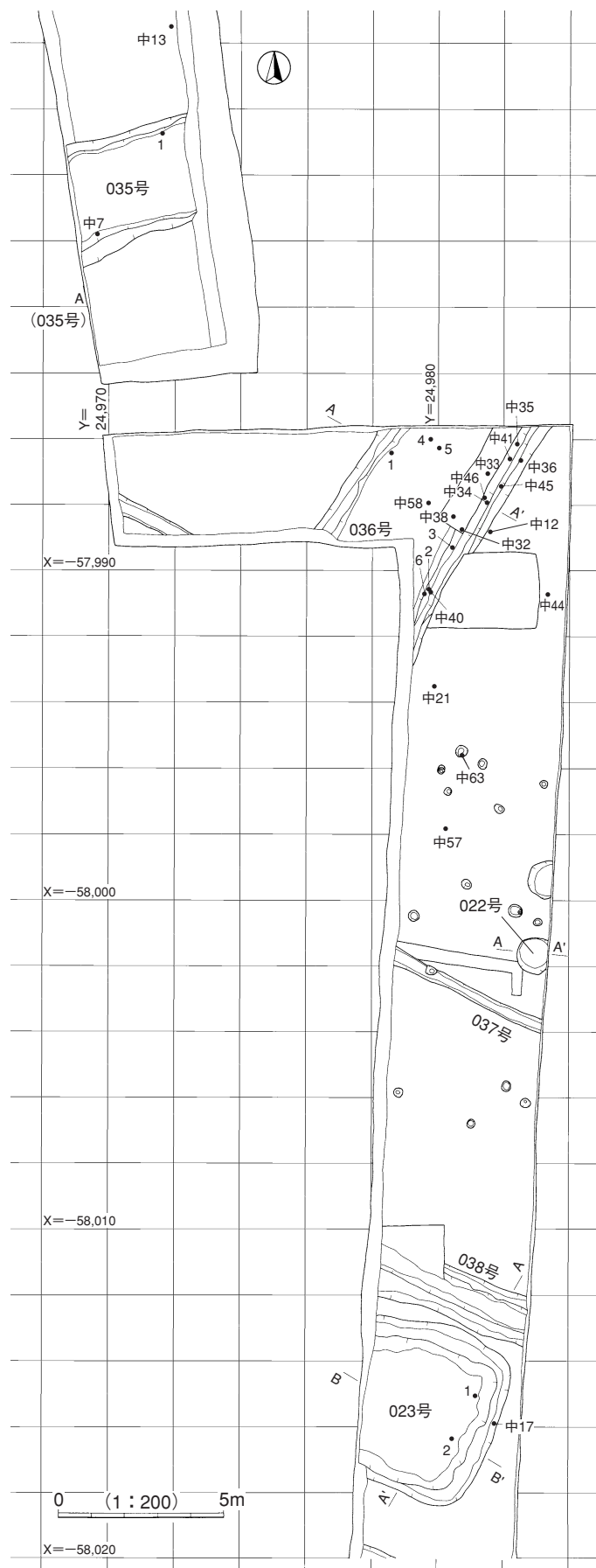
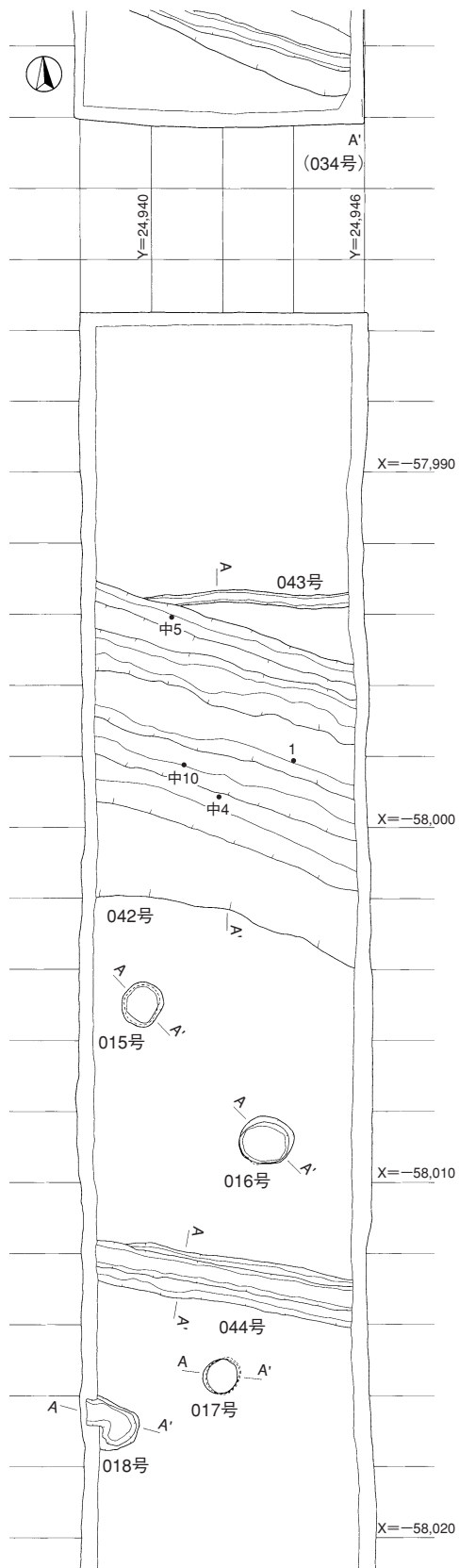


第47図 平面图②

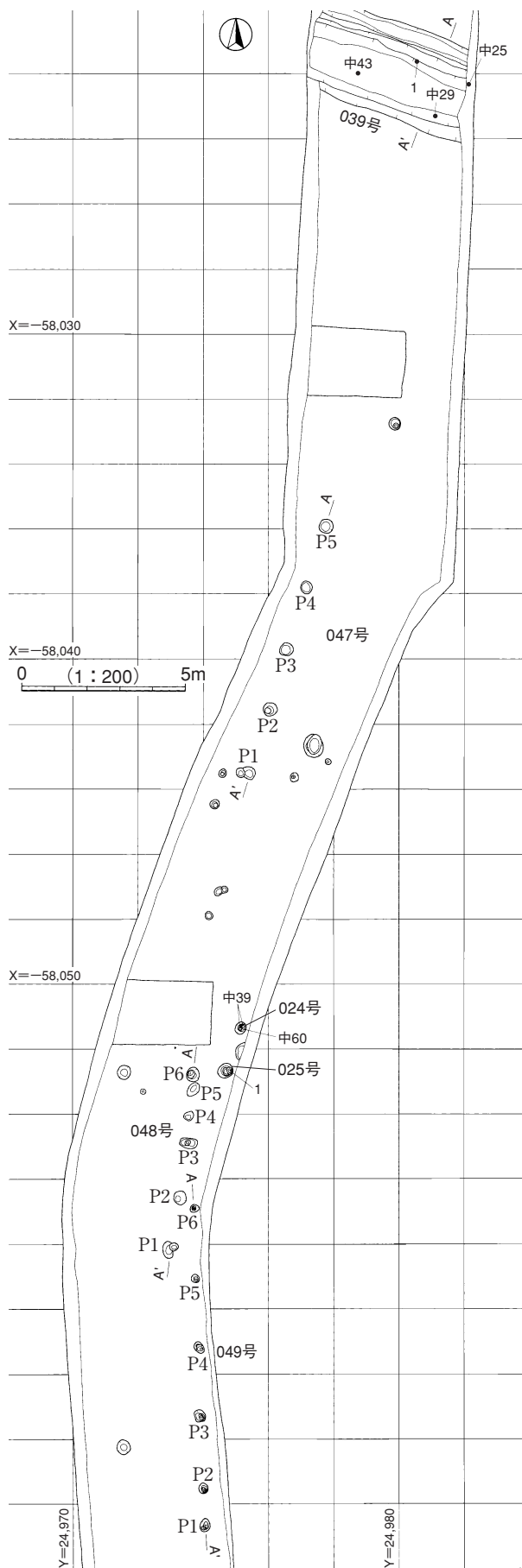
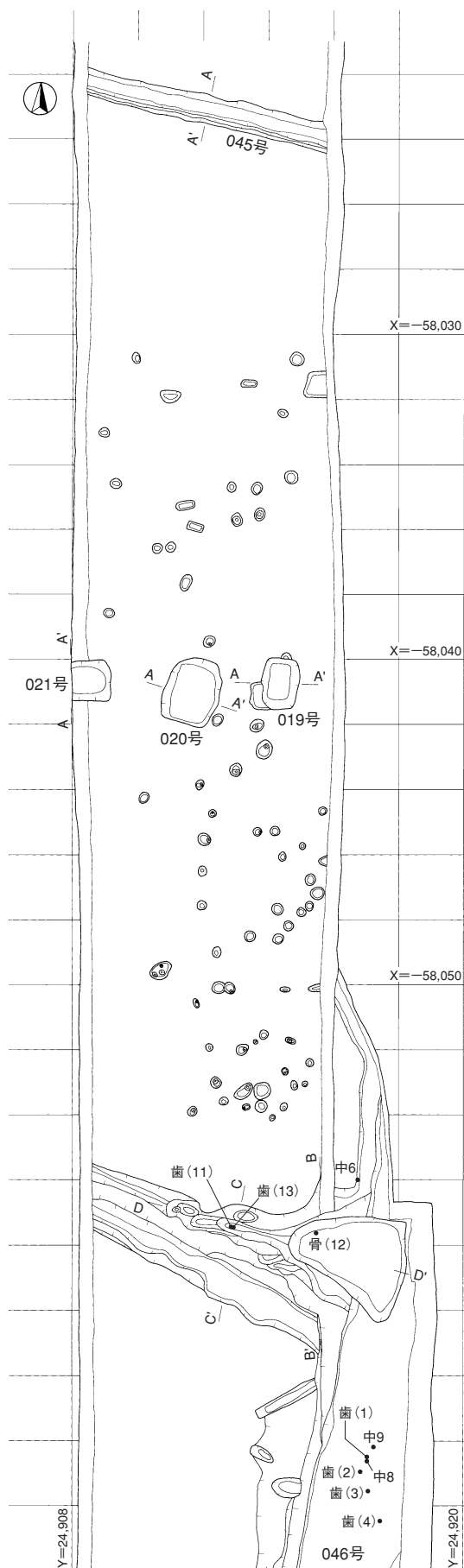


第48図 平面図③

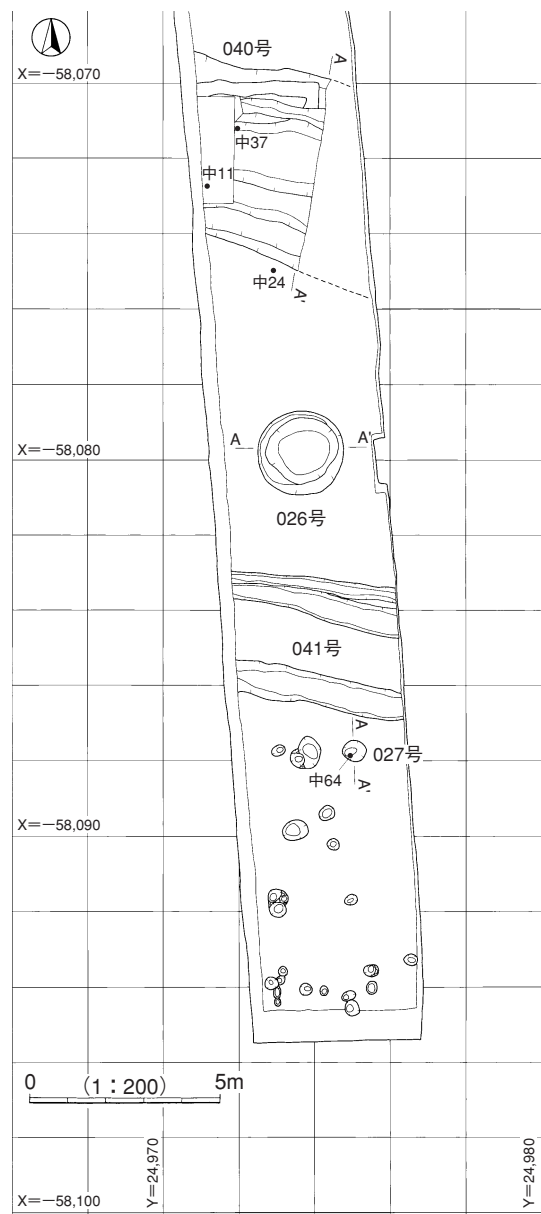
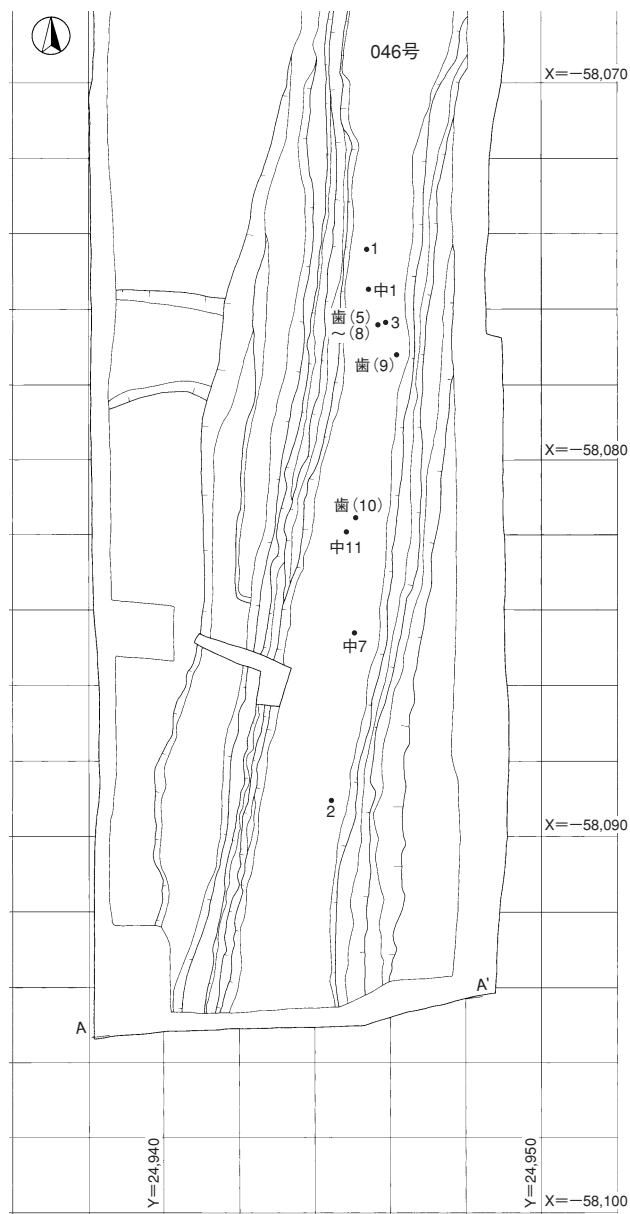




第49図 平面図④

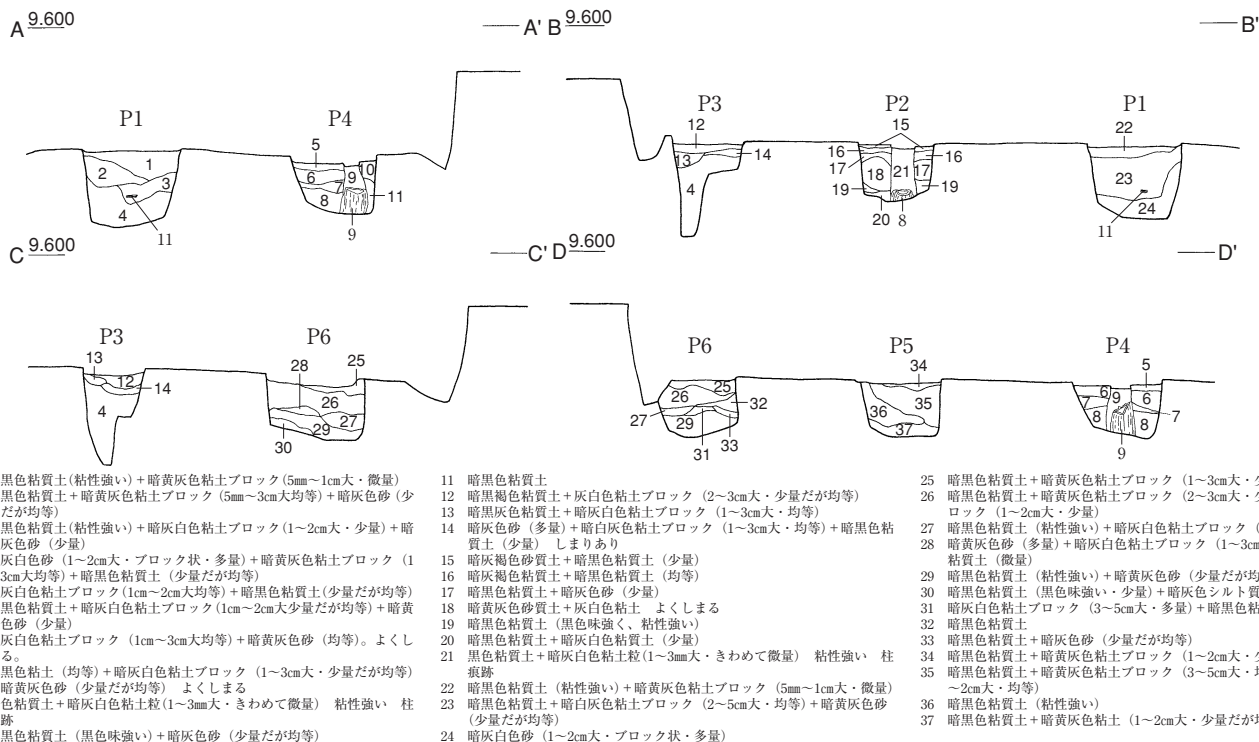


第50図 平面図⑤

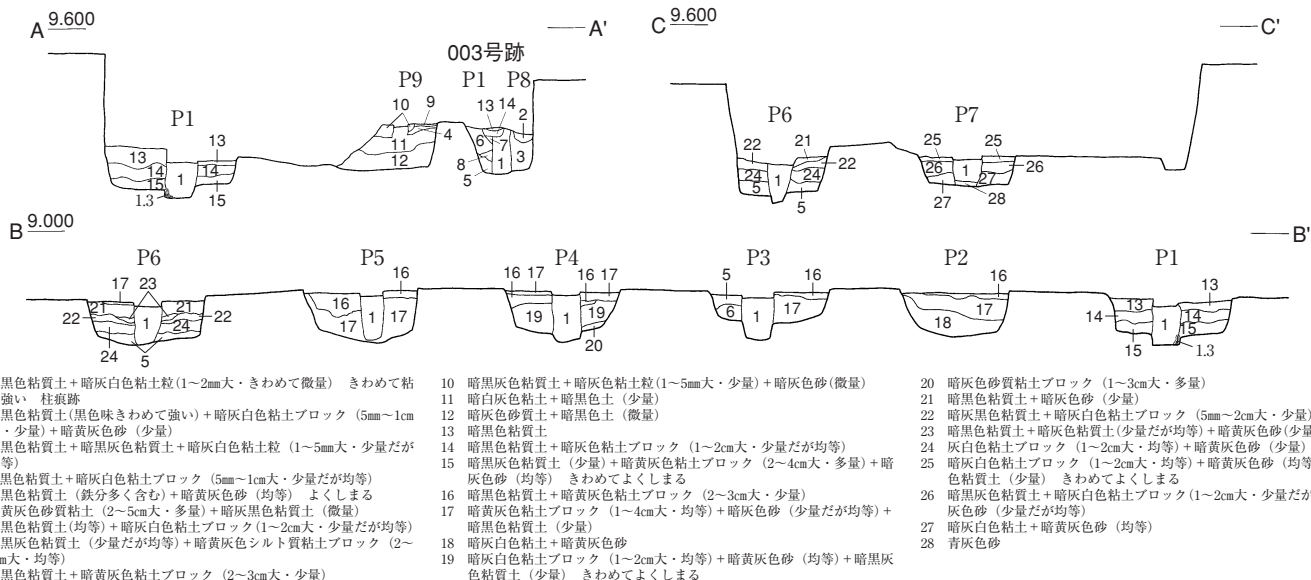


第51図 平面图⑥

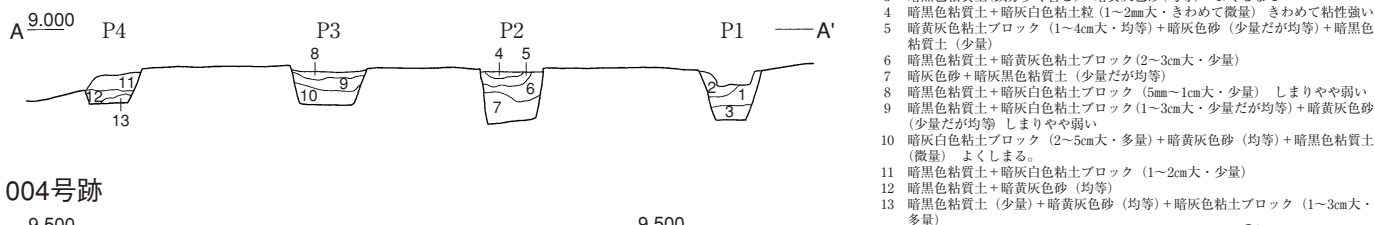
## 001号跡



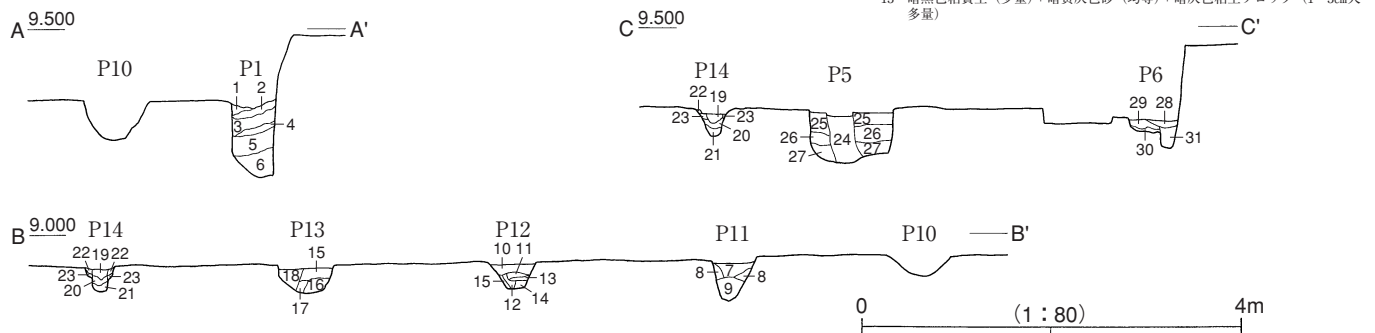
## 002号跡



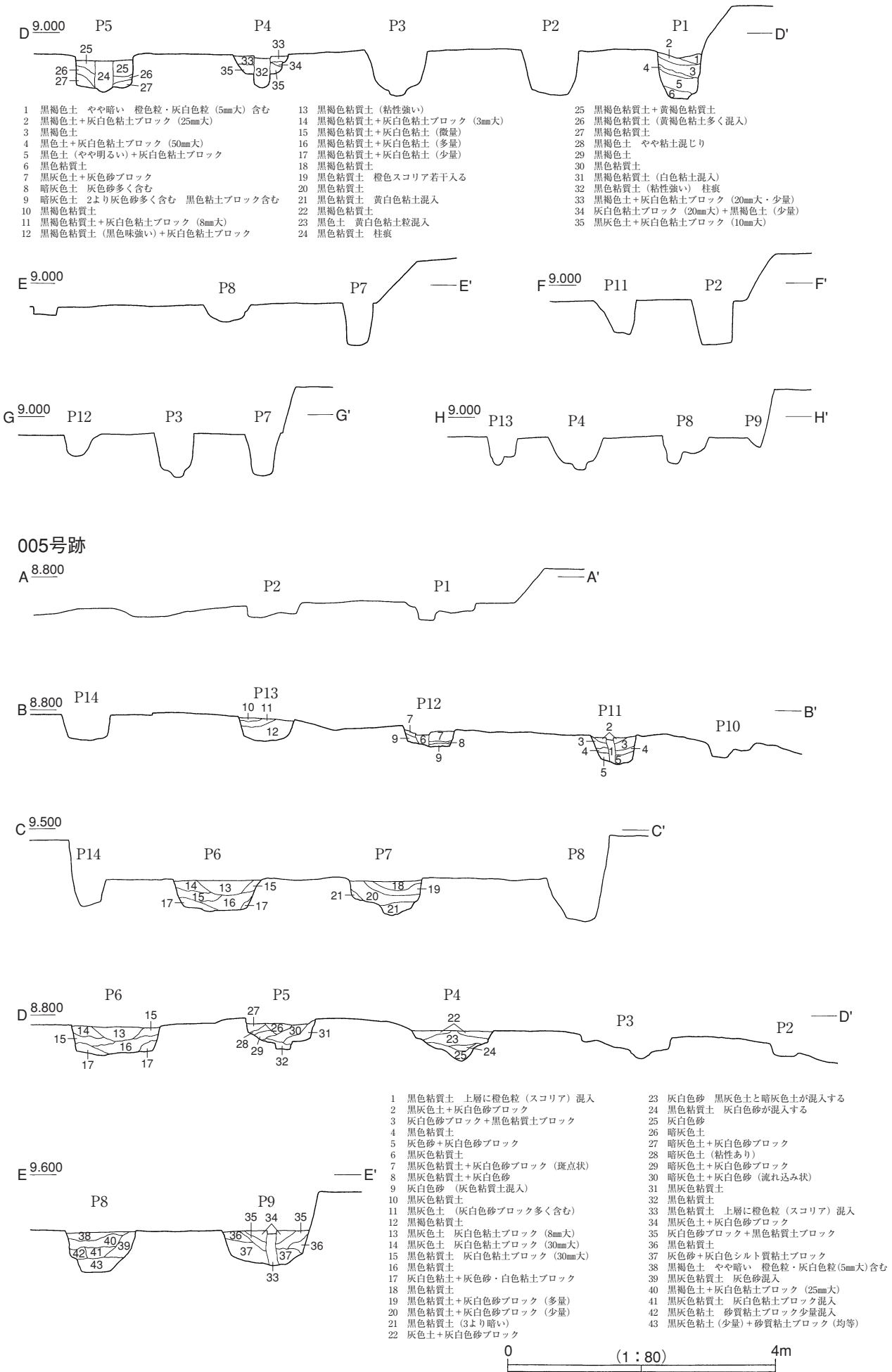
## 003号跡



## 004号跡

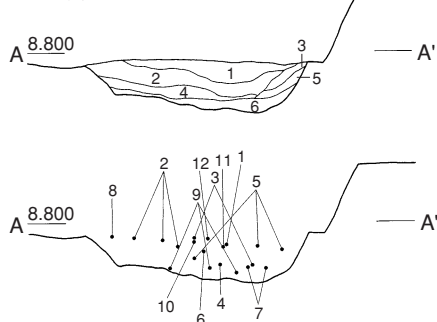


第52図 断面図①



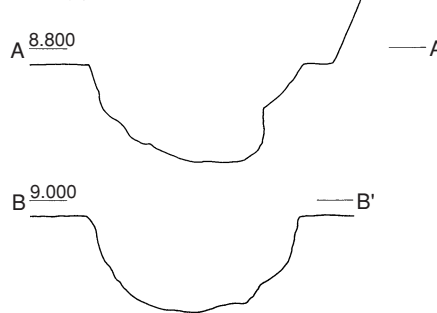
第53図 断面図②

# 006号跡

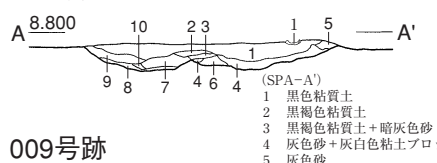


- 1 黒灰色粘質土 炭化物 (10mm大)・  
橙色ブロック (8mm大) 多く含む
- 2 黒灰色粘質土 炭化物 (6mm大)・橙  
色ブロック (4mm大) 少量含む
- 3 黒灰色粘質土+灰白色砂
- 4 黒褐色粘質土
- 5 灰色砂 暗灰色粘質土含む
- 6 灰色砂 (多量)+灰白色粘土ブロッ  
ク (微量)

# 008号跡



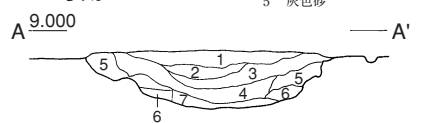
# 007号跡



- 6 灰白色シルト質粘土
- 7 黒色土+灰白色砂
- 8 灰色砂
- 9 黒色粘質土 (黒色味強い)
- 10 黒色粘質土 (粘性強い)

- 1 黒色粘質土
- 2 黒色粘質土 (黒色味強い)
- 3 灰色砂
- 4 黒色粘質土 (粘性強い)

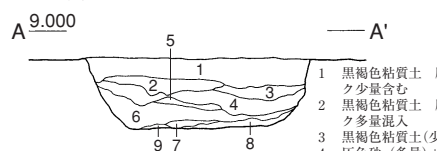
# 009号跡



- 1 黒色粘質土
- 2 黒褐色粘質土
- 3 黒褐色粘質土+暗灰色砂
- 4 灰色砂+灰白色粘土ブロック
- 5 灰色砂

- 1 黒色粘質土
- 2 黒色粘質土 (黒色味強い)
- 3 灰色砂
- 4 黒色粘質土 (粘性強い)

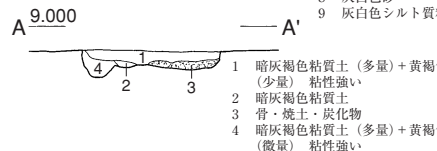
# 010号跡



- 1 黒褐色粘質土 灰色砂・粘土ブロッ  
ク少量含む
- 2 黒褐色粘質土 灰色砂・粘土ブロッ  
ク多量混入
- 3 黒褐色粘質土 (少量)+灰色砂 (多量)
- 4 灰色砂 (多量)+黒色土 (少量) 灰  
白色粘土ブロック多量混入
- 5 黒色土 (多量)+灰色砂 (少量)
- 6 黒色土+灰白色粘土ブロック
- 7 灰色砂
- 8 灰白色砂
- 9 灰白色シルト質粘土

- 1 黒褐色粘質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 011号跡



- 1 黒褐色粘質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 黒褐色粘質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

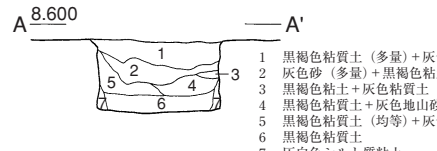
# 012号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

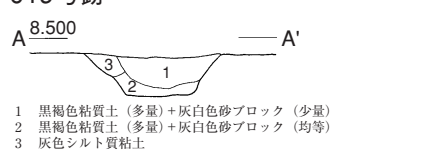
# 013号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

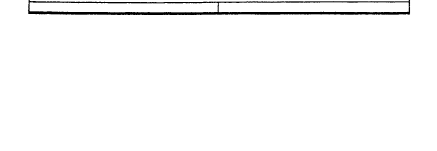
# 014号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 015号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 016号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 017号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 018号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 019号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 020号跡



- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

# 021号跡

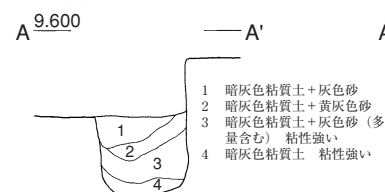


- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む

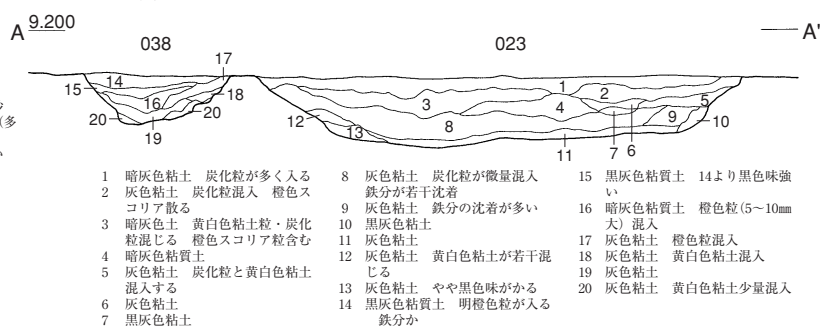
- 1 暗灰色砂質土 灰色砂 (5mm大)・  
炭化物 (8mm大) 多く含む
- 2 暗灰色粘質土 灰色砂含む
- 3 暗灰色粘質土
- 4 暗灰色粘質土 灰色砂含む



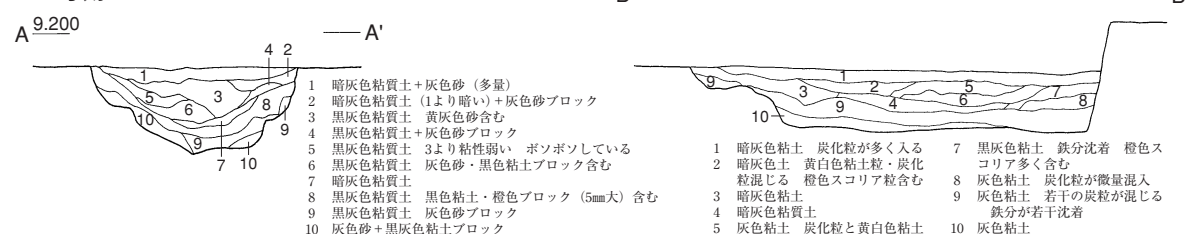
## 022号跡



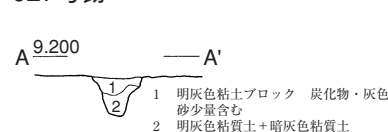
## 023・038号跡



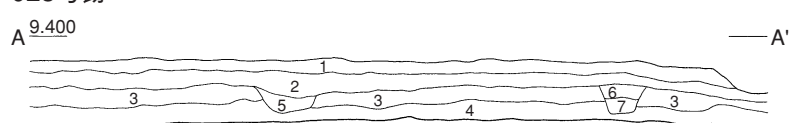
## 026号跡



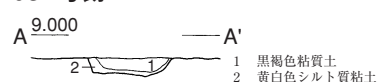
## 027号跡



## 028号跡



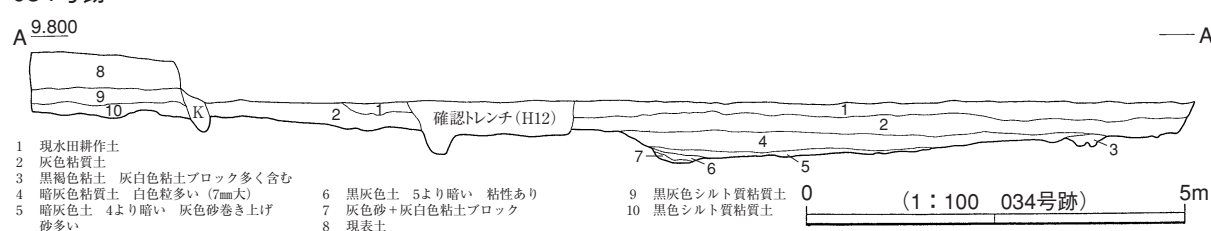
## 031号跡



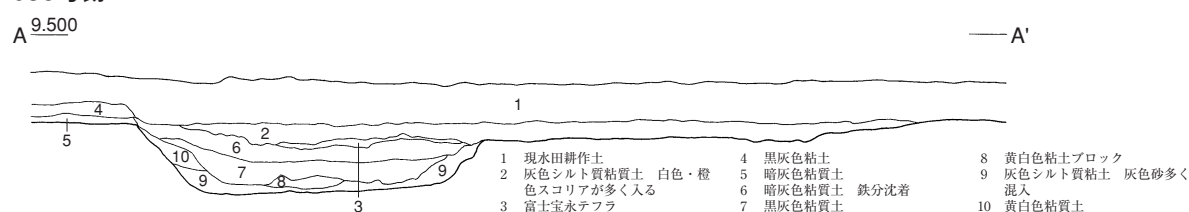
## 033号跡



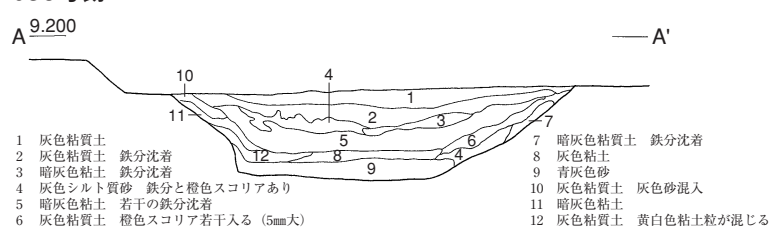
## 034号跡



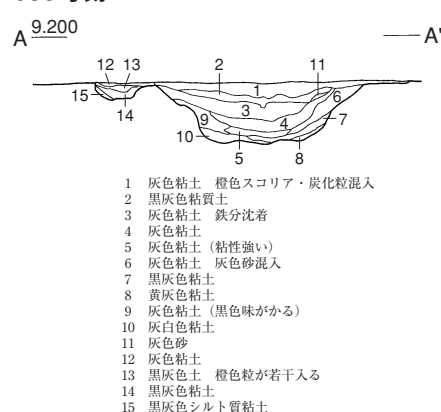
## 035号跡



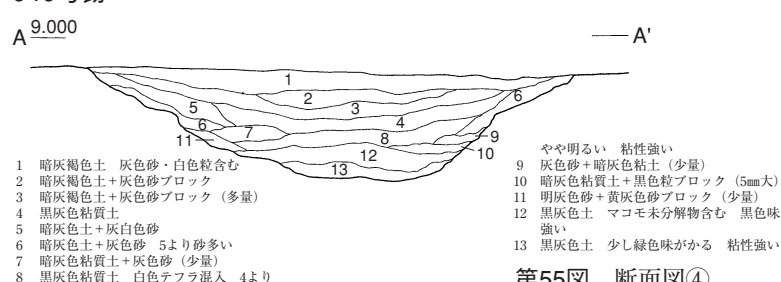
## 036号跡



## 039号跡

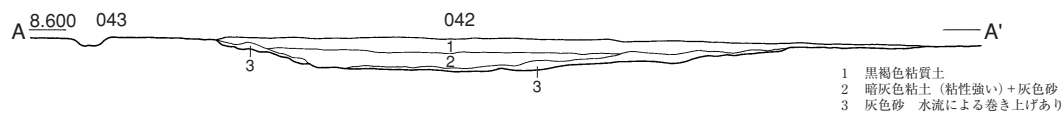


## 040号跡

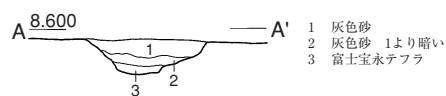


## 第55図 断面図④

# 042・043号跡



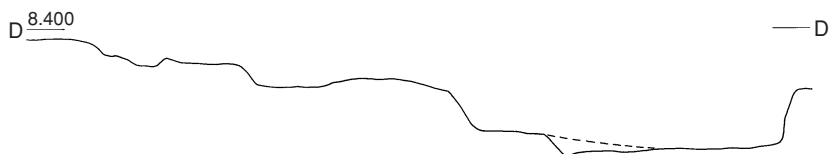
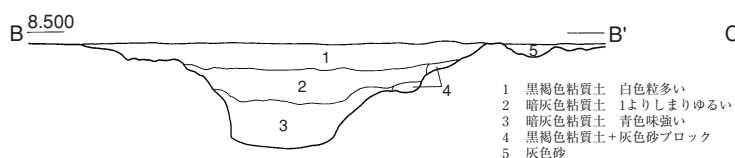
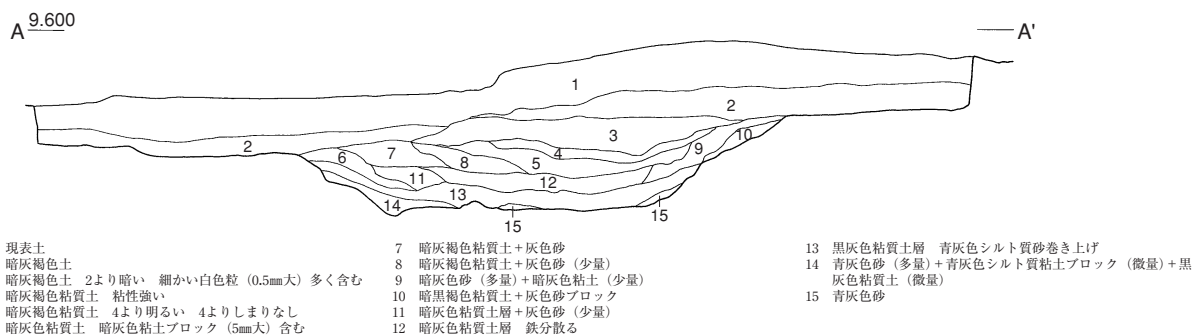
# 044号跡



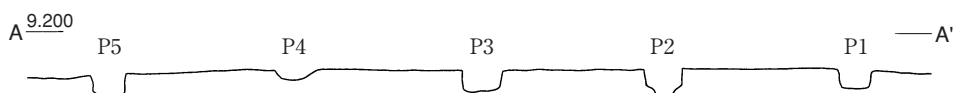
# 045号跡



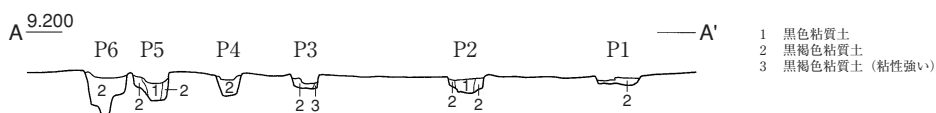
# 046号跡



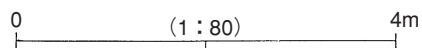
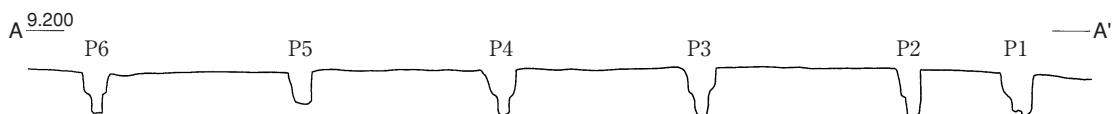
# 047号跡



# 048号跡



# 049号跡

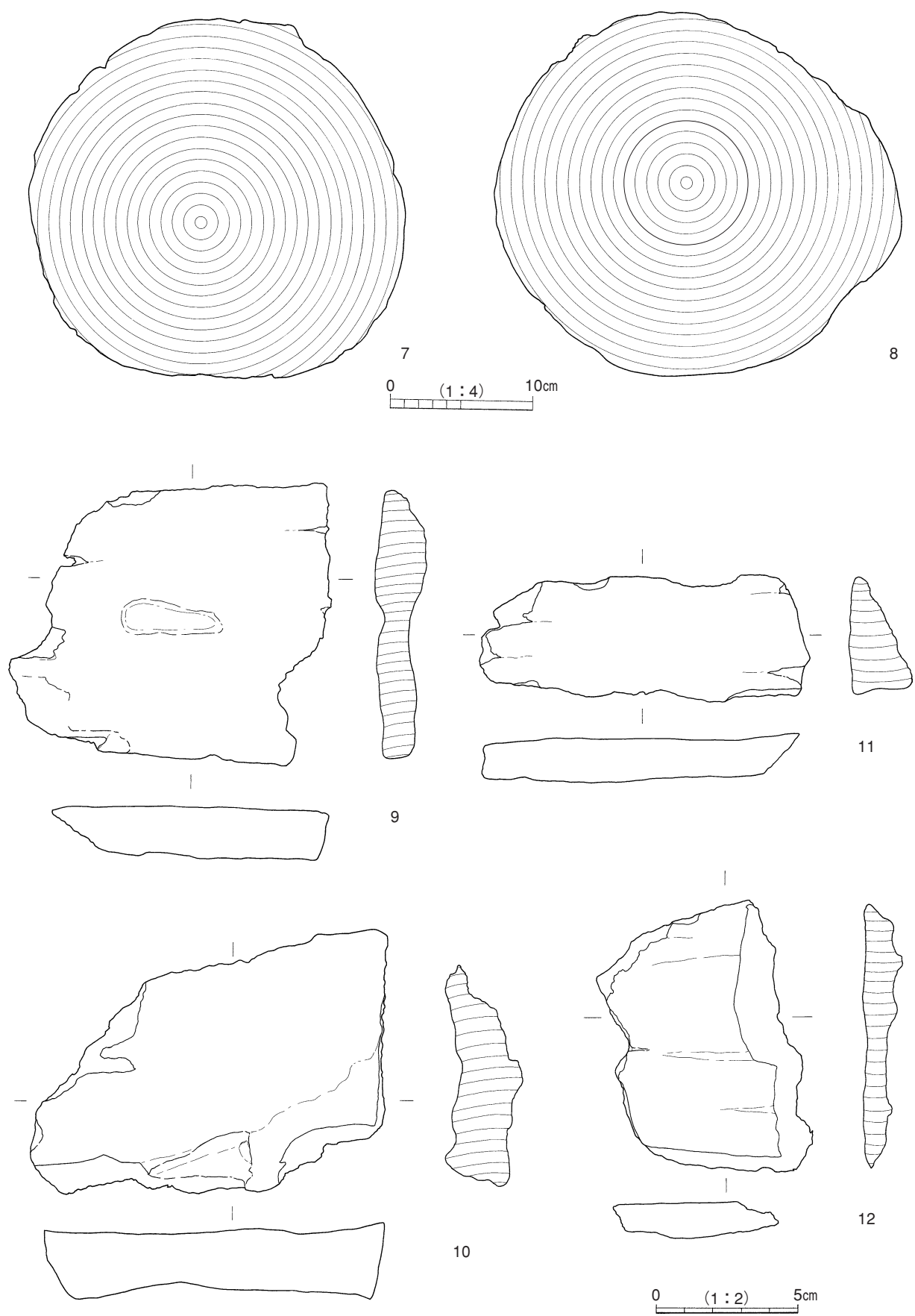


第56図 断面図⑤

001号跡

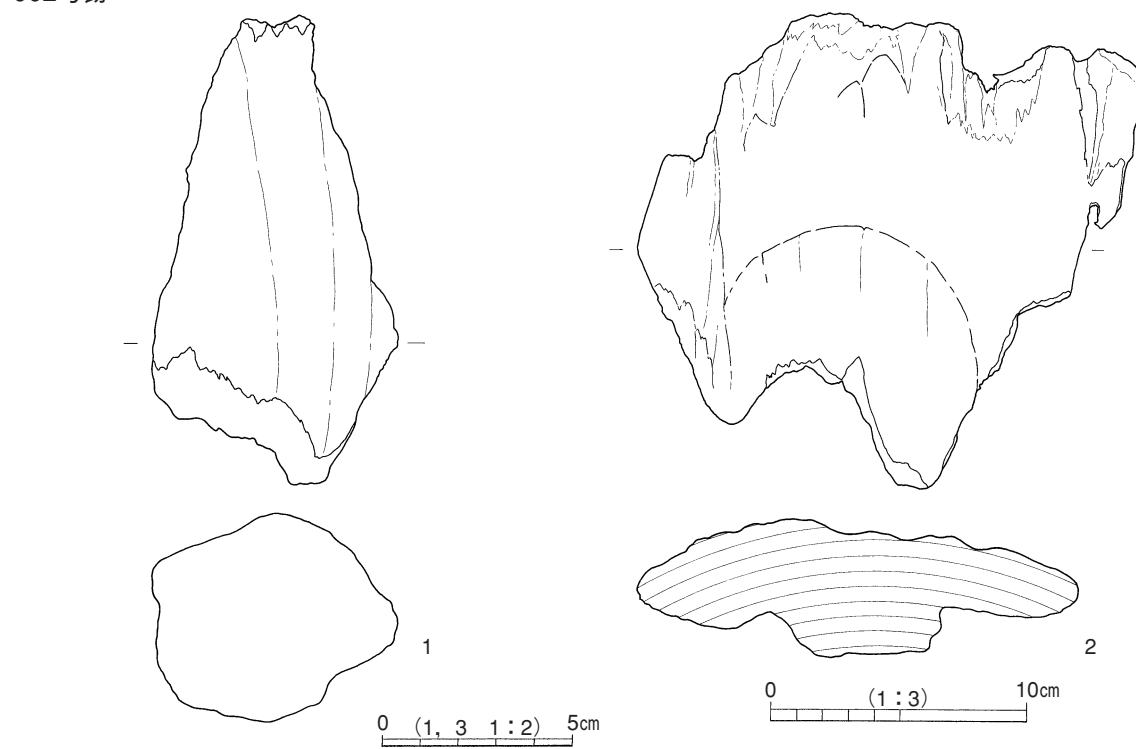


第57図 出土遺物①

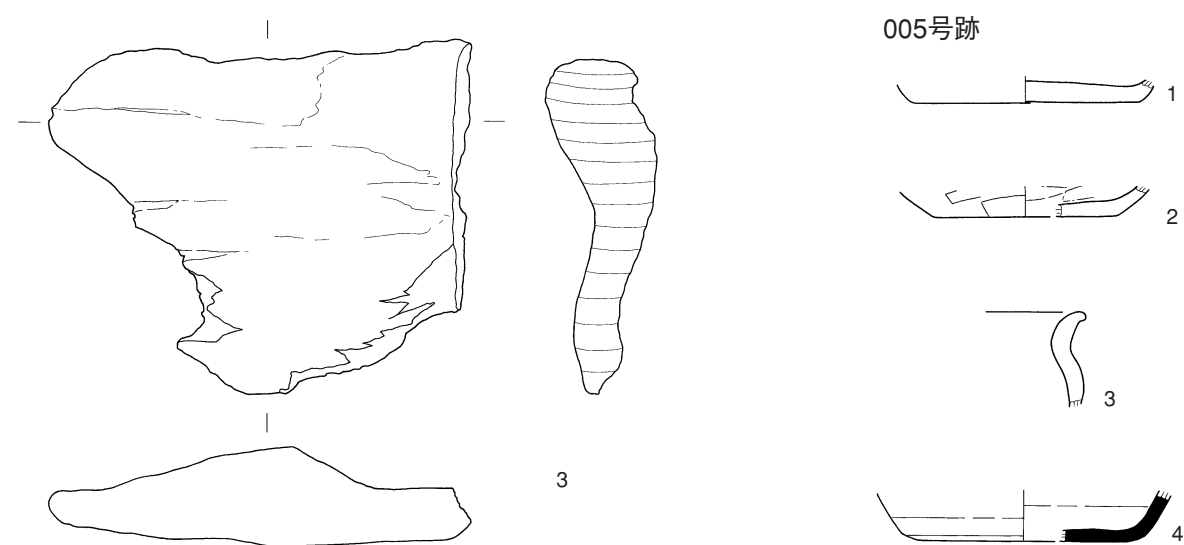


第58図 出土遺物②

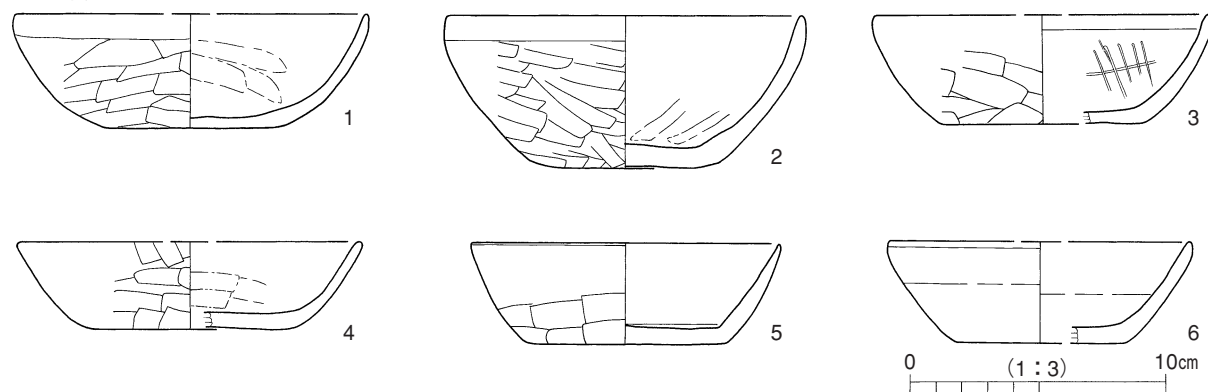
002号跡



005号跡

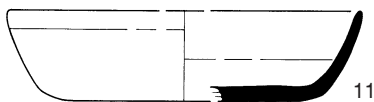
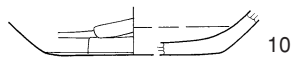
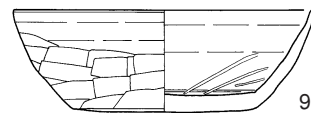
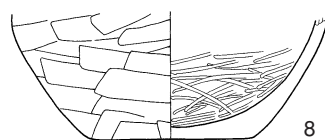
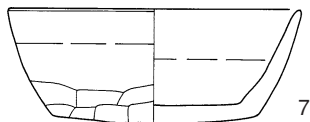


006号跡



第59図 出土遺物③

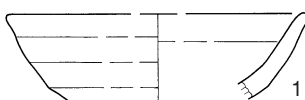
006号跡



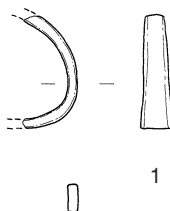
007号跡



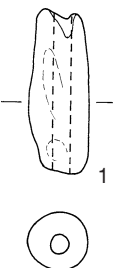
009号跡



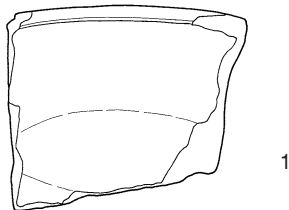
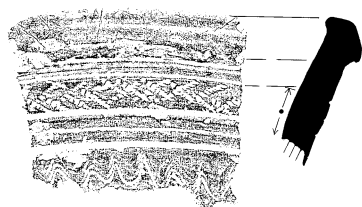
010号跡



020号跡



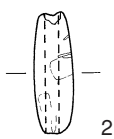
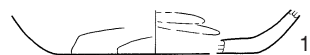
023号跡



025号跡



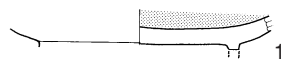
029号跡



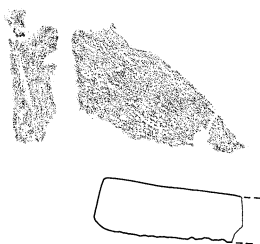
030号跡



032号跡

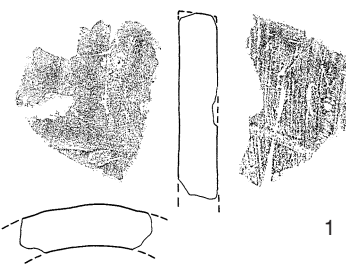


033号跡



1

035号跡



1

0 (1:2 土器・瓦以外) 5cm

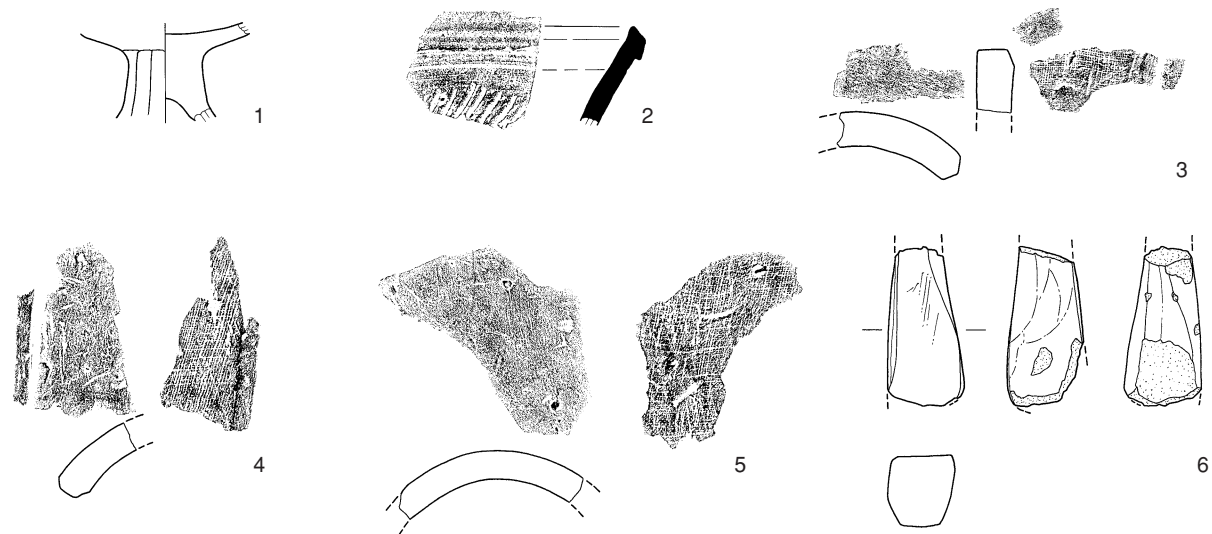
0 (1:3) 10cm

0 (1:4 瓦) 10cm

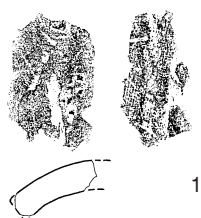
第60図 出土遺物④



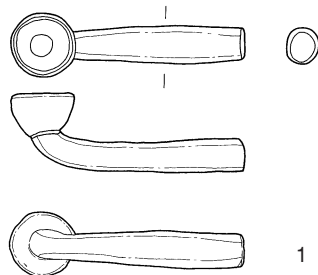
036号跡



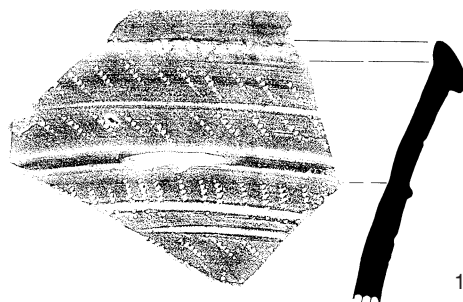
039号跡



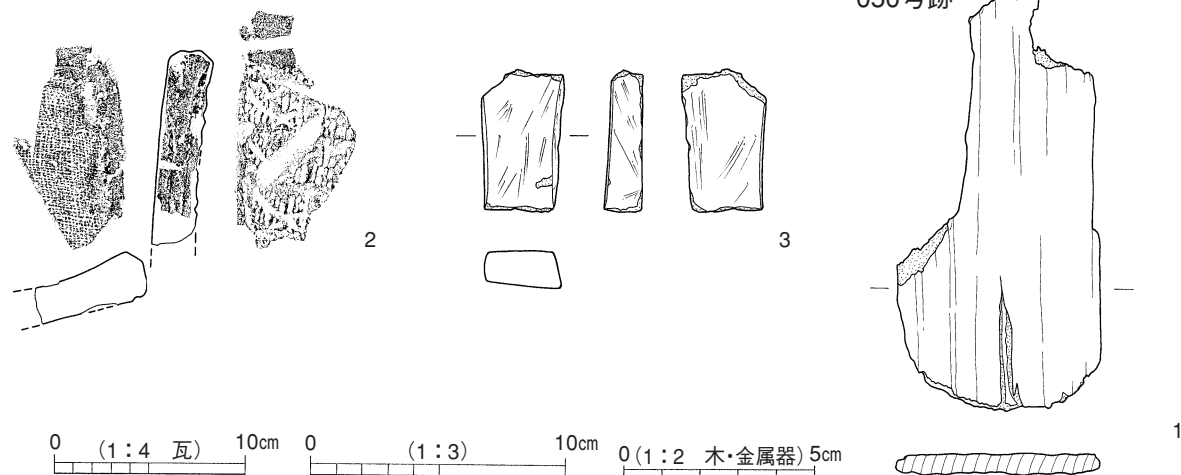
042号跡



046号跡



050号跡



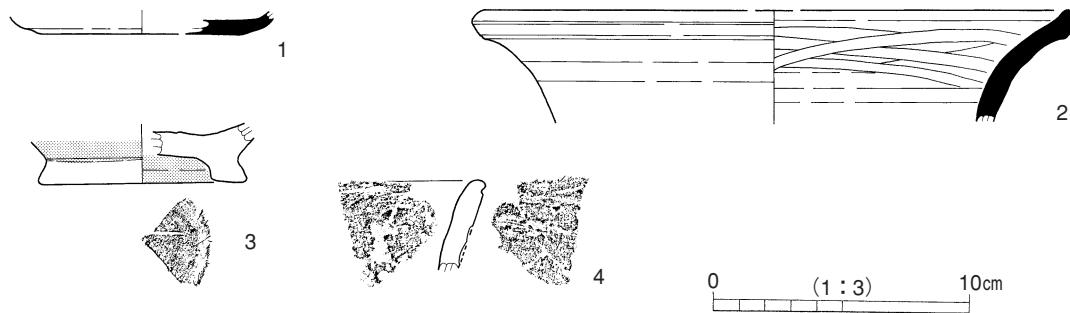
第61図 出土遺物⑤

## 5. 一括出土遺物

### 概要（第62・122～124図）

当調査地点では、主に8世紀～9世紀にかけての遺物が出土しており、調査区一括遺物も同様である。遺物は、土師器・須恵器の杯や甕が多く、木簡や青磁・白磁、硯などの特殊遺物は殆ど出土していない。また、調査区南側を中心に、中世期前半の遺物が一定量出土していることが特徴であり、当該期の遺構が存在している可能性を示唆すると思われる。（中世遺物については、第3章—1節 遺物組成から見た中世の海上地区遺跡群参照）。

一括遺物は、1が須恵器杯の底部、2が須恵器甕の口縁部である。3は灰釉陶器長頸壺と思われる底部である。4は縄文土器であり、早期深鉢の口縁部であろうか。



第62図 一括出土遺物

## 第11節 西野遺跡群 D1 地点（経営体・確認）

### 概要

海上地区遺跡群において、ほ場整備事業（県営担い手）として、平成14年度に調査が行われた遺跡である。調査によって確認された遺構は、掘立柱建物跡・土坑・井戸状遺構及び溝状遺構など多岐にわたる。遺構は主に西側に展開しており、現297号バイパス及び西野交差点付近に向かって遺構の密度が濃くなる傾向がある。（第75図 西野遺跡群 D1～3 地点全体図 参照）

### 10トレンチ（第63図）

位置 調査区のほぼ中央に位置する。トレンチ内において、複数のピットが確認された。

形態 いずれも不整な円形を呈する。

構造 小規模なピットが5基存在する。規模は、径0.4～0.7m・深さ0.1m程度を測る。覆土は黄灰色粘土ブロックの混じる暗褐色粘質土を主体とする。遺物は、P1 確認面上より須恵器杯2、トレンチ南端部確認面上より土師器甕の口縁部1が出土している。他には、激しく火熱を受けたと思われる発砲体が確認面上から出土している。

### 38トレンチ（第63・124・125図）

位置 調査区の中央西寄りに位置する。

形態 トレンチ内において、溝状の落ち込みが確認された。北西―南東方向に横断している。

構造 逆台形状の掘り込みを呈し、覆土は灰色粘質土を主体とする。平面規模は幅2.3×検出長1.3m、深さ0.2～0.3m前後を測る。遺物は覆土中より龍泉窯系青磁の碗（中）1が出土している。他にトレンチ一括遺物として、カワラケ（中）18・（中）23・（中）30及び鉄製品として釘1が出土している。北側に設定した37・41トレンチからも中世遺物が出土しており、地形的条件から西側段丘面上にある関連遺構からの流れ込みの可能性があるが、12世紀～13世紀頃まで遡る遺構が本トレンチ周囲に存在している可能性は否定できないと思われる。

### 41トレンチ（第63・124・125図）

位置 調査区の中央西寄りに位置する。トレンチ内において、複数のピットが確認された。

形態 いずれも不整な円形を呈する。

構造 大小合わせて4基のピットが存在する。規模は、径0.5～1.3m・深さ0.1～0.2m程度を測る。覆土は灰色粘質土を主体とする。遺物は、周囲の確認面上より渥美窯の片口鉢（中）10・カワラケ（中）24・（中）38・（中）46、ピット内覆土中よりカワラケ（中）43が出土している。（中）10は、接合破片の一部が東に隣接する37トレンチから出土しており、流れ込み時に破碎したものか。西側低位段丘面上に西野遺跡群 D3 地点 041号跡が存在しており、関連遺物の流れ込みの可能性があるが、12世紀中葉～13世紀頃まで遡る遺構が本トレンチ周囲に存在している可能性は否定できないと思われる。

#### 47トレンチ（第63・124・125図）

位置 調査区南西寄りに位置する。北側に井戸状遺構001が存在する。

形態 不整な円形を呈する。

構造 井戸状遺構001は、掘り鉢状の掘り込みを呈し、覆土は暗黒灰色粘質土を主体としていた。平面規模は径2.3m、深さ1.0m前後を測る。素掘りの井戸状遺構であろう。遺物は、001一括遺物として龍泉窯系青磁の皿（中）5や、カワラケ（中）36・（中）37が出土している。出土遺物から、12世紀後半～13世紀前半頃に比定できると思われる。

#### 58トレンチ（第64図）

位置 調査区ほぼ中央に位置する。

形態 西側において、不整な長円形を呈した土坑001が確認された。

構造 確認面上は梨畑耕作によって削平を受け、浅い掘り込みが若干観察される程度であり、遺存状態は悪い。覆土は暗黒色粘質土を主体とする。規模は、径1.0m、確認長1.15m、深さ0.05m程度を測る。遺物は、底面直上より土師器甕1がほぼ完形で出土している。また、トレンチ内確認面上より台付甕の底部2が出土している。出土遺物から、8世紀末～9世紀初め頃に比定できるか。

#### 77トレンチ（第64図）

位置 調査区の中央北寄りに位置する。

形態 不整な円形を呈するピットが錯綜して存在する。

構造 ピットは、一部半裁し柱痕跡を確認した。埋土は黄灰色粘土ブロックが混じる、黒色粘質土及び黒灰色粘質土を主体としている。掘立柱建物跡の柱穴ピットが含まれていると思われる。トレンチ内ピットの規模は、径0.65～1.15m・深さ0.2～0.6m程度を測る。トレンチ内では、対応するピットを確認することはできなかった。図示できる遺物の出土はなかったが、埋土の状況から古代期まで遡るか。ちなみに、本トレンチの南側に字名ともなっている「十二天神社」の銘を刻んだ石碑が建立されていた。

#### 94トレンチ（第65図）

位置 調査区の中央西寄りに位置する。

形態 不整な円形及び隅丸方形を呈するピットが錯綜して存在する。

構造 ピットは、一部半裁し柱痕跡を確認した。埋土は黄灰色シルト質粘土ブロックが混じる、黒色粘質土及び黒灰色粘質土を主体としている。掘立柱建物跡の柱穴ピットが含まれていると思われる。トレンチ内ピットの規模は、径0.5～1.0m・深さ0.3～0.65m程度を測る。重複するピットの新旧は、P4はP5より、P6はP7より、P12はP11よりそれぞれ新しいと思われる。P7とP11は、掘り方が隅丸方形を呈し、不整な円形を呈したピットより古いと思われることから、対応する柱穴ピットの可能性があると思われる。図示できる遺物の出土はなかったが、埋土の状況から8世紀後半～9世紀代頃まで遡るか。

#### 95トレンチ（第66図）

位置 調査区の中央西寄りに位置する。

形態 径80～100cm前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ掘立柱建物001が確認された。

構造 001は、南北（桁行き）柱列2間・東西（梁行き）柱列1間以上、南北柱間2.4m、東西柱間1.8m程度を測る。南北（桁行き）柱列の座標北を基準とする方位はN-7°-Wである。埋土は、黄灰色シルト質粘土ブロックが混じる黒色粘質土及び黒灰色粘質土を主体とする。遺物は、柱穴内からは出土していないが、周囲のピットや溝及び確認面上から土師器杯の底部1や甕2、灰釉陶器長頸壺の口縁部3及び丸瓦4が出土している。1はロクロ土師器で、底部回転糸切り無調整である。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、建物の振れの方向は西側の本調査部分で検出された掘立柱建物跡と類似している。

#### 96トレンチ（第67図）

位置 調査区南西寄りに位置する。

形態 北東端部において、円形を呈すると思われる井戸状遺構001が確認された。

構造 001は、ほぼ直に落ちながら底面付近でやや膨らむ掘り方を呈し、覆土は黒色粘質土を主体とする。底面直上において、イボキサゴの破砕貝を主体とした貝層を確認した（第3章—2節 出土貝サンプルの分析結果について参照）。層厚は0.1m未満で、001底面との間に堆積土層が見られなかったことから、井戸として機能する初期段階に投入されたものと思われる。規模は、推定径2.0m、深さ1.35m程度を測る。図示できる遺物の出土はなかったが、堆積土の状況及び土師器・須恵器と思われる土器片の特徴から9世紀中頃まで遡る可能性があると思われる。

#### 113トレンチ（第68図）

位置 調査区中央南寄りに位置する。

形態 西側に3基の大型土坑が存在する。いずれも不整な円形を呈すると思われる。

構造 大型土坑001～003は、いずれも西側調査区外に展開していると考えられる。いずれも掘り鉢状の掘り込みを呈し、覆土は暗黒灰色の粘質土及びシルト質粘質土を主体としていた。平面規模は径1.7～1.9m、深さ0.7～1.3m前後を測る。掘り込みはあまり深くないものの、井戸状遺構である可能性が高いと思われる。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土の状況から、中世期まで遡る可能性があるのではないかとと思われる。

#### 118トレンチ（第69・124・125図）

位置 調査区中央西端部に位置する。

形態 トレンチ南西部において、円形を呈する井戸状遺構001が確認された。

構造 001は、本調査区の西野遺跡群D3地点 054号跡と同一遺構と思われる。掘り方は掘り鉢状を呈するが、中層付近で一部テラス状になっており、枳板痕・裏込土等は確認されなかったが、ここから直に立ち上がる井戸枳があったかもしれない。堆積土は暗黒灰色粘質土を主体とし、暗黄灰色シルト質粘土ブロックが所々に混入する。中～下層において人為的な埋め戻しが行われた可能性が高いと

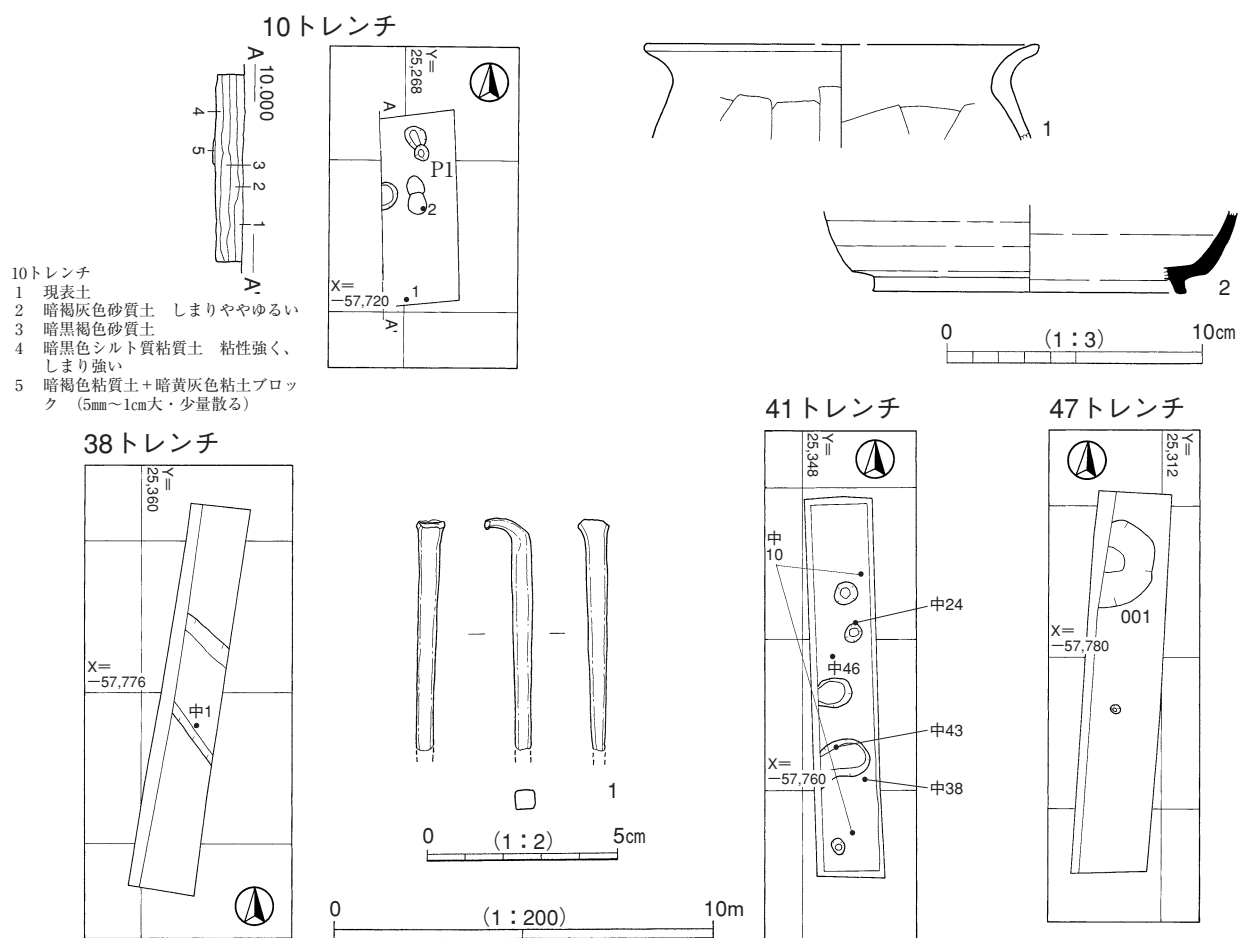
思われる。また、遺構内堆積土上層において、イボキサゴの破砕貝を主体とした貝層及び大型の陸獣骨を確認した。井戸が埋没する最終段階において、イボキサゴを中心とする貝を投入したのだろうか。層厚は0.3m程度で上層が混貝土層、下層が混土貝層を主体としていた。(第3章—2・3節 参照)。遺物は、貝層下の覆土中層より渥美窯の片口鉢(中)9や常滑窯の片口鉢(中)12及びカワラケ(中)45が出土している。他に覆土中より鎌片1・鉄釘2、一括遺物として鉄釘3が遺構内より出土している。本遺構の帰属時期は、出土遺物から12世紀末～13世紀前葉頃まで遡る可能性が高いと思われる。

## 122トレンチ (第69図)

位置 調査区中央西寄りに位置する。北側に土坑001が存在する。

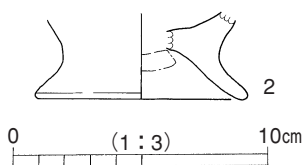
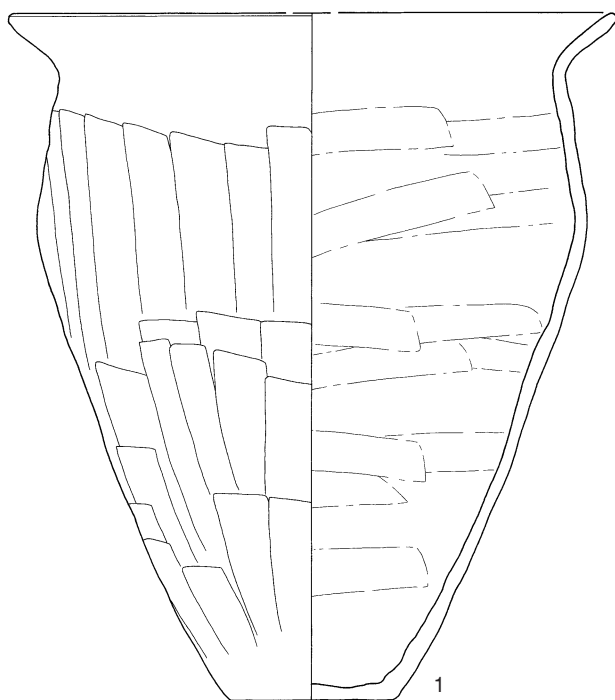
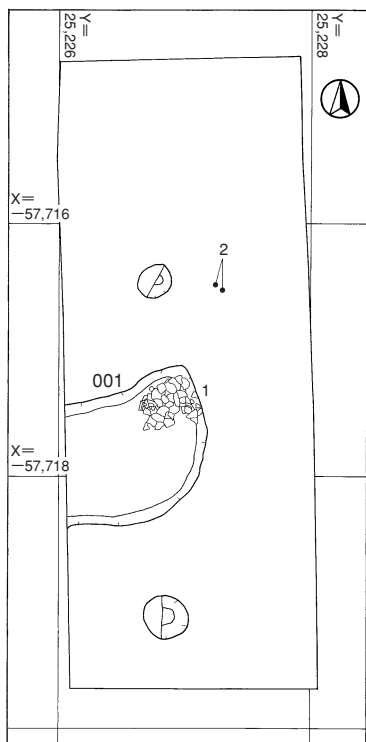
形態 やや隅の張る不整な円形を呈する。

構造 土坑001は、浅いレンズ状の掘り込みを呈し、確認面上は梨畑耕作によって削平されており、遺存状態は良くない。覆土は焼土粒・炭化粒を含む暗黒褐色粘質土を主体としていた。平面規模は径1.3×1.7m、深さ0.2m前後を測る。遺物は、底面直上より須恵器高台付杯の底部3が出土し、覆土中より土師器甕の底部1、一括遺物として底部2がそれぞれ出土している。3は、湖西産と思われる。出土遺物から、8世紀前葉頃に比定できるか。竪穴住居跡の貯蔵穴である可能性もあると思われる。

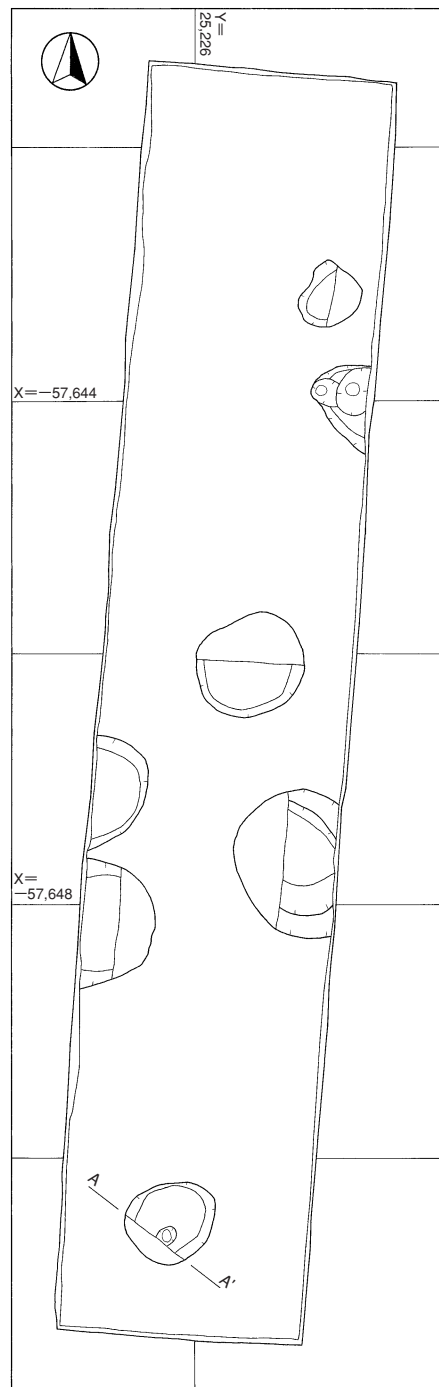


第63図 10、38、41、47トレンチ

# 58トレンチ

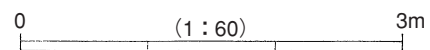
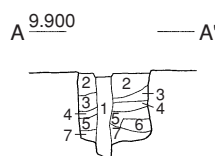


# 77トレンチ



## 77トレンチ

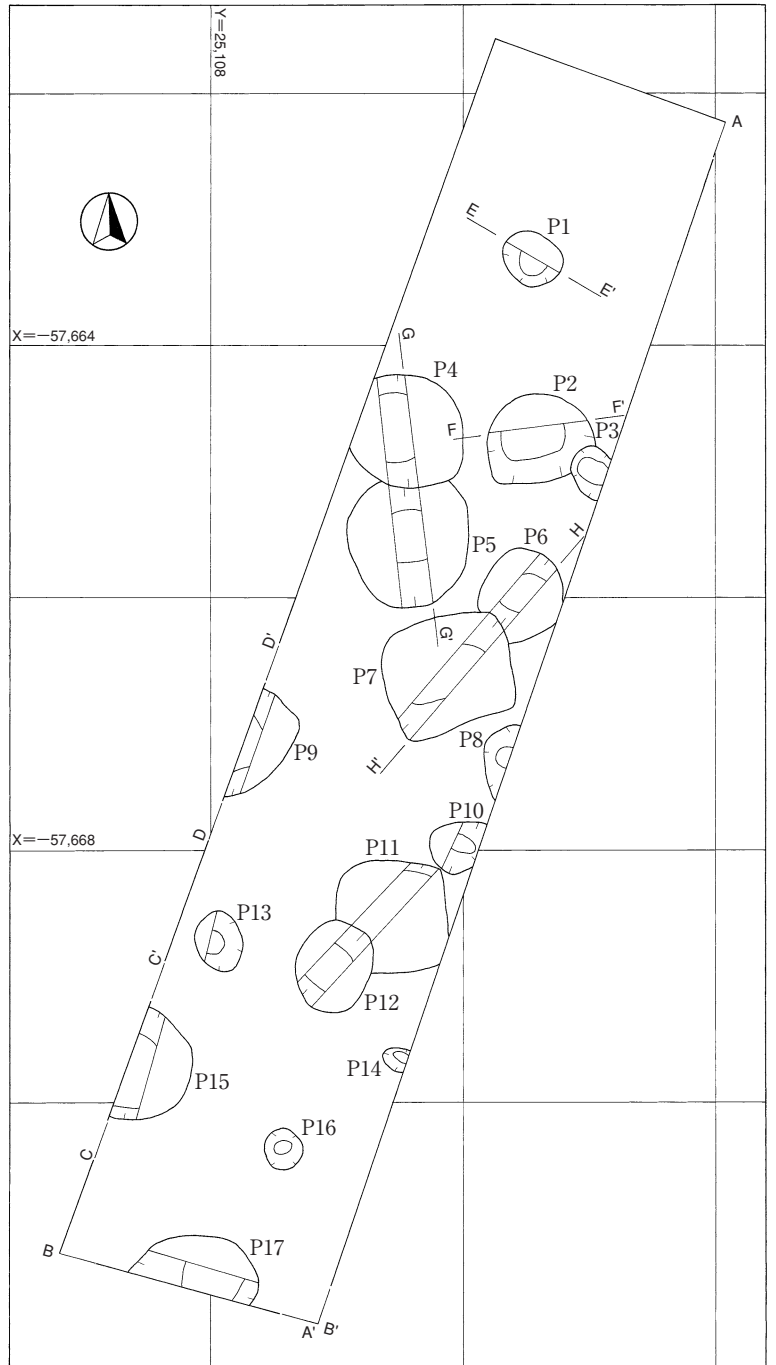
- 1 暗黒色土 (黒色味強く、しまりゆるい) + 暗灰白色粘土粒 (1~5mm大・微量)
- 2 暗黒色粘質土 + 暗黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)
- 3 暗黒色粘質土 + 暗黄灰色粘土ブロック (5mm~2cm大・均等)
- 4 暗黒色粘質土 (少量) + 暗黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・多量)
- 5 暗黒褐色粘質土 + 暗黄灰色粘土粒 (1~5mm大・微量)
- 6 暗黒色粘質土 + 暗黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・均等) しまりなし
- 7 暗褐色粘質土 + 暗黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・多量)



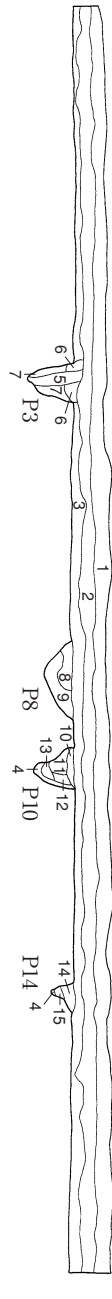
第64図 58、77トレンチ



94トレンチ

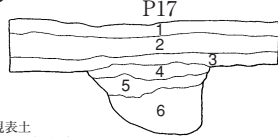


A 10,000



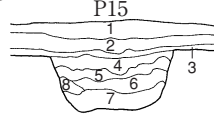
- 1 現表土
- 2 暗灰褐色砂質土 しまりなし
- 3 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm大・微量だが均等)
- 4 暗灰白色シルト質粘土 (基盤層)
- 5 暗黒色粘質土 (黒色味強い)+暗黄灰色粘土粒 (1~5mm大・少量だが均等) しまりややゆるい
- 6 暗黒灰色粘質土+暗灰白色粘土粒 (5mm~1cm大・微量)+炭化粒 (5mm大・きわめて微量)
- 7 暗黒褐色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm~1cm大・少量だが均等) よくしまる
- 8 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・少量)
- 9 暗黒色粘質土 (粘性強い)+暗黄灰色粘土ブロック (1~3cm大・少量だが均等)
- 10 暗黒褐色土+暗灰白色粘土粒 (3mm~1cm大・少量だが均等)+焼土粒 (1~5mm大・きわめて微量) よくしまる
- 11 暗黒褐色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm~1cm大・少量だが均等)+焼土粒 (3mm大・きわめて微量)
- 12 暗黄灰色粘質土 (多量)+暗黒色粘質土 (少量) よくしまる
- 13 暗黒色粘質土 (黒色味強く、粘性強い)+暗黄灰色粘土粒 (1~5mm大・少量)
- 14 暗黒褐色粘質土+黒色土 (1~5mm大・微量)+炭化粒 (5mm大・きわめて微量)
- 15 暗黒色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (1~5mm大・少量だが均等)+炭化粒 (5mm大・きわめて微量)

B 10,000



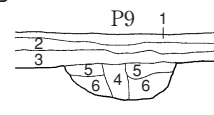
- 1 現表土
- 2 暗灰褐色砂質土 しまりなし
- 3 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm大・微量)
- 4 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~2cm大・少量だが均等)+炭化粒 (5mm大・少量)+焼土粒 (3mm大・きわめて微量) しまっている
- 5 暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~2cm大・均等)+暗黒灰色粘質土 (少量) しまっている
- 6 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)

C 10,000



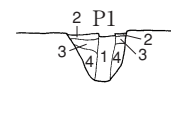
- 1 現表土
- 2 暗灰褐色砂質土 しまりなし
- 3 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm大・微量)
- 4 暗黒色粘質土
- 5 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 6 暗黒灰色粘質土
- 7 暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~2cm大・均等)+暗黒灰色粘質土 (少量) しまっている
- 8 暗灰色シルト質粘質土 しまりややゆるい

D 10,000



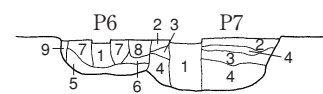
- 1 現表土
- 2 暗灰褐色砂質土 しまりなし
- 3 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm大・微量)
- 4 暗黒色粘質土 (黒色味強く粘性あり)+暗黄褐色シルト質粘土粒 (1~5mm大・少量)
- 5 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 6 暗灰黒色粘質土

E 9,800



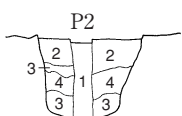
- 1 暗黒色粘質土 (黒色味強く粘性あり)+暗黄褐色シルト質粘土粒 (1~5mm大・少量)
- 2 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 3 暗黒灰色粘質土
- 4 暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~2cm大・均等)+暗黒灰色粘質土 (少量) しまっている

H 9,800



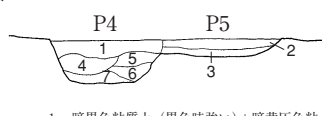
- 1 暗黒色粘質土 (黒色味強く、粘性あり)+暗黄褐色シルト質粘土粒 (1~5mm大・少量)
- 2 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 3 暗黒灰色粘質土
- 4 暗灰黒色粘質土
- 5 暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~2cm大・均等)+暗黒灰色粘質土 (少量) しまっている
- 6 暗灰白色シルト質粘土
- 7 暗黒褐色シルト質土+暗黄褐色シルト質粘土 (5mm~1cm大・少量だが均等)
- 8 暗黒褐色土+暗灰色砂 (少量)
- 9 暗褐色土+暗黄灰色シルト質粘土 (5mm大・少量だが均等) よくしまる

F 9,800



- 1 暗黒色粘質土 (黒色味強く粘性あり)+暗黄褐色シルト質粘土粒 (1~5mm大・少量)
- 2 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 3 暗黒灰色粘質土
- 4 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~2cm大・少量だが均等)+炭化粒 (5mm大・少量)+焼土粒 (3mm大・きわめて微量) しまっている

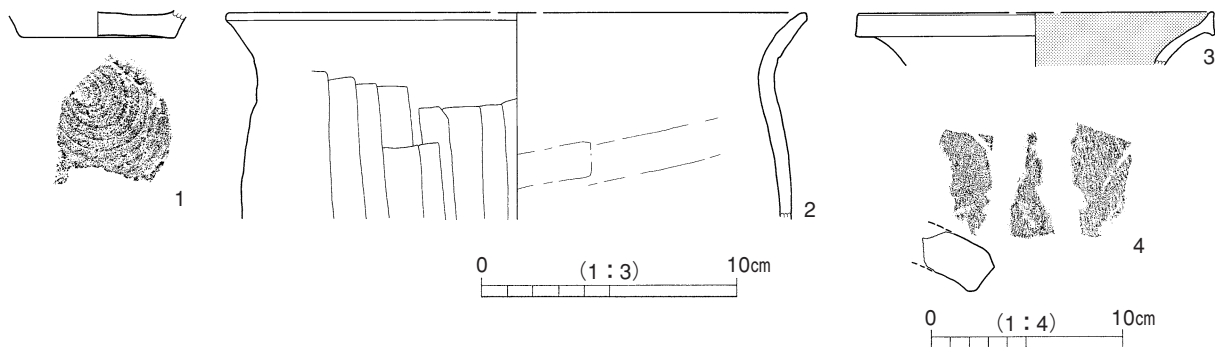
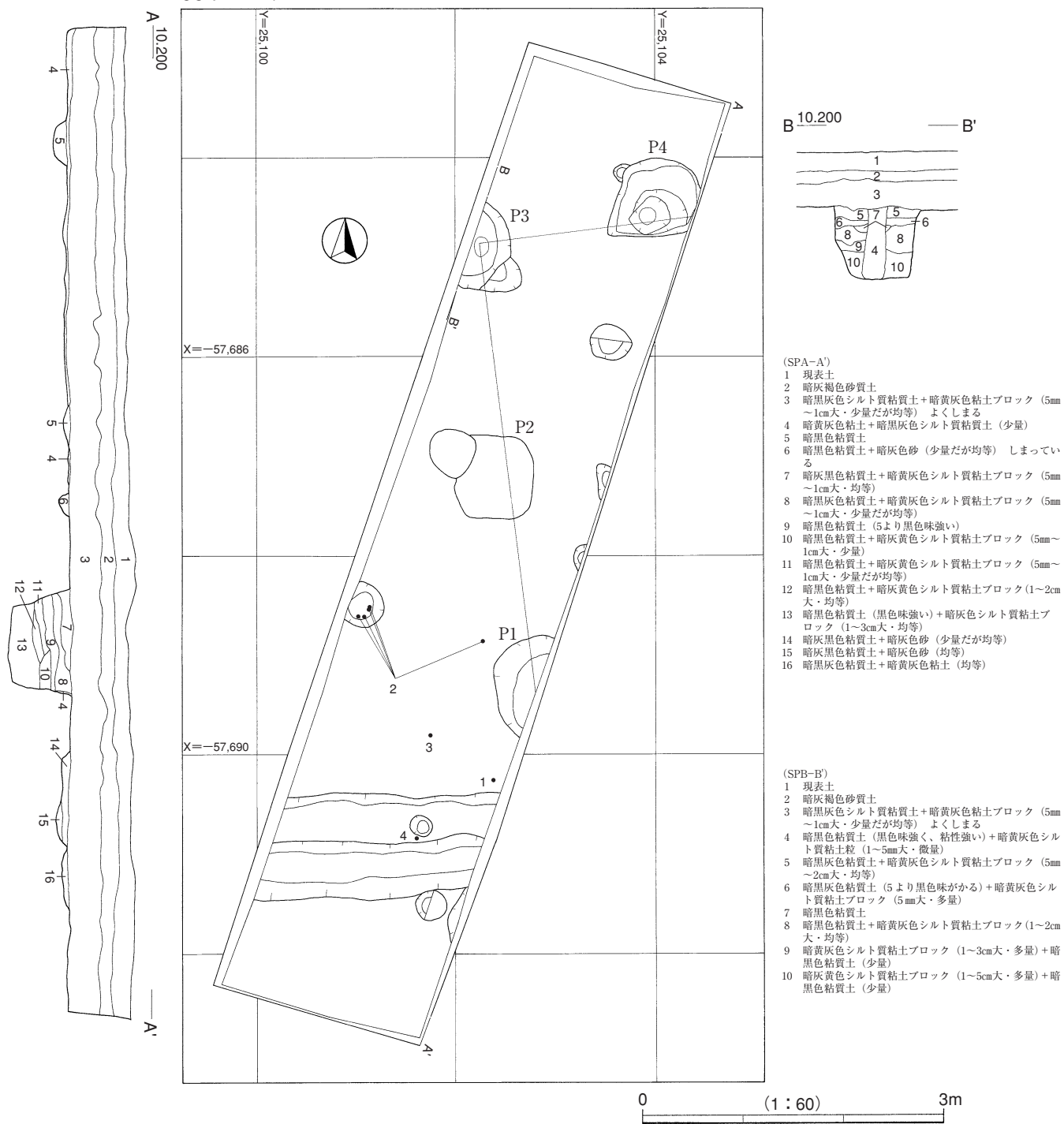
G 9,800



- 1 暗黒色粘質土 (黒色味強い)+暗黄灰色粘土粒 (1~5mm大・少量だが均等) しまりややゆるい
- 2 暗黒灰色粘質土+暗灰白色粘土粒 (5mm~1cm大・微量)+炭化粒 (5mm大・きわめて微量)
- 3 暗黒褐色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (5mm~1cm大・少量だが均等) よくしまる
- 4 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・少量)
- 5 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 6 暗黒色粘質土 (粘性強い)+暗黄灰色粘土ブロック (1~3cm大・少量だが均等)
- 7 暗黄灰色粘土 (多量)+暗黒色粘質土 (少量) よくしまる

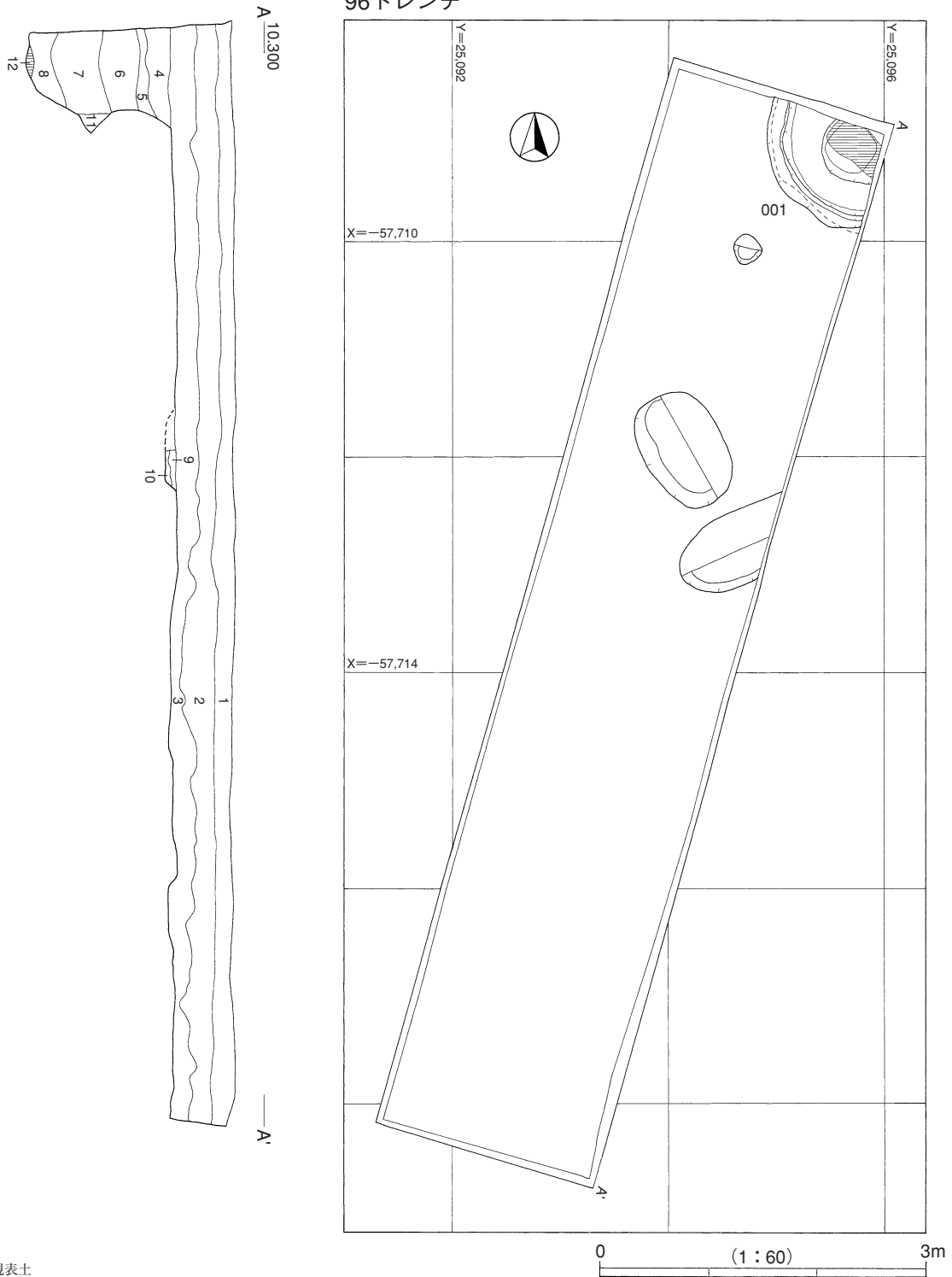
0 (1:60) 3m

95トレンチ



第66図 95トレンチ

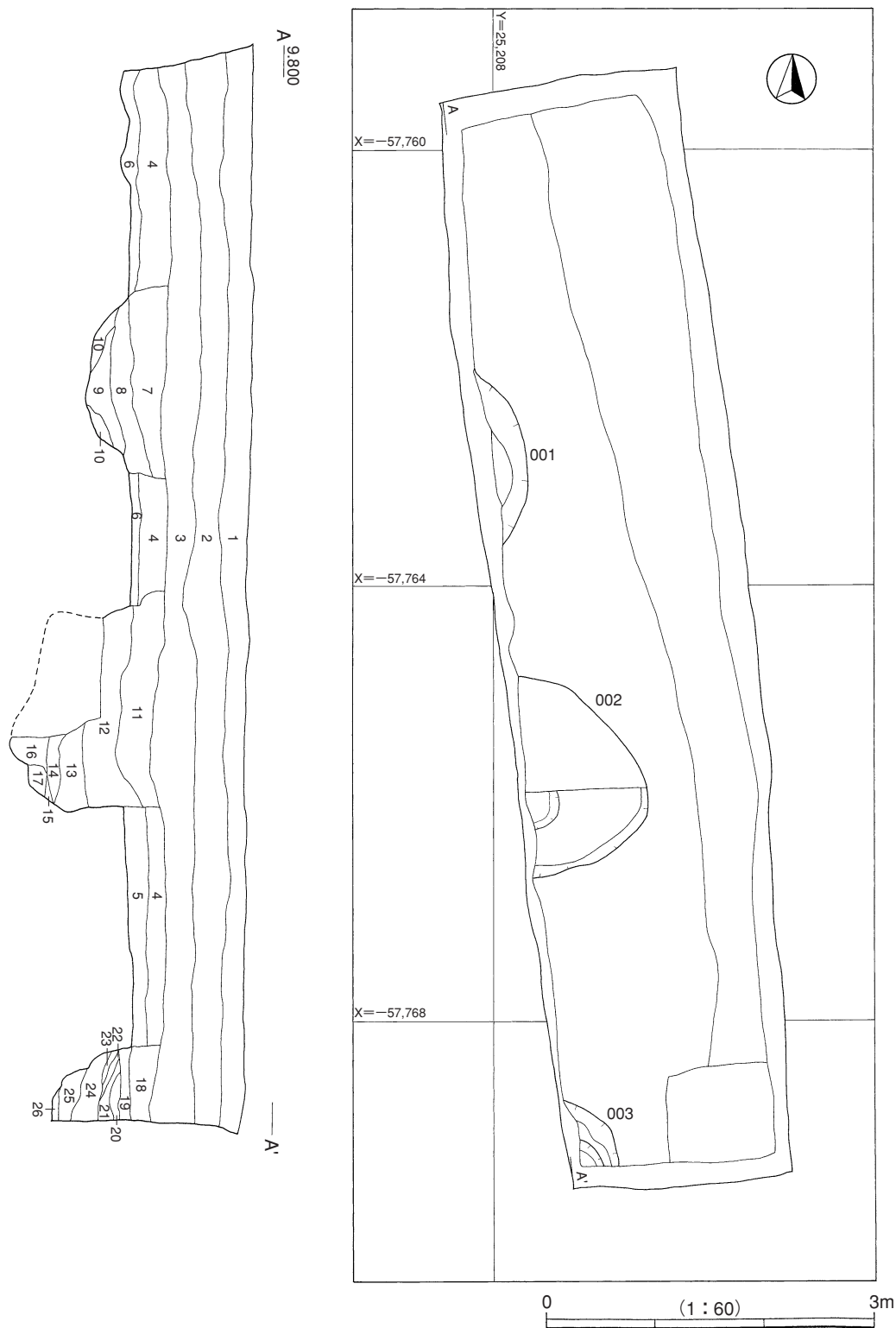
# 96トレンチ



- 1 現表土
- 2 暗灰褐色砂質土 しまりゆるい
- 3 暗黒色粘質土+暗黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等) よくしまる
- 4 暗黒色粘質土+焼土粒 (5mm大・少量だが均等)+炭化粒 (1~5mm大・微量)+暗灰黄色粘土粒 (5mm~1cm大・少量) しまっている
- 5 暗灰黒色粘質土+暗灰白色粘土ブロック (1~2cm大・少量)
- 6 暗黒灰色粘質土+暗灰白色粘土ブロック (1~4cm大・少量だが均等) 粘性あり
- 7 暗黒色粘質土+暗黄灰色粘土ブロック (2~5cm大・少量)
- 8 暗黒色粘質土 (黒色味強い)+暗黄褐色シルト質粘土ブロック (1~3cm大・少量)
- 9 暗黒色粘質土+暗灰白色砂 (微量)
- 10 暗灰黄色粘土 (多量)+暗黒色粘質土 (少量)+暗灰白色砂 (少量だが均等)
- 11 暗黒色粘質土 (黒色味きわめて強い)+暗黄灰色粘土ブロック (5mm大・微量)
- 12 混土貝層 キサゴ (多量)+暗黒色粘質土 (微量)

第67図 96トレンチ

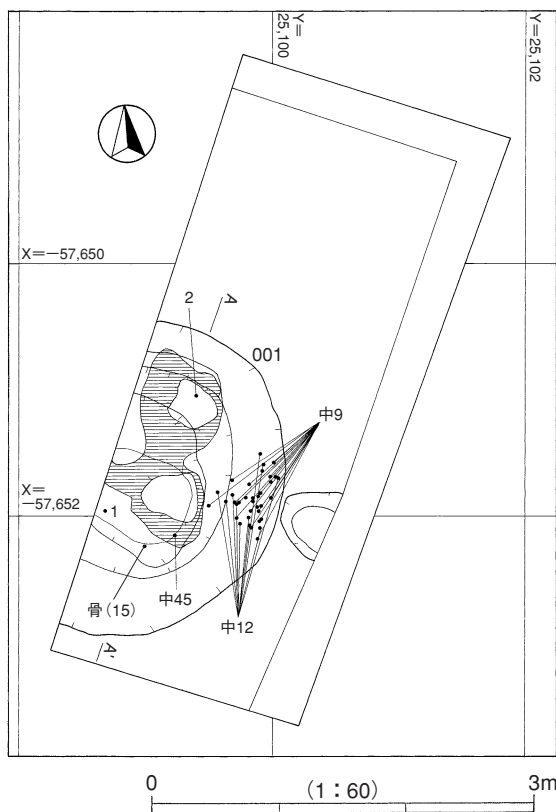
# 113トレンチ



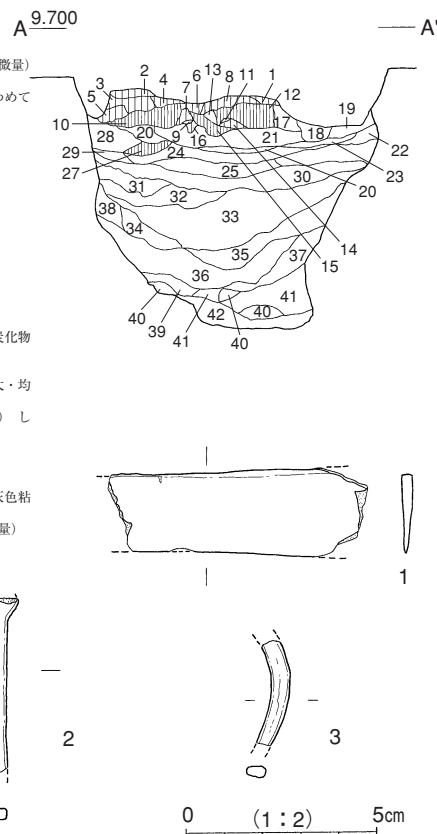
- |                                                |                                                       |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1 現水田耕作土                                       | 14 暗黒灰色シルト質粘質土+暗灰褐色砂質シルト (少量だが均等)                     |
| 2 暗灰色シルト質粘質土                                   | 15 暗黒色シルト質粘質土+暗青灰色砂ブロック (1~3cm大・多量)                   |
| 3 暗黒灰色シルト質粘質土                                  | 16 暗黒色粘質土 (粘性強い)                                      |
| 4 暗黒色粘質土                                       | 17 暗青灰色砂                                              |
| 5 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~3cm大・少量だが均等) よくしまる | 18 暗黒灰色シルト質粘質土+暗灰色砂 (少量)                              |
| 6 暗黄灰色シルト質粘土 (基盤層)                             | 19 暗黒色シルト質粘質土                                         |
| 7 暗黒灰色シルト質粘土+暗灰色砂 (微量)+焼土粒 (1~5mm大・微量)         | 20 暗黒色粘質土+暗黄灰色粘土粒 (1~5mm大・多量)                         |
| 8 暗黒色粘質土                                       | 21 暗黄灰色シルト質粘土ブロック (1~3cm大・均等)+暗黒灰色粘質土 (少量)            |
| 9 暗黒色粘質土 (8より黒色味強い)                            | 22 暗黒色粘質土 (黒色味強い)                                     |
| 10 暗黒色粘質土+暗黄灰色粘土ブロック (1mm~2cm大・均等) しまりややゆるい    | 23 暗黒色粘質土+暗灰色砂 (少量だが均等)                               |
| 11 暗黒灰色シルト質粘土+暗灰色砂 (少量)                        | 24 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)+暗灰色砂 (少量だが均等) |
| 12 暗黒灰色粘土 (粘性強い)                               | 25 暗黒色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm大・微量)                    |
| 13 暗黒灰色シルト質粘質土+暗灰色砂質シルト (均等)                   | 26 暗黒色粘質土 (黒色味きわめて強く、粘性強い)                            |

第68図 113トレンチ

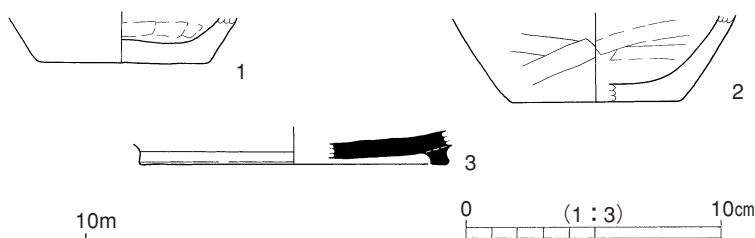
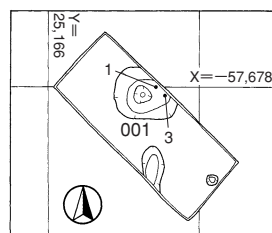
## 118トレンチ



- 1 混貝土層 暗褐色土+キサゴ片 (少量)
- 2 混貝土層 暗黒褐色土+暗灰黄色粘土 (少量)+キサゴ片 (微量)
- 3 混貝土層 暗黒褐色土+キサゴ片 (微量)
- 4 混貝土層 暗黒褐色土+暗灰色砂 (微量)+キサゴ片 (きわめて微量)
- 5 混貝土層 暗黒色土+キサゴ片 (微量)
- 6 混貝土層 暗黒褐色土+キサゴ片 (少量だが均等)
- 7 混貝土層 暗黒褐色土+キサゴ片 (少量)
- 8 暗黒褐色粘質土
- 9 暗黒褐色粘質土 (粘性強い)
- 10 混土貝層 キサゴ片+暗黒色土 (少量)
- 11 暗黒灰色粘質土
- 12 混土貝層 キサゴ片+暗黒色土 (少量)
- 13 暗黒褐色土+暗灰黄色粘土 (5mm大・微量)
- 14 混貝土層 暗黒色土+キサゴ片 (少量)
- 15 混土貝層 キサゴ片+暗黒褐色土 (少量)
- 16 混貝土層 暗黒色土+キサゴ片 (少量だが均等)
- 17 暗黒灰色粘質土+暗黄灰色粘土 (5mm大・少量)
- 18 暗灰色粘質土+炭化ブロック (1~5cm大・均等) 葉状の炭化物あり
- 19 暗黒灰色粘質土+炭化粒 (5mm大・微量)
- 20 暗黒褐色粘質土 (少量)+暗灰黄色シルト質粘土 (1~2cm大・均等)
- 21 暗黒褐色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土 (2~3cm大・均等) しまりややゆるい
- 22 暗黄灰色シルト質粘土
- 23 暗黒色粘質土
- 24 暗黒褐色粘質土+炭化粒 (5mm大・微量)
- 25 暗灰黄色シルト質粘土ブロック (1~5cm大・均等)+暗黒灰色粘質土 (少量) 粘性強い
- 26 暗黒褐色粘質土+暗灰黄色シルト質粘土 (5mm~2cm大・少量)
- 27 混土貝層 キサゴ片 (多量)+暗黒色粘質土 (少量)
- 28 暗黒褐色粘質土+暗灰色砂 (少量だが均等)
- 29 暗黒褐色土 灰色砂少量混入
- 30 暗黒褐色粘質土+暗灰黄色シルト質粘土 (5mm~1cm大・少量だが均等)+炭化粒 (5mm大・きわめて微量) よくしまる
- 31 暗黒褐色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土 (2~5cm大・均等)
- 32 暗黒褐色粘質土+暗黄灰色シルト質粘土 (1~2cm大・少量)
- 33 暗黒褐色粘質土 (黒色味強く、粘性強い)+暗灰白色シルト質粘土 (5mm~2cm大・微量)+炭化粒 (1cm大・きわめて微量)
- 34 暗灰色シルト質砂 (均等)+暗黒色粘質土 (少量)
- 35 暗灰色シルト質砂 (1~5cm大・多量)+暗黒褐色粘質土 (少量だが均等)
- 36 暗黒褐色粘質土+暗灰色シルト質砂 (少量だが均等) 粘性あり
- 37 暗灰黄色砂+暗黒褐色粘質土 (少量) しまりややゆるい
- 38 暗灰黄色砂
- 39 暗黒褐色粘質土+暗灰黄色シルト質砂 (少量)
- 40 暗灰青色シルト質砂
- 41 暗黄灰色シルト質砂+暗灰色シルト質粘土 (少量) しまっている
- 42 暗灰黄色シルト質砂+暗黒褐色粘質土 (少量) しまりややゆるい



## 122トレンチ



第69図 118、122トレンチ

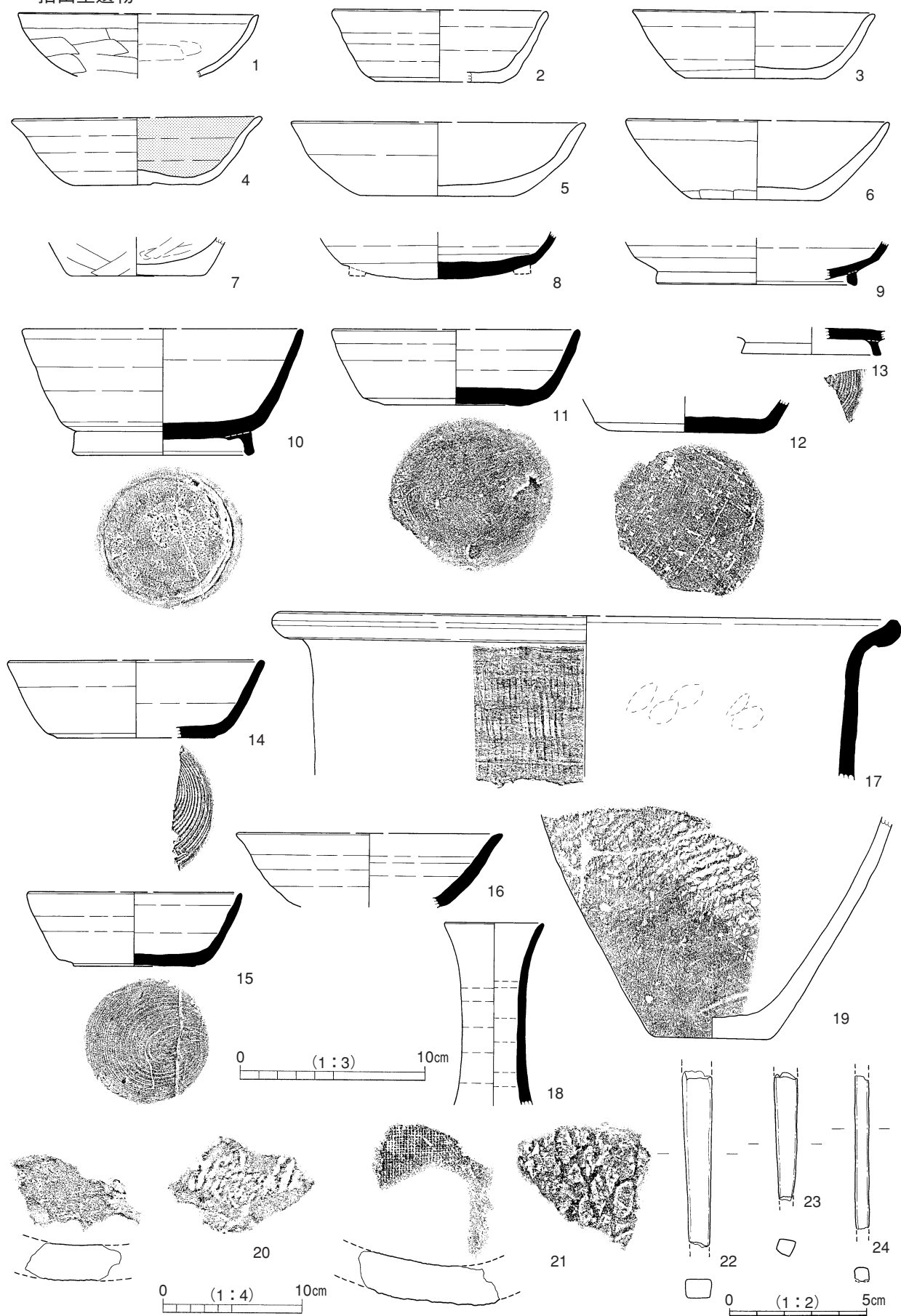
## 一括出土遺物

### 概要 (第70図)

当調査地点では、土師器・須恵器が出土しているものの、瓦の出土は殆どない。土師器・須恵器は8世紀~10世紀前半頃まで、幅広く出土しているが、特に8世紀後半~9世紀中葉頃の遺物が多い。また、12~13世紀代といった中世前半期の遺物が一定量出土していることも特徴である。南西側に所在するB地点出土遺物の状況と合わせて、国道297号バイパス西野交差点を挟んだ一帯における当該期の遺構の存在を認識する必要があると思われる。

一括遺物は、1は非ロクロ整形の土師器杯、2~6はロクロ土師器杯である。4は内面黒色処理を施す。6は体部下端から底部にかけて手持ちヘラケズリを施す。10世紀始め頃か。7は土師器の甕底部である。8~18は須恵器である。8は貼り付けた高台が剥落している。湖西産であろうか。17は、甕の口縁部である。胴部に縦位のタタキを施す。千葉市域産であろう。19は縄文土器の深鉢底部、20・21は平瓦、22~24は鉄釘である。

一括出土遺物



第70図 一括出土遺物



## 第12節 西野遺跡群 D 2 地点（文化庁・確認）

### 概要

海上地区遺跡群において、文化庁の補助事業である「海上地区遺跡発掘調査事業」として、平成14年度に確認調査が行われた遺跡である。ちなみに、次年度において農道部分の本調査が行われている。調査によって確認された遺構は、掘立柱建物跡・土坑及び溝状遺構など多岐にわたる。遺構はほぼ前面に展開しているものと思われるが、掘立柱建物跡は西側で多く確認されている。また、中世期まで遡ると思われる溝状遺構やピットが確認されたことも特徴である。（第75図 西野遺跡群 D 1 ～ 3 地点全体図 参照）

### 9 トレンチ（第71・127図）

**位置** 調査区の南西端部に位置する。

**形態** 北側において、土坑001が確認された。不整な円形を呈するものと思われる。

**構造** 断面は、掘り込みのあるレンズ状を呈し、規模は、推定径2.2m・深さ1.2m程度を測る。覆土は黒色粘質土を主体とする。遺物は、覆土中より備前窯の片口鉢（中）14・15などが出土している。出土遺物から13世紀前～中葉頃に比定されるか。

### 17 トレンチ（第71図）

**位置** 調査区の中央南寄りに位置する。

**形態** トレンチ内において、掘立柱建物跡の柱穴が確認された。いずれも不整な円形を呈する。

**構造** 大小合わせて6基のピットが存在する。その中のP1・3は、西側本調査区の西野遺跡群 D 3 地点 043号跡と同一遺構である可能性が高いと思われる。埋土は灰白色シルト質粘土（地山）ブロックが混じる黒灰色・灰色粘質土を主体とする。規模は、径0.7m・深さ0.4～0.65m程度を測る。遺物は、トレンチ内一括遺物として管状土錘1が出土している。

### 35 トレンチ（第72図）

**位置** 調査区南西端部に位置する。

**形態** トレンチ南側に土坑001が存在する。不整な円形を呈する。

**構造** 土坑001は、多数のピットが複合したような不整形な掘り込みを呈し、数回にわたる掘り直しが行われたと思われる。覆土は焼土・炭化粒を含む暗黒色粘質土を主体としていた。平面規模は検出径2.65×2.0m、深さ0.2～0.5m前後を測る。土器棄て土坑と思われ、遺物は、底面直上より須恵器杯5が出土している。胎土に銀（白）雲母粒を含んでおり、常陸産と思われる。他は、覆土中より土師器杯1・2、甕3・4、土製支脚6及び鉄釘7が出土している。本遺構の帰属時期は、8世紀中～後葉頃に比定されると思われる。

### 28・36 トレンチ（第73・127図）

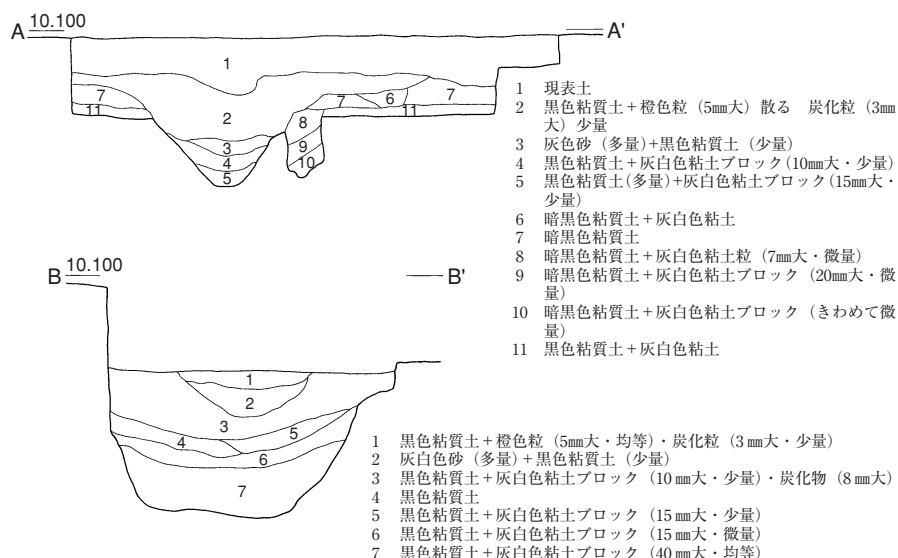
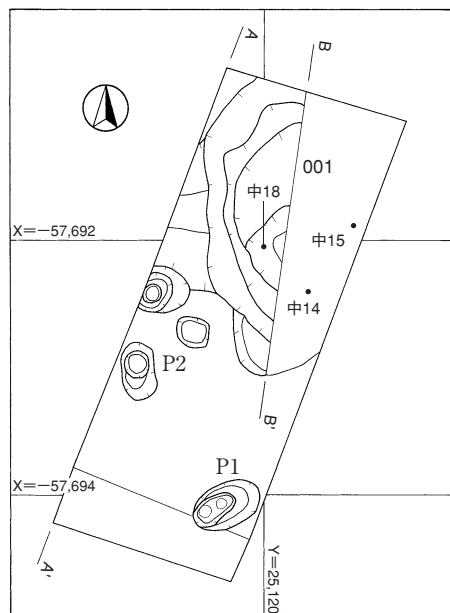
**位置** 調査区の中央北寄りに位置する。



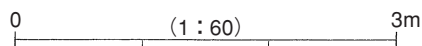
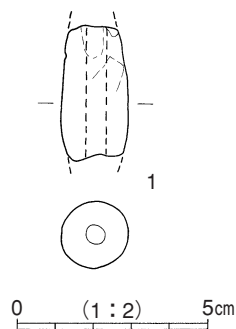
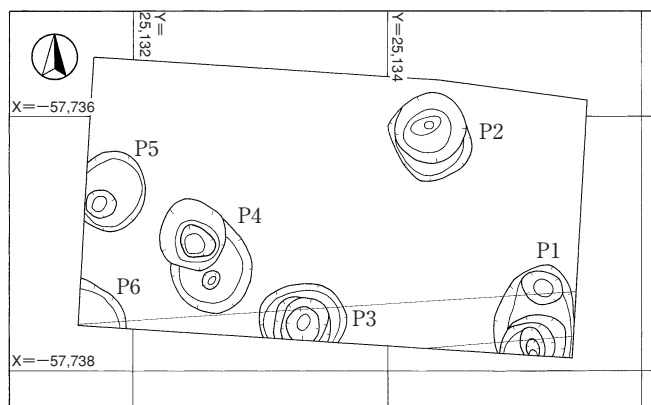
形態 両トレンチ内において、溝状遺構が確認された。同一の遺構と思われる。東—西方向に横断している。

構造 くだらかな逆三角形の掘り込みを呈していると思われ、覆土は暗黒灰色粘質土を主体としていた。推定幅2.3m・検出長9.8m程度を測る。遺物は28トレンチ覆土中より渥美窯の鉢（中）7・（中）17が出土している。12世紀頃まで遡る可能性があると思われる。ちなみに、西側に隣接する本調査区内の西野遺跡群 D 3 地点 045号跡と同一遺構である可能性が高いと思われる。

## 9トレンチ

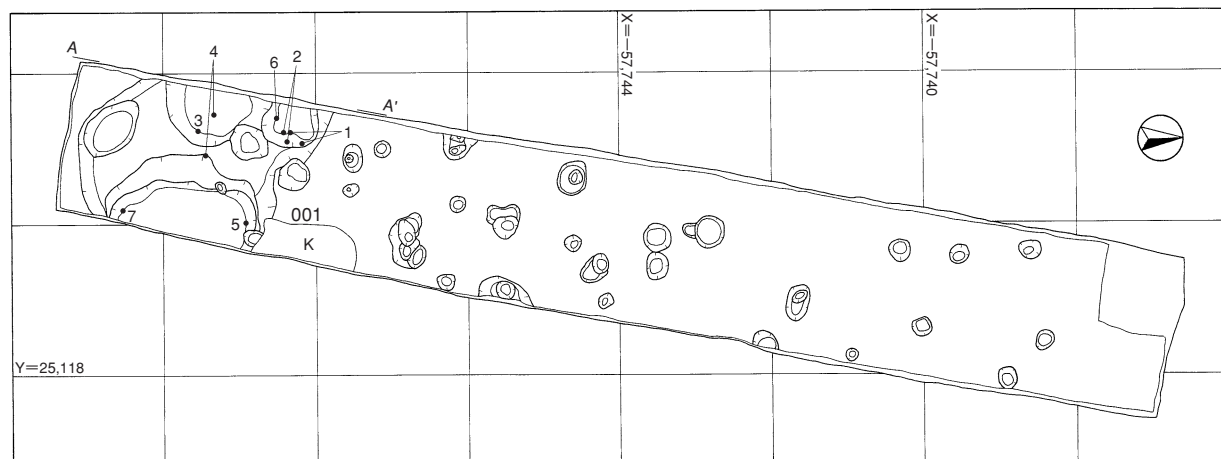


## 17トレンチ

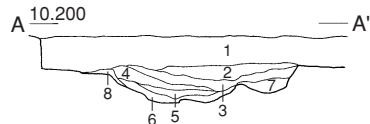


第71図 9、17トレンチ

# 35トレンチ

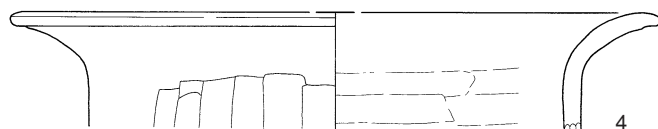
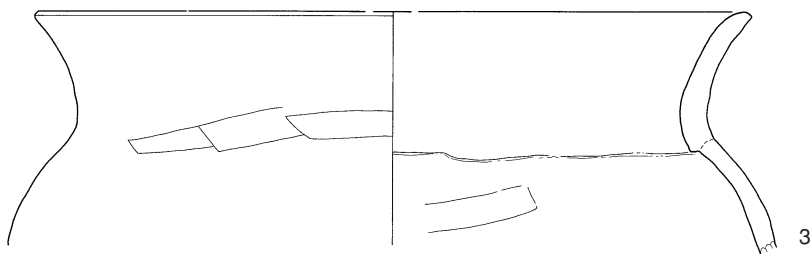
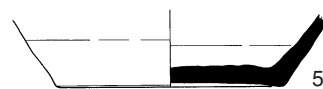
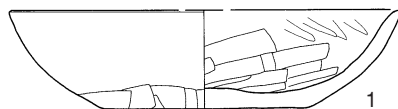


A 10.200



- 1 現表土
- 2 暗黒灰色土 炭化粒少量散る 橙色粒微量混入
- 3 暗黒灰色土 焼土粒 (5mm大・微量)
- 4 暗黒灰色土+灰白色粘土ブロック (10mm大・均等)
- 5 暗黒灰色土
- 6 暗黒灰色土+灰白色粘土ブロック (25mm大・均等)
- 7 暗黒灰色土+灰白色粘土粒 (7mm大・微量だが均等)
- 8 灰白色粘土

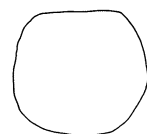
0 (1:100) 5m



0 (1:3) 10cm

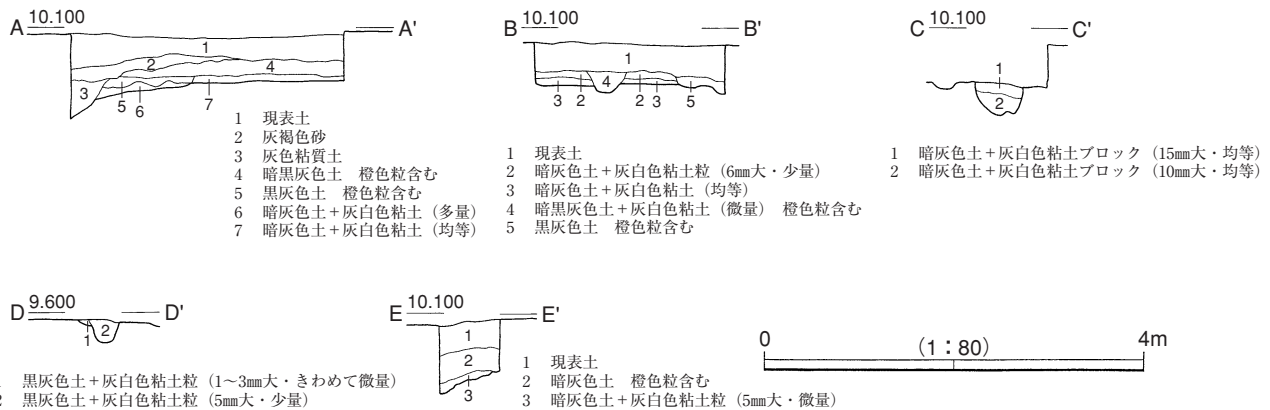
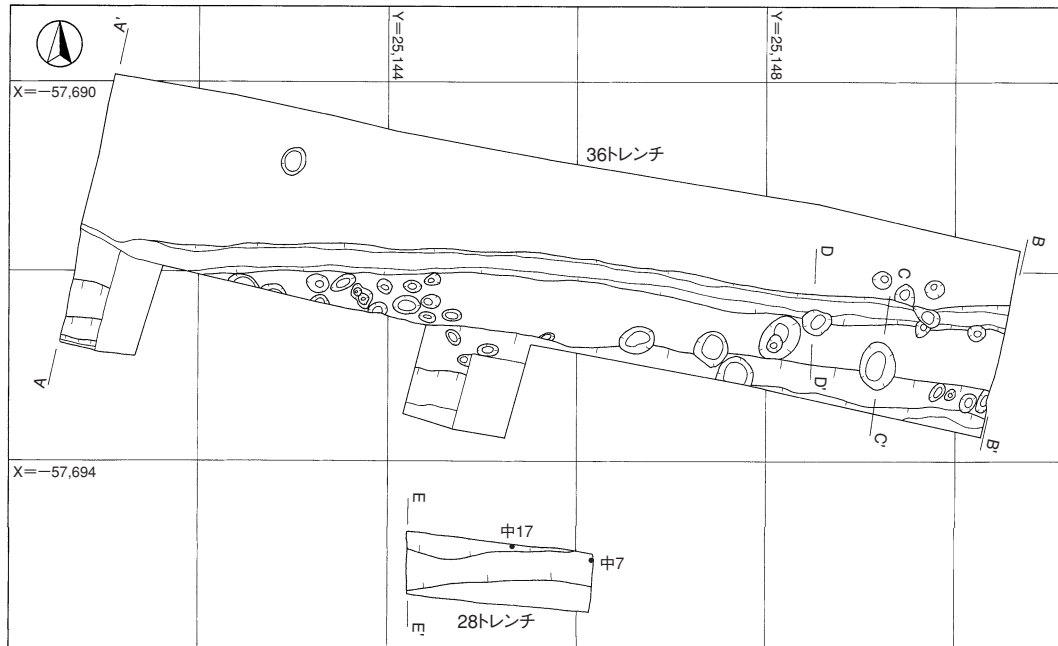


0 (1:2) 5cm



第72図 35トレンチ

## 28トレンチ 36トレンチ



第73図 28、36トレンチ

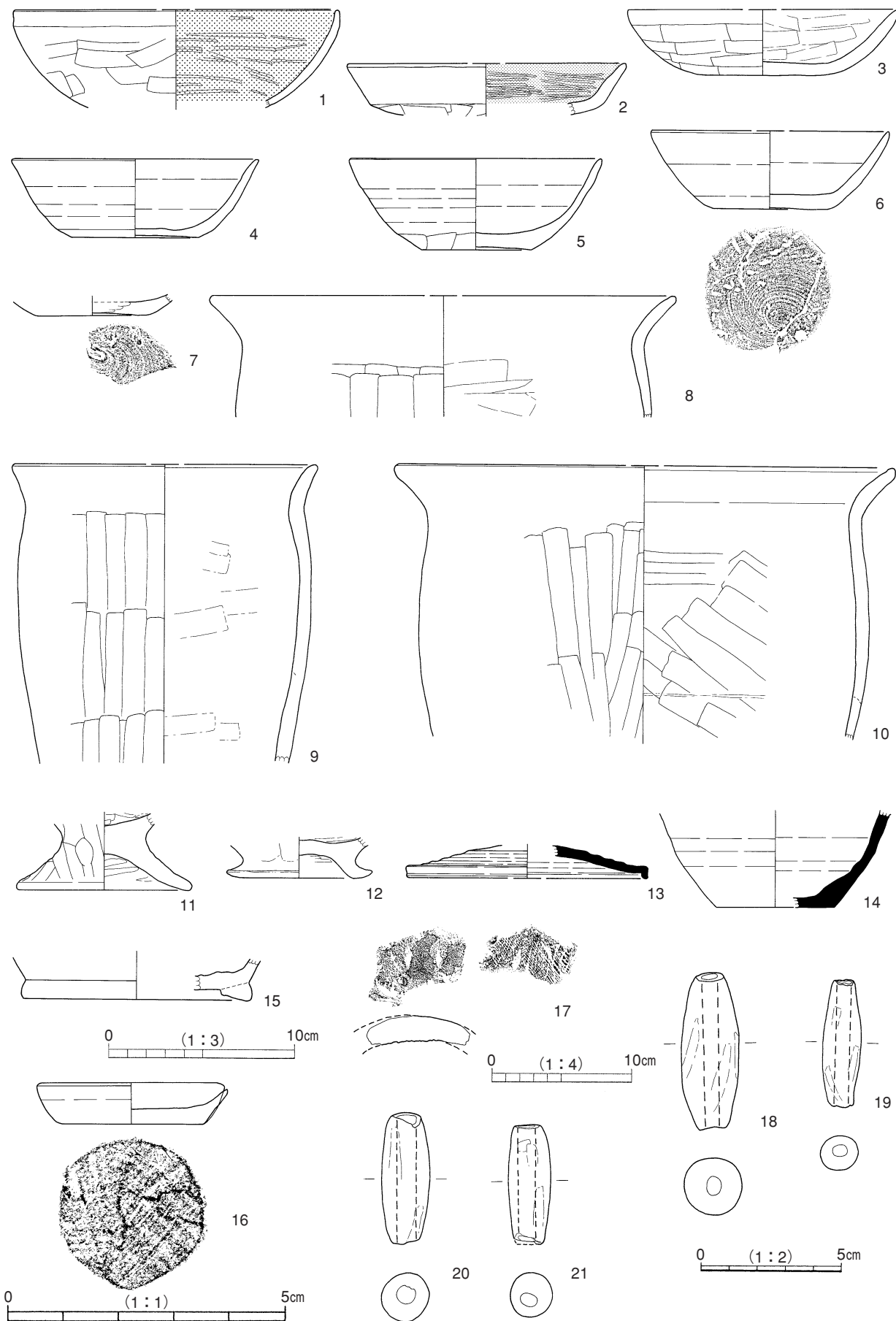
## 一括出土遺物

### 概要 (第74図)

当調査地点では、土師器・須恵器は出土しているものの、瓦の出土が殆どない。土師器・須恵器は杯や甕といった日常雑器が主体を占め、特殊遺物の出土は殆どなかった。遺物は8世紀～9世紀末頃まで、幅広く出土している。また、12～13世紀代といった中世前半期の遺物も一定量出土していることが特徴である。

一括遺物は、1～7が土師器杯であり、1～3は非ロクロ整形である。1は内面に赤彩を施す。古墳時代中期頃と思われる。2も非ロクロ整形であり、内面に黒色処理を施す。蓋模倣杯と思われる。6世紀末葉頃であろう。3は、底面が平底になっている。8世紀中葉頃であろう。4～7はロクロ整形である。4は体部下端回転ヘラケズリ、5は手持ちヘラケズリを施す。6・7は底部切り離しが回転糸切り後、無調整である。いずれも9世紀を中心としている。8～10は、土師器甕、11・12は、台付甕の台部である。13は須恵器蓋であり、14は須恵器長頸壺の底部、15は灰釉陶器壺の底部であろう。16は片口を模倣したミニチュア土器であり、近世期を遡らないと思われる。17は丸瓦、18～21は管状土錘である。

一括出土遺物

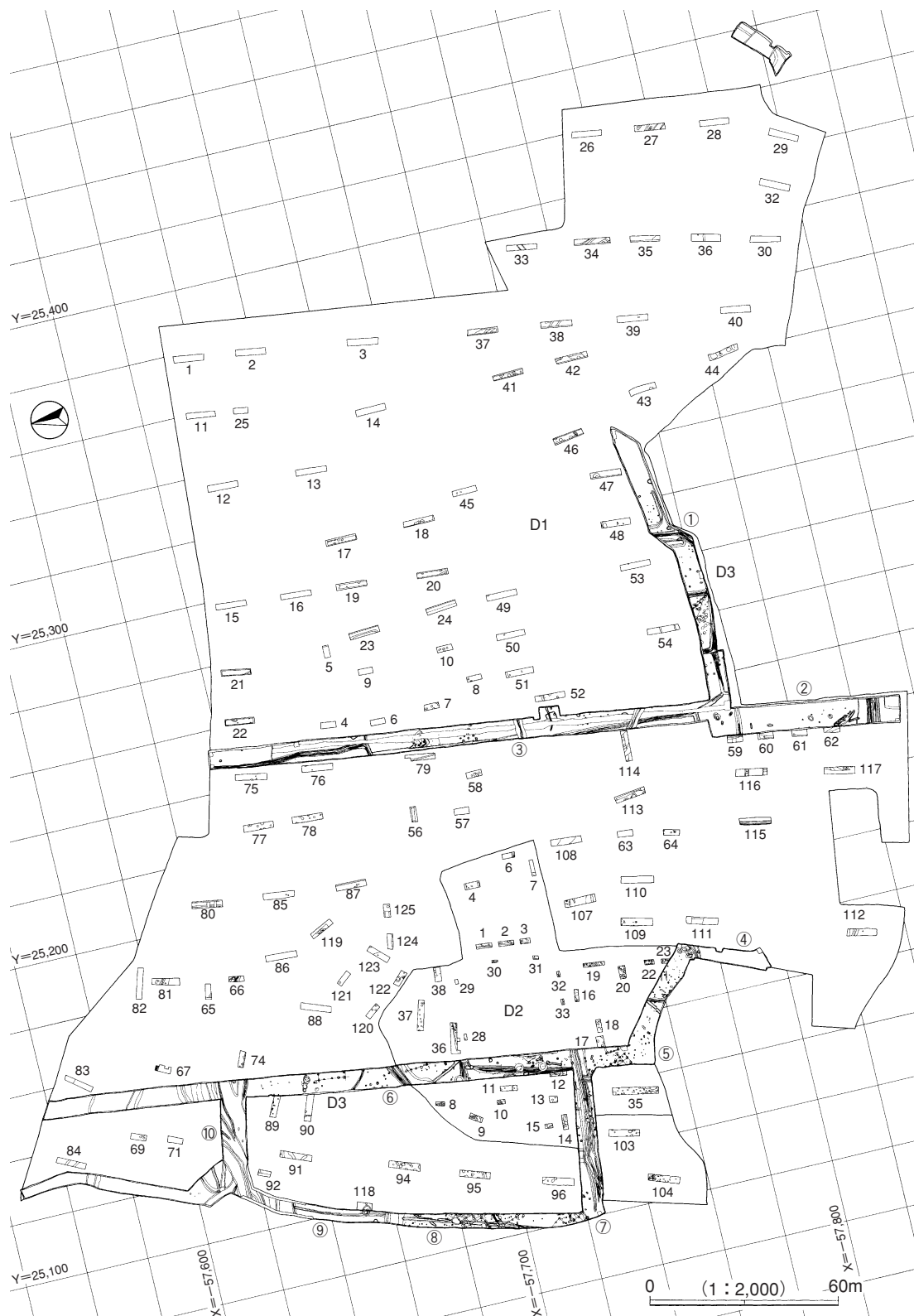


第74図 一括出土遺物

## 第13節 西野遺跡群 D 3 地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成15年度に調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構



第75図 西野遺跡群D1～D3 地点全体図

は、掘立柱建物跡・竪穴住居跡・溝・土坑及び井戸状遺構が主体となっている。D 地点から西野交差点を挟んだ西側は、掘立柱建物跡が規則的に配置されている西野遺跡群 B 地点になる。D 地点においては、B 地点のような掘り方規模の大きい掘立柱建物の規則的な配置は見られず、不整な円形を主とした掘立柱建物跡が西に大きく振れる桁行きで、建てられていると思われる。遺物は、小破片が柱穴内に若干入り込んでいるのみであり、これによって時期を即断することは控えたい。本地点の本調査は耕作車用道路及び、用水路部分に限定されており、全体の工事範囲の10%程度である。したがって、その少ない調査面積での大まかな傾向を類推することは可能であるかもしれないが、不確定の要素が極めて多い。その中にあって、B・D 地点の掘立柱建物跡は、建て替えが殆ど見られないことから、比較的短期に廃絶したと思われる。そして、D 地点西端部にある掘立柱建物跡017・018・020号跡は、10世紀前半頃と思われる溝状遺構046号跡によって切られており、当該期には、D 地点の建物跡の数棟は廃絶していたと思われる。敢えて言えば、B・D 地点は、8世紀末～9世紀代を中心とした建物構成か。ただし、D 地点の東側にある建物跡002号跡は、中世前半に存在した可能性がある。

## 1. 竪穴住居跡

### 概要

調査によって検出された竪穴住居跡は、古墳時代終末期に比定される1軒のみである。

#### 001号跡（第78・86・91図）

**位置** 調査区のほぼ中央に位置する。

**形態** 北西方向にカマドを持ち、やや隅の丸い方形を呈する。住居の拡張に伴う建て替えが行われたと思われる。南東部分は用水路によって、攪乱されている。

**構造** 確認面からの掘り込みは、10～20cm程度で遺存状態は良くない。床面は、あまり堅牢ではなく、硬化面もよくしまっている程度である。

柱穴は、P1～P6まであり、P5及びP6は住居拡張に伴う新しいピットと思われる。

壁溝は、拡張前の住居には、その痕跡が認められたが、建て替え後の住居には認められなかった。

カマドは、北西辺の中央に位置し、山砂・白色粘土を主体として構築されていた。

遺物は、住居内左側壁溝付近より杯2、中央部より杯3及びカマド右ソデ脇から支脚5が床直より出土している。他に杯1、甕4が覆土中より出土している。遺物の特徴から7世紀後半の遺構と思われる。

## 2. 掘立柱建物跡

### 概要

調査によって検出された掘立柱建物跡は、調査区の中央から南西側に主に存在している。東部及び北部にある掘立柱建物跡は、中世まで下る可能性がある。南西隅部にある掘立柱建物跡は、8世紀後

半～9世紀代を中心とした範疇に含まれると思われる。建物跡の振れは、座標北から西に26～29°振れるA群009・014・016と、座標北から西に17～20°振れるB群017・018・020の2群がある。

#### 002号跡（第76・86・91図）

**位置** 調査区の南東側に位置し、040号跡と重複している。

**形態** 径60～80cm前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ。040号跡埋没土上に建てられたと思われ、040号跡より新しいと思われる。側柱建物と判断しておく。

**構造** 桁行き2間・梁行き2間以上、桁行き柱間1.4～1.7m、梁行き柱間2.1～2.7mを測り、柱穴間の距離は一定していない。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-56°—Wである。040号跡の覆土上に柱止めの白色粘土が確認されたが、040号跡の覆土と本遺構柱穴内の埋土との識別は殆ど不可能であった。そのため、柱穴の位置及び規模は、不確定な要素が多い。時期決定する根拠に乏しいが、本遺構の埋土は黒灰色で粘性の強い土であり、東隣する布状遺物が出土した041号跡（12世紀末～13世紀）の覆土に類似することから、041号跡に近似した時期の遺構であるかもしれない。遺物は柱穴内よりロクロ土師器杯片1・2が出土しているが、混入であろう。

#### 003号跡（第76・86・91図）

**位置** 調査区の南東側に位置し、040号跡に切られており、040号跡より古いと思われる。

**形態** 径40～60cm前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

**構造** 桁行き3間・梁行き2間以上、桁行き柱間1.3～1.7m、梁行き柱間1.8mを測り、確認面からの深さは0.25～0.45mを測る。柱穴間の距離はあまり一定していない。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-22°—Wである。埋土は、暗黒色粘質土に暗白灰色粘土ブロックが混入する土を基本としている。柱痕跡が確認されたピットも存在するが、版築ははっきりしない。黒色土・白色粘土を互層にして突き固める状況は観察されず、同種の土を突き固めて埋め土としているように見える。これは、D地点の掘立柱建物跡に多く見られる状況であり、B地点の規則性を持って存在している掘立柱建物跡の埋土とは、異なる特徴と言えるかもしれない。遺物は、P4より須恵器杯1と土師器甕2が覆土中から出土している。

#### 004号跡（第76・86・91図）

**位置** 調査区の南東側に位置し、040号跡に切られていると考えられ、040号跡より古いと思われる。

**形態** 径40～60cm前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

**構造** 桁行きと思われる柱列が2間以上、北西—南東方向に存在する。桁行き柱間1.3～1.4mを測り、確認面からの深さは0.30～0.45m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-30°—Wである。埋土は、暗黒灰色粘質土に黄灰色粘土ブロックが混入する土を基本としており、一部、黄灰色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。一部に、柱痕跡が確認されたピットが存在する。遺物は、P2覆土より土師器杯1と須恵器杯2が一括資料として出土している。

#### 005号跡（第76・86図）



位置 調査区の南東側に位置する。

形態 径0.3～0.4m前後の不整な円形を呈するピットが4ヵ所存在する。

構造 東西方向に1間、南北方向に1間ないしそれ以上と思われるピット列が存在する。東西ピット間1.1～1.2m・南北ピット間1.1mを測り、確認面からの深さは0.2～0.4m前後を測る。南北ピット列の座標北を基準とする方位はN-8°-Eである。堆積土は、暗黒灰色粘質土に黄灰色粘土ブロックが混入する土を基本としている。一部、柱痕跡と思われる堆積土が見られた。ピット列の振れは、北に隣接する溝状遺構041号跡と近似している。出土遺物がなく、時期決定する根拠に乏しいが、堆積土は041号跡に類似していたと思われ、溝に関連する入り口部分の門跡などであった可能性は否定できないと思われる。

#### 008号跡（第78・87・91図）

位置 調査区のほぼ中央に位置する。

形態 径0.7～1.0m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 梁行きと思われる柱列が2間、桁行きと思われる柱列が1間以上、桁行き主軸を北東-南西方向にして存在する。梁行き柱間1.8～1.9m、桁行き柱間1.4mを測り、確認面からの深さは0.3～0.45m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-75°-Eである。埋土は、暗黒灰色粘質土に白灰色粘土ブロックが混入する土を基本としており、一部、白灰色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在するが、明瞭な版築は確認されず、同種の土を突き固めて埋め土としているように見える。遺物は、P2底面直上より土師器甕口縁部1、P4底面直上より千葉市域産と思われる縦位のタタキを持つ須恵器甕胴部片2が出土した。

#### 009号跡（第80・87・91図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 径0.6～0.9m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、総柱建物と思われる。

構造 総柱建物と考えられ、床を持つ構造であったと思われる。梁行きと思われる柱列が2間以上、桁行きと思われる柱列が3間以上、桁行き主軸を北西-南東方向にして存在する。梁行き柱間1.7～1.8m、桁行き柱間1.8m前後を測り、確認面からの深さは0.4～0.6m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-27°-Wである。埋土は、黒色粘質土に黄白色粘土ブロックが混入する土を基本としており、一部黄白色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在する。明瞭な版築は確認されず、同種の土を突き固めて埋土としているように見える。遺物は、P1一括より土師器杯1、P4埋土内より底部糸切り無調整の杯底部2、P2一括より底部糸切り無調整の杯底部3が出土している。9世紀後葉頃まで遡るか。

#### 010号跡（第80・87図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 径0.4～0.7m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 梁行きと思われる（南北）柱列が3間、桁行き主軸を東-西方向にして存在する。梁行き柱間

1.0～1.3m、桁行き柱間1.1m前後を測り、確認面からの深さは0.3～0.5m前後を測る。梁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-3°-Wである。埋土は、暗黒色粘質土に黄灰色シルト質粘土ブロックが混入する土を基本としている。一部、黄灰色シルト質粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在するが、明瞭な版築は確認されなかった。一部、011号跡と重複しており、土層観察から本遺構010号跡の方が古いと思われる。図示できる遺物の出土はなかった。ただし、柱穴内の埋土は、009号跡に近似していた。

#### 011号跡（第80・87・91図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 径0.4～0.6m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 梁行きと思われる（南北）柱列が3間、桁行き主軸を東-西方向にして存在する。梁行き柱間1.2～1.5m前後を測り、確認面からの深さは0.35～0.5m前後を測る。梁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-3°-Wである。埋土は、暗黒褐色粘質土に黄灰色粘土粒が混入する土を基本としている。柱痕跡が確認されたピットも存在するが、明瞭な版築は確認されなかった。一部、010号跡と重複しており、土層観察から本遺構011号跡の方が新しいと思われる。遺物は、P3覆土中より、底部手持ちヘラケズリ、内面にヘラミガキを施す土師器小型鉢3が出土しているが、混入であろう。他にはP1より一括遺物として、土師器杯1や須恵器甕底部2などが出土している。

#### 012号跡（第81・87図）

位置 調査区の南西側ほぼ中央に位置する。

形態 径0.7～1.0m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 桁行きと思われる柱列が4間、北東-南西方向にして存在する。桁行き柱間1.5～1.9m、確認面からの深さは0.45～0.6m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-4°-Wである。柱痕跡は不明瞭で確認されず、版築も確認されなかった。図示できる遺物の出土はなかった。ただし、柱穴内の埋土は、灰色砂を主体としており、013号跡に近似している。中世期以降まで下る可能性がある。

#### 013号跡（第81・87図）

位置 調査区の南西側ほぼ中央に位置する。

形態 径0.4～1.0m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 桁行きと思われる柱列が4間、梁行きと思われる柱列が1間以上、主軸を北東-南西方向にして存在する。桁行き柱間1.8～2.4m、梁行き柱間1.75～1.85m前後を測り、確認面からの深さは0.45～0.7m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-7°-Eである。柱穴間の距離は一定していない。柱痕跡は不明瞭で、版築も確認されなかった。図示できる遺物の出土はなかった。ただし、柱穴内の埋土は、灰色砂を主体としており、012号跡に近似している。中世期以降まで下る可能性がある。

#### 014号跡（第82・87・92図）

位置 調査区の南西端部に位置する。

形態 径0.6～1.1m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、総柱建物と思われる。

構造 梁行きと思われる柱列が2間以上、桁行きと思われる柱列が2間以上、梁行き主軸を南東—北西方向にして存在する。梁行き柱間1.8m前後、桁行き柱間1.8～2.1m前後を測り、確認面からの深さは0.45～0.6m前後を測る。梁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-29°—Wである。埋土は、暗黒色粘質土に灰白色粘土粒が混入する土を基本としている。一部、灰白色粘土粒の多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在するが、明瞭な版築は確認されなかった。黒色土と白色粘土を互層にして突き固める状況は観察されず、同種の土を突き固めて埋め土として見えるように見える。先述したように、これはD地点の掘立柱建物跡に多く見られる状況であり、B地点の規則性を持って存在している掘立柱建物跡の埋土とは、異なる特徴と言えるかもしれない。遺物は、P3覆土中より台付甕底部2、P4覆土中より須恵器高台付杯底部3が出土している。また、P5覆土中より内外面赤彩を施した土師器杯1が出土しているが、混入であろう。東側50m程にある009号跡と建物の振れは近似しており、同時期の遺構である可能性があると思われる。

#### 016号跡（第82・88図）

位置 調査区の南西端部に位置する。

形態 径0.7～1.0m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 南北柱列が1間、東西柱列が1間、南北柱列軸を北西—南東方向にして存在する。南北柱間1.8m、東西柱間1.8m、確認面からの深さは0.3～0.5m前後を測る。南北柱列の座標北を基準とする方位はN-38°—Wである。埋土は、暗黒灰色粘質土に黄白色粘土ブロックが混入する土を基本としている。一部、黄白色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在する。明瞭な版築は確認されなかったが、同種の土を突き固めて埋め土として見えるように見える。図示できる遺物の出土はなかったが、南側に隣接する014号跡と柱穴内埋土の状況は近似していた。

#### 017号跡（第83・88・92図）

位置 調査区の南西端部に位置する。

形態 径0.6～1.2m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

構造 梁行きと思われる柱列が2間以上、桁行きと思われる柱列が3間以上、桁行き主軸を北西—南東方向にして存在する。梁行き柱間1.8～2.1m、桁行き柱間1.7m前後を測り、確認面からの深さは0.4～0.65m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-20°—Wである。埋土は、暗黒色粘質土に黄白色粘土ブロックが混入する土を基本としている。一部、黄白色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在するが、明瞭な版築は確認されなかった。また、梁行きと思われる北側柱列に沿って、柱穴列P7・8が検出された。柱間2.8m前後、確認面からの深さは0.4m前後を測る。廂や目隠し塀の可能性も考えられたが、掘り方が大きい。遺物は、全て埋土内一括遺物であるが、P7より底部回転糸切り無調整の土師器杯5やP6から

土師器杯1などが出土している。また、P1から須恵器杯8や蓋10が出土しているが、混入であろう。他の一括遺物として、須恵器コップ形土器9などが出土している。隅柱P4が、10世紀前葉頃と思われる溝状遺構046号跡に切られており、本遺構の方が古いと思われる。時期決定する根拠に乏しいが、9世紀後葉頃であろうか。

#### 018号跡（第83・88・92図）

**位置** 調査区の南西端部に位置する。

**形態** 径0.5～1.0m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、側柱建物と思われる。

**構造** 梁行きと思われる柱列が2間以上、桁行きと思われる柱列が3間以上、桁行き主軸を北西—南東方向にして存在すると思われる。桁行き柱間1.8～2.1m前後を測り、確認面からの深さは0.4～0.65m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-18°—Wである。埋土は、暗黒灰色粘質土に灰白色粘土ブロックが混入する土を基本としている。一部、灰白色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在する。明瞭な版築は確認されなかったが、同種の土を突き固めて埋め土としているように見える。遺物は、P1埋土中より底部手持ちヘラケズリの土師器杯1が出土している。古相であるが、混入の可能性が高い。時期決定する根拠に乏しいが、建物の振れは017号跡に近似しており、020号跡とはほぼ同一である。P2、P4及びP5が、10世紀前葉頃と思われる溝状遺構である046号跡に切られており、本遺構の方が古いと思われる。

#### 020号跡（第83・88・89・92図）

**位置** 調査区の南西端部に位置する。

**形態** 径0.4～1.0m前後の不整な円形を呈する柱穴を持つ、総柱建物と思われる。

**構造** 梁行きと思われる柱列が2間以上、桁行きと思われる柱列が3間以上、桁行き主軸を北西—南東方向にして存在する。梁行き柱間0.9～1.35m、桁行き柱間2.0～2.4m前後を測り、確認面からの深さは0.4～0.65m前後を測る。桁行き柱列の座標北を基準とする方位はN-17°—Wである。埋土は、暗黒灰色粘質土に灰白色粘土ブロックが混入する土を基本としている。一部、灰白色粘土ブロックの多寡を基準とした互層が認められる。柱痕跡が確認されたピットも存在する。明瞭な版築は確認されなかったが、同種の土を突き固めて埋め土としているように見える。遺物は、P1覆土中より須恵器杯3や蓋4が出土している。また、P2より土師器杯1が出土している。他に一括遺物として、ロクロ土師器杯2が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、建物の振れは017号跡に近似し、018号跡とはほぼ一致している。P3が、10世紀前葉頃と思われる溝状遺構である046号跡に切られており、本遺構の方が古いと思われる。9世紀代に比定されるか。

### 3. 土坑跡・井戸状遺構

#### 概要

調査によって検出された土坑跡・井戸状遺構は、25基ある。奈良・平安時代及び中世が主体を占め

る。

022号跡（第76・89・93図）

位置 調査区の南東側に位置する。

形態 やや楕円形を呈し、平面規模は1.0×1.4m・深さ1.5m前後を測る。

構造 井戸状遺構であり、底面に向かってややフラスコ状に広がっている。遺物は、覆土中から土師器杯1・台付甕2・甕口縁部3が出土している。9世紀初め頃と思われる。

023号跡（第76・89・93図）

位置 調査区の中央南寄りに位置する。

形態 不整な円形を呈し、平面規模は1.25×1.4m・深さ1.2mを測る。

構造 井戸状遺構であり、ほぼ底面まで直に落ちる構造となっている。杵板痕・裏込土は確認されなかった。遺物は、底面直上より挽物椀2が出土している。総黒色の渋下地漆器と考えられる。他に、一括遺物として土師器杯1が出土しているが混入であろう。時期決定する根拠に乏しいが、椀2の特徴から古代末期を遡らないと思われる。

024号跡（第77・89図）

位置 調査区の中央南寄りに位置する。

形態 不整な円形を呈し、平面規模は1.5×1.3m・深さ1.3mを測る。

構造 井戸状遺構であり、一部杵板をはっていたと思われる段を有する。図示できる遺物の出土はなかったが、025号跡と覆土の状況は近似している。

025号跡（第77・89・124・125図）

位置 調査区の中央南寄りに位置する。

形態 やや楕円形を呈し、平面規模は1.4×1.8m・深さ1.0mを測る。

構造 井戸状遺構である。素掘りと思われる。遺物は、一括遺物として龍泉窯青磁碗（中）2・常滑片口鉢（中）16が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、14世紀後半頃であろうか。

026号跡（第77・89図）

位置 調査区の中央南寄りに位置する。

形態 長楕円形を呈し、平面規模は0.8×1.8m・深さ0.6m前後を測る。

構造 土坑跡であり、深さ0.6m前後を測る。暗黒褐色粘質土を主体とする。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土は024・025号跡に近似している。時期決定する根拠に乏しいが、中世後半頃まで遡るかもしれない。

027号跡（第77・89・93・94図）

位置 調査区の中央南寄りに位置する。

形態 不整な円形（8の字状）を呈し、平面規模は2.5×1.8m・深さ1.0m前後を測る。

構造 当初、井戸状遺構として掘られたものが、人為的に埋め戻されて廃絶後、土坑として掘り直されたと思われる。掘り直された土坑底面付近に、一部ワラ状の炭化物が堆積していた。遺物は上～中層にかけて、多量に出土していることから、最終的には土器棄て土坑として機能したのではないだろうか。遺物は、掘り直された土坑部分から土師器の杯3や皿4及び11が覆土中より出土し、井戸状遺構と思われる部分から、土師器碗9などが覆土中より出土している。両遺構に時期差は、あまり感じられず、10世紀第1～2四半期を中心とした遺構であると思われる。

#### 028号跡（第78・94図）

位置 調査区のほぼ中央に位置する。東側部分は、調査区外である。

形態 不整な円形を呈し、平面規模は1.0×1.3m・深さ20cm程を測る。

構造 上面は削平されてしまっており、遺存度はよくない。掘立柱建物跡の柱穴である可能性は低いと思われる。遺物は、覆土中より須恵器甕口縁部1が出土している。覆土は暗黒色土を主体としていた。

#### 029号跡（第78・89・94図）

位置 調査区のほぼ中央に位置する。東側部分は、調査区外である。

形態 やや角の張った不整な円形を呈する。

構造 上面は削平されてしまっており、遺存度はあまりよくない。平面規模は0.7×1.1m・深さ30cm程度を測る。掘立柱建物跡の柱穴である可能性はあるが、断定できない。中央にある円形の掘り込み底面直上より、ロクロ土師器杯1が出土している。堆積土は、暗黒色土を主体としており、9世紀後葉に比定されるか。

#### 030号跡（第79・94図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 やや角の張った不整な円形を呈する。

構造 上面は削平されてしまっており、遺存度はあまりよくない。平面規模は1.05×1.1m・深さ20cm程度を測る。遺物は覆土よりロクロ土師器杯1、一括遺物としてロクロ土師器杯の底部2が出土している。堆積土は、暗黒色土を主体としており、9世紀後葉～10世紀初め頃に比定されるか。

#### 031号跡（第80・94図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 不整な円形を呈する2つのピットが重複している。

構造 平面規模は1.6×0.8m・深さ30cm程度を測る。遺物は覆土より土師器甕2、周辺より杯底部1が出土している。暗黒褐色土を主体としており、周辺のピットも同様の堆積土であるが、掘立柱建物とは認定できなかった。

032号跡（第80・125図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 円形を呈する。

構造 平面規模は0.4×0.4m・深さ25cm程度を測る。遺物は覆土より常滑片口鉢（中）13が出土している。覆土は暗灰褐色土を主体としていた。12世紀後半に比定できるか。

033号跡（第80・126図）

位置 調査区の南西側に位置する。

形態 やや不整な円形を呈する。

構造 平面規模は0.6×0.5m・深さ30cm程度を測る。遺物は覆土よりカワラケ（中）16が出土している。覆土は032号と近似する。12世紀代か。

034号跡（第81・94図）

位置 調査区の中央西寄りに位置する。

形態 やや不整な円形を呈する。

構造 平面規模は1.2×1.0m・深さ1.2m程度を測る。覆土は、粘性の強い黒色土を基本としていた。素掘りの井戸状遺構と思われる。遺物は覆土より土師器杯1、一括遺物として須恵器蓋2が出土している。8世紀前～中葉頃に比定できるか。

035号跡（第81・94図）

位置 調査区の南西側中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する。

構造 平面規模は0.9×0.8m・深さ40cm程度を測る。遺物は一括遺物より須恵器高台付杯1が出土している。覆土は036号と近似し、暗黒色土を主体とする。

036号跡（第81・89・94・125図）

位置 調査区の南西側中央に位置する。

形態 やや隅の張った不整な円形を呈する。東側は調査区外である。

構造 平面規模は3.4×2.0m・深さ1.2m程度を測る。中央に掘り直されたとされるピットが存在している。井戸状遺構と考えられ、覆土は、黒色味が強く粘性のある暗黒色土を主体としている。ただし、井戸杵痕や裏込土は認められなかった。遺物は、上総型杯とされる内面に格子状の暗文を施す土師器杯1や甕2・3、台付甕4・5及び須恵器蓋6などが覆土より出土している。他に、龍泉窯系青磁の碗（中）1が出土している。碗は、混入であろう。8世紀中・後葉頃と思われる。

037号跡（第81・89・95・126図）

位置 調査区の南西側中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する。044号跡と重複する。本遺構の方が古い。



**構造** 平面規模は3.0×3.0m・深さ1.5m程度を測る。井戸状遺構と考えられ、覆土は、黒色味が強く粘性のある暗黒色土を主体としている。黄灰色粘土ブロックを多量に混入しており、埋め戻されたと考えられる。井戸杵痕や裏込土は、認められなかった。素掘りの井戸であろう。遺物は覆土から、丸底を呈していたと思われる杯1が出土しているが、混入であろう。他に、土師器甕の口縁部2・底部3や須恵器蓋4・5及び上層よりウマの大腿骨(17)が出土している(第3章—3節参照)。また、一括遺物として平瓦6や管状土錘7が出土している。また、常滑陶器の甕(中)10が出土しているが、混入遺物と思われる。

#### 038号跡(第81・89・95図)

**位置** 調査区の南西側中央に位置する。044号跡と重複する。本遺構の方が古い。

**形態** やや隅の丸まった不整な方形を呈する。西側は調査区外である。

**構造** 平面規模は1.7×1.2m・深さ30cm程度を測る。遺物は覆土より土師器杯1、一括遺物としてロクロ土師器杯2が出土している。2は混入であろう。覆土は、暗黒褐色土を主体とする。遺物の特徴から8世紀第1四半期頃と思われる。

#### 039号跡(第81・89・95図)

**位置** 調査区の南西側中央に位置する。

**形態** 不整な円形を呈する。044号跡と重複する。本遺構の方が古い。

**構造** 平面規模は2.9×2.7m・深さ1.4m程度を測る。井戸状遺構と考えられ、覆土は、黒色味が強く粘性のある暗黒色土を主体としている。ただし、井戸杵痕や裏込土は、認められなかった。素掘りの井戸であろう。遺物は覆土から、鬼高期と思われる丸底杯1や高杯2が出土し、他に土師器甕3・4が出土している。覆土は037号跡に近似しており、暗黒色粘質土である。037号跡と近似した位置にあり、037号跡より以前に掘られた井戸状遺構と考えておきたい。古墳時代後期まで遡るか。

#### 048号跡(第81・90・97図)

**位置** 調査区の西寄りに位置する。西側において、045号跡と重複する。

**形態** 不整な円形を呈する。

**構造** 遺構の半分以上が、東側調査区外に存在していると思われる。平面検出規模は2.5×0.8m、深さ1.4m程度を測る。045号跡に掘り込まれており、048号跡の方が古いと思われる。井戸状遺構と考えられ、覆土は、暗黒色粘質土を主体としている。下層は、地山の砂層が青灰色を帯び、常時、帯水状態であったことを窺わせる。ただし、井戸杵痕や裏込土は、認められなかった。素掘りの井戸であろう。遺物は覆土から須恵器杯の底部3が出土し、一括遺物として土師器杯の底部1・2が出土している。

#### 049号跡(第81・90・97・125図)

**位置** 調査区の西寄りに位置する。東南側において、045号跡と重複する。

**形態** 不整な円形を呈する。

**構造** 遺構の半分程度が、西側調査区外に存在していると思われる。平面検出規模は2.9×1.8m、深さ1.5m程度を測る。045号跡に掘り込まれており、049号跡の方が古いと思われる。井戸状遺構と考えられ、覆土は、暗灰黒色砂質土を主体としている。また、覆土中層において、イボキサゴの破碎貝が少量堆積していた。遺構廃絶の過程で浅い窪地状のところで、貝を遺棄したのだろうか（第3章—2節 海上地区遺跡群出土土具サンプルの分析結果について参照）。下層の地山砂層は青灰色を帯び、常時、帯水状態であったことを窺わせる。井戸杵痕や裏込土は、認められなかった。遺物は、いずれも一括遺物として土師器杯1、灰釉陶器皿2及び須恵器杯3が出土しているが、いずれも混入遺物である可能性が高いと思われる。時期決定する根拠に乏しいが、一括遺物として、カワラケ（中）42が出土しており、覆土は中世期に近似する様相を呈している。045号跡に先行する中世初め頃に比定できるか。

#### 050号跡（第81・90・97図）

**位置** 調査区の北西寄りに位置する。

**形態** 3基の土坑がつながった不整な円形を呈する。

**構造** 平面検出規模は5.4×2.3m、深さ0.4～0.5m前後を測る。3基の土坑が連結された形状を呈しており、掘り直されながら土坑が不整形に広がったと思われる。遺物の出土は少ないが、土器棄て土坑であろうか。遺物は、覆土中より内・外面に赤彩を施された土師器杯1・甕2・3、須恵器杯4及び鉄釘5が出土している。1は古相であるが混入であろう。9世紀前葉頃に比定されると思われる。

#### 051号跡（第83・90・97図）

**位置** 調査区の西端部中央に位置する。

**形態** 不整な円形を呈する。西側において、020号跡と重複する。

**構造** 遺構の半分以上が、東側調査区外に存在していると思われる。平面検出規模は4.0×1.1m、深さ0.4～0.6m前後を測る。数基の土坑が複合されたような形状を呈しており、多方向から掘り直されながら土坑が不整形に広がったと思われる。覆土は、暗黒褐色シルト質土を主体とする。遺物の出土は少ないが、土器棄て土坑であろうか。遺物は、覆土中より土師器甕の口縁部1・底部2が出土している。西側において、020号跡と重複するが、新旧関係ははっきりしなかった。しかし、覆土は周囲の中世期の遺構に若干近い印象があり、中世期まで下る可能性も否定できない。

#### 052号跡（第83・97図）

**位置** 調査区の西端部中央に位置する。

**形態** 不整な円形を呈する。

**構造** 遺構の一部が西側調査区外に存在すると思われる。平面検出規模は0.55×0.4m、深さ0.4m前後を測る。覆土は、暗黒色粘質土を主体とする。柱穴の可能性があるが、柱痕跡及び埋土の有無は認められなかった。また、関連するピットも認定されなかった。遺物は、一括遺物として須恵器杯1が出土している。色調は白色味を帯び底部が突出ぎみで、体部はシャープに立ち上がる。湖西産と思われる。8世紀第一四半期頃まで遡るか。

#### 053号跡（第84・97・125図）

位置 調査区の西端部中央に位置する。

形態 円形を呈する。

構造 井戸状遺構と考えられ、平面検出規模は1.25×1.1m、深さ1.0m前後を測る。覆土は暗黒灰色粘質土を主体とし、基本的に人為的な埋め戻しは認められなかった。遺物は、覆土上層の南東側壁面付近よりカワラケ（中）33～35が、伏せるようにして3枚重ねて出土した。本遺構廃絶の過程で浅い窪地状になった段階で、人為的に置かれた可能性が高いと考えられる。他に一括遺物として、カワラケ（中）19や土師器杯1が出土しているが、杯1は混入であろう。遺物の特徴から12世紀代まで遡ると思われる。

#### 054号跡（第84・90・125図）

位置 調査区の西端部中央に位置する。

形態 不整な円形を呈する。

構造 遺構の一部が東側調査区外に存在すると思われる。井戸状遺構と考えられ、平面検出規模は2.45×1.2m、深さ1.7m前後を測る。覆土は暗黒灰色粘質土を主体とし、中層上部付近まで灰色砂や黄白色粘土ブロックが混入しており、人為的に埋め戻されたと思われる。井戸枿痕跡・裏込土は認められなかったが、掘り方は中層付近でテラス状を呈しており、ここから直に立ち上がる井戸枿があったかもしれない。ちなみに、隣接する東側調査区外で前年度に調査した西野遺跡群D1地点118トレンチ001号跡が同一遺構と思われ、覆土中よりイボキサゴを始めとする貝層及び大型の陸獣骨が堆積していた。遺構廃絶段階において、浅い窪地状の遺構に遺棄されたのだろうか（第3章—2・3節参照）。遺物は、一括遺物としてカワラケ（中）39が出土している。時期決定する根拠に乏しいが、覆土及び出土遺物から12世紀末～13世紀前葉頃に比定される可能性が高いと思われる。

## 4. 溝状遺構

### 概要

調査によって検出された溝状遺構は、奈良・平安時代及び中世が主体を占める。奈良・平安時代の大規模な溝は今回の調査範囲では、検出されなかった。一方、中世前半と思われる溝状遺構が存在しており、東側の12世紀末～13世紀と思われる041号跡からは底面付近より烏帽子の断片と考えられる、漆が塗布された布状遺物が出土した（第3章—6節 西野遺跡出土の烏帽子片について参照）。この時期に類似する遺構は、養老川対岸の白山遺跡に存在しているようであり、中世前半における西野遺跡群の歴史的景観についても注目していく必要があると思われる。

#### 040号跡（第76・90・95図）

位置 調査区の南東側及び中央南側を、北西—南東方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-50°—W前後である。002号跡・003号跡・004号跡と重複している。本遺構が003号跡・004号跡を切って掘り込んでおり、両遺構より新しいが、002号跡は、一部柱止めの白色粘土が覆土確認面

上に存在しており、040号跡の方が古いと思われる。

**形態** やや北西に曲がりながら、南東方向に抜けていくと考えられる。ただし、北西延長方向に同様の溝状遺構は検出されなかった。平面規模は幅2.3～3.6m・検出長48.0m、深さ0.8～1.2m前後を測る。

**構造** 覆土は極めて粘性の強い黒色土を主体としていた。砂の堆積等は見られず、常時滞水しながら土砂が堆積していたと思われる。遺物は底部手持ちヘラケズリを施された土師器杯1や須恵器高台付杯の底部2が一括して出土している。

#### 041号跡（第76・90・95・124・125図）

**位置** 調査区の南東側端部付近を、北北東—南南西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-8°—E前後である。

**形態** 検出長が短い、ほぼ北方向に延びていくと思われる。現地形では、本遺構に沿って標高差1m程度の段丘崖が北に延びている。平面は隅がやや丸い方形を呈し、南側で途切れている。規模は幅2.2～2.7m・検出長5.8m、深さ0.8～1.0m前後を測る。

**構造** 逆台形状の断面を呈し、掘り込みはしっかりしている。南側で途切れており、出入り口部に面していたと思われる。南西隣接部に005号跡があり、関連する遺構であろうか。覆土は暗黒灰色粘質土を主体としていた。間層に砂の堆積等は見られず、大きな流水の影響は見られなかった。常時滞水しながら土砂が堆積していたと思われる。このような状況の中、覆土下層において烏帽子の断片と考えられる、漆を塗布して固められたと思われる布状遺物が出土した（第3章—6節 西野遺跡出土の烏帽子片について参照）。他の遺物は、土師器甕の口縁部1、丸瓦片3、平瓦片4が一括遺物として出土し、覆土中からは須恵器甕の口縁部2が出土しているが、1～4は混入遺物と思われる。中世遺物としては、覆土中より龍泉窯系の青磁碗（中）3やカワラケ（中）20・（中）25・（中）28・（中）29・（中）32が出土している。また、一括遺物として土師質土器の内耳鍋（中）17やカワラケ（中）26・（中）27が出土している。内耳鍋（中）17といった新相と思われる遺物もあるが、混入であろう。遺物の特徴から12世紀後半～13世紀前半頃と思われる。

#### 042号跡（第78・90・96図）

**位置** 調査区の中央を、ほぼ東西方向に走っている。方向は、座標北を基準にしてN-83°—E前後である。

**形態** やや弓なりに曲がりながら北西方向に向かうが、調査区内で途切れている。平面規模は幅0.4～0.5m・検出長7.7m、深さ0.2m前後を測る。

**構造** 小規模な溝である。掘り込みが浅いため、西側は途中で切れてしまっている。方形状の断面を呈し、覆土は暗黒灰色粘質土を主体としていた。遺物は東側端部付近覆土中より、緑釉陶器碗の底部片2、一括遺物として土師器碗1が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、9世紀中葉頃か。

#### 043号跡（第78・90・96図）

**位置** 調査区の中央を、東—西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-89°—E前後である。

**形態** 平面規模は幅2.4～2.9m・検出長6.2m、深さ1.2m前後を測る。

**構造** 逆三角形の断面を呈し、掘り込みはしっかりしている。覆土は暗黒灰色砂質土を主体としていた。遺物は東側覆土中より、土師器甕の底部1、須恵器甕の口縁部4・5が出土しており、一括遺物として土師器甕の底部2、須恵器杯の底部3・甕6、丸瓦片7・平瓦片8が出土している。甕4・甕6は、千葉市域産か。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、9世紀前葉頃か。

#### 044号跡（第80・81・96図）

**位置** 調査区の南西側を、北東—南西方向に縦走している。方向は、座標北を基準にしてN-15°—E前後である。南端部は近世以降の溝によって切られており、北端部は045号跡と重複している。また、南側は037号跡・038号跡・039号跡と重複している。いずれよりも新しいと思われる。

**形態** 平面規模は幅1.1～2.3m・検出長33.7m、深さ0.3m前後を測る。

**構造** 掘り込みは、浅い。覆土は暗灰色砂質土を主体としていた。遺物は覆土中より丸瓦2、一括遺物として須恵器の蓋1が出土しているが、混入である。覆土の状況から近世期を遡らない溝であろう。

#### 045号跡（第81・90・96・126図）

**位置** 調査区の南西側を、東—西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-83°—W前後である。南東部は048号、北西部は049号を掘り込んで掘削されており、本遺構がいずれよりも新しい。

**形態** 平面規模は幅1.9～2.45m・検出長6.4m、深さ0.6～1.0m前後を測る。

**構造** 断面はなだらかな逆三角形を呈し、覆土は暗黒灰色粘質土を主体としている。遺物は覆土中より土師器杯1が出土しているが、混入遺物であろう。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、覆土の状況から古代末期～中世期前半頃まで遡るか。ちなみに、東側に隣接する西野遺跡群D2地点28・36トレンチに存在する溝状遺構と同一である可能性が高く、覆土中より12世紀と思われる渥美窯の鉢（中）7が出土している。東西に存在する本調査区内には、045号跡と同一と思われる溝は存在していないが、出土遺物の帰属時期が近接している041号跡とは、ほぼ直交していると思われ、両遺構は関連性を持っている可能性があるのではないかとと思われる。

#### 046号跡（第83・84・90・96・124図）

**位置** 調査区の西端側を、北東—南西方向に縦断している。方向は、座標北を基準にしてN-17°—E前後である。017号、018号、020号、及び054号跡と重複する。054号跡に掘り込まれており、本遺構の方が古い。他の017号、018号、及び020号跡を掘り込んで掘削されており、本遺構の方が新しいと思われる。

**形態** 平面規模は幅0.6～1.1m・検出長79.7m、深さ0.3m前後を測る。

**構造** 掘り込みの浅い溝であり、北端部で途切れてしまっている。覆土は暗黒灰色砂質土を主体とし

ている。遺物は覆土中より土師器碗2、須恵器甕の口縁部3、平瓦4・5が出土している。一括遺物としては土師器杯の底部1や、中世遺物として龍泉窯青磁の杯（中）4の破片が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、土師器碗2がほぼ完形で出土しており、10世紀第1四半期頃に比定できると思われる。

#### 047号跡（第84・85・90・97・125図）

位置 調査区の北西側を、北東―南西方向に横断している。方向は、座標北を基準にしてN-80°―E前後である。

形態 蛇行しながら、北東から南西方向に抜けていく。平面規模は幅6.7～9.3m・検出長39.7m、深さ1.4m前後を測る。

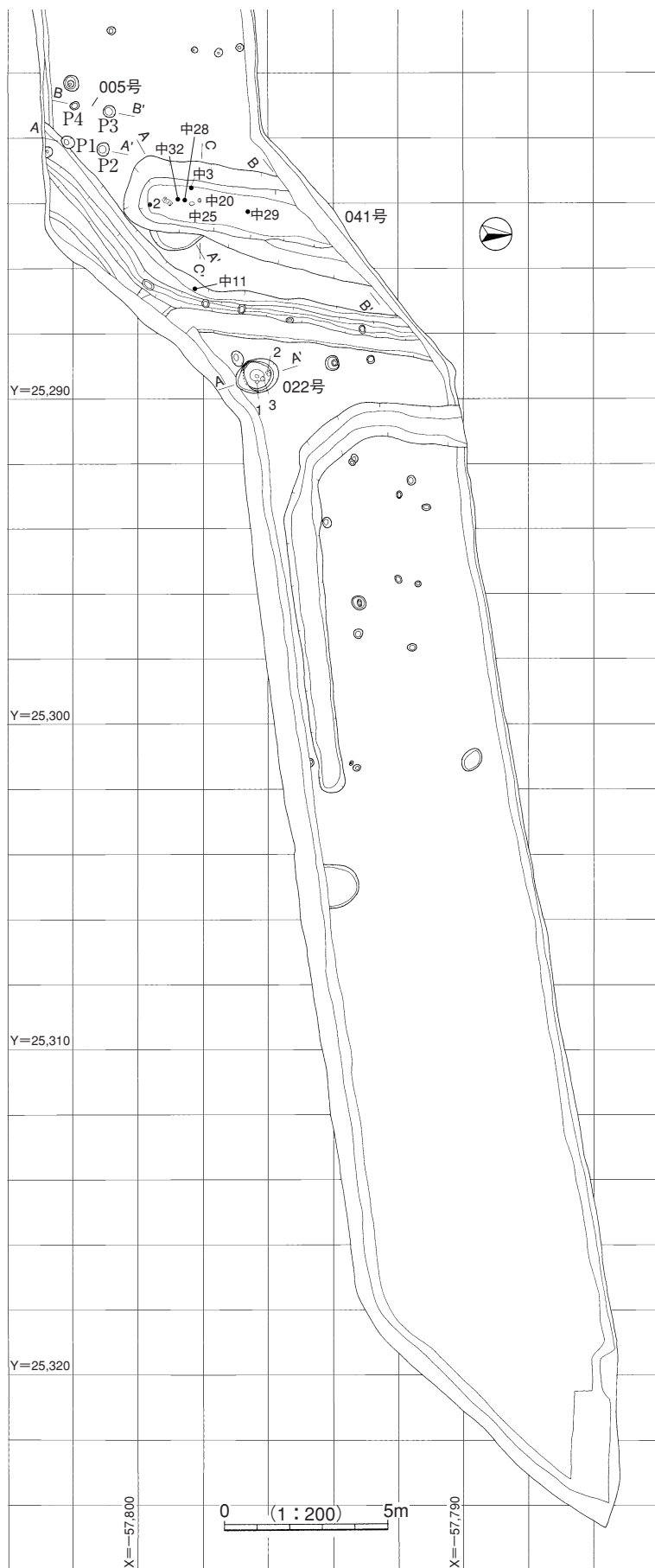
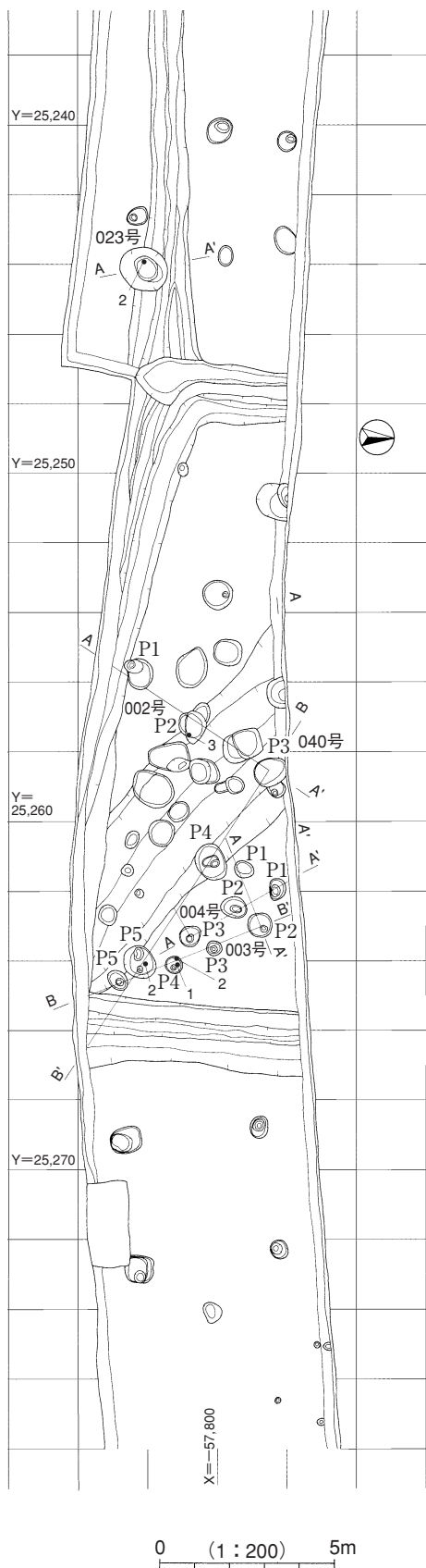
構造 上辺の大きな逆三角形の断面を呈し、覆土は暗黒灰色シルト質粘質土を主体とする。堆積土中に暗灰色砂の間層があり、流水の影響があったことを窺わせる。遺物は覆土中より渥美窯の壺片（中）8、平瓦片4が出土している。一括遺物では、底部糸切り無調整の土師器杯1や須恵器の壺2・甕3、中世遺物としてカワラケ（中）40が出土している。また、動物遺存体として覆土中よりウマの大腿骨片（16）が出土している（第3章―3節 海上地区遺跡群出土のウマ参照）。古相の遺物も出土しているが、1～4は混入と考えられる。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、覆土の状況や中世遺物から12世紀～13世紀前半頃まで遡る可能性があると思われる。

## 一括出土遺物

#### 概要（第98・124～126図）

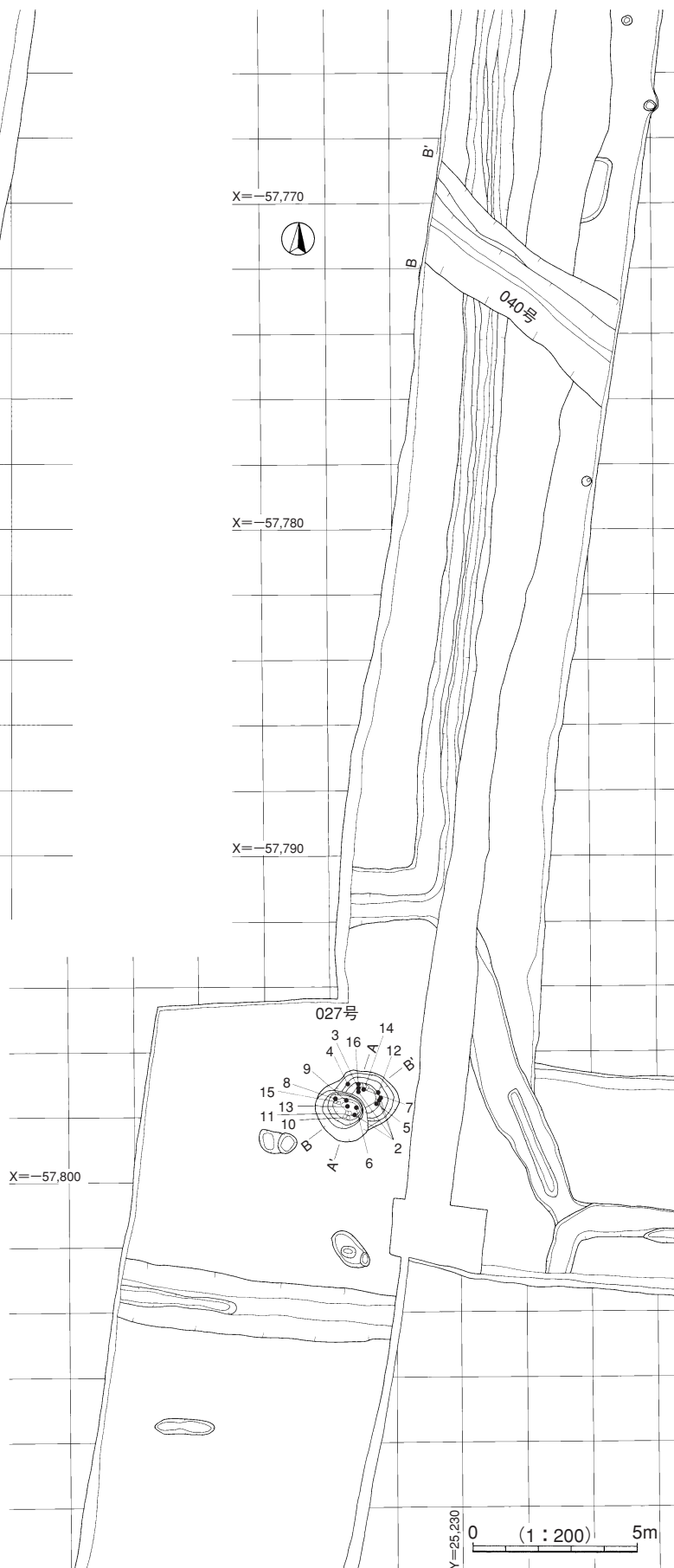
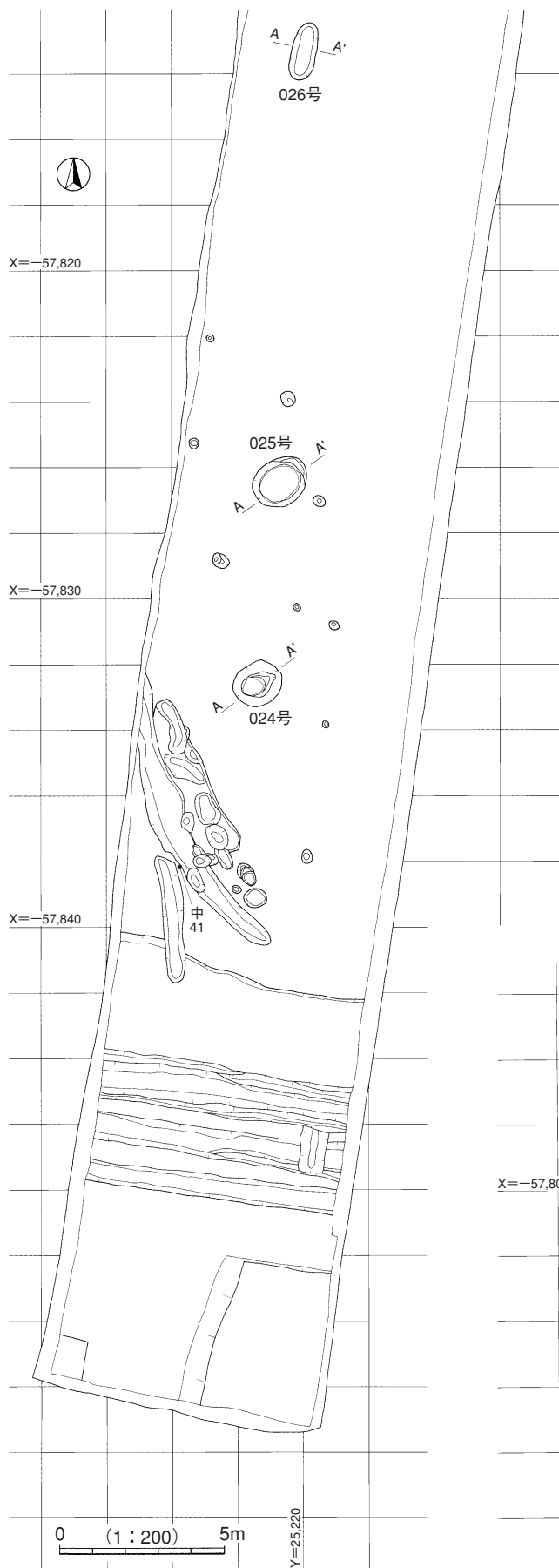
当調査地点では、土師器・須恵器が出土しているものの、瓦の出土は少数である。土師器・須恵器は破片資料が多いが、8世紀～10世紀前半頃まで、幅広く出土している。また、12～13世紀代といった中世前半期の遺物も一定量出土している。古代期もさることながら、中世前半期の遺構の広がりがあることを強く意識させる（中世遺物については、第3章―1節 遺物組成から見た中世の海上地区遺跡群参照）。

一括遺物は、1～11が土師器杯、12～15が甕である。また、16・17は須恵器杯、18・19は蓋、20～22が甕である。21は縦位の平行タタキ目痕を有する。23～25は灰釉陶器の碗及び壺片であろう。また、26・27は丸瓦、28～30は平瓦である。30は斜格子タタキ目を有する。31は鉄釘であろう。

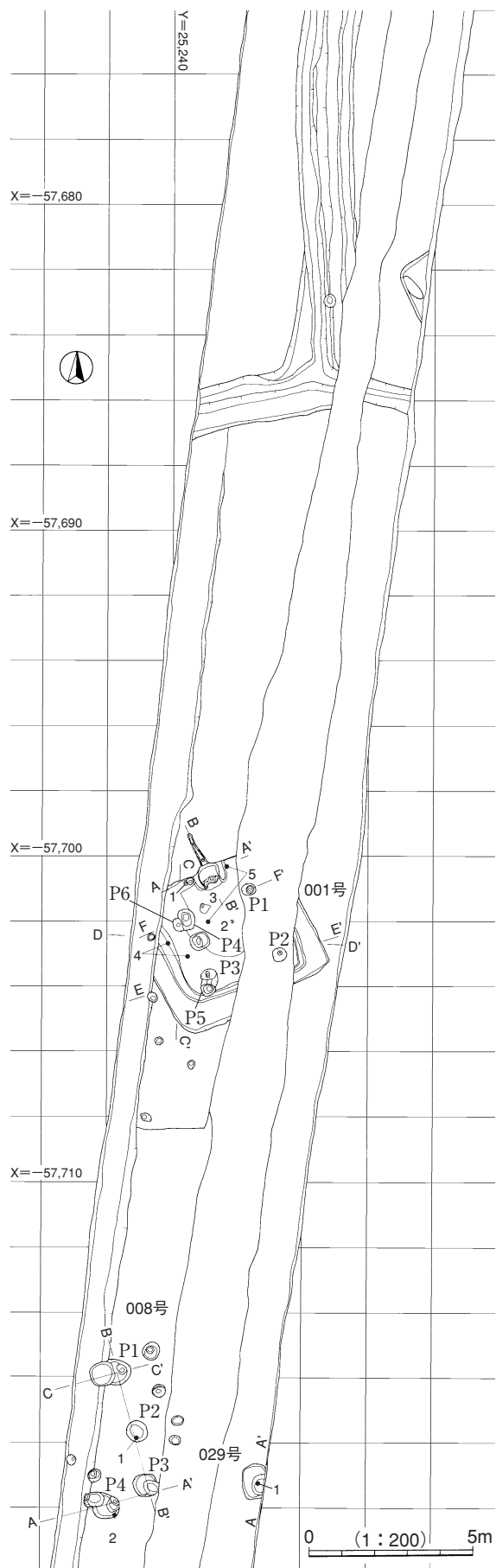
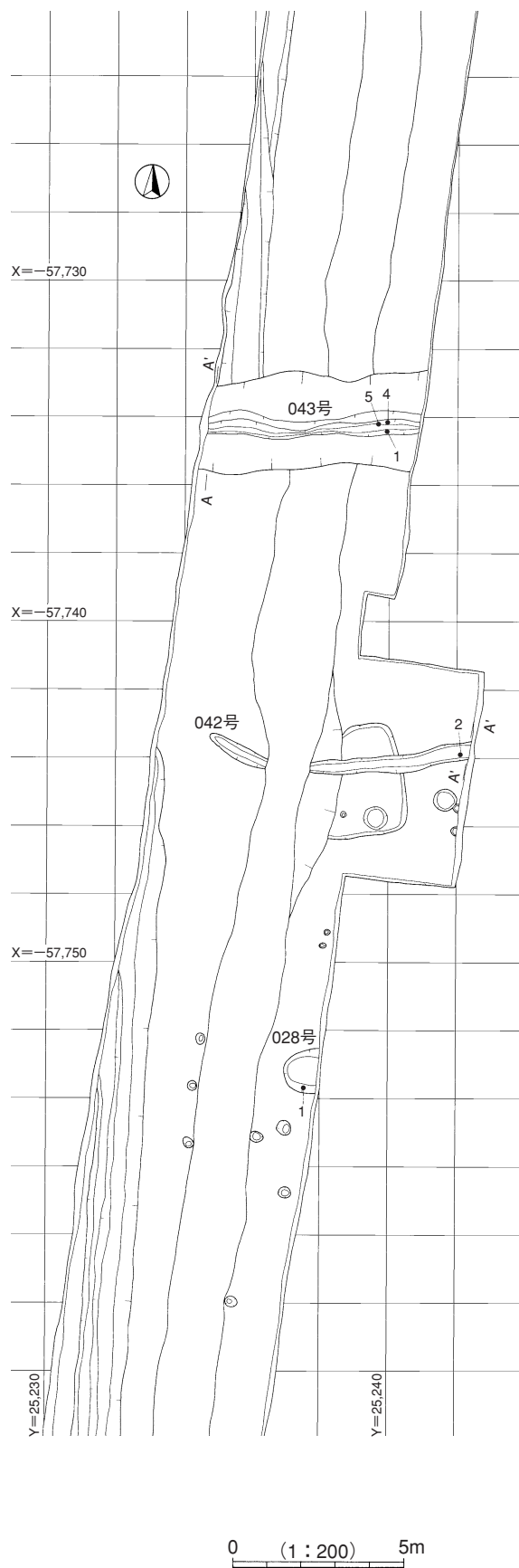


第76図 平面図①

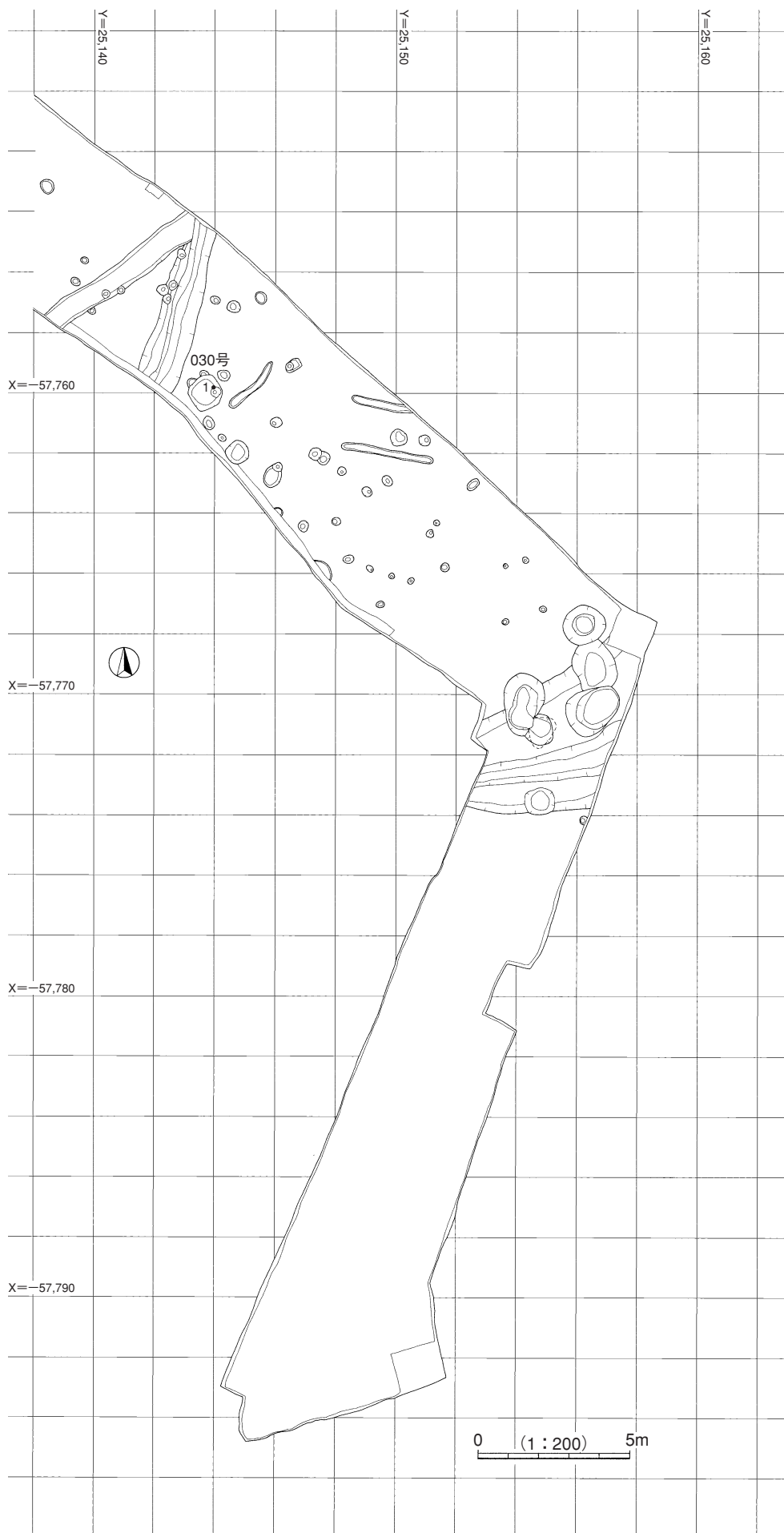




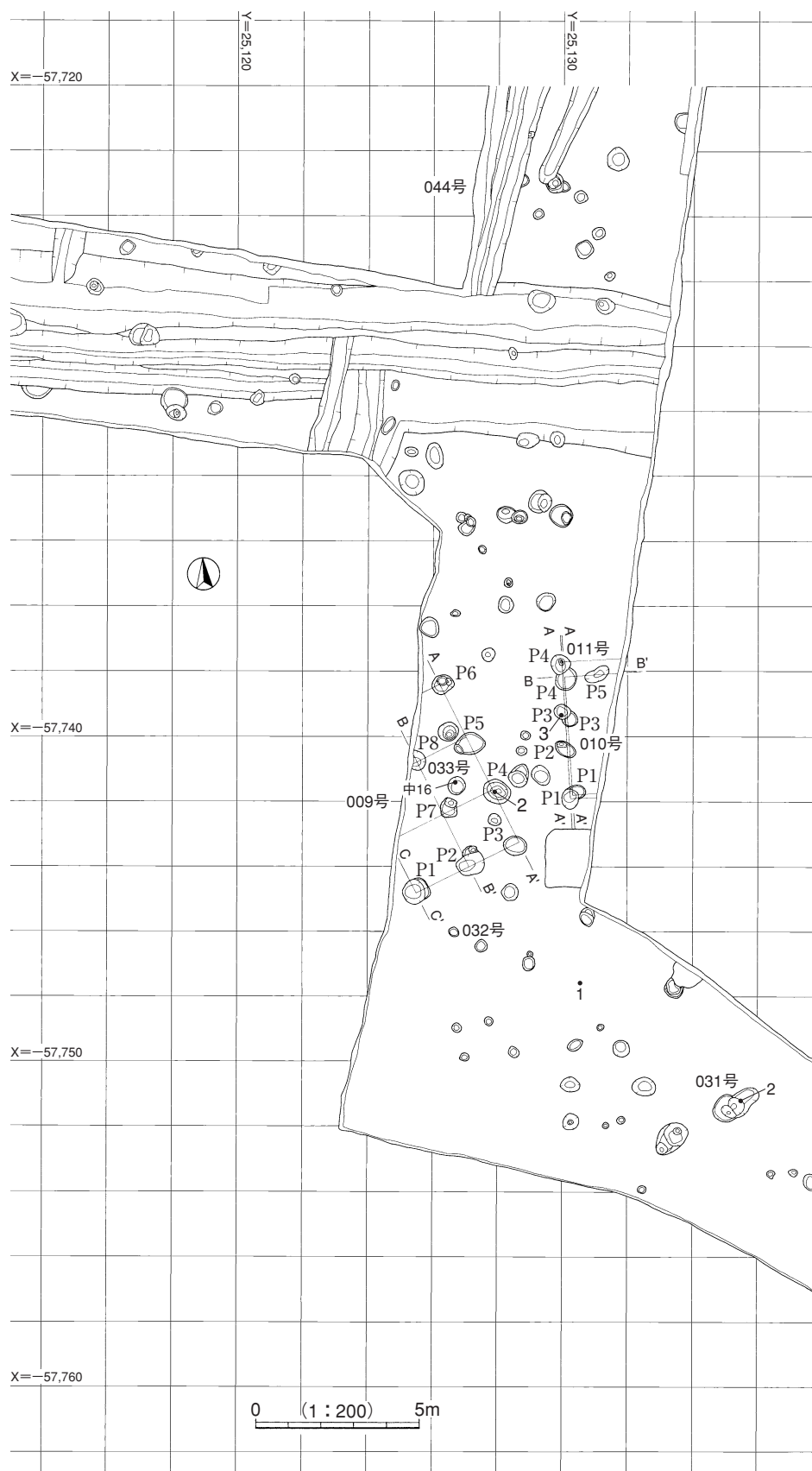
第77図 平面図②



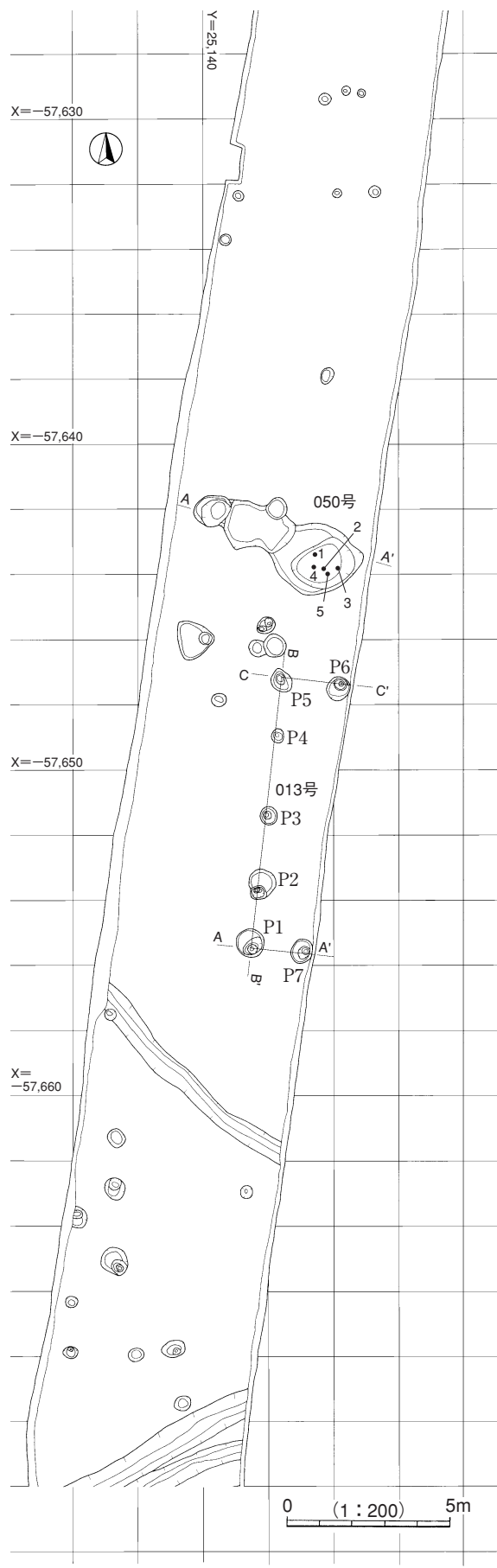
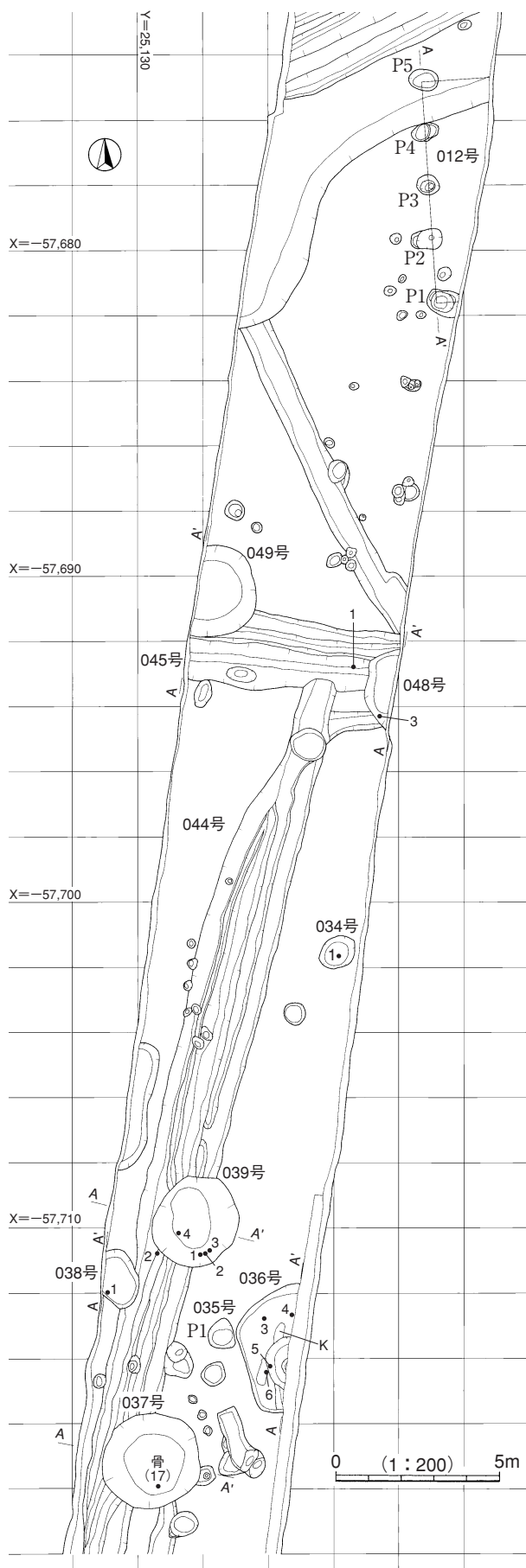
第78図 平面図③



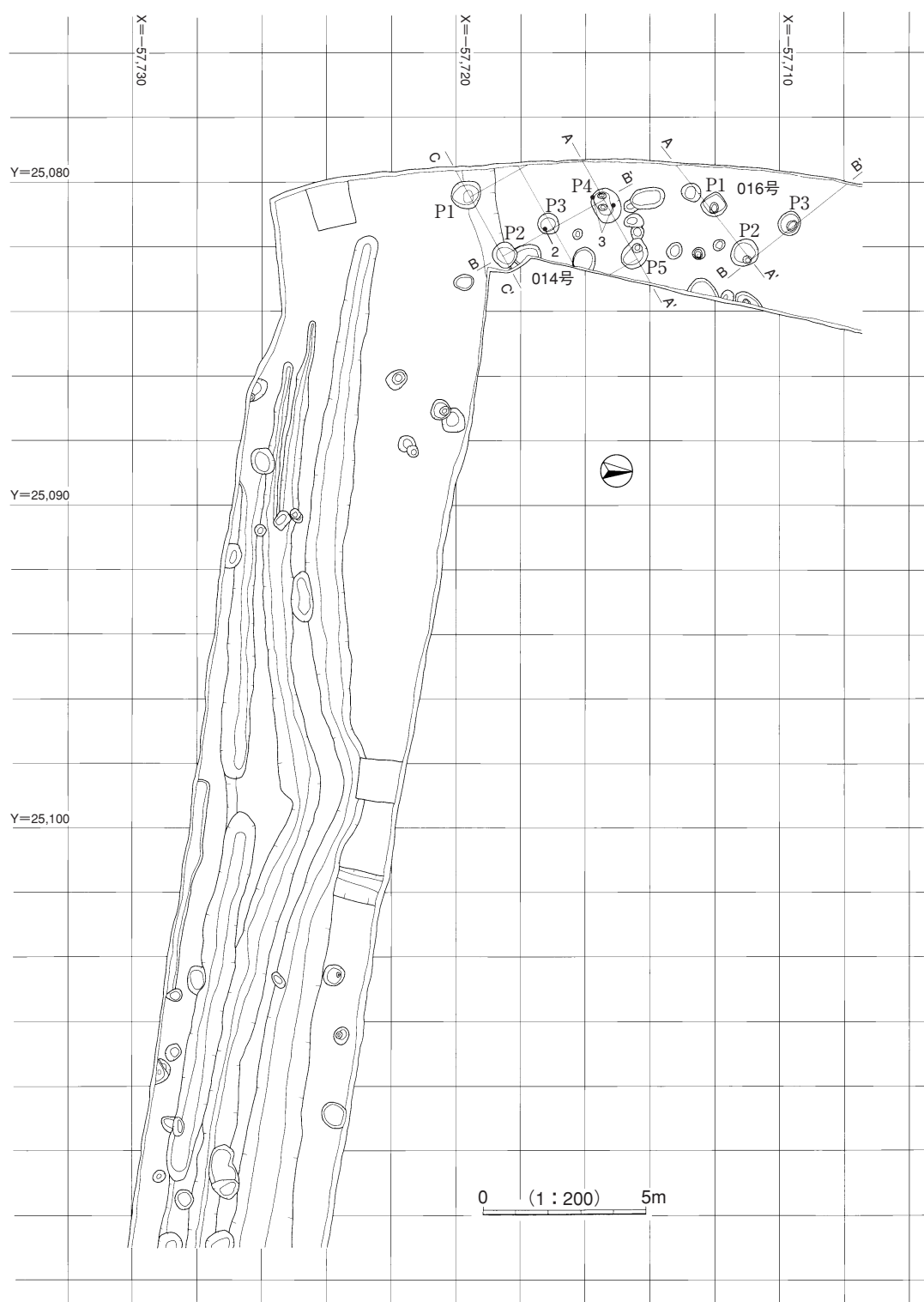
第79図 平面図④



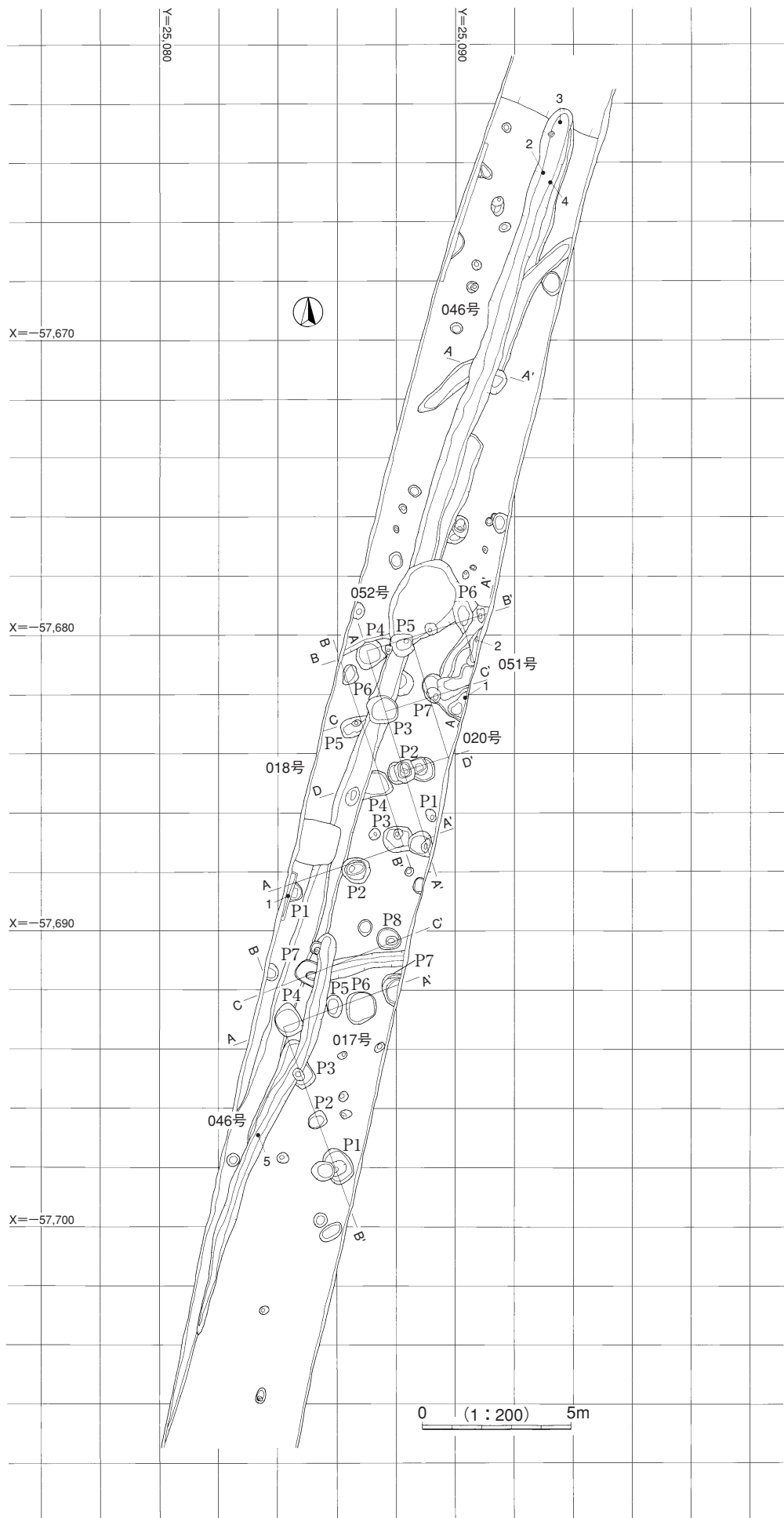
第80図 平面図⑤



第81図 平面図⑥

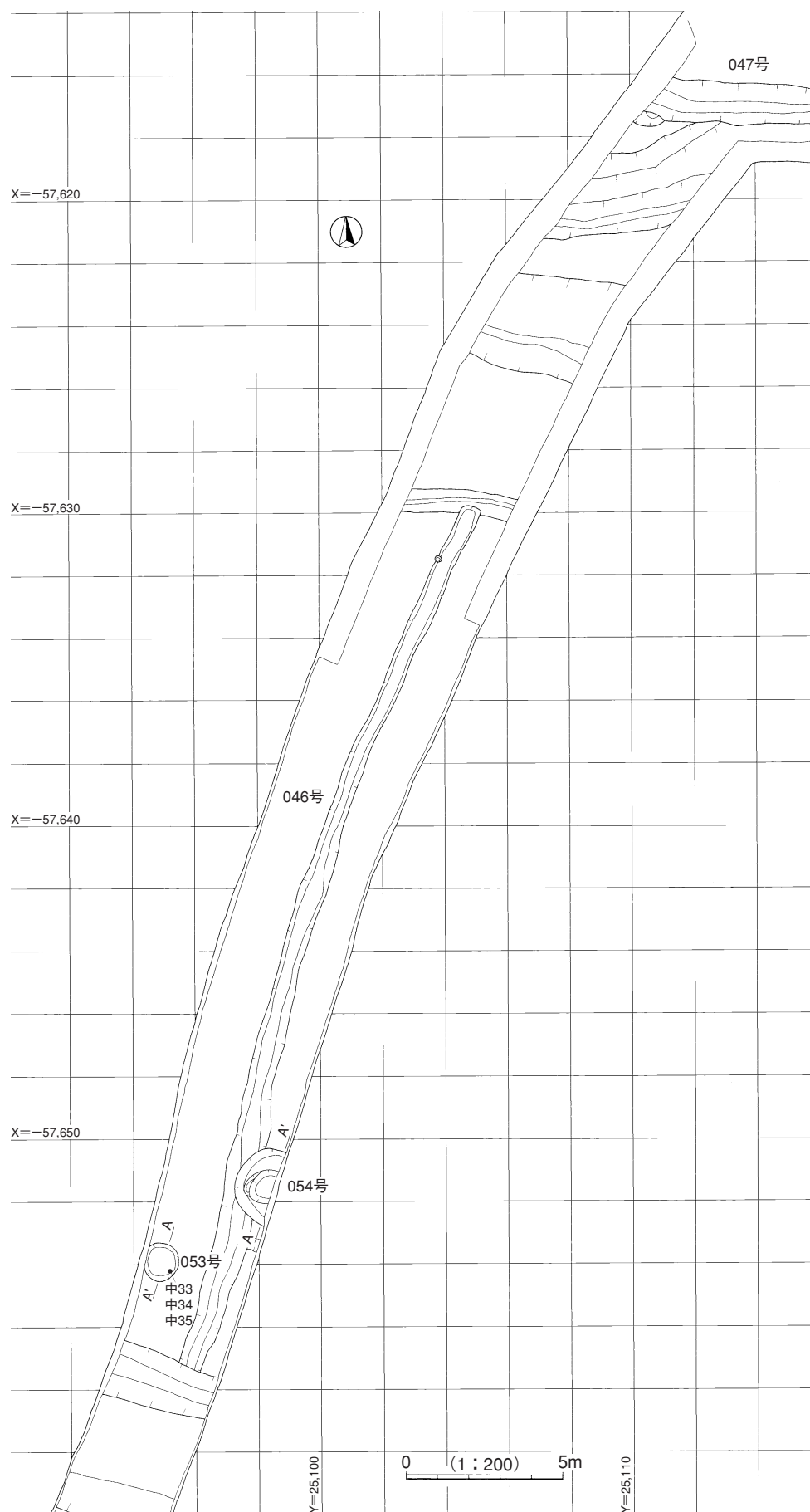


第82図 平面図⑦

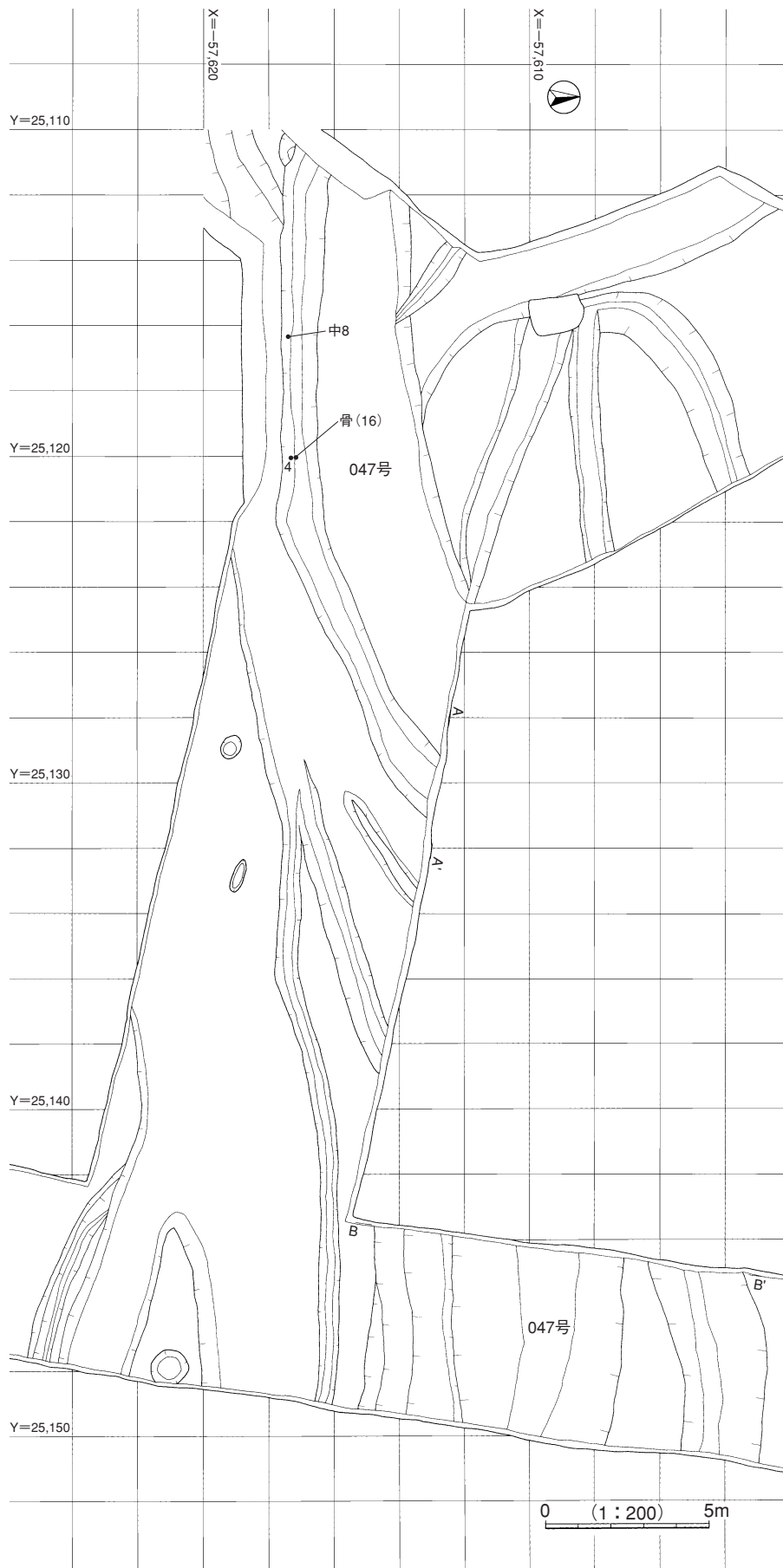


第83図 平面図⑧

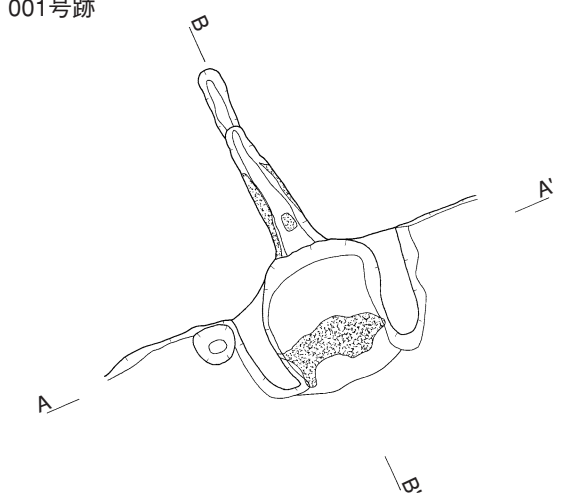




第84図 平面図⑨



第85図 平面図⑩



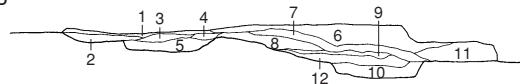
A 9.680



- 1 暗黒色土
- 2 暗黒色土+暗白色粘土粒 (5mm大・微量)
- 3 暗黒灰色粘質土+焼土粒 (5mm大・微量)
- 4 黒灰色粘質土
- 5 黒色粘質土
- 6 白色粘土 (1cm大・均等)+灰色土 (灰色砂含む)
- 7 白色粘土 (5mm大・均等)+黒色土+灰色砂 (少量)
- 8 白色粘土
- 9 灰黒色粘土+焼土粒 (5mm大・少量)

- 10 黒灰色粘土+焼土粒 (1cm大・均等)
- 11 黒色粘質土+焼土ブロック (1.5cm大・少量だが均等)+灰白色粘土ブロック (5mm大・少量)
- 12 焼土+暗黒色土 (少量)
- 13 白灰色粘土+黒灰色粘土 (微量)
- 14 白灰色粘土ブロック (1~2cm大・少量)+黒灰色粘土 (灰色砂含む)
- 15 灰黒色土+焼土粒 (5mm大・少量だが均等)+灰白色粘土ブロック (5mm大・少量)
- 16 黒灰色粘質土+焼土粒 (5mm大・少量)

B 9.680

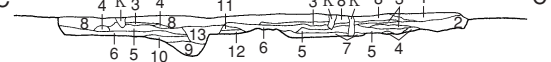


- 1 灰黒色土+焼土ブロック (5mm~1cm大・均等)
- 2 灰黒色土+焼土粒 (5mm大・少量だが均等)
- 3 黒灰色土
- 4 焼土
- 5 黒色土+焼土粒 (5mm~1cm大・均等)
- 6 灰黒色土+焼土ブロック (5mm~1.5cm大・均等)
- 7 焼土(多量)+黒灰色土(少量)+炭化粒 (5mm大・微量)
- 8 黒色土+焼土粒 (5mm~1cm大・均等)

- 9 黒灰色土+焼土ブロック (1~2cm大・均等)+白色粘土+灰色砂ブロック (2cm大・少量)
- 10 黒灰色土+炭化ブロック (1cm~2cm大・多量)+焼土粒 (5mm大・少量)+白灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)
- 11 暗黒灰色粘質土+焼土ブロック (5mm~1cm大・少量)+炭化ブロック (5mm大・微量)
- 12 白灰色粘土+黒灰色粘土 (微量)

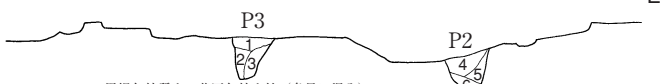
0 (1:40) 2m

C 9.775



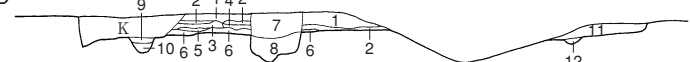
- 1 褐色粘質土
- 2 黒褐色粘質土+黄灰色粘土粒 (少量)
- 3 灰黄色粘土ブロック (マール状に黒褐色土混入)
- 4 灰黄色粘土ブロック
- 5 黒褐色粘質土+灰黄色粘土・褐色土粒 (1~5mm) 大量に混入
- 6 黒褐色粘質土
- 7 黒色粘質土+灰黄色粘土・褐色土粒混入
- 8 暗褐色粘質土+灰黄色粘土ブロック+焼土粒 (少量だが均等)
- 9 黒褐色粘質土 (6より黒味強い)
- 10 黒褐色粘質土+灰黄色粘土
- 11 黒色粘質土
- 12 黒色粘質土 (少量)+灰黄色粘土
- 13 黒色粘質土+灰黄色粘土 (少量だが均等)

E 9.775



- 1 黒褐色粘質土+黄灰色粘土粒 (多量に混入)
- 2 黒色粘質土+黄灰色粘土粒・ブロック (少量混入)
- 3 黄灰色粘土ブロック+黒褐色土 (少量混入)
- 4 黒褐色粘質土+黄灰色粘土ブロック (少量混入)
- 5 黒褐色粘質土+黄灰色粘土ブロック (多量に混入)
- 6 黒色粘質土+黄灰色粘土粒 (均等に混入)

D 9.775



- 1 褐色粘質土+灰黄色粘土ブロック+焼土粒 (少量だが均等)
- 2 灰黄色粘土ブロック
- 3 黒褐色粘質土
- 4 黒褐色粘質土 (3より明るい)
- 5 灰黄色粘土ブロック(マール状に黒褐色土混入)
- 6 黒褐色粘質土+灰黄色粘土・褐色土粒 (1~5mm) 大量に混入
- 7 黒褐色粘質土+焼土粒・褐色土粒混入
- 8 黒褐色粘質土
- 9 黒褐色粘質土+褐色土・黄灰色粘土ブロックが多量混入
- 10 黒褐色粘質土+褐色土・黄灰色粘土ブロックが少量混入
- 11 暗褐色粘質土
- 12 灰黄色粘質土

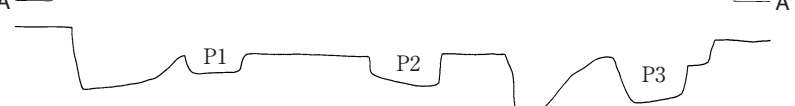
F 9.775



- 1 黒褐色粘質土+灰黄色粘土・焼土粒 (1~10mm・多量)
- 2 黒褐色粘質土+灰黄色粘土・焼土粒 (1~5mm・均等)
- 3 黒褐色粘質土+灰黄色粘土・焼土粒 (1~5mm・少量混入)

002号跡

A 10.000



(SPB-B')

- 1 灰黒色シルト質粘質土
- 2 黒灰色粘質土
- 3 灰黒色シルト質粘質土・やや褐色味がかかる
- 4 黒色粘質土・粘性強く、黒味強い
- 5 灰黄色粘土ブロック (5mm~1cm大・均等)+灰黄色粘質土 (少量) よくしまる
- 6 黒灰色粘質土+黄灰色粘土粒 (5mm大・少量)
- 7 黒灰色粘質土
- 8 黒灰色粘質土+焼土粒 (1mm~5mm大・微量)
- 9 灰黒色粘質土+黄灰色粘土粒 (5mm大・少量だが均等)
- 10 黄灰色粘土粒+黒灰色粘質土 (5mm大・少量)
- 11 黄灰色粘質土+黒灰色粘質土 (5mm大・微量)
- 12 黒色粘質土 (4より明るい)

B 10.000



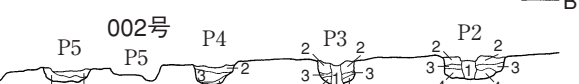
003号跡

A 10.000



- 1 黒色粘質土+白灰色粘土粒 (1mm大・少量)
- 2 黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)

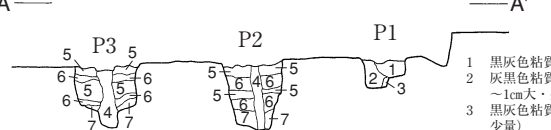
B 10.000



- 1 黒灰色粘質土
- 2 灰黒色粘質土+焼土粒 (1~5mm大・少量だが均等)
- 3 灰黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)
- 4 黒色粘質土+白灰色粘土粒 (1~2cm大・均等) よくしまる
- 5 黒色粘質土+白灰色粘土粒 (1mm大・少量)
- 6 黒灰色粘質土+焼土粒 (1~5mm大・少量)
- 7 白灰色粘土+黒色粘質土 (少量混入)

004号跡

A 10.000



- 1 黒灰色粘質土+焼土粒 (1~5mm大・微量)
- 2 灰黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)
- 3 黒灰色粘質土+黄灰色粘土粒 (5mm大・少量)
- 4 黒色粘質土 (黒味強く、粘性強い)+黄灰色粘土粒 (1~5mm大・微量)
- 5 灰黄色粘質土+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・均等) よくしまる
- 6 黒灰色粘質土
- 7 黄灰色粘土+暗黒色粘質土(少量混入)

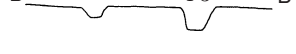
005号跡

A 9.300

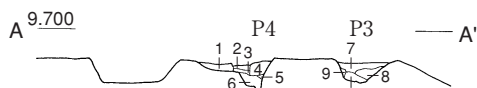


- 1 灰黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm大・少量)
- 2 黒灰色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)+焼土粒 (1~5mm大・微量)
- 3 灰黄色シルト質粘質土+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・均等) よくしまる
- 4 黒灰色粘土+黄灰色粘土粒 (1~5mm大・少量)
- 5 灰黄色シルト質粘質土+黄灰色粘土(多量混入)
- 6 黒灰色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)
- 7 灰黒色粘質土+灰黄色粘土ブロック (1~2cm大・少量だが均等)
- 8 黒灰色粘質土+褐色砂 (少量混入)
- 9 灰黄色粘質土+褐色砂 (少量混入)
- 10 黄灰色粘土+黒灰色粘土 (少量混入)

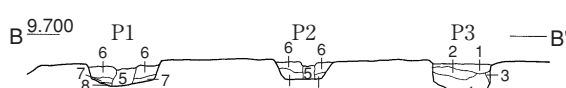
B 9.300



## 008号跡

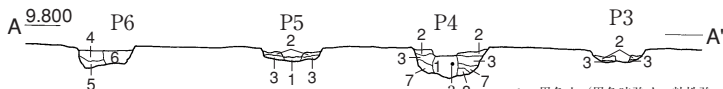
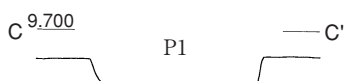


- 1 白灰色粘土ブロック (1~2cm大・多量)+黒灰色粘質土 (少量)
- 2 黒色粘質土+白灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量) 黒色味強く、粘性強い
- 3 黒色粘質土+白灰色粘土ブロック (均等)
- 4 黒褐色粘質土
- 5 黒色粘質土
- 6 黒色粘質土+黄褐色粘土ブロック (1~2cm大・均等) しまりゆるい
- 7 黒色粘質土
- 8 灰黄色粘土ブロック (1~2cm大・多量)+暗灰色粘土 (少量) しまりややゆるい
- 9 黄灰色粘土ブロック
- 10 灰黒色粘質土

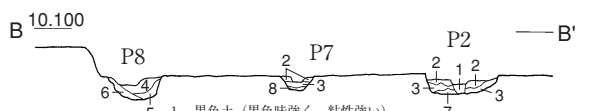


- 1 黒色粘質土
- 2 灰黄色粘土ブロック (1~2cm大・多量)+灰粘土 (少量) しまりややゆるい
- 3 黄灰色粘土ブロック
- 4 灰黒色粘質土
- 5 黒色粘質土+白灰色粘土粒 (1mm~5mm大・微量) 黒色味強く、粘性強い
- 6 黒灰色粘質土+白灰色粘土ブロック (1cm~2cm大・均等)
- 7 白灰色粘土ブロック (1~2cm大・多量)+黒灰色粘質土 (少量)
- 8 灰黄色粘土 (基盤層)

## 009号跡

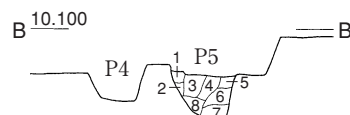
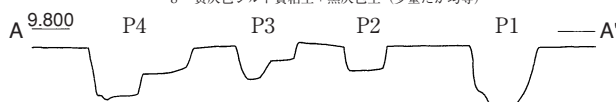


- 1 黒色土 (黒色味強く、粘性強い)
- 2 黒灰色土
- 3 黒灰色土 (少量)+黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~1cm大・均等)
- 4 黒灰色土 しまりゆるい
- 5 黒色土
- 6 灰黒色土 しまりゆるい
- 7 黒色土+黄白色粘土ブロック (1~1.5cm大・少量)
- 8 黒灰色粘質土



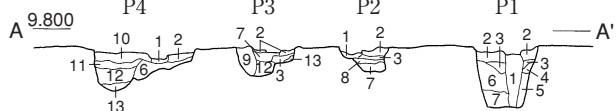
- 1 黒色土 (黒色味強く、粘性強い)
- 2 黒灰色土
- 3 黒灰色土 (少量)+黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~1cm大・均等)
- 4 黒灰色土 しまりゆるい
- 5 黒色土
- 6 灰黒色土 しまりゆるい
- 7 黄灰色シルト質粘土+黒灰色土 (微量)
- 8 黄灰色シルト質粘土+黒灰色土 (少量だが均等)

## 010号跡



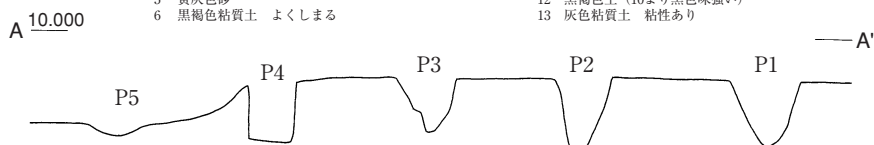
- 1 黒色土+褐灰色粘土粒 (5mm大・微量) しまりゆるい
- 2 灰黒色粘土+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 3 黒灰色粘土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)

## 011号跡

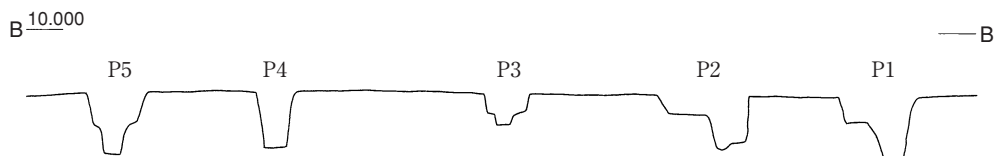


- 1 黒色粘質土+黄灰色シルト質粘土ブロック (5mm~1cm大・少量) 粘性あり
- 2 黒色土+黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 3 黒褐色土+炭化粒 (5mm大・少量)
- 4 黒灰色土
- 5 黄灰色砂
- 6 黒褐色粘質土 よくしまる
- 7 黒灰色土+灰黄色粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 8 黒色土
- 9 黒褐色粘質土+焼土粒 (1~5mm大・少量) よくしまる
- 10 黒褐色土+黄灰色粘土粒 (1~5mm大・均等) よくしまる
- 11 暗褐色土
- 12 黒褐色土 (10より黒色味強い)
- 13 灰色粘質土 粘性あり

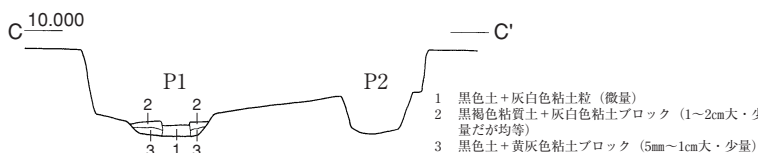
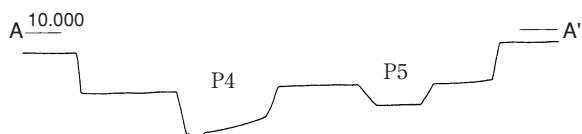
## 012号跡



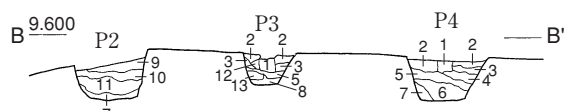
## 013号跡



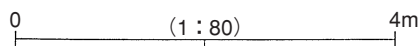
## 014号跡



- 1 黒色土+灰白色粘土粒 (微量)
- 2 黒褐色粘質土+灰白色粘土ブロック (1~2cm大・少量だが均等)
- 3 黒色土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)

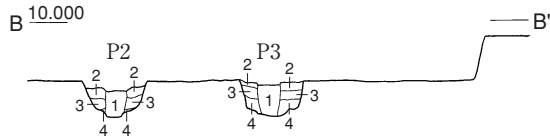
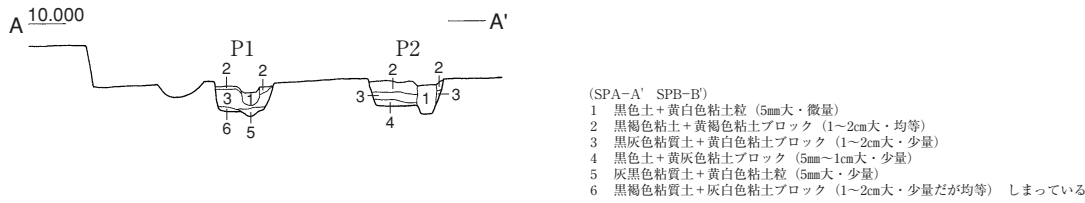


- 1 黒色土+炭化粒 (5mm大・微量)
- 2 黒褐色土+灰白色粘土粒 (5mm大・微量)
- 3 黒色粘土+焼土粒 (5mm大・微量)
- 4 黒褐色土
- 5 黒色土+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 6 黒色土
- 7 黄灰色粘土
- 8 白灰色粘土 (多量)+黒色土 (少量混入)
- 9 灰黒色シルト質粘土 しまりゆるい
- 10 黒褐色土+灰白色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・少量だが均等) しまりゆるい
- 11 黒色粘質土+灰白色シルト質粘土ブロック (2~5cm大・均等)
- 12 黒色土 (黒色味強い)
- 13 黒灰色粘質土

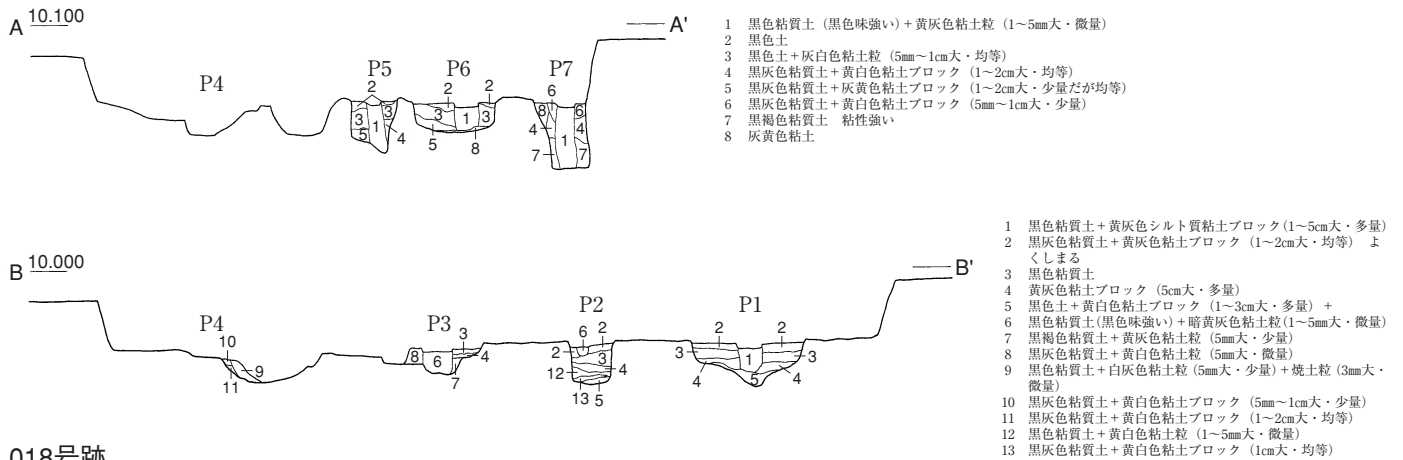


第87図 断面図②

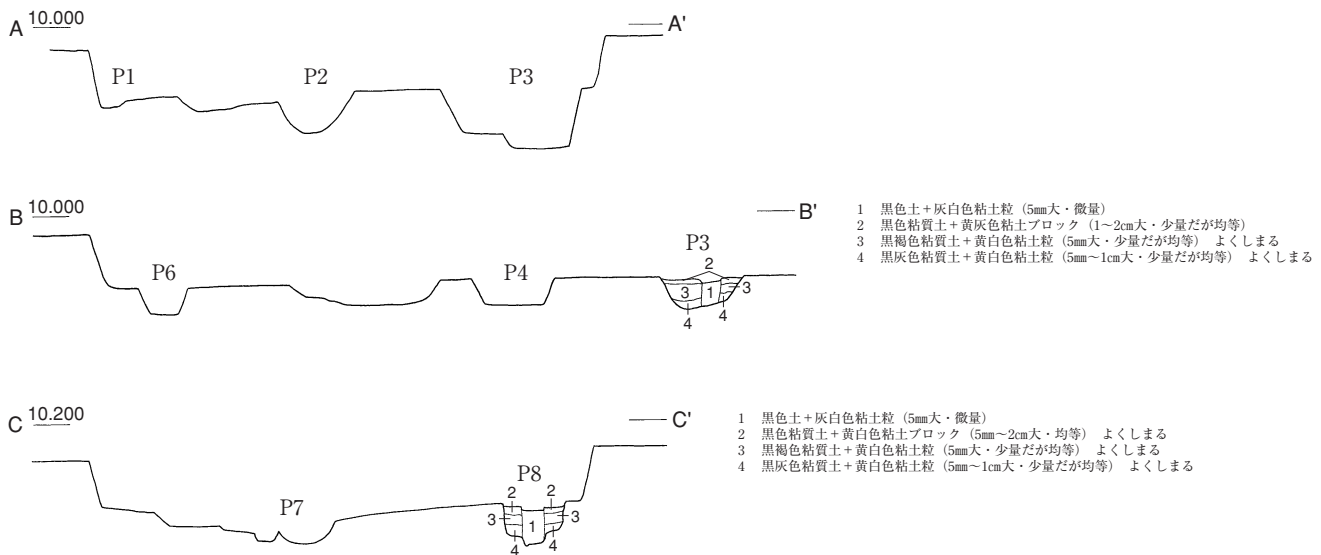
## 016号跡



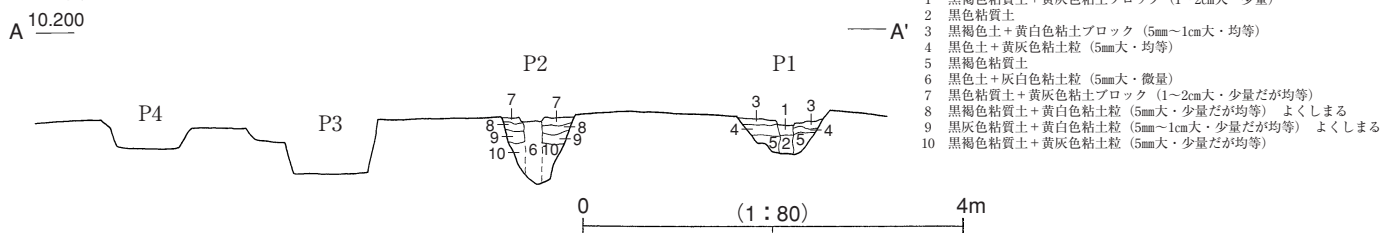
## 017号跡



## 018号跡



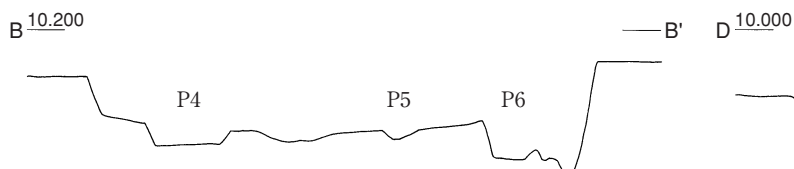
## 020号跡



第88図 断面図③

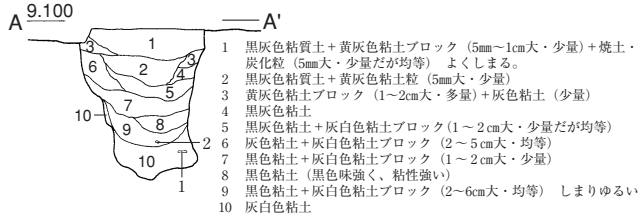
## 020号跡

B 10.200



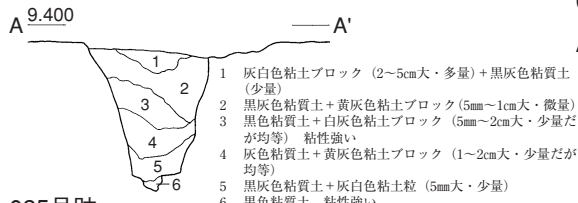
## 022号跡

A 9.100



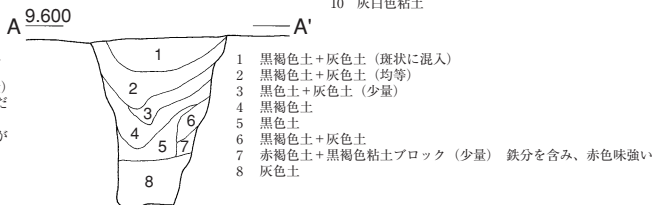
## 023号跡

A 9.400



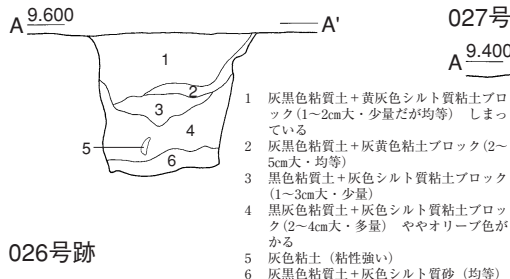
## 024号跡

A 9.600



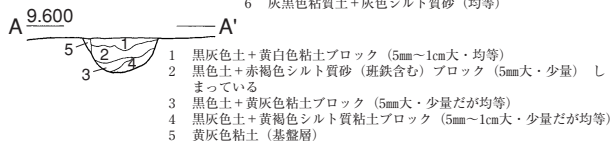
## 025号跡

A 9.600



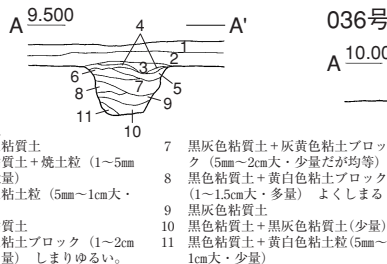
## 026号跡

A 9.600



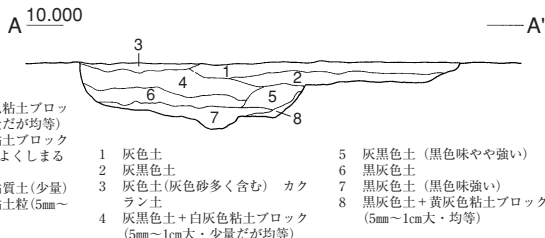
## 029号跡

A 9.500



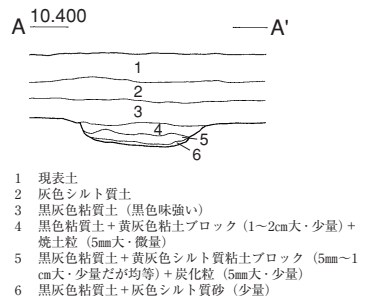
## 036号跡

A 10.000



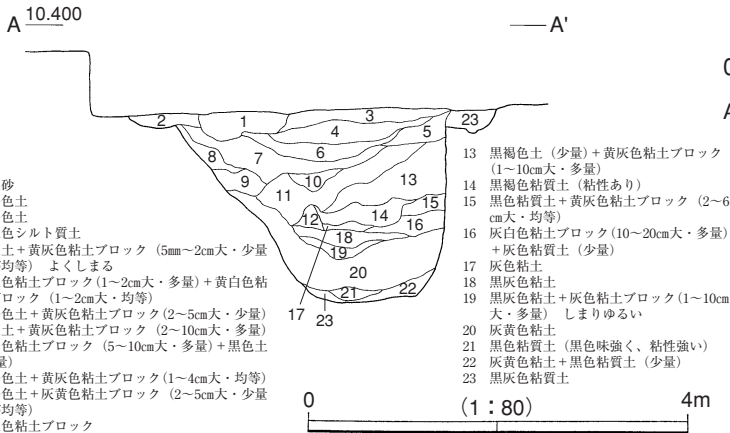
## 038号跡

A 10.400



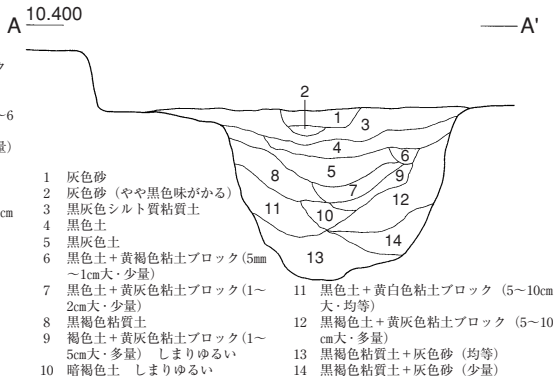
## 037号跡

A 10.400



## 039号跡

A 10.400



第89図 断面図④



## 040号跡

A 10.000

- 1 黒灰色シルト質粘質土
- 2 灰色土
- 3 灰黒色土
- 4 黒灰色土
- 5 黒色土
- 6 黒色土 (5より黒色味強い)
- 7 黄灰色シルト質粘土
- 8 黒灰色土+灰色砂 (均等)
- 9 黒色粘質土 (粘性強い)
- 10 灰黒色土 (灰色味強い)+黄灰色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・少量だが均等)

## 041号跡

A 9.300

- 1 灰黒色砂質土
- 2 灰黒色砂質土+灰色粘土 (5mm~1cm大・少量)+焼土 (1~5mm大・少量)+炭化粒 (5mm大・少量)
- 3 黒灰色粘質土+焼土粒 (5mm~1cm大・少量だが均等)+炭化粒 (1cm大・少量だが均等)
- 4 灰黄色粘土ブロック (1~2cm大・均等)+黒灰色粘土 (少量)
- 5 黒褐色粘質土 (黒色味強く、粘性強い)+灰白色粘土ブロック (5mm~2cm大・微量)
- 6 黒褐色粘質土+灰黄色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)
- 7 灰色粘質土 (少量だが均等)+黄灰色シルト質粘土ブロック (多量)

## 046号跡

A 9.600

- 1 黒灰色粘質土+灰色砂 (少量)
- 2 黒灰色シルト質粘質土+焼土粒・炭化粒 (1~3mm大・少量だが均等)
- 3 灰黒色シルト質粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量だが均等)
- 4 黒色シルト質粘土+黄灰色粘土ブロック (5mm~2cm大・均等) しまっている
- 5 灰黒色シルト質粘土+焼土粒 (5mm大・微量)
- 6 灰白色シルト質粘土

## 048号跡

A 10.400

- 1 現表土
- 2 灰黒色シルト質粘質土
- 3 黒色シルト質粘質土
- 4 黒色粘質土+灰色砂 (少量)
- 5 黒灰色粘質土+灰色砂 (均等)
- 6 黒褐色粘質土+焼土粒 (5mm大・微量)
- 7 黒褐色粘質土 (少量)+黄白色粘土ブロック (2~5cm大・均等)
- 8 黒褐色粘質土+灰黄色シルト質粘土ブロック (1~2cm大・少量だが均等)
- 9 黒褐色粘土+灰白色砂 (少量だが斑状に散る)
- 10 黒色粘質土 (泥炭含む) しまりゆい
- 11 灰黄色砂+黄灰色砂質シルト (均等)
- 12 黒褐色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5~6cm大・少量)
- 13 黒褐色粘質土+黄白色粘土粒 (5mm~1cm大・均等) よくしまる
- 14 黒褐色粘質土
- 15 黒褐色粘質土+灰色砂 (5cm大・少量)
- 16 黒褐色粘質土+青灰色シルト質砂 (5~6cm大・少量)
- 17 黒色粘質土 (泥炭少量混入)+青灰色砂 (多量)
- 18 黒褐色粘質土+黄灰色粘土ブロック (1~10cm大・均等)
- 19 黒褐色粘質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)

## 045~049号跡

A 10.400

- 1 現表土
- 2 灰黒色シルト質粘質土
- 3 黒色シルト質粘質土
- 4 黒色粘質土+灰色砂 (少量だが均等) やや褐色味かる
- 5 黒色粘質土+黄灰色シルト質粘土ブロック (1~3cm大・少量だが均等)
- 6 灰黒色シルト質粘質土
- 7 灰黒色粘質土
- 8 褐色砂質土
- 9 褐色土
- 10 灰色砂質土
- 11 灰黒色土
- 12 混貝土層 黒色土+キサゴ破砕貝
- 13 灰色土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・均等) しまっている
- 14 黒灰色砂質土
- 15 混土貝層 キサゴ破砕貝+黒色土
- 16 黒灰色土+黄白色粘土ブロック (1~2cm大・少量だが均等)
- 17 灰色砂質土+黄灰色粘土ブロック (2~3cm大・均等) しまりややゆるい
- 18 黄灰色粘土ブロック
- 19 黄白色粘土ブロック (5cm大・多量)+灰色土 (少量)
- 20 灰黒色砂質土
- 21 黒灰色土+黄灰色粘土ブロック (3cm大・少量)
- 22 灰色砂質土+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・少量)
- 23 黄褐色シルト質粘土
- 24 灰色シルト質砂質土
- 25 黄灰色粘土ブロック
- 26 黒褐色粘質土
- 27 黒色粘質土+黄灰色シルト質粘土ブロック (1~3cm大・少量だが均等)
- 28 黒灰色土+黄褐色シルト質粘土ブロック (1~4cm大・少量)
- 29 青灰色砂

## 053号跡

A 9.400

0 1:80 4m

第90図 断面図⑤

## 042号跡

A 9.900

- 1 現表土
- 2 黒褐色シルト粘質土
- 3 黒灰色粘質土
- 4 黒灰色粘質土+褐色粘質土 (少量)

## 050号跡

A 10.000

- 1 現表土
- 2 灰黒色シルト質粘質土
- 3 灰黒色粘質土+灰色砂 (均等)
- 4 黒色粘質土 (泥炭含む) 黒色味強く、粘性あり
- 5 灰黒色シルト質土
- 6 灰黒色シルト質土
- 7 黒灰色シルト質粘質土+灰白色シルト質粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)
- 8 灰黒色粘質土
- 9 灰黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (1~5cm大・均等)

## 051号跡

A 10.200

- 1 現表土
- 2 灰黒色シルト質粘質土
- 3 灰黒色シルト質粘質土+黄褐色粘土ブロック (5mm大・微量)
- 4 黒色粘質土
- 5 黒褐色シルト質土+黄灰色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)+灰色砂 (少量だが均等) しまっている
- 6 黒褐色粘質土+灰白色シルト質粘土ブロック (1~3cm大・均等)
- 7 灰白色シルト質粘土
- 8 灰黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (2~3cm大・均等)
- 9 灰黒色粘質土+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・少量)
- 10 灰黒色粘質土

## 054号跡

A 9.500

- 1 灰黒色粘土+焼土粒 (微量)
- 2 灰黒色粘土+黄灰色粘土ブロック (5cm大・均等) よくしまる
- 3 灰黒色シルト質粘土
- 4 黒色粘土+灰色砂 (少量)
- 5 黒褐色粘土
- 6 黄白色粘土ブロック
- 7 灰黒色粘土
- 8 黒色粘土+黄灰色砂ブロック (5~10cm大・多量)

B 10.100

- 1 現表土
- 2 黄灰色砂質土
- 3 黄灰色砂質土+灰白色粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 4 黒色粘質土+灰白色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)
- 5 黒色粘質土+灰色砂 (少量) よくしまる
- 6 黒色粘質土+灰色砂 (少量だが均等)
- 7 黒色粘質土 (黒色味強い)
- 8 灰黒色粘質土+褐色粘質土 (少量)
- 9 黒色粘質土 (黒色味やや強い)+褐色粘質土 (微量) 粘性あり
- 10 黒褐色土+灰白色粘土ブロック (5mm大・少量だが均等)
- 11 灰白色粘土 (基盤層)

B 9.300

- 1 灰色砂質土
- 2 灰黒色砂質土
- 3 灰黒色砂質土+灰色粘土 (5mm~1cm大・少量)+焼土 (1~5mm大・少量)+炭化粒 (5mm大・少量)
- 4 灰黄色粘土ブロック (1~2cm大・均等)+黒灰色粘土 (少量)
- 5 黒褐色粘質土 (黒色味強く、粘性強い)+灰白色粘土ブロック (5mm~2cm大・微量)
- 6 黒色粘質土 (黒色味強く、粘性強い)
- 7 黒褐色粘質土+灰黄色粘土ブロック (5mm~1cm大・少量)

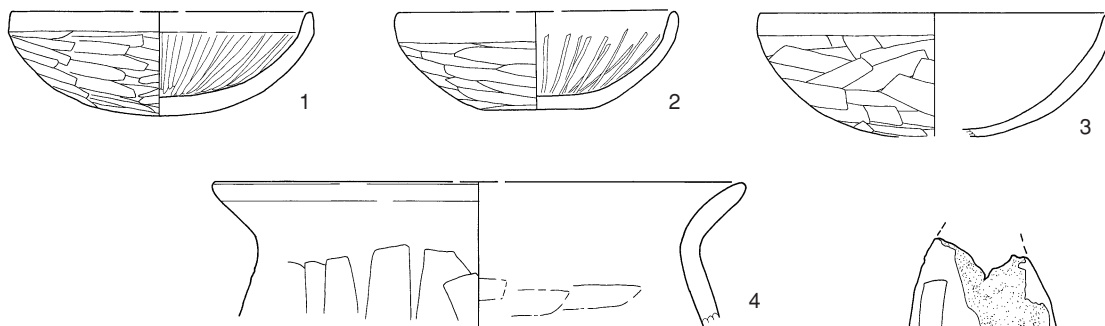
## 043号跡

A 9.600

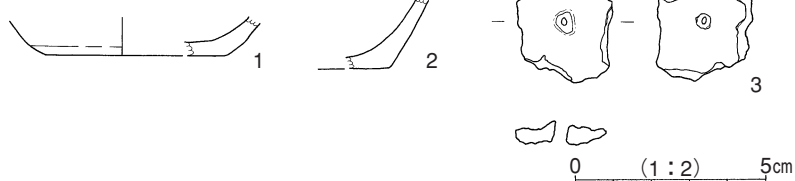
- 1 現表土
- 2 灰色砂質土
- 3 灰黒色粘質土+灰色砂 (均等)
- 4 灰黒色砂質土
- 5 黒色土
- 6 灰黒色砂質土
- 7 灰色砂+黄灰色粘土ブロック (1~2cm大・均等)
- 8 黒色粘質土
- 9 灰色砂質土+灰白色粘土ブロック (1~2cm大・多量)
- 10 灰色砂



001号跡



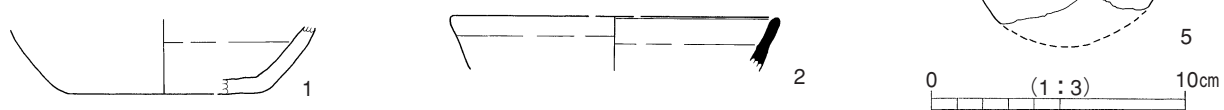
002号跡



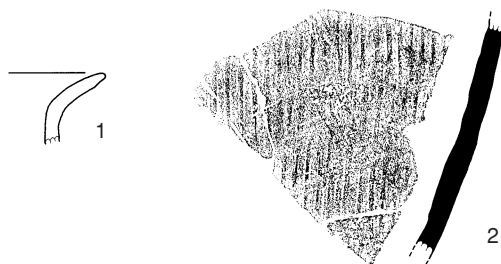
003号跡



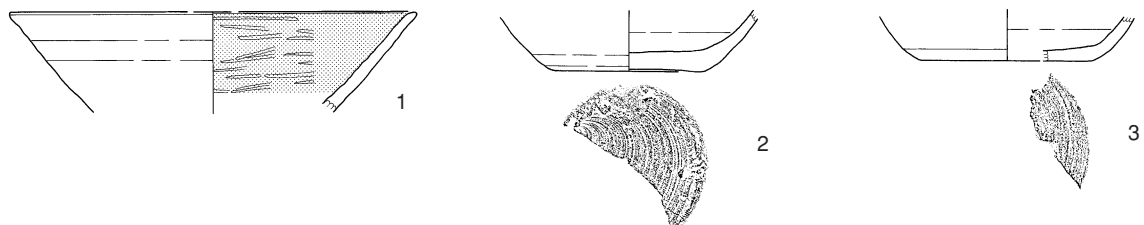
004号跡



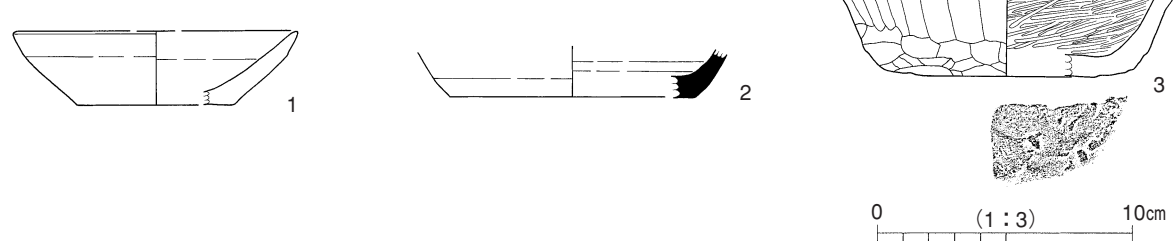
008号跡



009号跡

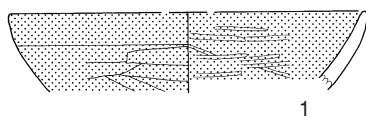


011号跡



第91図 出土遺物①

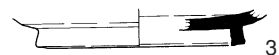
014号跡



1



2

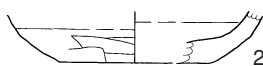


3

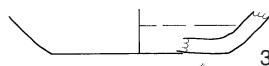
017号跡



1



2



3



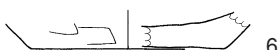
4



5



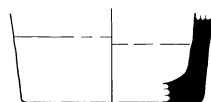
7



6



8



9



10



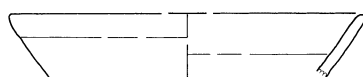
11

018号跡

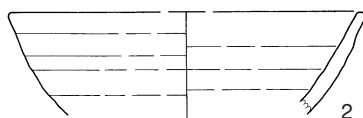


1

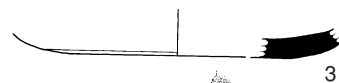
020号跡



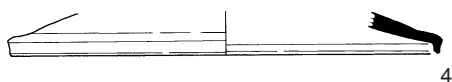
1



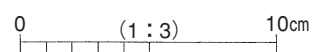
2



3



4

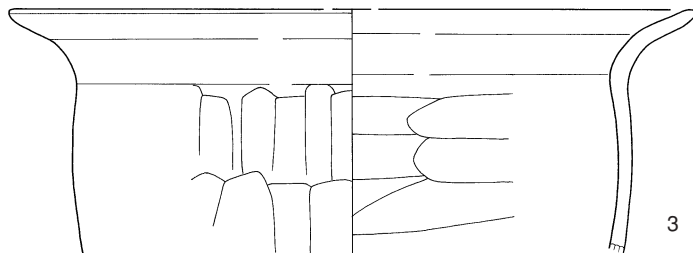
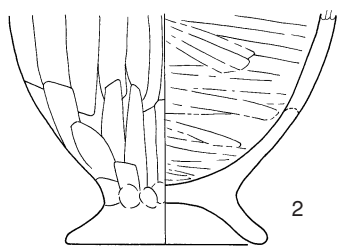
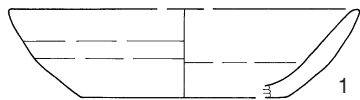


(1:3)

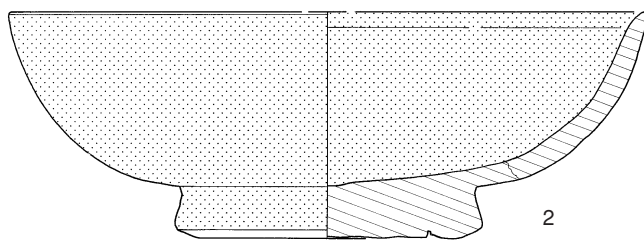
10cm

第92図 出土遺物②

022号跡

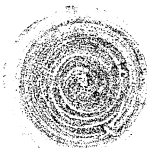
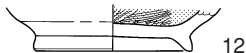
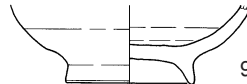
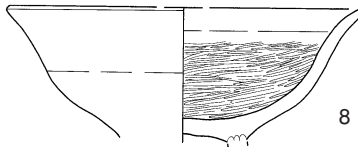
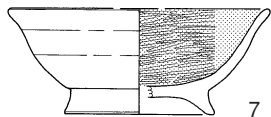
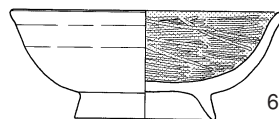
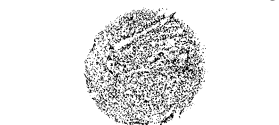
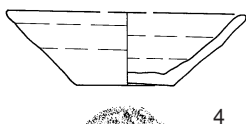
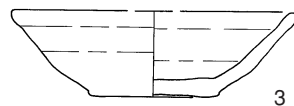
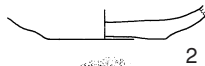
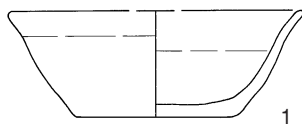


023号跡



0 (1:2) 5cm

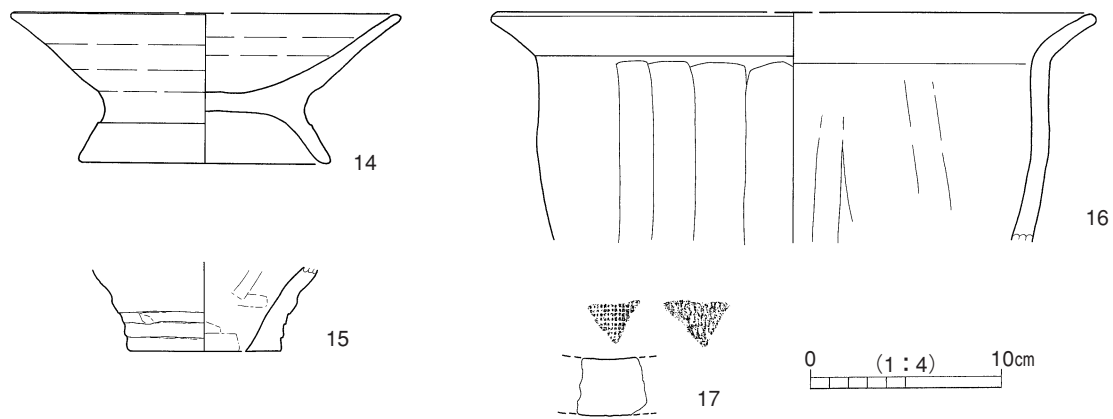
027号跡



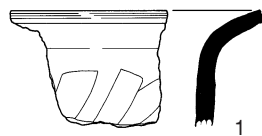
0 (1:3) 10cm

第93図 出土遺物③

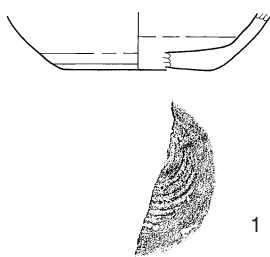
027号跡



028号跡



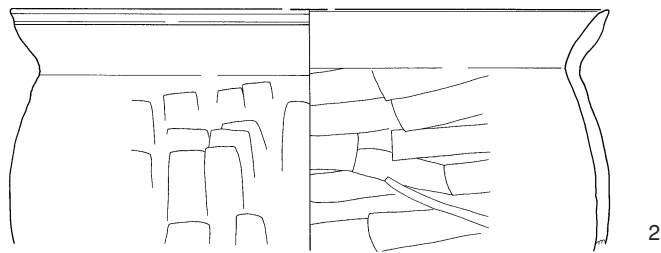
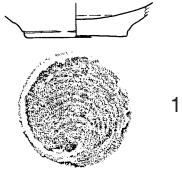
029号跡



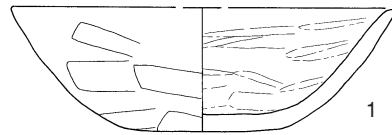
030号跡



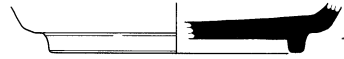
031号跡



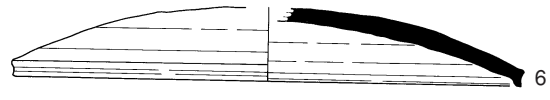
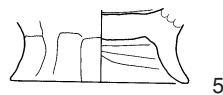
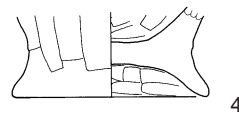
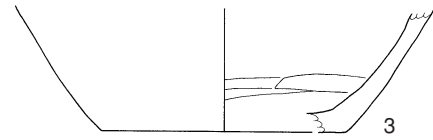
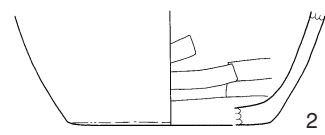
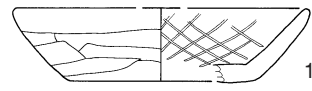
034号跡



035号跡

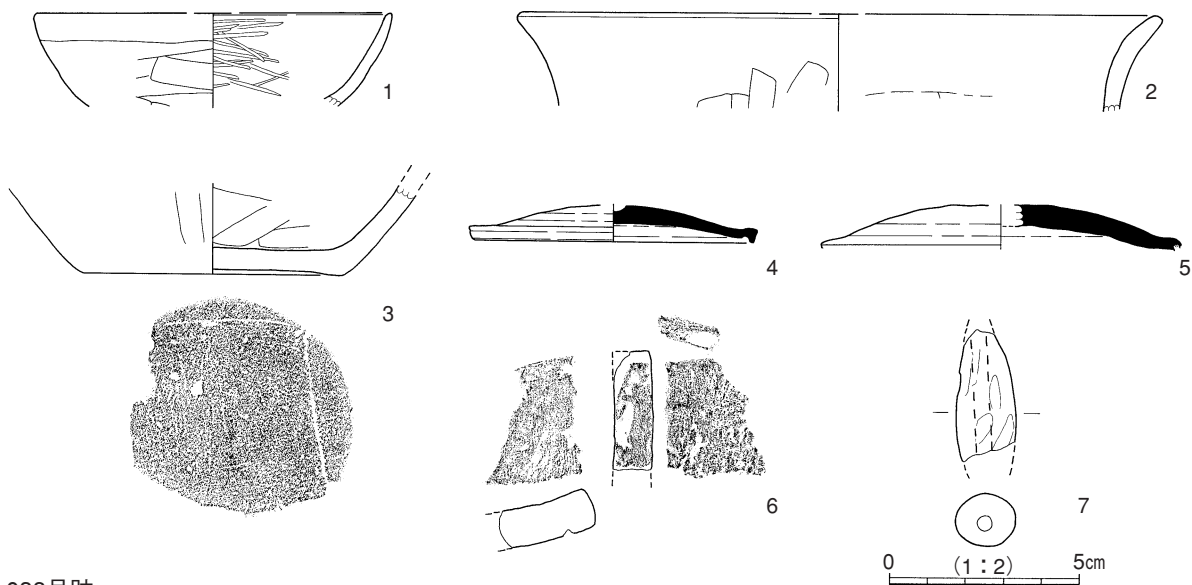


036号跡

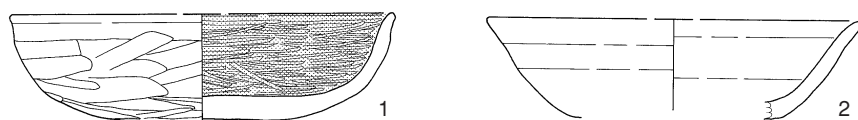


第94図 出土遺物④

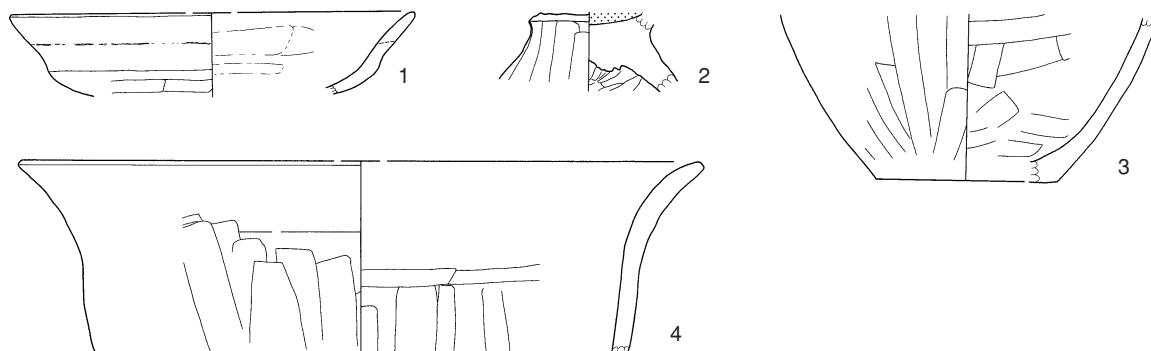
037号跡



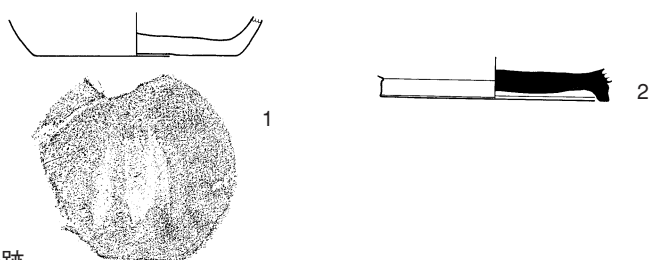
038号跡



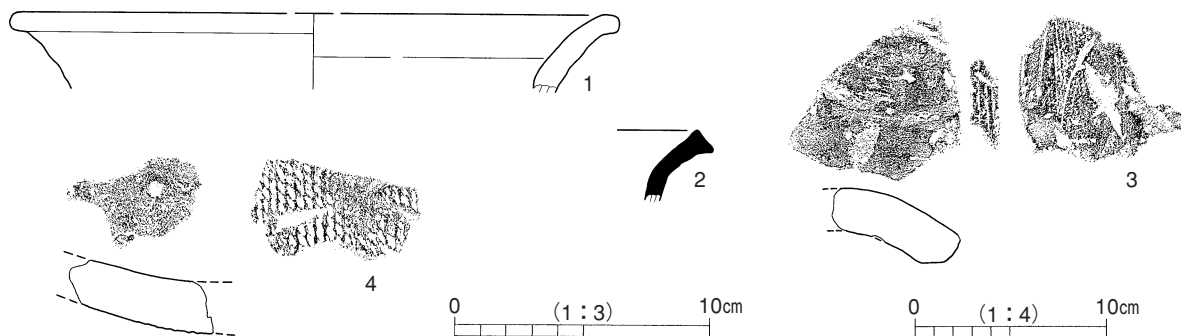
039号跡



040号跡

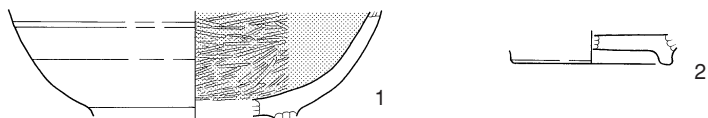


041号跡

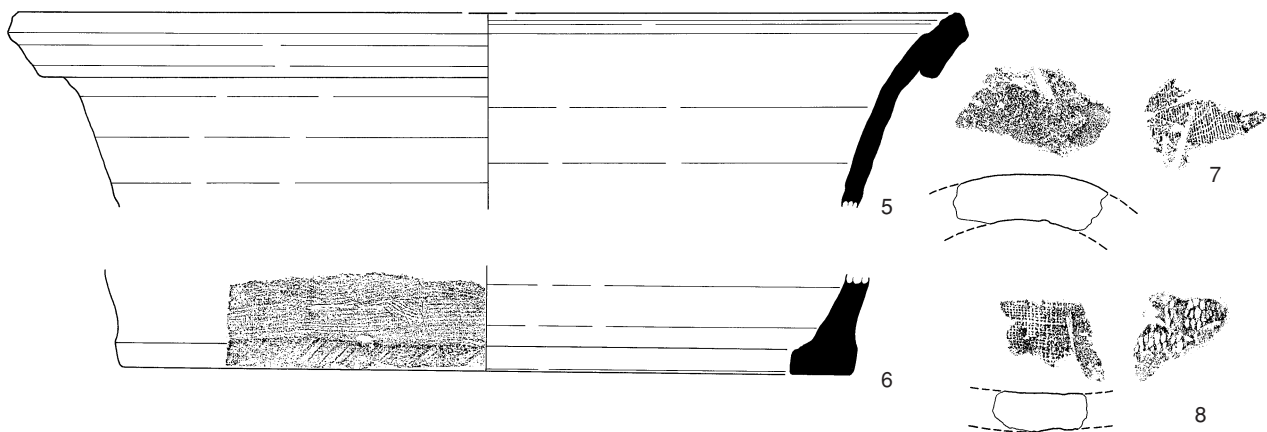
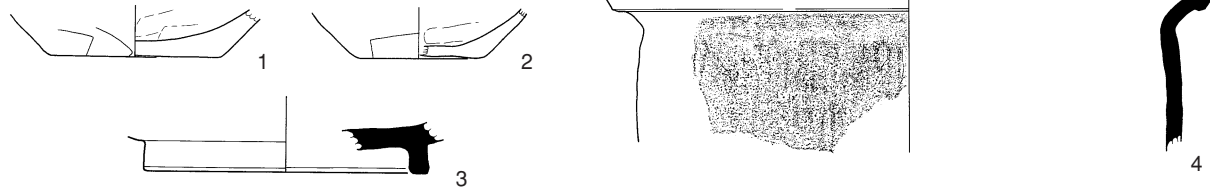


第95図 出土遺物⑤

042号跡



043号跡



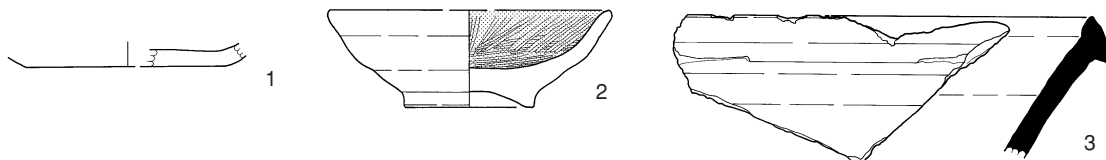
044号跡



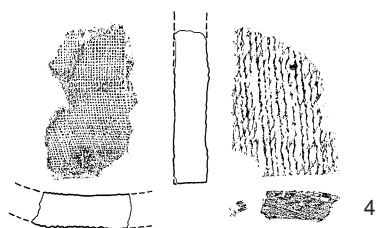
045号跡



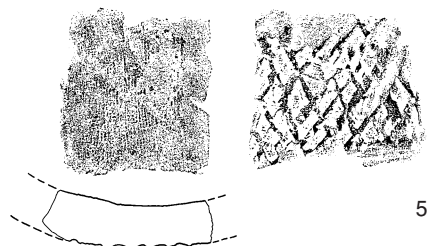
046号跡



0 (1:3) 10cm

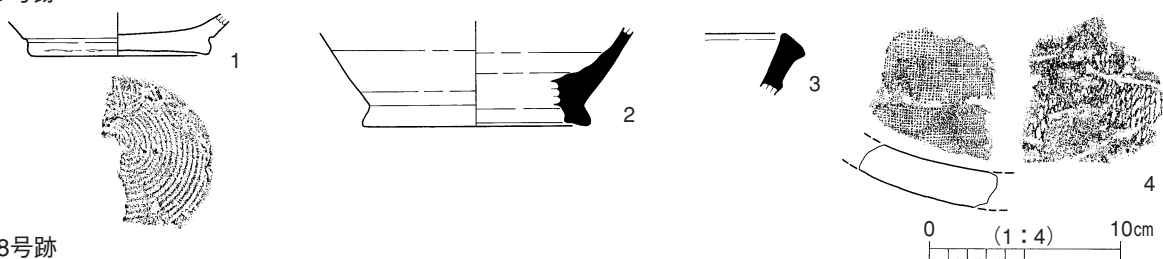


0 (1:4 瓦) 10cm

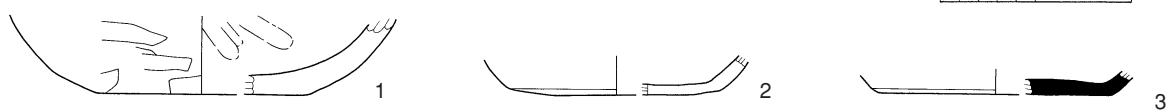


第96図 出土遺物⑥

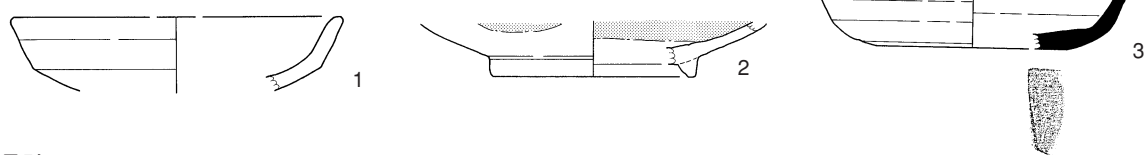
047号跡



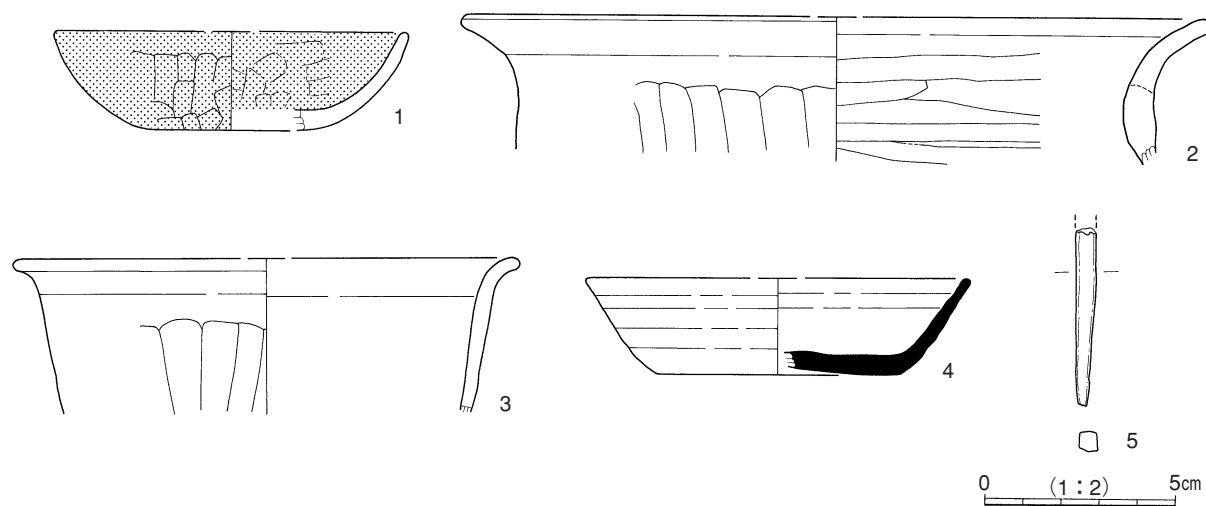
048号跡



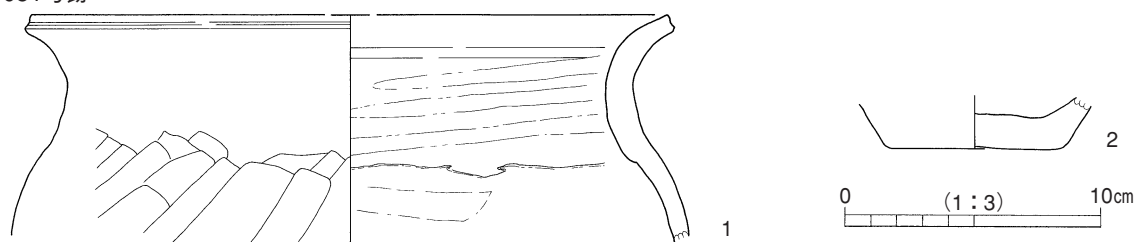
049号跡



050号跡



051号跡



052号跡



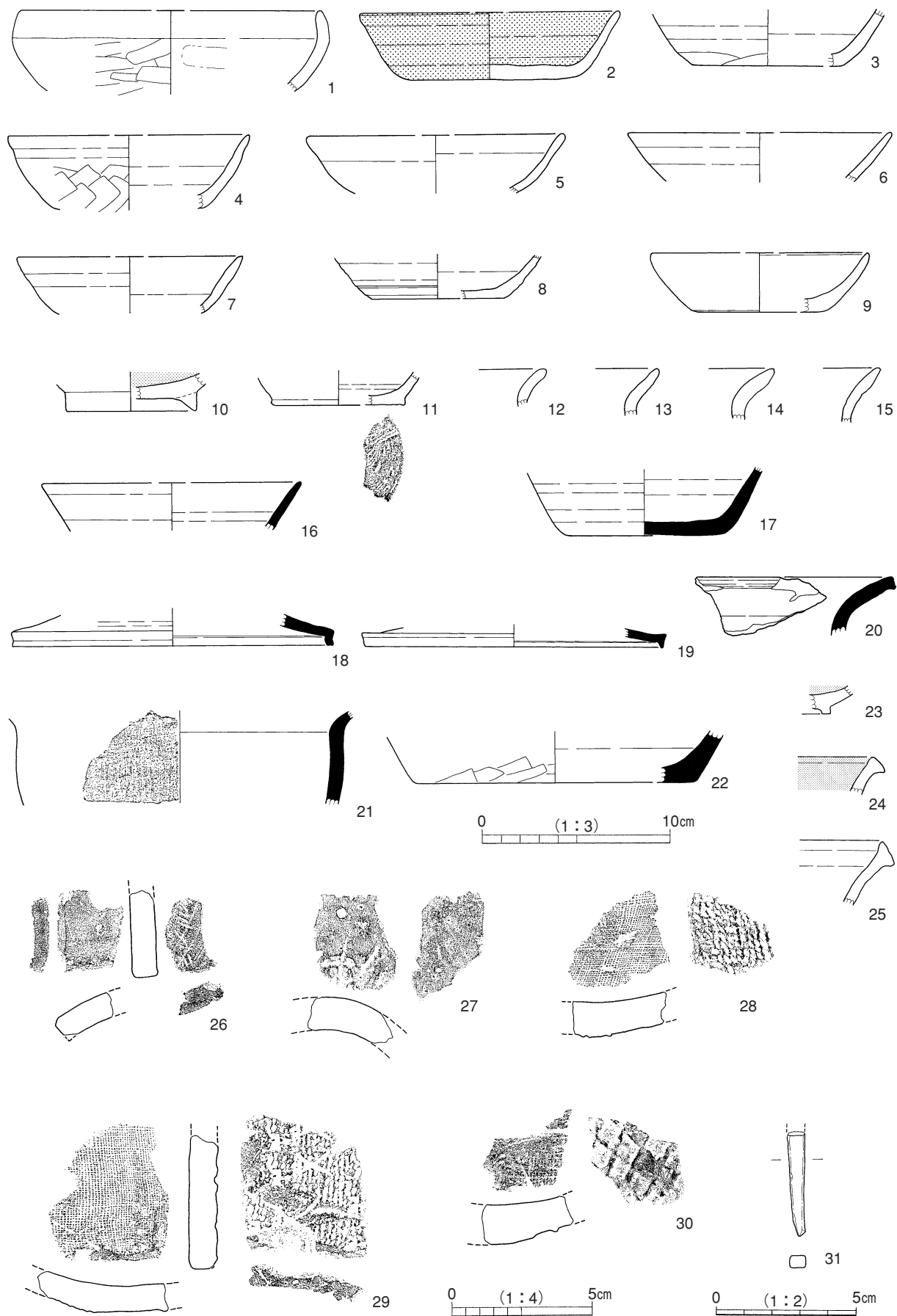
053号跡



第97図 出土遺物⑦



一括出土遺物



第98図 出土遺物⑧

## 第14節 西野遺跡群 C 1 地点

### 概要（第99・100図）

海上地区遺跡群において、平成13年度に確認調査が行われた遺跡である。調査によって検出された遺構は、土坑及び溝状遺構と思われる落ち込みがある。現場は、南から北へ下る養老川が通称「国分寺台」と呼ばれる台地に行く手を阻まれて、大きく西側へ流れを変える屈曲点に面しており、各トレンチにおける堆積土層の観察では河川によって供給されたと思われる砂の堆積が顕著であった。ただし、砂層中には、黒灰色粘質土層が数条にわたって間層として堆積しており、安定期として湿地帯が出現した時期もあったと思われる。しかし、古代層と考えられる暗黒色土層は堆積しておらず、流失したものと思われる。古代期の遺物が殆ど出土していないのに比し、中世期の遺物は少数ではあるが出土している。様相としては、砂を含む暗灰色粘質土を主体とした溝及び土坑が散見されるのみである。17トレンチ（第99図参照）・18トレンチにおける溝状の落ち込みや、31トレンチの重複した溝の可能性もある大型の土坑状の落ち込みは、中世期の遺物を僅かではあるが出土しているものの、遺構として認定する根拠に乏しかった。ただし、周囲に中世期の遺構があるという可能性を全く排除するものではないことを付記しておく。

## 一括出土遺物

### 概要（第100・124図）

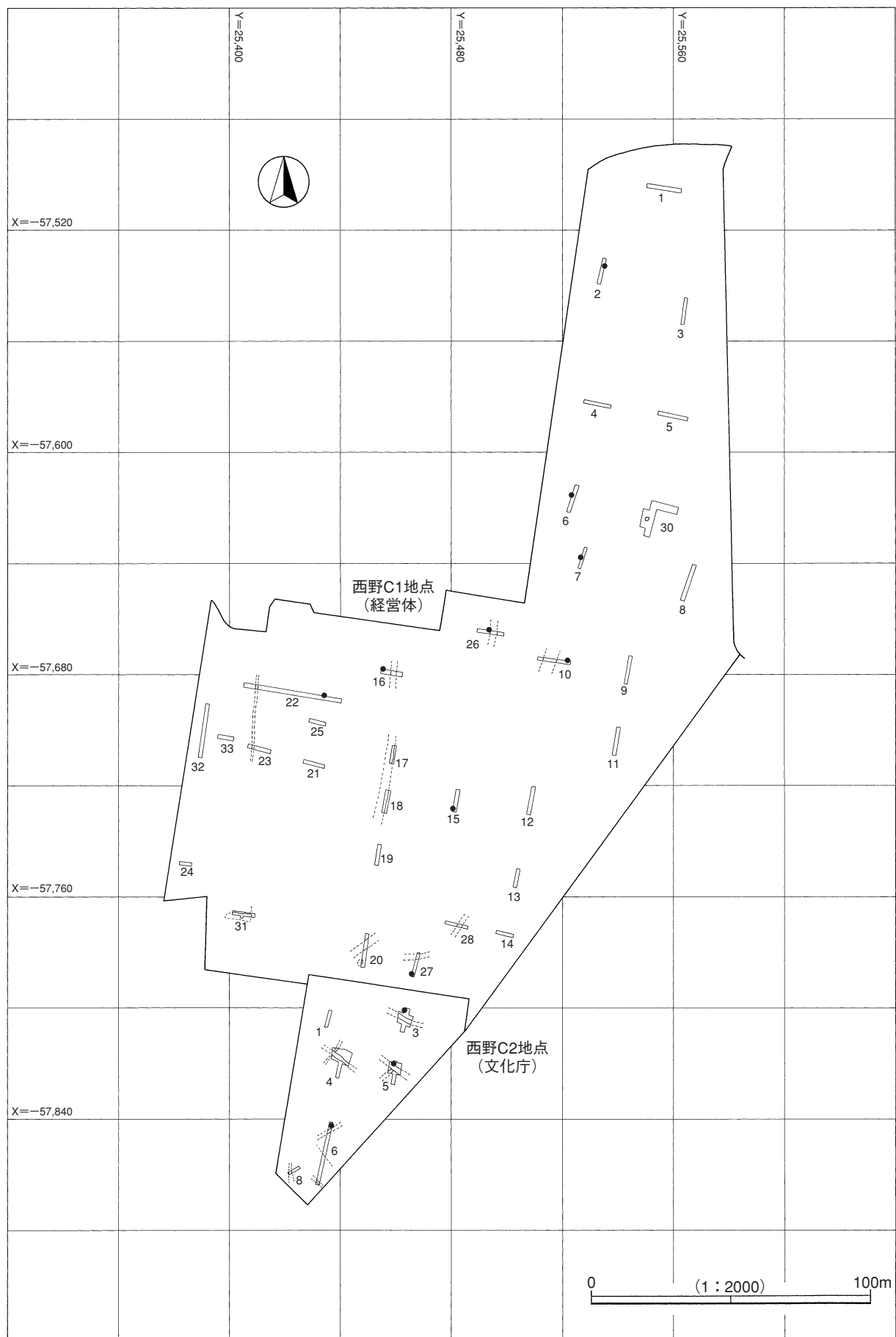
当調査地点では先に指摘した地理的条件のため、古代期の遺物の出土は極めて僅少であった。遺物は、いずれも一括出土遺物である。

1は土師器甕の口縁部である。球形の胴部を呈していると思われ、古墳時代まで遡ると考えられるが混入であろう。2は須恵器高台付杯の底部である。3・4は管状土錘、5は近世銭の寛永通宝である。他に、龍泉窯系青磁や瀬戸・美濃系陶器などの中世期の遺物（中）1～10が出土している。

## 第15節 西野遺跡群 C 2 地点

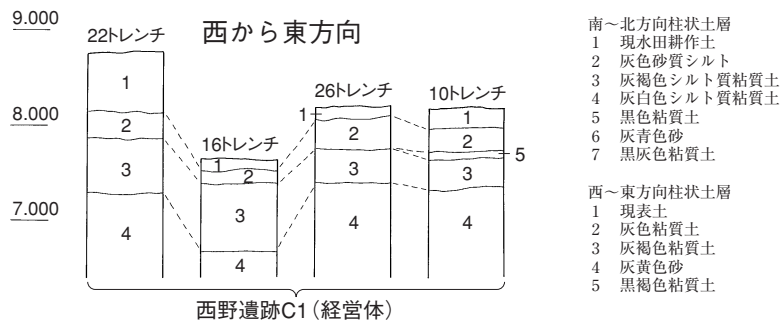
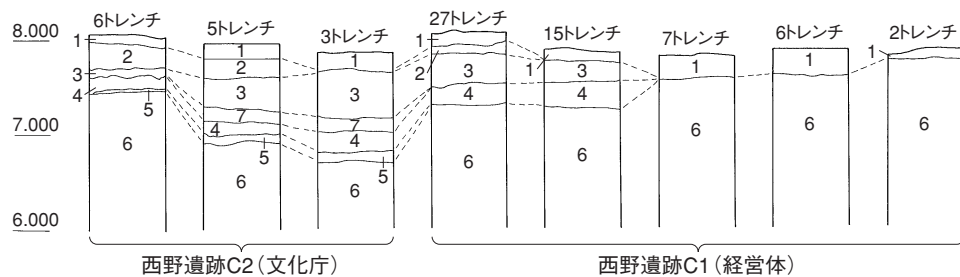
### 概要（第99・100図）

海上地区遺跡群において、文化庁の補助事業である「海上地区遺跡発掘調査事業」として平成13年度に調査が行われた遺跡である。現場は、C 1 地点の南側に隣接する。本地点の地理的環境及び土層堆積の状況は、C 1 地点にほぼ共通すると考えられる。計6ヵ所のトレンチを設定したが、古代期まで遡る溝状遺構や土坑といった遺構は確認されず、現水田耕作土直下に存在する近世期の溝を確認したのみである。出土遺物は、ローリングの著しい角の摩滅した土師器・須恵器の小片が主体であり、図示できる遺物は、6トレンチにおいて出土した土師器杯1のみである。



第99図 トレンチ配置図

# 土層柱状図 南から北方向



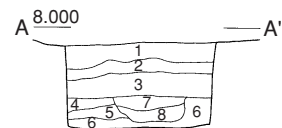
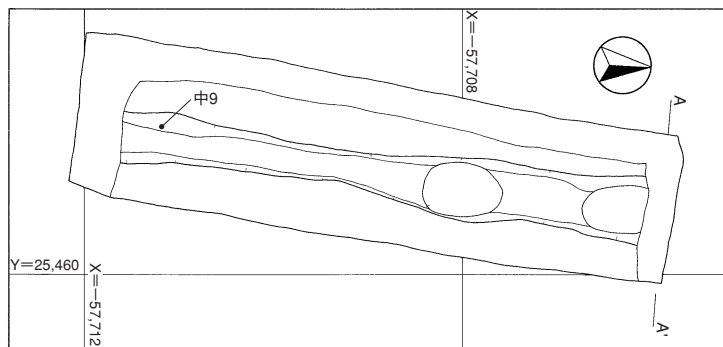
南～北方向柱状土層

- 1 現水田耕作土
- 2 灰色砂質シルト
- 3 灰褐色シルト質粘質土
- 4 灰白色シルト質粘質土
- 5 黒色粘質土
- 6 灰青色砂
- 7 黒灰色粘質土

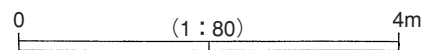
西～東方向柱状土層

- 1 現表土
- 2 灰色粘質土
- 3 灰褐色粘質土
- 4 灰黄色砂
- 5 黒褐色粘質土

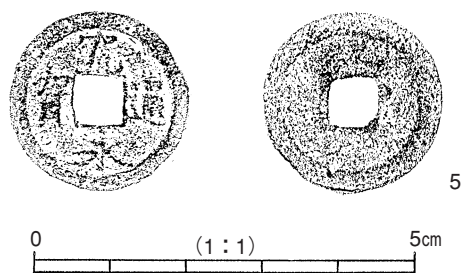
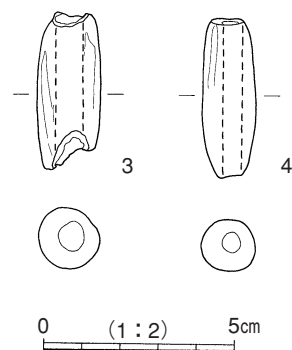
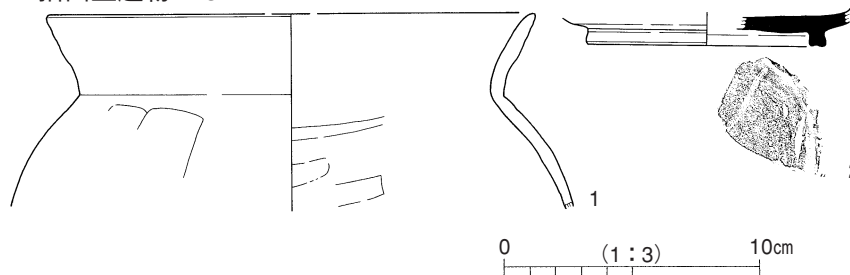
## 17トレンチ



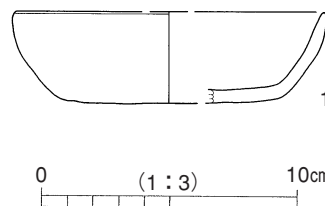
- 1 現表土
- 2 灰色粘質土 灰色砂均等に入る
- 3 灰色粘質土 黒褐色粘土・鉄分散る
- 4 灰色粘質土 (3よりやや明るい) 灰白色シルト少量散る
- 5 灰色粘質土+黄灰色粘質土
- 6 黄灰色粘質土
- 7 灰色土 8より暗い
- 8 灰色粘質土 灰白色粘土混入



## 一括出土遺物 C1



## 一括出土遺物 C2

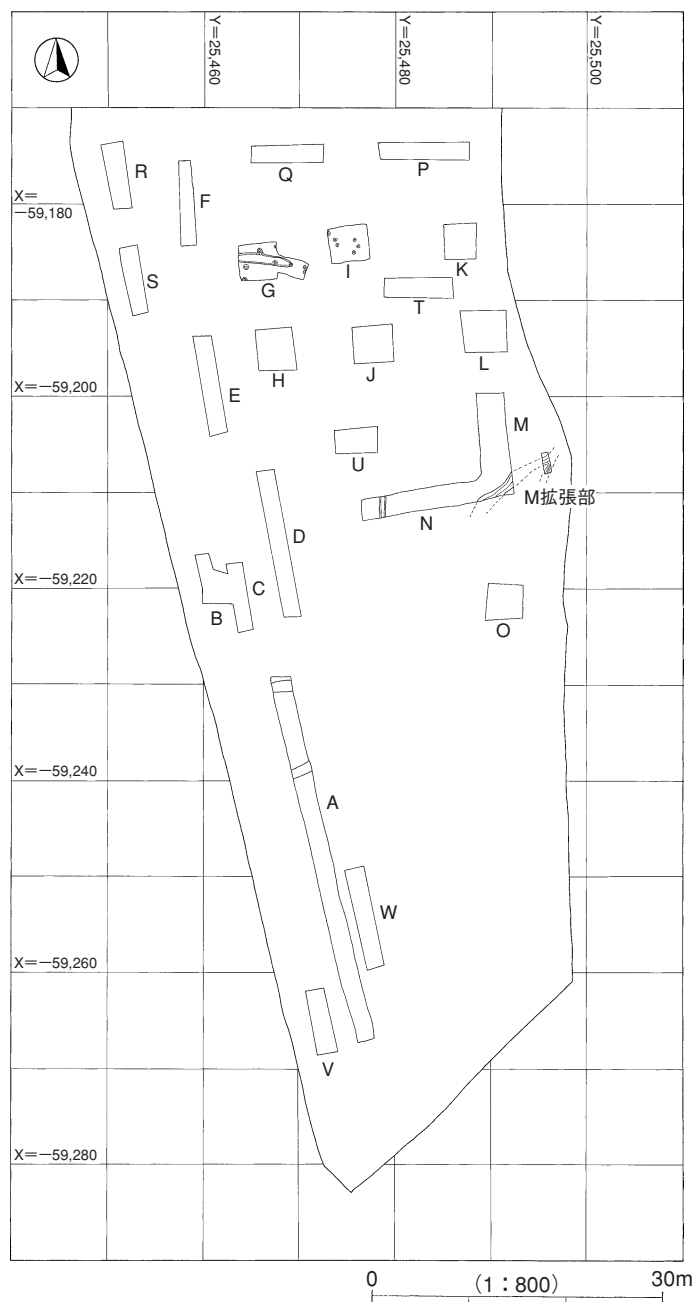


第100図 西野遺跡群C1・2地点

## 第16節 西野遺跡 A 地点（浅井小向地区）

### 概要

海上地区遺跡群として、平成10年度に確認調査が行われた遺跡である。遺跡名は、西野遺跡と表記されているが、実際の字名地区は浅井小向であり、北側に展開する西野遺跡群とは、距離的に大きく離れることから、浅井小向地区と字名を付した。調査によって、溝及び土坑状の落ち込みが確認された。現場は、養老川左岸を望む沖積低地の最奥部に位置する。



第101図 トレンチ配置図

## G トレンチ (第102図)

**位置** 調査区の中央北西寄りに位置する。

**形態** トレンチ中央において、浅い溝状の落ち込み及び、不整な円形を呈する小規模なピットが点在している。

**構造** 溝状の落ち込みは、幅0.9～1.0m・現存長5.6m・深さ0.15～0.20m程度を測る。また、周囲には、径0.4～0.6m前後のピットが散在しているが、遺構と認識できるものはない。図示できる遺物の出土は、溝・土坑ともになかった。時期不明と言わざるを得ない。

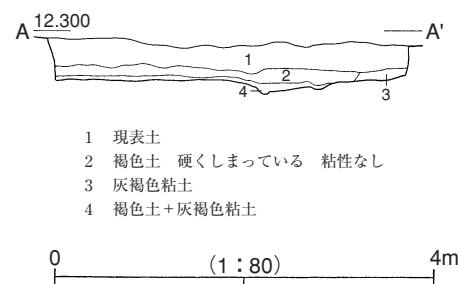
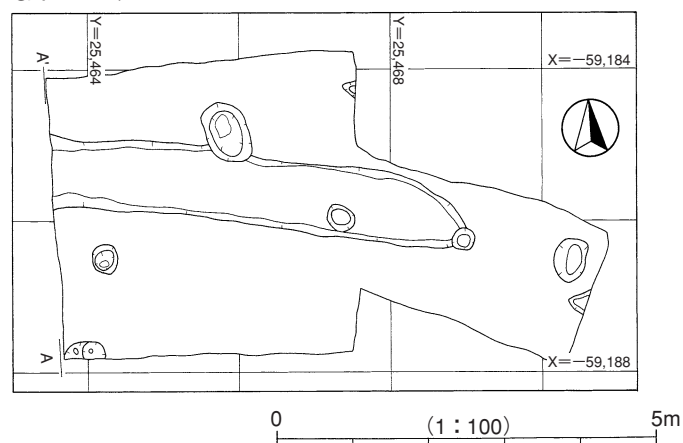
## M・N トレンチ (第102図)

**位置** 調査区中央東寄りに位置する。東側に M トレンチ拡張部がある。

**形態** M・N トレンチ南東隅部において、溝が北東—南西方向に走っている。また、東側 M トレンチ拡張部においても、同じ溝が走っていると思われる。

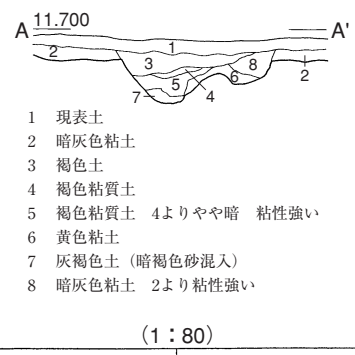
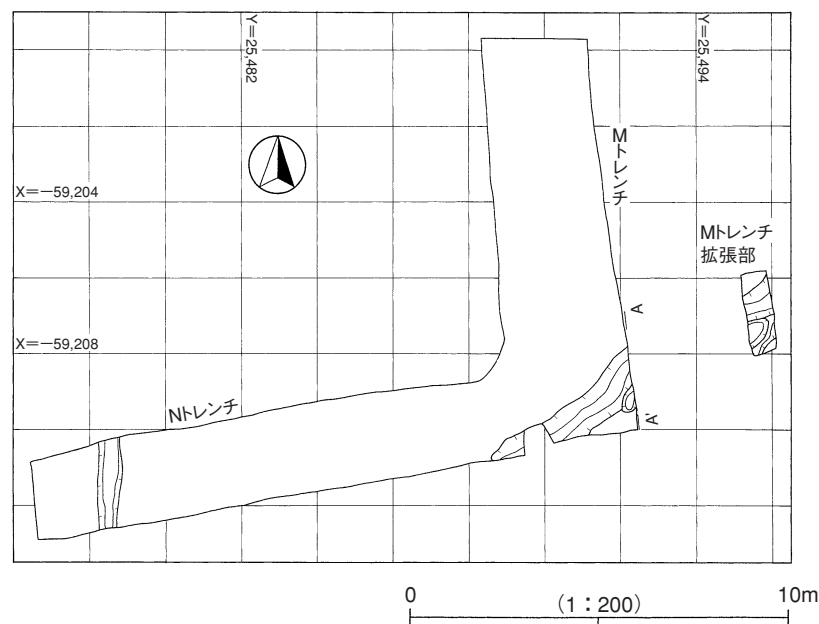
**構造** 溝は、下場が一定せず、やや蛇行しながらトレンチを斜めに横断している。規模は、幅0.9～1.0m・現存長8.0m・深さ0.4m程度を測る。図示できる遺物の出土はなかった。時期不明と言わざるを得ない。

### G トレンチ



- 1 現表土
- 2 褐色土 硬くしまっている 粘性なし
- 3 灰褐色粘土
- 4 褐色土+灰褐色粘土

### M・N トレンチ



- 1 現表土
- 2 暗灰色粘土
- 3 褐色土
- 4 褐色粘質土
- 5 褐色粘質土 4よりやや暗 粘性強い
- 6 黄色粘土
- 7 灰褐色土 (暗褐色砂混入)
- 8 暗灰色粘土 2より粘性強い

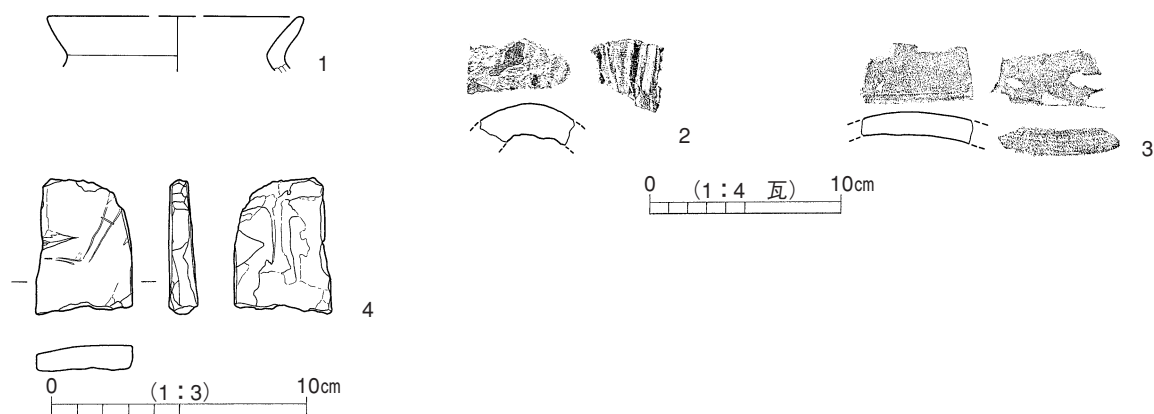
第102図 G、M・N トレンチ

## 一括出土遺物

### 概要（第103図）

当調査地点では、遺物の出土が少なく、調査区一括遺物も同様である。付近は、養老川を望む沖積低地の最奥部に位置し、南東側の台地上には釜神遺跡などが存在するが、当初より遺構の存在は希薄であったと思われる。

一括遺物 1 は土師器甕の口縁部である。2・3 は丸瓦片である。凸面をナデ整形によってタタキ目を消している。4 は仕上げ砥の砥石片であろう。



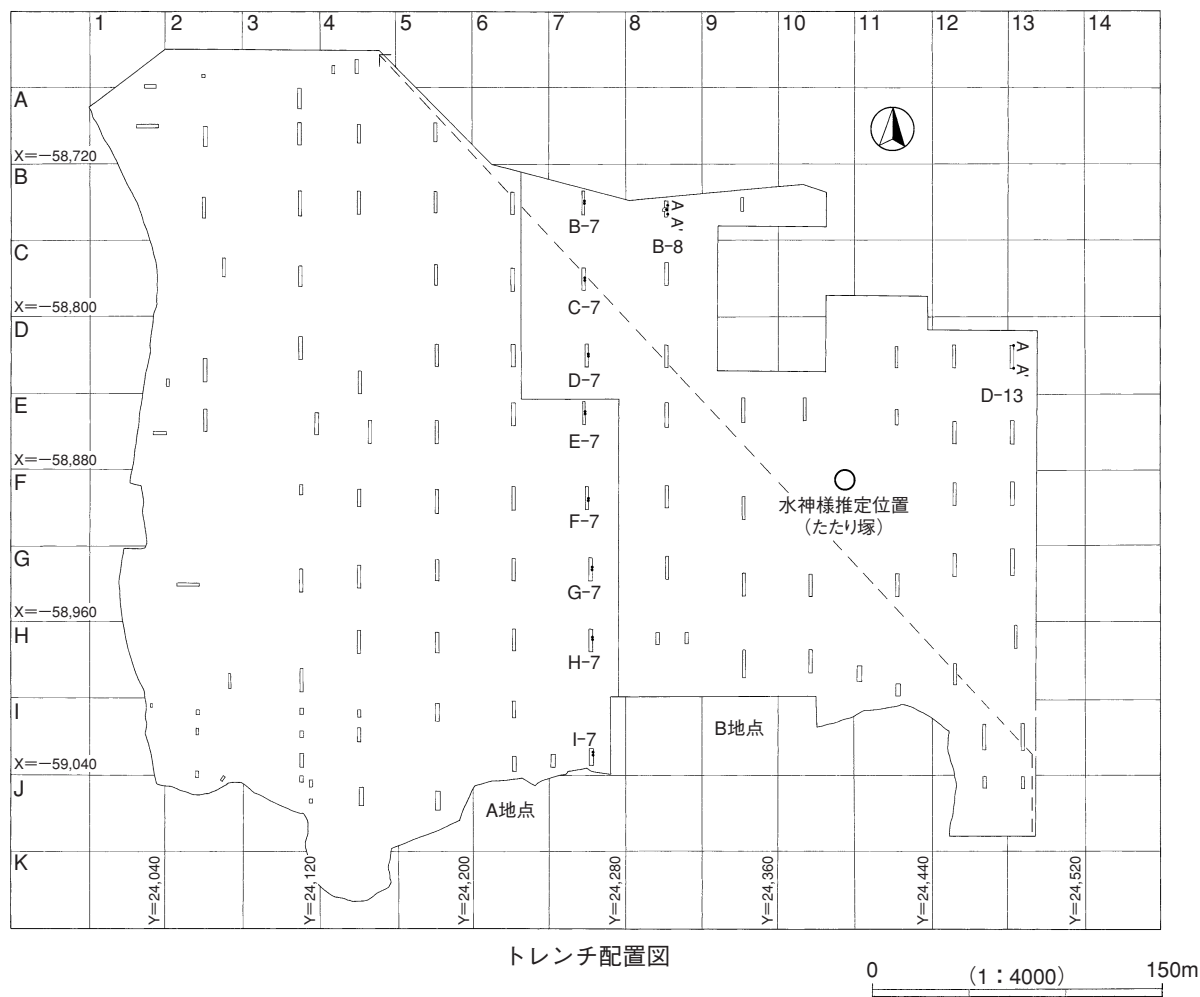
第103図 一括出土遺物



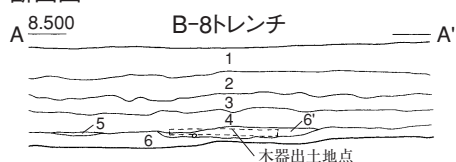
## 第17節 宮原遺跡 A・B 地点

### 概要

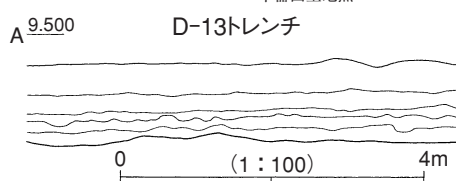
海上地区遺跡群において、平成10年度に確認調査が行われた。現場は、分目要害遺跡や宮原堂谷遺跡、布谷台遺跡などをのせる段丘が南に迫る養老川中流域の沖積低地に位置する。本遺跡は立地が、海上郡衙推定地のある北側自然堤防の南に広がる水田地帯であることから、条里制区画水田遺構の存在も予想されたが、それと関連づけられるような遺構は検出されなかった。



### 断面図



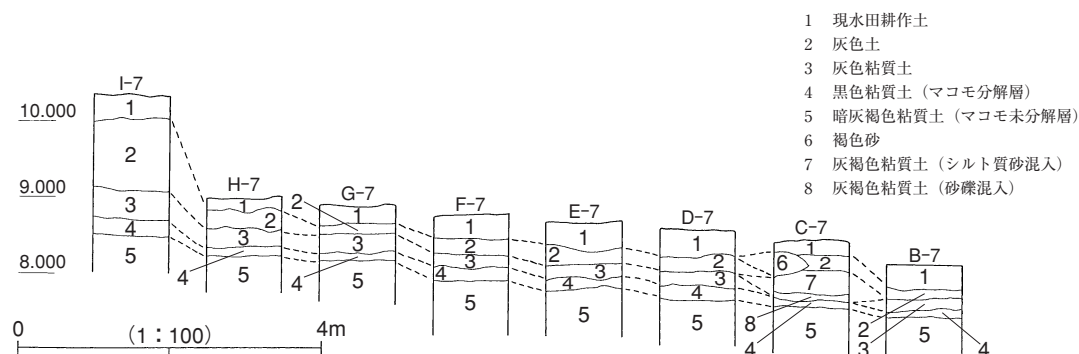
- 1 現水田耕作土
- 2 灰色粘質土 黄褐色粘土粒、白灰色シルト粒及び小砂礫を含む 鉄分沈着が認められる
- 3 黒色粘質土 (マコモ分解層)
- 4 暗灰褐色粘質土 (マコモ未分解層)
- 5 灰白色粘土
- 6 暗灰褐色粘質土 (マコモ未分解層) 4より未分解泥炭多い



- 1 現水田耕作土
- 2 灰色シルト質土 (鉄分沈着顕著) 砂礫混じる
- 3 灰色粘質土 黄色粘土粒多量混入
- 4 灰褐色砂
- 5 黒色粘質土
- 6 黒灰色粘質土
- 7 暗灰色土

第104図 宮原遺跡A・B地点

## 土層柱状図



第105図 土層柱状図

各トレンチの土層観察から、中世14～15世紀の遺物が包含される灰色粘質土の下層は、酸化鉄の沈着が認められることから乾田化されていたと考えられるが、それより下層では黒色有機質土が下からの湧水によって粘性化し、それより下層になると未分解草本泥炭層が、層厚2 m以上にわたって堆積していた。すなわち、中世室町・戦国期において乾田化する以前は、常に滞水していた状況であることが予想される。

ちなみに、耕地整理以前の乾田化した近世～大正年間の本地点一帯は、堆積土層観察からB地点南東端部I—13グリッド付近より北西側A地点A—4グリッド方向に向けて、礫混じり砂層がレンズ状に堆積しており、流路（用水路）が敷かれていた可能性がある（全体図矢印←方向）。付近には、水神様（たたり塚）が置かれていたという伝承もあり、分目要害遺跡がのる段丘崖からの湧水を、乾田化した本地点周囲に給水するために用水路が敷設された可能性がある。しかし、発掘調査においては、トレンチ設定の制約もあり、導水施設を想定させるような関連遺構の検出はなかった。この流路の開設時期については定かではないが、灰色粘質土層の直下に流路痕跡が見られる箇所があり、分目要害遺跡の存立していた戦国期まで遡るのであれば、当時の在地領主の勘農権が及ぶところの乾田化の推進・導（排）水施設の設営といった領地支配の一形態を見ることができるであろうか。

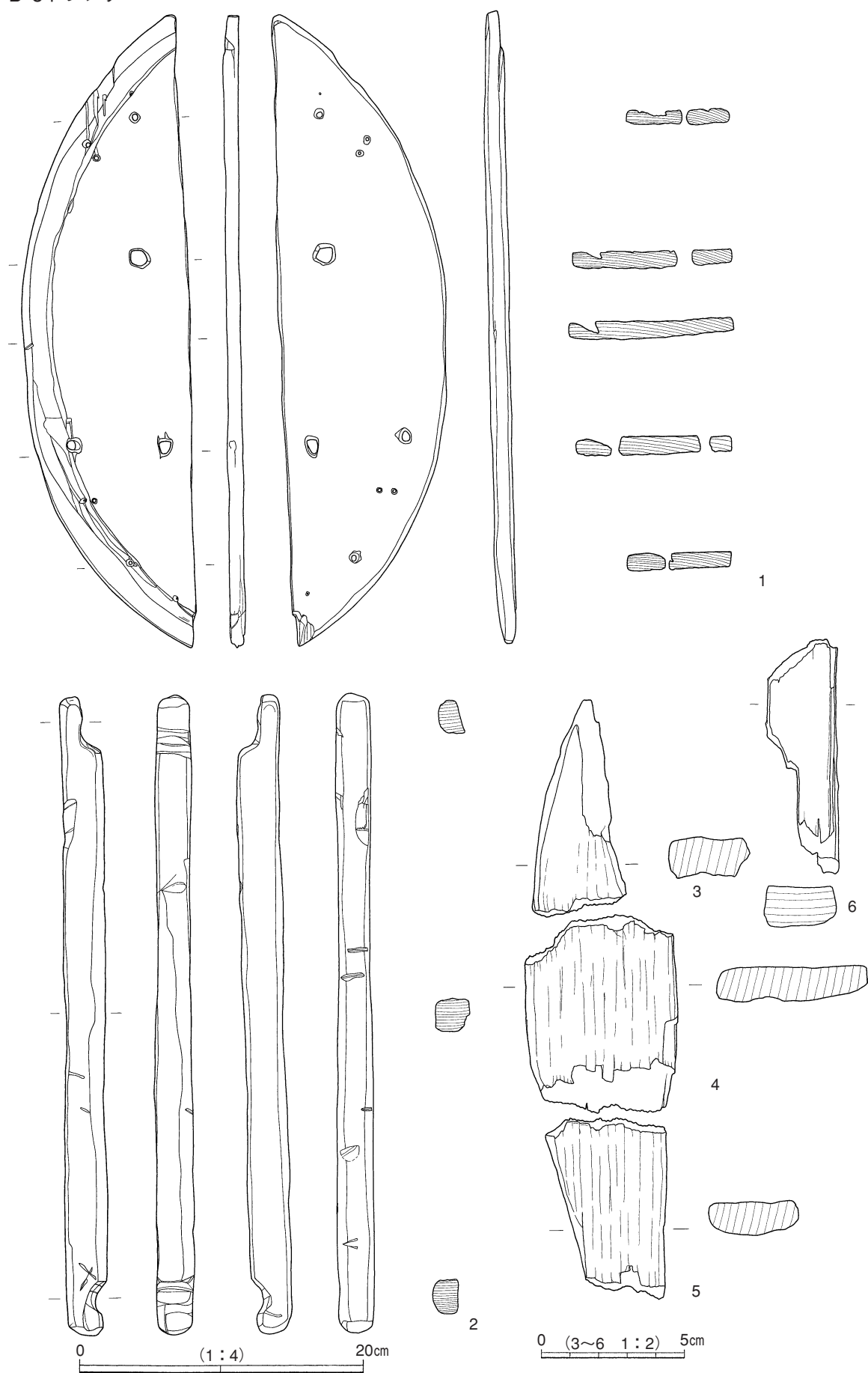
### B—8 トレンチ（第104・106図）

位置 B地点調査区のほぼ中央北端部に位置する。

形態 トレンチ内南側に、木器集中地点が東西に帯状に存在する。

構造 暗灰褐色泥炭層中より検出されている。規模は幅1.4m・現存長1.5m・厚さ0.1～0.16m前後を測る。畦畔補強のため、木器を埋め込んだものであろうか。条理制区画水田との関連も考えられたが、他のトレンチから明瞭な古代畦畔が検出されず、関連性を認めることはできなかった。中から、曲げ物底板を転用した田下駄1や、杵状田下駄の部材2及び加工木3～5及び板状木製品6などが出土している（第3章—4節参照）。1は、千葉県内で多く出土する曲げ物底板を転用した田下駄であり、材質はスギである。緒孔結合法は、3孔式で、鼻緒先端部に手綱用の紐孔を穿っている。スギ材の入手が困難であったことを示しているのであろうか。3～5は、用途不明であるが端部が丸く加工されている。モミ属で木取りは追柁目である。3片あり接合しないが、同一個体である可能性が高い。土器は出土していないが、D—13トレンチ木器出土層位と同一である可能性があり、9～10世紀頃まで遡るか。

B-8トレンチ



第106図 出土遺物①

D-13トレンチ



D-13トレンチ (第104・107図)

位置 B 地点調査区の北東端部に位置する。

形態 トレンチ内南側より、棒状木製品（陽物形木製品）1 が出土している。

構造 1 は、暗灰色粘質土層中より検出されている。現存長 1.54m・厚さ2.0～2.8cm前後を測る。一方を尖らし、もう一方は丸く整形されている。材は、イヌガヤの丸木取りである。尖らせた先端を地中に突き立てるようにして出土しており、陽物形木製品だとすれば、祭祀的側面を見ることができるであろうか。ちなみに、同層位より内面黒色処理された高台付クロロ土師器杯2が出土している。9世紀後葉～10世紀前葉であろうか。

第107図 出土遺物②

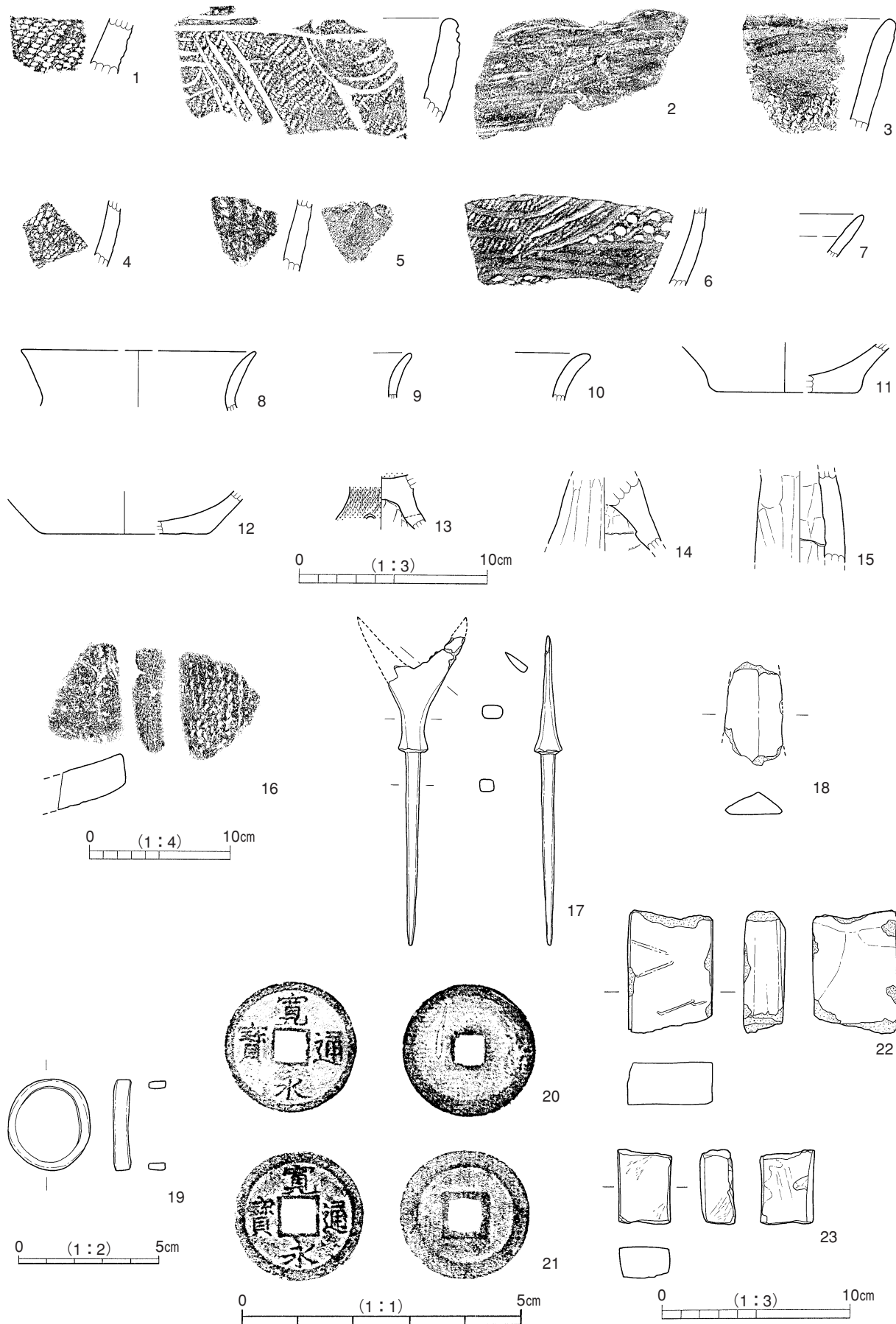
## 一括出土遺物

### 概要（第108～110図）

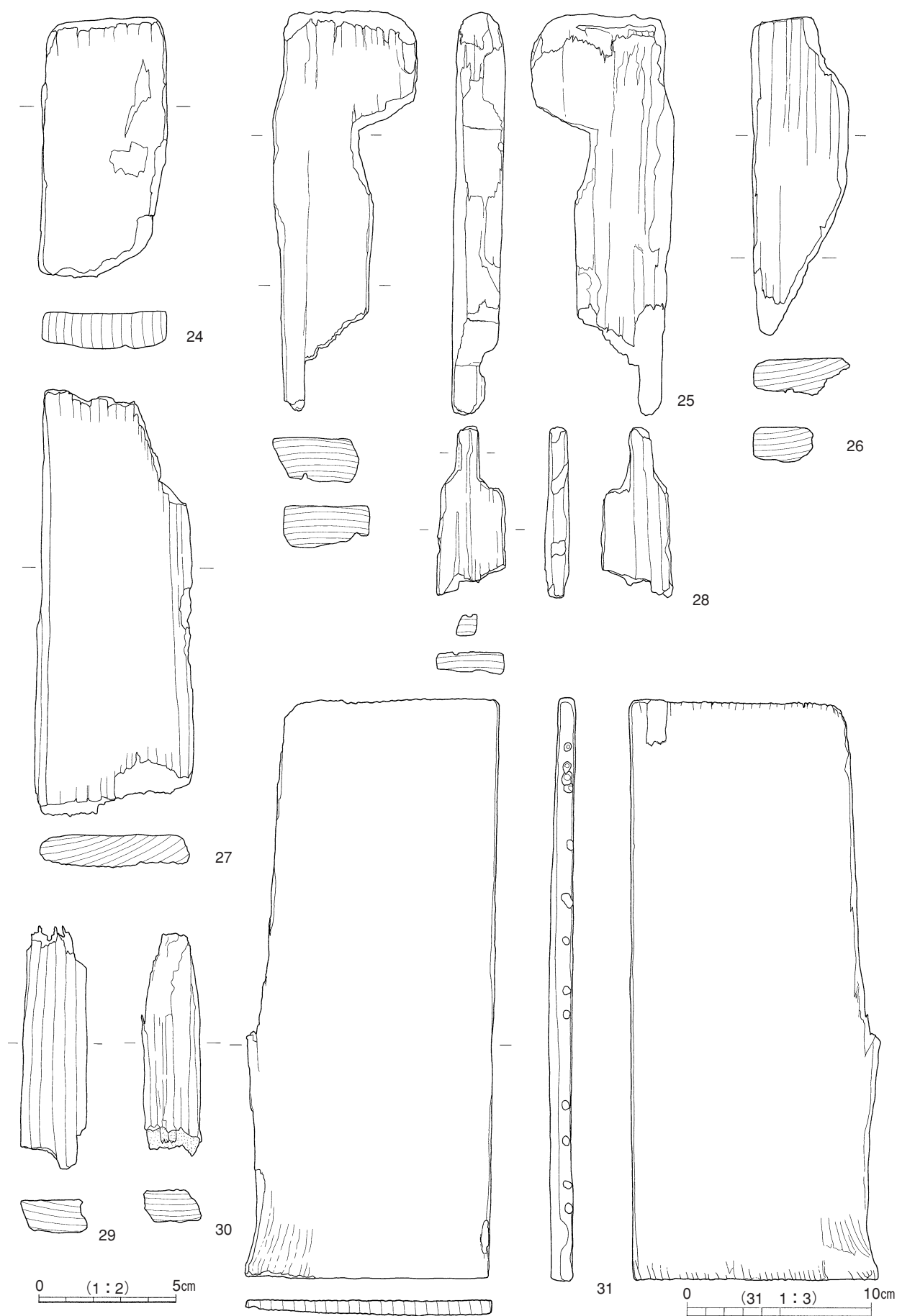
A・B 両調査地点共、遺物の出土が少なく、調査区一括遺物も同様である。付近は、養老川を望む沖積低地の奥部に位置し、分目要害遺跡をのせる段丘崖に接するが戦国期の遺物についても少量であった。ただ、極めて水はけの悪い地形のため、木質遺物の出土が各トレンチにおいて見られる。B—8 トレンチ遺物については、木器集中地点での出土である。他のトレンチについては、D—13 トレンチ以外、出土層位が明確でないものが少なからず存在し、中・近世から幕末に至るまでの板材片が多く含まれている。

一括遺物 1～51は A 地点における出土である。1～5は縄文土器片である。1は中期加曾利 E 式、2は後期堀之内式口縁部と思われる。3～5は縄文土器片と思われるが時期不明である。6は弥生中期須和田式の壺片か。7～15は、土師器片である。7は杯口縁部、8～10は甕口縁部、11・12は甕底部、13～15は高杯脚部である。13は赤彩を施し、穿孔している。古墳時代前期であろう。16は平瓦片、17～19は鉄製品である。17は雁股の鉄鏃である。18は断面三角形、19は円環状を呈する。20・21は、「寛永通寶」。22・23は、砥石片である。泥岩質であり、仕上げ砥であろうか。24～51は木製品である。25は側面に切れ込みのある部材である。表面は平滑に仕上げられている。26はやや厚みのある加工板片である。28は端部に切り込みが加工された板片である。織り機の部材の可能性はあるか。31は側面に穿孔が施された加工板片である。不明瞭なものも含めると、13ヵ所の穿孔がある。材は薄く、表面は台匏によって平滑に仕上げられている。木釘等で他の板と連結していたと思われる。導水施設関連の堰等に使われた部材か。33は箸であろうか。先端を尖らしていると思われる。35は薄く表面が平滑に仕上げられた板材である。先端は弧状にカーブしており、丁寧に加工された印象を受ける。36・37は、墨書が施された「木簡」片である。36は表・裏面に墨書があり、文字は、「□門」か。37は墨書が淡く、殆ど消失しており判読が難しい。「□□兵□□」か。ともに近世期のものと思われる。41は上部に方形の穿孔が穿たれた加工板材。42も上面中央に楕円形の穿孔が穿たれていたと思われる。44～50は加工板片である。44は極めて薄く、丁寧に仕上げられている。墨書は見えなかったが、「木簡」関連か。48は上面中央に紐を通したと思われる穿孔が見られる。51は先端に切断面があるが、他は残存面が少ない。

一括出土遺物

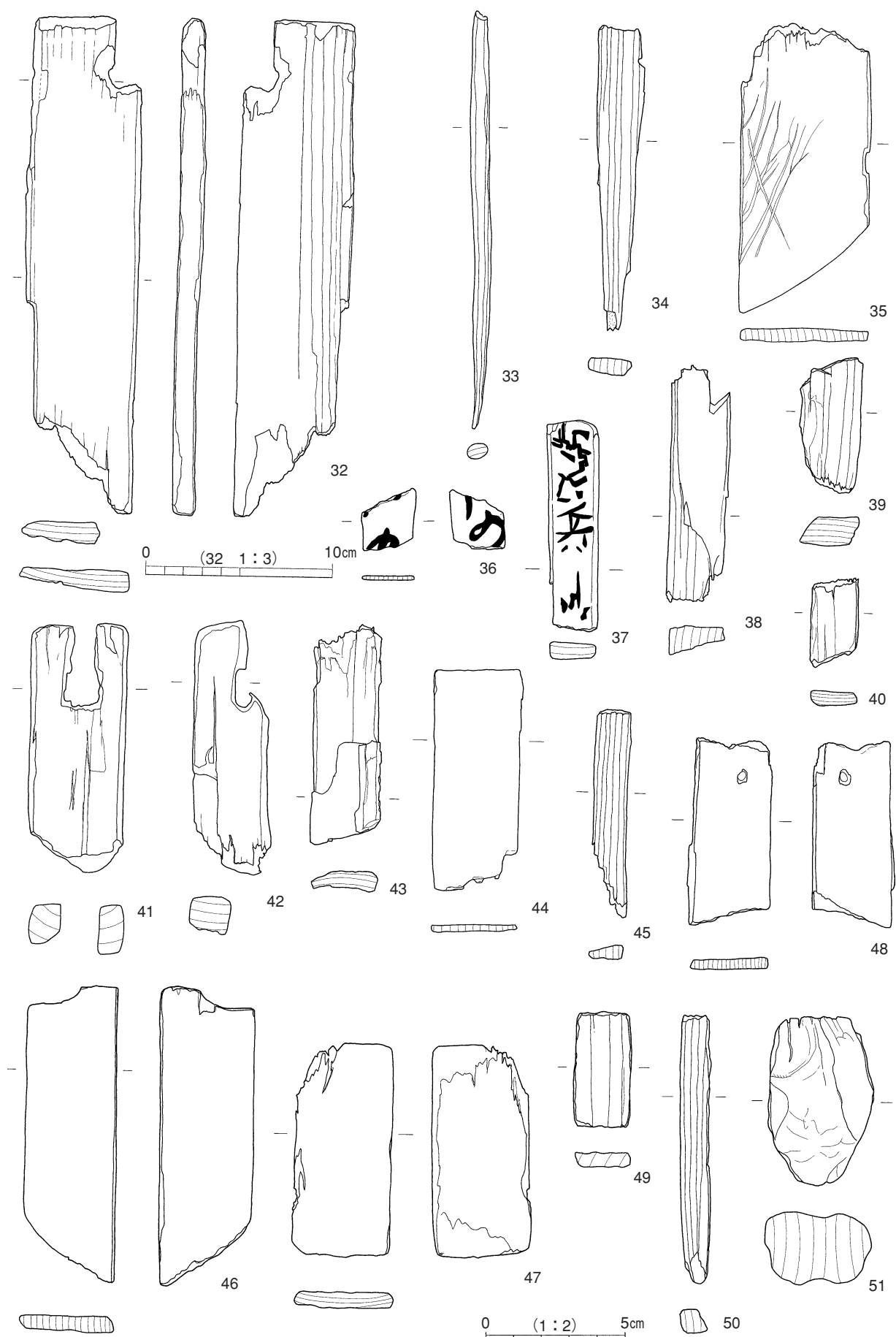


第108図 一括出土遺物①



第109図 一括出土遺物②



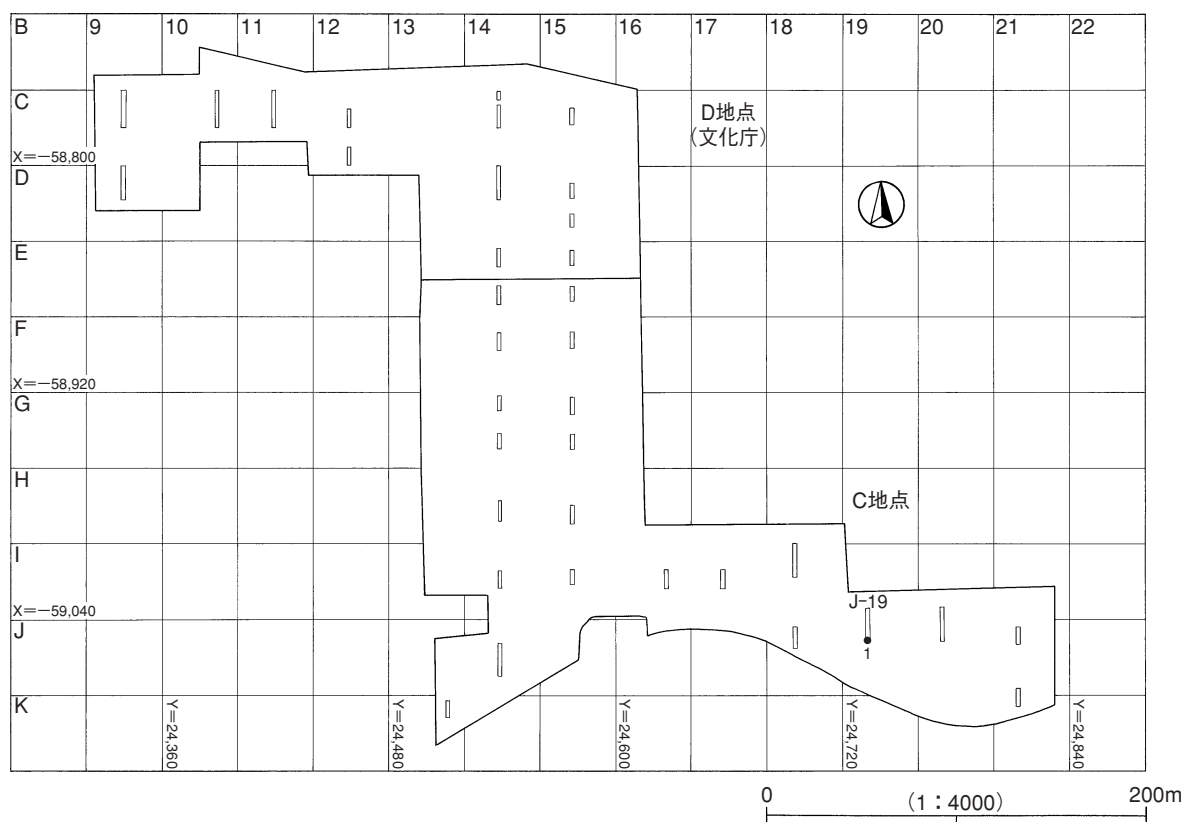


第110図 一括出土遺物③

## 第18節 宮原遺跡 C・D 地点

### 概要

海上地区遺跡群において、宮原 A・B 地点に東隣する地点として、平成11年度に確認調査が行われた。本遺跡は、C 地点を農林分、D 地点を文化庁分として調査が行われた。条里制区画水田遺構の存在も予想されたが、それと関連づけられるような遺構は検出されなかった。また、戦国期城郭と考えられる分目要害遺跡をのせる段丘崖直下に位置しているが、中世期の遺物は殆ど出土しなかった。



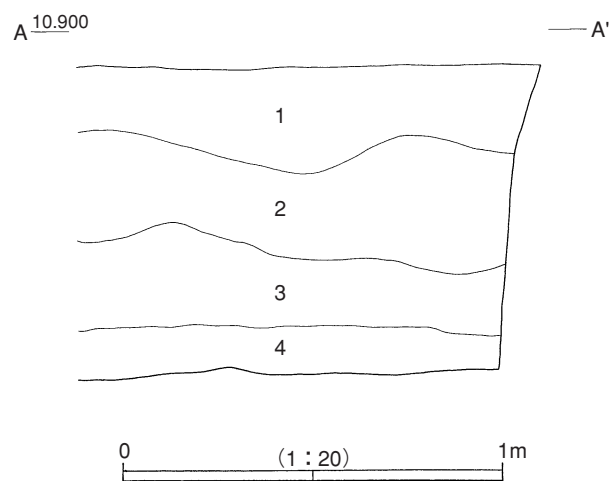
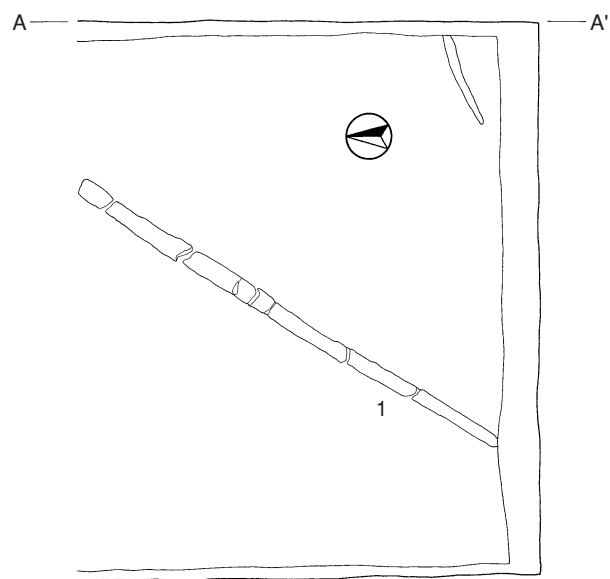
第111図 トレンチ配置図

### J—19トレンチ（第112図）

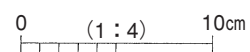
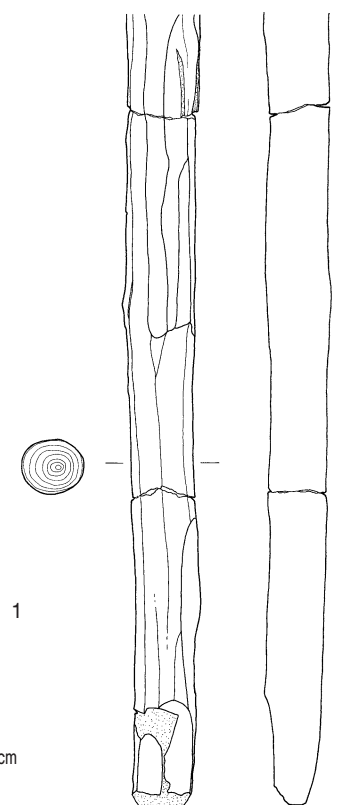
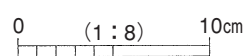
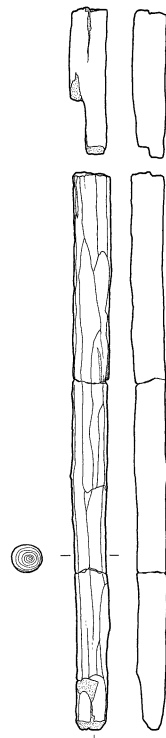
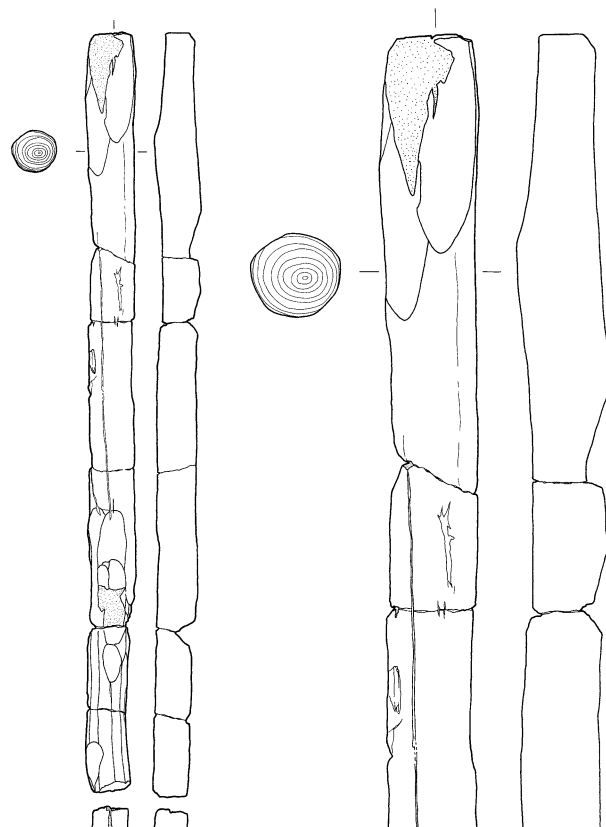
**位置** C 地点調査区の中央南東寄りに位置する。

**形態** トレンチ内南端部より、加工痕のある棒状木製品が出土している。

**構造** 遺構としては認められなかったが、棒状木製品 1 がマコモを含む黒色有機質土層中より出土している。木器は現存長1.4m・幅5cm前後を測り、両端部に手斧状工具によるハツリ痕跡が認められた。材はシキミで、芯持丸木取りである。用途は不明であるが、杭のように地面に突き立てたものか。図示できる土器の出土はなかったが、同層中より土師器片などが出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、奈良・平安期まで遡るか。



- 1 現耕作土
- 2 黒色シルト質粘質土
- 3 黒色粘質土
- 4 黒色有機質土 (マコモ未分解層含む)



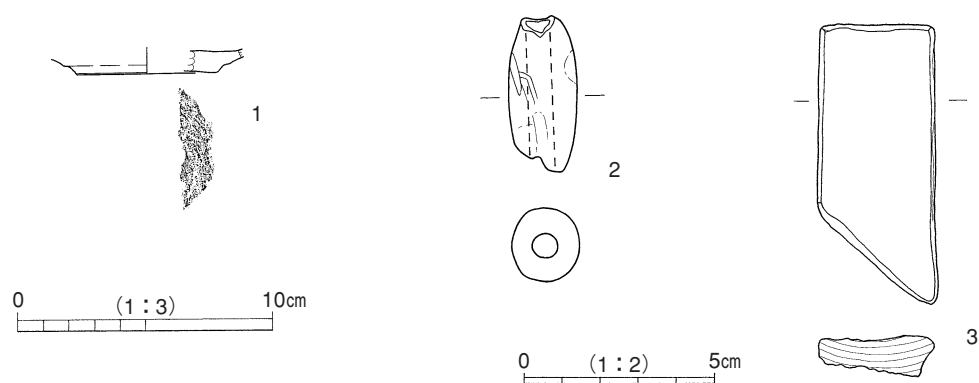
第112図 J-19トレンチ

## 一括出土遺物

### 概要（第113図）

C・D 両調査地点共、遺物の出土が極めて少なく、調査区一括遺物も同様である。

一括遺物 1 は C 地点における出土である。土師器杯で底部は回転糸切り無調整である。2・3 は D 地点からの出土で、2 は管状土鍾、3 はツガ属の板状木製品である。3 は、出土層位から中世期まで遡る可能性が高いと思われる。

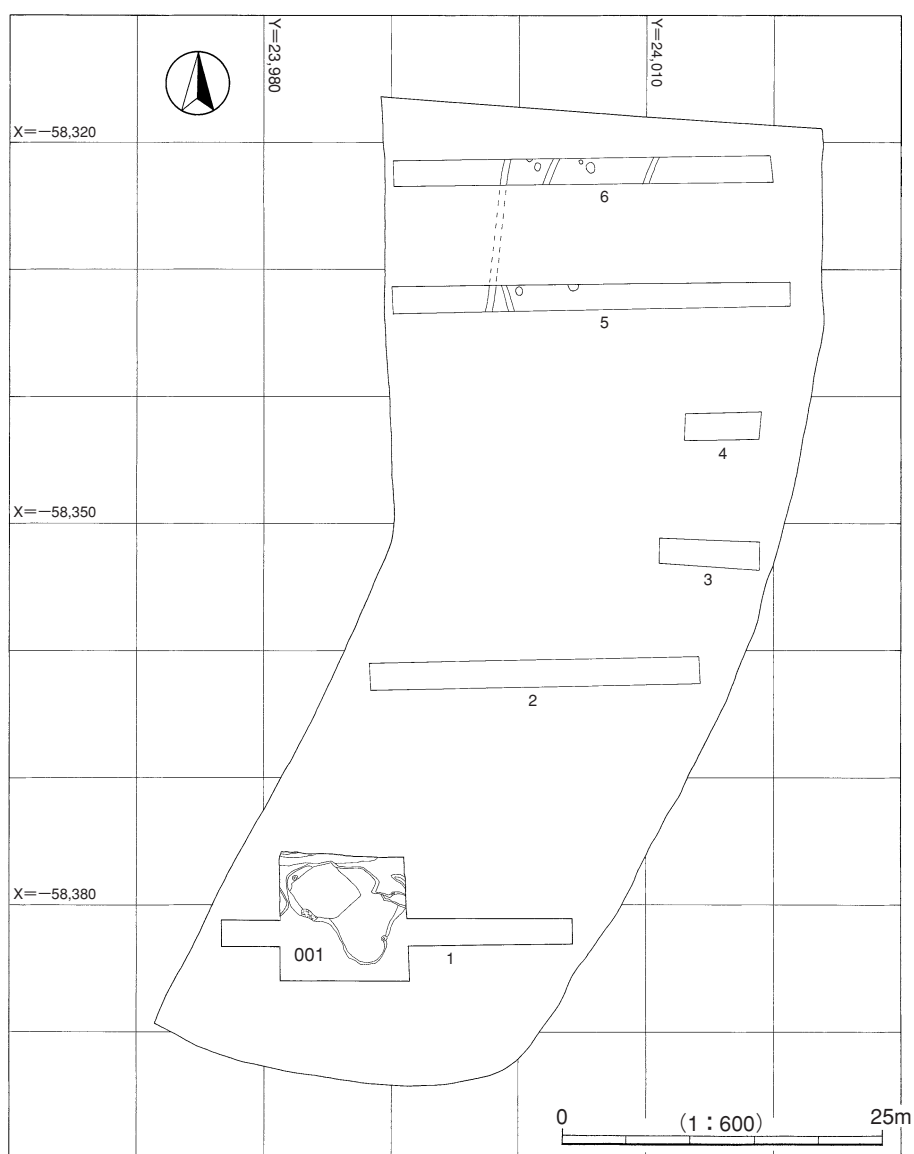


第113図 一括出土遺物

## 第19節 今富遺跡 A 地点

### 概要

海上地区遺跡群において、平成11年度に調査が行われた遺跡である。確認調査トレンチは計6ヶ所あり、1トレンチにおいて奈良・平安時代の遺構の存在が確認され、本調査の結果、竪穴建物・溝・ピットなどが検出された。他は、北半部を中心に近世以降の溝及び土坑が占めている。遺物は、奈良・平安期の遺物の他に古墳時代と思われる遺物片が出土している。これは、本地点及び北側の十五沢坊ヶ谷遺跡B・C・D地点にも共通する傾向であり、本地点周辺に古墳時代に遡り得る遺構が存在している可能性を示唆しているものと思われる。



第114図 トレンチ配置図

## <本調査>

### 概要

1 トレンチ内において行われ、竪穴建物跡 1 軒・溝状遺構 2 条が検出された。

## 1. 竪穴建物跡

001号跡（第115・116・120図）

位置 1 トレンチ内拡張部の北西側に位置する。

形態 隅の丸い不整な方形を呈する。北東—南西軸長4.6m、北西—南東軸長4.2m前後を測る。

構造 堆積土は、白色粘土ブロックを多く含む褐色砂質土を主体とする。確認面からの掘り込みは、北・西辺では0.2m程度、東・南辺では殆ど認められず、遺存状態は良くない。壁溝は認められなかった。床面は、水流の影響を受け、流失してしまったのか硬化面は検出されなかった。南西辺中央に粘土ブロックが堆積しており、カマドの残骸と思われる。しかし、焼土や炭化物の堆積は見られなかった。流失の影響か。支柱穴と思われるピットは検出されず、北西端部付近に小規模なピットが存在しているのみである。

遺物は、覆土中から須恵器高台付杯 7 が出土、周辺より土師器杯 1、甕 3・4 が出土している。また、近隣から土師器杯 2、須恵器杯 5・6 が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、8 世紀後半～9 世紀前葉頃に比定できるか。

## 2. 溝状遺構

002号跡（第115・116図）

位置 1 トレンチ内拡張部の北東側に位置する。方向は、座標北を基準にして N-56° —W 前後である。

形態 蛇行しながら、北西側で途切れる浅い溝状遺構である。平面規模は幅0.6×現存長1.4m、深さ0.2m前後を測る。

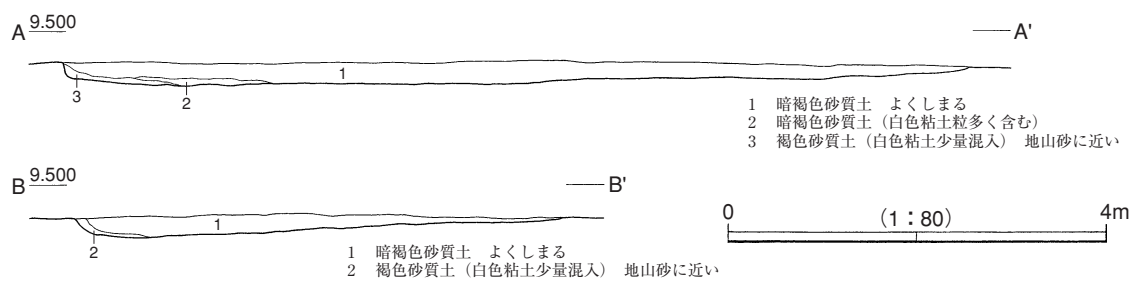
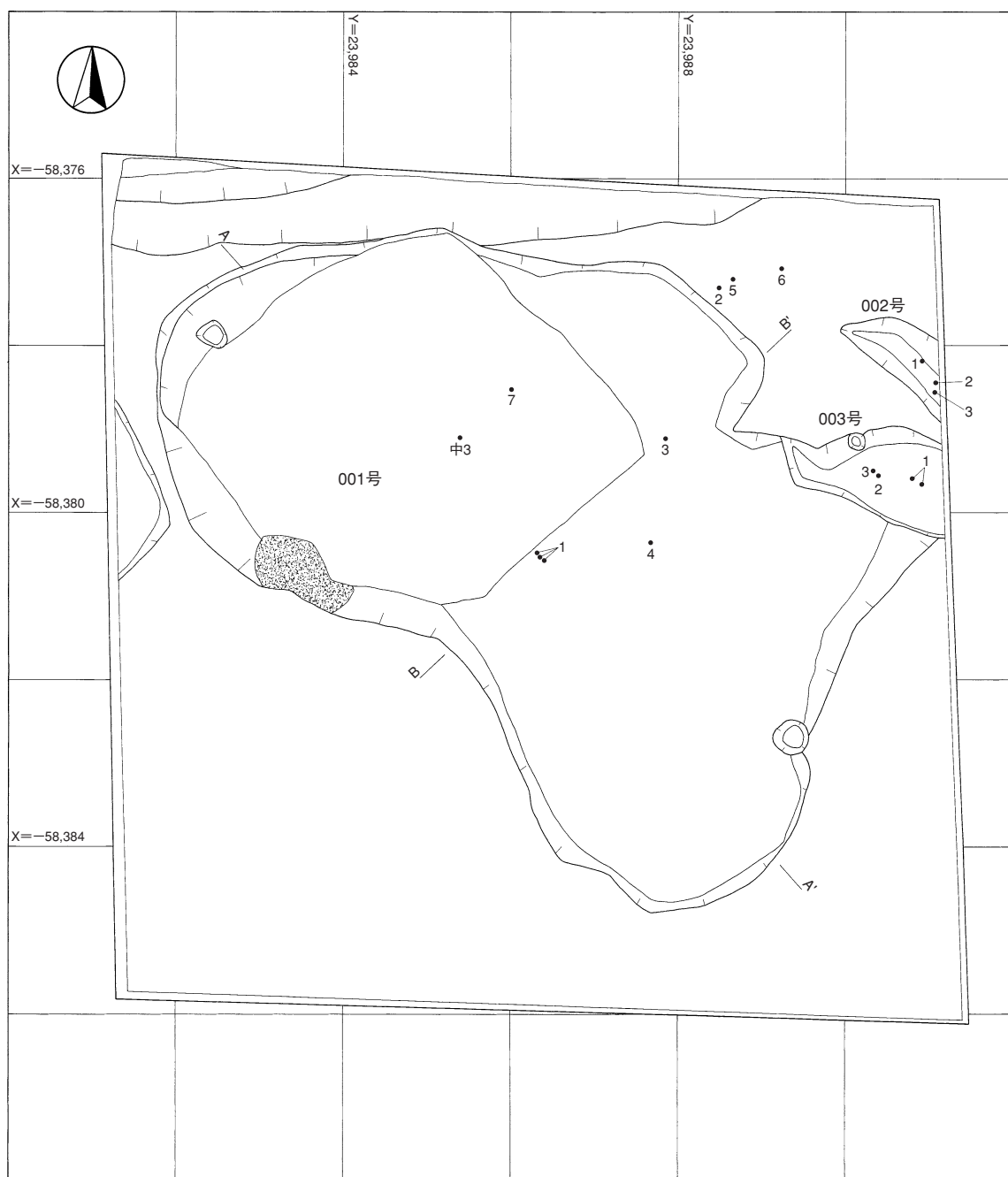
構造 掘り込みが浅く、北西側で途切れている。蛇行しており、深さも一定していない。流路の可能性が高いと思われる。遺物は、底面直上から土師器杯 1、須恵器杯 3、覆土中より土師器杯 2 が出土している。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、9 世紀中～後葉頃に比定されるか。

003号跡（第115・116図）

位置 1 トレンチ内拡張部の北東側に位置する。方向は、座標北を基準にして N-74° —W 前後である。

形態 蛇行しながら、西側で途切れる浅い溝状遺構である。平面規模は幅1.1×現存長2.0m、深さ0.2m前後を測る。

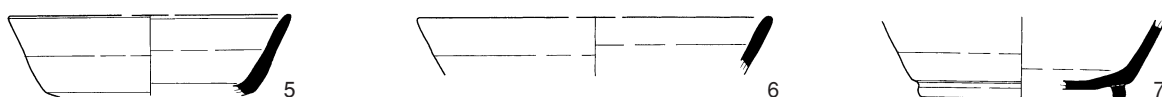
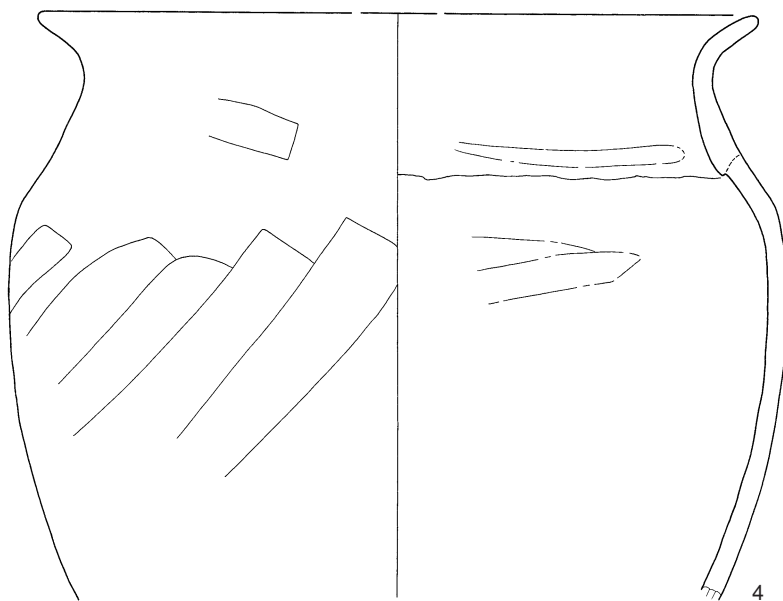
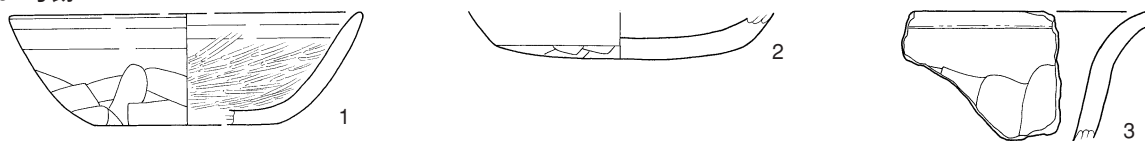
構造 掘り込みが浅く、西側で途切れている。蛇行しており、流路の可能性が高いと思われる。遺物は、底面直上から土師器杯 1・2、須恵器甕の口縁部 3 が出土している。2 は破片であり、体部に焼成後穿孔が施されている。補修孔であろうか。1 は古相であるが、混入であろう。3 は千葉市域産であろうか。帰属時期を判断する根拠に乏しいが、9 世紀前半頃まで遡るか。



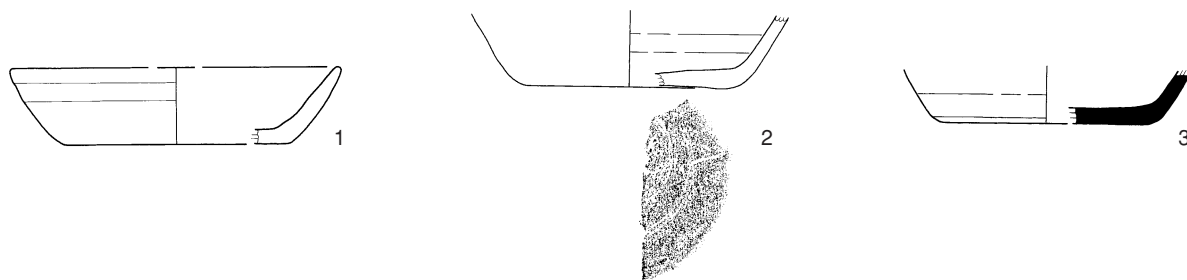
第115図 001号跡



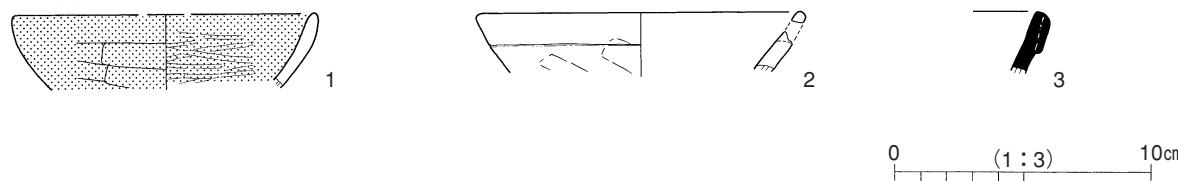
001号跡



002号跡



003号跡



0 (1 : 3) 10cm

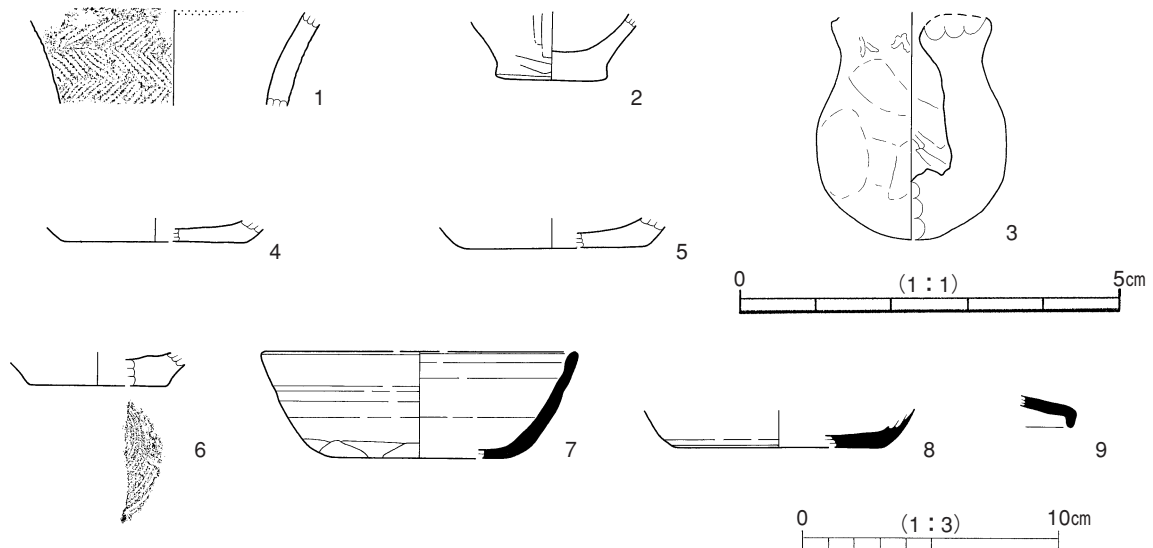
第116図 出土遺物

## 一括出土遺物

### 概要（第117図）

遺物の出土が極めて少なく、調査区一括遺物も同様である。本地点は、養老川中流域を望む沖積低地の西端部に位置し、北西300m程の位置に今富廃寺跡が存在するが古代期の遺物についても少量であった。一方、弥生時代の土器片が少量出土しているが、南西に迫る段丘面に存在する宮原堂谷遺跡や、布谷台遺跡等の集落遺跡からの流れ込みや、今富塚山古墳に関連する遺構が、周囲に存在することを示すものであろうか。

一括遺物 1 は弥生時代後期の壺片であろう。2 は古墳時代前期頃の小型甕片であろうか。3 はミニチュアの甕形土器であろう。古墳前～中期頃か。4・5 は土師器杯の底部、6 は底部回転糸切り無調整のロクロ土師器杯の底部である。7・8 は須恵器杯、9 は蓋の破片であろう。



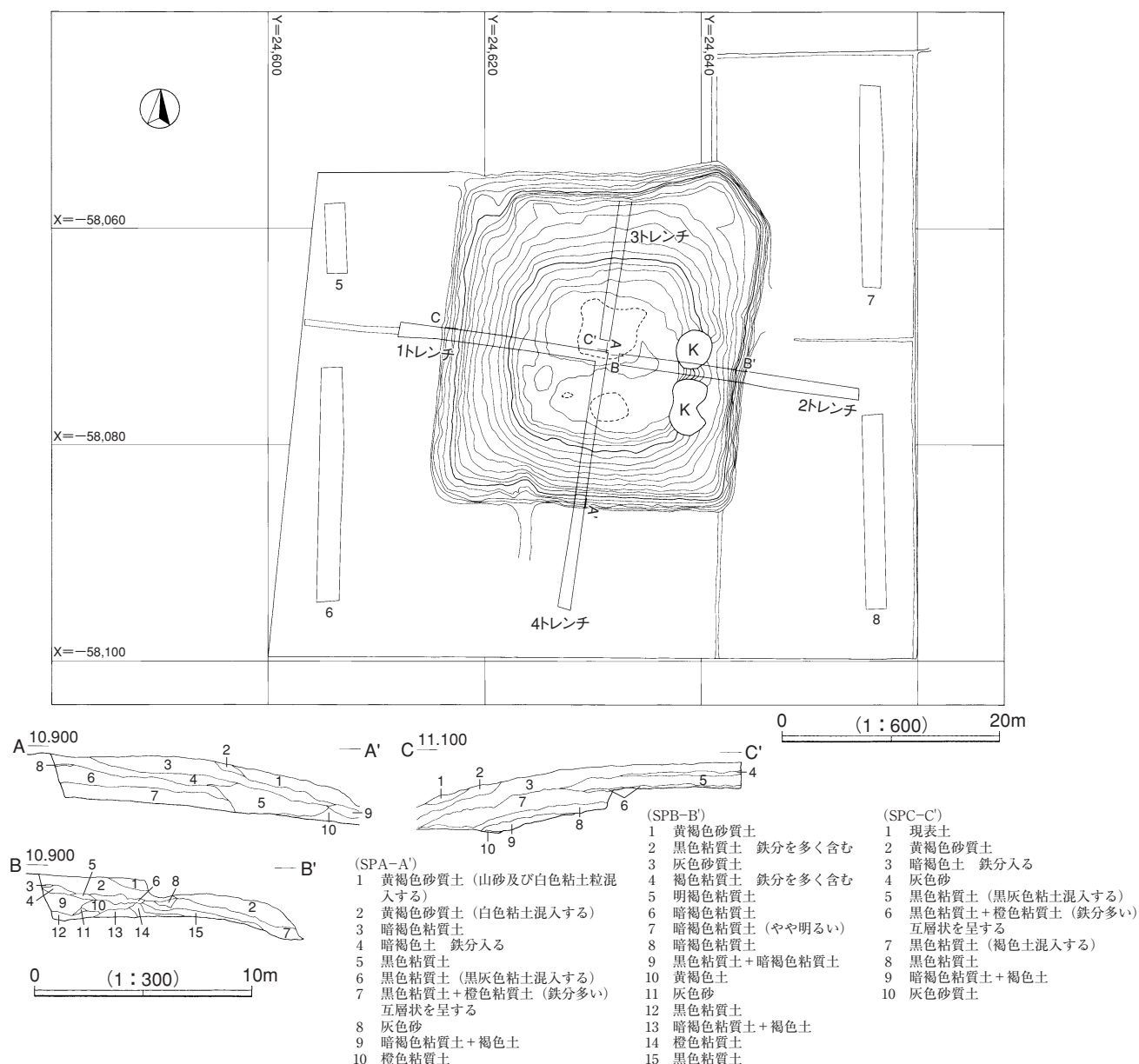
第117図 一括出土遺物

## 第20節 花やしき塚供養塚

### 概要

海上地区遺跡群において、ほ場整備事業として平成11年度に調査が行われた遺跡である。「花やしき塚」と呼ばれている方形を呈する供養塚の詳細な形状を把握するとともに、築造時期・目的及び古墳改変の可能性を含めた下層遺構の有無の確認が調査の主目的となった。確認調査トレンチは計8ヶ所あり、多数の埴瓦や礎石が出土した。礎石は塚の中央部に比較的近い位置から出土しており、一部に富士宝永テフラが付着していたと思われることから、近世前期（17世紀頃）を中心とした、塚に伴う小祠の礎石であろうか。ちなみに、中世期まで遡る遺物は殆ど出土していない。

塚の周囲に拡張したトレンチから周溝と思われる遺構は確認されず、古墳等の改変によるものではないと思われる。また、塚内に設定したトレンチにおける下層遺構は確認されず、周囲のトレンチからも遺構は確認できなかった。これらのことから、花やしき塚供養塚は、古墳等の改変の影響を受けない近世期に築造された塚である可能性が高いと思われる。



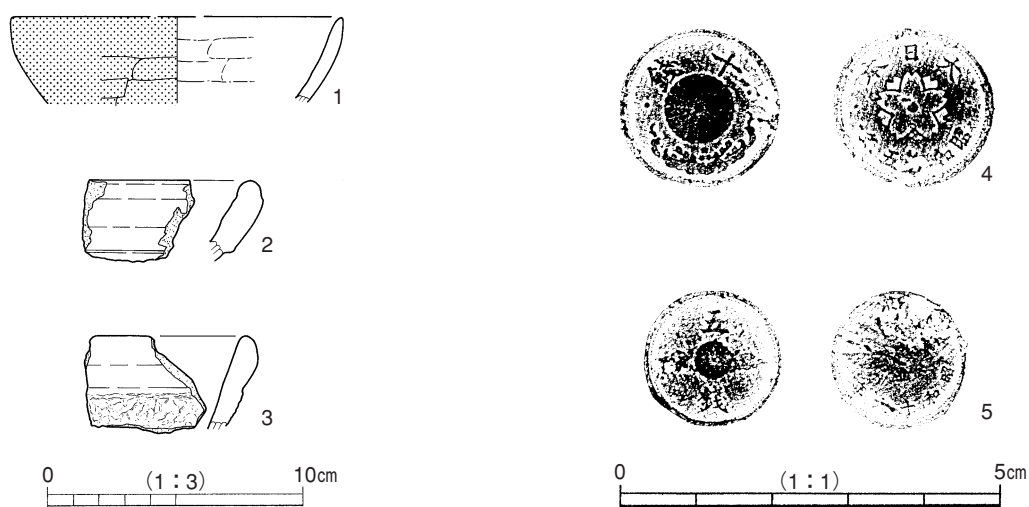
第118図 グリット配置図、断面図

## 一括出土遺物

### 概要（第119図）

遺物の出土が極めて少なく、調査区一括遺物も同様である。また、中世期の遺物についても殆ど出土しなかった。

出土遺物は、先述した棧瓦や人頭大の礎石の他に、一括遺物として外面に赤彩を施した土師器杯 1 や焙烙の口縁部 2・3 及び昭和初期の十銭貨 4・五銭貨 5 などが出土している。



第119図 一括出土遺物

## 第3章 遺物の分析

### 第1節 遺物組成から見た中世の海上地区遺跡群

今回整理対象にした調査区は、穀倉地帯たる豊かな後背低地と、これを取り巻く養老川南岸自然堤防と丘陵地帯に接した広大な範囲に点在するため、一地域社会全体の遺物様相を俯瞰しうるものである。本稿では出土陶磁器類の組成を提示し、その比較から各地区ごとに中世村落の動向を探ってみた。そのためには同一の消費様相を示すエリアごとに遺物組成を示す必要があるが、トレンチを中心にした調査のため、中世遺跡の全体像は明らかにできず、遺構群から消費ブロックを想定することは困難であった。そこで、近接する調査区をまとめA～Fまでの六地区に大別し（第128図）、各々の遺物組成を比較・検討することにした。ただしこの六地区は必ずしも中世村落の居住域をそのまま示すものと言いきれないため、六地区遺物群の消費主体たる村落推定地を第129図に示した。

遺物群は各地区ともに、中世前期と後期の二群に大別でき、それぞれ1群・2群として捉えている。以下、この点を踏まえながら、各地区の消費様相に触れてみたい。

**A区：**後背低地南端・西端の丘陵裾一帯であるが、陶磁器類は総数32点と少なく、全て微高地・丘陵からの流れ込みである。うち24点（75%）は、西側の宮原地区丘陵隣接地である宮原遺跡A地点（セ286地区）から出土しており、神代城跡・分目要害城跡の所在する南側丘陵よりも、中世を通じて村落発展が顕著な地域と思われる。A区遺物群の組成は、宮原地区中世村落の動向を示すものと解釈したい。

遺物群は量の少なさから詳細不明と言わざるを得ないが、1群が7点で、14世紀中葉から15世紀前葉にわたる空白期がある。2群は15点で1群より量的に倍増し、瀬戸・美濃大窯第1段階並行期にピークを置くが、近世まで一定の消費が続いたものと推察できる。

宮原地区丘陵には、12世紀後葉を画期に人民の居住地域が成立したものと思われる。これは14世紀に一旦衰退か、何らかの変動を経たものと思われるが、15世紀後葉に村落編成が再度活発化し、瀬戸大窯期を通じ近世村落へ直接移行したものと考えられる。

**B区：**後背低地西端の微高地突端に接する。遺物はわずか3点のみで（表5）、すべて西側からの流入と思われる。詳細を検討できる状態ではないが、2点（常滑5型式片口鉢・古瀬戸前期様式Ⅲ期水注）については編年がおおむね重なることから、同一の消費個体群として1群に捉えた。特殊調度品（水注）の存在から、13世紀中葉頃、後背低地（生産地）と養老川自然堤防上（集落）を見渡せる微高地突端の高所（B区西側の景勝地）に、例えば信仰に関わるような空間が営まれた可能性がある。

**C区：**微後背低地に北面する養老川自然堤防は幅広く安定し、古代から居住域として重視されてきたものと考えられる。この自然堤防は、後背低地からの出水路による谷で中央から東西に分断されているので、地形的な制約から、西側をC区、東側をD～F区に分けた。

C区は自然堤防を縦断する現道により南北に分かれるが、北側の十五沢坊ヶ谷遺跡A1・2地点（セ261・282）出土の陶磁器類はわずか7点のみで、残る49点は直接低地に接した南側からの出土である。このような集落位置の決定は、耕地に直面した地点の選択と、養老川の水害回避が要因である

うか。

1群は14点で、型式の明確な遺物は常滑5・6a型式期にまとまり（グラフ47）、1b群に細別した。しかし全体の陶磁器産地組成は渥美製品が一定量含まれ（グラフ3）、常滑1b型式並行期の渥美製品も存在することから、同期の渥美製品も一定量含まれる可能性が高く、1a群を設定した。1群全体としては、貿易陶磁を含み、瓶類も一定量入っている（グラフ32）。壺の組成比率も他地区より多いので、瓶類も含めた特殊調度品としての比率は、組成主体を構成する。中世前期における西上総の農村に、比較的多くの輸入磁器が普及している事実はすでに指摘されているが<sup>(1)</sup>、青白磁梅壺などの高級品や特殊調度品の存在から察するに、領主階級の近在か、あるいは村落内に富裕百姓の成長を想定する余地がある。

あくまでも傾向としてだが、C区もやはり常滑6b・7型式並行期に空白があり、8型式並行期から近世まで細々と遺物消費が継続していくようなので、これを2群と捉えた（グラフ47）。2群は23点あり、1群より消費量が倍増するが、生産地別のバラエティーに欠け（グラフ23）、茶・花・香などの嗜好品も一切入らないため（グラフ41）、村落内でも低階層の消費に限定された感がある。

この地区の居住域たる土地利用は12世紀中葉から始まり、13世紀中葉に中世村落として成長する画期があったと推定でき、構成員の階層化も進行したのであろう。しかしこの集落は、13世紀を境に一旦断絶、あるいは何かしらの画期があったと思われる。13世紀後葉以降は近世まで少数ながらも安定した遺物消費を見せ、近世村落へ直接移行したのと考えられる。しかし遺物組成の検討に加え、C区全域において中世遺構群としての明瞭な把握ができなかったことも併せ考えると、中世後期においては村落縁辺の閑散とした景観を呈したのではないだろうか。

D区：養老川が南北から東西方向へクランクする部分、D・E・F区に続く安定した自然堤防上にある。しかしこの堤防は後背低地からの出水により小谷で東西に分断されており、それぞれ西野・小折集落として集村化してきた。C区はこの小谷部分（字境）を占めるため、確認調査で終了したこともあり、遺物は28点と少ない。すべて西野・小折の村落から流入したものである。よって組成は基本的にE区と類似する。ここでは1群の比重が高く、14世紀に遺物の断絶があり、古瀬戸後期様式Ⅳ期以降は一定の消費量をもって近世村落に継続すると見られるが、西野・小折両集落の総合傾向として捉えるに止めておく。

E区：西野の集村に南接した後背低地に位置するが、他より若干高さがあるため、古代の掘立柱建物跡や中世の火葬遺構などが検出された。中世集落の居住域はほとんど含まないにしても、耕作以外の土地利用がなされてきた地区である。活動の主体は北面自然堤防上の西野地区に集落を営んだ人々と思われ、遺物組成も間接的に西野地区中世集落のそれを指し示すと考えられる。

陶磁器類の総量218点のうち、1群は73点である。12世紀段階に一定量の型式がまとまる傾向にあるので、これを1a群、常滑4型式並行期以降を1b期に細別した（グラフ47）。1a群は劃花文系の青磁碗に代表される輸入磁器群が一定量入り、渥美産の壺など特殊調度類も認められ、上流階層の居住が想定される。さらに留意したいのはカワラケの消費量で、22%と組成主体を構成しており、村落人民とは隔絶した階級であったと思われる。

1b群では輸入磁器がさらに増加するが、優品と呼ぶべき個体から意匠の粗い個体まで様々であり、村落内の階層化を暗示するものと捉えた。カワラケは38%に増加し、最多器種となっている。

碗・皿・杯（輸入磁器に占められる比較的高価な品）と併せた供膳具として見ると、全体の50%を超えるので、饗宴の実施を想定しても良いのではなかろうか。

14世紀中葉には他地区同様に遺物の減少傾向が見られ、集落運営上の画期があったものと考えられるが、消費の断絶には至らず、2群に移行する。

2群は45点で1群より減少する。古瀬戸後期様式Ⅳ期並行期と大窯第4段階並行期にピークが分かれるため、それぞれ2a群と2b群に細別した。2a群は調理具と供膳具のバランスが取れ、安定した組成であるが（グラフ45）、カワラケの大量消費は行われなくなる。嗜好品の類もほとんど見られず、一般人民の消費形態を示すものと見られるが、2b群になると遺物量が少ないながらも一変し、天目茶碗や瀬戸黒の筒形茶碗などを含む茶・花・香用具が50%を占め、文化的嗜好性の向上が見て取れる。富裕階層、あるいは村落結合の核たる寺院などの消費であろうが、2群全体で見れば組成上の多様化を示し、多階層からなる集村経営の安定化と捉えうる。これらのことから、村落の動向を以下のとおり推測する。

西野地区自然堤防上は、12世紀中葉頃から領主階級の活動拠点が置かれ、13世紀には施設の拡大があったものと思われる。おそらく人民の居住域もあり、13世紀には村落発展の動きもあった可能性があるが、中世前期における消費主体は寺院を含めた領主階級と思われる。しかし14世紀中葉に何かしらの変動があったのか、それ以降は一般の村落として発展したのであろう。この村落は一定面積内で比較的多様な消費様相を示す集村として発展し、近世の村落景観に結びついたものと考えられる。

F区：上記の西野地区に続く自然堤防上にあり、遺物組成もE区に類似することから、西野地区中世集落の一部として、E区遺物群とほぼ同一の消費主体によったものと考えられる。1群についてはやはりカワラケや輸入磁器が多く、備前系陶器の搬入など産地構成も多様である。2群は供膳具たる深皿類が少ない点でE区と異なるが（グラフ44）、これらの持つ調理鉢と同様の機能を重視すれば、ほぼ同様の組成と言えるだろう。

以上、各調査地区から中世村落の所在と発展過程を推測したが、各地区共通の傾向として、

- ① 1群は12世紀中葉と13世紀中葉にピークを持つこと
- ② 14世紀中葉に当たる遺物型式の減少・断絶傾向があること
- ③ 全体に1群の比重が高い傾向がある
- ④ 2群は少量ながらも安定した消費で近世まで継続

などが挙げられる。②については、在地土器の編年が未確定ゆえに編入不能なこと、未だ瀬戸・美濃系製品の大量流通に至らないこと、房総における常滑製品は6b型式以降、一時的に減少する傾向があること、などを要因として考慮すべきであるが、中世前期と後期の狭間にあって、体制側が地域編成秩序の再編を積極的に推し進めた時期<sup>②</sup>にも該当することから、中世後期村落と一線を画する画期として捉えた。もちろんE・F区遺物群の示すように、1群と2群が継続したと見られる地区もあるが、居住域として同一地域を占有したとしても、村落構造上は別個のものとする必要があろう。

また、E・F区の示す西野地区自然堤防は、中世前期において、領主館や寺院に代表される地域編成秩序の核施設が存在した可能性が高い。しかしその存続については現状で中世後期まで追えず、新たにここに成立した集村との関わりは全く不明である。主要部分は千葉県文化財センターによる発掘調査が実施されているので、その組成が明らかになれば、中世前期以来の地域編成秩序を担う施設の



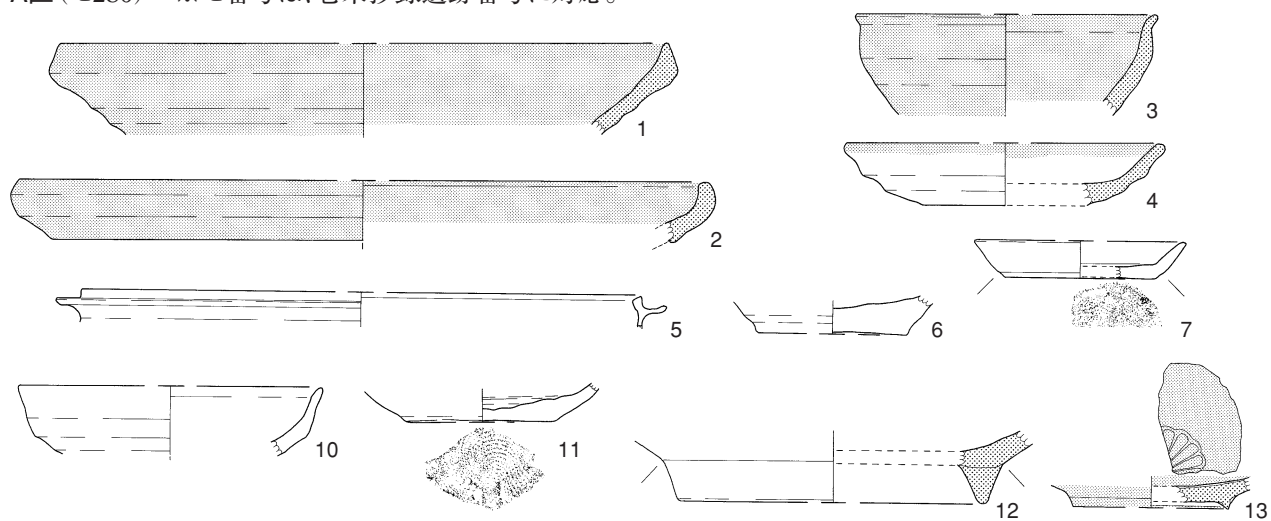
消長と、自治村落の動向について、さらなる検討が可能になることと思う。今後の成果に期待したい。

(櫻井敦史)

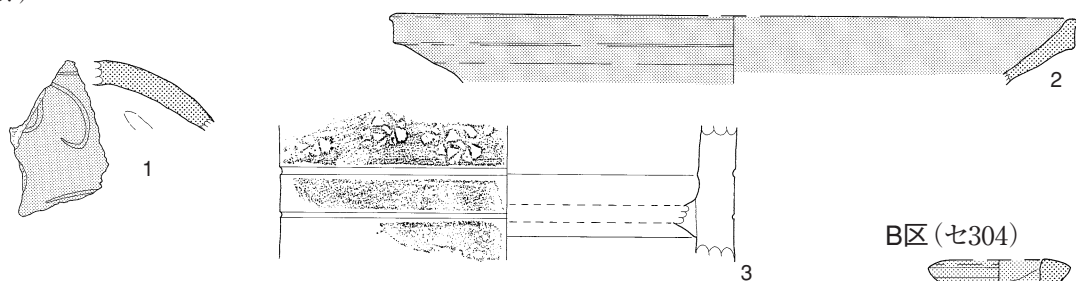
#### 註釈

- (1) 井上哲朗2004『中世房総やきもの市場』千葉県立房総のむら
- (2) 井原今朝男2003「室町期東国本所領荘園の成立過程」『国立歴史民俗博物館研究報告』第104集

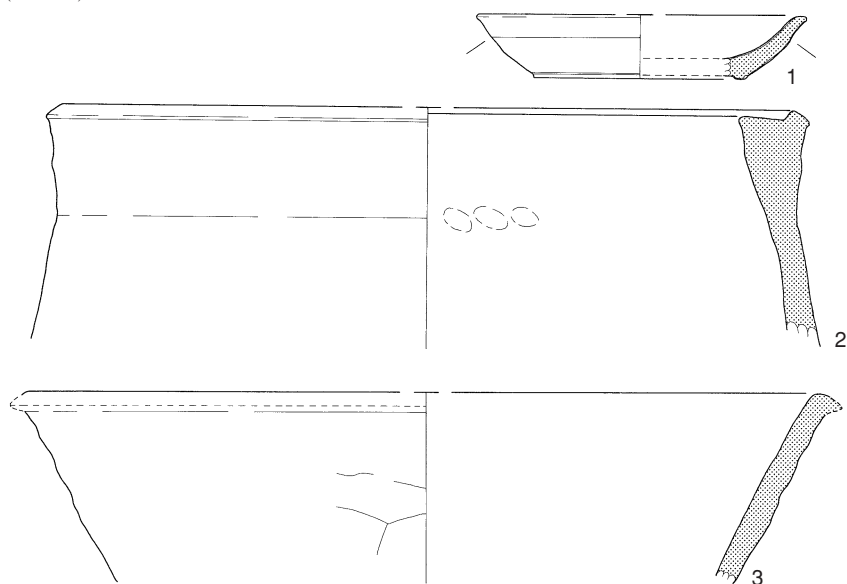
A区(セ286) ※セ番号は、巻末抄録遺跡番号に対応。



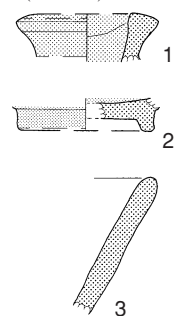
A区(セ287)



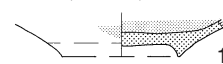
C区(セ282)



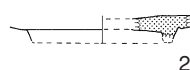
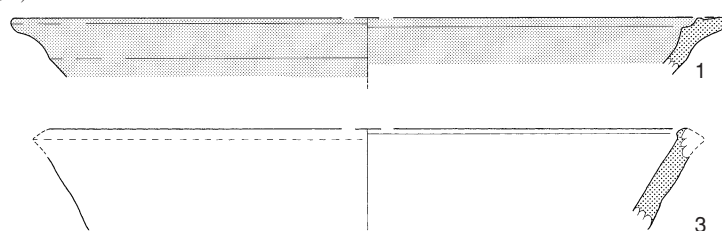
B区(セ304)



C区(セ283)



C区(セ284)



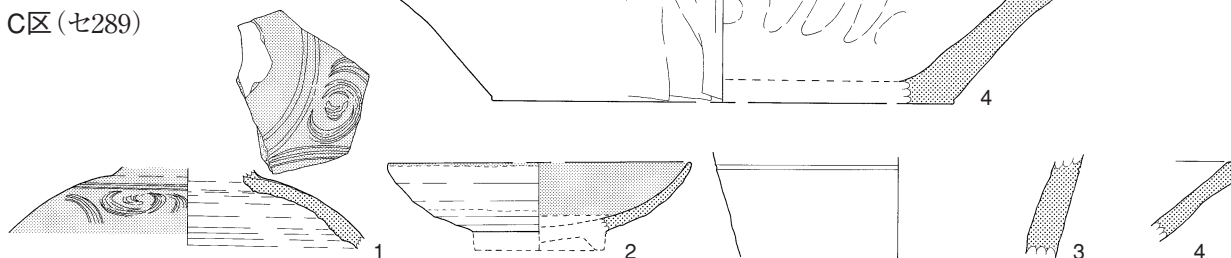
0 (1:3) 10cm

第120図 中世陶磁器類実測図①

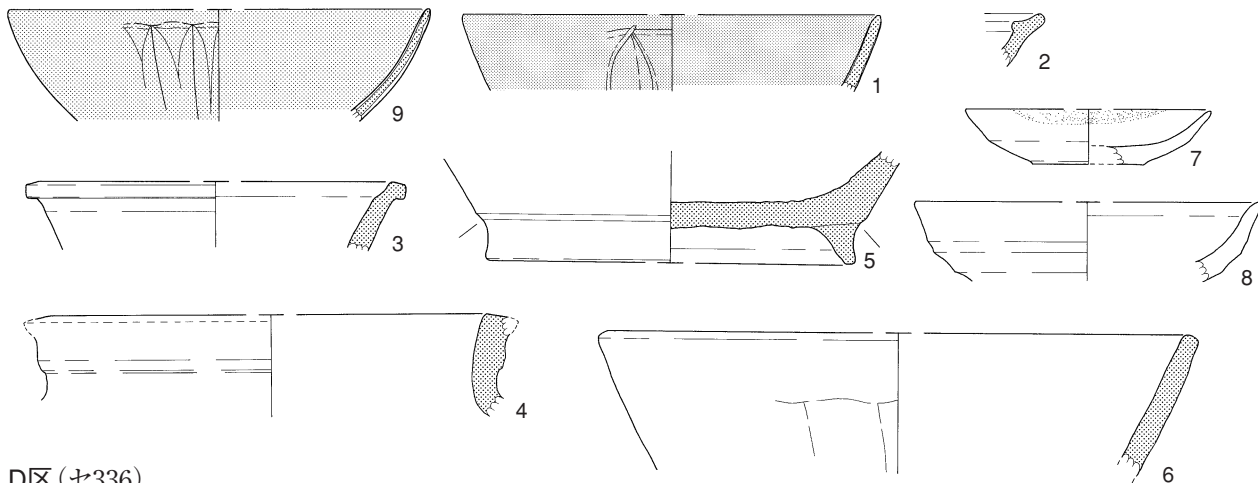
C区 (セ284)



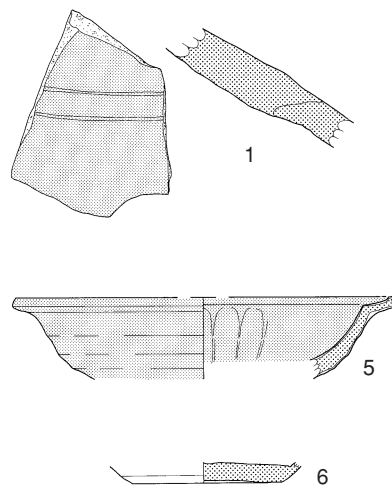
C区 (セ289)



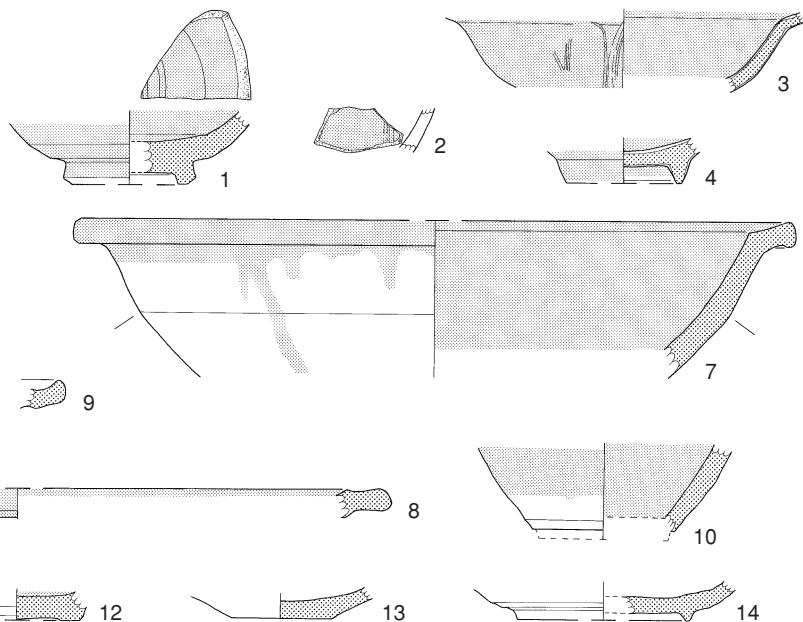
D区 (セ333)



D区 (セ336)



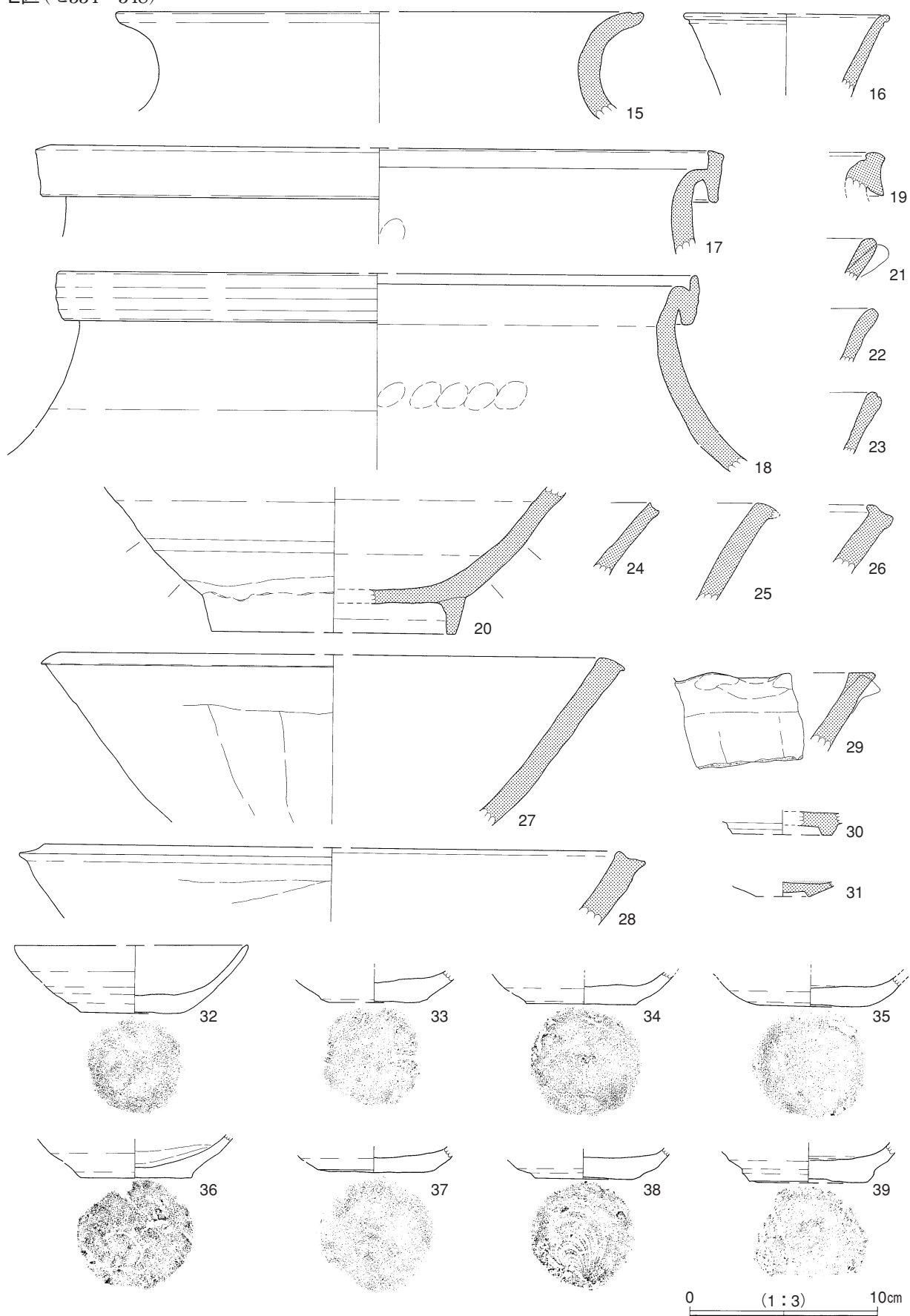
E区 (セ334・348)



0 (1:3) 10cm

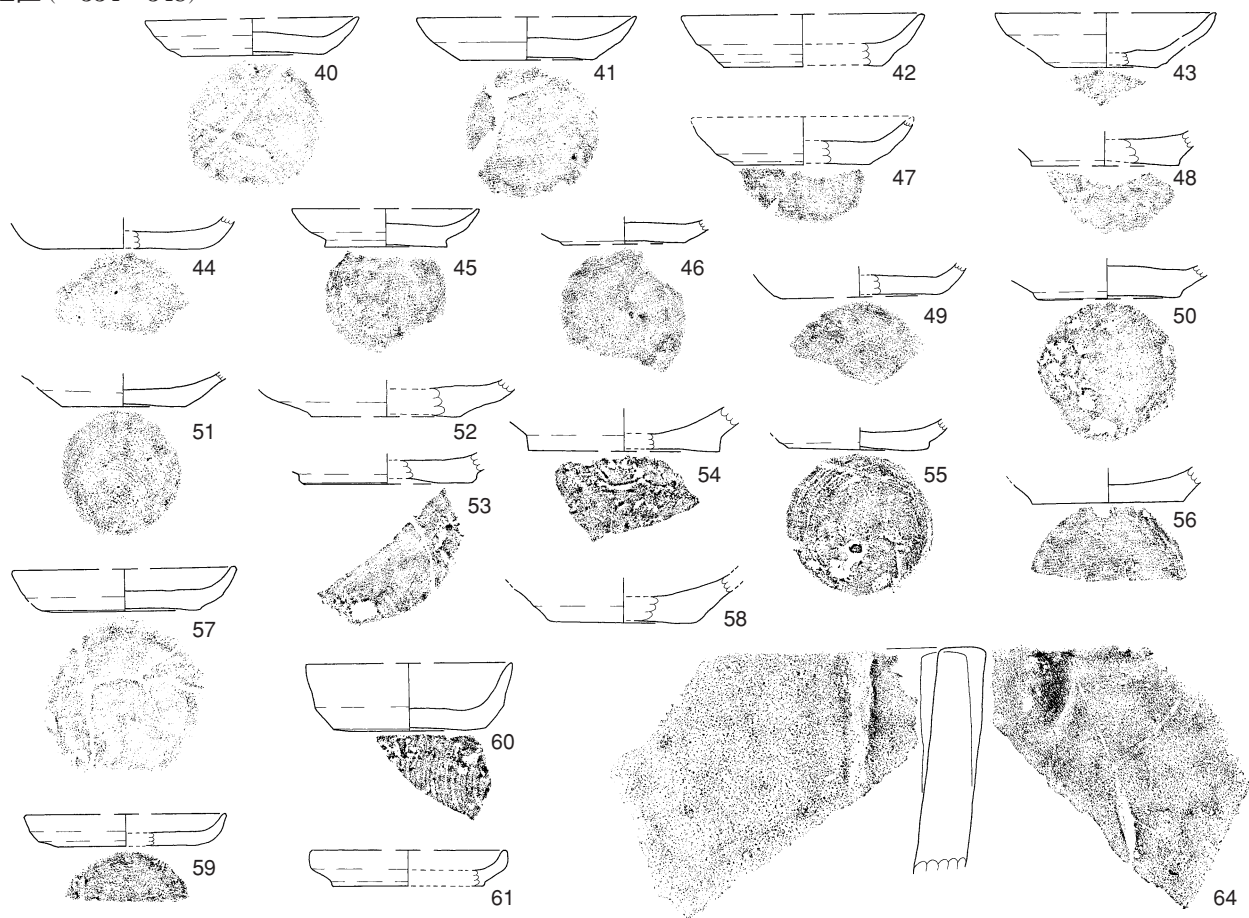
第121図 中世陶磁器類実測図②

E区(セ334・348)

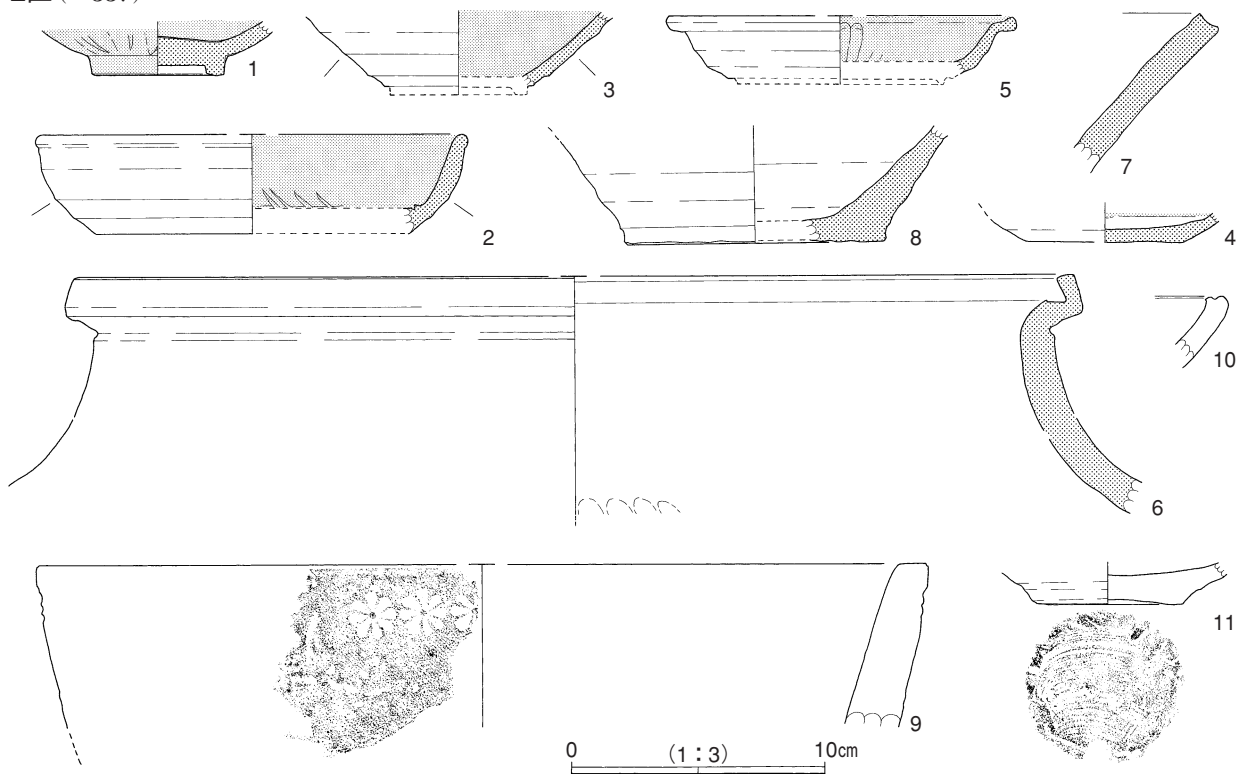


第122図 中世陶磁器類実測図③

E区(セ334・348)

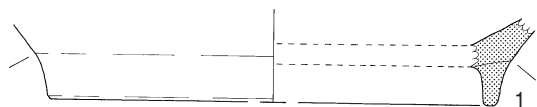


E区(セ337)

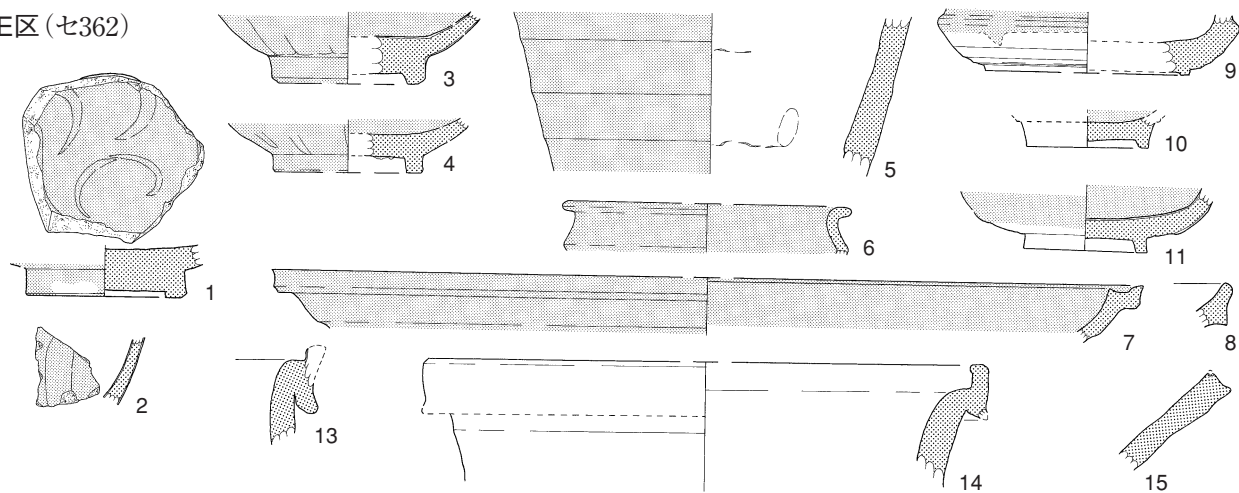


第123図 中世陶器類実測図④

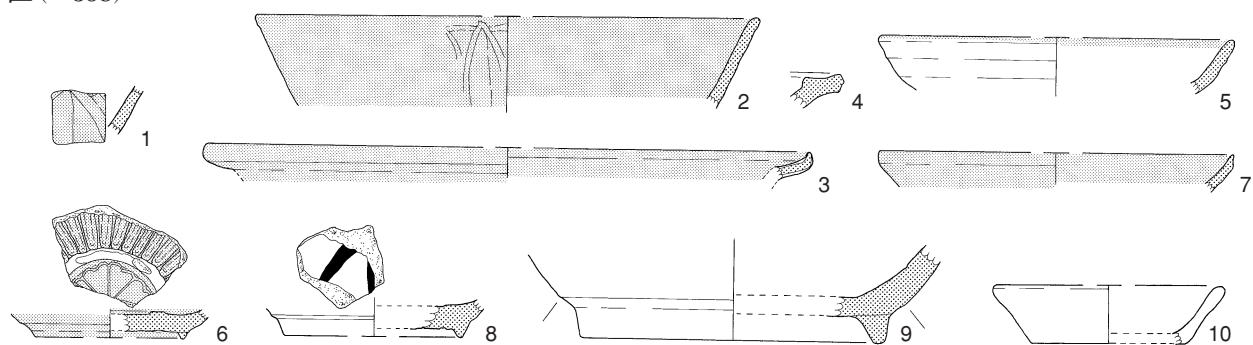
E区(セ350)



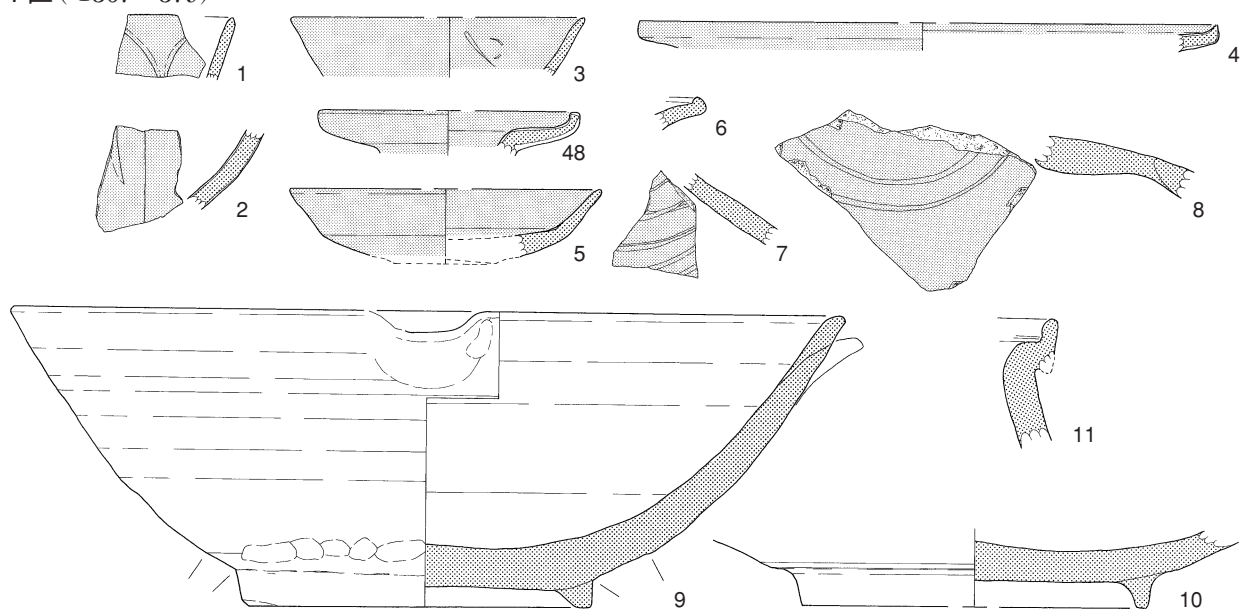
E区(セ362)



F区(セ358)



F区(セ367・379)

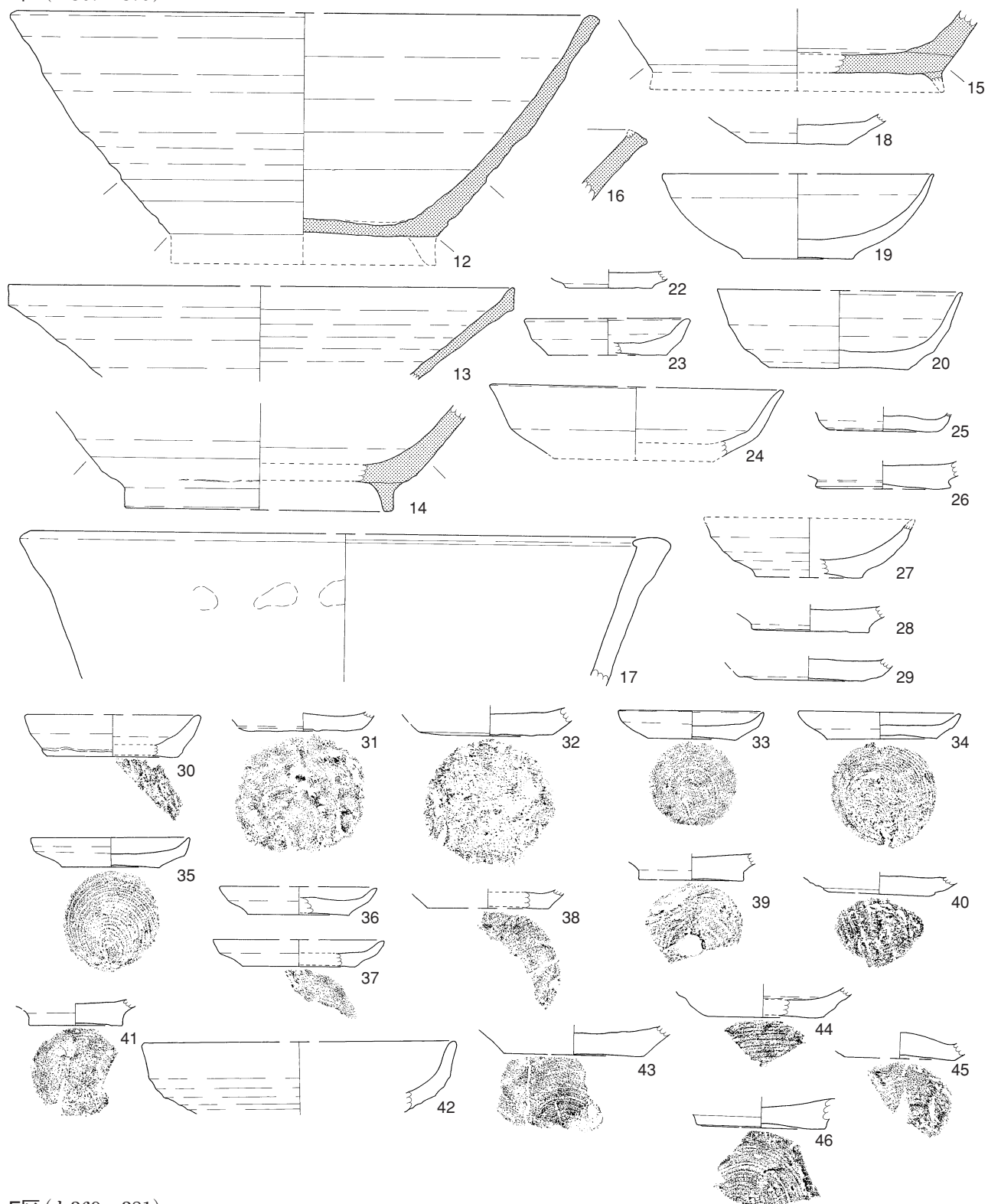


0 (1:3) 10cm

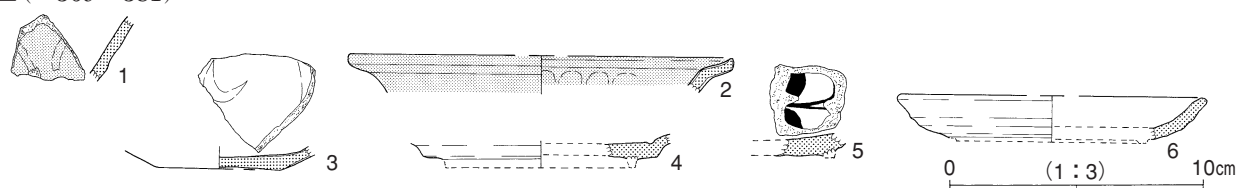
第124図 中世陶器類実測図⑤



F区(セ367・379)

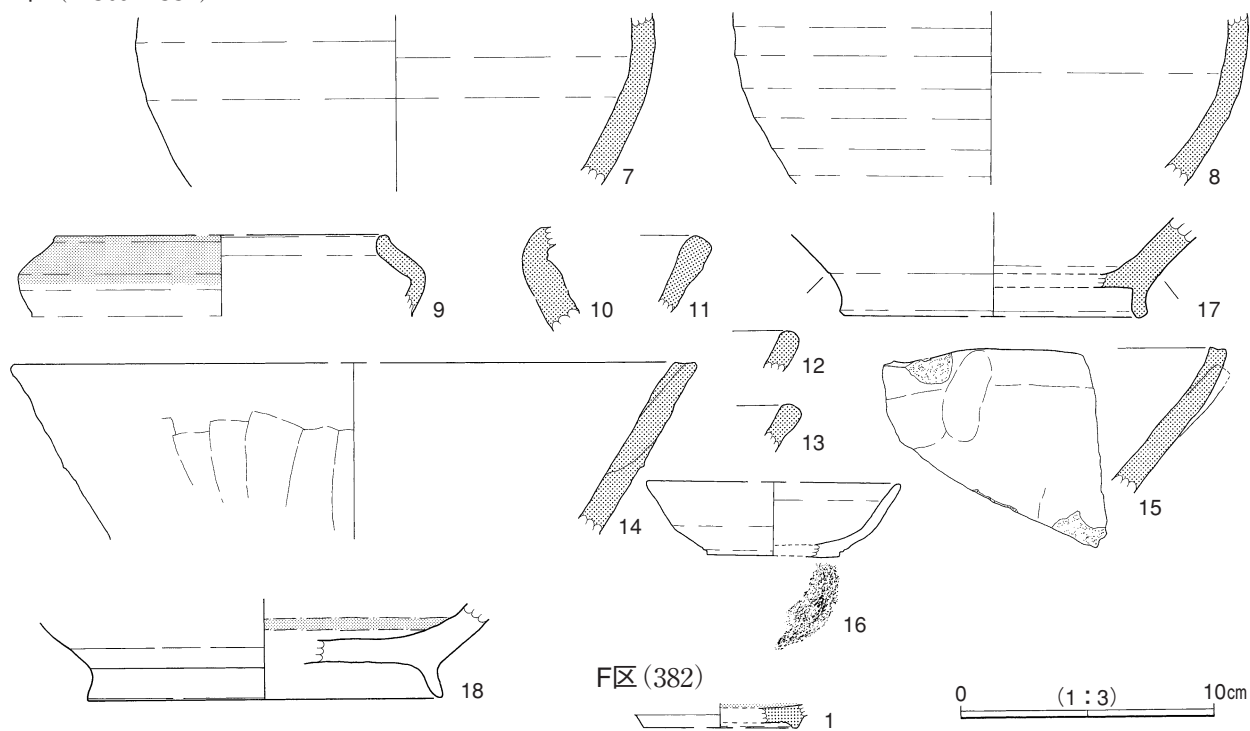


F区(セ369・381)



第125図 中世陶磁器類実測図⑥

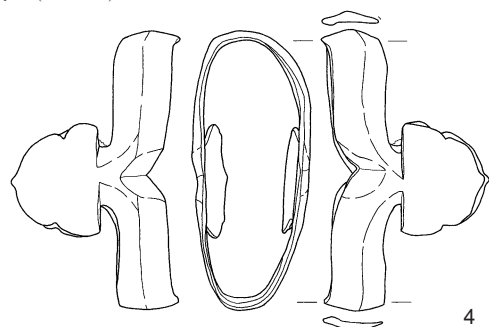
F区(セ369・381)



第126図 中世陶磁器類実測図⑦

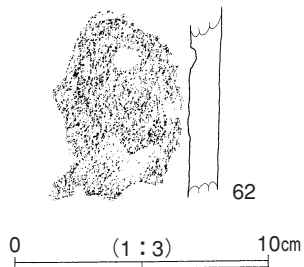
銅製品 太刀責金具

C区(セ289)



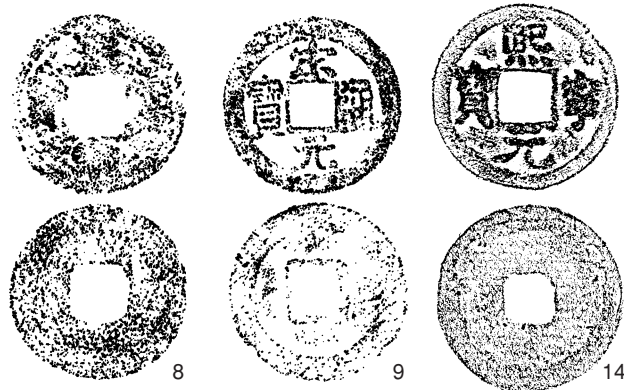
板碑

E区(セ348)



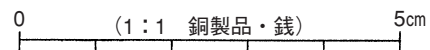
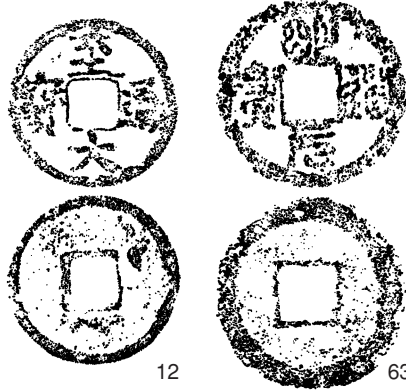
銭

A区(セ286)



E区(セ337)

E区(セ334・348)



第127図 中世金属製品・石製品実測図



# 第1表 中世実測遺物の観察表

## A区：セ286

※遺構欄のtはトレンチ ※セ番号は、巻末抄録遺跡番号に対応。 ( ) は復元値 単位：cm

| No. | 遺構    | 注記 | 種 別   | 器種   | 外面の特徴                               | 内面の特徴                            | 遺存度   | 焼成 | 色調                            | 器面/断面 | 口径     | 最大径    | 底径    | 器高  | 胎 土             | 時 期    | 備 考       |
|-----|-------|----|-------|------|-------------------------------------|----------------------------------|-------|----|-------------------------------|-------|--------|--------|-------|-----|-----------------|--------|-----------|
| 1   | J3Bt  | 2  | 瀬戸・美濃 | 描鉢   | 横ナデ、口縁断面三角形に擠み上げる<br>鬼板施釉           | 横ナデ、鬼板施釉                         | 破片    | 良  | 2.5YR3/1暗赤褐<br>/10YR8/3浅黄橙    |       | (23.9) | (24.9) | —     | —   | 白色小粒少           | 大窯1(前) |           |
| 2   | Z4Bt  | —  | 志戸呂   | 描鉢   | 口縁下部に折り返し状の突起あり 口縁部上方に伸びる 鬼板施釉      | 横ナデ、鬼板施釉                         | 破片    | 良  | 5YR4/3にぶい赤褐<br>/10YR7/3にぶい黄褐  |       | (27.0) | (27.8) | —     | —   | 黒色中粒多           | 大窯2(後) |           |
| 3   | Ht    | 3  | 志戸呂   | 天目茶碗 | 口縁部外反する 鉄釉施釉                        | 鉄釉施釉                             | 破片    | 良  | 5YR2/2黒褐/2.5Y7/1灰白            |       | (11.9) | (12.0) | —     | —   | やや密で焼き締まる 白色小粒少 | 大窯4    |           |
| 4   | E4t   | —  | 瀬戸・美濃 | 緑釉皿  | 体部丸みを帯び、横ナデ痕顕著 口縁部灰釉施釉2.5Y8/2灰白、カセる | 口縁部灰釉施釉 体部に粒状に鉄釉降下する 天目茶碗の重ね焼き痕か | 1/4以下 | 良  | 5YR6/6橙/2.5Y8/灰白              |       | (12.4) | (12.7) | (6.4) | 2.5 | やや粗、白色小粒含む      | 大窯1    | 内面使用による磨耗 |
| 5   | E1t   | 1  | 東海系土器 | 羽釜   | 薄手で鐏をナデ調整                           | 横方向ナデ、口縁部面取り                     | 破片    | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙<br>/10UR7/2にぶい黄橙 |       | (22.0) | (24.1) | —     | —   | 密で石英小粒微量        | 15c後葉  |           |
| 6   | D-2At | —  | 土師質土器 | カワラケ | 底部右回転糸切痕無調整で、一部に網代状圧痕付く 底部若干突出      | 見込みナデない 中央窪む                     | 破片    | 良  | 7.5YR4/2灰褐<br>/7.5YR6/4にぶい橙   |       | —      | —      | (5.8) | —   | 海微量、金雲母多        | 12c 末  |           |
| 7   | E4区   | 一括 | 土師質土器 | カワラケ | 底部糸切痕ナデ消す 底部突出しない                   | 見込み横方向ナデ、平坦で体部から直線的に立ち上がる        | 破片    | 良  | 2.5Y6/4にぶい黄                   |       | (8.0)  | (8.3)  | (6.0) | 1.5 | 海微量 金雲母少        | 15c後葉  |           |

|     |      |         |       |       |                                   |                              |       |   |                             |  |        |        |        |   |               |         |           |
|-----|------|---------|-------|-------|-----------------------------------|------------------------------|-------|---|-----------------------------|--|--------|--------|--------|---|---------------|---------|-----------|
| 8・9 | 銭 表3 | No8・9参照 |       |       |                                   |                              |       |   |                             |  |        |        |        |   |               |         |           |
| 10  | F7t  | —       | 土師質土器 | カワラケ  | 体部やや球状に立ち上がり横ナデ痕残す 口縁下部やや強く横ナデ    | 口縁付近で直立気味に立ち上がり、口唇部横ナデし、やや鋭い | 破片    | 良 | 10YR5/4にぶい黄褐                |  | (11.9) | (12.0) | —      | — | 海・石英小粒少 白色微粒多 | 12c 末   |           |
| 11  | F7t  | 1       | 土師質土器 | カワラケ  | 底部若干突出、右回転糸切痕無調整、体部丸みを帯びる         | 見込み横方向にナデるが不徹底               | 1/4以下 | 良 | 10YR5/3にぶい黄褐                |  | —      | —      | (6.0)  | — | 海微量、白色小粒多     | 13c 前葉か |           |
| 12  | H2t  | 1       | 常滑    | 片口鉢Ⅰ類 | 断面三角形の高台を丁寧に付ける 体部下位へラ削り調整、若干湾曲する | 横ナデ                          | 破片    | 良 | 2.5Y8/1灰白                   |  | —      | —      | (12.0) | — | 長石中粒少、やや粗     | 2型式     | 内面使用による磨耗 |
| 13  | H2t  | 1       | 瀬戸・美濃 | 丸皿Ⅰ類  | 断面三角形の付高台、全面灰釉施釉                  | 見込み印花文、全面施釉、釉層厚く貫入           | 1/4以下 | 優 | 10Y6/2オリーブ灰(光沢あり)/10YR8/1灰白 |  | —      | —      | (6.1)  | — | やや粗           | 大窯2     |           |

## セ287

|   |      |   |       |    |                                      |                           |    |   |                             |  |        |        |   |   |              |        |                    |
|---|------|---|-------|----|--------------------------------------|---------------------------|----|---|-----------------------------|--|--------|--------|---|---|--------------|--------|--------------------|
| 1 | D8t  | — | 瀬戸・美濃 | 瓶子 | 劃花文描く 灰釉施釉、貫入あり                      | 横ナデ、輪積部の指頭圧痕一部残る          | 破片 | 優 | 10Y5/2オリーブ灰(光沢)/2.5Y7/3浅黄   |  | —      | —      | — | — | やや密で硬質、微黒粒含む | 中Ⅱ期    |                    |
| 2 | D7t  | — | 瀬戸・美濃 | 描鉢 | 口縁断面三角形状で下方及び口唇部若干突出、鬼板施釉            | 口縁下をやや強く横ナデ               | 破片 | 良 | 7.5YR3/1黒褐<br>/10YR7/4にぶい黄橙 |  | (26.4) | (27.2) | — | — | 長石粒少         | 大窯1(後) |                    |
| 3 | G12t | — | 土師質土器 | 火桶 | 筒状の胴部に2条1組の沈線を巡らし、上下に印花文を押印する その後横ナデ | 円盤状の底部をはめ込み、内面側の接合部を強く横ナデ | 破片 | 良 | 2.5Y7/2灰黄                   |  | —      | (17.9) | — | — | 海微量、石英微粒含む   |        | 内面被熱で変色2.5YR5/6明赤褐 |

## B区：セ304

|   |       |      |       |      |                       |                |    |   |                          |  |       |   |       |   |           |     |  |
|---|-------|------|-------|------|-----------------------|----------------|----|---|--------------------------|--|-------|---|-------|---|-----------|-----|--|
| 1 | 表採    | 6001 | 瀬戸・美濃 | 水注   | 口縁部面あり、外側に尖る 灰釉施釉     | 頸部へラケズリ調整、灰釉施釉 | 破片 | 優 | 5Y5/4オリーブ灰(光沢)/2.5Y7/1灰白 |  | (3.7) | — | —     | — | 密で焼き締まる   | 前Ⅲ期 |  |
| 2 | 5t    | 6001 | 瀬戸・美濃 | 丸碗   | 削り出し高台、灰釉施釉するが高台～底部露胎 | 灰釉施釉、釉層厚く貫入あり  | 破片 | 良 | 7.5Y7/2灰白/10YR8/2灰白      |  | —     | — | (5.5) | — | 石英微粒微量    | 大窯3 |  |
| 3 | 001周辺 | 7    | 常滑    | 片口鉢Ⅰ | 横ナデ、口縁下を若干強くナデる       | 横ナデ            | 破片 | 良 | 2.5Y6/2灰黄                |  | —     | — | —     | — | やや粗、白色中粒多 | 5型式 |  |

## C区：セ282

|   |    |    |    |       |                                                         |                                |       |   |                              |  |        |        |       |     |                  |      |           |
|---|----|----|----|-------|---------------------------------------------------------|--------------------------------|-------|---|------------------------------|--|--------|--------|-------|-----|------------------|------|-----------|
| 1 | 7t | 4  | 志野 | 丸皿    | 口縁下部を強く横ナデし、口縁外反 体部～底部、回転へラケズリ調整、削り出し高台、志野釉を高台畳付も含め全面施釉 | ゆるい球状、志野釉全面施釉、貫入あり             | 1/4以下 | 優 | 7.5Y8/1灰白 (光沢)/2.5Y8/2灰白     |  | (12.7) | (13.0) | (8.3) | 2.5 | やや密で白色小粒少        | 大窯4  |           |
| 2 | 7t | 6  | 常滑 | 甕     | 口縁縁帯が胴部に密着する 縁帯上端が突出 器面にテリあり                            | 口縁内面の端部が鋭角で内側にせり出す 体部は丁寧に横方向ナデ | 破片    | 優 | 10R4/4赤褐/N7/灰白               |  | (24.6) | —      | —     | —   | 常滑としては密で、長石中～小粒多 | 12型式 |           |
| 3 | 4t | 34 | 常滑 | 片口鉢Ⅱ類 | 縦方向へラケズリ後、口縁下部を幅広く横方向ナデ、口縁端部は下方向にのみ張り出す                 | 横方向ナデ                          | 破片    | 良 | 2.5YR4/4にぶい赤褐<br>/7.5YR5/1褐灰 |  | (30.8) | —      | —     | —   | 長石・白色大粒含む        | 9型式  | 内面使用による磨耗 |

## セ283

|   |     |   |     |      |                                 |              |    |   |                           |  |   |   |       |   |          |     |  |
|---|-----|---|-----|------|---------------------------------|--------------|----|---|---------------------------|--|---|---|-------|---|----------|-----|--|
| 1 | 14G | 1 | 志戸呂 | 丸皿Ⅱ類 | 削り込み高台で高台径狭い 体部中位以上に鉄釉施釉、釉層薄く安定 | ゆるい球状、鉄釉全面施釉 | 破片 | 優 | 7.5YR3/3暗褐 (光沢)/2.5Y7/2灰黄 |  | — | — | (4.6) | — | 密で白色小粒含む | 大窯4 |  |
|---|-----|---|-----|------|---------------------------------|--------------|----|---|---------------------------|--|---|---|-------|---|----------|-----|--|

## セ284

|   |    |    |       |      |                  |                       |    |   |                        |  |        |        |   |   |         |     |  |
|---|----|----|-------|------|------------------|-----------------------|----|---|------------------------|--|--------|--------|---|---|---------|-----|--|
| 1 | 8G | 66 | 瀬戸・美濃 | 折縁深皿 | 横ナデ、口縁外側に突出、灰釉施釉 | 口縁部折り返し、中央に小突起巡る 灰釉施釉 | 破片 | 良 | 2.5Y7/3浅黄/10YR7/4にぶい黄橙 |  | (26.2) | (28.2) | — | — | 白色大～小粒少 | 後Ⅱ期 |  |
|---|----|----|-------|------|------------------|-----------------------|----|---|------------------------|--|--------|--------|---|---|---------|-----|--|

| ( )は復元値 単位:cm |     |    |     |       |                                                     |                                   |       |    |                         |        |        |        |      |          |     |           |
|---------------|-----|----|-----|-------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------|-------|----|-------------------------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----------|
| No.           | 遺構  | 注記 | 種 別 | 器種    | 外面の特徴                                               | 内面の特徴                             | 遺存度   | 焼成 | 色調 器面/断面                | 口径     | 最大径    | 底径     | 器高   | 胎 土      | 時 期 | 備 考       |
| 2             | 12G | 11 | 美濃  | 内壳皿   | 体部～底部回転ヘラケズリ調整、削り出し高台、底部付近～底部無釉                     | 灰釉施釉、見込み蛇の目状釉ハギ                   | 破片    | 良  | 5Y7/3浅黄/2.5Y7/1灰白       | —      | —      | (5.5)  | —    | 微黒粒少     | 連房Ⅱ |           |
| 3             | 18G | 8  | 常滑  | 片口鉢Ⅱ類 | 体部縦方向ヘラケズリ後口縁下方横方向ナデ、口縁端部に平坦面を持ち、内側に若干突出の兆しあり       | 口縁平坦面の突出直下に棒状工具によるナデ痕あり           | 破片    | 良  | 2.5YR4/4にぶい赤褐/10YR5/1褐灰 | (25.2) | (26.5) | —      | —    | 長石中粒多    | 8型式 |           |
| 4             | 007 | 1  | 常滑  | 片口鉢Ⅱ類 | 体部上方向ヘラケズリ後口縁下方横方向ナデ、口縁端部に平坦面を持ち、内側に若干、外側に少し突出の兆しあり | 立ち上がり部強く横方向にナデ、胴部下位に長く、上位に短い指頭痕残す | 1/4以下 | 良  | 5YR6/6橙/5YR5/1褐灰        | (39.7) | (41.8) | (18.2) | 12.4 | 小礫・長石大粒多 | 9型式 | 内面使用による磨耗 |

## セ289

|   |     |   |       |     |                                  |                             |       |   |                  |        |        |   |   |           |             |           |
|---|-----|---|-------|-----|----------------------------------|-----------------------------|-------|---|------------------|--------|--------|---|---|-----------|-------------|-----------|
| 1 | 10G | 5 | 青白磁   | 梅瓶  | 青白磁釉施釉5G7/1明緑灰 小気泡入る             | 棒状工具で横ナデ 青白磁釉を薄く刷毛塗り        | 破片    | 優 | N8/灰白            | —      | —      | — | — | 密で硬質      |             |           |
| 2 | 9t  | 7 | 肥前系陶器 | 皿   | 胴下位回転ヘラ削り調整、透明釉                  | 胴縁釉施釉7.5Y5/3灰オリーブ、見込み蛇の目釉ハギ | 1/4以下 | 良 | 10/1灰白           | (11.8) | (12.0) | — | — | 密で硬質      | Ⅲ期 (17 c 後) |           |
| 3 | 2G  | 1 | 渥美    | 壺   | 体部下位横方向ナデ調整、沈着巡る 灰釉垂下10Y5/2オリーブ灰 | 横方向ナデ                       | 破片    | 優 | 2.5Y2/1黒/5Y7/1灰白 | —      | —      | — | — | 微黒粒少      | 12 c 中葉     |           |
| 4 | 2G  | 1 | 瀬戸・美濃 | 片口鉢 | 口唇部下に溝入る                         |                             | 破片    | 優 | 10YR7/3にぶい黄橙     | —      | —      | — | — | 密で硬く焼き締まる | 前Ⅲ期         | 内面使用による磨耗 |

## D区：セ333

|   |     |       |        |       |                                                       |              |       |   |                         |        |        |        |     |               |         |           |
|---|-----|-------|--------|-------|-------------------------------------------------------|--------------|-------|---|-------------------------|--------|--------|--------|-----|---------------|---------|-----------|
| 1 | 28t | 001-3 | 龍泉窯系青磁 | 碗     | 全面施釉するが釉層はあまり厚くない 蓮弁を片切彫で刻出するが、鎬は明瞭でない                | 全面施釉         | 破片    | 優 | 10Y5/1灰/7.5Y7/1灰白       | (16.2) | (16.4) | —      | —   | 密で焼き締まる 微黒粒微量 | I-5b類   |           |
| 2 | 8t  | 3     | 瀬戸・美濃  | 描鉢    | 口唇部若干反、鬼板施釉                                           | 口縁下に突起、鬼板施釉  | 破片    | 良 | 7.5R3/1暗赤灰/2.5Y7/2灰黄    | —      | —      | —      | —   | 石英中粒微量        | 後Ⅳ (古)  |           |
| 3 | 3t  | 1     | 渥美     | 壺     | 口唇部面あり、若干突出                                           | 口唇付近をやや強くナデる | 破片    | 良 | N2/黒/N6/灰               | (14.9) | —      | —      | —   | 密、白色微粒微量      | 12 c    |           |
| 4 | 28t | 1     | 常滑     | 壺     | 口縁部の折り返しは形骸化し、口唇部は外側へ突出                               | 横方向ナデ、テリあり   | 破片    | 良 | 2.5YR5/4にぶい赤褐/2.5Y4/1赤灰 | (18.4) | —      | —      | —   | よく焼き締まる 白色中粒  | 12型式    |           |
| 5 | 28t | 2     | 常滑     | 片口鉢Ⅰ類 | 体部下面に幅広の右回転ヘラケズリ、付高台                                  | 横ナデ          | 1/4以下 | 良 | 2.5Y7/1灰白               | —      | —      | (14.6) | —   | 粗く、白色中～小粒多    | 4型式     | 内面使用による磨耗 |
| 6 | 22t | 2     | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 体部若干内湾しつつ立ち上がり、口唇部にぬるい面を持つ 体部縦方向ヘラケズリ後斜方向ナデ、口縁付近横方向ナデ | 横方向ナデ        | 破片    | 良 | 2.5Y7/1灰白               | —      | —      | (14.6) | —   | 粗く、白色中～小粒多    | 4型式     |           |
| 7 | 21t | 2     | 土師質土器  | カワラケ  | 体部丸く開き、口縁部をやや強くナデる 底部は若干突出、右回転糸痕無調整                   | 見込み軽く横方向ナデ   | 1/3   | 良 | 7.5YR6/6橙               | (9.6)  | (9.7)  | (4.2)  | 2.1 | やや粗、海微量 白色小粒多 |         | 灯明皿に使用    |
| 8 | 28t | 7     | 土師質土器  | カワラケ  | 体部丸く開き、横ナデ明瞭 口縁部をやや強くナデる                              | 見込み不明        | 破片    | 優 | 2.5YR5/6                | (13.5) | (13.7) | —      | —   | 海少、白色小粒・石英微粒  | 13 c 中葉 |           |
| 9 | 30t | 2     | 龍泉窯系青磁 | 碗     | 蓮弁を片切彫で刻出し数度にわたり青磁釉7.5GY6/1緑灰施釉 釉層厚い                  | 全面施釉         | 破片    | 優 | N8/灰白                   | (16.6) | (16.6) | —      | —   | 密で焼き締まる 微黒粒微量 | I-5b類   |           |

## セ336

|   |    |   |    |   |                           |         |    |   |                       |   |   |   |   |                  |  |  |
|---|----|---|----|---|---------------------------|---------|----|---|-----------------------|---|---|---|---|------------------|--|--|
| 1 | 6t | 1 | 常滑 | 甕 | 灰釉10Y4/2オリーブ黒、自然釉か 線刻文様あり | 輪積痕ナデ消す | 破片 | 優 | 5YR5/4にぶい赤褐/2.5Y7/1灰白 | — | — | — | — | 焼き締まるが粗く、白色中～小粒多 |  |  |
|---|----|---|----|---|---------------------------|---------|----|---|-----------------------|---|---|---|---|------------------|--|--|

## E区：セ334・348

|   |          |   |        |   |                                                 |                   |    |   |                      |   |   |       |   |              |       |    |
|---|----------|---|--------|---|-------------------------------------------------|-------------------|----|---|----------------------|---|---|-------|---|--------------|-------|----|
| 1 | セ348-032 | 1 | 龍泉窯系青磁 | 碗 | 削り出し高台、体部回転ヘラ削り調整 青磁釉施釉するが釉層薄い 底部無釉で高台畳付の釉を拭き取る | 見込み刻花文 青磁釉施釉、釉層薄い | 破片 | 良 | 7.5Y6/2灰オリーブ/5Y8/1灰白 | — | — | (4.6) | — | 硬く焼き締まる 微黒粒少 | I-2a類 |    |
| 2 | セ334-1t  | 1 | 龍泉窯系青磁 | 碗 | 青磁釉施釉するが薄い                                      | 刻花文、青磁釉施釉するが薄い    | 破片 | 良 | 5Y6/2灰オリーブ/5Y7/1灰白   | — | — | —     | — | 密で硬く焼き締まる    | I-4b類 |    |
| 3 | —        | — | 龍泉窯系青磁 | 杯 | 口縁外反する 体部に線刻で蓮弁文描く 青磁釉施釉、釉層比較的厚い                | 青磁釉施釉             | 破片 | 優 | 10Y6/2オリーブ灰/N8/灰白    | — | — | —     | — | 密で硬く焼き締まる    | Ⅲ-4類  |    |
| 4 | セ334-24t | 4 | 龍泉窯系青磁 | 碗 | 高台断面三角形で畳付狭い 全面数回青磁釉施釉後、畳付のみ釉を拭き取る 釉層厚い         | 青磁釉施釉、釉層厚い        | 破片 | 優 | 5GY6/1オリーブ灰/N8/灰白    | — | — | (4.5) | — | 密で硬く焼き締まる    | Ⅲ-2類  | 優品 |

| ( )は復元値 単位:cm |              |      |        |       |                                           |                              |       |    |                       |       |        |        |        |    |                 |         |            |
|---------------|--------------|------|--------|-------|-------------------------------------------|------------------------------|-------|----|-----------------------|-------|--------|--------|--------|----|-----------------|---------|------------|
| No.           | 遺構           | 注記   | 種 別    | 器種    | 外面の特徴                                     | 内面の特徴                        | 遺存度   | 焼成 | 色調                    | 器面/断面 | 口径     | 最大径    | 底径     | 器高 | 胎 土             | 時 期     | 備 考        |
| 5             | セ348<br>022  | 下層一括 | 龍泉窯系青磁 | 杯     | 口縁部外に折れ、口唇部上方に突出する青磁釉施釉、釉層厚い              | 体部に丸ノミ状工具で連弁文刻出青磁釉施釉         | 破片    | 良  | 10GY5/1緑灰/N7/灰白       |       | (13.9) | (14.1) | —      | —  | 密で硬く焼き締まる 微黒粒微量 |         | 漆の補修痕あり    |
| 6             | セ348         | —    | 白磁     | 皿     | 体部から底部回転ヘラ削り調整、全面透明釉施釉、底部は刷毛塗り            | 全面透明釉施釉                      | 破片    | 優  | 7.5Y7/1灰白/N8/灰白       |       | —      | —      | 5.9    | —  | 密で硬く焼き締まる       | Ⅸ類      |            |
| 7             | セ348<br>035  | 6    | 瀬戸・美濃  | 折縁深皿  | 体部下方右回転ヘラ削り調整 口縁部外に折れる 灰釉刷毛塗り             | 灰釉施釉                         | 破片    | 良  | 10Y7/2灰白/10YR7/2にぶい黄橙 |       | (27.9) | (28.4) | —      | —  | 長石中粒少           | 後Ⅳ（古）   | 漆の補修痕あり    |
| 8             | セ334<br>6t   | 20   | 瀬戸・美濃  | 折縁深皿  | 口縁部外に折れる灰釉施釉                              | 口縁折り返し部に突帯廻る 灰釉施釉            | 破片    | 良  | 5Y7/2灰白/2.5Y8/2灰白     |       | (26.0) | (29.5) | —      | —  | 石英小粒微量          | 後Ⅳ      |            |
| 9             | セ348<br>029  | 2    | 瀬戸・美濃  | 折縁深皿  | 口縁部外に折れる灰釉施釉                              | 口縁折り返し部に突帯廻る 灰釉施釉            | 破片    | 良  | 5Y7/3浅黄/2.5Y7/3浅黄     |       | —      | —      | —      | —  | 石英微粒微量          | 後Ⅳ      |            |
| 10            | セ348<br>034  | 7    | 瀬戸・美濃  | 天目茶碗  | 体部下方回転ヘラ削り調整 鉄釉施釉、カセる 施釉部以外は露胎            | 鉄釉施釉、カセる                     | 破片    | 良  | 7.5YR2/1黒/2.5YR8/3淡黄  |       | —      | —      | —      | —  | 焼き締まる 白色微粒少     | 大窯4     |            |
| 11            | セ348<br>040  | 9    | 瀬戸・美濃  | 平碗    | 削り出し高台は低く、底部中央に右回転糸切痕残る                   | 見込み平坦 灰釉施釉                   | 破片    | 良  | 5Y6/3オリーブ黄/2.5Y7/2灰黄  |       | —      | —      | 4.9    | —  | 白色微粒少           | 後Ⅱ      |            |
| 12            | セ348<br>036  | 5    | 瀬戸・美濃  | 平碗    | 削り出し高台                                    | 灰釉施釉、カセる                     | 破片    | 良  | 灰白                    |       | —      | —      | (5.0)  | —  | 密、白色微粒少         | 古瀬戸後期   |            |
| 13            | セ348<br>035  | 4    | 志戸呂    | 緑釉皿   | 底部回転糸切痕無調整                                | 横ナデ                          | 破片    | 優  | 7.5YR6/4にぶい橙          |       | —      | —      | (4.0)  | —  | 密で硬く焼き締まる 長石小粒少 | 後Ⅳ      | 見込み使用による磨耗 |
| 14            | セ348<br>032  | 15   | 志野     | 丸皿    | 体部から底部回転ヘラ削り調整 志野釉全面施釉、底部に円錐ビン痕           | 志野釉全面施釉                      | 破片    | 良  | 2.5Y8/1灰白             |       | —      | —      | (6.6)  | —  | 粗く、白色小粒少        | 大窯4     |            |
| 15            | セ348<br>013  | 2    | 渥美     | 広口壺   | 口縁部ゆるく外反自然釉10Y6/2オリーブ灰（光沢）かかる             | 口唇部内側に棒状工具による凹帯廻る 外反部に自然釉かかる | 破片    | 優  | 10YR2/1黒/2.5Y7/1灰白    |       | (28.1) | —      | —      | —  | 微黒粒含む           | 1b並行期   |            |
| 16            | セ334<br>24t  | 8    | 渥美     | 壺     | 口縁玉縁状に外反する                                | 口縁から頸部にかけて降灰(10Y5/2オリーブ灰)    | 破片    | 良  | 2.5Y6/2灰黄/5Y5/1灰      |       | (11.0) | —      | —      | —  | 微黒粒含む           | 12 c 中葉 |            |
| 17            | セ348<br>023  | 15   | 常滑     | 甕     | 口縁断面N字状で上下端伸びる                            | 横方向ナデ                        | 破片    | 良  | 2.5YR3/3暗赤褐/10YR7/1灰白 |       | (35.0) | —      | —      | —  | 焼き締まる 白色小粒多     | 6b型式    |            |
| 18            | セ348<br>040  | 13   | 常滑     | 甕     | 口縁断面N字状で上下端伸びる                            | 横方向ナデ                        | 破片    | 優  | 7.5YR3/1黒褐/N6/灰       |       | (33.8) | —      | —      | —  | 焼き締まる 黒色中～小粒多   | 6b型式    |            |
| 19            | セ334<br>24t  | 10   | 常滑     | 甕     | 口縁折り返し上・下に突出                              | 折り返し部を棒状工具でナデ                | 破片    | 良  | 5Y2/1黒/2.5Y6/1黄灰      |       | —      | —      | —      | —  | 硬質、白色微粒含む       | 6b型式    |            |
| 20            | セ348<br>009  | 5    | 常滑     | 片口鉢Ⅰ類 | 胴下位回転ヘラ削り調整、付高台は高い                        | 横ナデ                          | 1/4以下 | 良  | 2.5Y7/2灰黄             |       | —      | —      | (12.9) | —  | 粗く、石英・長石大粒含む    | 5型式     |            |
| 21            | セ348<br>036  | 36   | 常滑     | 片口鉢Ⅰ類 | 口縁はあまり肥大しない                               | 横ナデ 片口部を強く押す                 | 破片    | 良  | 2.5Y7/1灰白             |       | —      | —      | —      | —  | 長石大～小粒含む        | 5型式     |            |
| 22            | セ334<br>1t   | 3-2  | 常滑     | 片口鉢Ⅰ類 | 口縁下横ナデするが口縁肥大しない 口唇部やや平坦                  | 横ナデ                          | 破片    | 良  | 2.5Y6/1黄灰             |       | —      | —      | —      | —  | 長石中粒含む          | 4型式     |            |
| 23            | セ348<br>全体   | 2    | 常滑     | 片口鉢Ⅰ類 | 口縁下横ナデし、口縁肥大する 口唇部に棒状工具横ナデによるゆるい凹帯あり      | 横ナデ                          | 破片    | 良  | 2.5Y7/1灰白             |       | —      | —      | —      | —  | 白色小粒含む          | 5型式     |            |
| 24            | セ348<br>040  | 7    | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 縦方向ナデ後、口縁部横ナデ 口縁部平坦面作るが上下に突出せず幅も狭い        | 横ナデ                          | 破片    | 優  | 7.5YR3/1黒褐/N7/灰白      |       | —      | —      | —      | —  | 粗いが硬質 白色小粒多     | 7型式     |            |
| 25            | セ348<br>039  | 11   | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 縦方向ナデ後口縁部横ナデ 口唇部平坦面あり下方に突出する              | 横ナデ                          | 破片    | 優  | 5YR4/3にぶい赤褐/5YR5/1褐灰  |       | —      | —      | —      | —  | 粗いが硬質 長石中～小粒多   | 9型式     | 砥石に転用、中砥   |
| 26            | セ334<br>14ct | 6    | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 縦方向ナデ後口縁部横ナデ 口唇部平坦面あり上方に伸びる 下方の突出は少ない     | 横ナデ                          | 破片    | 良  | 5YR5/4にぶい赤褐/5YR4/8赤褐  |       | —      | —      | —      | —  | 白色小粒多           | 9型式     |            |
| 27            | セ348<br>040  | 1    | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 縦方向ナデ後口縁部横ナデ 口唇部平坦面あり下方に伸びる               | 横ナデ                          | 破片    | 良  | 5YR6/6橙/5YR5/2灰褐      |       | (28.5) | (31.0) | —      | —  | 長石・白色中粒多        | 9型式     |            |
| 28            | セ334<br>9t3  | 3    | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 口縁部横ナデ、口唇平坦面作り上下に突出 重ね焼き痕として、頸部以下は明赤褐色に変色 | 横ナデ                          | 破片    | 良  | 5YR4/2灰褐/2.5YR5/8明赤褐  |       | (30.4) | (31.8) | —      | —  | 白色小粒多           | 10型式    |            |
| 29            | セ348<br>039  | 12   | 常滑     | 片口鉢Ⅱ類 | 縦方向ナデ後口縁横ナデ、口唇部平坦あり下方に伸びる                 | 横ナデ                          | 破片    | 良  | 5YR5/4にぶい赤褐           |       | —      | —      | —      | —  | 白色中～小粒多         | 9型式     |            |

| ( )は復元値 単位:cm |              |      |           |          |                                                      |                               |       |    |                          |        |        |       |       |                             |     |                        |                                           |
|---------------|--------------|------|-----------|----------|------------------------------------------------------|-------------------------------|-------|----|--------------------------|--------|--------|-------|-------|-----------------------------|-----|------------------------|-------------------------------------------|
| No.           | 遺構           | 注記   | 種 別       | 器種       | 外面の特徴                                                | 内面の特徴                         | 遺存度   | 焼成 | 色調                       | 器面/断面  | 口径     | 最大径   | 底径    | 器高                          | 胎 土 | 時 期                    | 備 考                                       |
| 30            | セ334<br>7t   | 9    | 肥前系<br>陶器 | 皿        | 底部削り出し高台<br>透明釉施釉するが、<br>高台内は無釉、畳付<br>の釉は拭き取ってい<br>る | 銅緑釉を施釉し、<br>見込み蛇の目状に<br>釉ハギする | 破片    | 良  | 5GY6/1オリブ灰<br>/2.5Y8/1灰白 | —      | —      | (5.3) | —     | 密                           |     | Ⅲ期                     | 17 c 後葉                                   |
| 31            | セ348         | 3    | 美濃        | 皿        | 底部基筈底                                                | 灰釉施釉、釉層薄<br>く安定する             | 破片    | 良  | 5Y5/2灰オリブ<br>/5Y5/1灰     | —      | —      | (2.8) | —     | 密で焼き締まる                     |     | 近世                     |                                           |
| 32            | セ348<br>036  | 8    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す<br>体部若干丸み帯び<br>る                           | 見込み横方向ナデ<br>概ね平坦、中央<br>やや窪む   | 1/4   | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙             | (12.5) | (12.5) | 5.2   | 3.6   | 海微量、白色小<br>粒少               |     | 14 c か                 |                                           |
| 33            | セ348<br>036  | 43   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す                                            | 見込み横方向ナデ<br>概ね平坦、中央<br>やや窪む   | 1/4以下 | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙             | —      | —      | (5.0) | —     | 海微量、白色小<br>粒少               |     | 14 c か                 |                                           |
| 34            | セ348<br>036  | 41   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す                                            | 見込み横方向ナデ<br>概ね平坦、中央<br>やや窪む   | 1/4以下 | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙             | —      | —      | 5.9   | —     | 海微量、白色小<br>粒少               |     | 14 c か                 |                                           |
| 35            | セ348<br>036  | 45   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す                                            | 見込み横方向ナデ<br>概ね平坦、中央<br>やや窪む   | 1/4以下 | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙             | —      | —      | 5.7   | —     | 海微量、白色<br>小粒・石英少            |     | 14 c か                 |                                           |
| 36            | セ348<br>036  | 4    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部若干突出、右回<br>転糸切痕ナデ消す<br>体部ゆるく立ち上が<br>る              | 見込み広範囲に入<br>念なナデ、球状を<br>呈す    | 1/4   | 良  | 10YR7/3にぶい黄橙             | —      | —      | 6.0   | —     | 海微量、金雲母                     |     | 13 c 後葉か               |                                           |
| 37            | セ348<br>040  | 10   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕ナ<br>デ消す                                     | 見込み横方向ナデ<br>概ね平坦、中央<br>やや窪む   | 1/4以下 | 良  | 10YR7/3にぶい黄橙             | —      | —      | 6.7   | —     | 海・金雲母微粒、<br>石英小粒少           |     | 13 c 後葉か               |                                           |
| 38            | セ348<br>036  | 9    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部若干突出、右回<br>転糸切痕無調整 丸<br>く立ち上がる                     | 見込み横方向ナデ<br>で平坦               | 1/4以下 | 良  | 7.5YR7/4にぶい橙             | —      | —      | 5.4   | —     | 海微量、金雲母<br>少                |     |                        |                                           |
| 39            | セ348<br>024  | 1・2  | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部突出、静止糸切<br>痕無調整 体部横ナ<br>デ痕顕著                       | 見込みナデない                       | 1/4以下 | 良  | 7.5YR7/4にぶい橙             | —      | —      | (6.3) | —     | 海微量、金雲母<br>多                |     | 12 c 末                 |                                           |
| 40            | セ348<br>036  | 17   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す<br>網代状圧痕                                   | 見込み横方向ナデ<br>で平坦、口縁鋭い          | 1/2   | 優  | 5YR6/6橙                  | (8.5)  | (8.5)  | 5.6   | 1.5   | 海・金雲母少                      |     |                        |                                           |
| 41            | セ348<br>036  | 44   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す                                            | 見込み横方向ナデ<br>で平坦、口縁鋭い          | 1/2以上 | 優  | 5YR6/6橙                  | (8.7)  | (8.7)  | 5.4   | 1.7   | 海少、金雲母多                     |     |                        | 40と同タイプ                                   |
| 42            | セ348         | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部やや突出、右回<br>転糸切痕無調整 体<br>部段ナデ                       | 見込み不明                         | 破片    | 優  | 2.5YR5/6明赤褐              | (9.5)  | (9.6)  | (6.3) | 2.1   | 海微量、金雲母                     |     | 12 c 末                 | 胎土・色調は<br>No39・60に酷<br>似 No39タイ<br>プとセットか |
| 43            | セ348<br>039  | 4    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部やや厚く、糸切<br>痕ナデ調整                                   | 見込み横方向ナデ、<br>中部やや窪む           | 破片    | 良  | 2.5Y7/4浅黄                | (8.8)  | (8.8)  | (4.1) | 2.1   | 白色小粒・赤色<br>中粒               |     | 後Ⅳ(新)～<br>大窯Ⅰ(前)<br>並行 |                                           |
| 44            | セ348<br>036  | 34   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消し、<br>立ち上がり部ナデ調<br>整し丸味帯びる                   | 見込み横方向ナデ                      | 破片    | 良  | 7.5YR6/4にぶい橙             | —      | —      | (6.3) | —     | 海微量、金雲<br>母・赤色小粒            |     | 13 c 中～後<br>葉          |                                           |
| 45            | セ348<br>036  | 3    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部突出顕著で糸切<br>痕ナデ消す 体部丸<br>く立ち上がる                     | 見込み微弱なナデ<br>払い 口縁鋭い           | 破片    | 優  | 5YR6/6橙                  | (7.4)  | (7.4)  | (4.9) | 1.4   | 海・金雲母少                      |     | 12 c 末か                |                                           |
| 46            | セ348<br>036  | 42   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部若干突出し、糸<br>切痕ナデ消す                                  | 見込み微弱なナデ<br>払い                | 破片    | 優  | 5YR6/6橙                  | —      | —      | (4.9) | —     | 海・金雲母少                      |     | 12 c 末か                | 胎土・色調は<br>No45に酷似<br>同タイプか                |
| 47            | セ334<br>12 t | 3    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部若干突出 器面<br>風化のため底部調整<br>不明                         | 見込み不明                         | 破片    | 良  | 10YR6/3にぶい黄橙             | (8.7)  | (8.9)  | (5.4) | (1.9) | 海少、金雲母多                     |     |                        |                                           |
| 48            | セ334<br>13 t | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部突出、表面風化<br>のため底部調整不明                               | 見込み横方向ナデ                      | 破片    | 良  | 7.5YR6/6橙                | —      | —      | (5.8) | —     | 金雲母少、砂粒<br>多                |     |                        |                                           |
| 49            | セ334<br>13t  | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消し、<br>立ち上がり部ぬるく<br>調整                        | 見込み横方向ナデ                      | 破片    | 良  | 7.5YR7/4にぶい橙             | —      | —      | (6.3) | —     | 海微量、金雲母<br>多                |     | 13 c 中～後<br>葉          |                                           |
| 50            | セ334<br>13t  | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部やや突出、糸切<br>痕ナデ消す                                   | 見込み横方向ナデ                      | 破片    | 優  | 5YR6/6橙                  | —      | —      | 5.7   | —     | 角閃石微量、石<br>英小粒、赤色・<br>白色小粒多 |     | 12 c 末～13<br>c 前       |                                           |
| 51            | セ334<br>9t   | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕無<br>調整、体部薄手で外<br>反気味に開く                     | 見込み横方向ナデ<br>でゆるい球状            | 1/4以下 | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙             | —      | —      | 4.9   | —     | 海微量、白色小<br>粒多               |     |                        |                                           |
| 52            | セ334<br>16t  | 2    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部調整不明で若干<br>突出気味                                    | 見込み横方向ナデ<br>で平坦、中央やや<br>窪む    | 破片    | 良  | 7.5YR7/4にぶい橙             | —      | —      | (5.9) | —     | 金雲母少、白色<br>微粒               |     | 13 c 前～中<br>葉          |                                           |
| 53            | セ348<br>009  | 2・11 | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部突出、右回転糸<br>切痕ナデるが不徹底                               | 見込み横方向ナデ<br>で平坦               | 破片    | 良  | 7.5YR6/4にぶい橙             | —      | —      | (6.8) | —     | 海・金雲母多                      |     | 12 c 末～13<br>c 前       |                                           |
| 54            | セ346<br>009  | 10   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部突出、糸切痕軽<br>くナデる                                    | 見込み横方向ナデ<br>中央窪む              | 破片    | 良  | 10YR5/4にぶい黄褐             | —      | —      | (7.6) | —     | 海微量、金雲母                     |     | 13 c 前葉                |                                           |
| 55            | セ348<br>009  | 3    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部若干突出、右回<br>転糸切痕ナデ消す                                | 見込みナデない                       | 1/4以下 | 優  | 7.5YR6/6橙                | —      | —      | 5.6   | —     | 角閃石微量、石<br>英小粒多 硬質          |     | 13 c 前葉か               |                                           |
| 56            | セ348<br>009  | 4    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す                                            | 見込み広範囲に入<br>念なナデ              | 破片    | 優  | 2.5YR5/6明赤褐              | —      | —      | 6.0   | —     | 海微量、石英微<br>粒 硬質             |     |                        |                                           |
| 57            | セ348         | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部若干柱状に突出<br>し、糸切痕ナデ消す<br>体部段ナデ                      | 見込み横方向ナデ<br>平坦                | 1/3   | 良  | 7.5YR6/6橙                | (8.7)  | (8.9)  | 6.4   | 1.7   | 海微量、石英微<br>粒・金雲母            |     | 13 c 前葉                |                                           |
| 58            | セ348<br>036  | 26   | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕無<br>調整で肉厚 体部外<br>湾気味に開く                     | 見込み横方向ナデ                      | 破片    | 良  | 7.5YR6/4にぶい橙             | —      | —      | (5.9) | —     | 海微量・金雲母                     |     | 14 c                   |                                           |
| 59            | セ348<br>036  | 1    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消し、<br>立ち上がり部調整し<br>丸底意識 口縁下や<br>や強くナデ        | 見込み横方向ナデ<br>し平坦               | 破片    | 良  | 10YR7/3にぶい黄橙             | (7.9)  | (7.9)  | (5.4) | 1.3   | 密 海微量、赤<br>色中粒少             |     | 13 c 前葉                |                                           |

| ( )は復元値 単位：cm  |             |    |           |          |                                                                                 |                                    |       |    |                            |       |        |        |        |     |                     |             |                       |
|----------------|-------------|----|-----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------|----|----------------------------|-------|--------|--------|--------|-----|---------------------|-------------|-----------------------|
| No.            | 遺構          | 注記 | 種 別       | 器種       | 外面の特徴                                                                           | 内面の特徴                              | 遺存度   | 焼成 | 色調                         | 器面/断面 | 口径     | 最大径    | 底径     | 器高  | 胎 土                 | 時 期         | 備 考                   |
| 60             | セ348<br>024 | 2  | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部静止糸切痕無調整 体部段ナデ顕著                                                              | 見込み微弱なナデ払い                         | 破片    | 優  | 5YR5/6明赤褐                  |       | (8.1)  | (8.1)  | (6.0)  | 2.7 | 海少、金雲母・石英粒          | 13 c 前葉     |                       |
| 61             | セ348        |    | 土師質<br>土器 | カワ<br>ラケ | 底部突出顕著、体部丸く立ち上がる                                                                | 見込み不明                              | 破片    | 優  | 10YR7/3にぶい黄橙               |       | (7.6)  | (7.8)  | (6.0)  | 1.4 | 密 石英微粒少             | 12 c 末      | 白味強い                  |
| 64             | 027         | 1  | 土師質<br>土器 | 火鉢       | 全面ナデ、口縁から体部上半に棒状工具当て、輪花状にする 煙してある印象                                             | 口縁部面取り 輪花状の部位に凸部作る 全面ナデ 煙してある印象    | 破片    | 良  | 10YR4/1褐灰<br>/7.5YR6/4にぶい橙 | —     | —      | —      | —      | —   | 赤・白色大～中粒多 粗く軟質      |             |                       |
| セ337           |             |    |           |          |                                                                                 |                                    |       |    |                            |       |        |        |        |     |                     |             |                       |
| 1              | 046         | 25 | 龍泉窯系青磁    | 碗        | 削り出し高台で底部は体部より厚い 体部片切彫で連弁刻出するが、鎬は極めてぬるい 透明ガラス質の青磁釉を施軸するが、釉層は厚くない 貫入あり 畳付から底部は無釉 | 立ち上がり部を強く横ナデし、若干窪む 全面に青磁釉施軸        | 破片    | 良  | 7.5GY5/1緑灰/N8/灰            | —     | —      |        | 5.2    | —   | 硬質で微黒粒少             | I -5b類      | 連弁形骸化し I-5a類に近い       |
| 2              | 046         |    | 瀬戸・美濃     | 卸皿       | 体部横ナデ後体部下位右回転ヘラケズリ 口縁玉縁状                                                        | 体部ゆるく湾曲しつつ立ち上がる 卸目をヘラ状工具で刻む 灰釉刷毛塗り | 破片    | 優  | 2.5Y6/2灰黄/2.5Y8/1灰白        |       | (16.5) | (17.0) | (12.2) | 3.9 | 微黒粒・白色小粒含む          | 前Ⅱ b期       |                       |
| 3              | 044         |    | 瀬戸・美濃     | 平碗       | 体部比較的薄く、厚みの変化に乏しい ほぼ直線的に開く 体部横ナデ後、下位を2段回転ヘラケズリ調整、削り出し高台、体部中位以上に灰釉施軸             | 灰釉全面施軸、釉層薄く安定しない                   | 破片    | 良  | 2.5Y6/4にぶい黄<br>/2.5Y8/2灰白  | —     | —      | —      | —      | —   | 白色小粒含む              | 後Ⅳ期         |                       |
| 4              | 042         | 26 | 瀬戸・美濃     | 緑釉皿      | 薄手、底部右回転糸切痕無調整                                                                  | 横ナデ、体部中位以上に灰釉施軸                    | 破片    | 優  | 2.5Y6/4にぶい黄<br>/2.5Y8/2灰白  | —     | —      |        | (6.1)  | —   | 微黒粒・白色小粒含む          | 後Ⅲ期         | 見込み使用による磨耗            |
| 5              | 042         | 4  | 瀬戸・美濃     | 折縁皿      | 口縁外反し口唇部上方へ膨らむ 灰釉全面施軸                                                           | 体部に丸ノミ状工具でソギ、全面施軸                  | 破片    | 良  | 5Y5/6オリーブ<br>/5Y7/1灰白      |       | (13.5) | (13.8) | —      | —   | 微黒粒・白色小粒含む          | 大窯4         |                       |
| 6              | 046         | 12 | 常滑        | 甕        | 頸部横方向ナデ、口縁部横ナデ、口縁部受け口状に上方に突出                                                    | 頸部横方向ナデ、胴部付近に指頭圧痕残る                | 破片    | 良  | 2.5YR6/6橙/2.5Y7/1灰白        |       | (38.0) | —      | —      | —   | 常滑としては密で、長石中～小粒含む   | 5型式         |                       |
| 7              | 046         | 37 | 常滑        | 片口鉢Ⅱ類    | 体部縦方向ヘラ削り後横方向ナデ、口縁下を横ナデ、口縁端部に平坦面持つが拡張しない                                        | 体部横方向ナデ、口縁部横ナデ                     | 破片    | 優  | 2.5YR4/2灰赤<br>/2.5Y6/1黄灰   | —     | —      | —      | —      | —   | 長石大～中粒含む            | 8型式         | 内面使用による磨耗、破面砥石に転用、仕上砥 |
| 8              | 046         | 4  | 渥美        | 片口鉢      | 体部立ち上がり部を幅1cmほど残し、横ナデ                                                           | 横ナデ                                | 破片    | 優  | 10YR6/2灰黄褐                 | —     | —      |        | (10.3) | —   | 白色・赤色中粒含む           | 13 c 前葉     | 内面使用による磨耗             |
| 9              | 046         | 2  | 瓦質土器      | 火鉢       | 体部横ナデ後印花文、口唇部に平坦面、口縁輪花状を呈すると思われる                                                | 斜方向ナデ                              | 破片    | 良  | 2.5Y4/1黄灰/10YR8/1灰白        |       | (32.6) | (35.0) | —      | —   | 角閃石微量、粒礫・白色中粒・赤色中粒多 |             |                       |
| 10             | 042         | 24 | 土師質土器     | 播鉢       | 横ナデ                                                                             | 横ナデ、口唇部棒状工具で横ナデ、窪み作る               | 破片    | 良  | 10YR5/2灰黄褐<br>/10YR6/1褐灰   | —     | —      | —      | —      | —   | 石英・長石小粒多            | 古瀬戸後Ⅳ(新)並行期 |                       |
| 11             | 046         | 35 | 土師質土器     | カワラケ     | 底部静止糸切痕無調整 底部若干突出 体部ロクロ痕残る                                                      | 見込み横ナデ痕若干あり                        | 1/4以下 | 良  | 10YR6/2灰黄褐                 | —     | —      | —      | 5.8    | —   | 海微量、金雲母含む           | 12 c 後葉     | 土師皿の可能性あり             |
| 12 銭 表3 No12参照 |             |    |           |          |                                                                                 |                                    |       |    |                            |       |        |        |        |     |                     |             |                       |
| セ350           |             |    |           |          |                                                                                 |                                    |       |    |                            |       |        |        |        |     |                     |             |                       |
| 1              | セ350        | 7  | 常滑        | 片口鉢Ⅱ類    | 体部下位を右回転ヘラ削り調整、付高台はやや高い                                                         | 横ナデ                                | 破片    | 良  | 2.5Y7/1灰白                  | —     | —      |        | (17.4) | —   | 長石大～中粒含む            | 4型式         | 内面使用による磨耗             |
| セ362           |             |    |           |          |                                                                                 |                                    |       |    |                            |       |        |        |        |     |                     |             |                       |
| 1              | SD3         | 29 | 龍泉窯系青磁    | 碗        | 厚手、削り出し高台 青磁釉をずぶがけし、高台に指頭部が露胎する 釉層は厚くない 畳付から底部は無釉                               | 見込みにヘラ状工具で割花文、青磁釉施軸                | 1/4以下 | 良  | 7.5GY7/1明緑灰/N8/灰白((り黄味強い)) | —     | —      |        | 6.1    | —   | 青磁としてはやや粒子が粗い       | 14 c        |                       |
| 2              | SD10        | 22 | 龍泉窯系青磁    | 碗        | 片切彫でシャープな鎬連弁を刻出 青磁釉数回施軸し、釉層はやや厚い                                                | 青磁釉施軸                              | 破片    | 優  | 10GY7/1明緑灰/N8/灰白           | —     | —      | —      | —      | —   | 密で硬質                | I -5b類      | 優品                    |
| 3              | SD3         | 60 | 龍泉窯系青磁    | 碗        | 厚手、体部連弁文刻出するが鎬はぬるい 青磁釉施軸し、畳付の釉は削り取る 底部無釉                                        | 青磁釉施軸、立ち上がり部削り工具当り、釉溜り状になる         | 破片    | 優  | 5GY6/1オリーブ灰/N8/灰白          | —     | —      |        | (5.4)  | —   | 密で硬質                | I -5b類      |                       |
| 4              | SD1         | 8  | 龍泉窯系青磁    | 碗        | 厚手、体部にヘラ状工具で連弁描く 透明度の高い青磁釉をずぶがけするが、高台の指頭部は露胎のまま 畳付に回った釉は削り取る 底部無釉               | 見込みを取り巻くように割花文を描く 連華文か 青磁釉施軸       | 破片    | 良  | 5Y6/3オリーブ黄<br>/7.5YR6/2灰褐  | —     | —      |        | (5.8)  | —   | 密で硬質、鉄分多い           | I -5a類      |                       |

| ( )は復元値 単位:cm |      |    |       |       |                                         |                        |       |    |                        |        |        |       |    |                 |         |     |
|---------------|------|----|-------|-------|-----------------------------------------|------------------------|-------|----|------------------------|--------|--------|-------|----|-----------------|---------|-----|
| No.           | 遺構   | 注記 | 種 別   | 器種    | 外面の特徴                                   | 内面の特徴                  | 遺存度   | 焼成 | 色調 器面/断面               | 口径     | 最大径    | 底径    | 器高 | 胎 土             | 時 期     | 備 考 |
| 5             | SD10 | 52 | 瀬戸・美濃 | 瓶子Ⅱ類  | 体部回転ヘラ削り後ナデ、灰釉刷毛塗りする 釉は縦方向に垂下           | 輪積痕を指頭で押さえ、横ナデ調整       | 破片    | 良  | 5GY7/1明オリブ灰/N7/灰白      | —      | —      | —     | —  | 密で硬質、白色小粒微量     | 古瀬戸前期   |     |
| 6             | SD3  | 34 | 瀬戸・美濃 | 小壺    | 口縁部外側に伸びる鉄釉施釉                           | 鉄釉施釉                   | 破片    | 良  | 5YR3/2暗赤褐/2.5YR8/2灰白   | (10.4) | (11.4) | —     | —  | 白色微粒少           | 大窯4     |     |
| 7             | SD3  | 53 | 瀬戸・美濃 | 大皿    | 口縁部外反し、口唇部上方に伸びる 鬼板施釉                   | 体部丸く立ち上がり、口縁外反部鋭い 鬼板施釉 | 破片    | 優  | 2.5YR3/1暗赤褐/2.5Y8/2灰白  | (31.6) | (34.2) | —     | —  | 微黒粒微量           | 大窯3(後半) |     |
| 8             | SD3  | 15 | 瀬戸・美濃 | 描鉢    | 口縁断面三角形で口唇部やや上に伸びる 鬼板施釉                 | 鬼板施釉                   | 破片    | 優  | 7.5YR2/1黒/10YR7/4にぶい黄橙 | —      | —      | —     | —  | 白色微粒少           | 大窯1(後半) |     |
| 9             | SD3  | 60 | 瀬戸・美濃 | 香炉    | 底部削り出し高台、体部右回転ヘラ削り調整、腰袴状にくびれ、鉄釉施釉       | ナデ工具で横ナデ               | 破片    | 良  | 5YR3/4暗赤褐/5Y7/1灰白      | —      | —      | (8.0) | —  | 微黒粒・白色中粒少       | 大窯4     |     |
| 10            | SD10 | 37 | 瀬戸・美濃 | 天目茶碗  | 底部削り出し高台、無釉                             | 鉄釉施釉                   | 破片    | 良  | 5YR3/4暗赤褐/5Y7/1灰白      | —      | —      | (8.0) | —  | 微黒粒・白色中粒少       | 連房Ⅰ     |     |
| 11            | SD3  | 47 | 瀬戸・美濃 | 筒形碗   | 体部から底部右回転ヘラ削り調整、削り出し高台、体部瀬戸黒釉施釉、釉層比較の厚い | 瀬戸黒釉施釉                 | 1/4以下 | 優  | 黒漆色/2.5Y8/1灰白          | —      | —      | 4.9   | —  | 白味強い良質の胎土 白色小粒少 | 大窯3(後半) |     |
| 13            | SD4  | 21 | 常滑    | 甕     | N字状の口縁で、縁帯の上下がやや延びる 下方は頸部に張り付かない        | 頸部はスマートで内側に肥大しない       | 破片    | 良  | N6/灰                   | —      | —      | —     | —  | 長石中粒多           | 6b型式    |     |
| 14            | SD10 | 65 | 常滑    | 甕     | 口縁部縁帯があり、上方に伸びるが、下方はあまり突出しない 口唇部に平坦面あり  | 棒状工具で横ナデし、口縁部を直立させる    | 破片    | 優  | 10R4/4赤褐/2.5Y7/1灰白     | (20.6) | —      | —     | —  | 白色小粒多           | 5型式     |     |
| 15            | SD3  | 38 | 常滑    | 片口鉢Ⅱ類 | 体部縦方向ヘラ削り後ナデ、口縁下を横ナデ、口唇部平坦面作るが、両端は突出しない | 斜方向ナデ                  | 破片    | 優  | 10R4/4赤褐/2.5YR6/6橙     | —      | —      | —     | —  | 白色小粒多           | 8型式     |     |

# F区：セ358

|    |     |    |        |       |                                       |                                                      |    |   |                         |        |        |        |     |              |         |                  |
|----|-----|----|--------|-------|---------------------------------------|------------------------------------------------------|----|---|-------------------------|--------|--------|--------|-----|--------------|---------|------------------|
| 1  | 29t | 10 | 龍泉窯系青磁 | 碗     | 片切彫で鎗蓮弁を刻出、青磁釉施釉、安定するが釉層は厚くない         | 青磁釉施釉                                                | 破片 | 良 | 2.5GY7/1明オリブ灰/5Y8/1灰白   | —      | —      | —      | —   | 密で硬質         | I -5b類  |                  |
| 2  | 29t | 12 | 龍泉窯系青磁 | 碗     | 片切彫で鎗蓮弁を刻出するが鎗はぬるい 青磁釉施釉、安定するが釉層は厚くない | 青磁釉施釉                                                | 破片 | 良 | 2.5GY7/1明オリブ灰/7.5Y8/1灰白 | (19.7) | (20.0) | —      | —   | 密で硬質         | I -5b類  | 蓮弁形骸化し I -5a類に近い |
| 3  | 31t | 1  | 龍泉窯系青磁 | 杯     | 薄手、口縁部水平に外反し、口唇部上方に突出 青磁釉数回施釉し、釉層厚い   | 青磁釉施釉                                                | 破片 | 優 | 7.5GY5/1緑灰/N8/灰白        | (23.7) | (24.0) | —      | —   | 密で硬質         | Ⅲ類      |                  |
| 4  | 14t | 1  | 瀬戸・美濃  | 描鉢    | 口縁部外反し、口唇部横ナデで陵入る 鬼板施釉                | 口縁部に突起巡る 鬼板施釉                                        | 破片 | 優 | 10R3/1暗赤灰/2.5Y7/1灰白     | —      | —      | —      | —   | 密、微黒粒含む      | 大窯4(後半) |                  |
| 5  | 1t  | 7  | 瀬戸・美濃  | 緑釉皿   | 丸く立ち上がる 横ナデ、口唇部灰釉施釉                   | 横ナデ、口縁部灰釉施釉                                          | 破片 | 良 | 2.5Y5/4黄褐/2.5Y7/1灰白     | (13.8) | (15.0) | —      | —   | 密、白色小粒少      | 後Ⅳ（新）   | 内面使用による磨耗        |
| 6  | 32t | 1  | 瀬戸・美濃  | 丸皿Ⅰ類  | 付高台、全面施釉、底部に輪ドチ痕あり                    | 見込み印花文、輪ドチ乗せる部位を堤防状に削り出し、そこだけ灰釉を拭き取っている 体部丸ノミ状の工具でツギ | 破片 | 優 | 5Y5/6オリブ/2.5Y8/3淡黄      | —      | —      | (5.9)  | —   | 密、白色小粒少      | 大窯4     |                  |
| 7  | 8t  | 10 | 瀬戸・美濃  | 平碗    | 体部丸く開き、口縁部でやや立ち上がる 灰釉施釉               | 灰釉施釉 釉層薄く安定する                                        | 破片 | 優 | 5Y7/3浅黄/2.5Y7/2灰黄       | (13.9) | (14.0) | —      | —   | 密、白色小粒少      | 大窯1     |                  |
| 8  | 7t  | 2  | 志野     | 鉄絵皿   | 底部削り出し高台、志野釉施釉するが、畳付から底部は無釉           | 鉄絵で笹文描き、志野釉施釉                                        | 破片 | 優 | 5Y8/1灰白/2.5Y8/2灰白       | —      | —      | (7.0)  | —   | やや粗く微黒粒少     | 連房Ⅱ     |                  |
| 9  | 17t | 1  | 常滑     | 片口鉢Ⅰ類 | 体部直線的で下位を右回転ヘラ削り、付高台                  | 横ナデ                                                  | 破片 | 良 | 2.5Y7/1灰白               | —      | —      | (12.0) | —   | 粗く長石礫・長石大粒含む | 6a型式    | 内面使用による磨耗        |
| 10 | 20t | 12 | 土師質土器  | カララケ  | 体部直線的で口縁下を若干強く横ナデし口縁がやや肥大化する          | 見込み不明                                                | 破片 | 良 | 10YR6/6橙                | (8.8)  | (9.2)  | (6.0)  | 2.3 | 金雲母粒含む       | 大窯1並行期か |                  |

# セ367・379

|   |           |  |        |   |                             |             |    |   |                     |        |        |   |   |            |        |     |
|---|-----------|--|--------|---|-----------------------------|-------------|----|---|---------------------|--------|--------|---|---|------------|--------|-----|
| 1 | セ36738t-6 |  | 龍泉窯系青磁 | 碗 | 全面施釉、釉層薄い 蓮弁を片切彫で表現するが、鎗はない | 全面施釉、釉層薄い   | 破片 | 良 | 5Y4/3暗オリブ/7.5Y/6/1灰 | —      | —      | — | — | 硬質         | I -5a類 |     |
| 2 | セ379025   |  | 龍泉窯系青磁 | 碗 | 全面施釉、釉層やや厚い 鎗蓮弁文を刻出する       | 全面施釉、釉層やや厚い | 破片 | 優 | 10Y6/2オリブ灰/N8/灰白    | —      | —      | — | — | 密で硬質、微黒粒少  | I -5b類 |     |
| 3 | セ379041   |  | 龍泉窯系青磁 | 碗 | 全面施釉                        | 全面施釉、刻花文    | 破片 | 優 | 7.5GY6/1緑灰/N8/灰白    | (10.4) | (10.6) | — | — | 密で硬質、微黒粒微量 | I -2a類 | 小碗か |
| 4 | セ379046   |  | 龍泉窯系青磁 | 杯 | 全面施釉、釉層厚い                   | 全面施釉、釉層厚い   | 破片 | 優 | 10Y6/2オリブ灰/N8/灰白    | (22.1) | (22.2) | — | — | 密で硬質、微黒粒微量 | Ⅲ類     |     |

| ( )は復元値 単位:cm |                    |                  |            |               |                                                                                              |                                        |       |    |                             |        |        |        |        |                              |                  |                            |
|---------------|--------------------|------------------|------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------|----|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|------------------------------|------------------|----------------------------|
| No.           | 遺構                 | 注記               | 種 別        | 器種            | 外面の特徴                                                                                        | 内面の特徴                                  | 遺存度   | 焼成 | 色調 器面/断面                    | 口径     | 最大径    | 底径     | 器高     | 胎 土                          | 時 期              | 備 考                        |
| 5             | セ367<br>47t        | 2                | 龍泉窯<br>系青磁 | 皿             | 全面施釉                                                                                         | 全面施釉                                   | 1/4以下 | 良  | 7.5Y6/2灰オリーブ<br>/5Y7/1灰白    | (12.2) | (12.3) | —      | —      | 密で硬質、微黒<br>粒少                | I-1a類            |                            |
| 6             | セ367<br>121t       | 1                | 瀬戸・<br>美濃  | 描鉢            | 鬼板施釉、口唇上方<br>に出る                                                                             | 鬼板施釉                                   | 破片    | 良  | 5YR3/1黒褐/2.5Y8/2<br>灰白      | —      | —      | —      | —      | やや密                          | 後Ⅳ（新）            |                            |
| 7             | セ379               | 1                | 渥美         | 壺             | 沈線で葉状文、灰釉<br>施釉                                                                              | ナデ                                     | 破片    | 優  | 10Y4/2オリーブ灰<br>/10YR6/1褐灰   | —      | —      | —      | —      | 白色微粒・微黒<br>粒少                | 12 c             |                            |
| 8             | セ379<br>047        | 11               | 渥美         | 壺             | 線刻画を施し、灰釉<br>施釉                                                                              | 横ナデ                                    | 破片    | 優  | 10Y4/2オリーブ灰<br>/2.5Y8/1灰白   | —      | —      | —      | —      | 密で微黒粒                        | 12 c             |                            |
| 9             | セ367<br>118t       | 15～<br>81        | 渥美         | 片口<br>鉢       | 底部付近右回転ヘラ<br>ケズリ、体部丸みを<br>帯びる 付高台は断<br>面三角形                                                  | 横ナデ、口縁やや<br>鋭い                         | 3/4   | 優  | 2.5Y5/1黄灰/5YR5/1<br>褐灰      | 32.7   | 32.9   | 13.5   | 11.7   | 密で白色小粒含<br>む                 | 12 c             |                            |
| 10            | セ367<br>37・<br>41t | 20・<br>17・<br>18 | 渥美         | 片口<br>鉢       | 断面三角形に近い逆<br>台形の高台を比較的<br>丁寧にナデ付ける<br>体部は丸み帯び、立<br>ち上がりのヘラ削り<br>調整は丁寧に幅広                     | 横ナデ                                    | 1/4以下 | 良  | 5Y7/1灰白、やや青み<br>帯びる         | —      | —      | (13.6) | —      | 密 長石大～中<br>粒少                | 常滑1b型<br>式並行     | 内面使用による<br>磨耗              |
| 11            | セ379               | 2                | 常滑         | 甕             | 口縁は断面N字状で<br>縁帯部を形成するが<br>下方にはあまり伸張<br>しないと見られる                                              | 横方向ナデ                                  | 破片    | 良  | 10YR5/1褐灰                   | —      | —      | —      | —      | この種の甕とし<br>てはやや密 白<br>色大～中粒少 | 6a型式             | 内面使用による<br>磨耗              |
| 12            | セ367<br>118t       | 2～73             | 常滑         | 片口<br>鉢Ⅱ<br>類 | 付高台剥離する 口<br>縁付近2段の右回転<br>ヘラケズリ調整、体<br>部直線的で口縁下部<br>やや強く横ナデ                                  | 直線的に立ち上<br>がる 口唇部ナデに<br>よるぬるい面あり       | 1/2以下 | 良  | 10YR6/2灰黄褐<br>/10YR7/2にぶい黄褐 | (29.5) | (30.4) | (13.6) | (12.9) | 粗く、小礫・長<br>石大～小粒多            | 4型式              | 内面使用による<br>磨耗、特に<br>見込みは剥落 |
| 13            | セ379<br>032        | 1                | 常滑         | 片口<br>鉢Ⅰ<br>類 | 体部直線的に開き、<br>口唇部ややつまみ上<br>げ、端部鋭い 口縁<br>断面三角形                                                 | 横ナデ                                    | 破片    | 良  | N6/灰                        | (26.0) | (26.1) | —      | —      | 須恵質 やや粗<br>く、白色大～小<br>粒多     | 2型式              |                            |
| 14            | セ367<br>59t        | 2                | 常滑         | 片口<br>鉢Ⅰ<br>類 | 帯状高台を比較的<br>丁寧に付ける 体部<br>立ち上がりのヘラ削<br>り調整は1段で、あ<br>まり幅はない 体部<br>は直線的だが、立ち<br>上がり部が若干湾曲<br>する | 横ナデ                                    | 破片    | 優  | N8/・7/の中間色、灰白               | —      | —      | (13.8) | —      | やや粗 長石<br>粒・小礫               | 3型式              | 内面使用による<br>磨耗              |
| 15            | セ367<br>119t       | 5                | 常滑         | 片口<br>鉢Ⅰ<br>類 | 体部直線的に立ち上<br>がり、下位に幅広の<br>右回転ヘラ削り 付<br>高台は断面三角形に<br>近いが、やや高さが<br>あると思われる                     | 横ナデ                                    | 破片    | 良  | N8/灰白                       | —      | —      | (15.2) | —      | 粗く、白色大～<br>中粒多               | 4型式              |                            |
| 16            | セ379<br>025        | 1                | 常滑         | 片口<br>鉢Ⅱ<br>類 | 口縁端部に平坦面を<br>持つがほとんど拡張<br>しない                                                                | 横方向ナデ                                  | 破片    | 良  | 5YR4/3にぶい赤褐                 | —      | —      | —      | —      | 焼き締まる 白<br>色中粒多              | 8型式              |                            |
| 17            | セ379<br>041        | 16               | 土師質<br>土器  | 内耳<br>鍋       | 輪積み成型、胴部斜<br>方ナデ、口縁付近や<br>や外反し屈曲部に指<br>頭圧痕、口縁部ゆる<br>やかな面あり、よく<br>ナデる 器面2次焼<br>成で黒化           | 口縁部内面に突出、<br>体部横方向ナデ、<br>器面2次焼成で黒<br>化 | 破片    | 優  | 10YR2/1黒/5YR5/橙             | (29.6) | (33.6) | —      | —      | 白色小粒少                        | 16 c             |                            |
| 18            | セ367<br>38t        | 1                | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部静止糸切痕無調<br>整 体部クロコ痕残<br>る                                                                  | 見込みナデない                                | 破片    | 優  | 5YR4/3にぶい赤褐                 | —      | —      | (5.2)  | —      | 海・金雲母粒                       | 12 c 末           |                            |
| 19            | セ379<br>053        | 1                | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部やや突出し、糸<br>切痕ナデ消す 体部<br>は丸く立ち上がり、<br>口縁部をやや強く横<br>ナデ                                       | 見込み横方向ナデ、<br>口縁は薄手                     | 1/4以下 | 優  | 10YR8/2灰白                   | (14.0) | (14.0) | (5.7)  | 4.4    | 密で、雲母片<br>岩・石英微粒・<br>赤色中粒含む  | 12 c 末～13<br>c 前 | 白味強い                       |
| 20            | セ379<br>041        | 6                | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部若干突出し、糸<br>切痕ナデ消す 体部<br>内湾しつつ立ち上<br>がり、口縁部は若干外<br>傾                                        | 見込み軽く横方向<br>ナデ 口縁付近薄<br>手              | 2/3   | 良  | 10YR7/6明黄褐                  | (12.7) | (12.7) | 7.3    | 4.0    | 角閃石・海微量、<br>白色・赤色中粒<br>多     | 12 c 末～13<br>c 前 |                            |
| 22            | セ379<br>032        | 1                | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部若干突出し、糸<br>切痕ナデ消す 網代<br>状圧痕付着                                                              | 見込み横方向ナデ                               | 破片    | 優  | 10YR6/6橙                    | —      | —      | (4.5)  | —      | 海・金雲母微量                      | 13 c             |                            |
| 23            | セ367<br>38t        | 1                | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部網代状圧痕 口<br>縁部やや強く横ナデ<br>するため、体部やや<br>屈曲                                                    | 見込み全面横方向<br>ナデのため中央部<br>やや薄い           | 1/4以下 | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙                | (8.4)  | (8.5)  | (6.1)  | 1.9    | 金雲母粒多                        | 13 c 後葉か         |                            |
| 24            | セ367<br>4t         | 4                | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 口縁部段ナデ                                                                                       | 見込み不明                                  | 破片    | 良  | 7.5YR6/6橙                   | (14.9) | (15.1) | —      | —      | 海・金雲母粒少                      | 13 c 前葉          |                            |
| 25            | セ379<br>041        | 10               | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部糸切痕ナデ消す<br>特に底部外周を強<br>くナデる 丸底意識<br>か                                                      | 見込み横方向ナデ                               | 1/4   | 優  | 5YR7/6橙                     | —      | —      | (5.7)  | —      | 海・石英小粒少                      | 13 c 前葉          |                            |
| 26            | セ379<br>041        | 16               | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部突出顕著で糸切<br>痕ナデ消す                                                                           | 見込み横方向ナデ                               | 1/4以下 | 良  | 7.5YR7/4にぶい橙                | —      | —      | (6.5)  | —      | 海少、金雲母多                      | 12 c 末～13<br>c 前 |                            |
| 27            | セ379<br>041        | 15               | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ      | 底部やや突出、器面<br>風化のため明瞭でな<br>いが、糸切痕をナデ<br>消しているようであ<br>る 体部は丸く立ち<br>上がり、口縁部をや<br>や強く横ナデ         | 見込み横方向ナデ                               | 1/4以下 | 良  | 10YR7/3にぶい黄橙                | (10.9) | (10.9) | (5.6)  | (3.1)  | 密で、海微量、<br>石英・金雲母微<br>粒含む    | 12 c 後葉          |                            |



| ( )は復元値 単位:cm |              |    |            |          |                                                                                                     |                                             |          |    |                            |        |        |       |     |                                      |                  |               |     |
|---------------|--------------|----|------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------|----|----------------------------|--------|--------|-------|-----|--------------------------------------|------------------|---------------|-----|
| No.           | 遺構           | 注記 | 種 別        | 器種       | 外面の特徴                                                                                               | 内面の特徴                                       | 遺存度      | 焼成 | 色調                         | 器面/断面  | 口径     | 最大径   | 底径  | 器高                                   | 胎 土              | 時 期           | 備 考 |
| 28            | セ379<br>041  | 9  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部突出顯著で糸切<br>痕ナデ消す 一部網<br>代状圧痕着く                                                                    | 見込み横方向ナデ                                    | 1/4      | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙               | —      | —      | 6.0   | —   | 海・金雲母粒含<br>む                         | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 29            | セ379<br>041  | 2  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部回転糸切痕ナデ<br>消す 特に底部外周<br>を強くナデ、丸底を<br>意識するものと思わ<br>れるが不徹底                                          | 見込み横方向ナデ                                    | 1/4      | 良  | 7.5YR7/6橙                  | —      | —      | 5.7   | —   | 石英中～小粒・<br>赤色小粒多                     | 13 c             |               |     |
| 30            | セ367<br>38t  | 1  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部網代状圧痕、若<br>干突出し、外周無調<br>整 口縁部やや強く<br>横ナデするため、体<br>部やや屈曲                                           | 見込み全面横方向<br>ナデのため中央部<br>やや薄い                | 1/4      | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙               | (8.8)  | (9.0)  | (6.8) | 2.2 | 金雲母粒多・海<br>少                         | 13 c 後葉か         |               |     |
| 31            | セ367<br>48t  | 1  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕を<br>ごく軽くナデる 底<br>部立ち上がり付近を<br>ナデ調整する                                                       | 見込み全面を軽く<br>横方向ナデ                           | 底部の<br>み | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙               | —      | —      | (6.0) | —   | 練りが不徹底で、<br>粘土ブロック含<br>む 海・金雲母<br>含む | 13世紀前葉           |               |     |
| 32            | 041          | 5  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す                                                                                           | 見込み横方向ナデ                                    | 1/4      | 良  | 10YR7/4にぶい黄橙               | —      | —      | 6.9   | —   | 雲母片岩微量、<br>海少、石英微粒                   | 13 c か           |               |     |
| 33            | 053          | 2  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕ナ<br>デ消す 立ち上がり<br>部はナデ調整し、底<br>部の突出を抑えてい<br>る ややぬるい段ナ<br>デ                                  | 見込み軽くナデ払<br>いする程度だが、<br>横ナデ痕はなく平<br>坦       | ほぼ完<br>形 | 良  | 7.5YR7/4にぶい橙               | 7.5    | 7.5    | 4.6   | 1.5 | 石英小粒・赤色<br>中粒多                       | 12 c             |               |     |
| 34            | 053          | 2  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕無<br>調整、ややぬるい段<br>ナデ                                                                        | 見込み軽くナデ払<br>いする程度だが、<br>横ナデ痕はなく平<br>坦       | 完形       | 良  | 7.5YR6/4にぶい橙               | 8.2    | 8.4    | 5.6   | 1.4 | 石英中～小粒多<br>金雲母少                      | 12 c             |               |     |
| 35            | 053          | 2  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕無<br>調整、段ナデ顯著、2<br>段意識か                                                                     | 見込みナデないが、<br>横ナデ痕はなく平<br>坦                  | 完形       | 良  | 10YR5/3にぶい黄褐               | 8.1    | 8.2    | 5.0   | 1.5 | 石英中～小粒多<br>金雲母少                      | 12 c             |               |     |
| 36            | セ367<br>47t  | 2  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す<br>体部段ナデ施すが<br>あまり顯著でない                                                                   | 見込み平らで、全<br>面軽く横方向ナデ                        | 1/2      | 優  | 5YR6/6橙                    | (8.0)  | (8.1)  | (5.2) | 1.4 | 白色小粒多、石<br>英小粒少                      | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 37            | セ367<br>47t  | 2  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕無<br>調整 体部段ナデす<br>るがあまり顯著でな<br>い                                                            | 見込み平らで、全<br>面軽く横方向ナデ                        | 破片       | 優  | 7.5YR7/4にぶい橙               | (8.8)  | (8.8)  | (5.8) | 1.4 | 白色小粒多、石<br>英小粒少                      | 12 c 末～13<br>c 前 | No36と同タイ<br>プ |     |
| 38            | セ367<br>41t  | 14 | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部回転糸切痕ナデ<br>消す                                                                                     | 見込み平らで、全<br>面軽く横方向ナデ                        | 破片       | 優  | 7.5YR6/6橙                  | —      | —      | (6.2) | —   | 赤色中粒少                                | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 39            | セ379<br>054  | 1  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕を<br>軽くナデ払うが、調<br>整か偶然かは不明、<br>一部に網代状圧痕付<br>着、底部突出顯著                                        | 見込み横方向ナデ<br>平坦                              | 1/4以下    | 優  | 7.5YR6/4にぶい橙               | —      | —      | (5.4) | —   | 海微量、金雲<br>母・石英小粒少                    | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 40            | セ379<br>047  | 15 | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕遺存しな<br>いが調整の結果によ<br>るものか不明、網代<br>状圧痕附着 底部突<br>出やや顯著                                           | 見込み軽く横方向<br>ナデ、平坦                           | 破片       | 優  | 2.5YR5/6赤褐                 | —      | —      | (5.7) | —   | 海・石英小粒少<br>白色微粒多                     | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 41            | セ379         | 1  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕遺存しな<br>いが調整の結果によ<br>るものか不明、底部<br>突出顯著                                                         | 見込み軽く横方向<br>ナデ                              | 破片       | 優  | 5YR5/6明赤褐                  | —      | —      | 4.9   | —   | 金雲母・白色小<br>粒多                        | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 42            | セ379<br>049  | 一括 | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 体部球状に立ち上<br>がり、横ナデ痕明瞭、<br>口縁下部を若干強く<br>横ナデする                                                        | 見込み不明                                       | 破片       | 良  | 7.5YR7/3にぶい橙               | (16.0) | (16.3) | —     | —   | 海少、金雲母多                              | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 43            | セ367<br>41t  | 11 | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕無調<br>整、立ち上がり部ナ<br>デ調整                                                                      | 見込み横方向ナデ、<br>平坦で球状に立ち<br>上がる                | 1/4以     | 優  | 5YR6/6橙                    | —      | —      | (7.2) | —   | 海少、金雲母多                              | 13 c か           |               |     |
| 44            | セ367<br>93t  | 3  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕無調整、<br>体部横ナデ痕顯著                                                                               | 見込み横方向ナデ、<br>横ナデ痕若干残る<br>がほぼ平滑で球状<br>に立ち上がる | 破片       | 優  | 5YR4/6赤褐                   | —      | —      | (6.2) | —   | 金雲母多                                 | 13 c 初頭          |               |     |
| 45            | セ367<br>118t | 98 | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部糸切痕ナデ消す<br>立ち上がり部ナデ<br>調整                                                                         | 見込み軽く横方向<br>ナデするが、中央<br>部大きく膨らむ             | 1/4以     | 良  | 7.5YR6/6橙                  | —      | —      | (5.6) | —   | 赤色中粒多                                |                  |               |     |
| 46            | セ367<br>41t  | 9  | 土師質<br>土器  | カワ<br>ラケ | 底部右回転糸切痕軽<br>くナデ払うが、調整<br>か否かは不明、底部<br>突出顯著                                                         | 見込み軽くナデ払<br>う程度だが、横ナ<br>デ痕なく平坦              | 1/4以     | 良  | 7.5YR6/4にぶい橙               | —      | —      | (6.7) | —   | 海微量、石英・<br>白色微粒含む                    | 12 c 末～13<br>c 前 |               |     |
| 48            | セ367<br>95t  | 1  | 龍泉窯<br>系青磁 | 花生       | 頸部筒状で口縁大き<br>く開き、口唇部直立<br>するが、口唇部面取<br>りするが、釉層厚いた<br>め、外見上は玉緑に<br>近い 全面青磁釉を<br>数回重ね施釉、釉層<br>厚く、貫入あり | 全面青磁釉を数回<br>重ね施釉、釉層厚<br>く、貫入あり              | 破片       | 優  | 10GY6/1緑灰（光沢）<br>/N7/灰白    | (10.0) | —      | —     | —   | 密で硬質、微黒<br>粒含む                       | 12 c 末～13<br>c 前 | 極めて良質な<br>青磁  |     |
| セ369・381      |              |    |            |          |                                                                                                     |                                             |          |    |                            |        |        |       |     |                                      |                  |               |     |
| 1             | セ381<br>036  | 1  | 龍泉窯<br>系青磁 | 碗        | 全面施釉、釉層薄い<br>蓮弁を片切彫で<br>表現するが、ほとん<br>ど練刻に近く、鎊は<br>ない                                                | 全面施釉、釉層薄<br>い                               | 破片       | 良  | 7.5Y5/3灰オリー<br>ブ/2.5Y7/2灰黄 | —      | —      | —     | —   | 硬質                                   | I -5a類           |               |     |
| 2             | セ369<br>3t   | 4  | 龍泉窯<br>系青磁 | 杯        | 全面施釉、釉層厚く<br>小気泡入る                                                                                  | 全面施釉、厚い<br>体部に断面U字状<br>の蓮弁を彫る               | 破片       | 優  | 10GY6/1緑灰（光沢）<br>/N8/灰白    | (15.0) | (15.2) | —     | —   | 密で硬質、微黒<br>粒少                        | Ⅲ類               |               |     |

|      |             |    |       |       |                                              |                                                |       |    |                          | ( )は復元値 |        | 単位:cm |     |                 |           |     |        |
|------|-------------|----|-------|-------|----------------------------------------------|------------------------------------------------|-------|----|--------------------------|---------|--------|-------|-----|-----------------|-----------|-----|--------|
| No.  | 遺構          | 注記 | 種 別   | 器種    | 外面の特徴                                        | 内面の特徴                                          | 遺存度   | 焼成 | 色調                       | 器面/断面   | 口径     | 最大径   | 底径  | 器高              | 胎 土       | 時 期 | 備 考    |
| 3    | セ369<br>12t | 1  | 白磁    | 皿     | 全面透明釉を施釉するが、釉層は厚くない 見込みにヘラ描き文                | 底部無釉                                           | 破片    | 優  | 5GY8/1灰白/7.5Y8/1灰白       | —       | —      | (4.8) | —   | 密で硬質、微黒粒含む      | Ⅷ類        |     |        |
| 4    | セ369<br>11t | 1  | 瀬戸・美濃 | 腰折皿   | 体部S字状に浅く開く 削り出し高台                            | 立ち上がり部にナデ工具による窪みあり                             | 破片    | 優  | 2.5Y7/1灰白                | —       | —      | (7.6) | —   | 密で焼き締まる         | 後Ⅳ（新）     |     |        |
| 5    | セ369<br>18t | 23 | 志野    | 丸皿    | 削り出し高台、志野釉全面施釉                               | 鉄 釉 で 植 物 文 (2.5Y3/1黒褐)、全面志野釉施釉                | 破片    | 良  | 2.5Y8/3淡黄/10YR8/2灰白      | —       | —      | —     | —   | 長石小粒微量          | 大窯4(後～未)  |     |        |
| 6    | セ369<br>38t | 3  | 志野    | 丸皿    | 削り出し高台、口縁下部やや強く横ナデ 志野釉全面施釉                   | 横ナデ丁寧で痕跡残らない 全面志野釉施釉                           | 破片    | 良  | 2.5Y8/2灰白 (光沢)/2.5Y8/1灰白 | (12.1)  | (12.2) | (7.5) | —   | 長石小粒微量          | 大窯4(後～未)  |     |        |
| 7    | セ369<br>28t | 5  | 渥美    | 鉢     | 横方向ナデ                                        | 横ナデ                                            | 破片    | 優  | 5YR5/1褐灰/N6/灰            | —       | (20.0) | —     | —   | 密、白色中～小粒        | 12 c      |     |        |
| 8    | セ369<br>10t | 4  | 渥美    | 鉢     | 横方向ナデ                                        | 横ナデ                                            | 破片    | 良  | 10YR4/1褐灰/2.5Y6/1黄灰      | —       | (20.2) | —     | —   | 密、白色中～小粒        | 12 c      |     |        |
| 9    | セ369<br>10t | 1  | 常滑    | 片口鉢   | 横ナデ、口縁～肩部に自然釉10Y5/2オリーブ灰                     | 横ナデ、口縁部下の屈曲は棒状のナデ工具使用、口唇部ぬるい面あり                | 破片    | 優  | 2.5YR4/4にぶい赤褐/2.5Y7/1灰白  | (13.0)  | (16.1) | —     | —   | 焼き締まる 長石中粒含む    | 5～6a型式    |     |        |
| 10   | セ381<br>037 | 1  | 常滑    | 甕     | 頸部横ナデ、口縁部折り返す                                | 横ナデ、折り返し付近に強いナデ痕あり                             | 破片    | 良  | 7.5YR5/4にぶい褐             | —       | —      | —     | —   | 常滑としては密で、白色小粒含む | 7型式       |     |        |
| 11   | セ369<br>6t  | 12 | 常滑    | 片口鉢Ⅰ類 | 口縁下部を強く横ナデし、口縁肥大                             | 横ナデ                                            | 破片    | 良  | 5Y7/1灰白、やや青み帯びる          | —       | —      | —     | —   | 長石中～小粒多         | 5型式       |     |        |
| 12   | セ369<br>1t  | 1  | 常滑    | 片口鉢Ⅰ類 | 横ナデ、口縁部ほとんど肥大しない                             | 横ナデ                                            | 破片    | 良  | 5Y7/1灰白                  | —       | —      | —     | —   | 長石中～小粒含む        | 4型式       |     |        |
| 13   | セ369<br>6t  | 6  | 常滑    | 片口鉢Ⅰ類 | 口縁下部を強く横ナデし、口縁肥大                             | 横ナデ                                            | 破片    | 良  | 5Y7/1灰白、やや青み帯びる          | —       | —      | —     | —   | 長石中～小粒含む        | 5型式       |     |        |
| 14   | セ369<br>9t  | 3  | 備前    | 片口鉢   | 板工具で胴部縦方向ヘラナデ後、口縁部を布状工具で横ナデ                  | 横方向ナデ、口唇部面取するが、中央部が若干窪む 口縁付近に霧状に降灰 (2.5Y8/1灰白) | 破片    | 良  | 7.5YR5/2灰褐/7.5YR4/1褐灰    | (27.1)  | (27.1) | —     | —   | 長石大～小粒含む        | 13 c 前～中葉 |     |        |
| 15   | セ369<br>9t  | 2  | 備前    | 片口鉢   | 胴部縦方向ヘラケズリ後、口縁部を横ナデ 注口部はあまり幅広でなく、端部を指頭で押さえる  | 横方向ナデ、口唇部面取する 口縁付近に霧状に降灰 (2.5Y8/1灰白)           | 破片    | 優  | 10R4/3赤褐/N7/灰白           | —       | —      | —     | —   | 小礫・石英中粒少、黒色中粒含む | 13 c 前～中葉 |     |        |
| 16   | セ381<br>033 | 1  | 土師質土器 | カワラケ  | 底部突出やや顕著で糸切痕は遺存せず、ナデ消した可能性もあるが不明、体部は薄手で段ナデ施す | 見込み不明、微弱なナデ払い                                  | 1/2以下 | 良  | 7.5YR6/6橙                | (10.1)  | (10.1) | (5.2) | 2.9 | 海微量、金雲母・石英微粒含む  | 12 c か    |     | ロクロ土師系 |
| 17   | セ369<br>28t | 4  | 常滑    | 片口鉢Ⅰ類 | 体部下位を右回転ヘラケズリ調整後、高台ナデ付け                      | 横ナデ                                            | 破片    | 良  | 2.5Y7/1灰白                | —       | —      | —     | —   | 長石中～小粒含む        | 5型式       |     |        |
| 18   | セ369<br>9t  | 14 | 常滑    | 片口鉢Ⅰ類 | 体部下位を回転ヘラケズリ調整するが幅狭い 体部下位はやや丸み帯びるが、高台は帯状に伸びる | 横ナデ 見込みに重ね焼きによる高台痕あり                           | 破片    | 良  | 2.5Y7/1灰白                | —       | —      | 14    | —   | 長石中～小粒含む        | 4型式       |     |        |
| セ382 |             |    |       |       |                                              |                                                |       |    |                          |         |        |       |     |                 |           |     |        |
| 1    | セ382        | 1  | 瀬戸    | 皿     | 断面三角形の削り出し高台                                 | 灰釉施釉                                           | 破片    | 良  | 5Y7/3浅黄/2.5Y8/2灰白        | —       | —      | (6.0) | —   | 密               |           | 連房Ⅱ |        |

第2表 中世金属製品実測遺物の観察表

| セ282 t：トレンチ 単位：cm （ ）は現状寸法 単位：g |    |    |       |     |     |     |     |      |     |
|---------------------------------|----|----|-------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| No.                             | 遺構 | 注記 | 種 別   | 素 材 | 長径  | 短径  | 幅   | 肉厚   | 重量  |
| 4                               | 表採 | —  | 太刀黄金具 | 銅   | 3.7 | 2.2 | 1.6 | 0.15 | 6.2 |

第3表 中世銭の観察表

| セ286 単位：mm |      |    |      |     |    |      |        |        |        |        | 単位：g |     |      |
|------------|------|----|------|-----|----|------|--------|--------|--------|--------|------|-----|------|
| No.        | 遺構   | 注記 | 名称   | 書体  | 国名 | 初鑄年  | 銭径 (A) | 銭径 (B) | 内径 (C) | 内径 (D) | 銭厚   | 重目  | 備考   |
| 8          | 全体   | 2  | 皇宋通宝 | 真書  | 北宋 | 1038 | 24.07  | 24.14  | 20.41  | 20.16  | 0.90 | 2.5 | 私鑄銭か |
| 9          | I3Dt | 4  | 宋元通宝 | 背右月 | 北宋 | 960  | 24.13  | 24.14  | 17.85  | 18.26  | 1.06 | 2.6 | 私鑄銭か |
| 14         | 一括   | 13 | 熙寧元宝 | 真書  | 北宋 | 1068 | 24.11  | 24.08  | 20.45  | 20.32  | 1.29 | 3.7 |      |

セ337

|    |    |   |      |     |   |      |       |       |       |       |      |     |      |
|----|----|---|------|-----|---|------|-------|-------|-------|-------|------|-----|------|
| 12 | 一括 | — | 至大通宝 | 背右星 | 元 | 1310 | 22.97 | 23.34 | 19.58 | 19.86 | 1.83 | 3.0 | 私鑄銭か |
|----|----|---|------|-----|---|------|-------|-------|-------|-------|------|-----|------|

セ348

|    |    |   |      |    |    |      |       |       |       |       |      |     |  |
|----|----|---|------|----|----|------|-------|-------|-------|-------|------|-----|--|
| 63 | 一括 | 1 | 明道元宝 | 篆書 | 北宋 | 1032 | 26.07 | 25.56 | 21.09 | 20.21 | 1.09 | 2.3 |  |
|----|----|---|------|----|----|------|-------|-------|-------|-------|------|-----|--|

第4表 中世石製品実測遺物の観察表

セ348

t：トレンチ

単位：cm（ ）は現状寸法

単位：g

| No. | 遺構  | 注記 | 種 別   | 石 材  | 長径  | 短径  | 厚さ  | 重量    | 色 調       | 備 考           |
|-----|-----|----|-------|------|-----|-----|-----|-------|-----------|---------------|
| 62  | 032 | 19 | 武蔵型板碑 | 緑泥片岩 | 8.2 | 6.1 | 1.4 | 110.4 | 10GY5/1緑灰 | 裏面のみ砥石に転用、仕上砥 |

第5表 中世陶磁器類の総分類 (総数510点)

| 総計 510       |       |          |     |      |
|--------------|-------|----------|-----|------|
| A区 合計 32 0   |       |          |     |      |
| セ286 合計 24 0 |       |          |     |      |
| 産 地          | 器 種   | 型 式      | 点 数 | 砥石転用 |
| 渥美産陶器        | 甕     | 不明       | 1   | 0    |
| 常滑産陶器        |       |          | 11  | 0    |
|              | 甕     | 不明       | 9   | 0    |
|              | 片口鉢Ⅰ類 |          | 2   | 0    |
|              |       | 2型式      | 1   | 0    |
|              |       | 不明       | 1   | 0    |
| 瀬戸・美濃系陶器     |       |          | 5   | 0    |
|              | 搦鉢    |          | 3   | 0    |
|              |       | 大窯1(前)   | 1   | 0    |
|              |       | 不明       | 2   | 0    |
|              | 縁釉皿   | 大窯1      | 1   | 0    |
|              | 丸皿    | 大窯2      | 1   | 0    |
|              |       |          |     |      |
| 志戸呂産陶器       |       |          | 2   | 0    |
|              | 搦鉢    | 大窯2(後)   | 1   | 0    |
|              | 天目茶碗  | 大窯4      | 1   | 0    |
| 東海系土器        | 羽釜    | 古瀬戸後期並行  | 1   | 0    |
| 土師質土器        | カワラケ  |          | 4   | 0    |
|              |       |          | 4   | 0    |
|              |       | 12 c 末   | 2   | 0    |
|              |       | 13 c 前葉か | 1   | 0    |
|              |       | 15 c 後葉  | 1   | 0    |

| セ287 合計 6 0 |    |        |   |   |
|-------------|----|--------|---|---|
| 常滑産陶器       | 甕  | 不明     | 1 | 0 |
| 瀬戸・美濃系陶器    |    |        | 5 | 0 |
|             | 瓶子 | 中Ⅱ期    | 1 | 0 |
|             | 搦鉢 |        | 2 | 0 |
|             |    | 大窯1(後) | 1 | 0 |
|             |    | 不明     | 1 | 0 |
|             | 平碗 | 大窯1    | 1 | 0 |
|             | 火桶 | 不明     | 1 | 0 |

| セ309 合計 1 0 |    |    |   |   |
|-------------|----|----|---|---|
| 瀬戸・美濃系陶器    | 搦鉢 | 不明 | 1 | 0 |

| セ310 合計 1 0 |    |         |   |   |
|-------------|----|---------|---|---|
| 瀬戸・美濃系陶器    | 搦鉢 | 後Ⅳ（新）以降 | 1 | 0 |

| B区 合計 3 0   |       |     |   |   |
|-------------|-------|-----|---|---|
| セ304 合計 3 0 |       |     |   |   |
| 常滑産陶器       | 片口鉢Ⅰ類 | 5型式 | 1 | 0 |
| 瀬戸・美濃系陶器    |       |     | 2 | 0 |
|             | 水注    | 前Ⅲ期 | 1 | 0 |
|             | 丸碗    | 大窯3 | 1 | 0 |

| C区 合計 56 1  |      |      |   |   |
|-------------|------|------|---|---|
| セ282 合計 7 0 |      |      |   |   |
| 常滑産陶器       |      |      | 4 | 0 |
|             | 甕    |      | 2 | 0 |
|             |      | 12型式 | 1 | 0 |
|             |      | 不明   | 1 | 0 |
|             | 片口鉢Ⅱ |      | 2 | 0 |
|             |      | 9型式  | 1 | 0 |
|             |      | 不明   | 1 | 0 |
| 瀬戸・美濃系陶器    |      |      | 3 | 0 |
|             | 搦鉢   | 不明   | 1 | 0 |
|             | 端反皿  | 大窯2  | 1 | 0 |
|             | 志野丸皿 | 大窯4  | 1 | 0 |
|             |      |      |   |   |

| セ283 合計 2 0 |    |     |   |   |
|-------------|----|-----|---|---|
| 渥美産陶器       | 甕  | 不明  | 1 | 0 |
| 志戸呂産陶器      | 丸皿 | 大窯4 | 1 | 0 |

| セ284 合計 18 1 |       |       |   |   |
|--------------|-------|-------|---|---|
| 渥美産陶器        | 甕     | 不明    | 4 | 0 |
| 常滑産陶器        |       |       | 7 | 1 |
|              | 甕     | 不明    | 2 | 1 |
|              | 片口鉢Ⅱ類 |       | 5 | 0 |
|              |       | 8型式   | 1 | 0 |
|              |       | 9型式   | 1 | 0 |
| 瀬戸・美濃系陶器     |       | 不明    | 3 | 0 |
|              |       |       | 7 | 0 |
|              | 深皿    | 後Ⅱ期   | 1 | 0 |
|              | 搦鉢    |       | 3 | 0 |
|              |       | 後Ⅳ（新） | 1 | 0 |
|              |       | 不明    | 2 | 0 |
|              | 天目茶碗  | 大窯5   | 1 | 0 |
|              | 志野鉄絵皿 | 大窯5   | 1 | 0 |
|              | 不明    | 古瀬戸   | 1 | 0 |

| セ289 合計 27 0 |       |         |    |   |
|--------------|-------|---------|----|---|
| 青白磁          | 梅瓶    | 13c     | 1  | 0 |
| 龍泉窯系青磁       | 碗     | I -5b類  | 1  | 0 |
| 渥美産陶器        |       |         | 4  | 0 |
|              | 壺     |         | 3  | 0 |
|              |       | 12 c 中葉 | 1  | 0 |
|              |       | 不明      | 2  | 0 |
|              | 甕     | 不明      | 1  | 0 |
| 常滑産陶器        |       |         | 17 | 0 |
|              | 甕     |         | 16 | 0 |
|              |       | 不明      | 15 | 0 |
|              |       | 6型式     | 1  | 0 |
|              | 片口鉢Ⅱ類 | 不明      | 1  | 0 |
| 瀬戸・美濃系陶器     |       |         | 4  | 0 |
|              | 瓶子    | 不明      | 1  | 0 |
|              | 片口鉢   | 前Ⅲ期     | 1  | 0 |
|              | 搦鉢    |         | 2  | 0 |
|              |       | 後Ⅳ（新）以降 | 1  | 0 |
|              |       | 不明      | 1  | 0 |

| セ303 合計 2 0 |    |    |   |   |
|-------------|----|----|---|---|
| 常滑産陶器       | 甕  | 不明 | 1 | 0 |
| 瀬戸・美濃系陶器    | 搦鉢 | 不明 | 1 | 0 |

| D区 合計 28 1   |  |  |  |  |
|--------------|--|--|--|--|
| セ333 合計 27 1 |  |  |  |  |

| 産 地      | 器 種   | 型 式     | 点 数 | 砥石転用 |
|----------|-------|---------|-----|------|
| 龍泉窯系青磁   | 碗     | I -5b類  | 2   | 0    |
| 渥美産陶器    |       |         | 3   | 0    |
|          | 壺     | 12 c    | 1   | 0    |
|          | 甕     | 不明      | 2   | 0    |
| 常滑産陶器    |       |         | 14  | 1    |
|          | 壺     | 12型式    | 1   | 0    |
|          | 甕     | 不明      | 10  | 1    |
|          | 片口鉢Ⅰ類 | 4型式     | 1   | 0    |
|          | 片口鉢Ⅱ類 |         | 2   | 0    |
|          |       | 4型式     | 1   | 0    |
|          |       | 不明      | 1   | 0    |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |         | 5   | 0    |
|          | 瓶類    |         | 3   | 0    |
|          | 瓶子か   | 古瀬戸前期か  | 2   | 0    |
|          | 瓶子か   | 古瀬戸前～中期 | 1   | 0    |
|          | 搦鉢    |         | 2   | 0    |
|          |       | 後Ⅳ（古）   | 1   | 0    |
|          |       | 不明      | 1   | 0    |
| 在地土器     | カワラケ  |         | 3   | 0    |
|          |       | 13 c    | 1   | 0    |
|          |       | 13 c 中葉 | 1   | 0    |
|          |       | 不明      | 1   | 0    |

| セ336     |       | 合計             | 1   | 0 |
|----------|-------|----------------|-----|---|
| 常滑産陶器    | 甕     | 不明             | 1   | 0 |
| E区       |       | 合計             | 218 | 3 |
| セ334・348 |       | 合計             | 133 | 3 |
| 龍泉窯系青磁   |       |                | 6   | 0 |
|          | 椀     |                | 4   | 0 |
|          |       | I -2a類         | 1   | 0 |
|          |       | I -4b類         | 1   | 0 |
|          |       | Ⅲ -2類          | 1   | 0 |
|          |       | 不明             | 1   | 0 |
|          | 杯     |                | 2   | 0 |
|          |       | Ⅲ -4類          | 1   | 0 |
|          |       | 不明             | 1   | 0 |
| 白磁       | 皿     | Ⅸ類             | 1   | 0 |
| 渥美産陶器    |       |                | 5   | 0 |
|          | 広口壺   | 1b並行           | 1   | 0 |
|          | 壺     | 12 c 中葉        | 1   | 0 |
|          | 甕     | 不明             | 1   | 0 |
|          | 片口鉢   | 不明             | 2   | 0 |
| 常滑産陶器    |       |                | 50  | 3 |
|          | 甕     |                | 32  | 1 |
|          |       | 2型式            | 1   | 0 |
|          |       | 6b型式           | 3   | 0 |
|          |       | 不明             | 28  | 1 |
|          | 片口鉢Ⅰ類 |                | 6   | 0 |
|          |       | 4型式            | 1   | 0 |
|          |       | 5型式            | 3   | 0 |
|          |       | 不明             | 2   | 0 |
|          | 片口鉢Ⅱ類 |                | 12  | 2 |
|          |       | 7型式            | 1   | 0 |
|          |       | 9型式            | 4   | 1 |
|          |       | 10型式           | 1   | 0 |
|          |       | 不明             | 6   | 1 |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |                | 14  | 0 |
|          | 天目茶碗  | 大窯4            | 1   | 0 |
|          | 搦鉢    | 不明             | 1   | 0 |
|          | 深皿    |                | 5   | 0 |
|          |       | 後Ⅰ～Ⅲ           | 1   | 0 |
|          |       | 後Ⅲ～Ⅳ           | 1   | 0 |
|          |       | 後Ⅳ（古）          | 1   | 0 |
|          |       | 後Ⅳ             | 2   | 0 |
|          | 平碗    |                | 5   | 0 |
|          |       | 後Ⅱ             | 1   | 0 |
|          |       | 古・後期           | 1   | 0 |
|          |       | 不明             | 3   | 0 |
|          | 縁釉皿   | 後Ⅳ             | 1   | 0 |
|          | 志野丸皿  | 大窯4            | 1   | 0 |
| 志戸呂産陶器   | 縁釉皿   | 後Ⅳ             | 1   | 0 |
| 在地土器     |       |                | 56  | 0 |
|          | カワラケ  |                | 55  | 0 |
|          |       | 12 c 末         | 5   | 0 |
|          |       | 常滑4型式並行        | 2   | 0 |
|          |       | 13 c 前葉        | 5   | 0 |
|          |       | 13 c 前～中葉      | 1   | 0 |
|          |       | 13 c 中～後葉      | 2   | 0 |
|          |       | 13 c 後葉か       | 2   | 0 |
|          |       | 14 c           | 5   | 0 |
|          |       | 後Ⅳ（新）～大窯1（前）並行 | 1   | 0 |
|          |       | 不明             | 32  | 0 |
|          |       | 不明             | 1   | 0 |
|          | 火鉢    | 不明             | 1   | 0 |

| セ337     |       | 合計        | 34  | 3    |
|----------|-------|-----------|-----|------|
| 産 地      | 器 種   | 型 式       | 点 数 | 砥石転用 |
| 龍泉窯系青磁   | 椀     | I -5b類    | 1   | 0    |
| 渥美産陶器    |       |           | 4   | 1    |
|          | 甕     | 不明        | 3   | 1    |
|          | 片口鉢   | 13 c 前葉   | 1   | 0    |
| 常滑産陶器    |       |           | 11  | 1    |
|          | 甕     |           | 8   | 0    |
|          |       | 5型式       | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 7   | 0    |
|          | 片口鉢Ⅰ類 | 不明        | 1   | 0    |
|          | 片口鉢Ⅱ類 |           | 2   | 1    |
|          |       | 8型式       | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 1   | 1    |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |           | 13  | 1    |
|          | 壺     | 大窯か       | 1   | 0    |
|          | 鉢     |           | 2   | 0    |
|          | 卸皿    | 前Ⅱ b      | 1   | 0    |
|          | 搦鉢    | 不明        | 1   | 0    |
|          | 碗形鉢   | 古瀬戸中期か    | 1   | 0    |
|          | 折縁皿   | 大窯4       | 1   | 0    |
|          | 平碗    | 後Ⅳ        | 1   | 0    |
|          | 縁釉皿   |           | 4   | 0    |
|          |       | 後Ⅲ        | 1   | 0    |
|          |       | 後Ⅳ        | 3   | 0    |
|          | 不明    | 不明        | 1   | 1    |
| 在地土器     |       |           | 5   | 0    |
|          | 搦鉢    | 後Ⅳ（新）並行   | 1   | 0    |
|          | カワラケ  |           | 3   | 0    |
|          |       | 12 c 後葉   | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 2   | 0    |
|          | 火鉢    | 不明        | 1   | 0    |
| セ350     |       | 合計        | 1   | 0    |
| 常滑産陶器    | 片口鉢Ⅱ類 | 4型式       | 1   | 0    |
| セ362     |       | 合計        | 50  | 0    |
| 龍泉窯系青磁   | 椀     |           | 4   | 0    |
|          |       | I -5a類    | 1   | 0    |
|          |       | I -5b類    | 2   | 0    |
|          |       | 14 c      | 1   | 0    |
| 渥美産陶器    |       |           | 7   | 0    |
|          | 広口壺   | 常滑1b～2型式期 | 1   | 0    |
|          | 甕     | 不明        | 6   | 0    |
| 常滑産陶器    |       |           | 27  | 0    |
|          | 甕     |           | 22  | 0    |
|          |       | 5型式       | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 21  | 0    |
|          | 片口鉢Ⅰ類 | 4型式       | 1   | 0    |
|          | 片口鉢Ⅱ類 |           | 4   | 0    |
|          |       | 8型式       | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 3   | 0    |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |           | 12  | 0    |
|          | 瓶子    |           | 2   | 0    |
|          |       | 古瀬戸前期     | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 1   | 0    |
|          | 香炉    | 大窯4       | 1   | 0    |
|          | 天目茶碗  | 連房1       | 1   | 0    |
|          | 筒形碗   | 大窯3(後)    | 1   | 0    |
|          | 小壺    | 大窯4       | 1   | 0    |
|          | 搦鉢    |           | 5   | 0    |
|          |       | 大窯1(後)    | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 4   | 0    |
|          | 大皿    | 大窯3(後)    | 1   | 0    |

| F区       |       | 合計             | 173    | 1 |   |
|----------|-------|----------------|--------|---|---|
| セ358     |       | 合計             | 24     | 1 |   |
| 龍泉窯系青磁   |       |                | 3      | 0 |   |
|          | 碗     | I -5b類         | 2      | 0 |   |
|          | 杯     | Ⅲ類             | 1      | 0 |   |
| 常滑産陶器    |       |                | 8      | 1 |   |
|          | 甕     | 不明             | 4      | 1 |   |
|          | 片口鉢Ⅰ類 |                | 2      | 0 |   |
|          |       | 2型式            | 1      | 0 |   |
|          |       | 6a型式           | 1      | 0 |   |
|          | 片口鉢Ⅱ類 | 不明             | 2      | 0 |   |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |                | 9      | 0 |   |
|          | 揃鉢    |                | 6      | 0 |   |
|          |       | 大窯4(後)         | 1      | 0 |   |
|          |       | 不明             | 5      | 0 |   |
|          | 平碗    | 大窯1            | 1      | 0 |   |
|          | 縁釉皿   | 後Ⅳ（新）          | 1      | 0 |   |
| 丸皿       | 大窯4   | 1              | 0      |   |   |
| 志戸呂系陶器   | 壺     | 不明             | 1      | 0 |   |
| 在地土器     |       |                | 3      | 0 |   |
|          | カワラケ  |                | 2      | 0 |   |
|          |       | 大窯1並行か         | 1      | 0 |   |
|          |       | 不明             | 1      | 0 |   |
|          | 揃鉢    | 不明             | 1      | 0 |   |
| セ367・379 |       | 合計             | 111    | 0 |   |
| 龍泉窯系青磁   |       |                | 6      | 0 |   |
|          | 花生    | 12 c 末～13 c 前葉 | 1      | 0 |   |
|          | 碗     |                | 3      | 0 |   |
|          |       | I -2a類         | 1      | 0 |   |
|          |       | I -5a類         | 1      | 0 |   |
|          |       | I -5b類         | 1      | 0 |   |
|          | 皿     | I -1a類         | 1      | 0 |   |
|          | 杯     | Ⅲ類             | 1      | 0 |   |
| 渥美産陶器    |       |                | 19     | 0 |   |
|          | 壺     |                | 5      |   |   |
|          |       | 12 c           | 2      | 0 |   |
|          |       | 不明             | 3      | 0 |   |
|          | 甕     | 不明             | 12     | 0 |   |
|          |       | 片口鉢            |        | 2 | 0 |
|          |       |                | 12 c   | 1 | 0 |
|          |       |                | 常滑1b並行 | 1 | 0 |
| 常滑産陶器    |       |                | 32     | 0 |   |
|          | 甕     |                | 24     | 0 |   |
|          |       | 6a型式           | 1      | 0 |   |
|          |       | 不明             | 23     | 0 |   |
|          | 片口鉢Ⅰ類 |                | 4      | 0 |   |
|          |       | 2型式            | 1      | 0 |   |
|          |       | 3型式            | 1      | 0 |   |
|          |       | 4型式            | 1      | 0 |   |
|          |       | 不明             | 1      | 0 |   |
|          |       | 片口鉢Ⅱ類          |        | 4 | 0 |
|          | 4型式   |                | 1      | 0 |   |
|          | 8型式   |                | 1      | 0 |   |
|          | 不明    |                | 2      | 0 |   |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |                | 5      | 0 |   |
|          | 瓶子    | 不明             | 1      | 0 |   |
|          | 天目茶碗  | 大窯4            | 1      | 0 |   |
|          | 揃鉢    |                | 2      | 0 |   |
|          |       | 後Ⅳ（新）          | 1      | 0 |   |
|          |       | 不明             | 1      | 0 |   |
| 深皿       | 後Ⅲ～Ⅳ  | 1              | 0      |   |   |

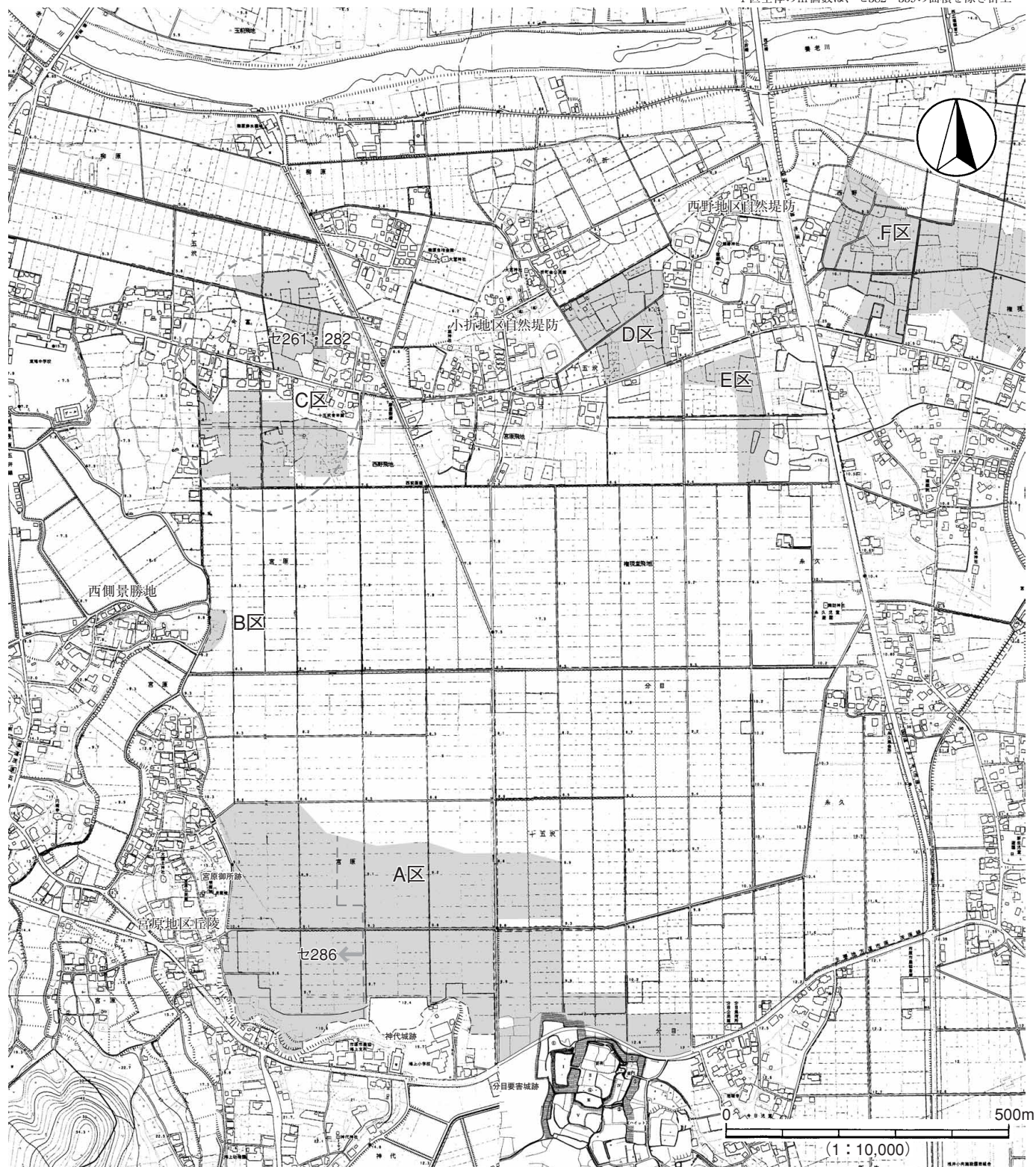
| 産 地      | 器 種   | 型 式       | 点 数 | 砥石転用 |
|----------|-------|-----------|-----|------|
| 在地土器     |       |           | 49  | 0    |
|          | 内耳鍋   | 16 c      | 1   | 0    |
|          | カワラケ  |           | 48  | 0    |
|          |       | 12 c      | 3   | 0    |
|          |       | 12 c 後葉   | 1   | 0    |
|          |       | 12 c 末    | 1   | 0    |
|          |       | 常滑4型式並行   | 12  | 0    |
|          |       | 13 c 初頭   | 1   | 0    |
|          |       | 13 c 前葉   | 3   | 0    |
|          |       | 13 c      | 2   | 0    |
|          |       | 13 c か    | 2   | 0    |
|          |       | 13 c 後葉か  | 2   | 0    |
|          | 不明    | 21        | 0   |      |
| セ369・381 |       | 合計        | 38  | 0    |
| 同安窯系青磁   | 碗     | 不明        | 1   | 0    |
| 龍泉窯系青磁   |       |           | 4   | 0    |
|          | 碗     |           | 3   | 0    |
|          |       | I -2a類    | 1   | 0    |
|          |       | I -5a類    | 1   | 0    |
|          |       | I 類       | 1   | 0    |
|          | 杯     | Ⅲ類        | 1   | 0    |
| 白磁       | 皿     | Ⅳ類        | 1   | 0    |
| 渥美産陶器    |       |           | 8   | 0    |
|          | 甕     |           | 5   | 0    |
|          |       | 常滑3型式期以降  | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 4   | 0    |
|          | 片口鉢   |           | 3   | 0    |
|          |       | 12 c      | 2   | 0    |
|          |       | 不明        | 1   | 0    |
| 常滑産陶器    |       |           | 14  | 0    |
|          | 甕     |           | 7   | 0    |
|          |       | 5型式       | 1   | 0    |
|          |       | 7型式       | 1   | 0    |
|          |       | 不明        | 5   | 0    |
|          | 片口碗   | 5～6型式     | 1   | 0    |
|          | 片口鉢Ⅰ類 |           | 4   | 0    |
|          |       | 4型式       | 2   | 0    |
|          |       | 5型式       | 2   | 0    |
| 片口鉢Ⅱ類    | 不明    | 2         | 0   |      |
| 備前系陶器    | 片口鉢   | 13 c 前～中葉 | 2   | 0    |
| 瀬戸・美濃系陶器 |       |           | 6   | 0    |
|          | 瓶子    | 不明        | 1   | 0    |
|          | 搦鉢    | 不明        | 1   | 0    |
|          | 腰折皿   | 後Ⅳ（新）     | 1   | 0    |
|          | 志野丸皿  | 大窯4(後～末)  | 2   | 0    |
|          | 不明    | 不明        | 1   | 0    |
| 在地土器     |       |           | 2   | 0    |
|          | 搦鉢    | 不明        | 1   | 0    |
|          | カワラケ  | 12 c か    | 1   | 0    |



表6 中世陶磁器類の遺物密度

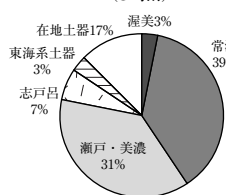
|                   | A区    |       |       |       | B区    | C区    |       |       |       |       |       | D区    |       | E区    |          |       |       | F区       |       |          |       |       |  |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|----------|-------|----------|-------|-------|--|
| 調査区               | セ286  | セ287  | セ310  | セ309  | セ304  | セ289  | セ303  | セ283  | セ284  | セ261  | セ282  | セ336  | セ333  | セ350  | セ334・348 | セ337  | セ362  | セ369・381 | セ382  | セ367・379 | セ359  | セ358  |  |
| 面積                | 860   | 612   | 300   | 383   | 200   | 333   | 456   | 320   | 160   | 370   | 645   | 178   | 897   | 320   | 3,502    | 900   | 3,800 | 951      | 117   | 6,773    | 41    | 360   |  |
| 点数                | 24    | 6     | 1     | 1     | 3     | 27    | 2     | 2     | 18    | 0     | 7     | 1     | 27    | 1     | 133      | 34    | 50    | 38       | 0     | 111      | 0     | 24    |  |
| m <sup>2</sup> 個数 | 0.028 | 0.008 | 0.003 | 0.003 | 0.015 | 0.081 | 0.004 | 0.006 | 0.113 | 0.000 | 0.010 | 0.006 | 0.030 | 0.003 | 0.038    | 0.038 | 0.013 | 0.040    | 0.000 | 0.016    | 0.000 | 0.067 |  |
| 区個数               | 0.015 |       |       |       | 0.015 |       |       |       | 0.025 |       |       |       | 0.026 |       | 0.026    |       |       |          | 0.021 |          |       |       |  |

F区全体のm<sup>2</sup>個数は、セ382・359の面積を除き計上

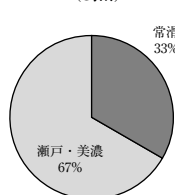


第128図 海上地区遺跡群調査範囲

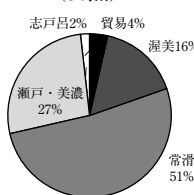
1 A区産地組成  
(32点)



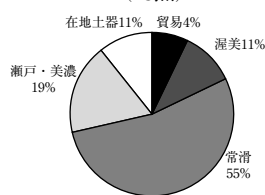
2 B区産地組成  
(3点)



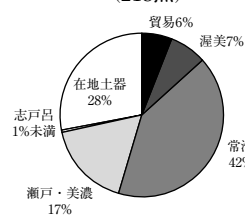
3 C区産地組成  
(56点)



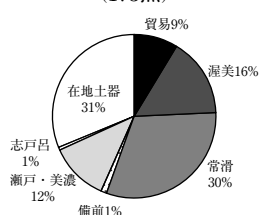
4 D区産地組成  
(28点)



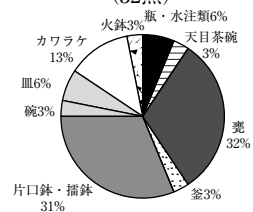
5 E区産地組成  
(218点)



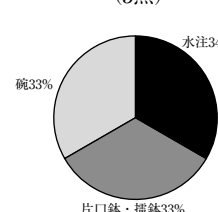
6 F区産地組成  
(173点)



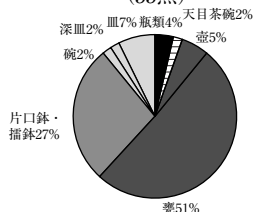
7 A区器種組成  
(32点)



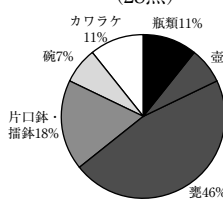
8 B区器種組成  
(3点)



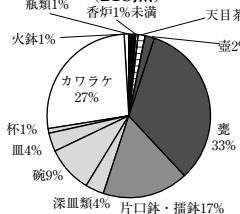
9 C区器種組成  
(55点)



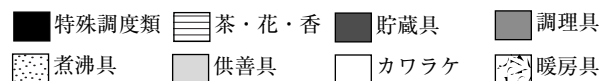
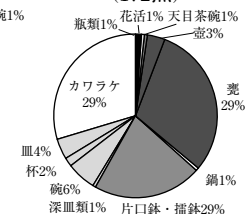
10 D区器種組成  
(28点)



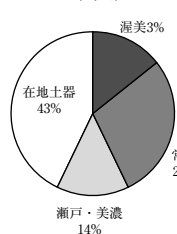
11 E区器種組成  
(218点)



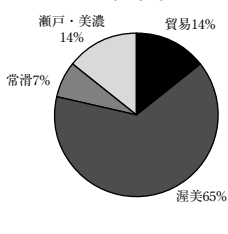
12 F区器種組成  
(172点)



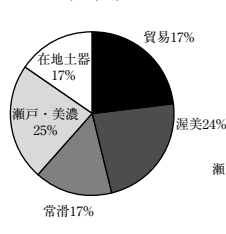
13 A区1群産地組成  
(7点)



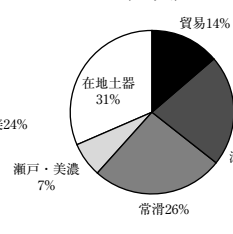
14 C区1群産地組成  
(14点)



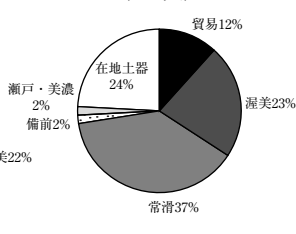
15 D区1群産地組成  
(13点)



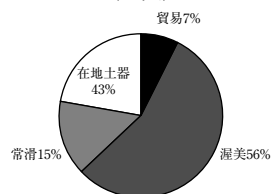
16 E区1群産地組成  
(73点)



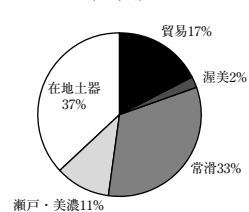
17 F区1群産地組成  
(120点)



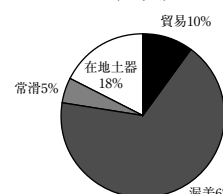
18 E区1a群産地組成  
(27点)



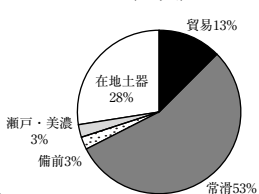
19 E区1b群産地組成  
(46点)



20 F区1a群産地組成  
(40点)

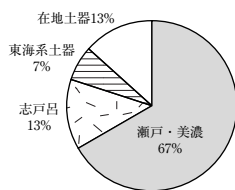


21 F区1b群産地組成  
(80点)

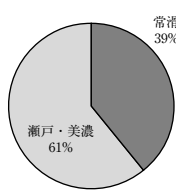




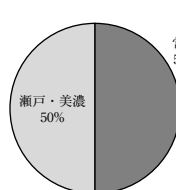
22 A区2群産地組成  
(15点)



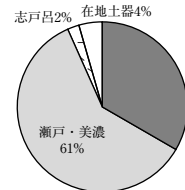
23 C区2群産地組成  
(23点)



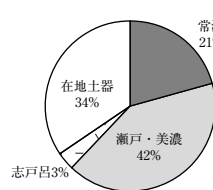
24 D区2群産地組成  
(4点)



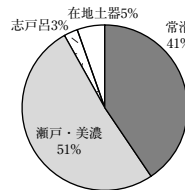
25 E区2群産地組成  
(45点)



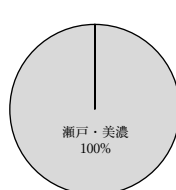
25 F区2群産地組成  
(14点)



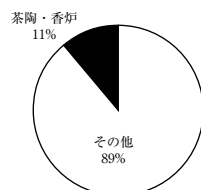
27 E区2a群産地組成  
(37点)



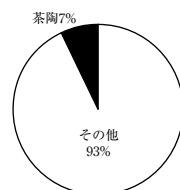
28 E区2b群産地組成  
(8点)



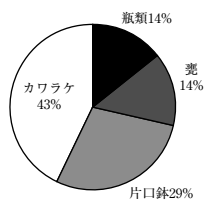
29 E区2群の茶陶類  
(5/45点)



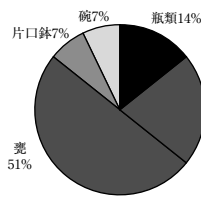
30 F区2群の茶陶類  
(2/26点)



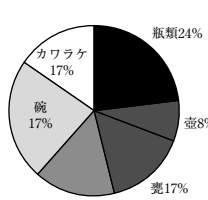
31 A区1群器種組成  
(7点)



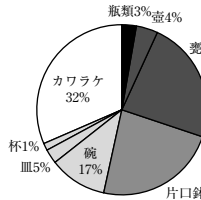
32 C区1群器種組成  
(12点)



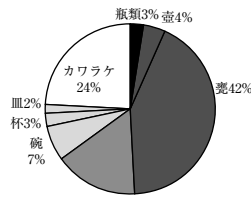
33 D区1群器種組成  
(12点)



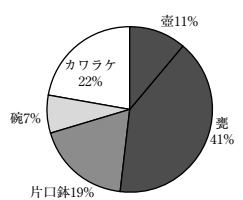
34 E区1群器種組成  
(73点)



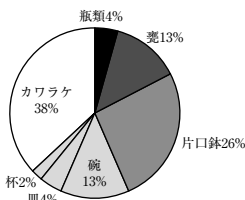
35 F区器種組成  
(119点)



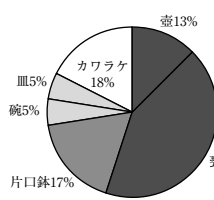
36 E区1a群器種組成  
(27点)



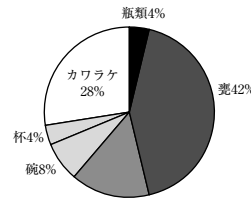
37 E区1b群器種組成  
(46点)



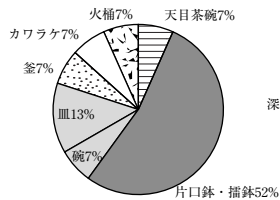
38 F区1a群器種組成  
(40点)



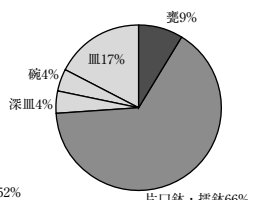
39 F区1b群器種組成  
(79点)



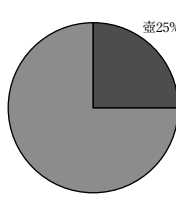
40 A区2群器種組成  
(15点)



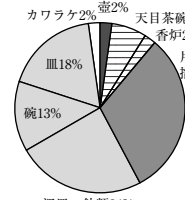
41 C区2群器種組成  
(23点)



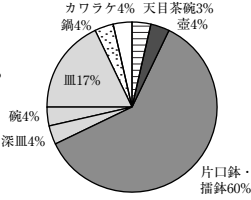
42 D区2群器種組成  
(4点)



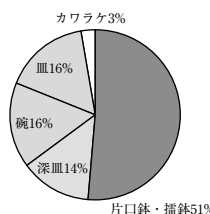
43 E区2群器種組成  
(45点)



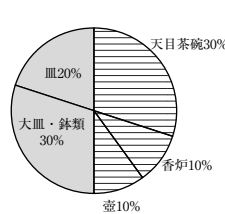
44 F区2群器種組成  
(28点)



45 E区2a群器種組成  
(37点)

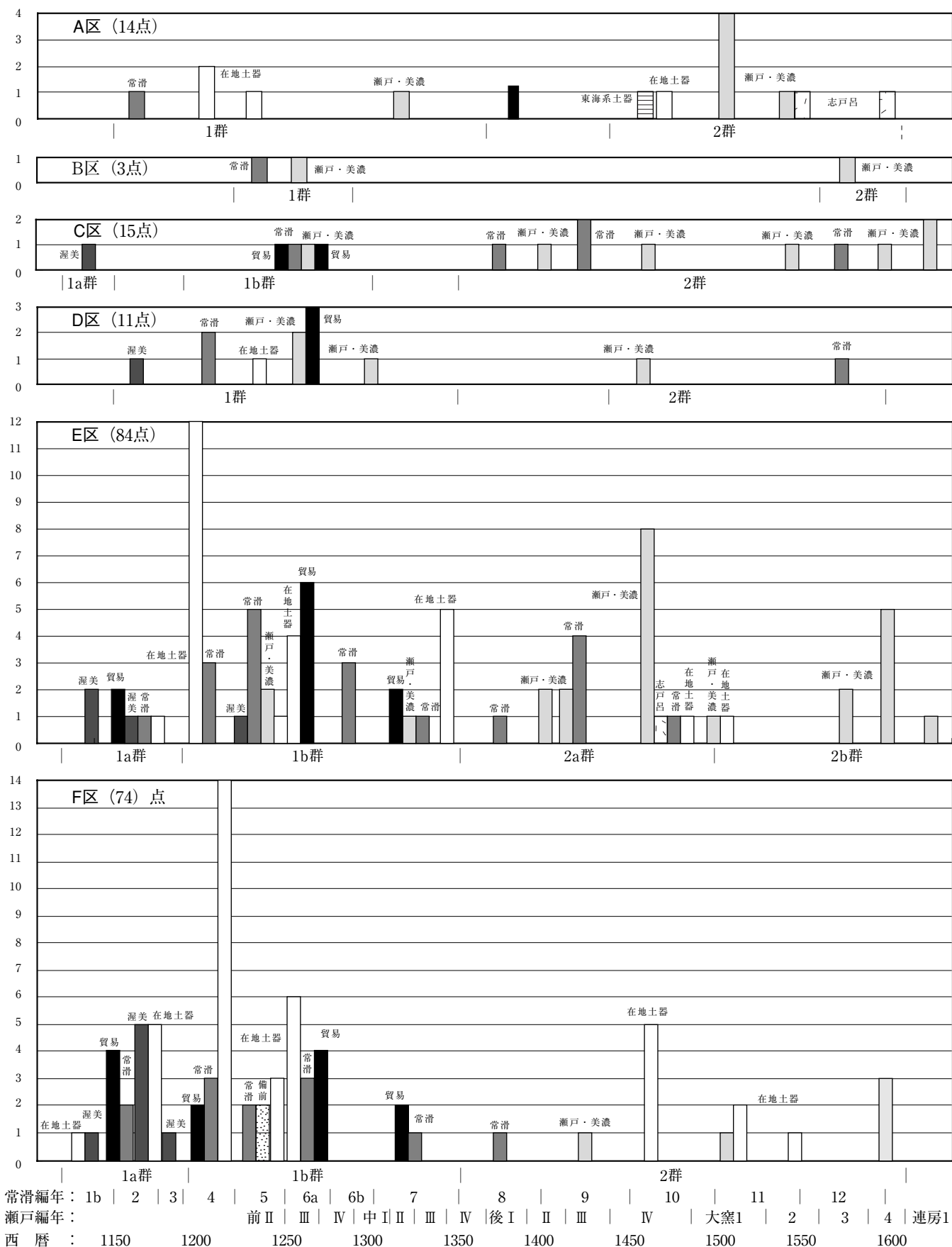


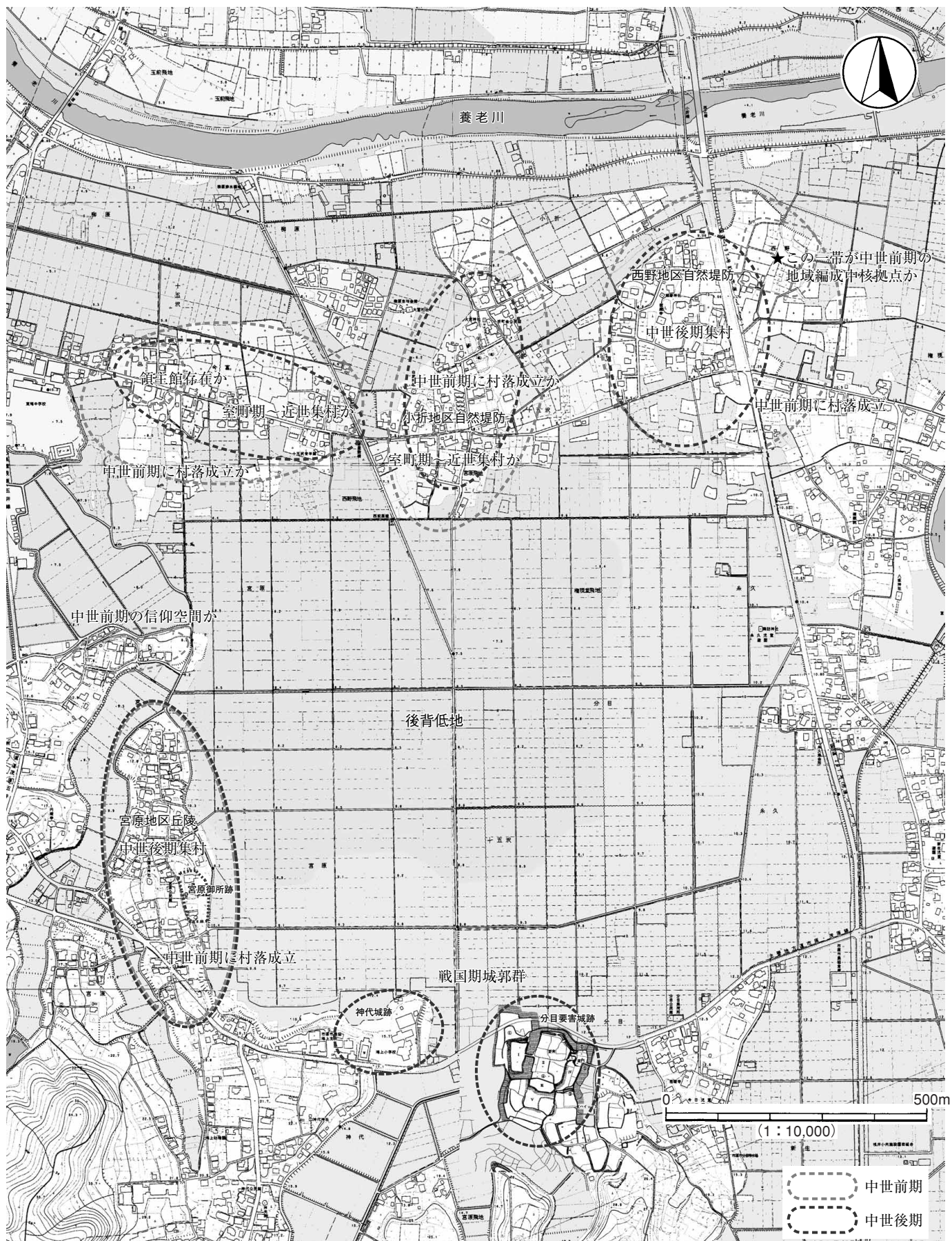
46 E区2b群器種組成  
(8点)





## 47 遺物型式による定量推移





第129図 中世村落の推定分布



## 第2節 海上地区遺跡群（西野遺跡群 B・D 地点）出土貝サンプルの分析結果について

### 貝層の概要

海上地区遺跡群からは、井戸状遺構を中心とする4ヶ所の遺構から貝層が検出された。遺構はいずれも北東部の西野遺跡群 B・D 地点に位置するが、この区域からは人々の生活の痕跡が多数見つっている。貝の保存状態は悪く、多くが破損する資料であった。出土遺物が少ないため、各貝層の形成時期を特定する根拠に乏しいが、B2 地点014号跡（土坑）が中世、D1 地点96トレンチ001号跡（井戸状遺構）が平安期、D1 地点118トレンチ001号跡（井戸状遺構）が中世（12世紀末葉～13世紀前葉）、D3 地点049号跡（井戸状遺構）が中世（12世紀頃？）の可能性が考えられる。貝層の堆積状況等については各遺構図面を参照されたいが、いずれも間層を挟まないことから、比較的短期間に廃棄されたものと考えられる。

### 貝層の分析方法

貝は層位ごとに全量がサンプルとして採取され、10mm・4mm・1mmの各メッシュ寸法の試験用フルイを用いて、発掘調査現場において水洗選別まで行われていた。水洗前の計量が行われていないため、貝層の全体量や混土率は不明である。分類作業により抽出された資料には、大型貝類・微小貝類・微小獣骨・魚骨・種子があるが、このうち微小貝類と種子についての分析は未了である。

同定は、現生ならびに貝塚出土標本との比較により行った。貝類の集計は、腹足類（巻貝）では軸部を完存するものを対象とした。ただし、夥しい量のイボキサゴが検出された B2 地点014号跡（土坑）と D1 地点96トレンチ001号跡（井戸状遺構）の一括採集資料では、整理補助員4名がそれぞれ5000個を集計・計量し、ここから得られた重量の平均値とイボキサゴの総重量から個体数を推定して記載した。二枚貝綱では殻頂部の残存するものを対象とした。二枚貝類は左右殻の出土数量の多い方をもって出土個体数（最小個体数）とした。獣骨・魚骨については、出土量のごく僅かであったことから、内容物集計表（第8表）の備考欄中に記載を行っている。

### 分析結果

分析の結果、腹足綱（巻貝）6種・二枚貝綱5種の計11種の貝類が同定されたほか、脊椎動物骨として、哺乳綱1種、硬骨魚綱1種が同定された（第7表）。

#### （1）貝類

いずれの遺構もほぼ同じような組成を示している。個体数の上で圧倒的な占有種となるイボキサゴを中心に形成された貝層で、このほかは、イボキサゴ採集の際に混獲されたとと思われるウミナシ科やアラムシロ、また二枚貝ではアサリ・ハマグリ・シオフキガイがごく少量混じる程度で、全て内湾砂質底の干潟に生息する種のみで構成される。各貝層の組成を細かく見ていくと、わずかに違いが認められ、D1 地点96トレンチ001号跡（井戸状遺構）では、ほぼイボキサゴとハマグリのみで構成される。また、D1 地点118トレンチ001号跡（井戸状遺構）では、イボキサゴ以外の貝種をほとんど含まない。B2 地点014号跡（土坑）からは最小個体数174点のハマグリが検出されたが、このうち計測を行うことができたのはわずか5点で、殻高計測値の平均は48.60mm、標準偏差は±4.96mmであった。

## (2) 哺乳類

D1 地点118トレンチ001号跡（井戸状遺構）の貝層からネズミ類の左側距骨、左側上腕骨（遠位部）、左側橈骨（近位～骨幹部）が検出された。ネズミ類は頭部や臼歯の形状に種の特徴が認められるが、今回は四肢骨のみの出土であった。手持ちの標本も少なく、四肢骨での詳細な検討が可能かは不明である。重複する部位が認められず、出土量もわずかであることから、これらは同一個体に由来する可能性が高い。小型のネズミであることから、自然死か、あるいは捕獲・遺棄された個体と考えられる。なお、この遺構の貝層中からは大型陸獣の頭蓋骨破片が発掘時に取り上げられているが、大型哺乳類を担当した上氏によって、ウマないしウシに由来する可能性が報告されている。

## (3) 魚類

D1 地点118トレンチ001号跡（井戸状遺構）からウナギ属の腹椎骨が2点検出された。ウナギは河川中流域を中心に、湖沼や汽水域、内湾から外洋まで広く生息する。養老川に近接する遺跡の立地状況から考えれば、捕獲は充分可能である。この遺構からは、魚種不明の尾椎骨1点とウロコが多数検出されているが、尾椎骨については保存状況も良好であるため、標本の整備が進めば、同定は可能と思われる。このほかに、D3 地点049号跡（井戸状遺構）から、魚種不明の鰭棘2点が出土している。

### 貝層の性格についての若干の検討

西野遺跡群から検出された貝層は、いずれもほぼイボキサゴのみで構成され、この種が中世前期にも引き続き利用されていたことが明らかとなった。その他の貝類についても、遺跡付近の海岸に広がる干潟に普通に生息する種であることから、自家消費的に採取されたものと考えられる。

貝は、井戸状遺構に廃棄されたものが中心であったが、井戸にはしばしば祭祀的痕跡を伴う事例が知られている。D1 地点118トレンチ001号跡（井戸状遺構）からは、完形に近い常滑と渥美の鉢が出土しているが、調査担当者はこれを埋井に伴う祭祀的行為の可能性もあるとしていることから、鉢の直上に堆積する貝層についても、これに関連する可能性が考えられる。一方、同一区域からはウマの骨が出土する溝や井戸状遺構が多数検出されており、こちらについても祭祀との関連性が指摘されている。ただし、土坑と井戸状遺構とで貝類組成に違いが認められない点や、貝層中にネズミや魚類骨・ウロコ、種子、土器破片などの多様な資料が含まれる点など、貝層とその内容物の分析からだけでは、食料残渣や塵芥としての性格しか見いだすことができず、積極的に井戸祭祀と結びつけるのは困難である。祭祀行為と認定するためには、井戸を埋めるという行為に対してどのような意識が働いていたかが重要な問題点となるため、遺跡や遺構の性格、遺物の出土状況などを含めて、慎重に検討する必要がある。

近年市内では、縄文期以降に形成された貝層の分析事例が増加し、徐々にデータが蓄積されつつあるが、中世に関しては調査例自体が少なく、姉崎棗塚遺跡の貝層や分目要害遺跡地下式坑の貝ブロックなどが検出されているにすぎない。これらはいずれも戦国期の所産であり、整理作業も行われていないため、中世前期までさかのぼるデータを提示できたことは貴重な成果といえる。（鶴岡英一）

第7表 貝サンプル出土動物遺存体種名一覧

| 綱    | Class        | 目        | Order             | 科        | Family       | 種          | Species                                           |
|------|--------------|----------|-------------------|----------|--------------|------------|---------------------------------------------------|
| 哺乳綱  | Mammalia     | ネズミ目     | Rodentia          | ネズミ科     | Muridae      | ネズミ科種不明    | Muridae gen. et sp. Indet.                        |
| 硬骨魚綱 | Osteichthyes | ウナギ目     | Anguilliformes    | ウナギ科     | Anguillidae  | ウナギ属種不明    | <i>Anguilla</i> sp. Indet.                        |
| 腹足綱  | Gastropoda   | 原始腹足目    | Archaeogastropoda | ニシキウズガイ科 | Trochidae    | イボキサゴ      | <i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i> (Lamarck)   |
|      |              | 中腹足目     | Mesogastropoda    | ウミナナ科    | Batillaridae | ウミナナ科種不明   | Batillaridae gen. et sp. Indet.                   |
|      |              |          |                   | フトヘナタリ科  | Potamididae  | フトヘナタリ科種不明 | Potamididae gen. et sp. Indet.                    |
|      |              |          |                   | タマガイ科    | Naticidae    | ツメタガイ      | <i>Glossaulax didyma</i> (Röding)                 |
|      |              | 新腹足目     | Neogastropoda     | アッキガイ科   | Muricidae    | アカニシ       | <i>Rapana verosa</i> (Valenciennes)               |
|      |              |          |                   | ムシロガイ科   | Nassariidae  | アラムシロ      | <i>Raticunassa festiva</i> (Powys)                |
| 二枚貝綱 | Bivalvia     | フネガイ目    | Arcoidea          | フネガイ科    | Arcidae      | サルボウガイ     | <i>Scapharca kagoshimensis</i> (Tokunaga)         |
|      |              | マルスダレガイ目 | Veneroidea        | バカガイ科    | Mactridae    | シオフキガイ     | <i>Mactra quadrangularis</i> Deshayes             |
|      |              |          |                   | マルスダレガイ科 | Veneridae    | アサリ        | <i>Ruditapes philippinarum</i> (A.Adams et Reeve) |
|      |              |          |                   |          |              | ハマグリ       | <i>Meretrix lusoria</i> (Röding)                  |
|      |              |          |                   |          |              | オキシジミ      | <i>Cyclina sinensis</i> (Gmelin)                  |

※ 分類・配列・種名は、『日本の哺乳類』1994 東海大学出版会、『日本産魚類大図鑑』1984 東海大学出版会、『改訂新版 世界文化生物大図鑑 貝類』2004 世界文化社 に準拠

第8表 貝サンプル内容物集計表

| 地点 | トレンチNo | 遺構No  | 遺構種別 | 層位       | 資料No | 時期              | フ라이水洗後留物重量 (g) |         |        |         | カウント<br>対象貝<br>(g) | 貝殻破<br>砕率<br>(%) | 魚骨? (g) |     | ウロコ (点) |     | 微小貝 (点) |     | 炭化物 (g) |       | 礫 (点) |      | 植物遺体 (点) |     | 焼成粘土 (g) |      |     |     | 土師<br>器片<br>(点) | 備 考 |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|----|--------|-------|------|----------|------|-----------------|----------------|---------|--------|---------|--------------------|------------------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-------|-------|------|----------|-----|----------|------|-----|-----|-----------------|-----|------|------|------|------|--------------------------------------------------------------------|-----------|--|--|--|
|    |        |       |      |          |      |                 | 10mm           | 4mm     | 1mm    | 計       |                    |                  | 4mm     | 1mm | 計       | 4mm | 1mm     | 計   | 4mm     | 1mm   | 計     | 10mm | 4mm      | 1mm | 計        | 10mm | 4mm | 1mm |                 |     | 計    |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
| B2 | D1     | 014号跡 | 土坑   | —        | 021  | 中世?             | 3496.0         | 19447.8 | 7658.9 | 30002.7 | 17607.1            | 41.3%            |         |     | 3       |     | 1       | 1   | 170.9   | 170.9 | 3     | 2    | 86       | 91  | +        | +    |     | 64  | 初段・炭化米? 1mm 1点  |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 257.9          | 2031.6  | 960.1  | 3249.6  | 835.4              | 74.3%            |         |     |         |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 |                | 122.9   | 20.9   | 143.8   | 120.2              | 16.4%            |         |     |         |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 9.0            | 70.6    | 19.3   | 98.9    | 19.7               | 80.1%            |         | +   | +       | 2   | 2       |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 16.1           | 167.5   | 79.2   | 262.8   | 102.2              | 61.1%            |         | +   | +       | 2   | 2       |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 23.4           | 114.0   | 62.4   | 199.8   | 67.1               | 66.4%            |         |     |         |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 1.7            | 108.8   | 104.2  | 214.7   | 77.7               | 63.8%            |         | +   | +       |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 |                | 786.8   | 139.2  | 926.0   | 578.8              | 37.5%            |         |     |         |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 |                | 490.7   | 40.9   | 531.6   | 466.8              | 12.2%            |         |     |         |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 |                | 4.6     | 246.4  | 86.8    | 337.8              | 93.0             | 72.5%   |     | +       | +   | 1       | 1   |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
| D3 | 049号跡  | 井戸状遺構 | 一括   | SX01-107 | 合計   | 中世初期<br>(12C頃?) | 40.9           | 8282.1  | 802.6  | 9125.6  | 6537.3             | 28.4%            | +       | 0.1 | 0.1     | 28  | 49      | 77  | 8       | 8     | 1.6   | 1.0  | 2.6      | 1   | 21       | 22   | 1   | 2   | 5               | 2.9 | 24.9 | 11.7 | 39.5 | 80   | ロクロ土師器樋口縁部<br>破片 ネズミ類上腭骨<br>L1点 ネズミ類肋骨<br>L1点 魚類不明尾椎<br>1点 大形種子 3点 |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 113.3          | 20117.6 | 2963.9 | 23194.8 | 16370.8            | 29.4%            | +       | 0.2 | 0.2     | 37  | 69      | 106 | 8       | 8     | 5.2   | 3.8  | 8.5      | 4   | 148      | 152  | 2   | 5   | 9               | 14  | 2.9  | 57.2 | 29.3 | 80.7 | 204                                                                | 魚類不明腸線 2点 |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 0.9            | 66.7    | 32.6   | 100.2   | 7.4                | 92.6%            |         | +   | +       |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 6.1            | 83.4    | 38.6   | 128.1   | 37.2               | 71.0%            |         |     |         |     |         |     |         | +     | +     |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 7.0            | 150.1   | 71.2   | 228.3   | 44.6               | 80.5%            |         | +   | +       |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |
|    |        |       |      |          |      |                 | 合計             | 12      | 92号    | 15      | 92号                | 合計               |         |     |         |     |         |     |         |       |       |      |          |     |          |      |     |     |                 |     |      |      |      |      |                                                                    |           |  |  |  |

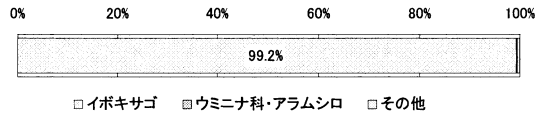
第9表 遺構別貝類集計表

| 地点     | トレンチNo    | 遺構No           | 遺構種別           | 層位       | 資料No           | 時期                           | 海産貝類        |             |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          | 備 考 |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|--------|-----------|----------------|----------------|----------|----------------|------------------------------|-------------|-------------|-------|---------------|-------|-------------|-------|------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|----------|-----|-------|-----------|-------|------------|-------|-----|-------|---|-----|---------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|
|        |           |                |                |          |                |                              | 腹足綱         |             |       |               |       |             |       |            | 二枚貝綱  |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | イボキヤゴ<br>個数 | ウミニナ科<br>個数 | 重量(g) | フトヘナタリ科<br>個数 | 重量(g) | ツメタガイ<br>個数 | 重量(g) | アカニシ<br>個数 | 重量(g) | アラムシロ<br>個数 | 重量(g) | サルボウガイ<br>L | 重量(g) | シオフキガイ<br>L | 重量(g) | アサリ<br>L |     | 重量(g) | ハマグリ<br>L | 重量(g) | オキシジミ<br>L | 重量(g) |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
| B 2    |           | 014号跡          | 土坑             | —        | 21号            | 中世？                          | 48969       | 16590.6     | 112   | 37.3          | 14    | 4.4         |       |            | 1     | 73.3        | 15    | 1.0         | 2     | 2           | 6.4   | 28       | 21  | 38.1  | 33        | 35    | 123.5      | 170   | 174 | 420.9 | 1 | +   | イボキヤゴは重量か<br>らの推定 ウミニナ<br>科1点幼貝 アラム<br>シロ1点幼貝 オキ<br>シジミ(R) 幼貝 |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 3113        | 773.7       | 2     | 1.9           |       |             |       |            |       | 3           | +     |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 950         | 120.2       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 178         | 19.6        | 1     | 0.1           |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 1147        | 101.8       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 691         | 67.1        |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 837         | 77.7        |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 3897        | 578.8       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 2663        | 466.8       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 904         | 93.0        |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
| D 1    | 96<br>118 | 001号跡<br>001号跡 | 井戸状遺構<br>井戸状遺構 | —        | 4<br>SX01-82   | 平安？<br>中世<br>(12C末～<br>13C前) | 20701       | 3103.1      | 2     | 0.5           |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 19780       | 3180.9      | 5     | 2.4           |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 3499        | 525.4       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 2164        | 313.4       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 669         | 86.9        |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 955         | 127.9       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 1476        | 170.1       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 4928        | 792.6       |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 42834       | 6533.6      | 8     | 1.0           |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                |                              | 108273      | 16358.9     | 16    | 4.0           |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
| D 3    | 049号跡     | 井戸状遺構          |                | 1<br>92号 | 中世初<br>(12C頃?) | 55                           | 7.4         |             |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                | 171                          | 33.5        |             |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
|        |           |                |                |          |                | 226                          | 40.9        |             |       |               |       |             |       |            |       |             |       |             |       |             |       |          |     |       |           |       |            |       |     |       |   |     |                                                               |  |  |  |  |  |
| 西野遺跡合計 |           |                |                |          |                |                              | 160581      | 33764.1     | 130   | 43.2          | 14    | 4.4         | 1     | 0.6        | 1     | 73.3        | 18    | 1.0         | 3     | 3           | 8.5   | 36       | 25  | 41.4  | 36        | 37    | 125.1      | 264   | 263 | 466.2 | 1 | 0.0 |                                                               |  |  |  |  |  |

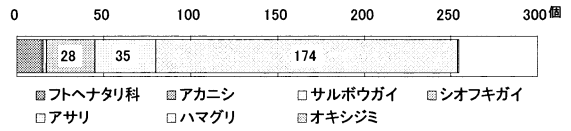


貝層全体の組成

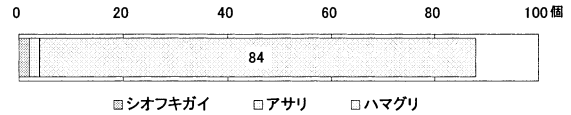
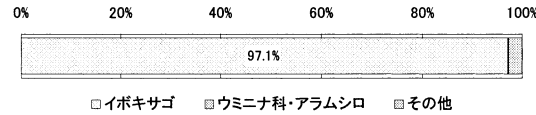
B2地点-014号跡(土坑)



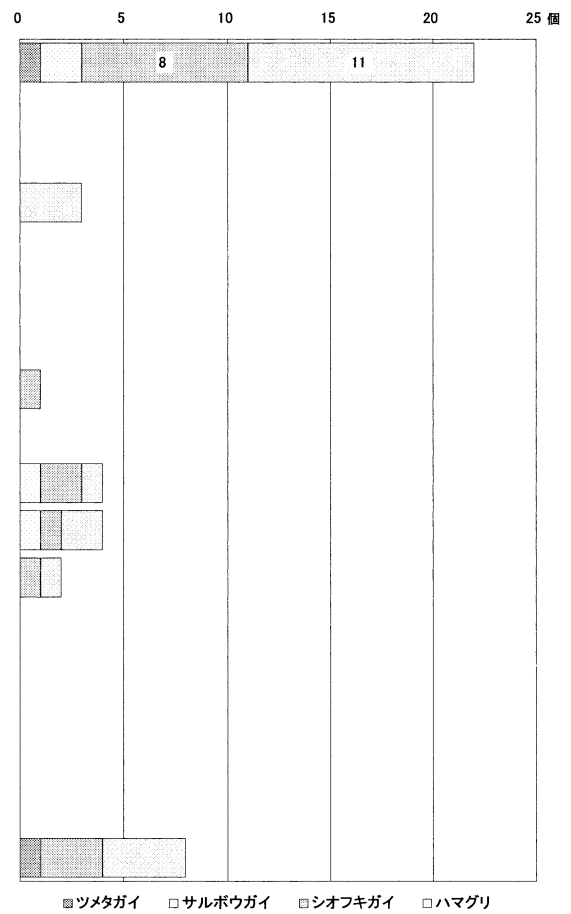
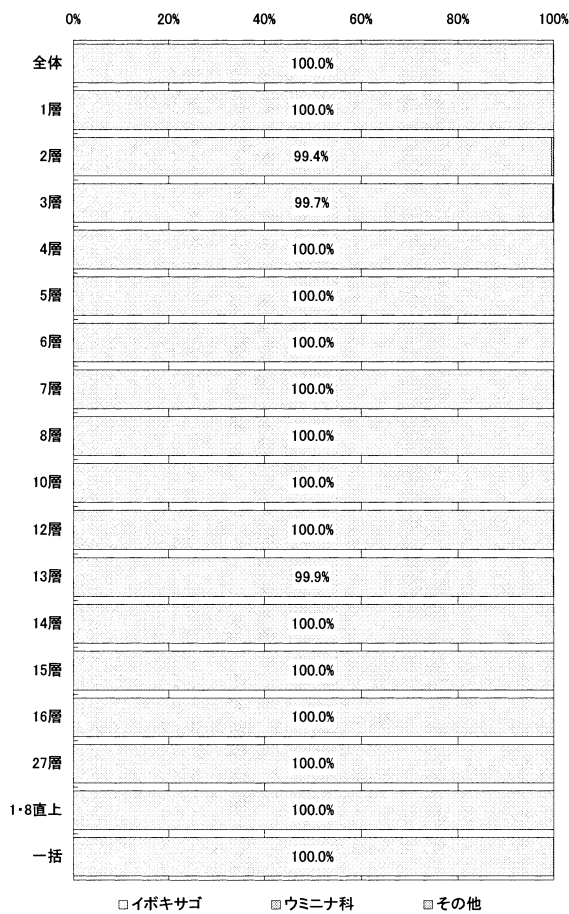
イボキサゴ・ウミナナ科・アラムシロを除いた組成



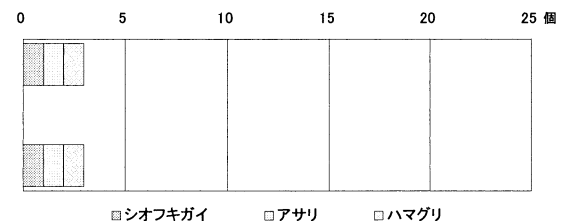
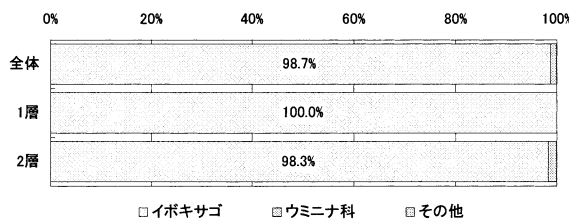
D1地点-96トレッチ-001号跡(井戸状遺構)



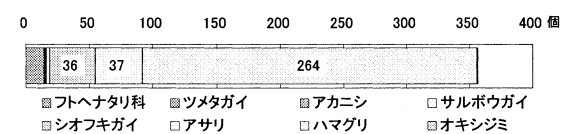
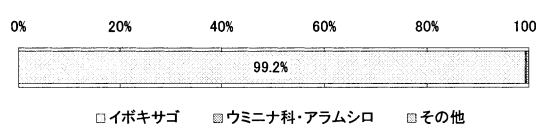
D1地点-118トレッチ-001号跡(井戸状遺構)



D3地点-049号跡(井戸状遺構)



西野遺跡全体



第10表 遺構別貝類組成グラフ

### 第3節 海上地区遺跡群出土のウマ (*Equus caballus*)

本遺跡群のうち、西野遺跡群を構成する B・D 地点の溝状遺構や井戸状遺構等からは、ウマの歯を中心とした動物骨が出土している。これらの資料は損傷が激しく辛うじて歯種が分かる程度の復元に止まり、今回計測は行えなかった。また、被熱の痕跡の認められるものが若干あり、他に何らかの道具でうち割られた様な割れ口をもつ資料も見られた。第11表には各遺跡の出土内容と遺構、層位、所属時期等を示した。約175点の資料のうち種同定破片数は11点となり、これらは全てウマであった。

重複部位や年齢段階等を考慮し個体数を算出したところ、遺跡群全体では4頭分のウマが出土している。第11表に明らかなように、これらのウマの骨は西野遺跡群に所在する B・D 地点からのみ出土していることが分かる。地点毎に詳しく出土内容を述べたい。B 地点では046号溝から2頭分のウマの歯が見つかった。この046号溝では砂の混入は少なく黒色土が多く覆土中に認められているが、これは滞水状態での水路（あるいは区画溝）として使用される間に堆積したものと考えられている。D 地点の037号井戸状遺構、047号溝からはそれぞれ1頭分のウマの四肢骨が出土した。

これらの資料の内、ウマの歯の萌出・咬耗程度は何れも似通っており、磨耗は殆ど進んでいない。詳しい年齢段階は不明であるが何れもおおよそ5歳前後の若馬と思われる（近藤 2001）。

その他に陸獣と分類した資料がある。該当する可能性の高い種として、大型の陸獣にはウマとウシを想定している。B 地点の046号溝からはこの大型の陸獣と思われる長幹骨破片、D 地点の118トレンチ001号井戸状遺構埋土中のイボキサゴ主体の層付近からは頭蓋骨破片が出土した。また、B 地点の013号井戸状遺構からは種不明の陸獣の骨片が見つかった。

破片の割れ口は概ね旧い。この様に当時の人々により打ち割られたものと推測される資料も散見されたため、骨髓利用の可能性も考えられる。その他に、溝と井戸状遺構より被熱の認められた資料が2点得られた。調査担当者によると、B 地点013号井戸状遺構の上層からは、ごく微量の炭化材の混入が認められたとのことであるが、これらの遺構内で火を受けた可能性は低いと思われる。

各遺跡の重複部位が少なかった点に関しては、資料の遺存状況が悪かったことを考慮する必要がある。詳細な出土状況を把握しづらいものの、ウマの歯のみが1点ずつバラバラに収められたとは考え難い。むしろ歯列通りに並び、解剖学的な位置をある程度保ち出土したと捉える方が妥当であり、恐らく頭部が丸ごと収められたものと思われる。しかしながらこの様な遺存状況では、遺構内に頭部のみが収められていたかどうか、また、体部を伴っていたものの残存しなかったのか、頭部と体部が切断された上で収められていたのかは判別しづらい。今回の出土遺構は頭部のみに空間が制限される様な小さな井戸、狭い溝ではないため、それぞれの遺構の幅や深さを考慮しても判別は難しい。中世の遺跡からウシやウマが出土した例は日本各地にみられ（西中川・松元 1991）、溝や井戸跡等の遺構内に収められる例もよく見られる。中でも頭部のみが遺構内に埋納される例が比較的多く（馬の博物館編 1999、久保・松井 1999）、本遺跡群でも同様な埋設状況を呈していたのかも知れない。

本地区の井戸状遺構ではウマまたはウシと思われる大型の陸獣の頭部骨が出土した。井戸が埋め立てられその上部に多様なパターンで土坑状の遺構が確認される例を類型化した論考で、本遺構の出土状況が該当しそうなものに塵芥処理坑・祭祀目的がある（久世 2002）。これらの出土状況はいずれも埋井後の状態で共通し、沈下した窪みを利用しゴミを投棄したものと、井戸廃棄時の祭祀に伴う一連

の行為の所産に分かれる。本事例もこのどちらかに該当する可能性が高い。このD地点118トレンチ001号井戸状遺構について整理すると、同埋土中からは、井戸が埋め立てられ窪地となった状態の層よりほぼ完形の渥美や常滑の鉢が見つかり、直上にイボキサゴの層が広がり、同層付近から大型の陸獣の頭蓋骨片が検出されたことが報告されている。この様な出土状況から、井戸を埋める際の祭祀との関連が本報告文中で指摘されている。今回、殆どのウマの頭部骨資料が西野遺跡群のB・D地点に集中して確認された点、井戸状遺構や溝等何らかの遺構に伴って出土した点を受け、以前より論じられてきている古代以降の祭祀にウシやウマを犠牲獣として利用する慣習との関連（久保・松井1999、松井 2001）について本遺跡群でも考える必要があるかも知れない。

また、個々の遺構の性質が明確では無いため断定は出来ないものの、この地区には比較的多くのカワラケや烏帽子が出土した溝があり、水路としての使用よりも居館の外郭溝である可能性が高いことが指摘されている。櫻井敦史氏による、この遺構に共伴する遺物の組成比の検討によると、本地区の様相が水稻耕作を行う村落が営まれた結果とするより、自然堤防上に立地しその様な通常の生活を営みつつ、「地域編制秩序の核」として機能する居館等の施設に付随する饗宴や祭祀の産物と捉える方がより妥当性があると結論付けられている（第3章—1節 遺物組成から見た中世の海上地区遺跡群参照）。更に、最近の調査例では掘立柱建物跡の一部が検出され、この地区との関連が考えられている。

末筆になりましたが、分析の機会を与えて頂きました小川浩一氏（市原市文化財センター）、並びに中世考古学の概要、文献、出土資料のご教示や議論に快く応じて頂きました櫻井敦史氏（同上）や鶴岡英一氏（同上）に心より感謝申し上げます。（国学院大学大学院 上 奈穂美）

#### <参考文献>

- ・馬の博物館編 1999 『鎌倉の武士と馬』
- ・久世康博 2002 「「井戸」検出に伴う「土坑」の検討」『研究紀要』8  
財団法人京都市埋蔵文化財研究所 pp.155-167
- ・久保和士・松井章 1999 「第10章 家畜その2—ウマ・ウシ」  
『考古学と自然科学—②考古学と動物学』 pp.169-208
- ・近藤誠司 2001 『ウマの動物学』
- ・西中川駿・松元光春 1991 「V. 遺跡出土骨同定のための基礎的研究」『古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究』 pp.164-188  
平成2年度文部省科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書
- ・松井章 2001 「Ⅶ—2 動物祭祀」『図解・日本の中世遺跡』（小野正敏編） pp.192-193

第11表 各遺跡の出土内容

| NO. | 地点(中世地区) | トレンチ | 遺構  | 遺構種別  | 資料No | 出土位置    | 帰属時期                                       | 点数 | 重量(g) |
|-----|----------|------|-----|-------|------|---------|--------------------------------------------|----|-------|
| 1   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 3    | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 7.9   |
| 2   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 13   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 8  | 0.5   |
| 3   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 14   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 25 | 2.7   |
| 4   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 17   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 15.8  |
| 5   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 27   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 13.7  |
| 6   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 27   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 18.4  |
| 7   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 27   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 21.8  |
| 8   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 27   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 20 | 3.8   |
| 9   | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 29   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 10.0  |
| 10  | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 34   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 9.5   |
| 11  | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 47   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 19.8  |
| 12  | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝(土坑) | 50   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 27.9  |
| 13  | 西野 B2(E) |      | 046 | 溝     | 51   | 覆土      | 中世前半 (12C 末～13C 前葉)                        | 1  | 23.1  |
| 14  | 西野 B2(E) |      | 013 | 井戸状遺構 | 1    | 一括      | 渥美 I b 並行期 (12C 前葉) か                      | 50 | 18.3  |
| 15  | 西野 D1(F) | 118  | 001 | 井戸状遺構 | 7    | 8 層直上付近 | トレンチ内に井戸状遺構、遺構内貝層の直上付近より獣骨、中世 (12末-13C 前葉) | 50 | 11.6  |
| 16  | 西野 D3(F) |      | 047 | 溝     | 6    | 覆土      | 中世 (12C-13C 前半)                            | 1  | 134.2 |
| 17  | 西野 D3(F) |      | 037 | 井戸状遺構 | 2    | 覆土      | 8 C 後半～9 C か                               | 1  | 110.5 |

| NO. | 種名         | 部位    | 左右 | 残存      | 形状   | 歯式／萌出・咬耗 |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     | 備考                     |
|-----|------------|-------|----|---------|------|----------|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|------|------|-----|------------------------|
|     |            |       |    |         |      | I1       | I2 | I3 | C | P1 | P2 | P3 | P4 | M1 | M2 | M3 | P/M | P3/4 | M1/2 | M1/2 |     |                        |
| 1   | ウマ         | 下顎遊離歯 | 右  | 歯冠部のみ   | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微   |                        |
| 2   | ウマ         | 遊離歯   |    | 歯冠部     | 破片   |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     |                        |
| 3   | ウマ         | 遊離歯   |    | 歯冠部     | 破片   |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     |                        |
| 4   | ウマ         | 上顎遊離歯 | 左  | 歯冠部と歯根部 | ほぼ完存 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微-弱 | 歯根形成途中                 |
| 5   | ウマ         | 上顎遊離歯 | 左  | 歯冠部     | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微   | 15-17同一個体              |
| 6   | ウマ         | 上顎遊離歯 | 左  | 歯冠部のみ   | ほぼ完存 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微   | 15-17同一個体・歯根形成開始直後     |
| 7   | ウマ         | 上顎遊離歯 | 左  | 歯冠部のみ   | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微   | 15-17同一個体・歯根形成開始直後     |
| 8   | ウマ         | 遊離歯   |    | 歯冠部     | 破片   |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     |                        |
| 9   | ウマ         | 下顎遊離歯 | 右  | 歯冠部     | ほぼ完存 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微-弱 | 歯根形成途中？                |
| 10  | ウマ         | 上顎遊離歯 | 左  | 歯冠部のみ   | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 微   | 歯根形成開始直後               |
| 11  | ウマ         | 下顎遊離歯 | 左  | 歯冠部と歯根部 | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 弱   | 歯根形成進む                 |
| 12  | 種不明 陸獣(大型) | 長幹骨   |    | 中間部     | 破片   |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     | 割れ口は古い                 |
| 13  | ウマ         | 下顎遊離歯 | 左  | 歯冠部     | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      | 弱   | 被熱のためか標本に比べ小さい・歯根形成進む？ |
| 14  | 種不明 陸獣     | —     |    |         | 破片   |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     | 被熱                     |
| 15  | 種不明 陸獣(大型) | 頭蓋骨   |    |         | 破片   |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     |                        |
| 16  | ウマ         | 大腿骨   | 左  | 遠位端     | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     |                        |
| 17  | ウマ         | 大腿骨   | 右  | 近位端と遠位部 | 一部破損 |          |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |     |      |      |      |     |                        |

## 第4節 海上地区遺跡群出土木製品の樹種

三村 昌史 (株)パレオ・ラボ)

### 1. はじめに

市原市の海上地区に位置する西野遺跡群、宮原遺跡、および十五沢坊ヶ谷遺跡の各遺跡から出土した木製品のうち、計48点の樹種同定結果を報告する。現養老川を北に接する自然堤防上に位置する西野遺跡では、海上郡衙との関連を想起させるような大型の堀立柱建物跡が検出されており、その柱材や礎板のほか、中世～近世にかけての椀・板状木製品など、計13点が同定対象である。南を段丘面と接する現水田地帯の沖積低地上に位置する宮原遺跡では、中・近世の板状木製品や棒状木製品及び、近世の木簡（板状木製品）計34点が同定対象である。北に現養老川を望む自然堤防上、前述の西野遺跡群の西方に位置する十五沢坊ヶ谷遺跡は、今富廃寺の一部と想定され堀立柱建物跡などが検出されている遺跡で、分析対象となった木製品は中世と思われる加工木1点である。

ここでは、これら出土材の樹種同定を行うことで、性格の異なる器種毎の用材傾向を明らかにし、用材選択の背景にある材質をはじめとした木材特性と製作・使用法との関連性について調査を行った。

### 2. 試料と方法

出土木製品から直接、肉眼視できる組織や木取り等を確認しながら横断面・放射断面・接線断面の3断面を切り取り、ガムクロラル（抱水クロラル50g、アラビアゴム粉末40g、グリセリン20ml、蒸留水50mlの割合で調整した混合液）で封入してプレパラートを作成した。検鏡は光学顕微鏡にて40～400倍で行い、現生標本との対照により同定を行った。同定後のプレパラートは比較参照に応じられるように標本番号を付して保管した（CHB—465～512）。

### 3. 結果および考察

樹種同定結果の一覧を表1に示す。Na.39の1点は保存が悪く針葉樹であることは確認できたが、詳細な同定は困難であった。

第12表 樹種同定結果

| No. | 遺跡番号 | 遺跡名   | 遺構番号   | 遺物番号 | 器種  | 樹種   | 木取り等 | 時代    | 保管 No.  |
|-----|------|-------|--------|------|-----|------|------|-------|---------|
| 1   | 350  | 西野 B2 | 001-P2 | 7    | 木柱  | スダジイ | 芯持丸木 | 奈良・平安 | CHB-465 |
| 2   | 350  | 西野 B2 | 001-P4 | 8    | 木柱  | クリ   | 芯持丸木 | 奈良・平安 | CHB-466 |
| 3   | 350  | 西野 B2 | 002-P1 | 1    | 木柱か | クリ   | 角状?  | 奈良・平安 | CHB-467 |
| 4   | 350  | 西野 B2 | 001-P1 | 10   | 礎板  | クリ   | 柃目   | 奈良・平安 | CHB-468 |
| 5   | 350  | 西野 B2 | 001-P4 | 12   | 礎板  | クリ   | 柃目   | 奈良・平安 | CHB-469 |
| 6   | 350  | 西野 B2 | 001-P4 | 11   | 礎板  | スダジイ | 柃目   | 奈良・平安 | CHB-470 |
| 7   | 350  | 西野 B2 | 001-P6 | 9    | 礎板  | クリ   | 柃目   | 奈良・平安 | CHB-471 |
| 8   | 350  | 西野 B2 | 002-P1 | 3    | 礎板  | クリ   | 柃目   | 奈良・平安 | CHB-472 |

|    |         |          |         |    |               |        |         |                  |         |
|----|---------|----------|---------|----|---------------|--------|---------|------------------|---------|
| 9  | 350     | 西野 B 2   | 002-P 4 | 2  | 礎板            | クリ     | 板目      | 奈良・平安            | CHB-473 |
| 10 | 379     | 西野 D 3   | 023-P 1 | 2  | 椀             | ケヤキ    | 横木取り    | 平安末～中世か          | CHB-474 |
| 11 | 334     | 西野 B 1   | 9 トレ B  | 3  | 椀             | ケヤキ    | 横木取り    | 中・近世             | CHB-475 |
| 12 | 309・310 | 宮原 C・D   | J19     | 1  | 杭状木製品         | シキミ    | 芯持丸木    | 古墳後期～<br>奈良・平安期か | CHB-476 |
| 13 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 28 | 板状木製品         | ヒノキ    | 柾目      | 中・近世             | CHB-477 |
| 14 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 37 | 棒状木製品（箸?）     | ヒノキ    | 削出      | 中・近世             | CHB-478 |
| 15 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 46 | 板状木製品         | モミ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-479 |
| 16 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 48 | 板状木製品         | スギ     | 柾目      | 中・近世             | CHB-480 |
| 17 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 45 | 板状木製品         | イヌガヤ   | 半裁削出・角状 | 中・近世             | CHB-481 |
| 18 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 39 | 板状木製品         | スギ     | 柾目      | 中・近世             | CHB-482 |
| 19 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 29 | 板状木製品         | モミ属    | 板目      | 奈良・平安か           | CHB-483 |
| 20 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 30 | 板状木製品         | モミ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-484 |
| 21 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 31 | 板状木製品         | モミ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-485 |
| 22 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 32 | 板状木製品（織機部材か）  | モミ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-486 |
| 23 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 55 | 加工木           | ニヨウマツ類 | 二方柾状    | 中・近世             | CHB-487 |
| 24 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 54 | 棒状木製品         | スギ     | 削出      | 中・近世             | CHB-488 |
| 25 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 53 | 板状木製品         | スギ     | 追柾目     | 中・近世             | CHB-489 |
| 26 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 44 | 板状木製品         | ツガ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-490 |
| 27 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 43 | 板状木製品         | ツガ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-491 |
| 28 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 42 | 板状木製品         | ニヨウマツ類 | 柾目      | 中・近世             | CHB-492 |
| 29 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 34 | 板状木製品         | スギ     | 板目      | 中・近世             | CHB-493 |
| 30 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 33 | 板状木製品         | スギ     | 板目      | 中・近世             | CHB-494 |
| 31 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 38 | 板状木製品         | スギ     | 柾目      | 中・近世             | CHB-495 |
| 32 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 47 | 板状木製品         | カヤ     | 板目      | 中・近世             | CHB-496 |
| 33 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 49 | 板状木製品         | サワラ    | 柾目      | 中・近世             | CHB-497 |
| 34 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 35 | 板状木製品（側面穿孔あり） | スギ     | 柾目      | 中・近世             | CHB-498 |
| 35 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 36 | 板状木製品         | モミ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-499 |
| 36 | 309・310 | 宮原 C・D   | 一括      | 3  | 板状木製品         | ツガ属    | 板目      | 中・近世             | CHB-500 |
| 37 | 348     | 西野 B 2   | 050     | 1  | 板状木製品         | スギ     | 追柾目     | 近世               | CHB-501 |
| 38 | 348     | 西野 B 2   | 025     | 1  | 板状木製品（礎板か）    | タブノキ属  | 板目      | 中世か。             | CHB-502 |
| 39 | 289     | 十五沢坊ヶ谷 C | 一括      | 53 | 加工木           | 針葉樹    | 二方柾状    | 中世か。             | CHB-503 |
| 40 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 40 | 木筒か。墨書あり      | サワラ    | 柾目      | 近世               | CHB-504 |
| 41 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括か     | 41 | 木筒か。墨書あり      | スギ     | 板目      | 近世               | CHB-505 |
| 42 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 52 | 板状木製品。穿孔あり    | スギ     | 柾目      | 近世               | CHB-506 |
| 43 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 50 | 板状木製品         | スギ     | 柾目      | 近世               | CHB-507 |
| 44 | 286・287 | 宮原 A・B   | 一括      | 51 | 板状木製品         | スギ     | 板目      | 近世               | CHB-508 |
| 45 | 286・287 | 宮原 A・B   | B 8 トレ  | 3  | 加工木（端部円形・同一か） | モミ属    | 追柾目     | 奈良・平安            | CHB-509 |
| 46 | 286・287 | 宮原 A・B   | B 8 トレ  | 4  | 加工木（端部円形・同一か） | モミ属    | 追柾目     | 奈良・平安            | CHB-510 |
| 47 | 286・287 | 宮原 A・B   | B 8 トレ  | 5  | 加工木（端部円形・同一か） | モミ属    | 追柾目     | 奈良・平安            | CHB-511 |
| 48 | 286・287 | 宮原 A・B   | B 8 トレ  | 6  | 加工木           | モミ属    | 板目      | 奈良・平安            | CHB-512 |

以下では、遺跡毎に各木製品の用材傾向と選択の背景について考察を加えていく。

# 西野遺跡群出土木製品

第13表 西野遺跡群出土木製品の用材

| 時代    |       | 奈良・平安 |    |         | 平安～<br>中世 | 中世          | 近世 |   | 計  |
|-------|-------|-------|----|---------|-----------|-------------|----|---|----|
| 樹種／器種 |       | 礎板    | 木柱 | 木柱<br>？ | 椀         | 板状<br>(礎板？) | 板状 | 椀 |    |
| 針葉樹   | スギ    | —     | —  | —       | —         | —           | 1  | — | 1  |
| 広葉樹   | クリ    | 5     | 1  | 1       | —         | —           | —  | — | 7  |
|       | スダジイ  | 1     | 1  | —       | —         | —           | —  | — | 2  |
|       | ケヤキ   | —     | —  | —       | 1         | —           | —  | 1 | 2  |
|       | タブノキ属 | —     | —  | —       | —         | 1           | —  | — | 1  |
| 計     |       | 6     | 2  | 1       | 1         | 1           | 1  | 1 | 13 |

第14表 西野遺跡群 B 2 地点における建物毎にみた建築材の用材

| 建物番号    |      | 001 |     |     |    |     | 002 |    |     | 計 |
|---------|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|---|
| ピット No. |      | P 1 | P 2 | P 4 |    | P 6 | P 1 |    | P 4 |   |
| 樹種／器種   |      | 礎板  | 木柱  | 木柱  | 礎板 | 礎板  | 木柱？ | 礎板 | 礎板  |   |
| 広葉樹     | クリ   | 1   | —   | 1   | 1  | 1   | 1   | 1  | 1   | 7 |
|         | スダジイ | —   | 1   | —   | 1  | —   | —   | —  | —   | 2 |
| 計       |      | 1   | 1   | 1   | 2  | 1   | 1   | 1  | 1   | 9 |

西野遺跡 B 2 地点から検出された大型の掘建柱建物について、その柱材の用材をみると、2 本の木柱にはクリとスダジイが、また、木柱かとされるものにもクリが見出されている（第13表）。クリやスダジイは高木になるために大径が得られ、また材は比較的通直で丈夫であることから、柱材としては適材が選択されているといえる。礎板には、6 点中 5 点にクリ、残る 1 点にスダジイの材が見出されており、柱材と同様に丈夫な材が選択されている。柱材に見出されたクリ・スダジイの材が礎板に共通して用いられていることや礎板の木取りを考慮すると、柱材として利用した原木の余材を柵割りにし、効率的に礎板として活用した可能性が考えられる。また、建物毎に建築材の用材をみると（第14表）、試料点数が少ない点是否めないが、001号跡と002号跡とでは顕著な違いは認められなく、クリやスダジイといった丈夫な広葉樹材が用材とされているようである。

椀には平安時代～中世のものと、近世のものがあるが、いずれにもケヤキが用いられている。ケヤキは均質な材であり、挽物に適するように回転成形の際に表面を平滑に仕上げることのできる均質な材が選択されている。ケヤキは全国的にも椀の用材として最も一般的なもののひとつで、周辺の遺跡においても古代～中世の類例がある（例えば、鈴木ほか1995；鈴木・能城1999）。

柱穴出土の礎板の可能性のある板材にはタブノキ属の材が用いられていた。タブノキ属の材は西日本の遺跡において時に柱材や礎板に用いられることで知られる。

近世の板状木製品にはスギが見出されている。スギのような針葉樹は、無限幹とも称されるように主幹を真直ぐに伸張させる特性がある。したがって材も通直であり、また木理も通直で割裂性が大きいので、原木から板材を割り出しやすいことから用いられたのであろう。一般に、薄手の板材には圧倒的にこうした針葉樹材が用いられる傾向にある。



## 宮原遺跡出土木製品

第15表 宮原遺跡出土木製品の用材

| 時代            |        | 古墳後～<br>奈良平安？ | 中・近世    |        |     |    |      |     |      | 近世   |   |    | 計 |
|---------------|--------|---------------|---------|--------|-----|----|------|-----|------|------|---|----|---|
| 樹種／器種<br>(備考) | 杭状     | 板状            |         |        | 加工木 | 棒状 |      | 木簡？ |      |      |   |    |   |
|               |        | —             | (織機部材？) | (側面穿孔) |     | —  | (箸？) | —   | (穿孔) | (墨書) |   |    |   |
| 針葉樹           | ニヨウマツ類 | —             | 2       | —      | —   | —  | —    | —   | —    | —    | — | 2  |   |
|               | モミ属    | —             | 5       | 1      | —   | 2  | —    | —   | —    | —    | — | 8  |   |
|               | ツガ属    | —             | 3       | —      | —   | —  | —    | —   | —    | —    | — | 3  |   |
|               | スギ     | —             | 6       | —      | 1   | —  | 1    | —   | 2    | 1    | 1 | 12 |   |
|               | ヒノキ    | —             | 1       | —      | —   | —  | —    | 1   | —    | —    | — | 2  |   |
|               | サワラ    | —             | 1       | —      | —   | —  | —    | —   | —    | —    | 1 | 2  |   |
|               | イヌガヤ   | —             | 1       | —      | —   | —  | —    | —   | —    | —    | — | 1  |   |
|               | カヤ     | —             | 1       | —      | —   | —  | —    | —   | —    | —    | — | 1  |   |
| 広葉樹           | シキミ    | 1             | —       | —      | —   | —  | —    | —   | —    | —    | — | 1  |   |
| 計             |        | 1             | 20      | 1      | 1   | 2  | 1    | 1   | 2    | 1    | 2 | 32 |   |

\*加工木のうち、No.45、46、47は同一の可能性が高く、1点として換算した。

古墳後期～奈良・平安の杭状木製品にはシキミの材が見出されている（第15表）。シキミは緻密・堅強な材であるが、杭には一般に特に決まった樹種が用いられる傾向にはないことから、材質に着目した選択がなされたというよりも遺跡周辺の山野で入手できる身近な材が採取された結果とみるほうが妥当であろう。シキミは西日本の森林において下層木としてみられることが多いので、適度な径長の丸木材が得やすかったのではと推察される。

中・近世の木製品では、箸と考えられる棒状木製品にヒノキ、角状を呈した棒状木製品にスギ、板状木製品にはニヨウマツ類・モミ属・ツガ属・スギ・ヒノキ・サワラ・イヌガヤ・カヤが用いられている。このように、板材・割材を利用した製品には、材・木理が通直で割材・板材を割り出しやすい針葉樹材がその用材となっていることがわかり、製作法と器形との対応関係が伺える結果である。板状木製品の多くは何らかの木製品の破材や加工時の端材と思われる材であったが、注目されるのはその樹種構成が多様なことであり、モミ属・ツガ属・スギを中心としながらも実に様々な種類の針葉樹材が利用されていたといえる。

近世の木製品では木簡（板状木製品）が5点あり、そのうちスギが4点、サワラが1点用いられていて、板材であることを反映して針葉樹材が多用されている。このうち、2点は墨書きが認められるものであったが、墨書きに適するように樹脂分の多いマツ類の材は避けられている。また、一般にスギは木目が目立つことが多いが、墨書きがあるものでスギを用いたものでは板目材が用いられており、墨書きに配慮した木取りとなっている。一方で、木目の目立つことの少ないサワラは柾目に取りられており、対照的である。なお、墨書きが認められない板状木製品ではすべてスギが用いられているが、スギでも木目が目立たないものでは柾目に取りられており、これらが木簡だとすれば全体としては樹種よりも木目によって木取りが判断されていると推測される。

### 十五沢坊ヶ谷遺跡D地点出土木製品

同定対象となった木製品は中世のやや角状を呈した材で、針葉樹が用いられていた（第12表）。器種の性格が明らかでないので詳細は不明であるが、割裂性に優れることから針葉樹が用材にされたこと

みられる。

## 4. まとめ

このたび調査された木製品の時代は様々であり、各時代で木製品の性格に偏在性があるため木材利用全体については言及できないが、器種別にみると柱材や礎板には主に使用の面から堅強な広葉樹材が用いられ、一方製作の面から椀には均質な広葉樹材が、板状木製品や棒状木製品には割裂容易な針葉樹材がそれぞれ用いられている特徴が認められた。また、木簡では墨書きに適するように材質や木取りが考慮されていることも示唆された。このように、各器種の器形・法量や使用法・製作法などに応じ、求められる材質の樹種が使い分けられていたことが明らかになったといえる。

また、海上郡衙との関連が指摘されている西野遺跡群 B2 地点の柱材にはクリ・スダジイが用いられていたが、県内では普通に生育する樹種であるから、おそらく遠方から運び込まれたというよりも遺跡周辺の山野で在地の材が調達されたものとみられる。

## 5. 見出された樹種

樹種同定の結果を第12表に示す。48点の出土材には13分類群の樹種が見出され、内訳は針葉樹が8分類群（ニヨウマツ類・モミ属・ツガ属・スギ・ヒノキ・サワラ・イヌガヤ・カヤ）、広葉樹が5分類群（クリ・スダジイ・ケヤキ・シキミ・タブノキ属）であった。これら見出された樹種の木材組織の特徴等は以下の通りである。

### 1) ニヨウマツ類（マツ属複維管束亜属）*Pinus* subgen. *Diploxylon* マツ科 写真図版 1a—1c

仮道管と放射柔組織、放射仮道管、および水平・垂直両樹脂道を取り囲む薄壁のエピセリウム細胞からなる針葉樹材。放射仮道管の水平壁は内腔側に向かって鋸歯状の突起を有する。分野壁孔は大型の窓状。

マツ類の材のうち、いわゆるアカマツ、クロマツなどのニヨウマツ類の材で、材組織の保存が良いときには区別し得る。アカマツ・クロマツはいずれも土壌の薄く陽光の十分な立地に生育する常緑針葉樹で高木になる。クロマツはアカマツと比較して湖岸や海岸部に多い。材はやや重硬で割裂困難、樹脂分が多いため水湿には耐性がある。

### 2) モミ属 *Abies* マツ科 写真図版 2a—2c

仮道管と放射柔組織からなる針葉樹材。晩材部は明瞭で量多い。放射組織の末端壁はじゅう状末端壁を有する。分野壁孔はスギ型で小さく、1分野にふつう2—4個。

モミ属にはいくつかの種が含まれるが、母植物としては最も低標高から分布し、肥沃な緩斜面などにみられるモミが考えられる。材は通直でやや軽軟、強度もあり加工・割裂容易だが、狂いは大きい。

### 3) ツガ属 *Tsuga* マツ科 写真図版 3a—3c

仮道管と放射柔組織、及び放射仮道管からなる針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、晩材部は明瞭。放射組織はじゅう状末端壁を有する。放射仮道管の放射壁には有縁壁孔がある。分野壁孔はスギ型～ヒノキ型で小さく、1分野にふつう2—4個。

ツガ属にはツガ・コメツガの2種があるが、このうちコメツガは温帯上部～亜高山帯に分布する種

で、母植物としては暖温帯に分布するツガが考えられる。ツガは主に尾根沿いや斜面などの乾性立地に生育する常緑針葉樹で、高木になる。材は通直で、重さ・硬さが中庸～やや重硬で割裂容易、加工はやや困難。

4) スギ *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don スギ科 写真図版 4 a—4 c

仮道管と放射柔組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部は量多く明瞭。分野壁孔はスギ型で大きく、1分野にふつう2個。

スギは高木になる常緑針葉樹で、天然分布は年間降水量の多い地域に限られ、日本海側などにはまとまった分布域が多い。生育地は湿地周辺や谷部、尾根沿いなど幅広い。材は通直で軽軟、保存性は中庸、適度な強度があり割裂性・加工性に優れる。

5) ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl. ヒノキ科 写真図版 5 a—5 c

仮道管と放射柔組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部は量少ない。分野壁孔は大型のトウヒ型からヒノキ型でやや大きく、1分野にふつう2個。

ヒノキは主に暖温帯（福島県南部以南）に分布し山地の尾根沿いや緩斜面などに生育する、高木になる常緑針葉樹である。現在では中部地方や紀伊半島、四国南部にまとまった分布がある。材は通直でやや軽軟、加工し易く強度に優れる上、対朽性が著しく高い。

6) サワラ *Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endl. ヒノキ科 写真図版 6 a—6 c

仮道管と放射柔組織、及び樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部はやや少ない。分野壁孔は孔口の開く角度が水平に近いやや大きなヒノキ型～孔口の狭いやや小さなスギ型で、ふつう1分野に2個。

サワラは高木になる常緑針葉樹であり、主に温帯下部～暖温帯の山地や谷沿いに見られる。現在の分布の中心は中部地方にある。材は通直で軽軟、割裂・加工は容易、対朽性はやや低いが水湿には強い。

7) イヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight) K. Koch イヌガヤ科 写真図版 7 a—7 c

仮道管と放射組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。樹脂細胞は早材・晩材の区別なく散在する。仮道管の内壁にはらせん肥厚がみられる。分野壁孔はヒノキ型で、1分野にふつう2—3個。

イヌガヤは小高木程度になる常緑針葉樹で、主に温帯下部～暖温帯に分布し、林床や谷沿いなどでみられる。材は比較的通直、緻密で硬く、強靱である。

8) カヤ *Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc. イチイ科 写真図版 8 a—8 c

仮道管と放射柔組織からなる針葉樹材。仮道管の内壁にはらせん肥厚があり、2本の対を成してまとまっている傾向がある。分野壁孔はヒノキ型で小さく、1分野にふつう2個程度。

カヤは高木になる常緑針葉樹で、主に暖温帯に分布する。材は通直でやや重硬、弾性・割裂性に優れ、耐湿性が高い。

9) クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 写真図版 9 a—9 c

年輪の始めに大型で丸い道管が単独で1—2列に並び、晩材部では小型でやや角張った薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

クリは主に温帯下部・暖温帯に広く分布する落葉広葉樹で、明るい林内や向陽地に多くみられる。材質は重硬で弾性に富み、割裂は容易、対朽性が高い。

10) スダジイ *Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatusima ex Yamazaki et Mashiba ブナ科 写真図版

10a—10c

大型の丸い道管が、年輪の始めに単独で間隔をあけて並び、晩材部では極小型の薄壁で角張った道管が火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

スタジイは高木になる常緑広葉樹で、暖温帯山中に分布する照葉樹林を特徴付ける樹木の一つである。材はやや重硬で加工は困難ではなく、割裂性は中庸、耐朽性は低い。

11) ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科 写真図版11a—11c

年輪の始めに大型の丸い道管が単独で1—2列に並び、晩材部では小型の薄壁で角張った道管が多数集合して接線方向あるいはやや斜めに帯をなす環孔材。道管の穿孔は単一で、小道管の内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は主に上下端のみ直立細胞からなる異性で、しばしば大型の結晶を含む。

ケヤキは高木になる落葉広葉樹で、谷沿いや河畔の肥沃な土壤にみられ、温帯に広く分布する。材はやや重硬だが、均質で切削加工は容易、割裂性は中庸で保存性に優れる。

12) シキミ *Illicium anisatum* L. シキミ科 写真図版12a—12c

小型でやや角張った道管が、単独あるいは接線方向に数個複合する傾向をみせて年輪の始めに1列にならび、その後は均一で密に分布する散孔材。道管の穿孔は階段状で40本以上に達する。放射組織は顕著な異性で1—2列、単列部は直立細胞のみからなる。

シキミは暖温帯に分布する低木～小高木になる常緑広葉樹で林内にみられる。材はやや重硬で緻密、韌性がある。

13) タブノキ属 *Machilus* クスノキ科 写真図版13a—13c

やや小型の厚壁のやや放射方向に長い道管が、単独もしくは放射方向に1—2個複合してまばらに分布する散孔材。年輪界の始めと終わりでは道管の直径および密度が小さい。道管の穿孔はほとんど単穿孔。木部柔細胞は周囲状でしばしば油細胞となる。道管と放射組織との壁孔はレンズ状。放射組織は異性で1—2列、しばしば油細胞が直立細胞にみられる。

タブノキ属の母植物はタブノキ、ホソバタブノキが考えられる。いずれも暖温帯の山中や沿海地にも多い高木になる常緑広葉樹で、材質は中庸程度、加工・割裂は容易であるが、狂いが大きい。

## 引用文献

- 鈴木三男・松葉礼子・能城修一（1995）千葉県君津市郡遺跡出土木製品の樹種、「財団法人君津郡市文化財センター発掘調査報告書第117集 —千葉県君津市一郡遺跡発掘調査報告書Ⅱ 本編」小出川沿岸土地改良区・財団法人君津郡市文化財センター、290—315
- 鈴木三男・能城修一（1999）市原条里制遺跡出土木製品の樹種、「千葉県文化財センター調査報告第354集 市原市市原条里制遺跡—東関東自動車道（千葉富津線）、市原市道80号線埋蔵文化財調査報告書—」日本道路公団・市原市・財団法人千葉県文化財センター、529—543、図版第366図—第376図

# 放射性炭素年代測定

(株)パレオ・ラボ\*

## 1. はじめに

西野遺跡群 B 2 地点より検出された大型の堀立柱建物跡001号跡について時代の検討を行うため、その木柱から採取された試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。なお、木柱は芯持丸木材を利用したものであるが、非常に遺存状態がよく、外側部分がほぼ残存していると推測されるものであり、その外側数年輪分を採取して測定試料とした。

## 2. 試料と方法

第16表 測定試料及び処理

| 測定番号     | 遺跡データ                                    | 試料データ                                      | 前処理                                                          | 測定                                        |
|----------|------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| PLD-3426 | 西野遺跡 B 2 地点<br>001号-P 2<br>木柱<br>樹種：スダジイ | 試料：材（未炭化）<br>性状：木柱の外側数年輪<br>状態：wet<br>カビ：無 | 超音波洗浄＋<br>酸・アルカリ・酸洗浄<br>(塩酸1.2N、水酸化ナ<br>トリウム1.0N、塩酸<br>1.2N) | PaleoLabo<br>NEC 製<br>コンパクト AMS<br>1.5SDH |
| PLD-3427 | 西野遺跡 B 2 地点<br>001号-P 4<br>木柱<br>樹種：クリ   | 試料：材（未炭化）<br>性状：木柱の外側数年輪<br>状態：wet<br>カビ：無 |                                                              |                                           |

測定試料の情報、および不純物を取り除くための調整データは第16表のとおりである。試料は調整後、加速器質量分析計を用いて測定した（コンパクト AMS：NEC 製1.5SDH、(株)パレオ・ラボ年代測定施設にて測定）。得られた<sup>14</sup>C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、<sup>14</sup>C 年代、暦年代を算出した。

## 3. 結果

第17表 放射性炭素年代測定及び暦年代較正の結果

| 測定番号     | $\delta^{13}\text{C}$<br>(‰) | <sup>14</sup> C 年代<br>(yrBP $\pm 1 \sigma$ ) | 14C 年代を暦年代に較正した年代範囲                                                                       |                                            |
|----------|------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
|          |                              |                                              | 1 $\sigma$ 暦年代範囲                                                                          | 2 $\sigma$ 暦年代範囲                           |
| PLD-3426 | $-26.03 \pm 0.49$            | $1217 \pm 25$                                | 770AD (68.2%) 880AD                                                                       | 720AD (9.1%) 750AD,<br>760AD (86.3%) 890AD |
| PLD-3427 | $-25.05 \pm 0.48$            | $1161 \pm 24$                                | 780AD (6.4%) 800AD,<br>820AD (9.0%) 850AD,<br>860AD (27.8%) 900AD,<br>920AD (25.0%) 960AD | 770AD (95.4%) 980AD                        |

第17表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ( $\delta^{13}\text{C}$ )、同位体分別効果の補正を行った<sup>14</sup>C 年代、<sup>14</sup>C 年代を暦年代に較正した年代を、第18表に暦年代較正結果をそれぞれ示す。

<sup>14</sup>C 年代は AD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。<sup>14</sup>C 年代 (yrBP) の算出には、<sup>14</sup>C の半減期として Libby の半減期5568年を使用した。また、付記した<sup>14</sup>C 年代誤差 ( $\pm 1 \sigma$ ) は、測

定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の $^{14}\text{C}$ 年代がその $^{14}\text{C}$ 年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示すものである。

なお、暦年代較正の詳細は以下の通りである。

#### 暦年代較正

$^{14}\text{C}$ 年代値は、大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度が過去においても一定という仮定のもと、半減期として Libby の半減期5,568年を用いて算出される。しかし、実際には過去の宇宙線強度や地球磁場の変動により大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度は変動している上、Libby の後により正確な $^{14}\text{C}$ の半減期 $5,730 \pm 40$ 年が得られているために、 $^{14}\text{C}$ 年代は暦年代とそのままでは合致しない。暦年代較正はこうしたずれを補正し、 $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に読み替える作業である。具体的には、年代既知の樹木年輪の詳細な測定値、珊瑚の U-Th 年代と $^{14}\text{C}$ 年代の比較、および海成堆積物中の縞状の堆積構造を用いて $^{14}\text{C}$ 年代と暦年代の関係を調べたデータにより作成された較正曲線により、 $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に較正する。

$^{14}\text{C}$ 年代の暦年代較正にはプログラム OxCal3.9を使用した。なお、 $1\sigma$  (= 1 標準偏差) 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された $^{14}\text{C}$ 年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に  $2\sigma$  (2 標準偏差) 暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。それぞれの暦年代範囲のうち、その確率が最も高い年代範囲については、第17表中に下線で示してある。

#### 4. 考察

$1\sigma$ の暦年代範囲に着目すると(第16表、第18表、第19表)、001号跡 P 2 の木柱から採取した試料が8C 末～9C 末、001号跡 P 4 の木柱から採取した試料がおおよそ9C 後半期あるいは10C 前半期である可能性が高い。また、 $2\sigma$ の暦年代範囲に注目すると、001号跡 P 2 の木柱から採取した試料についてはおおよそ8C 後半～9C 末であり、001号跡 P 4 の木柱から採取した試料については8C 末～10C 末の範囲に含まれるが、確率的には10C 初頭の可能性は低く、8C 末～9C ないし10中頃の可能性を念頭に置いておくべきである。

測定試料とした木片は掘立柱建物の木柱の外側から数年輪分を採取されたものである。冒頭に述べたように芯持丸木材を用いた木柱は大変遺存状態が良く、採取時の観察では外側年輪が残存しているようであった。また、仮に芯持丸木の側面を面取りしていたり、外側が構築時よりも腐食して径がみかけ上小さくなっていたとしても、木柱が伐採された年代から大きなずれは生じないと考えられる。したがって、得られた結果は木柱に用いられた原木が伐採された年代に近い年代を示していると推察される。また、原木の伐採時期と木柱への利用時期に大きな隔たりはないと考えられるから、得られた結果は建物の構築時期にも近い値を示しているであろう。

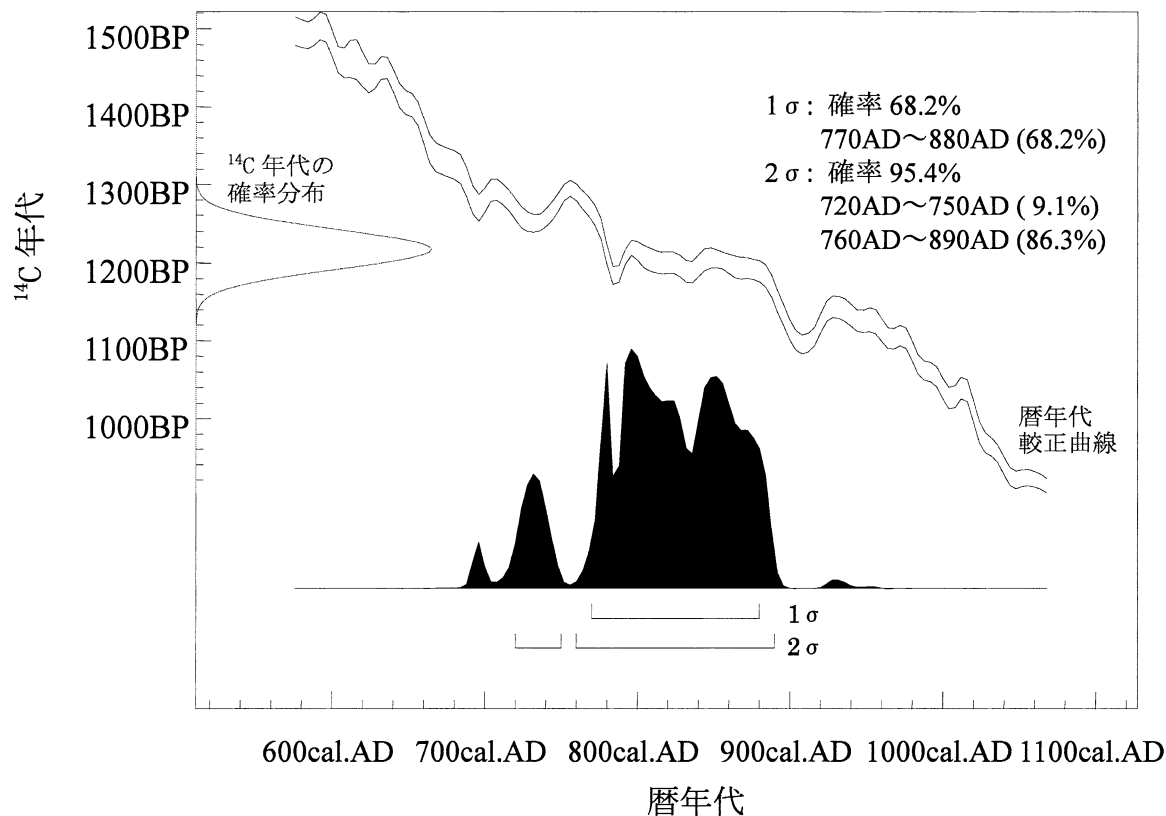
原木の伐採・建物の構築時期が得られた結果よりも新しくなることはあっても古くなることはないし、測定試料 2 本の木柱は同一の建物に用いられているので伐採・構築時期も同時期であろうから、001号跡の構築時期は P 2 の試料よりもやや新しい年代値の出ている P 4 の試料の結果を中心に、第18・19表に示した確率分布曲線を考慮して検討するべきであると推察される。この木柱は通常の掘立柱建物の柱よりもかなり径が大きく、また用いられていた掘立柱建物も大型であるため、海上郡衙との関連が想起されているが、郡家の存続時期ともおおかた符合する結果である。

\*小林紘一・丹生越子・伊藤茂・山形秀樹・Zaur Lomtadze・Ineza Jorjoliani (AMS 年代測定グループ)、三村昌史

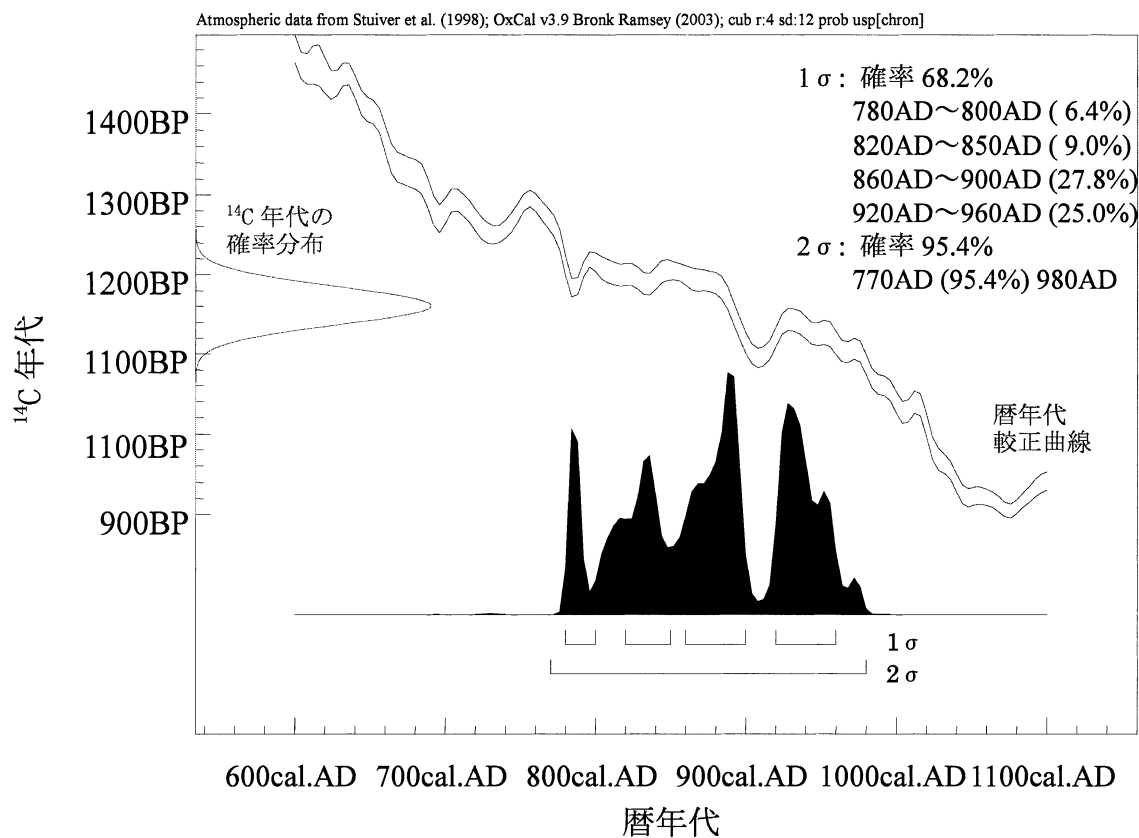
#### 参考文献

- ・中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎, 日本先史時代の $^{14}\text{C}$  年代、p. 3-20
- ・Stuiver M., P.J. Reimer, E. Bard, J.W. Beck, G.S. Burr, K.A. Hughen, B. Kromer, G. McCormac, J. van der Plicht and M. Spurk (1998) INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, 24000-0 calBP Radiocarbon 40 ( 3 ) 1041-1083
- ・Bronk Ramsey C. (1995) Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy: The OxCal Program Radiocarbon 37 ( 2 ) 425-430
- ・Bronk Ramsey C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43 ( 2 A ) 355-363





第18表 西野遺跡 B 2 地点001号-P 2 木柱試料の年代 (測定番号 PLD-3426)



第19表 西野遺跡 B 2 地点001号-P 4 木柱試料の年代 (測定番号 PLD-3427)

## 第5節 海上地区遺跡群の出土瓦について

海上地区遺跡群から出土した瓦について、概観する。瓦の出土は、主に十五沢坊ヶ谷遺跡 A～D 地点などの北西側から比較的多く出土する傾向があり、北東側の西野遺跡群 B～D 地点からの出土は少数である。また、南側の宮原遺跡 A～D 地点においては殆ど出土していない。ちなみに、十五沢坊ヶ谷遺跡 A～D 地点の西側隣接地には、今富廃寺跡が存在し、関連する遺物である可能性が高いのではないかとと思われるが、瓦の出土量が必ずしも多量とは言えない状況であり、寺域の一部を構成していたかについては、なお検討を要すると言わざるを得ない。

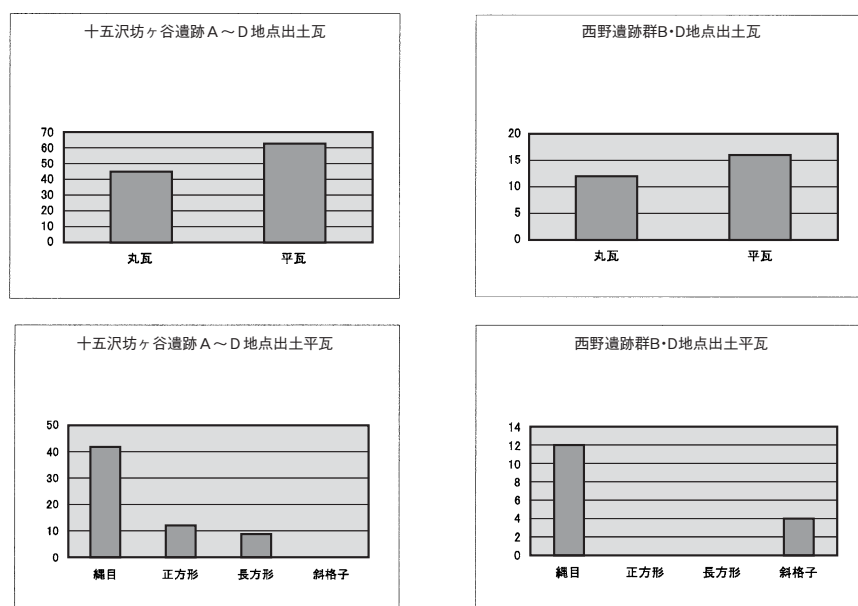
十五沢坊ヶ谷遺跡 A～D 地点における出土瓦は、小片を含めて丸瓦45点・平瓦65点、軒丸瓦1点（第30図3）・軒平瓦3点（第26図32・第30図5・第33図21）である。ちなみに、C 地点からは瓦塔の屋蓋部（隅棟部分）（第26図21）が表採されている。出土した瓦は小片が殆どを占め、熨斗瓦や隅切り瓦等の道具瓦と思われるものは、認められなかった。また、丸瓦は玉縁葺き・行基葺きが明確に識別できるものは殆どなかった。軒丸瓦・軒平瓦の内訳は、軒丸瓦1点・軒平瓦2点が、D 地点からそれぞれ出土し、C 地点からは軒平瓦1点が出土している。軒丸瓦は瓦当部のみが一部残存するもので、下総栄町龍角寺出土瓦の系譜をひく単弁八葉蓮華文軒丸瓦である。西側に所在する今富廃寺跡から出土した軒丸瓦にも、同系のものが含まれており、同廃寺関連の出土瓦と思われる。軒平瓦は、外区の珠文及び内区の唐草文の一部が残存している。3点共、均整唐草文軒平瓦であろう。今富廃寺関連の出土瓦と思われるが、上総国分寺創建期の均整唐草文軒平瓦とは異范である。

また、側縁及び端部の残存する平瓦は、布目痕が一回り小さく転写されている例が多いことから、海上地区遺跡群の平瓦は、十五沢・西野各地点共に、基本的に凸型台一枚作りの瓦が多いのではないかとと思われる。

平瓦のタタキ目の内訳は、小片を含めて十五沢坊ヶ谷遺跡 A～D 地点が縄目42点・格子目21点であり、格子目の種類は正格子12点・長方形格子9点となっている。縄目は3cm 四方で5～6条×3～5節のものが多くを占める。

一方、西野遺跡群 B～D 地点における出土瓦は、小片を含めて丸瓦12点・平瓦16点である。平瓦のタタキ目の内訳は、縄目12点・格子目4点であり、格子目は斜格子4点となっている。

十五沢坊ヶ谷遺跡 A～D 地点及び西野遺跡群 B・D 地点での瓦集計結果を下記グラフに示す。



第20表 出土瓦集計表

## 第6節 西野遺跡出土の烏帽子片について

国立歴史民俗博物館研究部 永嶋正春

はじめに

ここでは、西野遺跡群 D3 地点の041号溝状遺構のなかから検出された布の痕跡を留める漆膜片についての検討結果を報告する。対象とする漆資料は、筆者が過去に実施している何例かの烏帽子資料についての調査経験を踏まえれば、一見して烏帽子片と判断される資料である<sup>1)2)</sup>。本資料は12世紀後半～13世紀前半頃のものと考えられていることからすれば、その製作技法はおおむね中世に見られる通有のあり方を示すものであるが、しかしながら個別的な特性もあり得るので、念のため顕微鏡観察等による調査を実施した。

調査結果

類例に同じく、布を芯として漆で仕上げた烏帽子の断片である。その構造、技法を具体的に記述するとすれば、以下の様になろう。

まずは、芯となる麻布を用意する。麻布の実質がほとんど消失していることと圧痕のあり方からすれば（巻頭図版2 図2, 3）、漆以外の膠着剤を使用してこの麻布を固めつつ成形したものと考えたい。膠着剤としては、膠質のもの、澱粉質のものなどが想定できるが、現時点では特定されない。麻布は1枚（一重）であったと思われる。次いで、成形された麻布の外表面に、絹布を貼る（巻頭図版2 図4）。絹の実質がどの程度残っているかは微妙であるが、絹布層のみが遊離した片が認められること、絹繊維の圧痕を良く残していること（巻頭図版2 図6）、絹布に良くしごき込まれた素材があること（巻頭図版2 図8の下層部分）からすると、かなり充填性の高い膠着剤がその接着には利用されたと判断できる。仮に漆質の素材であったとすれば、デンプン糊などを相当程度混和したものを考える必要がある。烏帽子外面への絹布使用は、麻布目の凹凸と解れた麻の繊維の飛び出しを押さえ、見える面の漆塗りをより整えるためのものであろう。ちなみに、麻布の織り密度は、1cmあたり12×18本ほどであり、麻糸はS撚り、恐らく苧麻布であろう。絹布の織り密度は、1cmあたり38×50本ほどになる（巻頭図版2 図5）。内面すなわち頭側の面では、絹布無しで麻布に直接漆塗りを施しており、その分、麻布の存在が把握しやすい（巻頭図版2 図1）。なお内面の漆層は2層観察されるが（巻頭図版2 図7, 8）、外面も同様2回塗りと考えて間違いなからう。

以上、不確定の部分もあるが、かつて白山遺跡から出土した烏帽子と同類のものであることに疑いはない。

参考

- 1) 永嶋正春「沖ノ羽遺跡出土の烏帽子について」『沖ノ羽遺跡Ⅱ（B地区）』新潟県埋蔵文化財調査報告書第80集、新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団、1996。
- 2) 永嶋正春「中・近世漆製品の塗装技術」『下戸塚遺跡の調査—早稲田大学安部球場跡地埋蔵文化財調査報告書—第4部中近世編—中世—附篇』早稲田大学・早稲田大学校地埋蔵文化財調査室、1997。

## 第4章 ま と め

海上地区遺跡群は、平成9～15年度の7年間にわたり、計27回にわたる調査を行ってきた。それらは、多くが遺構の存在を把握する確認調査が主体であり、遺構の性格や帰属時期を具体的に把握する本調査は極めて限定的であった。本調査においても、農道や用水路等、幅の狭い狭小な面積が殆どを占める。したがって、遺構の広がりや相互のつながりは不確定な要素が極めて多くあり、推測の要素が多く含まれることを断っておく。

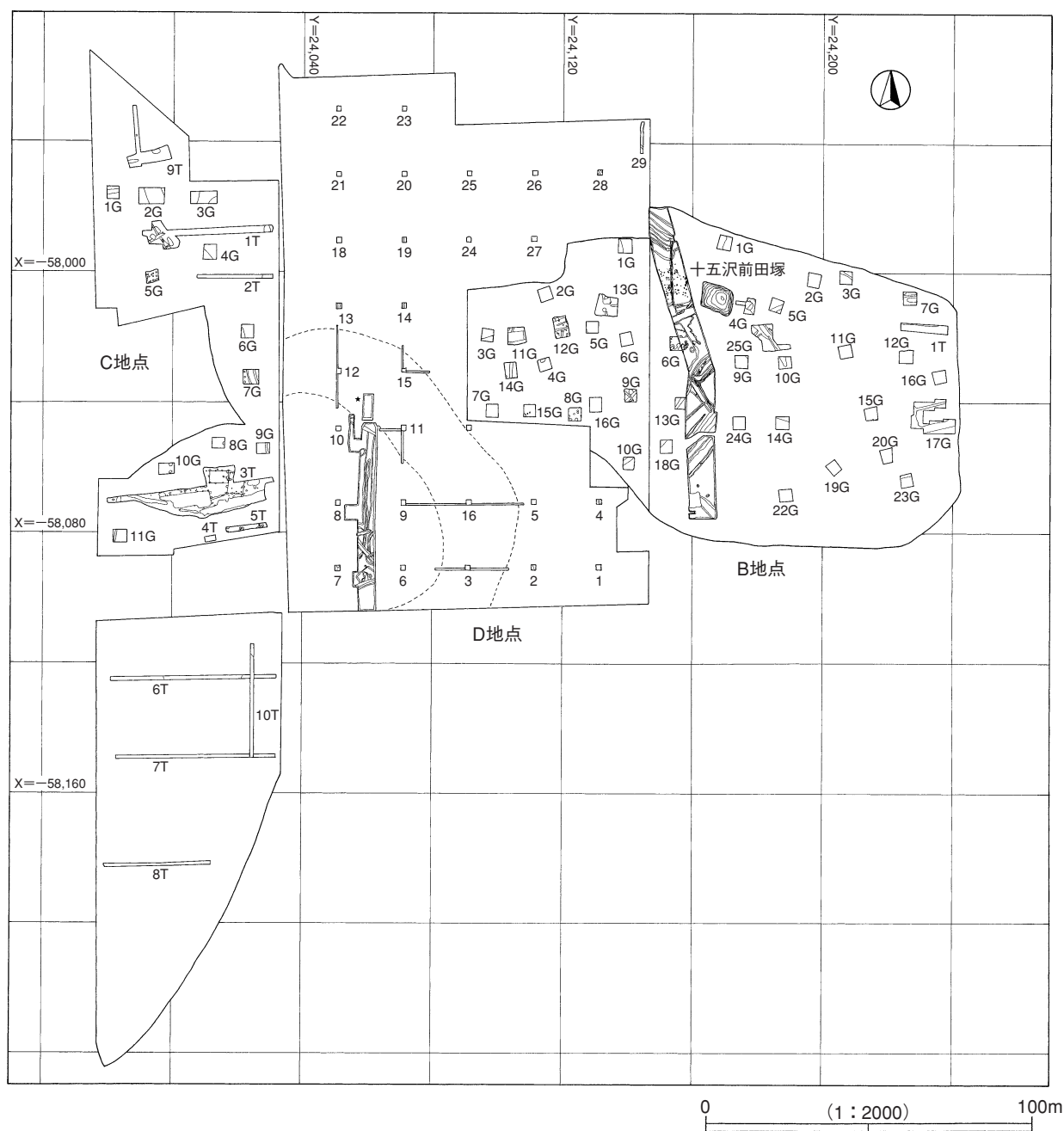
まず、平成10～11年度に行われた十五沢坊ヶ谷遺跡 B～D 地点について、竪穴建物と思われる遺構や、井戸状遺構及び溝状遺構が確認された（第130図 十五沢坊ヶ谷遺跡 B～D 地点参照）。

また、十五沢坊ヶ谷遺跡 C 地点においては掘立柱建物跡と思われるピット列が検出された。北西約70mには、今富廃寺跡があり、寺域の一部を構成する建物跡である可能性があると思われる。また、瓦の出土が、後述する西野遺跡群 B・D 地点に比べると一定量出土しており、今富廃寺関連の瓦である可能性が高いと思われる。具体的には、十五沢坊ヶ谷遺跡 D 地点において軒丸瓦が出土しており、瓦当のみが一部残存するものであるが、下総栄町龍角寺出土瓦の系譜をひく単弁八葉蓮華文の瓦当を持つと思われる。西側に所在する今富廃寺跡から出土した軒丸瓦にも、同系のものが含まれており、同廃寺関連の出土瓦と思われる。

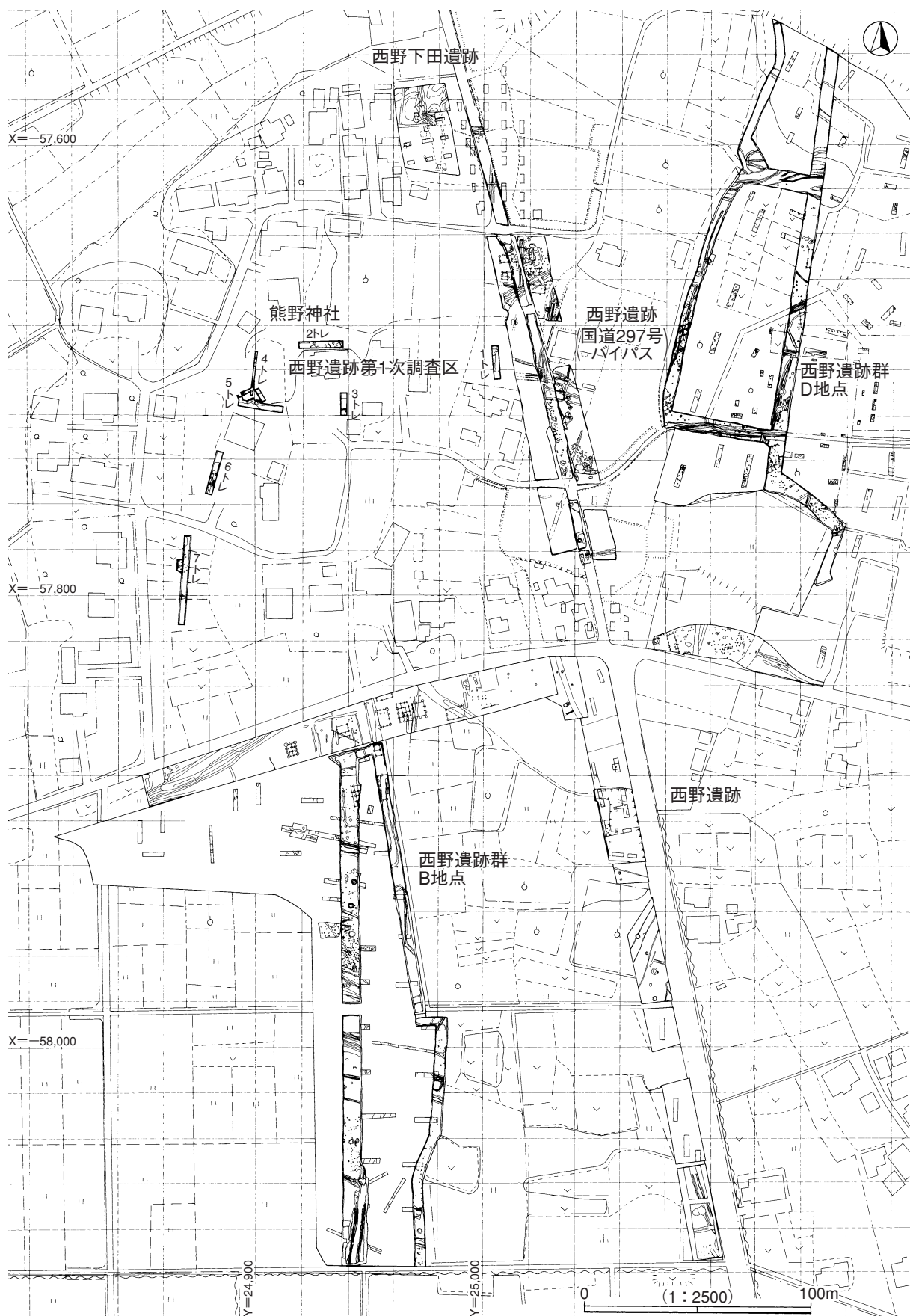
一方、十五沢坊ヶ谷遺跡 C 地点において瓦塔が表採されたものの、他の遺物は土師器・須恵器の杯や甕といった日常雑器が主体であり、郡家・郡名寺院を想起させるような特殊な遺物は出土していない。十五沢坊ヶ谷遺跡 C 地点3トレンチ内掘立柱建物跡や十五沢坊ヶ谷遺跡 B・D 地点の溝状遺構が今富廃寺跡の寺域の一部を構成する遺構である可能性はあるが、十五沢坊ヶ谷遺跡 B・D 地点にある竪穴建物（住居）跡の存在や出土遺物から、本地区が居住域として機能していた可能性も高いと思われる。

西野遺跡群 B・D 地点においては、8世紀末～9世紀代を中心とした掘立柱建物跡が一定の桁行き主軸の振れを伴って多く存在していると思われる（第131図 西野遺跡群 B・D 地点参照）。建物は、座標北に対する振れが15°～17°前後の一群が西野遺跡群 B 2 地点の建物跡や、西野遺跡群 D 3 地点の017・018・020号跡にあり、また、27°～29°前後の一群が西野遺跡群 D 3 地点の009・014号跡に見受けられる。西野遺跡群 B 2 地点の建物跡と、西野遺跡群 D 3 地点の017・018・020号跡との帰属時期や規模の共通性は、限られた調査面積の中では把握できなかった。その中であって西野遺跡群 B 2 地点の掘立柱建物跡は、建て替えが殆ど見られないと思われることから比較的短期に廃絶し、西野遺跡群 D 3 地点に建物跡が移り、10世紀前半には西野遺跡群 D 3 地点の建物跡の017・018・020号跡を始めとした数棟は、廃絶していた可能性があると思われる。

また、西野遺跡群 B 2 地点001号掘立柱建物跡に使われていた柱材は樹種同定の結果、クリ及びスダジイであった（第3章—4節 海上地区遺跡群出土木製品の樹種参照）。このことは、都城の建物跡の柱材の殆どがヒノキであることと比較すると、特定樹種を求めて遠隔地からでも運搬して利用する都城の木材利用と、近隣に自生する樹木を利用する在地における木材利用システムの相違が指摘されるのではないかと考えられる。今後の資料増加による追検証によって、この傾向が明らかになって



第130図 十五沢坊ヶ谷遺跡B～D地点



第131図 西野遺跡群B・D地点（参考文献11より改変使用）

くるのではないかと考えられる。一方、本遺跡群南側の宮原遺跡 A 地点では、スギ材の曲物底板を転用した田下駄が出土している。県内では市原条里制遺跡などで、同様の遺物が出土しており田下駄の樹種にスギが選択的に利用されていたと考えられる。

さて、西野遺跡群 B 2 地点において中世前半（12～13世紀）の遺物が少なからず出土している。また、西野遺跡群 D 3 地点、溝状遺構041号跡では、烏帽子と考えられる漆を塗布された布状遺物（第3章—6節 西野遺跡出土の烏帽子片について参照）が出土するなど、西野遺跡群 B・D 地点周辺には、当該期の遺構が確実に展開しているものと思われる。

繰り返しになるが、海上地区の本調査面積は農耕車用道路及び、用水路部分に限定されており、全体の遺跡範囲の2.5%にも及ばない。したがって、その少ない調査面積での大まかな傾向・推定は可能であるかもしれないが、これが海上地区における遺構の変遷の実体を示しているとは言い難く、不確定の要素が極めて多い。それらの経緯を踏まえた上で取えて言えば、今回の西野遺跡群 B・D 地点は、「海上郡衙」の政庁等主要建物ではなく、それを取り巻く周縁の建物跡が検出されたのではないかとと思われる。

さらに、積年の課題である「海上郡衙」について誤解を恐れずに言えば、郡衙の主要建物群は西野遺跡群 B 地点の北側、つまり現在の西野集落周辺にあるのではないだろうか。

今回の海上地区遺跡群は、広大な遺跡範囲を「点と線」で結ばなければならない調査であったが、本地区に秘められた古墳時代～中世にわたる遺構の変遷が、僅かではあるが垣間見えたと言えるかもしれない。今後、多くの未調査部分が調査されることにより、この端緒が広がりを見せて歴史景観の復元へとつながっていくことを期待したい。

#### （参考文献）

- （1） 福岡 元ほか「今富地区遺跡発掘調査報告書」 市原市今富地区遺跡調査会1982
- （2） 今泉 潔ほか「市原市西野遺跡・白山遺跡・村上遺跡発掘調査報告書」 （財）千葉県文化財センター1989
- （3） 櫻井敦史 『西野下田遺跡』「平成7年度市原市内遺跡発掘調査報告」 市原市教育委員会1996
- （4） 田所 真 『西野下田遺跡』「市原市文化財センター年報 平成7年度」 （財）市原市文化財センター1996
- （5） 高梨俊夫 「市原市西野遺跡第1次発掘調査報告書」 千葉県教育委員会1996
- （6） 渡邊高宏 「市原市西野遺跡第2次発掘調査報告書」千葉県文化財センター報告第314集  
（財）千葉県文化財センター1998
- （7） 近藤 敏 『十五沢坊ヶ谷遺跡 A 地点』「市原市文化財センター年報 平成10年度」  
（財）市原市文化財センター1999
- （8） 高橋康男 『十五沢坊ヶ谷遺跡 B・C 地点』「市原市文化財センター年報 平成10年度」  
（財）市原市文化財センター1999
- （9） 田所 真 『十五沢坊ヶ谷遺跡 D 地点』「市原市文化財センター年報 平成11年度」  
（財）市原市文化財センター2000
- （10） 伊藤智樹 『海上郡衙を考える』「市原地方史研究」第20号 市原市教育委員会2003
- （11） 土屋潤一郎 「市原市西野遺跡」千葉県文化財センター調査報告第523集 （財）千葉県文化財センター2005

第21表 土器観察表

| 単位：cm  |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|--------|----|-----|----|------|----|-------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------|------|--------------------------------------------------|----------|--------|----------|----------|----------------|
| 遺跡     | 遺構 | No. | 状況 | 種別   | 器種 | 遺存                | 色調                                     | 外面の特徴                                   | 内面の特徴                             | 焼成   | 胎土                                               | 口径       | 底径     | 高さ       | 最大径      | 備考             |
| 坊ヶ谷 A1 | 一拵 | 1   | 一括 | 須恵器  | 甕  | 口縁部のみ残。           | 2.5YR6/6橙色                             | 口縁部、ヨコナデ。                               | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラナデ。                 | やや不良 | やや粗、白紋0.2～0.5mm・黒紋0.1～0.2mm少量。                   |          |        |          |          | 口縁部肥厚し、千葉市域産か。 |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 A2 | 一拵 | 1   | 一括 | 須恵器  | 甕  | 口縁部のみ残。           | 外面2.5YR4/1赤灰色内面2.5YR4/2灰赤色             | ヨコナデ。                                   | 口縁部、ヨコナデ。体部、ナデ。                   | やや不良 | 密、白紋0.2～0.8mm均等、黒紋0.2～0.5mm少量。                   |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 A2 | 一拵 | 2   | 一括 | 須恵器  | 甕  | 底部下半1/10残。        | 5Y6/1 灰色                               | ヨコナデ。                                   | ヨコナデ。                             | 良    | 緻密、白紋0.5mm少量だが均等。                                |          | (14.0) | 6.8      | 上径(23.0) |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 A2 | 一拵 | 3   | 一括 | 轆轤陶器 | 段皿 | 口縁・底部欠失、体部のみ破かに残。 | 外面 浅黄緑色                                | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白色紋0.1～0.3mm微量。                               |          | (2.1)  | 上径(16.2) |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 1   | 床直 | 土師器  | 杯  | ほぼ完存。             | 外面5YR7/6橙色 内面5YR6/6橙色                  | 口縁部、ヨコナデ。体部～底部手持ちヘラケズリ。口縁部に一部、油長(痕)が付着。 | ナデ一部、ミガキのような強いナデ。口縁部に一部、油長(痕)が付着。 | 良好   | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量、赤褐紋0.5～1.0mm微量。                 | 14.0     | 3.6    | 3.6      |          | 灯明皿            |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 2   | 覆土 | 土師器  | 杯  | ほぼ完存。             | 外面7.5YR6/6橙色<br>内面5YR7/4にぶい橙色、一部赤彩残存か？ | 手持ちヘラケズリ。口縁部ヨコナデ。                       | ヘラナデ一部、ミガキのような強いナデ。口縁部、ヨコナデ。      | 良    | 緻密、白紋0.2～0.3mm・黒紋0.1～0.2mm少量、赤褐紋0.3～0.5mm微量。     | 13.0     | 7.8    | 4.8      |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 3   | 一括 | 土師器  | 杯  | 口縁～底部1/8残。        | 外面7.5YR7/4にぶい橙色<br>内面2.5YR6/8橙色        | 口縁部調整。底部、回転ヘラケズリ。                       | 口縁部調整。底部と側面の境明瞭。                  | やや不良 | 密、黒石紋0.1～1.0mm・白紋1.0～3.0mm微量。                    | (14.4)   | (9.8)  | 3.2      |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 4   | 一括 | 土師器  | 小壺 | 口縁～側部下半1/3残。      | 内・外面 7.5YR3/1 黒褐色                      | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラケズリ。                      | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラナデ。                 | 良    | 密、小石1.0～3.0mm少量。                                 | (13.6)   | 11.0   |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 5   | 一括 | 土師器  | 甕  | 底部～側部下半1/8残。      | 外面7.5YR7/4にぶい橙色<br>内面7.5YR7/6橙色        | ヘラケズリ？                                  | ヘラナデ。                             | やや不良 | やや粗、小石紋0.5～1.5mm少量、黒色紋0.5mm少量だが均等。               | (8.0)    | 2.3    | 上径(12.0) |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 6   | 床直 | 須恵器  | 杯  | 口縁～底部2/3残。        | N2/0黒色                                 | 口縁部調整。体部下部、手持ちヘラケズリ。底部、手持ちヘラケズリ。        | 口縁部調整。                            | 不良   | やや粗、白紋0.3～0.8mm少量だが均等。                           | 13.8     | 7.7    | 4.3      |          | 千葉市域産か。        |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 7   | 一括 | 須恵器  | 杯  | 口縁～体部下半1/3残。      | 外面5Y7/4灰白色 内面5Y6/1灰色                   | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量だが均等、黒紋0.1～0.3mm微量。              | (12.0)   | 3.2    |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 8   | 一括 | 須恵器  | 杯  | 口縁～体部1/8残。        | 外面2.5Y6/1黄灰色 内面5Y6/1灰色                 | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白紋0.2～0.3mm少量、白色針状物微量。                        | (12.0)   | 3.6    |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 9   | 一括 | 須恵器  | 杯  | 体部下半～底部1/10残。     | 2.5Y7/1灰白色                             | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白紋0.1～0.2mm微量。                                | (11.0)   | (8.0)  | 1.1      |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 10  | 一括 | 須恵器  | 杯  | 体部下半～底部1/10未満残。   | 5Y7/1灰白色                               | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白紋0.2～0.8mm少量。                                |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 11  | 一括 | 須恵器  | 杯  | 体部下半のみ1/10未満残。    | 5Y7/1灰白色                               | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、黒紋0.2～0.3mm少量。                                |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 12  | 一括 | 須恵器  | 蓋  | 口縁部のみ1/10未満残。     | 2.5Y8/1灰白色                             | 口縁部調整。ヨコナデ。                             | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白紋0.2～0.8mm少量。                                |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 13  | 覆土 | 須恵器  | 甕  | 口縁～側部上半1/6残。      | 5Y2/1黒色                                | ヨコナデ。側部、縦位のタタキ。                         | ヨコナデ。                             | やや不良 | 密、白紋0.2～0.5mm均等。                                 | (42.2)   | 15.7   |          |          | 千葉市域産か。        |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 14  | 一括 | 須恵器  | 甕  | 頸部～側部上半1/8残。      | 外面7.5Y6/1灰色 内面5Y6/1オリーブ黒               | ヨコナデ。側部、縦位のタタキ。                         | ヨコナデ。側部ナメのナデ施す。                   | 良    | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量。                                | 上径(44.0) | 17.8   | 下径(45.0) |          | 千葉市域産か。        |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 4G | 15  | 一括 | 須恵器  | 甕  | 体部下部～底部1/10残。     | 外面7.5YR2/1黒色 内面7.5YR5/2灰褐色             | ヨコナデ一部、ヘラケズリ。                           | ヨコナデ一部、ヘラナデ。                      | 不良   | やや粗、白紋0.1～0.3mm少量だが均等。                           | (15.6)   | 7.2    | 上径(32.4) |          | 千葉市域産か。        |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 8G | 1   | 覆土 | 土師器  | 杯  | 口縁～体部下半1/6残。      | 7.5YR6/6橙色                             | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整。                            | 良    | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量だが均等、灰紋0.3～0.5mm少量。              | (16.0)   | 9.0    |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 8G | 2   | 覆土 | 土師器  | 杯  | 口縁～底部1/2残。        | 5YR6/6橙色                               | 口縁部調整。底部外周、回転ヘラケズリ。                     | 口縁部調整。                            | 良    | やや粗、白紋0.4～0.5mm・黒紋0.4～0.5mm少量、赤紋0.3～0.5mm少量だが均等。 | (12.7)   | (6.5)  | 3.6      |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 8G | 3   | 覆土 | 土師器  | 杯  | 底部のみ残。            | 5YR7/8橙色                               | 口縁部調整。底部、回転条切り無調整。                      | 口縁部調整。                            | 良    | 密、白紋0.5～1.0mm少量、灰紋0.3～0.5mm少量。                   |          | 6.2    | 1.5      | 上径(9.7)  |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 8G | 4   | 一括 | 土師器  | 杯  | 底部1/4未満残。         | 外面7.5YR7/6橙色 内面7.5YR6/6橙色              | 口縁部調整。                                  | 口縁部調整？ 器面不明瞭。                     | 良    | 密、白紋0.2～0.3mm少量、黒紋0.1～0.3mm少量。                   |          | (6.0)  | 1.5      | 上径(9.4)  |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 8G | 5   | 一括 | 土師器  | 甕  | 底部1/10未満残。        | 外面10R6/8赤褐色 内面10R3/1暗赤灰                | ヘラケズリ。                                  | ヘラナデ。                             | 良好   | 緻密、白紋0.3～0.5mm少量、雲母紋0.2～0.3mm極めて微量。              |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 8G | 6   | 覆土 | 土師器  | 甕  | 口縁～側部下半1/3残。      | 外面7.5YR1/7/4黒色<br>内面7.5YR5/3 にぶい褐色     | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラケズリ。                      | ヘラナデ。                             | 良    | 密、白紋0.2～0.5mm少量だが均等、黒紋0.1～0.2mm・石英0.3～0.5mm微量。   | (21.0)   |        | 13.4     |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
| 坊ヶ谷 B1 | 9G | 1   | 一括 | 土師器  | 杯  | 口縁～体部上半1/8残。      | 外面5YR7/6橙色 内面2.5Y3/1黒褐色                | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラケズリ。                      | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラナデ。黒色、無調整。          | 良    | 緻密、白紋0.1～0.2mm微量、黒紋0.1～0.3mm微量。                  | (10.8)   | 3.2    | 下径(11.4) |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |
|        |    |     |    |      |    |                   |                                        |                                         |                                   |      |                                                  |          |        |          |          |                |



|       |     |    |        |     |               |                                    |                                  |                      |      |                                                   |        |       |          |          |
|-------|-----|----|--------|-----|---------------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------|------|---------------------------------------------------|--------|-------|----------|----------|
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 2  | 甌土 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/3残。    | 7.5YR7/6褐色                         | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。               | ヘラナデ、調整不明瞭。          | やや不良 | やや粗、白紋0.1～0.2mm・黒紋0.1～0.3mm微量、赤褐紋0.3～1.0mm少量だが均等。 | (12.0) | (3.5) | 3.3      |          |
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 3  | 甌土 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/3残。    | 5YR6/6褐色                           | ロクロ調整、底部、全面回転ヘラケズリ。              | ロクロ調整。               | やや不良 | やや粗、白紋0.2mm・黒紋0.3mm少量、赤褐紋0.5～1.0mm微量。             | (13.0) | (9.4) | 3.1      |          |
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 4  | 甌土 土師器 | 甕   | 底部のみ1/2残。     | 外面2.5YR4/4にぶい赤褐色<br>内面7.5YR2/1黒色   | 底部、静止ヘラ切り。                       |                      | 良    | 粗、小石紋2.0～3.0mm少量だが均等、ボソボソしている。                    | (8.2)  | 1.0   | 上径(9.2)  |          |
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 5  | 甌土 土師器 | 甕   | 口縁部のみ1/10未満残。 | 5YR5/4にぶい赤褐色                       | ヨコナデ。                            | ヨコナデ。                | 良    | やや粗、白紋0.3mm・黒紋0.1～0.5mm・赤褐紋0.5～2.0mm少量。           |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 6  | 一拵 土師器 | 甕   | 口縁部のみ1/10未満残。 | 外面5YR7/6褐色 内面2.5YR7/8褐色            | 口縁部、ヨコナデ。                        | 口縁部、ヨコナデ。            | 良    | 密、白紋0.5～1.0mm少量、灰紋0.3～0.8mm少量だが均等。                |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 7  | 一拵 土師器 | 甕   | 口縁部のみ1/8未満残。  | 2.5YR5/4にぶい赤褐色                     | ヨコナデ。                            | ヨコナデ。                | 良    | 緻密、白紋0.2～0.5mm・黒紋0.3mm少量、白色針状物、微量含む。              |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷B1 | 9G  | 8  | 甌土 須恵器 | 甕   | 口縁～肩部1/6残。    | 2.5Y7/1灰白色                         | ヨコナデ。                            | ヨコナデ。                | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm少量。                                  | (28.6) | 8.4   |          |          |
| 坊ヶ谷B1 | 14G | 1  | 一拵 土師器 | 甕   | 底部のみ1/8残。     | 外面2.5YR5/6明赤褐色<br>内面10YR7/3にぶい黄褐色  | ヘラケズリ。                           | ヘラナデ。                | 良    | 緻密、白紋0.2～0.4mm 微量。                                | (6.8)  | 2.7   | 上径(10.6) |          |
| 坊ヶ谷B1 | 一拵  | 一拵 | 土師器    | 杯   | 底部のみ1/3残。     | 2.5YR4/6赤褐色                        | 器面不明瞭。                           | ナデ。                  | 良    | 密、白紋0.5mm・黒紋0.2～0.3mm・赤褐紋0.5～1.0mm少量。             | (8.0)  | (5.0) | (1.6)    |          |
| 坊ヶ谷B1 | 一拵  | 2  | 一拵 土師器 | 杯   | 底部のみ1/4残。     | 5YR7/6褐色                           | ロクロ調整、底部、回転ヘラ切り。                 | ロクロ調整。               | 良    | 密、赤褐紋0.3～0.5mm少量。                                 |        | (5.8) | 1.9      |          |
| 坊ヶ谷B1 | 一拵  | 3  | 一拵 土師器 | 杯   | 底部1/2残。       | 外面 V2/0黒色 内面10YR7/2にぶい黄褐色          | ロクロ調整、底部、回転ヘラ切り。                 | ヘラミガキ、黒色処理。          | 良    | 緻密、白紋0.5mm少量だが均等、黒紋0.3～0.5mm少量。                   | (6.5)  | 1.7   |          |          |
| 坊ヶ谷B1 | 一拵  | 4  | 一拵 土師器 | 台付甕 | 底部のみ1/10未満残。  | 外面2.5YR6/4にぶい褐色内面5YR7/6褐色          | 一部、ヘラケズリ、ユビオサエ。                  | ヘラナデ                 | やや不良 | 密、白紋0.2～0.5mm・黒紋0.1～0.3mm少量。                      |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷B1 | 一拵  | 5  | 一拵 須恵器 | 甕   | 口縁のみ1/10未満残。  | 外面7.5Y5/1灰色 内面2.5Y6/1黄灰色           | ヨコナデ。                            | ヨコナデ                 | 良    | 緻密、白紋1.0～3.0mm少量。                                 |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 1  | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/2残。    | 5YR7/6褐色                           | ロクロ調整、底部、回転ヘラケズリ。                | ロクロ調整。               | 良    | やや粗、白紋0.1～0.3mm・石英紋0.3mm・赤紋1.0～2.0mm少量。           | (12.6) | (7.4) | 2.9      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 2  | 一拵 土師器 | 杯   | ほぼ完存。         | 5YR7/6褐色                           | ロクロ調整、底部及び底部外周、回転ヘラケズリか。         | ロクロ調整。               | 良    | やや粗、白紋0.4mm微量、黒紋0.1～0.3mm・赤紋0.1～0.5mm少量。          | 11.8   | 4.6   | 3.2      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 3  | 一拵 土師器 | 杯   | ほぼ完存。         | 5YR6/4にぶい褐色                        | ロクロ調整、底部、回転糸切り無調整。               | ロクロ調整。               | 良    | やや粗、黒紋0.2mm少量、赤紋0.3～0.5mm少量だが均等。                  | 10.0   | 5.8   | 3.6      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 4  | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～底部2/3残。    | 外面7.5YR7/4にぶい褐色<br>内面7.5Y2/1黒色     | ロクロ調整、底部外周、手持ちヘラケズリ、底部、回転糸切り無調整。 | ロクロ調整、ヘラミガキ、黒色処理。    | 良好   | 緻密、白紋0.2mm・黒紋0.1～0.2mm微量、赤紋0.5～1.0mm少量。           | (13.6) | 6.0   | 4.3      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 5  | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～底部2/3残。    | 7.5YR7/4にぶい褐色                      | ロクロ調整、底部外周、回転ヘラケズリ。              | ロクロ調整。               | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm少量、赤紋0.5～2.0mm均等。                    | (10.8) | (4.8) | 3.0      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 6  | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/4残。    | 5YR7/6褐色                           | ロクロ調整、底部、回転糸切り無調整。               | ロクロ調整。               | 良    | 密、白紋0.1～0.4mm・黒紋0.3mm・雲母紋0.2～0.3mm微量。             | (10.4) | (5.0) | 3.3      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 7  | 一拵 土師器 | 杯   | 体部上半～底部2/3残。  | 7.5YR7/4にぶい褐色                      | ロクロ調整、底部、回転糸切り無調整。               | ロクロ調整。               | 良    | やや粗、黒紋0.2mm・石英1.0mm微量、赤紋0.2～0.5mm少量。              | 6.5    | 2.9   | 上径(10.5) |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 8  | 一拵 土師器 | 杯   | 体部～底部2/3残。    | 7.5YR6/3にぶい褐色                      | ロクロ調整、底部、回転糸切り無調整。               | ロクロ調整。               | 良    | 密、白紋0.1～0.3mm均等、黒紋0.4mm少量、雲母紋0.5～1.2mm微量。         | (6.8)  | 2.6   | 上径(10.6) |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 9  | 一拵 土師器 | 杯   | 体部下半～底部1/5残。  | 外面7.5YR6/4にぶい褐色 内面 N2/0黒色          | ロクロ調整。                           | ヘラミガキ、黒色処理。          | 良    | 密、白紋0.5mm少量、黒紋0.2mm微量、雲母紋0.5mm極めて微量。              | (6.0)  | 2.0   | 上径(9.0)  |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 10 | 一拵 土師器 | 台付甕 | 脚部のみ1/3残。     | 2.5YR7/6褐色、脚部内面は黒が付着し黒色。           | 一部ヘラケズリか。                        | ヘラナデ、脚部、内面一部、ヘラケズリか。 | 不良   | 粗、石英1.0～5.0mm大均等、ボソボソしている。                        | (8.2)  | 2.9   |          |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 11 | 一拵 土師器 | 甕   | 口縁～体部上半1/6残。  | 外面7.5YR5/4にぶい褐色<br>内面7.5YR6/4にぶい褐色 | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。               | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。    | 不良   | やや粗、白紋0.3～1.0mm均等、黒紋0.3mm・赤紋0.5～1.2mm微量。          | (26.0) | 5.6   |          |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 12 | 一拵 須恵器 | 甕   | 口縁部のみ1/10残。   | 7.5YR7/灰白色                         | ヨコナデ。                            | ヨコナデ。                | 良    | 密、白紋0.2mm・雲母紋0.2mm少量、黒紋0.5～1.0mm均等。               | (31.0) | 5.8   | (32.0)   |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 13 | 一拵 灰陶器 | 碗   | 口縁～底部3/4残。    | 5Y8/1 灰白色                          | ロクロ調整、口唇部、施釉。                    | ロクロ調整、全面施釉、ハケ塗り。     | 良好   | 緻密、白紋0.1～0.4mm微量、黒紋0.1～0.3mm少量。                   | 11.4   | 6.2   | 3.5      |          |
| 坊ヶ谷B2 | 4G  | 14 | 一拵 灰陶器 | 皿   | 体部下半～底部1/2残。  | N7/0灰白色                            | ロクロ調整、底部、回転ヘラ切り磨し。               | ロクロ調整、体部下半、施釉。       | 良好   | 緻密、白紋0.5～4.0mm少量、黒紋0.1～0.2mm少量だが均等。               |        | 5.0   | 2.0      | 上径(11.6) |
| 坊ヶ谷B2 | 005 | 1  | 甌土 須恵器 | 杯   | 底部のみ1/10残。    | N6/0灰色                             | ロクロ調整。                           | ロクロ調整。               | 良    | 緻密、白紋0.1～0.2mm・黒紋0.1～0.3mm微量。                     | (6.0)  | 1.2   | 上径(7.4)  |          |

|       |    |    |      |      |                 |                               |                                 |                    |      |                                         |        |     |          |  |
|-------|----|----|------|------|-----------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------|------|-----------------------------------------|--------|-----|----------|--|
| 坊ヶ谷B2 | 一括 | 一括 | 須臾器  | 杯    | 体部下～底部1/8残。     | 外面10YR5/3赤褐色 内面10YR5/1暗灰色     | ロクロ調整 体部下端、回転ヘラケズリ。             | ロクロ調整。             | 良    | 緻密、白紋0.3mm少量、黒紋0.2mm少量だが均等、赤紋0.3～0.5mm。 | (12.2) | 3.2 | 上唇(14.2) |  |
| 坊ヶ谷B2 | 一括 | 一括 | 須臾器  | 蓋    | 頸部のみ1/10未満残。    | N4/0灰色                        | ヨコナデ。                           |                    | 良    | 緻密、白紋0.5mm少量だが均等。                       |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 杯    | 底部のみ1/10残。      | 5YR7/6褐色                      | ロクロ調整、底部、回転ヘラケズリか。              | ロクロ調整。             | 良    | 密、白紋0.2～0.4mm微量。                        | (8.0)  | 0.9 | 上唇(6.4)  |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 杯    | 底部のみ1/10残。      | 外面7.5YR7/6褐色 内面7.5YR6/8褐色     | ロクロ調整、体部下端、回転ヘラケズリ。             | ロクロ調整。             | 良    | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量。                       | (8.0)  | 1.4 | 上唇(10.2) |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 杯    | 体部下～底部1/10残。    | 外面7.5YR7/6褐色 内面5YR7/6褐色       | ロクロ調整 体部下端、回転ヘラケズリ。             | ロクロ調整。             | 良    | 密、黒紋0.2mm、白紋0.3mm少量。                    | (6.0)  | 1.8 | 上唇(0.2)  |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 杯    | 体部下～底部1/10残。    | 外面7.5YR5/4にぶい褐色 内面5YR3/4にぶい黒色 | ロクロ調整か。                         | 器面不明瞭、黒色処理、ミガキ等見え。 | 不良   | やや粗、黒紋0.2～0.4mm微量、白紋0.1～1.0mm少量。        | (8.0)  | 2.7 | 上唇(11.6) |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 蓋    | 口縁のみ1/10未満残。    | 2.5YR6/6褐色                    | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。              | やや不良 | 緻密、黒紋0.2～0.4mm少量だが均等、赤褐紋0.2～0.5mm微量。    |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 蓋    | 口縁のみ1/10未満残。    | 2.5YR6/8褐色                    | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。              | やや不良 | やや粗、黒紋0.2mm・白紋0.2～0.5mm少量、石灰0.3mm微量。    |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 土師器  | 蓋    | 口縁のみ1/10未満残。    | 7.5YR4/3褐色                    | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。              | 良    | 密、黒紋0.2～0.3mm少量、白紋0.2～0.5mm少量だが均等。      |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 須臾器  | 蓋    | つまみ部のみ残。        | 2.5Y5/1黄灰色                    | ヨコナデ。                           |                    | 良    | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量。                       |        | 1.3 | 2.6      |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 須臾器  | 蓋    | かえり部1/10未満残。    | 2.5YR5/6黄赤褐色                  | ロクロ調整。                          | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密、黒・白紋0.1～0.3mm微量。                     |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 須臾器  | 杯    | 口縁～体部下半1/10残。   | 外面N3/0暗灰色 内面N5/0灰色            | ロクロ調整 体部下端、回転ヘラケズリ。             | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密、白紋0.2～0.5mm少量。                       | (16.0) | 4.8 |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 須臾器  | 杯    | 口縁～体部下半1/4残。    | 10Y7/1灰白色                     | ロクロ調整、体部下端、回転ヘラケズリ。             | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密、白紋0.1～0.2mm少量。                       | (18.0) | 4.8 |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 3T | 一括 | 灰釉陶器 | 長頸蓋  | 頸部のみ1/3残。       | 外面5Y6/1灰色 内面 5Y6/灰色           | ロクロ調整。                          | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密、黒紋0.1～0.3mm少量、白紋0.2～0.5mm微量。         |        | 4.2 | 下唇(8.8)  |  |
| 坊ヶ谷C  | 7G | 一括 | 須臾器  | 杯    | 底部のみ1/6残。       | N6/0灰色                        | 底部外周、回転ヘラケズリ、中央に糸切り彫刻装束残す。      | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密、黒紋、白色針状物0.2mm微量、白紋0.2～0.3mm少量。       | 8.0    | 7.0 | 1.2      |  |
| 坊ヶ谷C  | 7G | 一括 | 須臾器  | 蓋    | つまみ部のみ1/2残。     | N8/0灰色                        | ナデ。                             |                    | 良    | 密、黒・白紋0.2～0.4mm少量。                      |        | 1.5 | 3.0      |  |
| 坊ヶ谷C  | 7G | 一括 | 須臾器  | 蓋    | 口縁のみ1/10未満残。    | 外面5Y8/1灰白色 内面N8/0灰白色          | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。              | 良好   | 緻密、黒・白紋0.1～0.2mm微量。                     |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 7G | 一括 | 須臾器  | 蓋    | 底部のみ1/10残。      | N7/0灰白色                       | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。              | 良好   | 密、黒紋0.1～0.2mm微量、白紋0.2～1.0mm少量だが均等。      | (10.0) | 1.6 | 上唇(12.0) |  |
| 坊ヶ谷C  | 7G | 一括 | 須臾器  | 長頸蓋か | 体部下～底部1/10未満残。  | 外面5Y6/1灰色 内面2.5Y7/1灰白色        | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。              | 良好   | 緻密、黒紋0.2～0.5mm少量だが均等、白紋0.5～1.0mm少量。     |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 土師器  | 杯    | 口縁～底部1/10残。     | 5YR6/8褐色                      | ロクロ調整 体部下端、回転ヘラケズリ、底部、手持らヘラケズリ。 | ロクロ調整。             | 良    | 密、黒紋0.2mm、赤褐紋0.2～2.0mm少量、白紋0.2～0.3mm微量。 | (10.6) | 4.2 |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 土師器  | 杯    | 体部下～底部1/2残。     | 外面7.5YR7/6褐色 内面2.5Y2/1黒褐色     | ロクロ調整。                          | ヘラミガキ、黒色処理。        | 良    | 密、白紋0.1～0.2mm微量。                        | (7.2)  | 1.7 | 上唇(6.0)  |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 土師器  | 杯    | 底部1/8残。         | 外面10YR7/4にぶい黄褐色 内面5Y2/1黒色     | ロクロ調整。                          | ヘラミガキ、黒色処理。        | 良    | 密、黒紋0.1～0.2mm少量、白紋0.2～0.3mm少量だが均等。      | (6.1)  | 1.2 |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 土師器  | 杯    | 底部1/6残。         | 7.5YR7/6褐色                    | ロクロ調整、器面不明瞭。                    | ロクロ調整、器面不明瞭。       | やや不良 | やや粗、黒紋0.1～0.2mm少量だが均等、赤褐紋1.0～2.0mm少量。   | (8.0)  | 2.0 |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 土師器  | 杯    | 体部下～底部1/6残。     | 7.5YR6/6褐色                    | ロクロ調整、器面不明瞭。                    | ロクロ調整、器面不明瞭。       | 良    | 密、赤褐紋0.5～1.5mm少量。                       | (8.0)  | 2.7 | 上唇(10.8) |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 土師器  | 台付蓋  | 頸部のみ3/4残。       | 2.5YR4/6赤褐色                   | ヘラケズリ。                          |                    | 不良   | 密、白紋0.5～4.0mm・小石灰1.0～3.0mm少量だが均等。       |        | 3.4 |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 須臾器  | 杯    | 口縁～体部下半1/10未満残。 | 5Y7/1灰白色                      | ロクロ調整。                          | ロクロ調整。             | 良    | 緻密、黒紋0.3mm、白紋0.4mm少量。                   |        |     |          |  |
| 坊ヶ谷C  | 一括 | 一括 | 須臾器  | 杯    | 口縁～体部下端1/10未満残。 | 5Y6/1 灰色                      | ロクロ調整 体部下端、回転ヘラケズリ。             | ロクロ調整。             | 良    | 緻密、黒紋0.1～0.2mm少量、白紋0.2～0.5mm微量。         |        |     |          |  |

|       |     |    |    |      |     |                |                                           |                            |                    |      |                                                   |        |       |          |          |
|-------|-----|----|----|------|-----|----------------|-------------------------------------------|----------------------------|--------------------|------|---------------------------------------------------|--------|-------|----------|----------|
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 9  | 一括 | 須臾器  | 杯   | 底部1/8残。        | 10Y6/1灰色                                  | ロクロ調整。底部。回転ヘラケズリ。          | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.4mm少量。                   |        | 10.0  | 1.9      | 上唇(11.8) |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 10 | 一括 | 須臾器  | 杯   | 底部1/2残。        | 外面2.5Y6/1黄灰色 内面2.5Y4/1黄灰色                 | 底部。回転ヘラケズリ。                | ロクロ調整。             | やや不良 | 密。白紋0.2～0.4mm少量。白色針状物0.1～0.2mm微量。                 |        | (8.0) | 1.2      | 上唇(6.2)  |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 11 | 一括 | 須臾器  | 杯   | 底部1/10残。       | 外面7.5Y7/1灰白色 内面7.5Y6/1灰色                  | ロクロ調整。底部外周。回転ヘラケズリ。        | ロクロ調整。             | 良    | 緻密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.4mm少量。白色針状物0.2mm微量。        |        | (8.2) | 1.6      | 上唇(10.0) |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 12 | 一括 | 須臾器  | 杯   | 底部のみ1/10未調残。   | 外面2.5Y7/1灰色 内面2.5Y6/1黄灰色                  | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良    | 密。黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm少量だが均等。                |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 13 | 一括 | 須臾器  | 蓋   | つまみ部のみ残。       | 5Y8/1 灰白色                                 | ロクロ調整。ナデ。                  |                    | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.2mm微量。                                 |        | 1.6   | 2.6      |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 14 | 一括 | 須臾器  | 蓋   | 1/10未調残。       | 2.5Y7/1灰白色                                | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良    | 緻密。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.3mm微量。                   |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 15 | 一括 | 須臾器  | 蓋   | かえり部のみ1/10未調残。 | 2.5YR4/2赤色                                | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密。白紋0.2～0.4mm少量。                                 |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 16 | 一括 | 須臾器  | 長頸壺 | 体部下半～底部1/4残。   | 外面10YR3/1黒褐色 内面5Y6/1灰色                    | ロクロ調整。底部。内面に自然軸かか          | ロクロ調整。底部。内面に自然軸かか  | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.5～1.0mm少量。                   | (8.2)  | 3.4   | 上唇(11.2) |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 17 | 一括 | 須臾器  | 甕   | 口縁のみ1/10残。     | 2.5Y7/1灰白色                                | ヨコナデ。                      | ヨコナデ。              | 良    | 緻密。黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.3～0.5mm微量。                   | (32.0) | 5.1   |          |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 18 | 一括 | 線軸陶器 | 皿   | 高台部のみ残。        | 外面薄緑色 内面黄緑色                               | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良好   | 極めて緻密。黒紋0.1～0.15mm微量。                             |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 19 | 一括 | 灰釉陶器 | 皿   | 体部下半～底部1/8残。   | 5Y7/1灰白色                                  | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.5mm少量だが均等。白紋0.5mm微量。                   | (6.0)  | 1.5   | 上唇(7.8)  |          |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 20 | 一括 | 灰釉陶器 | 長頸壺 | 肩部～胴部下半1/8残。   | 外面2.5Y7/1灰白色(底部7.5Y4/2灰オリーブ 内面2.5Y7/1灰白色) | ロクロ調整。肩部に灰軸施す。             | ロクロ調整。             | 良    | 緻密。黒紋0.2～1.0mm少量だが均等。白紋0.5～1.0mm微量。               |        | 7.8   | (15.2)   |          |
| 坊ヶ谷 D | 001 | 1  | 覆土 | 土師器  | 小壺  | 体部下半～底部1/4残。   | 外面5YR6/6褐色 内面5YR7/4L,ぶい                   | ヘラケズリ。                     | ヘラケズリ。             | 良    | やや粗。赤褐紋0.5～2.0mm少量。                               | (6.0)  | 2.4   | 上唇(6.8)  |          |
| 坊ヶ谷 D | 001 | 2  | 覆土 | 土師器  | 甕   | 体部下半～底部1/10残。  | 外面2.5YR3/6赤褐色 内面2.5YR4/4L,ぶい              | ヘラケズリ。                     | ヘラケズリ。             | 不良   | 密。黒紋0.2～0.3mm・小石粒2.0～4.0mm少量。白紋0.2～0.5mm均等。       | (7.0)  | 2.3   | 上唇(6.8)  |          |
| 坊ヶ谷 D | 002 | 1  | 床直 | 灰釉陶器 | 碗   | 体部下半～底部1/4残。   | 10YR8/2灰白色                                | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。底縁内。よく摩耗。    | 良好   | 緻密。黒白紋0.2～0.3mm微量。                                | (8.4)  | 2.2   | 上唇(11.4) | 転用碗か。    |
| 坊ヶ谷 D | 002 | 2  | 覆土 | 灰釉陶器 | 碗   | 体部下半～底部1/4残。   | 2.5Y8/1灰白色                                | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。体部下半。より灰軸施す。 | 良好   | 緻密。黒紋0.3～0.8mm少量。白紋0.5～0.8mm微量。                   | 8.2    | 3.4   | 上唇(13.4) |          |
| 坊ヶ谷 D | 002 | 3  | 覆土 | 土師器  | 甕   | 体部下半～底部1/10残。  | 外面2.5YR5/8赤褐色内面7.5YR6/6褐色                 | ヘラケズリ。                     | ヘラケズリ。             | 良    | 密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.1～0.2mm微量。                    | (7.0)  | 2.1   | 上唇(6.2)  |          |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 1  | 床直 | 土師器  | 杯   | 底部のみ2/3残。      | 外面7.5YR7/4L,ぶい 褐色 内面7.5YR5/1褐灰色           | 底部。回転ヘラケズリか。器面不明瞭。         | ロクロ調整。黒色処理。        | やや不良 | やや粗。黒紋0.3mm・白紋0.2～1.0mm少量。赤褐紋0.5～1.0mm微量。         | 5.0    | 0.7   | 上唇(6.8)  |          |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 2  | 床直 | 灰釉陶器 | 長頸壺 | 体部下半～底部1/4は完存。 | 2.5Y8/1灰白色 (灰軸)5Y5/2灰オリーブ                 | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良好   | 緻密。黒紋0.2mm少量。白紋0.3mm微量。                           | 7.4    | 3.2   | 上唇(6.2)  |          |
| 坊ヶ谷 D | 004 | 1  | 一括 | 灰釉陶器 | 長頸壺 | 口縁のみ1/10残。     | 外面5Y8/1灰白色 内面5Y7/1灰白色                     | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。             | 良    | 緻密。黒紋0.3mm均等。白紋0.5mm微量。                           | (9.6)  | 1.1   |          |          |
| 坊ヶ谷 D | 004 | 2  | 一括 | 灰釉陶器 | 長頸壺 | 口縁のみ1/10未調残。   | 外面2.5Y7/1灰白色 内面5Y4/2灰オリーブ                 | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。灰軸施す。        | 良    | 緻密。黒紋0.2mm均等。                                     |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷 D | 004 | 3  | 覆土 | 土師器  | 甕   | 底部1/10残。       | 外面7.5YR7/6褐色 内面7.5YR5/1褐灰色                | ヘラケズリ。                     | ヘラケズリ。             | やや不良 | 密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。赤褐紋0.2～0.4mm微量。 | (8.2)  | 1.6   | 上唇(10.5) |          |
| 坊ヶ谷 D | 005 | 1  | 床直 | 土師器  | 杯か  | 底部のみ1/8残。      | 7.5YR7/4L,ぶい 褐色                           | 体部下端。手持ちヘラケズリ。底部。手持ちヘラケズリ。 | ヘラケズリか。            | やや不良 | 密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～1.0mm少量。赤褐紋0.2～0.5mm微量。       | (9.0)  | 1.5   | 上唇(11.2) |          |
| 坊ヶ谷 D | 005 | 2  | 床直 | 灰釉陶器 | 長頸壺 | 口縁のみ1/10未調残。   | N7/0灰白色                                   | ロクロ調整。                     | ロクロ調整。内面。施軸か。      | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm少量。               |        |       |          |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 1  | 一括 | 土師器  | 杯   | 底部のみ1/10残。     | 外面2.5YR6/8褐色 内面2.5YR6/6褐色                 | 底部。手持ちヘラケズリ。器面不明瞭。         | 器面不明瞭。             | 良    | 密。黒紋0.3mm少量。赤褐紋0.5mm微量。                           | (8.0)  | 1.5   | 上唇(10.4) |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 2  | 一括 | 土師器  | 杯   | 体部下半～底部2/3残。   | 7.5YR7/6褐色                                | 器面不明瞭。底部外周。回転ヘラケズリ。        | 器面不明瞭。             | やや不良 | 粗。白紋0.3mm少量。赤褐紋0.5～0.7mm微量。                       | (5.6)  | 1.6   | 上唇(6.6)  |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 3  | 覆土 | 土師器  | 杯か  | 底部1/4残。        | 7.5YR6/6褐色                                | 器面不明瞭。                     | 器面不明瞭。             | 良    | やや粗。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm・赤褐紋0.5～0.8mm微量。     | (6.4)  | 1.3   | 上唇(7.8)  |          |

|       |      |    |        |       |                                  |                                  |                               |                |      |                                                        |  |        |       |          |
|-------|------|----|--------|-------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|----------------|------|--------------------------------------------------------|--|--------|-------|----------|
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 4  | 一括     | 土師器   | 匱                                | 7.5YR7/4にぶい褐色                    | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | やや不良 | 密・黒紋0.1～0.3mm・赤褐紋0.2～0.3mm微量。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。        |  | (7.8)  | 3.3   | 上径(12.4) |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 5  | 一括     | 土師器   | 源                                | 2.5YR4/6赤褐色                      | ヨコナデ。                         | ヨコナデ。          | 良    | 粗・黒紋0.1～0.3mm・白色紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋1.0～1.5mm微量。           |  |        |       |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 6  | 一括     | 灰直土師器 | 寛                                | 5YR5/6明赤褐色                       | ヨコナデ。                         | ヨコナデ。          | やや不良 | 密・黒紋0.1～0.2mm少量。白色紋0.2～0.3mm・赤褐紋0.8～1.0mm微量。           |  |        |       |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 7  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面7.5YR3.1黒褐色  | ナデ。                           | ナデ。            | 不良   | 粗・長石・石英・灰色小石1.0～4.0mm均等。                               |  | (7.2)  | 3.2   | 上径(6.4)  |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 8  | 一括     | 土師器   | 寛                                | 7.5YR5/4 にぶい褐色                   | ヘラナデ。                         | ヘラナデ。          | 不良   | やや粗・黒紋0.1～0.2mm・赤褐紋0.5～1.0mm微量。白紋0.1～0.4mm少量だが均等。      |  | (8.0)  | 2.1   | 上径(16.6) |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 9  | 一括     | 土師器   | 源                                | 外面7.5YR6/4にぶい褐色<br>内面5YR6.8褐色    | ヘラナデ。                         | ヘラナデ。          | 良    | 粗・黒紋0.2～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.5～1.0mm微量。      |  | (8.6)  | 1.5   | 上径(10.2) |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 10 | 一括     | 土師器   | 源                                | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR1.7明赤褐色 | ヘラナデ。                         | ヘラナデ。          | 良好   | やや粗・黒紋0.2mm・赤褐紋1.0～2.0mm・小石2.0～5.0mm微量。白紋0.5mm少量。      |  | (7.0)  | 1.7   | 上径(16.6) |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 11 | 一括     | 須恵器   | 蓋                                | N7/0灰白色                          | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | 良好   | 緻密・黒・白紋0.1～0.2mm少量。                                    |  | (4.8)  | 2.5   |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 12 | 一括     | 須恵器   | 蓋                                | 外面N6/0灰色<br>内面5Y6/1灰色            | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | 良好   | 緻密・黒紋0.2mm少量。白紋0.2～0.5mm微量。                            |  |        |       |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 13 | 一括     | 須恵器   | 寛                                | 外面N3/0暗灰色<br>内面N7/0灰白色           | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | 良好   | 緻密・黒紋0.1mm・白紋0.1～0.2mm微量。                              |  |        |       |          |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 14 | 一括     | 須恵器   | 源                                | N7/0灰白色                          | ヨコナデ。                         | ヨコナデ。          | 良好   | 緻密・黒紋0.2mm微量。白色紋0.4mm少量。                               |  | (11.4) | 2.8   | 上径(13.8) |
| 坊ヶ谷 D | 一括   | 15 | 一括     | 須恵器   | 瓶                                | 外面5Y5/4灰色<br>内面5Y6/1灰色           | ヘラナデ。                         | ヘラナデ。          | 良好   | 密・黒紋0.2～0.3mm・石英0.1～0.2mm微量。白紋0.5～1.0mm少量。             |  |        |       |          |
| 十五沢 E | 一括   | 1  | 覆土土師器  | 杯     | 5YR6/8褐色                         | ロクロ調整。                           | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | 良    | やや粗・黒紋0.2mm・赤褐紋0.5～1.0mm少量。白紋0.2～0.4mm少量。              |  | (6.4)  | (3.5) | 上径(10.5) |
| 十五沢 E | 一括   | 2  | 灰直土師器  | 杯     | 外面5YR6/6褐色<br>内面5YR7/6褐色         | ロクロ調整。                           | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | やや不良 | やや粗・黒紋0.2mm・白紋0.2～1.0mm・小石紋0.5～1.0mm少量。赤褐紋0.5～2.0mm微量。 |  | (4.2)  | 1.7   | 上径(6.4)  |
| 十五沢 E | 一括   | 3  | 一括     | 須恵器   | 寛                                | 外面10YR5/4褐色<br>内面10YR6/1褐色       | ヨコナデ。                         | ヨコナデ。          | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm微量。白紋0.2～1.0mm均等。小石紋1.0～3.0mm少量。          |  | (8.0)  | 2.4   |          |
| 十五沢 E | 一括   | 4  | 灰直灰釉陶器 | 長頸壺   | 口縁～頸部1/8残。                       | 外面10Y4.2オリーブ灰色<br>内面10Y6/1灰色     | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | 良好   | 緻密・黒紋0.2～0.4mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm微量。                    |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 9トレ  | 1  | 覆土灰釉陶器 | 長頸壺   | 体部下半～底部1/10残。                    | 5Y6/1灰色                          | ロクロ調整。                        | ロクロ調整。         | 良好   | 緻密・黒・白紋0.1～0.2mm微量。                                    |  | (9.2)  | 2.7   | 上径(10.5) |
| 西野 B1 | 27トレ | 1  | 覆土縄文土器 | 深鉢    | 口縁部～体部上半1/10残。                   | 外面2.5YR4.6赤褐色<br>内面2.5YR5.6明赤褐色  | 波状口縁。細点状磨に爪形文による区画。中に波線を充填する。 | ナデ。一部、ヘラナデ。    | やや不良 | 粗・白紋0.5～1.5mm・小石紋0.3～3.0mm・少量だが均等。                     |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 2  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR4.6赤褐色<br>内面2.5YR5.6明赤褐色  | 隆帯上に刻みを施す。                    | ナデ。一部、ヘラナデ。    | 不良   | 粗・黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.3～0.5mm・小石紋0.5～2.0mm少量だが均等。        |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 3  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR4.6赤褐色<br>内面7.5YR7/4にぶい褐色 | 隆帯上に刻みを施す。                    | ナデ。口唇部。やや強いナデ。 | 不良   | 粗・白紋0.2～0.5mm・小石紋1.0～3.0mm少量だが均等。                      |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 4  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面2.5YR6/8褐色   | 隆帯上に刻みを施す。                    | ナデ。            | 不良   | 粗・白紋0.2～1.0mm・小石紋1.0～3.0mm均等。                          |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 5  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR4.6赤褐色<br>内面2.5YR6/6褐色    | ナデ。                           | ナデ。            | 不良   | 粗・白紋0.2～1.0mm均等。赤褐紋0.5mm少量。小石紋1.0～2.0mm少量だが均等。         |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 6  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面5YR6/6明赤褐色<br>内面5YR6/1褐色       | 細い隆線の両側に爪形文を施す。               | ナデ。            | 不良   | 粗・白紋0.4～0.8mm・小石紋1.0～3.0mm少量。                          |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 7  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面5YR4/3にぶい赤褐色 | 細い隆線の両側に爪形文を施す。               | ナデ。            | 不良   | 粗・白紋0.3～0.5mm・小石紋1.0～2.0mm少量だが均等。                      |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 8  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面5YR6/6明赤褐色<br>内面5YR6/1褐色       | 細い隆線の両側に爪形文を施す。               | ナデ。            | 不良   | 粗・白紋0.2～0.5mm・小石紋0.5～2.0mm均等。                          |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 9  | 一括     | 縄文土器  | 深鉢                               | 外面2.5YR4.6赤褐色<br>内面7.5YR4/9褐色    | 細い隆線の両側に爪形文を施す。               | ナデ。            | 不良   | 粗・黒紋0.2～0.4mm・小石紋0.4～2.0mm少量。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。        |  |        |       |          |
| 西野 B1 | 27トレ | 10 | 覆土縄文土器 | 深鉢    | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR5.6明赤褐色 | ナデ。                              | ナデ。                           | ナデ。            | 不良   | 粗・白紋0.3mm均等。小石紋0.5～2.0mm少量。                            |  |        |       |          |

|       |      |    |         |    |               |                                      |                        |                   |      |                                                        |        |          |          |  |
|-------|------|----|---------|----|---------------|--------------------------------------|------------------------|-------------------|------|--------------------------------------------------------|--------|----------|----------|--|
| 西野 B1 | 27トレ | 11 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面7.5YR4.2灰褐色      | ナデ。                    | ナデ。一部、ヘラナデカ。      | 不良   | 粗。白粒0.2～0.8mm・小石粒1.0～3.0mm少量だが均等。                      |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 12 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面7.5YR6.9にぶい褐色<br>内面7.5YR3.1黒褐色     | ナデ。                    | ナデ。一部、ヘラナデカ。      | やや不良 | やや粗。黒母粒0.5～4.0mm均等。白粒0.2～0.3mm微量。小石粒1.0～3.0mm少量。       |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 13 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面10YR6/3にぶい、黄褐色<br>内面10YR3.7黒褐色     | ナデ。                    | ナデ。               | やや不良 | やや粗。黒母粒0.1～0.3mm少量。白粒0.2～0.5mm少量だが均等。黄母粒0.5～2.0mm均等。   |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 14 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面5YR7.6褐色<br>内面7.5YR4.7褐灰色          | ナデ。                    | ナデ。               | やや不良 | やや粗。黒色粒0.1～0.2mm少量。白粒0.2～0.8mm少量。赤褐色粒0.5～0.8mm微量。      |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 15 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR4.2灰褐色      | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。白粒0.2～1.0mm均等。小石粒3.0mm少量。                            |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 16 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面7.5YR4.7褐灰色      | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。黒粒0.2～0.8mm・白粒0.2～1.5mm均等。小石粒0.5～3.0mm少量。            |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 17 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR4.2灰褐色      | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。白粒0.4～0.8mm均等。小石粒3.0mm少量。                            |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 18 | 一拵 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面5YR6.2灰褐色        | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。黒母粒?0.5mm微量。白粒0.2～0.5mm・小石粒1.0～3.0mm少量。              |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 19 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面5YR6.2灰褐色        | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。黒母粒?0.5mm微量。白粒0.2～0.5mm・小石粒1.0～3.0mm少量。              |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 20 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR4.2灰褐色      | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。白粒0.2～1.0mm・小石粒0.8～3.0mm少量。                          |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 21 | 甌土 縄文土器 | 深鉢 | 胴部。           | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面7.5YR5.3にぶい褐色    | ナデ。                    | ナデ。               | 不良   | 粗。黒粒0.2～0.3mm・小石粒1.0～3.0mm少量。白粒0.5～1.0mm均等。            |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 22 | 一拵 縄文土器 | 深鉢 | 胴部1/5残。       | 外面7.5YR7.4にぶい褐色<br>内面7.5YR7.2明褐灰色    | ナデ。                    | ナデ。               | やや不良 | やや粗。黒粒0.2～0.4mm・白粒0.2～0.5mm・小石粒1.0～2.0mm少量。            | 7.7    | 上径(18.2) |          |  |
| 西野 B1 | 27トレ | 23 | 一拵 縄文土器 | 深鉢 | 底部カ。          | 外面7.5YR7.6褐色<br>内面10YR4.7褐灰色         | ナデ。                    | ナデ。一部、ヘラナデカ。      | 良    | 密。黒粒0.2～0.4mm・白粒0.2～0.5mm少量だが均等。赤褐色粒0.2～1.5mm微量。       |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 一拵   | 1  | 甌土 土師器  | 杯  | 底部のみ1/2残。     | 外面10YR6/3にぶい、黄褐色<br>内面10YR7/3にぶい、黄褐色 | ロクロ調整。底部。回転。回転ヘラケズリ。   | ロクロ調整。            | やや不良 | 密。白粒0.2～0.5mm・小石粒0.5～2.0mm少量。                          | (7.0)  | 0.9      | 上径(6.0)  |  |
| 西野 B1 | 一拵   | 2  | 床面 須恵器  | 杯  | 口縁～体部下半/10残。  | 外面N8/0暗灰色<br>内面N5.0灰色                | ロクロ調整。底部。回転。回転ヘラケズリ。   | ロクロ調整。            | 良好   | 密。白粒0.1～0.3mm少量だが均等。                                   | (12.0) | 3.2      |          |  |
| 西野 B1 | 一拵   | 3  | 甌土 須恵器  | 杯  | 底部のみ1/6残。     | 外面7.5Y7/1灰白色<br>内面7.5Y6/1灰色          | ロクロ調整。底部。回転。回転ヘラケズリ。   | ロクロ調整。            | 良    | 密。白粒0.2～0.5mm・白色針状物0.5mm少量。                            | (10.0) | 0.9      | 上径(10.6) |  |
| 西野 B1 | 一拵   | 4  | 甌土 須恵器  | 杯  | 体部下半～底部1/6残。  | 外面5Y7/1灰白色<br>内面5Y6/1灰色              | ロクロ調整。体部下端。底面。回転ヘラケズリ。 | ロクロ調整。            | 良    | 緻密。黒粒0.2mm少量。白粒0.2～0.3mm少量。                            |        | 1.5      | 上径(10.5) |  |
| 西野 B1 | 一拵   | 5  | 一拵 須恵器  | 甕  | 口縁部のみ1/10未海残。 | 外面5Y7/1灰白色<br>内面5Y8/1灰白色             | ロクロ調整。                 | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒粒0.2mm少量。白粒0.2～0.3mm微量。                            |        |          |          |  |
| 西野 B1 | 一拵   | 6  | 甌土 灰釉陶器 | 平瓶 | 胴部～胴部のみ一部残。   | 素地10YR8/1灰白色<br>釉部分5Y5.3灰オリーブ色       | ロクロ調整。天井部。灰釉軸軸。        | ロクロ調整。胴部。灰釉軸軸。    | 良好   | 緻密。黒粒0.2～0.5mm少量。白粒0.5mm微量。                            |        |          |          |  |
| 西野 B2 | 001  | 1  | 甌土 土師器  | 甕  | 口縁～体部上半/10残。  | 2.5YR6.8褐色                           | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。     | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。 | 良    | 密。黒粒0.1～0.3mm・白粒0.1～0.2mm少量。赤褐色粒0.2～0.5mm微量。           | (20.0) | 4.5      |          |  |
| 西野 B2 | 001  | 2  | 甌土 須恵器  | 杯  | 体部下半～底部1/8残。  | 外面5Y6/1灰色<br>内面5Y7/1灰色               | ロクロ調整。体部下端。底面。回転ヘラケズリ。 | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒粒0.1～0.3mm・白粒0.2～0.5mm少量。                          | (11.0) | 4.4      | 上径(14.5) |  |
| 西野 B2 | 001  | 3  | 甌土 須恵器  | 蓋  | 下端部のみ1/8残。    | 7.5Y5.1灰色                            | ロクロ調整。                 | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒粒0.2～0.3mm・白粒0.2～2.0mm少量。小石粒3.0～5.0mm微量            |        | 1.9      | 下径(18.0) |  |
| 西野 B2 | 001  | 4  | 甌土 須恵器  | 蓋  | 下端部のみ1/10未海残。 | 5Y7/1灰白色                             | ロクロ調整。                 | ロクロ調整。            | 良好   | 密。黒粒0.1～0.3mm・白粒0.2～0.4mm・白色針状物0.2～0.3mm少量。            |        |          |          |  |
| 西野 B2 | 001  | 5  | 一拵 須恵器  | 蓋  | 下端部のみ1/10未海残。 | 5Y8/1 灰白色                            | ロクロ調整。                 | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒粒0.1～0.3mm・白粒0.2～0.7mm少量。                          |        |          |          |  |
| 西野 B2 | 001  | 6  | 甌土 須恵器  | 甕  | 体部下半～底部1/2残。  | 外面5Y5.1灰色<br>内面5Y6/1灰色               | ヨコナデ。一部、ヘラケズリ。         | ヨコナデ。             | 不良   | 密。黒粒0.2～0.5mm・白粒1.0～3.0mm・小石粒3.0～5.0mm少量。白色針状物0.5mm微量。 | 16.5   | 7.2      | 上径(22.6) |  |
| 西野 B2 | 005  | 1  | 甌土 土師器  | 杯  | 底部のみ1/3残。     | 外面2.5YR5.0明赤褐色<br>内面7.5YR6.4にぶい褐色    | 底部。手持ちヘラケズリ。           |                   | 良    | 密。黒。白粒0.1～0.2mm少量。赤褐色粒。黒母粒0.3～0.6mm微量。                 |        | 9.0      | 上径(10.2) |  |
| 西野 B2 | 005  | 2  | 一拵 土師器  | 杯  | 体部下半～底部1/4残。  | 5YR7.8褐色                             | 手持ちヘラケズリ。底部。手持ちヘラケズリ。  | ヘラナデ。器面不明瞭。       | 良    | 密。黒。白粒0.2～0.3mm少量。赤褐色粒0.3～0.5mm微量。                     |        | 1.2      | 上径(0.9)  |  |

|     |       |    |    |      |     |                                |                                   |                                          |      |                         |                                                        |        |          |
|-----|-------|----|----|------|-----|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------|------|-------------------------|--------------------------------------------------------|--------|----------|
| 005 | 西野 B2 | 3  | 覆土 | 土師器  | 小型甕 | 口縁部のみ1/10未満残。<br>口縁部下半～底部1/8残。 | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面2.5YR3.1暗赤灰色  | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラナズリ。                       | 良    | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラナズリ。      | やや粗。黒紋0.1～0.2mm・白色針状物0.2～0.4mm少量、白色針状物0.5mm微量。         |        | 上唇(9.6)  |
| 005 | 西野 B2 | 4  | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 体部下半～底部1/8残。                   | 5Y7/1灰白色                          | 口縁口調整。体部下端・底部、回転ヘラナズリ。                   | 良好   | 口縁口調整。                  | 緻密。黒紋0.1～0.2mm少量、白紋0.2mm極めて微量。                         |        | 1.1      |
| 006 | 西野 B2 | 1  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/4残。                     | 外面10YR4/6にぶい黄褐色<br>内面5YR7/8褐色     | ヘラナズリ。口縁部、ヨコナデ。底部、手持ちヘラナズリ。              | 良    | ヘラナデ。                   | 密。白紋0.2～0.4mm微量。赤褐紋0.5～1.0mm少量。                        |        | 4.5      |
| 006 | 西野 B2 | 2  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/2残。                     | 外面2.5YR6/6褐色<br>内面2.5YR6/6褐色      | ヘラナズリ。口縁部、ヨコナデ。底部、手持ちヘラナズリ。              | 良    | ヘラナデ。やや強いナデ。            | やや粗。黒紋0.2～0.4mm・白紋0.2～0.5mm・赤褐紋0.5～2.0mm少量。            |        | 6.0      |
| 006 | 西野 B2 | 3  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/3残。                     | 2.5YR7/8明赤褐色                      | ヘラナズリ。底部、手持ちヘラナズリ。                       | 良    | ヘラナデ。口縁部、ヨコナデ。一部、ヘラミガキ。 | 密。黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量だが均等。赤褐紋0.5～1.0mm微量。        |        | 4.3      |
| 006 | 西野 B2 | 4  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/8残。                     | 外面7.5YR5/4にぶい褐色<br>内面7.5YR4/2灰褐色  | ヘラナズリ。底部、手持ちヘラナズリ。                       | やや不良 | ヘラナデ。                   | 密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.3～0.8mm少量。              |        | 3.5      |
| 006 | 西野 B2 | 5  | 覆土 | 土師器  | 杯   | ほぼ完形。                          | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面5YR6/6褐色        | 口縁口調整か。体部下半・底部、手持ちヘラナズリ。器面不明瞭。           | 良    | 口縁口調整か。器面不明瞭。           | 密。黒紋0.2～0.4mm・白色針状物0.2～0.5mm少量だが均等。赤褐紋0.5～1.0mm少量。     |        | 12.2     |
| 006 | 西野 B2 | 6  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/3残。                     | 5YR7/6褐色                          | 口縁口調整。器面不明瞭。                             | やや不良 | 口縁口調整。器面不明瞭。            | 密。白紋0.2～0.5mm・白色針状物0.2～0.3mm微量。赤褐紋0.2～0.8mm少量だが均等。     |        | 4.0      |
| 006 | 西野 B2 | 7  | 床直 | 土師器  | 杯   | ほぼ完形。                          | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR6/6褐色    | 口縁口調整。体部下半、手持ちヘラナズリ。底部、回転ヘラナズリ。          | 良    | 口縁口調整。                  | 密。黒紋0.2～0.4mm・白紋0.2～0.5mm少量。白色針状物0.5mm微量。              |        | 11.6     |
| 006 | 西野 B2 | 8  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 胴部上半～底部2/3残。                   | 外面5YR4/3にぶい赤褐色<br>内面10YR4/10灰白色   | ヘラナズリ。底部、手持ちヘラナズリ。                       | 良    | ヘラミガキ。上半部、強いナデ。         | 密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.3～0.5mm微量。            |        | 4.5      |
| 006 | 西野 B2 | 9  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部3/4残。                     | 外面5YR5.6明赤褐色<br>内面5YR5/4にぶい赤褐色    | 口縁口調整。体部・底部、手持ちヘラナズリ。                    | やや不良 | 口縁口調整。一部ミガキのよう強いナデ。     | やや粗。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.4mm・小石紋1.0～3.0mm少量。            |        | 6.6      |
| 006 | 西野 B2 | 10 | 覆土 | 土師器  | 杯   | 体部下半～底部1/8残。                   | 7.5YR6/6褐色                        | ヘラナズリ。底部、手持ちヘラナズリ。                       | 良    | 口縁口調整。                  | 密。黒紋0.2mm少量。赤褐紋0.3～0.5mm微量。                            |        | 13.4     |
| 006 | 西野 B2 | 11 | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 口縁～底部1/6残。                     | 5Y6/1灰白色                          | 口縁口調整。底部、回転ヘラナズリ。                        | 良好   | 口縁口調整。                  | 密。黒紋0.2mm・白色針状物0.5mm微量。白紋0.2～0.5mm少量。                  |        | 1.8      |
| 006 | 西野 B2 | 12 | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 体部下半～底部1/4残。                   | 2.5Y7/1灰白色                        | 口縁口調整。体部下半・底部、回転ヘラナズリ。                   | 良好   | 口縁口調整。                  | 緻密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.1～0.2mm微量。白色針状物0.3mm極めて微量。        |        | 3.6      |
| 007 | 西野 B2 | 1  | 覆土 | 土師器  | 杯   | ほぼ完形。                          | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面5YR6/6褐色        | 体部・底部、手持ちヘラナズリ。                          | 良    | ナデ。一部、やや強いナデ。           | 密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.4mm・小石紋1.0～3.0mm少量。              |        | 2.1      |
| 009 | 西野 B2 | 1  | 覆土 | 土師器  | 椀   | 口縁～体部下半1/8残。                   | 外面10YR7/6明黄褐色<br>内面10YR7/4にぶい黄褐色  | 口縁口調整。                                   | 良    | 口縁口調整。                  | 密。黒紋0.2～1.0mm・赤褐紋0.5～5.0mm少量。白紋0.2mm微量。                |        | 6.4      |
| 023 | 西野 B2 | 1  | 覆土 | 須恵器  | 大甕  | 口縁～胴部のみ1/10未満残。                | 2.5Y7/1灰白色                        | 口縁部、ヨコナデ。胴部中央に冬の樹線。上部に矢羽状の刺交文。下部に輪飾り波状文。 | 良    | ヨコナデ。下部、極めて磨耗している。      | 密。黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。                     |        | 3.4      |
| 029 | 西野 B2 | 1  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 体部下半～底部1/4残。                   | 2.5YR7/8明赤褐色                      | ヘラナズリ。                                   | 良    | ヘラナデか。器面不明瞭。            | 密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.1～0.3mm少量。小石紋1.0～2.0mm。白色針状物0.2mm微量。 |        | 1.7      |
| 030 | 西野 B2 | 2  | 覆土 | 須恵器  | 壺   | 口縁のみ1/10未満残。                   | 外面2.5Y7/1灰白色<br>内面7.5Y7/1灰白色      | 口縁口調整。                                   | 良好   | 口縁口調整。                  | 緻密。黒紋0.2mm少量。白紋0.2～0.3mm微量。                            |        | (8.0)    |
| 032 | 西野 B2 | 1  | 床直 | 灰陶軸器 | 皿   | 体部下半～底部1/10残。                  | 外面2.5Y7/1灰白色<br>内面5Y6/2灰オリーブ      | 口縁口調整。底部、回転ヘラナズリ。                        | 良好   | 口縁口調整。全面輪軸。             | 緻密。黒紋0.1mm・白紋0.1～0.2mm微量。                              |        | 上唇(11.4) |
| 032 | 西野 B2 | 2  | 覆土 | 土師器  | 甕   | 口縁部のみ残。                        | 外面2.5YR4/6赤褐色<br>内面2.5YR4/4にぶい赤褐色 | ヨコナデ。                                    | やや不良 | ヨコナデ。                   | 密。白紋0.2～0.5mm微量。赤褐紋0.5mm少量。                            |        | 1.3      |
| 036 | 西野 B2 | 13 | 覆土 | 土師器  | 高杯  | 口部下半～胴部上半のみ残。                  | 外面2.5YR6/6褐色<br>内面10YR7/4にぶい黄褐色   | 胴部、ヘラナズリ。                                | 良    | 杯部、ナデか。器面不明瞭。           | 密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.3mm少量だが均等。赤褐紋0.3～1.0mm少量。        |        | 上唇(6.8)  |
| 036 | 西野 B2 | 3  | 覆土 | 須恵器  | 甕   | 口縁部のみ1/10未満残。                  | 外面N7/0灰色<br>内面5Y5/1灰色             | ヨコナデ。胴部、ヘラ描き文。                           | 良好   | ヨコナデ。                   | 密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～1.0mm少量だが均等。小石紋1.0～2.0mm微量。      |        |          |
| 046 | 西野 B2 | 1  | 覆土 | 須恵器  | 甕   | 口縁～胴部のみ1/10未満残。                | 外面N6/0灰色<br>内面N7/0灰白色             | ヨコナデ。尖部や辻處で区画された中に、御師状工具による連続刺突痕。        | 良好   | ヨコナデ。                   | 緻密。黒紋0.1～0.4mm・白紋0.2～0.5mm少量。                          |        |          |
| 一括  | 西野 B2 | 1  | 床直 | 須恵器  | 杯   | 体部下半～底部1/10残。                  | 外面5Y6/1灰色<br>内面5Y7/1灰色            | 口縁口調整。底部、回転ヘラナズリ。                        | 良好   | 口縁口調整。                  | 緻密。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.1～0.2mm微量。                        |        | (8.0)    |
| 一括  | 西野 B2 | 2  | 覆土 | 須恵器  | 甕   | 口縁部～胴部1/10残。                   | 外面5Y7/1灰白色                        | ヨコナデ。                                    | 良    | ヨコナデ。一部、ヘラナデ。           | 密。黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm・白色針状物0.2～0.3mm微量。          | (23.0) | 4.4      |
| 一括  | 西野 B2 | 3  | 覆土 | 灰陶軸器 | 比類器 | 体部下半～底部1/6残。                   | 外面5Y3/2オリーブ黒<br>内面N7/0灰白色         | 口縁口調整。高台内、ヘラ記号ありか。                       | 良好   | 口縁口調整。                  | 緻密。黒紋0.2～0.3mm微量。白紋1.0～5.0mm少量。                        |        | 上唇(8.8)  |

|       |       |    |    |      |     |               |                                    |                                     |                   |      |                                                             |        |       |          |                    |
|-------|-------|----|----|------|-----|---------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|------|-------------------------------------------------------------|--------|-------|----------|--------------------|
| 西野 B2 | 一括    | 4  | 床直 | 細文土器 | 深鉢  | 口縁部のみ残。       | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面5YR6.3にぶい赤褐色   | 口唇部に沈線。体部。条痕文か。                     | ナデ。条痕文か。          | 不良   | 粗・黒数0.1～0.2mm・小石数2.0～4.5mm少量だが均等。白数0.2～0.4mm少量。             |        |       |          | 断面。黒色を呈し<br>しており縦溝 |
| 西野 D1 | 10トレ  | 1  | 覆土 | 土師器  | 源   | 口縁～体部上半1/6残。  | 2.5YR6.6明赤褐色                       | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。                  | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。 | 良    | 密・黒数0.3～0.7mm均等。白数0.2～0.5mm・赤数0.5～1.0mm少量。                  | (15.5) | 3.8   |          |                    |
| 西野 D1 | 10トレ  | 2  | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 体部下半～底部1/8残。  | 外面2.5YR6.2灰白色<br>内面2.5YR6.2灰白色     | 口縁部調整。                              | 口縁部調整。            | 良    | 緻密・黒数0.1～0.3mm少量。白数0.2～0.4mm微量。                             | (16.4) | 12.6  | 3.2      | 湖西産か。              |
| 西野 D1 | 58トレ  | 1  | 覆土 | 土師器  | 羹   | 口縁部一部欠失。ほぼ全存。 | 外面10YR4.1褐灰色<br>内面7.5YR5.6明赤褐色     | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。                  | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。 | 良    | やや粗・黒数0.2～0.5mm・白数0.2～1.0mm・小石数1.0～3.0mm少量。赤数0.3～1.0mm微量。   | (24.0) | 6.4   | 27.0     |                    |
| 西野 D1 | 58トレ  | 2  | 覆土 | 土師器  | 台付甕 | 底部1/3残。       | 外面10R4.6赤色(焼熱)内面7.5YR6.6褐色         | ヘラケズリ。                              | 台部。ヘラケズリ。ヘラナデ。    | 良    | 粗・黒数0.2～0.3mm少量。白数0.2～0.4mm少量だが均等。小石数3.0～4.0mm微量。           | (8.4)  | 3.4   |          |                    |
| 西野 D1 | 95トレ  | 1  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 底部のみ1/3残。     | 5YR6.6褐色                           | 口縁部調整。底部。回転糸切り無調整。                  | 口縁部調整。            | 良    | 密・黒数0.1～0.4mm少量だが均等。白数0.2～0.5mm少量。赤数0.5～0.8mm微量。            | 6.0    | 1.1   | 上径7.0    |                    |
| 西野 D1 | 95トレ  | 2  | 覆土 | 土師器  | 源   | 口縁～体部上半1/8残。  | 5YR6.6褐色                           | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。                  | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。 | 良    | 密・黒数0.2～0.3mm・赤数0.5～1.0mm少量。白数0.2～0.5mm少量だが均等。              | (22.8) | 8.1   |          |                    |
| 西野 D1 | 95トレ  | 3  | 覆土 | 灰釉陶器 | 長頸壺 | 口縁～頸部上半1/8残。  | 外面5YR6.3淡褐色<br>内面5YR5.2灰オリーブ       | 口縁部調整。                              | 口縁部調整。前面。施軸。      | 良好   | 緻密・黒数0.2～0.5mm・白数0.3～0.8mm少量だが均等。                           | (14.0) | 2.1   |          |                    |
| 西野 D1 | 122トレ | 1  | 覆土 | 土師器  | 羹   | 底部1/2残。       | 外面5YR4.1褐灰色<br>内面5YR5.6明赤褐色        | ヘラケズリか。器面不明瞭。                       | ヘラナデ。             | 良    | やや粗・黒数0.1～0.3mm少量。白数0.2～0.5mm均等。赤数0.2～0.5mm微量。              |        | 6.8   | 1.8      | 上径0.0              |
| 西野 D1 | 122トレ | 2  | 一拵 | 土師器  | 羹   | 底部～体部下半2/3残。  | 外面2.5YR4.6明赤褐色<br>内面2.5YR5.6明赤褐色   | ヘラケズリ。                              | ヘラナデ。             | 良    | やや粗・黒数0.1～0.3mm少量。白数0.2～0.4mm少量だが均等。白数0.2～0.5mm少量。          | (6.6)  | 3.3   | 上径(11.1) |                    |
| 西野 D1 | 122トレ | 3  | 床直 | 須恵器  | 杯   | 底部1/4残。       | 外面2.5YR4.1にぶい赤灰色<br>内面2.5YR4.2赤褐色  | 口縁部調整。底部。回転ヘラケズリ。                   | 口縁部調整。            | 良好   | 緻密・黒数0.1～0.3mm少量。白数0.2～0.4mm微量。                             | (12.0) | 1.3   | 上径12.5   |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 1  | 一括 | 土師器  | 杯   | 口縁～体部下半1/8残。  | 外面2.5YR6.6褐色<br>内面10YR6.4にぶい黄褐色    | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。                  | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。 | 良    | 密・黒数0.1～0.3mm少量だが均等。白数0.2～0.5mm少量。赤数0.3～0.5mm微量。            | (13.0) | 3.4   |          |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 2  | 一括 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/8残。    | 5YR6.6褐色                           | 口縁部調整。体部下端。回転ヘラケズリ。底部。回転ヘラケズリか。     | 口縁部調整。            | 良    | 密・黒数0.2～0.3mm・白数0.2～0.3mm少量。赤数0.1～0.2mm微量。                  | (11.8) | (7.0) | 3.9      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 3  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/3残。    | 7.5YR7.6褐色                         | 口縁部調整。体部下端。底部。回転ヘラケズリ。              | 口縁部調整。            | 良    | 密・黒数0.2～0.4mm・白数0.3mm少量。赤数0.2.0mm少量。                        | (13.1) | 7.6   | 3.6      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 4  | 一括 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部2/3残。    | 外面10YR6.4にぶい黄褐色<br>内面10YR6.4にぶい黄褐色 | 口縁部調整。底部。手持ちヘラケズリ。                  | 口縁部調整。内面全面彫影      | やや不良 | 粗・黒数0.4mm少量。白数0.2～0.4mm少量だが均等。                              | (13.6) | 7.0   | 3.6      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 5  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部2/3残。    | 7.5YR7.6褐色                         | 体部上半。回転ヘラケズリか。底部。手持ちヘラケズリ。下半。器面不明瞭。 | 器面不明瞭。            | 良    | 密・黒数0.2～0.4mm・赤数0.3～0.5mm少量。白数0.2～0.5mm少量。                  | (16.0) | 8.4   | 4.0      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 6  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/2残。    | 2.5YR5.8明赤褐色                       | 口縁部調整。体部下端。底部。手持ちヘラケズリ。             | 口縁部調整。            | 良好   | 密・黒数0.2～0.3mm・白数0.2～0.5mm少量。赤数0.5～1.5mm・白色針状物0.4～0.5mm微量。   | (14.2) | 7.0   | 4.3      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 7  | 一括 | 土師器  | 羹   | 底部のみ残。        | 外面5YR5.6明赤褐色<br>内面2.5YR4.1明赤褐色     | ヘラケズリ。底部。静止ヘラケズリ。                   | ヘラナデ。             | 良    | 粗・黒数0.1～0.4mm・赤数0.5～2.0mm少量。白数0.2～0.5mm・小石数2.0～7.0mm少量だが均等。 |        | 9.0   | 2.1      | 上径0.6              |
| 西野 D1 | 一括    | 8  | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 高台欠失。         | 5Y7.1灰白色                           | 口縁部調整。                              | 口縁部調整。            | 良好   | 緻密・黒数0.1～0.3mm少量。白数0.2～0.4mm微量。                             | (9.8)  | 2.5   | 上径12.8   | 湖西産か。              |
| 西野 D1 | 一括    | 9  | 一括 | 須恵器  | 杯   | 体部下半～底部1/8残。  | 2.5Y7.1灰白色白色味強い。                   | 口縁部調整。体部下半。回転ヘラケズリ。                 | 口縁部調整。            | 良好   | 緻密・黒数0.2～0.5mm少量。白数0.5～0.8mm・赤数0.3～0.5mm微量。                 | (10.9) | 2.4   | 上径(14.3) | 湖西産か。              |
| 西野 D1 | 一括    | 10 | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 口縁～底部2/3残。    | 外面N4.0/6灰色<br>内面7.5Y4.1灰色          | 口縁部調整。体部下端。底部。回転ヘラケズリ。              | 口縁部調整。            | 良好   | 密・黒数0.1～0.3mm・白数0.1～0.5mm少量だが均等。白色針状物0.5mm微量。               | (15.2) | 9.8   | 6.9      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 11 | 一括 | 須恵器  | 杯   | 口縁～底部3/4残。    | 5Y6.1灰色                            | 口縁部調整。体部下端。底部。回転ヘラケズリ。底部。回転糸切り無調整。  | 口縁部調整。            | 良    | 密・黒数0.1～0.3mm・白数0.2～0.4mm少量。白色針状物0.3mm微量。                   | (13.4) | 7.7   | 4.1      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 12 | 一括 | 須恵器  | 杯   | 底部3/4残。       | 2.5Y6.1黄灰色                         | 口縁部調整。体部下端。回転ヘラケズリ。底部。手持ちヘラケズリ。     | 口縁部調整。            | 良    | 粗・黒数0.2～0.5mm均等。白数0.2～1.5mm少量だが均等。小石数1.0～3.0mm少量。           |        | 8.4   | 1.8      | 上径(11.1)           |
| 西野 D1 | 一括    | 13 | 一括 | 須恵器  | 杯   | 体部下端～底部1/8残。  | 外面5Y5.1灰色<br>内面5Y5.1灰色             | 口縁部調整。底部。回転糸切り無調整。                  | 口縁部調整。            | 良好   | 緻密・黒数0.3mm少量だが均等。白数0.2～0.5mm少量。                             | (7.6)  | 1.4   | 上径(6.0)  |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 14 | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 口縁～底部1/3残。    | N5.0/6灰色                           | 口縁部調整。体部下端。回転ヘラケズリ。底部。回転糸切り無調整。     | 口縁部調整。            | 良好   | 緻密・黒数0.2～0.5mm少量だが均等。白数0.2～0.3mm少量。                         | (14.0) | (8.6) | 4.2      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 15 | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 口縁～底部2/3残。    | 5Y7.1灰白色                           | 口縁部調整。底部。回転糸切り無調整。                  | 口縁部調整。            | 良好   | 密・黒数0.2～0.4mm・白数0.2～0.5mm少量だが均等。                            | (11.6) | 6.6   | 4.0      |                    |
| 西野 D1 | 一括    | 16 | 覆土 | 須恵器  | 杯   | 口縁～体部下半1/8残。  | N5.0/6灰色                           | 口縁部調整。                              | 口縁部調整。            | 良    | 密・黒数0.2～0.5mm・白数0.2～1.0mm少量だが均等。小石数1.0～2.0mm微量。             | (14.4) | 4.0   |          |                    |





|       |     |   |        |         |                 |                             |                                 |                       |      |                                                             |        |          |     |                |
|-------|-----|---|--------|---------|-----------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------|------|-------------------------------------------------------------|--------|----------|-----|----------------|
| 西野 D3 | 001 | 4 | 観土 土師器 | 蓋       | 口縁～体部上半のみ1/4残。  | 7.5YR6/6橙色                  | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。              | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。     | 良    | やや粗、黒紋0.1～0.4mm・白紋0.2～1.0mm少量、赤褐紋0.3～2.0mm・小石紋1.0～3.0mm微量。  | (21.0) |          | 5.7 |                |
| 西野 D3 | 002 | 1 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/8残。    | 外面7.5YR7/6橙色 内面7.5YR6/6橙色   | 口縁部調整か、器面不明瞭。                   | 口縁部調整か、器面不明瞭。         | 良    | 密、黒紋0.1～0.2mm少量だが均等、白紋0.3mm・赤褐紋1.0mm少量。                     | (8.0)  | 上唇(10.8) | 1.6 |                |
| 西野 D3 | 002 | 2 | 灰直 土師器 | 蓋       | 体部下半～底部1/10未満残。 | 外面5YR4/2灰褐色 内面2.5YR6/8橙色    | ヘラケズリ。                          | ヘラナデ。                 | 良    | 密、黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量、赤褐紋0.5mm微量。                     |        |          |     |                |
| 西野 D3 | 003 | 1 | 覆土 須恵器 | 杯       | 口縁～体部下半1/10残。   | 5Y7/1灰白色                    | 口縁部調整。                          | 口縁部調整。                | 良好   | 緻密、黒紋0.2mm少量、白紋0.3mm・白色針状物0.2～0.5mm微量。                      | (11.6) | (8.0)    | 3.0 |                |
| 西野 D3 | 003 | 2 | 覆土 土師器 | 小型甕     | 口縁～体部上半1/6残。    | 外面2.5YR5/8明赤褐色内面2.5YR6/8橙色  | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。              | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。     | 良    | 密、黒紋0.3mm・白紋0.4mm少量、赤紋0.5～0.8mm少量だが均等。                      | (15.0) |          | 3.7 |                |
| 西野 D3 | 004 | 1 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部上半～底部1/8残。    | 外面2.5YR6/8橙色 内面2.5YR6/6橙色   | 口縁部調整か、器面不明瞭。                   | 口縁部調整。                | 良    | やや粗、黒紋0.2～0.3mm少量、白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.5mm微量。                   | (7.6)  | 上唇(12.0) | 2.6 |                |
| 西野 D3 | 004 | 2 | 一拵 須恵器 | 杯       | 口縁～体部上半1/10残。   | 外面5Y7/1灰白色 内面5Y6/1灰色        | 口縁部調整。                          | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm微量、白紋0.3～0.5mm少量。                              | (13.0) |          | 2.1 |                |
| 西野 D3 | 008 | 1 | 灰直 土師器 | 蓋       | 口縁部のみ1/10未満残。   | 外面5YR7/6橙色 内面5YR7/8橙色       | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。                 | 良    | 密、黒紋0.2～0.3mm・白紋0.3～0.4mm・赤褐紋0.4mm少量。                       |        |          |     |                |
| 西野 D3 | 008 | 2 | 灰直 須恵器 | 蓋       | 胴部のみ1/10未満残。    | 外面5YR7/2灰褐色 内面7.5YR6/2灰褐色   | 縦位のタタキ目録。                       | ヨコナデ。                 | 不良   | やや粗、黒紋0.2～0.4mm・褐紋0.4～1.0mm少量、白紋0.2～0.5mm少量だが均等。            |        |          |     | 千葉市城産か。        |
| 西野 D3 | 009 | 1 | 一拵 土師器 | 杯       | 口縁～体部下半1/10残。   | 外面7.5YR7/6橙色 内面10Y2/1黒色     | 口縁部調整。                          | ヘラミガキ、黒色処理。           | 良    | 密、黒紋0.1～0.3mm少量だが均等、白紋0.2～0.4mm微量、赤褐紋0.3～0.5mm少量。           | (16.0) |          | 3.9 |                |
| 西野 D3 | 009 | 2 | 覆土 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/2残。    | 外面2.5YR6/6橙色 内面5YR6/8橙色     | 口縁部調整、底部、回転糸切り無調整。              | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm少量、白紋0.2～0.3mm・赤褐紋0.5～1.0mm・赤針状物0.2～0.4mm微量。   | (6.0)  | 上唇(10.2) | 2.5 |                |
| 西野 D3 | 009 | 3 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/6残。    | 2.5YR5/8明赤褐色                | 口縁部調整、体部下縁、底部、回転ヘラケズリ。          | 口縁部調整。                | 良    | 密、白紋0.2～0.5mm少量、白色針状物0.2～0.7mm少量だが均等。                       | (6.9)  | 上唇(10.0) | 1.8 |                |
| 西野 D3 | 011 | 1 | 一拵 土師器 | 杯       | 口縁～底部1/8残。      | 外面5YR6/8橙色 内面7.5YR6/8橙色     | 口縁部調整。                          | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒紋0.2mm少量、白紋0.2mm少量だが均等、赤褐紋0.5mm微量。                       | (11.2) | (6.0)    | 2.9 |                |
| 西野 D3 | 011 | 2 | 一拵 須恵器 | 蓋か      | 体部下半～底部1/8残。    | 5Y6/1灰色                     | ヨコナデ。                           | ヨコナデ。                 | やや不良 | 密、黒紋0.1～0.4mm少量、白紋0.2～0.5mm微量、黒(白)葉状物0.5～2.0mm均等。           |        |          | 1.9 | 上唇(12.2) 常陸産か。 |
| 西野 D3 | 011 | 3 | 覆土 土師器 | 蓋か      | 体部下半～底部1/8残。    | 7.5YR6/6橙色                  | 体部、ヘラケズリ、底部、静止ヘラケズリ。一部指頭量あり。    | ヘラミガキ。                | 良    | 緻密、黒紋0.1～0.4mm少量、白紋0.2～0.5mm微量、黒(白)葉状物0.5～2.0mm均等。          | (10.0) | 上唇(13.6) | 3.8 |                |
| 西野 D3 | 014 | 1 | 一拵 土師器 | 杯       | 口縁～体部下半1/8残。    | 外面5YR6/8明赤褐色 内面2.5YR5/8明赤褐色 | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラミガキ、赤彩。           | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラミガキ、赤彩。 | 良    | 密、黒、白紋0.1～0.3mm少量、小石紋0.3～0.5mm微量。                           | (14.2) |          | 3.1 |                |
| 西野 D3 | 014 | 2 | 覆土 土師器 | 台付甕     | 台部のみ1/3残。       | 外面5YR3/2暗赤褐色 内面5YR7/3に赤い赤褐色 | ヘラケズリ。                          | ヘラナデ。                 | 良    | 密、黒紋0.2～0.3mm・赤褐紋0.3～1.0mm微量、白紋0.2～0.4mm少量。                 | (9.2)  |          | 3.1 |                |
| 西野 D3 | 014 | 3 | 覆土 須恵器 | 杯       | 体部下半～底部1/3残。    | 10Y5/1灰色                    | 口縁部調整、底部、回転ヘラケズリ。               | 口縁部調整。                | 良好   | 緻密、黒紋0.2～0.5mm・白色針状物0.8mm微量、白紋0.3mm少量。                      | (8.2)  | 上唇(10.0) | 1.4 |                |
| 西野 D3 | 017 | 1 | 一拵 土師器 | 杯       | 口縁～底部1/10残。     | 2.5YR5/8明赤褐色                | 口縁部調整か、器面不明瞭。                   | 器面不明瞭。                | 良    | 密、黒、白紋0.2～0.3mm・赤褐紋0.5～2.0mm少量。                             | (12.0) | (7.0)    | 3.1 |                |
| 西野 D3 | 017 | 2 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/6残。    | 外面2.5YR5/6明赤褐色 内面5YR6/8橙色   | 口縁部調整、一部、ヘラケズリ。                 | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm・赤紋0.5mm微量、白紋0.2～0.5mm少量。                      | (5.8)  | 上唇(10.0) | 2.0 |                |
| 西野 D3 | 017 | 3 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/6残。    | 7.5YR7/6橙色                  | 口縁部調整、底部、回転糸切り無調整、底部外周、回転ヘラケズリ。 | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～1.0mm少量、赤褐紋0.2～0.5mm微量。                 | (7.0)  | 上唇(10.4) | 1.6 |                |
| 西野 D3 | 017 | 4 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/3残。    | 2.5YR6/8橙色                  | 口縁部調整、底部、回転ヘラケズリ。               | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒、白紋0.2～0.3mm・赤褐・小石紋0.5～1.0mm微量。                          | (6.3)  | 上唇(10.3) | 1.5 |                |
| 西野 D3 | 017 | 5 | 一拵 土師器 | 杯       | 体部下半～底部1/3残。    | 外面2.5YR6/8橙色 内面5YR6/8橙色     | 口縁部調整、底部、回転糸切り無調整。              | 口縁部調整。                | 良    | 密、黒紋0.3～0.4mm・赤褐紋0.2mm微量、白紋0.4～0.5mm少量。                     | (6.5)  | 上唇(10.0) | 1.6 |                |
| 西野 D3 | 017 | 6 | 一拵 土師器 | 蓋か      | 体部下縁～底部1/4残。    | 外面2.5YR6/8橙色 内面2.5YR6/6橙色   | ヘラケズリ、底部、静止ヘラケズリ。               | ヘラナデ。                 | 良    | やや粗、黒、白紋0.2～0.4mm少量、赤褐紋0.5～0.8mm少量。                         | (7.6)  | 上唇(1.7)  | 1.4 |                |
| 西野 D3 | 017 | 7 | 一拵 須恵器 | 杯       | 口縁～底部1/8残。      | 2.5Y7/1灰白色                  | 口縁部調整。                          | 口縁部調整。                | 良好   | 緻密、黒紋0.1～0.2mm少量だが均等、白紋0.2～0.7mm少量。                         | (12.1) | (9.6)    | 3.5 |                |
| 西野 D3 | 017 | 8 | 一拵 須恵器 | 杯       | 体部下半～底部1/4残。    | N4/0灰色                      | 口縁部調整、底部、糸切り無調整。                | 口縁部調整。                | 良好   | 緻密、黒紋0.2～0.4mm少量、白紋0.2～0.5mm微量。                             | (8.6)  | 上唇(11.3) | 1.2 |                |
| 西野 D3 | 017 | 9 | 一拵 須恵器 | 杯(コッブ形) | 体部下半～底部1/3残。    | 外面 N6/0灰色 内面 N5/0灰色         | 口縁部調整、底部、糸切り無調整。                | 口縁部調整。                | 良好   | 緻密、黒紋0.2～0.5mm少量、白紋0.1～0.3mm少量、赤褐紋0.5～1.0mm微量、白色針状物0.4mm微量。 | (7.0)  | 上唇(6.0)  | 3.5 |                |

|       |     |    |        |     |                    |                                 |                                  |                    |      |                                                                          |        |       |           |
|-------|-----|----|--------|-----|--------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------|------|--------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-----------|
| 西野 D3 | 017 | 10 | 一括 須臾器 | 蓋   | 下端部のA1/10残。        | 5Y5/1灰色                         | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | 良好   | 緻密・黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.2～0.6mm少量。                                          | (12.2) | 1.9   |           |
| 西野 D3 | 017 | 11 | 一括 土師器 | 蓋   | 口縁～体部上半1/10未満残。    | 外面10YR4/2灰黄褐色<br>内面10YR5/2灰黄褐色  | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナズリ。               | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナズリ。 | 良    | 密・黒紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.5mm少量。白紋0.2～0.4mm少量。                                  |        |       |           |
| 西野 D3 | 018 | 1  | 覆土 土師器 | 杯   | 体部下半～底部2/2残。       | 5YR7/8褐色                        | 体部、ヘラナズリ・底部、手持ちヘラナズリ。            | ヘラナズリ。             | 良    | 密・黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.6mm少量。赤褐紋0.5mm少量。                                | (8.9)  | 3.0   | 上径(11.9)  |
| 西野 D3 | 020 | 1  | 一括 土師器 | 杯   | 口縁～体部上半1/10残。      | 7.5YR7/6褐色                      | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | やや不良 | 密・黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋1.0mm少量。                                | (14.0) | 2.6   |           |
| 西野 D3 | 020 | 2  | 一括 土師器 | 杯   | 口縁～体部下半1/8残。       | 外面5YR7/6褐色<br>内面2.5YR6/8褐色      | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋0.2～0.4mm少量。                            | (14.0) | 4.3   |           |
| 西野 D3 | 020 | 3  | 一括 須臾器 | 杯   | 体部下半～底部1/3残。       | 5Y6/1灰色                         | 口クロ調整。底部及び体部下端、回転ヘラナズリ。          | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.1～0.3mm少量。                                           | (9.0)  | 1.2   | 上径(13.0)  |
| 西野 D3 | 020 | 4  | 一括 須臾器 | 蓋   | 下端部のA1/10残。        | 外面5Y6/1灰色<br>内面5Y7/1灰色          | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | 良好   | 緻密・黒色・紋0.1～0.2mm少量。白色・紋0.2～0.3mm少量。                                      | (17.0) | 1.7   |           |
| 西野 D3 | 022 | 1  | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/2残。         | 5YR7/8褐色                        | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒・白紋0.1～0.2mm・赤褐紋0.5～2.0mm少量。                                          | (13.9) | 3.5   |           |
| 西野 D3 | 022 | 2  | 覆土 土師器 | 台付甕 | 体部下半～底部2/3残。       | 外面2.5YR5.6暗赤褐色<br>内面5YR7/6褐色    | 体部、ヘラナズリ・体部下端、ユビオサエ、白ヘラナズリ。      | ヘラナズリ。             | 不良   | 粗・黒紋0.3mm・赤褐紋1.0～4.0mm少量。白紋0.2～0.7mm少量だが均等。                              |        | 7.9   | 上径13.0    |
| 西野 D3 | 022 | 3  | 覆土 土師器 | 蓋   | 口縁～体部上半1/8残。       | 外面7.5YR5/4にぶい褐色<br>内面7.5YR6/6褐色 | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナズリ。               | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナズリ。 | 良    | 密・黒紋0.2～0.4mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm・小石1.0～3.0mm少量。赤褐紋0.2～0.5mm・白色針状物0.2mm少量。 | (27.0) | 9.6   |           |
| 西野 D3 | 023 | 1  | 一括 土師器 | 杯   | 体部下半～底部4は完存。       | 5YR6/8褐色                        | 口クロ調整。底部、回転糸切り無調整。               | 口クロ調整。器面不明瞭。       | やや不良 | 密・黒紋0.2～0.7mm少量。白紋0.5mm少量だが均等。赤褐紋1.0mm少量。                                |        | 6.0   | 上径10.4    |
| 西野 D3 | 027 | 1  | 一括 土師器 | 杯   | 口縁～底部2/3残。         | 7.5YR6/6褐色                      | 口クロ調整。器面不明瞭。                     | 口クロ調整。             | やや不良 | やや粗・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.3～1.5mm少量。                            | (11.6) | 6.2   | 4.2       |
| 西野 D3 | 027 | 2  | 覆土 土師器 | 杯   | 体部下半～底部2/3残。       | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面5YR7/6褐色      | 口クロ調整。底部、回転糸切り無調整。               | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.2～0.5mm・白紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋1.0mm少量だが均等。                              |        | 4.8   | 1.2 上径7.8 |
| 西野 D3 | 027 | 3  | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部2/3残。         | 外面5YR6/6褐色<br>内面5YR6/8褐色        | 口クロ調整。器面不明瞭。                     | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.3mm少量。赤褐紋1.0mm少量だが均等。                                | (11.2) | 5.2   | 3.4       |
| 西野 D3 | 027 | 4  | 覆土 土師器 | 皿   | 口縁～底部2/3残。         | 7.5YR7/6褐色                      | 口クロ調整。底部、回転糸切り無調整。               | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm・赤褐紋・白色針状物0.5mm少量。                                | (9.4)  | 3.9   | 2.9       |
| 西野 D3 | 027 | 5  | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部2/3残。         | 10YR7/4にぶい黄褐色                   | 口クロ調整。体部下端、手持ちヘラナズリ・底部、回転糸切り無調整。 | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.2～0.4mm・白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.4～0.8mm・白色針状物0.8～1.0mm少量。               | (10.7) | 4.3   | 2.8       |
| 西野 D3 | 027 | 6  | 覆土 土師器 | 碗   | ほぼ完形。              | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面 N2/0黒色       | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。ヘラミガキ・黒色処理。  | 良    | 密・黒紋0.3～0.3mm・赤褐紋0.2～0.5mm少量。白紋0.2～0.7mm少量だが均等。赤付紋0.2～0.3mm少量。           | 10.8   | 5.6   | 4.3       |
| 西野 D3 | 027 | 7  | 覆土 土師器 | 碗   | 口縁～底部1/4残。         | 外面10YR7/4にぶい黄褐色<br>内面 N2/0黒色    | 口クロ調整。                           | ヘラミガキ・黒色処理。        | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋0.5～0.8mm少量。                            | (10.4) | (6.0) | 4.2       |
| 西野 D3 | 027 | 8  | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～体部下端1/3残。蓋台部欠失。 | 外面5YR6/6褐色<br>内面5YR6/6褐色        | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。ヘラミガキ。       | 良    | 密・黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.5～0.7mm少量。                            | (14.0) | 5.3   |           |
| 西野 D3 | 027 | 9  | 覆土 土師器 | 碗   | 体部下半～底部3/4残。       | 7.5YR7/6褐色                      | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.5～1.0mm・白色針状物1.0～3.0mm少量。             | 5.0    | 3.1   | 上径6.4     |
| 西野 D3 | 027 | 10 | 覆土 土師器 | 杯   | 体部下半～底部3/4残。       | 外面7.5YR6/6褐色<br>内面 N1.5/0黒色     | 口クロ調整。底部、回転ヘラナズリ。                | ヘラミガキ・黒色処理。        | やや不良 | やや粗・黒紋0.2～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋0.3～0.5mm・白色針状物1.0～3.0mm少量。             | 7.0    | 2.4   | 上径(10.6)  |
| 西野 D3 | 027 | 11 | 覆土 土師器 | 杯   | 体部下半～底部のみ残。        | 外面5YR7/8褐色<br>内面2.5Y3/1黒褐色      | 口クロ調整。底部、回転ヘラナズリ。                | ヘラミガキ・黒色処理。        | 良    | 密・黒紋0.3～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量・赤褐紋0.3～0.7mm少量。                              | 6.7    | 2.4   | 上径(10.0)  |
| 西野 D3 | 027 | 12 | 覆土 土師器 | 杯   | 体部下半～底部1/3残。       | 外面7.5YR6/6褐色<br>内面7.5YR3/1黒褐色   | 口クロ調整。                           | ヘラミガキ・黒色処理。        | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2mm少量。褐紋0.3mm少量。                                 |        | 6.2   | 1.7 上径6.4 |
| 西野 D3 | 027 | 13 | 覆土 土師器 | 皿   | ほぼ完形。              | 10YR7/3にぶい黄褐色                   | 口クロ調整。                           | 口クロ調整。             | 良好   | 緻密・黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.2～1.0mm・白色針状物0.3～0.5mm少量。              | 11.3   | 6.6   | 2.4       |
| 西野 D3 | 027 | 14 | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部3/4残。         | 外面5YR6/8褐色<br>内面2.5YR6/8褐色      | 口クロ調整。底部、回転糸切り無調整。               | 口クロ調整。             | 良    | 密・黒紋0.1～0.1mm・白紋0.2～0.5mm少量。赤褐紋0.5～5.0mm・白色針状物0.5～1.5mm少量だが均等。           | (15.4) | 10.0  | 5.9 足高富台付 |
| 西野 D3 | 027 | 15 | 一括 土師器 | 鉢小  | 体部下半～底部1/6残。       | 7.5YR6/4褐色                      | ナデカ。輪郭のみ顕著残る。底部、糸切り顕著残る。         | ナデカ。               | 良好   | 密・黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋1.0mm少量。                                | (6.0)  | 3.4   | 上径(6.9)   |
| 西野 D3 | 027 | 16 | 覆土 土師器 | 蓋   | 口縁～体部上半1/8残。       | 外面7.5YR6/6褐色<br>内面5YR6/6褐色      | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナズリ。               | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナズリ。 | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm・赤褐紋0.3～0.5mm・白色針状物1.0～2.0mm少量。           | (23.8) | 9.0   |           |

|       |     |   |        |     |                 |                                    |                                       |                         |      |                                                                         |        |       |          |          |  |
|-------|-----|---|--------|-----|-----------------|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------|--------|-------|----------|----------|--|
| 西野 D3 | 028 | 1 | 覆土 須臾器 | 蓋   | 口縁～体部上半1/10未満現。 | 2.5YR4/4にぶい赤褐色                     | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | 口縁部、ヨコナデ。               | 良    | 緻密・黒紋0.1～0.3mm少量、白紋0.3mm・赤褐色1.0mm・石英粒0.3mm散在。                           |        |       |          |          |  |
| 西野 D3 | 029 | 1 | 床直 土師器 | 杯   | 体部下半～底部1/3現。    | 5YR6/6褐色                           | 口縁調整・体部下端、回転ヘラケズリ・底部、回転糸切り無調整。        | 口縁調整。                   | 良好   | 密・黒紋0.1～0.2mm少量、白紋0.2～0.4mm少量だが均等・小石粒1.0～3.0mm散在。                       | (6.0)  | 2.2   | 上径(10.4) |          |  |
| 西野 D3 | 030 | 1 | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/8現。      | 2.5YR6/6褐色                         | 口縁調整・体部下端、半持ちヘラケズリ。                   | 口縁調整。                   | 良    | 密・黒紋0.2～0.5mm少量、白紋0.2～0.5mm少量だが均等・赤褐色0.2～0.5mm・小石粒1.0～1.5mm散在。          | (13.2) | (7.0) | 4.0      |          |  |
| 西野 D3 | 030 | 2 | 一拵 土師器 | 杯   | 体部下半～底部1/8現。    | 2.5YR6/8褐色                         | 口縁調整。                                 | 口縁調整。                   | 良    | 密・黒紋0.1～0.2mm・白紋0.1～0.3mm少量・小石粒1.0～2.0mm散在。                             | (6.0)  | 1.0   | 上径(7.4)  |          |  |
| 西野 D3 | 031 | 1 | 覆土 土師器 | 杯   | 体部下半～底部1/4現。    | 外面5YR6/8褐色<br>内面7.5YR6/6褐色         | 口縁調整・底部、回転糸切り無調整。                     | 口縁調整。                   | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm均等。白紋0.5mm少量。赤褐色2.0mm少量だが均等。                               |        | 4.0   | 1.3      | 上径(5.6)  |  |
| 西野 D3 | 031 | 2 | 覆土 土師器 | 蓋   | 口縁～体部上半1/4現。    | 7.5YR6/6褐色                         | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。       | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量。赤褐色0.4～0.6mm散在。                             | (23.5) | 9.5   |          |          |  |
| 西野 D3 | 034 | 1 | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/3現。      | 5YR6/8褐色                           | ヘラケズリ。                                | やや強いヘラナデ。               | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm少量。                                      | (15.0) | 6.4   | 4.9      |          |  |
| 西野 D3 | 034 | 2 | 一拵 須臾器 | 蓋   | 下半部1/6現。        | 外面5Y6/1灰色<br>内面5Y7/1灰白色            | 口縁調整。                                 | 口縁調整。                   | 良好   | 緻密・黒紋0.2～0.3mm少量だが均等。白紋0.3～0.6mm少量。                                     | (16.0) | 2.3   |          |          |  |
| 西野 D3 | 035 | 1 | 一拵 須臾器 | 杯   | 体部下半～底部1/6現。    | 外面2.5Y6/1黄灰色<br>内面5Y6/1灰色          | 口縁調整・底部外周、回転ヘラケズリ・底部中央部、回転糸切り無調整現残るが、 | 口縁調整・内部摩擦面著しい。          | 良好   | 緻密・黒紋0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm・白色針状物0.2～0.5mm散在。                              | (10.0) | 2.0   | 上径(13.0) | 転用現か。    |  |
| 西野 D3 | 036 | 1 | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～底部1/8現。      | 5YR6/8褐色                           | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ・底部、半持ちヘラケズリ。        | ヘラミガキ。格子状筋文入る。          | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm散在。                                          | (11.8) | (7.0) | 2.9      |          |  |
| 西野 D3 | 036 | 2 | 一拵 土師器 | 蓋   | 体部下半～底部1/6現。    | 10YR6/4にぶい黄褐色                      | ヘラケズリ・器面不明瞭。                          | ヘラナデ。体部下端付近、やや強いヘラナデ。   | やや不良 | やや粗・黒紋0.2mm少量だが均等。白紋0.3mm散在。赤褐色2.0mm少量。                                 | (8.0)  | 4.5   | 上径(12.2) |          |  |
| 西野 D3 | 036 | 3 | 覆土 土師器 | 蓋   | 体部下半～底部1/8現。    | 外面5YR6/8褐色<br>内面10YR7/4にぶい黄褐色      | ヘラケズリ・器面不明瞭。                          | ヘラナデ。                   | 良    | やや粗・黒紋0.1～0.3mm均等。白紋0.2～0.4mm・赤褐色0.3～1.0mm散在。                           | (9.6)  | 4.9   | 上径(16.4) |          |  |
| 西野 D3 | 036 | 4 | 覆土 土師器 | 台付蓋 | 底部3/4現。         | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面2.5YR4/4にぶい赤褐色 | ヘラケズリ。                                | ヘラナデ。一部、やや強いナデ。         | 良    | 密・黒紋0.2～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm少量。白色針状物0.4～0.5mm散在。                     | 7.8    | 3.5   |          |          |  |
| 西野 D3 | 036 | 5 | 覆土 土師器 | 台付蓋 | 底部3/4現。         | 5YR6/8褐色                           | ヘラケズリ。                                | ヘラナデ。                   | 良    | 密・黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。赤褐色2.0mm散在。                               |        | 7.1   | 2.9      |          |  |
| 西野 D3 | 036 | 6 | 覆土 須臾器 | 蓋   | 下半部1/3現。        | 外面5Y5/1灰色<br>内面5Y4/1灰色             | 口縁調整・天井部、回転ヘラケズリ。                     | 口縁調整。                   | 良好   | 緻密・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.9mm少量だが均等。                                     | (20.0) | 2.9   |          |          |  |
| 西野 D3 | 037 | 1 | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～体部下半1/8現。    | 10YR7/4にぶい黄褐色                      | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラミガキ。      | 良    | 密・黒紋0.2mm少量。白紋0.2～0.3mm散在。赤褐色0.4mm極めて微量。                                | (14.0) | 3.7   |          |          |  |
| 西野 D3 | 037 | 2 | 一拵 土師器 | 蓋   | 口縁部のみ1/10現。     | 外面5YR6/6褐色<br>内面2.5YR6/8褐色         | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。       | 良    | やや粗・黒紋0.3～1.0mm・白紋0.2～0.7mm少量。赤褐色1.0mm散在。                               | (25.4) | 3.8   |          |          |  |
| 西野 D3 | 037 | 3 | 一拵 土師器 | 蓋   | 体部下半～底部1/4現。    | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面10YR6/9灰黄褐色    | 体部、ヘラケズリ・器面不明瞭・底部、静止ヘラケズリ。            | ヘラナデ。                   | 良    | 密・黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.3～0.5mm・赤褐色0.2～0.5mm・白色針状物0.4～0.5mm散在。          | (10.2) | 3.6   | 上径(16.0) |          |  |
| 西野 D3 | 037 | 4 | 一拵 須臾器 | 蓋   | 体部上半～下部部1/10現。  | 外面2.5Y7/1灰白色<br>内面2.5Y6/1黄灰色       | 口縁調整。                                 | 口縁調整。                   | 良    | 緻密・黒紋0.2～0.5mm少量。白紋0.3～1.0mm・小石粒1.0～2.0mm散在。                            | (11.1) | 1.4   | 上径(11.3) |          |  |
| 西野 D3 | 037 | 5 | 一拵 須臾器 | 蓋   | 体部上半～下部部1/8現。   | 5Y6/1灰色                            | 口縁調整。                                 | 口縁調整。                   | 良好   | 緻密・黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm少量。                                         |        | 1.7   | 上径(14.2) |          |  |
| 西野 D3 | 038 | 1 | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～底部2/3現。      | 外面7.5YR6/6褐色<br>内面7.5Y2/1黒色        | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラミガキ・黒色処理。 | 良    | 密・黒紋0.3mm・赤褐色1.0mm少量。白紋0.2～0.5mm・石英粒0.5mm散在。                            | (15.2) | 6.6   | 4.2      |          |  |
| 西野 D3 | 038 | 2 | 一拵 土師器 | 杯   | 口縁～体部下半1/8現。    | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面7.5YR6/6褐色       | 口縁調整。                                 | 口縁調整。                   | やや不良 | やや粗・黒紋0.2～0.3mm・白紋0.2～0.5mm少量。小石粒1.0～2.0mm散在。                           | (14.8) | 3.9   |          |          |  |
| 西野 D3 | 039 | 1 | 覆土 土師器 | 杯   | 口縁～体部下半1/6現。    | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面10YR7/4にぶい黄褐色    | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | ヘラナデ。                   | 良    | 密・黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.3～0.5mm散在。赤褐色2.0mm少量。                               | (16.0) | 3.2   |          |          |  |
| 西野 D3 | 039 | 2 | 覆土 土師器 | 高杯  | 脚部のみ現。          | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面0R5.8赤色        | ヘラケズリ。                                | 強いヘラナデ。赤彩。              | 良    | 密・黒紋0.2～0.8mm・白紋0.3～0.4mm少量。赤褐色0.5～1.0mm散在。                             |        | 3.1   | 下径(7.0)  |          |  |
| 西野 D3 | 039 | 3 | 覆土 土師器 | 蓋   | 体部下半～底部1/4現。    | 外面2.5YR6/8褐色<br>内面5YR6/8褐色         | ヘラケズリ。                                | ヘラナデ。                   | 良    | やや粗・黒紋0.2～0.4mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm・赤褐色0.8～2.0mm散在。小石粒(石英含む)1.0～3.0mm少量。  | (7.0)  | 6.5   | 上径(14.8) |          |  |
| 西野 D3 | 039 | 4 | 覆土 土師器 | 皿か  | 口縁～体部上半1/6現。    | 外面10YR6/6にぶい黄褐色<br>内面7.5YR7/4にぶい褐色 | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラケズリ。                    | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。       | 良    | 密・黒紋0.2～0.5mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。赤褐色0.3～0.5mm針状物0.3～0.5mm散在。           | (27.0) | 7.5   |          |          |  |
| 西野 D3 | 040 | 1 | 一拵 土師器 | 蓋   | 体部下半～底部5/4現。    | 外面2.5YR5.6明赤褐色<br>内面2.5YR6/6褐色     | ヘラケズリ・底部、静止ヘラケズリ。                     | ヘラナデ。                   | 良    | 密・黒紋0.1～0.2mm・赤褐色0.5～1.0mm・小石粒1.0～3.0mm散在。白紋0.2～0.3mm・白色針状物0.5～1.0mm少量。 |        | 8.0   | 1.5      | 上径(10.0) |  |

|       |     |   |         |    |                      |                                    |              |                          |                      |      |                                                            |        |     |          |         |
|-------|-----|---|---------|----|----------------------|------------------------------------|--------------|--------------------------|----------------------|------|------------------------------------------------------------|--------|-----|----------|---------|
| 西野 D3 | 040 | 2 | 一拵 須臾器  | 杯  | 底部のみ1/4残。            | 外面 N6/0灰色                          | 内面 N5/0灰色    | ロクロ調整。底部。回転ヘラケズリ。        | ロクロ調整。               | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm微量。                        | (9.0)  | 1.3 | 上唇(9.2)  |         |
| 西野 D3 | 041 | 1 | 一拵 土師器  | 盃  | 口縁部のみ1/10残。          | 外面7.5YR6/4にぶい褐色<br>内面7.5YR7/4にぶい褐色 |              | ヨコナデ。                    | ヨコナデ。                | 良    | 密。黒紋0.1～0.2mm少量だが均等。白紋0.2～0.5mm少量。小石紋2.0～5.0mm微量。          | (24.0) | 3.0 |          |         |
| 西野 D3 | 041 | 2 | 覆土 須臾器  | 盃  | 口縁部のみ1/10未滿。         | 外面10YR4/7褐灰色 内面10YR6/7褐灰色          |              | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。               | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.5mm微量。                                |        |     |          |         |
| 西野 D3 | 042 | 1 | 一拵 土師器  | 碗  | 体部下半～底部1/10残。高台全て欠失。 | 外面10YR4/7褐灰色 内面 N1.5/0黒色           |              | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。               | やや不良 | 密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.4mm少量だが均等。                         |        | 4.3 | 上唇(14.7) |         |
| 西野 D3 | 042 | 2 | 覆土 緑釉陶器 | 碗  | 底部のみ1/10残。           | 淡黄緑色(釉) 5Y8/1灰白色(素地)               |              | ロクロ調整。高台部も含めて全面施釉。       | ロクロ調整。全て施釉。          | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.3mm少量。                                          | (6.4)  | 1.2 | 上唇(6.6)  |         |
| 西野 D3 | 043 | 1 | 覆土 土師器  | 盃  | 体部下半～底部は完全。          | 外面5YR3/4にぶい赤褐色<br>内面5YR6/4にぶい褐色    |              | ヘラケズリ。底部。静止ヘラケズリ。        | ナデ。ヘラナデ。             | やや不良 | やや粗。黒紋0.1～0.3mm・白紋0.1～0.4mm少量。赤褐紋1.0～1.5mm微量。              | 6.6    | 1.9 | 上唇(6.8)  |         |
| 西野 D3 | 043 | 2 | 一拵 土師器  | 盃  | 体部下半～底部1/3残。         | 外面10YR4/7灰黄褐色<br>内面10YR5/7灰黄褐色     |              | ヘラケズリ。底部。静止ヘラケズリ。        | ヘラナデ。                | やや不良 | やや粗。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm・石英紋0.2～0.5mm微量。              | (5.0)  | 2.0 | 上唇(6.4)  |         |
| 西野 D3 | 043 | 3 | 一拵 須臾器  | 杯  | 底部のみ1/8残。            | 5Y7/1灰白色                           |              | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。               | 良    | 緻密。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm微量。                            | (11.2) | 2.0 | 上唇(12.4) |         |
| 西野 D3 | 043 | 4 | 覆土 須臾器  | 盃  | 口縁～体部上半1/8残。         | 外面2.5YR5.8明赤褐色 内面5YR6/8褐色          |              | 口縁部。ヨコナデ。体部。縦位のタキ目直。     | 口縁部。ヨコナデ。体部。ナデ。      | 不良   | 密。黒紋0.2～0.3mm・白紋0.1～0.4mm少量。小石紋1.0～2.0mm微量。                | (24.0) | 6.6 |          | 千葉市城産か。 |
| 西野 D3 | 043 | 5 | 覆土 須臾器  | 盃  | 口縁～頸部1/10残。          | 5YR5/4にぶい赤褐色                       |              | ヨコナデ。                    | ヨコナデ。                | やや不良 | 密。黒紋0.1～0.5mm少量。白紋0.2～0.8mm・赤褐紋2.0mm少量だが均等。                | (37.0) | 7.6 |          | 千葉市城産か。 |
| 西野 D3 | 043 | 6 | 一拵 須臾器  | 皿  | 体部下半～底部1/10残。        | 外面5YR7/6褐色<br>内面7.5YR5/3にぶい褐色      |              | ヨコナデ。                    | ヨコナデ。                | やや不良 | 密。黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.2～0.5mm・赤褐紋0.3～1.0mm微量。                | (28.6) | 3.9 | 上唇(36.0) | 千葉市城産か。 |
| 西野 D3 | 044 | 1 | 一拵 須臾器  | 蓋  | 下縁部のみ1/10残。          | 5Y6/1灰色                            |              | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。               | 良    | 緻密。黒紋0.2～0.4mm・白紋0.2～0.3mm少量。                              | (26.0) | 1.8 |          |         |
| 西野 D3 | 045 | 1 | 覆土 土師器  | 杯  | 口縁～体部下半1/10残。        | 10R6/8赤褐色器面不明瞭。                    |              | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。器面不明瞭。 | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。    | 良    | 密。黒紋0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm微量。赤褐紋1.0mm少量だが均等。                  | (15.8) | 6.1 |          |         |
| 西野 D3 | 046 | 1 | 一拵 土師器  | 杯  | 体部下縁～底部1/4残。         | 外面10YR5/3にぶい黄褐色<br>内面5YR7/6褐色      |              | 底部。手持ちヘラケズリか。器面不明瞭。      | ロクロ調整。               | 良    | 密。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm均等。赤褐紋0.3～0.5mm微量。              | (8.0)  | 0.9 | 上唇(6.4)  |         |
| 西野 D3 | 046 | 2 | 覆土 土師器  | 碗  | 口縁～底部2/3残。           | 外面5YR6/8褐色                         | 内面 N2/0黒色    | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。ヘラミガキ。全面黒色処理。  | 良    | 密。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～1.0mm・雲母紋0.5mm微量。赤褐紋0.3～1.0mm少量だが均等。 | (11.0) | 5.2 | 3.8      |         |
| 西野 D3 | 046 | 3 | 覆土 須臾器  | 盃  | 口縁～頸部1/10未滿残。        | 外面 N3/0暗灰色                         | 内面5Y5/1灰色    | ヨコナデ。                    | ヨコナデ。                | 良    | 緻密。黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.3～1.0mm均等。                            |        |     |          |         |
| 西野 D3 | 047 | 1 | 一拵 土師器  | 皿  | 体部下縁～底部1/2残。         | 7.5YR6/4にぶい褐色                      |              | ロクロ調整。底部。回転赤切り無調整。       | 器面不明瞭。               | 良    | 密。黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量。粒子細かい。                         | (7.0)  | 1.7 | 上唇(6.9)  |         |
| 西野 D3 | 047 | 2 | 一拵 須臾器  | 蓋  | 体部下半～底部1/8残。         | 外面2.5Y5/1黄灰色                       | 内面5Y5/1灰色    | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。               | 良好   | 緻密。黒紋0.5～1.0mm微量。白紋0.5～2.0mm少量。                            | (9.0)  | 3.9 | 上唇(12.4) |         |
| 西野 D3 | 047 | 3 | 一拵 須臾器  | 盃か | 口縁～頸部のみ1/10未滿残。      | 2.5Y7/1灰白色                         |              | ヨコナデ。                    | ヨコナデ。                | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.4mm少量だが均等。白紋0.2～1.0mm少量。                        |        |     |          |         |
| 西野 D3 | 048 | 1 | 一拵 土師器  | 杯  | 体部下半～底部1/6残。         | 7.5YR7/6褐色 一部。赤彩か                  |              | ヘラケズリ。                   | ヘラナデ。                | 良    | やや粗。黒紋0.1～0.2mm微量。白紋0.1～0.2mm少量。                           | (8.2)  | 3.1 | 上唇(13.2) |         |
| 西野 D3 | 048 | 2 | 一拵 土師器  | 杯  | 体部下半～底部1/10残。        | 外面5YR7/8褐色                         | 内面2.5YR6/8褐色 | ロクロ調整。体部下縁。底部。回転ヘラケズリ。   | ロクロ調整。               | 良    | 密。白紋0.1～0.2mm・白色針状物0.2mm微量。赤褐紋0.3～0.4mm少量。                 | (8.4)  | 1.6 | 上唇(10.4) |         |
| 西野 D3 | 048 | 3 | 覆土 須臾器  | 杯  | 体部下半～底部1/3残。         | 外面 N6/0灰色                          | 内面 N7/0灰白色   | ロクロ調整。体部下縁。底部。回転ヘラケズリ。   | ロクロ調整。               | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.4mm少量。白色針状物0.3mm微量。                 | (9.0)  | 1.0 | 上唇(10.8) |         |
| 西野 D3 | 049 | 1 | 一拵 土師器  | 杯  | 口縁～体部下半1/6残。         | 7.5YR5/6明褐色                        |              | ロクロ調整。体部下半。回転ヘラケズリ。      | ロクロ調整。               | 良    | やや粗。黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm・雲母紋0.2～0.5mm微量。                | (13.1) | 2.4 |          |         |
| 西野 D3 | 049 | 2 | 一拵 灰釉陶器 | 皿  | 体部下半～底部1/8残。         | 5Y5/2灰オリーブ(釉部分)5Y7/1灰白色(素地)        |              | ロクロ調整。                   | ロクロ調整。               | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.5mm少量。                              | (8.0)  | 2.2 | 上唇(13.6) |         |
| 西野 D3 | 049 | 3 | 一拵 須臾器  | 杯  | 体部下半～底部1/10残。        | 7.5Y5/1灰色                          |              | ロクロ調整。体部下縁。底部。回転ヘラケズリ。   | ロクロ調整。               | 良好   | 緻密。黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.4mm・白色針状物0.8mm少量。                     | (7.6)  | 2.5 | 上唇(12.4) |         |
| 西野 D3 | 050 | 1 | 覆土 土師器  | 杯  | 口縁～底部1/8残。           | 10R6/8赤色                           |              | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。赤彩。    | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。赤彩。 | 良    | 密。黒紋0.1～0.2mm少量だが均等。白紋0.1～0.3mm少量。                         | (14.0) | 3.9 |          |         |
| 西野 D3 | 050 | 2 | 覆土 土師器  | 盃  | 口縁～体部上半1/6残。         | 外面2.5YR5.8明赤褐色<br>内面2.5YR5/6明赤褐色   |              | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラケズリ。       | 口縁部。ヨコナデ。体部。ヘラナデ。    | 良    | 密。黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量。石英紋0.2～0.4mm微量。                | (29.5) | 5.8 |          |         |

|       |     |    |        |    |               |                              |                        |                               |      |                                                                |        |        |                  |
|-------|-----|----|--------|----|---------------|------------------------------|------------------------|-------------------------------|------|----------------------------------------------------------------|--------|--------|------------------|
| 西野 D3 | 050 | 3  | 観土 土留器 | 瓶か | 口縁～体部上半1/8残。  | 外面7.5YR6/6緑色 内面2.5Y3/1黒褐色    | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラケズリ。     | 口縁部、ヨコナデ。                     | やや不良 | 密、黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm微量。                                 | (20.0) | 6.1    |                  |
| 西野 D3 | 050 | 4  | 観土 須臾器 | 杯  | 口縁～底部1/3残。    | 外面5Y7/1灰白色 内面5Y6/1灰白色        | 口縁調整、底部、回転ヘラケズリ。       | 口縁調整。                         | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.3～0.8mm少量だが均等。                             | (15.2) | (9.4)  |                  |
| 西野 D3 | 051 | 1  | 観土 土留器 | 甕  | 口縁～体部上半1/3残。  | 外面5YR4/2灰褐色 内面5YR6/8褐色       | 口頭部、ヨコナデ・体部、ヘラケズリ。     | 口縁部、ヨコナデ・頭部、やや強いヘラナデ・体部、ヘラナデ。 | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm少量だが均等。白紋0.3～0.5mm・赤褐紋0.1～0.3mm・白色針状物0.2～0.3mm少量。 | (25.0) | 9.0    | 下径(26.6)         |
| 西野 D3 | 051 | 2  | 観土 土留器 | 甕  | 体部下端～底部1/2残。  | 外面2.5Y3/1黒褐色 内面10YR7/4黄褐色    | ヘラケズリ。                 | ヘラナデ。                         | 良    | 密、黒紋0.2mm少量。白紋0.2～0.3mm微量。赤褐紋2.0mm少量だが均等。                      | (6.6)  | 2.1    | 上径(0.1)          |
| 西野 D3 | 052 | 1  | 一括 須臾器 | 杯  | 口縁～底部1/6残。    | 外面5Y8/1灰白色 内面2.5Y8/1灰白色      | 口縁調整、体部下端・底部、回転ヘラケズリ。  | 口縁調整。                         | 良好   | 緻密、黒紋0.2～0.5mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。                            | (14.8) | (11.0) | 3.7              |
| 西野 D3 | 053 | 1  | 一括 土留器 | 杯  | 口縁～体部下半1/4残。  | 外面2.5YR6/6緑色 内面2.5YR6/6緑色    | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | 良    | 密、黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.3mm少量。小石紋2.0mm微量。                      | (12.9) | 3.4    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 1  | 一括 土留器 | 杯  | 口縁～体部下半1/8残。  | 外面2.5YR5/6明赤褐色 内面7.5YR7/6緑色  | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラケズリ。     | 口縁部、ヨコナデ・体部、ヘラナデ。             | 良    | 密、黒紋0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.3mm少量。赤褐紋2.0mm微量。                      | (16.0) | 4.3    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 2  | 一括 土留器 | 杯  | 口縁～底部1/3残。    | 10R4/8赤色                     | 口縁調整、底部、持ちちヘラケズリ。赤彩。   | 口縁調整、赤彩。                      | 良    | やや粗、黒紋0.2mm少量。白紋0.3mm少量だが均等。石や粗、黒紋0.2～0.4mm・白色針状物0.3mm少量。      | (14.0) | (9.0)  | 3.6              |
| 西野 D3 | 一括  | 3  | 一括 土留器 | 杯  | 体部上半～底部1/10残。 | 5YR6/6緑色                     | 口縁調整、体部下端、手持ちヘラケズリ。    | 口縁調整。                         | 良    | 密、黒紋0.2mm・白紋0.2～0.4mm・赤紋0.3～1.5mm少量。白紋0.2～0.5mm微量。             | (8.0)  | 3.1    | 上径(12.5)         |
| 西野 D3 | 一括  | 4  | 観土 土留器 | 杯  | 口縁～体部下半1/6残。  | 外面5YR7/6緑色 内面5YR8/4緑褐色       | 口縁調整、体部下半、ヘラケズリ。       | 口縁調整。                         | やや不良 | 密、黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.3～0.4mm微量。                    | (12.0) | 4.0    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 5  | 観土 土留器 | 杯  | 口縁～体部下半1/6残。  | 7.5YR7/6緑色                   | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | 良好   | 密、黒紋0.2mm少量。白紋0.3mm・小石紋2.0mm・白色針状物0.2～2.0mm微量。                 | (14.0) | 3.2    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 6  | 一括 土留器 | 杯  | 口縁～体部下半1/10残。 | 2.5YR6/8緑色                   | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | 良好   | 密、黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm・赤褐紋1.0mm・小石紋1.5mm微量。               | (14.2) | 2.7    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 7  | 一括 土留器 | 杯  | 口縁～体部下半1/6残。  | 外面5YR6/6緑色 内面2.5YR6/8褐色      | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | やや不良 | 密、黒紋0.1～0.2mm・白紋0.1～0.3mm少量。赤褐紋0.5～2.0mm微量。                    | (12.1) | 3.1    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 8  | 一括 土留器 | 杯  | 体部下半～底部1/8残。  | 5YR7/6緑色                     | 口縁調整、体部下端・底部、回転ヘラケズリ。  | 口縁調整。                         | 良    | 密、黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.3～0.4mm微量。                    | (7.1)  | 2.3    | 上径(11.1)         |
| 西野 D3 | 一括  | 9  | 一括 土留器 | 杯  | 口縁～底部1/6残。    | 5YR7/6緑色 5YR7/8緑色            | 口縁調整、器面不明瞭・底部、回転ヘラケズリ。 | 口縁調整、器面不明瞭。                   | 良    | 密、黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.1～0.3mm・赤褐紋0.1～0.2mm少量だが均等。                | (11.7) | (7.0)  | 3.2              |
| 西野 D3 | 一括  | 10 | 一括 土留器 | 杯  | 体部下端～底部1/6残。  | 外面7.5YR7/6緑色 内面7.5YR5/4褐灰色   | 口縁調整。                  | ヘラミガキか、黒色処理。                  | やや不良 | 密、黒紋0.2～0.3mm・白紋0.2～0.4mm少量。赤褐紋1.0～2.0mm少量だが均等。                | (7.0)  | 2.0    | 上径(6.0)          |
| 西野 D3 | 一括  | 11 | 一括 土留器 | 杯  | 体部下端～底部1/8残。  | 5YR7/8緑色                     | 口縁調整、底部、回転糸切り無調整。      | 口縁調整。                         | 良    | 密、黒紋0.1～0.3mm微量。白紋0.1～0.2mm少量。                                 | (7.2)  | 1.8    | 上径(6.6)          |
| 西野 D3 | 一括  | 12 | 一括 土留器 | 甕  | 口縁のみ1/10未滿残。  | 外面7.5YR5/6明褐色 内面7.5YR6/6褐色   | ヨコナデ。                  | ヨコナデ。                         | 良    | 密、黒紋0.2～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.3～0.5mm微量。                |        |        |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 13 | 一括 土留器 | 甕  | 口縁部のみ1/10未滿残。 | 外面2.5YR5/8明赤褐色 内面2.5YR6/6緑色  | ヨコナデ。                  | ヨコナデ。                         | 良    | 粗、白紋0.1～0.2mm少量。小石紋2.0～3.0mm微量。                                |        |        |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 14 | 一括 土留器 | 甕  | 口縁部のみ1/10未滿残。 | 5YR6/8緑色                     | ヨコナデ。                  | ヨコナデ。                         | 良    | 密、黒紋0.1～0.3mm少量。白・赤褐紋0.2～0.3mm・小石紋1.0～1.5mm微量。                 |        |        |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 15 | 一括 土留器 | 甕  | 口縁部のみ1/10未滿残。 | 外面7.5YR6/6緑色 内面7.5YR6/4にぶい褐色 | ヨコナデ。                  | ヨコナデ。                         | 良    | 密、黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.2～0.5mm・赤褐紋0.2～0.6mm微量。                    |        |        |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 16 | 一括 須臾器 | 杯  | 口縁～体部下半1/10残。 | 2.5Y7/1灰白色                   | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | 良    | 緻密、黒紋・白色針状物0.1～0.2mm微量。白紋0.1～0.3mm少量。                          | (14.0) | 2.6    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 17 | 一括 須臾器 | 杯  | 体部上半～底部1/2残。  | 外面2.5YR2/灰白色 内面2.5Y6/1黄灰色    | 口縁調整、底部、全面回転ヘラケズリ。     | 口縁調整、一部に、鉄付着か。                | やや不良 | 密、黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm均等。赤褐紋0.2～0.4mm微量。                  | (8.6)  | 3.7    | 上径(12.6)         |
| 西野 D3 | 一括  | 18 | 一括 須臾器 | 蓋  | 下端部1/10残。     | 外面 N6/0灰色 内面 N5/0灰色          | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | 良好   | 緻密、黒紋0.1～0.3mm微量。白紋0.2～0.4mm少量。                                | (17.2) | 1.7    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 19 | 一括 土留器 | 蓋  | 下端部1/10残。     | 外面10Y5/1灰色 内面 N5/0灰色         | 口縁調整。                  | 口縁調整。                         | 良好   | 緻密、黒紋0.2mm・白紋0.1～0.2mm微量・白色針状物0.2mm微量。                         | (16.0) | 1.0    |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 20 | 一括 須臾器 | 甕  | 口縁～頭部1/10未滿残。 | 外面7.5YR5/2灰褐色 内面7.5YR7/6緑色   | ヨコナデ。                  | ヨコナデ。                         | 良    | 密、黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.4mm・赤褐紋0.2～0.5mm微量。                    |        |        |                  |
| 西野 D3 | 一括  | 21 | 観土 須臾器 | 甕  | 頭部～胴部上半1/10残。 | 2.5Y6/1黄灰色                   | 頭部、ヨコナデ・体部、覆位のタキ目肌。    | ヨコナデ。                         | 良    | 密、黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.1～0.3mm微量。                                 |        | 5.1    | 上径(18.5) 千葉市城塚か。 |

|        |     |    |    |      |     |                 |                                  |                                    |                   |      |                                                 |        |       |          |
|--------|-----|----|----|------|-----|-----------------|----------------------------------|------------------------------------|-------------------|------|-------------------------------------------------|--------|-------|----------|
| 西野 D3  | 一括  | 22 | 一括 | 須臾器  | 蓋   | 底部下平～底部1/10残。   | 外面5YR3/2暗赤褐色<br>内面7.5YR7/4にぶい褐色  | ヨコナデ。体部下端、ヘラケズリ。                   | ヨコナデ。             | 良    | 密。黒紋0.2～0.3mm・白紋0.1～0.4mm少量。赤褐色0.2～0.4mm微量。     | (15.0) | 2.7   | 上径(18.0) |
| 西野 D3  | 一括  | 23 | 一括 | 灰釉陶器 | 甕   | 体部下平～底部1/10未滿残。 | 外面2.5YR7/1灰白色<br>内面5Y6/2灰オリーブ(稀) | ロクロ調整。                             | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.1～0.3mm微量。                 |        |       |          |
| 西野 D3  | 一括  | 24 | 一括 | 灰釉陶器 | 甕   | 口縁～頸部1/10未滿残。   | 外面5Y4/2灰オリーブ<br>下層               | ロクロ調整。                             | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.3mm微量。                   |        |       |          |
| 西野 D3  | 一括  | 25 | 一括 | 灰釉陶器 | 甕   | 口縁のみ1/10未滿残。    | 外面2.5Y6/1黄灰色<br>内面2.5Y6/1黄灰色     | ロクロ調整。                             | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒紋0.4～1.0mm・白紋0.2～0.5mm少量。                   |        |       |          |
| 西野 C1  | 一括  | 1  | 一括 | 土師器  | 蓋   | 口縁～体部上半1/6残。    | 外面5YR6/8褐色<br>内面7.5YR6/1褐灰色      | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラケズリ。                 | 口縁部、ヨコナデ。体部、ヘラナデ。 | 良    | 密。黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.2～0.7mm均等。黄褐色0.3～1.0mm微量。   | (19.7) | 7.7   | 下径(22.0) |
| 西野 C1  | 一括  | 2  | 覆土 | 須臾器  | 杯   | 体部下平～底部1/4残。    | 2.5YR4/2灰赤色                      | ロクロ調整。底部、回転ヘラケズリ。底部にヘラケズリか。        | ロクロ調整。            | 良好   | 緻密。黒紋0.2～0.4mm・白紋0.2～0.7mm少量。白色針状物0.1mm微量。      | (9.4)  | 1.7   | 上径(11.4) |
| 西野 C2  | 一括  | 1  | 一括 | 土師器  | 杯   | 口縁～底部1/3残。      | 2.5YR5/8明赤褐色                     | ヘラケズリ。底部、手持ちヘラケズリ。器面不明瞭。           | ヘラナデ。器面不明瞭。       | 良    | 密。黒紋0.2～0.4mm少量だが均等。白紋0.2～0.3mm少量。              | (12.2) | 3.6   |          |
| 宮原 A   | 一括  | 1  | 一括 | 土師器  | 小型甕 | 口縁～体部上端1/8残。    | 外面5YR6/4にぶい褐色<br>内面5YR6/8褐色      | 口縁部、ヨコナデ。                          | 口縁部、ヨコナデ。         | 良    | 密。黒紋0.2mm少量。白紋0.2～0.3mm少量だが均等。                  | (10.2) | (2.2) | 下径(6.0)  |
| 宮原 A・B | D13 | 2  | 一括 | 土師器  | 杯   | 体部下端～底部上端1/2残。  | 外面7.5YR6/6褐色<br>内面N1.5/0黒色       | ロクロ調整。底部、回転糸切りか。                   | ヘラミガキ。黒色処理。       | 良    | 緻密。白紋0.2～0.3mm微量。白色針状物0.1～0.2mm少量。              |        | 1.1   |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 1  | 一括 | 縄文土器 | 深鉢  | 胴部片。            | 外面7.5YR5/2灰褐色<br>内面7.5YR5/3にぶい褐色 | RL 縄文施文。                           | ナデ。               | 良    | 密。白紋0.2mm少量だが均等。黒紋0.3mm少量。                      |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 2  | 一括 | 縄文土器 | 深鉢  | 胴部片。            | 外面7.5YR5/2灰褐色<br>内面7.5YR5/3にぶい褐色 | (横方向)浅線2本による区画。LR 縄文施文。後、浅線による意匠文。 | ナデ。               | 良    | 密。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。黒紋0.3mm少量。                  |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 3  | 一括 | 縄文土器 | 深鉢  | 胴部片。            | 外面5YR6/4にぶい褐色<br>内面7.5YR6/4にぶい褐色 | 無文。ナデ。                             | ナデ。               | 良    | 密。黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.3～0.5mm少量だが均等。小石粒3.0mm微量。   |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 4  | 一括 | 縄文土器 | 深鉢  | 胴部片。            | 外面10R5/8赤色<br>内面10R5/6赤色         | LR 縄文施文か。                          | ナデ。               | 良    | 密。黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.2mm少量だが均等。                  |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 5  | 一括 | 縄文土器 | 深鉢  | 胴部片。            | 外面10YR6/9にぶい黄褐色<br>内面5Y2/1黒色     | LR 縄文施文。                           | ナデ。               | 良    | やや粗。白紋0.2～0.4mm少量だが均等。小石粒2.0～5.0mm少量。           |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 6  | 一括 | 弥生土器 | 壺   | 破片。             | 外面2.5Y3/1黒褐色<br>内面10YR4/1褐灰色     | 条状の沈線で区画された中に、円形の刺突施す。             | ナデ。               | 良    | やや粗。黒紋0.2～0.5mm微量。白紋0.5～0.8mm少量。                |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 7  | 一括 | 土師器  | 杯   | 口縁部のみ1/10未滿残。   | 10R6/6赤褐色                        | ロクロ調整。                             | ロクロ調整。            | 良    | 緻密。黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.1～0.4mm少量。                 |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 8  | 一括 | 土師器  | 小型甕 | 口縁～頸部1/10残。     | 7.5YR6/4にぶい褐色                    | ヨコナデ。                              | ヨコナデ。             | 良    | 密。白紋0.1mm少量だが均等。黒紋0.2～0.5mm微量。黄母数0.5mm微量。       | (12.6) | 3.2   |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 9  | 一括 | 土師器  | 甕   | 口縁部のみ1/10未滿残。   | 外面2.5YR6/6褐色<br>内面2.5YR6/4にぶい褐色  | ヨコナデ。                              | ヨコナデ。             | やや不良 | 密。白紋0.1～0.2mm微量。                                |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 10 | 一括 | 土師器  | 甕   | 口縁部のみ1/10未滿残。   | 7.5YR7/6褐色                       | ヨコナデ。                              | ヨコナデ。             | 良    | 密。黒紋0.2～0.4mm・白紋0.2～0.3mm微量。                    |        |       |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 11 | 一括 | 土師器  | 甕   | 底部1/8残。         | 外面5YR6/6褐色内面7.5YR6/4にぶい褐色        | ヘラケズリか。                            | ヘラナデ。             | 良    | 密。黒紋0.5～0.7mm少量。白紋0.3～0.5mm微量。                  | (8.0)  | 2.7   | 上径(11.2) |
| 宮原 A・B | 一括  | 12 | 一括 | 土師器  | 甕   | 底部のみ1/10残。      | 外面2.5YR6/6褐色<br>内面7.5YR5/2灰褐色    | ヘラケズリか。                            | ヘラナデか。            | 良    | やや粗。黒紋0.3～1.5mm・白紋0.1～2.0mm少量だが均等。              | (9.0)  | 2.3   | 上径(12.6) |
| 宮原 A・B | 一括  | 13 | 一括 | 土師器  | 高杯  | 胴部のみ2/3残。       | 外面10R4/8赤色<br>内面10R3/1暗赤灰色       | 坯部、ヘラミガキ。赤彩。脚部3/4所に焼成面穿孔。          | ヘラケズリ。            | やや不良 | 密。黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。              |        | 3.0   |          |
| 宮原 A・B | 一括  | 14 | 一括 | 土師器  | 高杯  | 脚部のみ1/2残。       | 5YR7/6褐色                         | ヘラケズリ。一部、ヘラミガキか。                   | ヘラケズリ。            | 良    | 密。黒紋0.2～0.3mm・白紋0.1～0.3mm少量。赤褐色0.2～0.4mm微量。     |        | 3.9   | 下径(6.1)  |
| 宮原 A・B | 一括  | 15 | 一括 | 土師器  | 高杯  | 脚部のみ残。          | 5YR6/6褐色                         | ヘラケズリ。                             | ヘラケズリ。            | やや不良 | 密。黒紋0.1～0.2mm微量。白紋0.1～0.2mm少量。                  |        | 5.0   |          |
| 宮原 C・D | 一括  | 1  | 一括 | 土師器  | 杯   | 体部下平～底部1/3残。    | 外面2.5YR6/8褐色<br>内面5.5YR7/6褐色     | ロクロ調整。底部、回転糸切り無調整。                 | ロクロ調整。            | 良    | 密。黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm・赤褐色0.4～0.8mm微量。 | (5.6)  | 0.9   | 上径(7.6)  |
| 今富 A   | 001 | 1  | 覆土 | 土師器  | 杯   | 1/2残。           | 外面2.5YR5/8明赤褐色<br>内面5YR6/6暗褐色    | ロクロ調整。体部下平、ヘラケズリ。                  | ロクロ調整。体部下平、ヘラミガキ。 | 良好   | 緻密。黒紋0.2mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。赤褐色0.5mm微量。      | (14.0) | 4.4   |          |
| 今富 A   | 001 | 2  | 床直 | 土師器  | 杯   | 体部下平～底部1/4残。    | 外面7.5YR7/6褐色<br>内面5YR6/8褐色       | ロクロ調整か。底部、手持ちヘラケズリ。                | ロクロ調整か。           | 良    | やや粗。黒紋0.2～0.3mm少量。白紋0.1～0.2mm・赤褐色0.1mm微量。       | (10.0) | 1.8   | 上径(12.0) |

|       |     |   |            |     |                |                              |                                |        |                                                  |        |       |           |         |
|-------|-----|---|------------|-----|----------------|------------------------------|--------------------------------|--------|--------------------------------------------------|--------|-------|-----------|---------|
| 今富 A  | 001 | 3 | 甌土 土師器     | 甌か  | 口縁部のみ1/10未測残。  | 2.5YR5.6明赤褐色                 | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。              | 良好     | 密、黒紋0.1～0.2mm少量だが均等。白紋0.2～0.3mm・赤紋少量0.2～0.3mm微量。 |        |       |           |         |
| 今富 A  | 001 | 4 | 床直 土師器     | 蓋   | 口縁部～体部下半1/3残。  | 外面2.5YR6/8褐色                 | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナデ。              | 良      | やや粗、黒紋0.2～0.3mm・白紋0.2～0.5mm少量。                   | (28.4) | 23.0  |           |         |
| 今富 A  | 001 | 5 | 床直 須恵器     | 杯   | 口縁部～体部下半1/8残。  | 7.5Y6/1灰色                    | ロクロ調整。体部下端、回転ヘラナズリ。            | 良好     | 緻密、黒紋・白色針状物0.1～0.2mm微量。白紋0.1～0.3mm少量。            | (11.1) | 3.2   |           |         |
| 今富 A  | 001 | 6 | 床直 須恵器     | 杯   | 口縁部～体部上半1/10残。 | 10Y6/1灰色                     | ロクロ調整。                         | 良好     | 緻密、白紋0.2～0.4mm・白色針状物0.2mm微量。                     | (14.0) | 2.3   |           |         |
| 今富 A  | 001 | 7 | 甌土 須恵器     | 杯   | 口縁部～体部下半1/6残。  | 外面N5/0灰色                     | ロクロ調整。底部、回転ヘラナズリ。              | きわめて良好 | 緻密、黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.5mm微量。                    | (8.0)  | 3.2   | 上唇(11.0)  |         |
| 今富 A  | 002 | 1 | 床直 土師器     | 杯   | 口縁～底部1/6残。     | 外面5YR6/8褐色                   | ロクロ調整。器面不明瞭。                   | やや不良   | やや粗、黒、白紋1.0～2.0mm少量。赤褐紋0.5～1.0mm微量。              | (13.0) | 3.0   |           |         |
| 今富 A  | 002 | 2 | 甌土 土師器     | 杯   | 体部下半～底部1/3残。   | 5YR7/8褐色                     | ロクロ調整。底部、回転糸切り無調整。             | 不良     | 密、黒、白紋0.2～1.0mm少量。白色針状物0.2mm微量。                  | (8.0)  | 2.9   | 上唇(12.4)  |         |
| 今富 A  | 002 | 3 | 床直 須恵器     | 杯   | 体部下半～底部1/8残。   | 2.5YR7/1灰白色                  | ロクロ調整。底部外周・底部、回転ヘラナズリ。         | 良      | 密、黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。白紋0.2～0.4mm少量。               | (8.0)  | 2.2   | 上唇(11.2)  |         |
| 今富 A  | 003 | 1 | 床直 土師器     | 杯   | 口縁～体部下半1/5残。   | 2.5YR5.9明赤褐色                 | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナズリ、赤彩。          | 良      | 密、黒紋0.2～0.5mm・白紋0.5～1.0mm微量。                     | (11.8) | 2.9   |           |         |
| 今富 A  | 003 | 2 | 床直 土師器     | 杯   | 口縁～体部下半1/5残。   | 5YR5.9明赤褐色                   | ヘラナズリ。口縁部付足、強底後身孔、輪痕み痕跡あり。     | ヘラナデ。  | 密、黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。赤褐紋0.5mm微量。    | (13.0) | 2.4   |           |         |
| 今富 A  | 003 | 3 | 床直 須恵器     | 蓋   | 口縁のみ1/10未測残。   | 外面10YR3.2黒褐色内面10YR3.1黒褐色     | ヨコナデ。                          | やや不良   | やや粗、白紋0.2～0.3mm少量だが均等。                           |        |       |           | 千葉市城原か。 |
| 今富 A  | 一括  | 1 | 一括 弥生土器    | 蓋   | 頸部のみ1/4残。      | 外面10R5.8赤色                   | 頸部から脚部へ移行する部位に羽状横文が強いナデ。一部、赤彩。 | 良      | 粗、黒紋0.2～0.2mm・白紋0.2～0.5mm微量。小石痕1.0～2.0mm均等。      |        |       |           |         |
| 今富 A  | 一括  | 2 | 一括 土師器     | 小型甌 | 底部のみほぼ全存。      | 外面5YR6/6褐色                   | 縦位及び横方向のヘラナズリ。ヘラナデ。            | 良      | 密、黒紋0.2～0.5mm微量。白紋0.2～1.0mm少量だが均等。               | (4.4)  | 2.6   | 上唇(6.5)   |         |
| 今富 A  | 一括  | 3 | 表杯 ミニチュア土器 | 蓋   | 口縁～底部2/3残。     | 外面5YR6/8褐色 内面5YR6/4におい、褐色    | ユビナデ、ユビオサエ                     | 良      | 密、黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm微量。                   | (2.1)  | (3.0) | (2.5)     |         |
| 今富 A  | 一括  | 4 | 一括 土師器     | 杯   | 底部のみ1/8残。      | 7.5YR6/4褐色                   | 底部、手持ちヘラナズリ。                   | 良      | 密、黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.2～0.5mm微量。                   | (7.0)  | 0.9   | 上唇(8.6)   |         |
| 今富 A  | 一括  | 5 | 一括 土師器     | 杯   | 底部のみ1/10残。     | 外面2.5YR4.6暗褐色 内面2.5YR5.6明赤褐色 | ヘラナズリ。                         | 良      | やや粗、黒紋0.2mm・赤褐紋0.3mm微量。白紋0.1～0.5mm少量だが均等。        | (7.0)  | 1.2   | 上唇(6.0)   |         |
| 今富 A  | 一括  | 6 | 一括 土師器     | 杯   | 底部のみ1/2残。      | 外面5YR6/6褐色                   | 底部、回転糸切り無調整。                   | 良      | 密、黒紋0.3～0.5mm・白紋0.2～0.5mm微量。                     | (5.4)  | 1.3   | 上唇(7.0)   |         |
| 今富 A  | 一括  | 7 | 一括 須恵器     | 杯   | 口縁～底部1/8残。     | 外面2.5Y6/2灰黄色 外面5YR4/4におい、赤褐色 | ロクロ調整。体部下端・底部、手持ちヘラナズリ。        | やや不良   | やや粗、白紋0.3～0.5mm微量。                               | (12.4) | 4.2   |           |         |
| 今富 A  | 一括  | 8 | 一括 須恵器     | 杯   | 体部下半～底部1/8残。   | 2.5GY6/1オリーブ灰色               | ロクロ調整。体部下端・底部、回転ヘラナズリ。         | 良好     | 緻密、白紋0.5～1.0mm少量。                                | (8.0)  | 1.5   | 上唇(10.7)) |         |
| 今富 A  | 一括  | 9 | 一括 須恵器     | 蓋   | 下端部のみ1/10未測残。  | 5Y4/1灰色                      | ロクロ調整。                         | 良好     | 緻密、白紋0.2～0.3mm少量だが均等。                            |        |       |           |         |
| 花やしき塚 | 一括  | 1 | 一括 土師器     | 杯   | 口縁～体部下半1/10残。  | 外面10R5.8赤色                   | 口縁部、ヨコナデ、体部、ヘラナズリ、赤彩。          | 良      | 密、黒紋0.2mm・赤褐紋1.0mm・小石粒2.0mm微量。白紋0.2～0.5mm少量。     | (13.0) | 3.4   |           |         |
| 花やしき塚 | 一括  | 2 | 一括 陶器      | 焙烙か | 口縁のみ1/10未測残。   | 5YR3.9明赤褐色                   | ヨコナデ。                          | 良好     | 緻密、黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.3～0.5mm微量。                  |        |       |           |         |
| 花やしき塚 | 一括  | 3 | 一括 陶器      | 焙烙か | 口縁のみ1/10未測残。   | 7.5YR6/4褐色                   | ヨコナデ。                          | 良      | 密、黒紋0.1～0.2mm微量。赤褐紋0.2～0.5mm少量。                  |        |       |           |         |

第22表 出土瓦觀察表

| 遺跡  | 遺構  | No.   | 状況                     | 種類                                 | 遺存                                                 | 凹面の特徴                                               | 凸面の特徴                             | 端面・側縁                      | 瓦当面                     | 色調                                   | 焼成   | 胎土                                                            | 現存長                                                | 幅    | 厚さ  | 備考  |
|-----|-----|-------|------------------------|------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|-------------------------|--------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------|-----|-----|
| 4トレ | 一括  | 1     | 覆土 平瓦                  | 右側縁部残、広端・狭端欠失。                     | 凹面                                                 | 布目痕 一部タテ方向のナデにより、布目消している。                           | 凸面                                | 長方形格子目(4.0×7.0mm)叩き痕。      |                         |                                      | 良    | 縞赤・白紋0.1～0.3mm・黒紋0.1～0.2mm微量。                                 | 12.3                                               | 12.7 | 2.3 |     |
|     |     | 4     | 一括 丸瓦                  | 右側縁部残、狭端部・広端部欠失。                   | 凹面                                                 | 布目痕。側面は粘土板切り離し後、面取り。                                | 凸面                                | ナデにより叩き目消す。                |                         |                                      | 良    | 縞赤・白紋0.2～0.5mm・赤黒紋0.5～1.0mm微量。黒紋0.2～0.3mm少量。                  | 10.3                                               | 7.4  | 1.6 |     |
|     |     | 5     | 一括 丸瓦                  | 側縁欠失、端部片面のみ残。<br>すい、広端が欠損がわかる(すい)。 | 凹面                                                 | 布目痕。                                                | 凸面                                | タテ方向のナデ。                   | 端面、ヘラケズリ。               |                                      |      | やや不良                                                          | 縞赤・白紋0.2～0.4mm微量。黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。赤黒紋0.5～2.0mm少量。 | 5.8  | 6.2 | 1.6 |
| 一括  | 6   | 一括 平瓦 | 側縁・端部全て欠失。             | 凹面                                 | 布目痕。                                               | 凸面                                                  | 縦目痕(左横り)。                         |                            |                         |                                      | 良    | 縞赤・白紋0.2～0.3mm・赤黒紋0.5～1.0mm微量。黒紋0.3～0.5mm少量だが均等。              | 5.8                                                | 6.9  | 2.6 |     |
|     | 7   | 一括 平瓦 | 左側面、及び広端部側部残。          | 凹面                                 | 布目痕確認できず、跡面不明瞭。                                    | 凸面                                                  | 一部、縦目叩き痕現存か、跡面不明瞭。                | 側縁・端面、ヘラケズリ。               |                         |                                      | やや不良 | 縞赤・白紋0.3～0.5mm少量。黒紋0.2～0.4mm少量。                               | 9.4                                                | 10.0 | 2.5 |     |
|     | 14G | 2     | 覆土 丸瓦                  | 側縁・端部全て欠失。                         | 凹面                                                 | 布目痕。                                                | 凸面                                | ナナメ及び横方向のナデ。               |                         |                                      | 良    | 縞赤・白紋0.2～1.0mm少量だが均等。黒紋0.2～0.5mm少量。赤黒紋0.3～0.5mm微量。            | 5.7                                                | 6.3  | 1.8 |     |
| 一括  | 3   | 覆土 平瓦 | 側縁・端部全て欠失。             | 凹面                                 | 布目痕。                                               | 凸面                                                  | 縦目叩き痕跡(左横り)。5cm巾に7筋。一部にナメタ部あり。    |                            |                         | N5.0灰色                               | 良好   | 縞赤・7.0mm大の長石粒・黒石粒少量混入。                                        | 12.3                                               | 6.2  | 1.8 |     |
|     | 6   | 一括 丸瓦 | 側縁・端部全て欠失。             | 凹面                                 | 布目痕。                                               | 凸面                                                  | ナデ。                               |                            |                         | 凸面10YR6/6灰黄褐色<br>凸面10YR6/7極灰褐色       | 良    | 縞赤・白紋0.3～0.5mm・黒紋0.3～0.3mm少量だが均等。黒紋0.3～1.0mm微量。               | 6.8                                                | 5.1  | 1.8 |     |
|     | 7   | 一括 平瓦 | 左側縁部残。                 | 凹面                                 | 布目痕、瓦より一回り小さい布目。凸部全一枚作りか。広端部はコーナー部において、布を互のに斜め痕あり。 | 凸面                                                  | 縦目叩き痕(左横り)。5cm四方6条×7筋。一部ナデ部ナデ痕あり。 | 側縁部、ヘラケズリ。                 |                         | 凹面7.5YR7/6褐色<br>凸面7.5YR7/3Lぶい・褐色     | 良    | 縞赤・白紋0.3～0.5mm少量だが均等。黒紋0.2～0.4mm均等。赤黒紋0.3～1.0mm少量。            | 8.5                                                | 6.9  | 2.3 |     |
| 一括  | 8   | 一括 平瓦 | 右側縁部1/3残。              | 凹面                                 | 布目痕。布目が一回り小さい。凸磨台一枚作りか。                            | 凸面                                                  | 長方形格子目(8×6mm)叩き痕。                 | 側縁部、ヘラケズリ。                 |                         | 凹面5YR7/6褐色<br>凸面5YR6/7極灰褐色           | 良    | 縞赤・白紋0.3～0.5mm少量。赤黒紋0.5～0.8mm少量。長石粒0.3mm少量。                   | 10.4                                               | 8.7  | 2.3 |     |
|     | 4G  | 15    | 一括 平瓦                  | 右側縁及び狭端部残、左側縁は粘土板継ぎ目で調整。           | 凹面                                                 | 布目痕。                                                | 凸面                                | 縦目叩き痕(左横り)。5cm巾に10条。摩耗著しい。 |                         | 2.5YR1/灰白色                           | 良    | 縞赤・白紋0.2～0.5mm・黒紋0.2～0.3mm少量。黒紋0.2～0.3mm少量。                   | 11.8                                               | 6.9  | 2.0 |     |
|     | 4G  | 16    | 一括 平瓦                  | 右側縁・側面全て欠失。凸面中央は、凸形に開れている。何かに再利用か？ | 凹面                                                 | ナデ？摩耗著しい。                                           | 凸面                                | 縦目叩き痕(左横り)。5cm巾に10条。摩耗著しい。 | 不良                      | 5YR6/8褐色                             | 不良   | 縞赤・白紋0.2～0.5mm・黒紋0.2～0.3mm少量。黒紋0.2～0.3mm少量。                   | 9.6                                                | 11.4 | 2.9 |     |
| 一括  | 3   | 覆土 丸瓦 | 左側縁部一部残。               | 凹面                                 | 布目痕あり。一部ナデ調整。                                      | 凹面                                                  | ナデ(タテ方向)調整。下端部切り離し後面取り。           | 側縁部、ナデによる調整。               |                         | 凸面5YR4/2にぶい・赤褐色<br>凸面2.5YR4/4にぶい・赤褐色 | 良好   | 縞赤・白紋0.2～0.5mm・黒紋0.1～0.3mm少量だが均等。                             | 9.7                                                | 8.3  | 2.7 |     |
|     | 4   | 一括 丸瓦 | 右側縁部分のみ残(タテ方向)。側縁部は欠失。 | 凹面                                 | 左側一部に布目痕あり。瓦より一回り小さい布目。凸部一枚作りか。                    | 凸面                                                  | タテ方向のナデにより叩き目消す。                  |                            | 良                       | 凸面N5.0灰色<br>凸面7.5YR6/7極灰褐色           | 良    | 縞赤・白紋0.2～0.3mm少量。                                             | 6.0                                                | 4.2  | 2.7 |     |
|     | 1T  | 1     | 一括 平瓦                  | 広端部のみ残。                            | 凹面                                                 | 布目痕。布端部に溝あり。                                        | 凸面                                | 縦目叩き痕(左横り)。5cm巾に9条。        |                         | N6.0灰色                               | 良    | 縞赤・黒紋0.2～0.5mm微量。白紋0.1～0.3mm少量。                               | 5.5                                                | 5.8  | 1.7 |     |
| 一括  | 13  | 一括 丸瓦 | 狭端部のみ残。他は欠失。           | 凹面                                 | 布目痕。1cm巾に縞5本×縞5本。                                  | 凸面                                                  | ナデ(横方向)。                          | 狭端部、ナデ。                    |                         | N7.0灰色                               | 良    | 縞赤・黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.5mm少量。                                 | 4.4                                                | 4.6  | 2.3 |     |
|     | 3T  | 14    | 一括 丸瓦                  | 狭端部のみ残。他は欠失。                       | 凹面                                                 | 布目痕。わずかに残る。                                         | 凸面                                | ナデ。狭端部ナデ。                  |                         | 凸面5Y4/1灰色<br>凸面7.5YR7/6褐色            | 良    | 縞赤・黒紋0.2～0.5mm少量。白紋0.5～1.0mm・赤黒紋0.5～1.0mm微量。                  | 7.0                                                | 4.1  | 1.8 |     |
|     | 3T  | 15    | 一括 丸瓦                  | 狭端部のみ残。他は欠失。                       | 凹面                                                 | 布目痕。1cm巾に縞6本×縞5本。布を留めた穴が2カ所あり。瓦より一回り小さい布目。凸磨台一枚作りか。 | 凸面                                | 横方向のヘラケズリ及びナデ。             | 狭端部、ヘラケズリ。              | 7.5YR5/4 にぶい・褐色                      | 良    | 縞赤・黒紋0.1～0.3mm少量。白紋0.1～1.0mm均等。                               | 5.2                                                | 5.1  | 1.5 |     |
| 一括  | 16  | 一括 丸瓦 | 広端部？のみ残。他は欠失。          | 凹面                                 | 布目痕。                                               | 凸面                                                  | ナデ。(縦方向)                          |                            | 良                       | 凸面5Y7/1灰白色<br>凸面10YR7/3Lぶい・黄褐色       | 良    | 縞赤・黒紋0.2～0.4mm・白紋0.5～1.0mm少量。                                 | 3.1                                                | 4.7  | 1.7 |     |
|     | 3T  | 17    | 一括 丸瓦                  | 右側縁部のみ残。                           | 凹面                                                 | 布目痕。1cm巾に縞6本×縞6本。側縁部付近巾1cm程の面取り。                    | 凸面                                | ナデ(縦方向)。                   |                         | 5YR6/8褐色                             | 良    | 縞赤・黒紋0.1～0.3mm・小石粒2～3mm少量だが均等。黒紋0.1～0.2mm・赤黒紋0.3～0.5mm微量。     | 5.7                                                | 5.4  | 1.9 |     |
|     | 3T  | 18    | 一括 丸瓦                  | 左側縁部のみ残。                           | 凹面                                                 | 布目痕。1cm巾に縞5本×縞4本。                                   | 凸面                                | ナデ。                        | 左側縁部、ヘラケズリ及び<br>ひヘラケズリ。 | 10YR4/3にぶい・黄褐色                       | 良    | 縞赤・黒紋0.1～0.3mm・白紋0.2～0.4mm・小石粒1.0～3.0mm少量。                    | 4.6                                                | 4.8  | 1.2 |     |
| 一括  | 3T  | 19    | 一括 丸瓦                  | 全て欠失。                              | 凹面                                                 | 布目痕。                                                | 凸面                                | ナデ。一部ヘラケズリか。               | やや不良                    | 凸面10YR6/3にぶい・黄褐色<br>凸面2.5Y5/1明暗灰色    | やや不良 | 縞赤・黒紋0.1～0.2mm少量。白紋0.2～0.4mm少量だが均等。黄褐色0.2～0.3mm微量。            | 5.2                                                | 9.0  | 2.0 |     |
|     | 3T  | 20    | 一括 丸瓦                  | 全て欠失。                              | 凹面                                                 | 布目痕。                                                | 凸面                                | ナデ。                        | 良                       | 凸面7.5YR8/6浅黄褐色<br>凸面7.5YR7/6褐色       | 良    | 縞赤・白紋0.2～1.0mm微量。赤黒紋1.0～2.0mm少量だが均等。                          | 6.0                                                | 4.0  | 1.7 |     |
|     | 3T  | 21    | 一括 丸瓦                  | 狭端・広端・両側縁部欠失。                      | 凹面                                                 | 布目痕。僅かに残る。                                          | 凸面                                | ナデ。                        | やや不良                    | 凸面7.5YR7/4にぶい・褐色<br>凸面7.5YR7/1明暗灰色   | やや不良 | 縞赤・黒紋0.1～0.2mm・白紋0.2～0.3mm微量。白色針状物0.1mm微量。赤黒紋0.2～1.0mm少量だが均等。 | 6.1                                                | 6.2  | 2.6 |     |
| 一括  | 3T  | 22    | 一括 丸瓦                  | 全て欠失。                              | 凹面                                                 | ナデ。一部斜めのヘラケズリ。                                      | 凸面                                | ナデ。                        | やや不良                    | 7.5YR5/4 にぶい・褐色                      | やや不良 | 縞赤・黒紋0.2～0.4mm少量。白紋0.2～0.5mm少量だが均等。黄褐色0.2～0.3mm微量。            | 9.5                                                | 5.6  | 1.6 |     |
|     | 3T  | 23    | 一括 丸瓦                  | 全て欠失。                              | 凹面                                                 | 布目痕。                                                | 凸面                                | ナデ。                        | 良                       | 凸面10YR8/2灰白色<br>凸面10YR8/3灰黄褐色        | 良    | 縞赤・黒紋0.3～0.5mm少量。白紋0.2～0.4mm・赤黒紋0.2～0.3mm微量。                  | 8.3                                                | 5.0  | 1.4 |     |



|      |    |    |    |     |                        |    |                                   |    |                                  |  |  |           |                                 |      |                                                                  |      |      |     |
|------|----|----|----|-----|------------------------|----|-----------------------------------|----|----------------------------------|--|--|-----------|---------------------------------|------|------------------------------------------------------------------|------|------|-----|
| 坊ヶ谷C | 3T | 24 | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | ナデ。(横方向分)。                       |  |  |           | 5YR4/4にぶい赤褐色                    | やや不良 | やや粗。黒粒0.2~0.5mm少量だが均等。白粒0.1~0.2mm微量。                             | 4.7  | 5.3  | 1.7 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 25 | 一括 | 丸瓦  | 端部、側縁全て欠失。             | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | ナデ。                              |  |  |           | 凸面2.5YR8/4黄褐色<br>凹面2.5YR7/6褐色   | 良    | やや粗。黒粒0.1~0.2mm少量。白粒0.2~0.4mm。赤褐粒0.1~0.2mm微量。                    | 4.1  | 6.7  | 2.5 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 26 | 一括 | 平瓦か | 端部、側縁全て欠失。             | 凹面 | 布目直か。                             | 凸面 | 格子向き目直か。                         |  |  |           | 凸面2.5YR8/1灰白色<br>凹面5YR8/1灰白色    | 良好   | 密。黒粒0.2~0.4mm。赤褐粒0.1~0.2mm少量。白色針状物0.1~0.2mm極めて微量。                | 6.6  | 5.8  | 3.0 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 27 | 一括 | 平瓦  | 広端部一部残存か。他は欠失。         | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 凹面10YR7/2にぶい黄褐色<br>凸面5YR6/6褐色   | 良    | 密。赤褐粒0.1~0.2mm微量。白粒0.1~0.3mm微量。                                  | 4.6  | 3.2  | 2.2 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 28 | 一括 | 平瓦  | 右側縁部一部残。他は欠失。          | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 凹面5Y7/1灰白色<br>凸面2.5Y7/2灰黄色      | 良    | 密。黒粒0.1~0.3mm。白粒0.2~0.5mm少量。                                     | 4.6  | 3.6  | 2.1 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 29 | 一括 | 平瓦  | 広端部、左側縁部一部残。他は欠失。      | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。5cm巾に5条。              |  |  |           | 凹面5YR6/8褐色<br>凸面5YR8/3緑褐色       | 良    | 密。黒粒0.1~0.3mm少量だが均等。白粒0.1~0.2mm。小石粒2.0~3.0mm少量。                  | 6.2  | 5.3  | 1.8 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 30 | 一括 | 平瓦  | 両端、側縁全て欠失。             | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。5cm巾で7条。              |  |  |           | 凹面10R6/6赤褐色<br>凸面7.5YR7/6褐色     | 良    | 密。黒粒0.1~0.3mm。白粒0.2~0.4mm少量。                                     | 5.1  | 10.2 | 2.5 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 31 | 一括 | 平瓦  | 両端部欠失。左側縁部のみ残。         | 凹面 | 布目直わずかに残る。                        | 凸面 | 縄目向き直(右燃り)。                      |  |  |           | 凹面5YR6/8褐色<br>凸面5YR7/8褐色        | やや不良 | やや粗。黒粒0.2~0.5mm。白粒0.1~0.2mm微量。                                   | 7.5  | 4.3  | 2.0 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 32 | 一括 | 平瓦  | 両端部欠失。                 | 凹面 | 器面不明瞭。                            | 凸面 | 右側縁部付近。約1cm巾面取り。                 |  |  |           | 10YR6/1褐色                       | 良好   | 緻密。黒粒0.1~0.2mm微量。白粒0.2~0.5mm少量だが均等。                              | 5.1  | 4.0  | 2.6 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 33 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。5cm巾に9条×8節。           |  |  |           | 2.5Y7/1灰白色                      | 良    | 密。黒粒0.1~0.4mm。黄褐粒0.2~1.0mm少量。白粒0.2~0.5mm少量だが均等。                  | 12.4 | 7.2  | 2.6 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 34 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 10YR7/2にぶい黄褐色                   | 良    | 密。赤褐粒0.5~1.5mm。小石粒1.0~2.0mm少量。白粒0.2~0.7mm少量だが均等。                 | 5.8  | 4.9  | 2.4 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 35 | 一括 | 平瓦か | 凸面殆ど残存面なし。他も全て欠失。      | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 殆ど残存面なし。                         |  |  |           | 7.5Y6/1灰色                       | 良    | 密。黒粒0.1~0.3mm少量。白粒0.2~0.5mm少量だが均等。                               | 3.9  | 4.5  | 1.6 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 36 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 凹面2.5Y7/1灰白色<br>凸面5YR6/6褐色      | 良    | 凹面。黒粒0.1~0.3mm少量。白粒0.2~0.5mm少量だが均等。赤褐粒0.5~2.0mm微量。               | 4.9  | 4.1  | 1.6 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 37 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 5Y7/1灰白色                        | 良    | 密。黒粒0.1~0.2mm微量。白粒0.2~1.0mm少量だが均等。                               | 3.0  | 5.0  | 2.1 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 38 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 長方形格子目(8×6mm)向き直。                |  |  |           | 凹面2.5YR6/8褐色<br>凸面5YR6/6褐色      | やや不良 | やや粗。黒粒0.4~1.5mm少量だが均等。白粒0.5~2.0mm少量。小石粒2.0~3.0mm微量。              | 4.1  | 6.5  | 2.0 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 39 | 一括 | 平瓦  | 狭端部及び左側縁部残。            | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 長方形格子目(14×8mm)向き直。側縁部付近。面取り成形。   |  |  |           | 10YR7/1灰白色                      | 良    | 密。白粒0.2~0.4mm少量だが均等。白色針状物0.1~0.2mm微量。                            | 9.7  | 6.1  | 2.4 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 40 | 一括 | 平瓦  | 広端部のみ残。他は欠失。           | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 長方形格子目(14×10mm)向き直。              |  |  |           | 2.5YR7/6褐色                      | 良    | 緻密。黒粒0.2~0.5mm少量。白粒0.1~0.4mm微量。                                  | 7.8  | 9.3  | 2.1 |
| 坊ヶ谷C | 3T | 41 | 一括 | 平瓦  | 両端、両側全て欠失。             | 凹面 | 布目直わずかに残る。                        | 凸面 | 長方形格子目(8×6mm)向き直。                |  |  |           | 凹面2.5Y6/1灰白色<br>凸面5YR8/1灰白色     | 良    | 緻密。黒粒0.1~0.2mm少量。白粒0.2~0.4mm微量。                                  | 6.5  | 7.4  | 2.6 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 6  | 一括 | 丸瓦  | 左側縁部のみ残。他は欠失。          | 凹面 | 布目直。1cm巾に縦6本×横7本。側縁部付近巾9mmの面取り。   | 凸面 | 縦方向ウケケズ(ノ)のちへナナナデ。側縁部付近16mmの面取り。 |  |  | 側縁部、ヘラナデ。 | 凸面2.5YR6/6褐色<br>凹面7.5YR7/4褐色    | 良    | 密。黒粒0.1~0.2mm均等。白粒0.2~0.5mm少量だが均等。赤褐粒0.5~1.0mm微量。                | 7.4  | 7.0  | 1.6 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 7  | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縦方向ナデ。                           |  |  |           | 5YR6/6褐色                        | 良    | 密。黒粒0.1~0.3mm少量。白粒0.2~0.4mm微量。                                   | 8.0  | 8.0  | 1.8 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 8  | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | ナデ。                              |  |  |           | 凸面10YR7/3にぶい黄褐色<br>凹面2.5Y7/2灰黄色 | 良    | 密。黒粒0.1~0.2mm少量だが均等。白・赤褐粒0.2~0.3mm微量。                            | 4.7  | 6.8  | 2.0 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 9  | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。1cm巾に縦5本×横5本。狭端面付近に布仲溝の痕跡ありか。 | 凸面 | ナデ。                              |  |  |           | 凸面5Y7/1灰白色<br>凹面10YR7/3にぶい黄褐色   | 良    | 密。黒粒0.2~0.3mm少量。白粒0.2~0.5mm微量。                                   | 8.6  | 7.0  | 1.9 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 10 | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | ナデ。                              |  |  |           | 凸面2.5Y7/2灰白色<br>凹面7.5YR7/4にぶい褐色 | 良    | 密。黒粒0.1~0.2mm少量。白粒0.1~0.2mm。赤褐粒0.2~0.5mm微量。                      | 4.5  | 3.7  | 2.0 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 11 | 一括 | 丸瓦  | 左側縁部のみ残。他は欠失。          | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | ナデ。                              |  |  | 側縁部、ナデ。   | 10YR8/1灰白色                      | 良    | 密。黒粒0.1~0.2mm少量だが均等。白粒0.2~0.4mm少量。白粒0.2~0.3mm微量。                 | 5.5  | 4.0  | 1.9 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 12 | 一括 | 丸瓦か | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | ナデ。                              |  |  |           | 7.5YR7/6褐色                      | 不良   | 密。黒粒0.2~0.4mm少量。白粒0.2~0.3mm微量。                                   | 7.4  | 4.8  | 2.0 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 13 | 一括 | 平瓦  | 広端部残存。右側縁部ごく一部残か。他は欠失。 | 凹面 | 布目直わずかに残る。凸型一枚作りか。                | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 凹面5YR5/6明赤褐色<br>凸面7.5YR7/4黄褐色   | 不良   | やや粗。黒粒0.1~0.2mm均等。白粒0.2~0.5mm少量だが均等。赤褐粒0.5~2.0mm少量。              | 8.1  | 5.2  | 2.4 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 14 | 一括 | 平瓦  | 左側縁部若干残。他は欠失。          | 凹面 | 布目直わずかに残る。                        | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。                      |  |  |           | 凹面10YR7/4にぶい黄褐色<br>凸面5Y7/1灰白色   | 良    | やや粗。黒粒0.2~0.4mm少量だが均等。白粒0.2~0.5mm。赤褐粒0.5~2.0mm少量。石英粒0.5~3.0mm微量。 | 9.3  | 9.5  | 2.2 |
| 坊ヶ谷C | 7G | 15 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                  | 凹面 | 布目直。                              | 凸面 | 縄目向き直(左燃り)。5cm巾に9条×8節。           |  |  |           | 凹面2.5Y7/1灰白色<br>凸面10YR7/1灰白色    | 良    | 密。黒粒0.2~0.4mm。白粒0.1~0.3mm少量だが均等。                                 | 8.0  | 4.5  | 2.0 |

|      |     |    |    |     |                      |                                                                               |                                                                               |                                                                  |                               |              |  |                                 |      |                                                                   |     |      |              |
|------|-----|----|----|-----|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------|--|---------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------|-----|------|--------------|
| 坊ヶ谷C | 7G  | 16 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。器面不明瞭。                                                                    | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm四方10条×8筋。       |              |  | 凹面2.5Y7/2灰白色<br>凸面10YR7/3にぶい黄褐色 | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm少量。白。赤褐色数0.5～1.0mm微量。                               | 5.4 | 5.6  | 1.6          |
| 坊ヶ谷C | 7G  | 17 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 長方形格子目(8×4mm)向き稜。             |              |  | 7.5Y8/1灰白色                      | 良    | 密。黒色数0.1～0.3mm少量。白色数0.1～0.2mm微量。                                  | 8.1 | 7.6  | 2.3          |
| 坊ヶ谷C | 10G | 1  | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | ナデ。                                                                           | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | 7.5Y6/1灰色                       | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm少量。白色数0.2mm微量。白色針状物0.2mm微量。                         | 3.4 | 4.3  | 1.6          |
| 坊ヶ谷C | 表採  | 21 | 一括 | 瓦葺  | 屋蓋部(隅縁部分)のみ残。        | 上面隅縁部分ナデ。五部分は、基礎付管状工具による押し出しによって表現している。第1筋の長さ9mm程度で強く押し引きされている。第2筋以降の長さ5mm程度。 | 上面隅縁部分ナデ。五部分は、基礎付管状工具による押し出しによって表現している。第1筋の長さ9mm程度で強く押し引きされている。第2筋以降の長さ5mm程度。 | 下面へラ状工具によるへラ開き出しによって、垂木部分を表現している。垂木本と横筋垂木の境界部分もへラ開き出しによって表現している。 |                               |              |  | 上面2.5YR7/6赤褐色<br>下面2.5YR7/6赤褐色  | 良    | 密。黒色数0.3～0.5mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。石炭粒1.0～2.0mm微量。小石粒2.0～4.0mm微量。    | 9.6 | 6.3  | 2.4          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 22 | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | 5YR7/6褐色                        | 良    | 密。黒色数0.5～0.8mm少量。白色数1.0～1.5mm微量。                                  | 9.2 | 6.1  | 2.1          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 23 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部?のみ残。他は欠失。      | 凹面                                                                            | 布目肌。隅縁部付近0.0～10.0mm巾の面取り整形。                                                   | 凸面                                                               | ナデ(縦方向)。                      |              |  | 凸面N6/0灰色<br>凹面N8/0灰白色           | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm微量。白色数0.2～0.5mm微量。                                  | 5.5 | 3.7  | 1.5          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 24 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | 凸面5Y7/4褐色<br>凹面5YR6/8褐色         | やや不良 | やや粗。黒色数0.3～0.6mm少量。白色数0.3～0.3～0.5mm微量。                            | 7.0 | 6.7  | 1.7          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 25 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部僅かに残。他は欠失。      | 凹面                                                                            | 布目肌。やや粗い布目。                                                                   | 凸面                                                               | ナデか。                          |              |  | 2.5YR6/8褐色                      | やや不良 | 密。黒色数0.2～0.3mm均等。白色数0.2～0.5mm少量だが均等。                              | 6.0 | 5.1  | 1.8          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 26 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。かすかに残る。                                                                   | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | 5YR6/8褐色                        | 良    | 密。黒色数0.2～0.5mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.8～1.0mm微量。                  | 4.7 | 6.1  | 1.7          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 27 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 縦方向ナデ。                        |              |  | 2.5Y7/1灰白色                      | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm微量。白色数0.2～0.5mm少量だが均等。                              | 7.5 | 4.5  | 2.0          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 28 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。隅縁部4～8mm巾の面取り。                                                            | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | N3/0暗灰色                         | 良    | 密。黒色数0.1～0.2mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。石炭0.1～0.3mm微量。                    | 6.1 | 5.8  | 1.6          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 29 | 一括 | 丸瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。隅縁部付近8～9mm巾の面取り。                                                          | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | 7.5Y7/4にぶい褐色                    | 良    | 密。黒色数0.2～0.5mm微量。白色数0.2～1.0mm微量。赤褐色数1.0～2.0mmきわめて微量。              | 5.2 | 8.0  | 2.1          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 30 | 一括 | 丸瓦  | 端部。隅縁全て欠失。           | 凹面                                                                            | 布目肌。やや粗い布目。                                                                   | 凸面                                                               | ナデ。                           |              |  | 7.5YR6/6褐色                      | やや不良 | 密。黒色数0.5～1.0mm少量。白色数1.0～2.0mm少量。                                  | 7.2 | 7.1  | 2.1          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 31 | 一括 | 丸瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌かすかに残る。                                                                    | 凸面                                                               | ナデ。一部流し入る。                    |              |  | 凸面2.5YR7/2灰白色<br>凹面2.5YR7/3褐色   | 良    | 密。黒色数0.2～0.4mm少量。白色数0.2～0.5mm微量。赤褐色数0.5～2.0mm少量。                  | 7.1 | 5.2  | 1.8          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 32 | 一括 | 半平瓦 | 瓦当部一部残。他は欠失。凸面も全て欠失。 | 凹面                                                                            | 布目肌。瓦当面付近1cm巾の面取り。                                                            |                                                                  |                               | 一部。隅縁及び垂木あり。 |  | 10YR8/3黄褐色                      | 良    | 密。黒色数0.3～0.8mm少量。白色数0.3～0.5mm少量。赤褐色数0.3～1.0mm微量。                  | 9.0 | 7.7  | 2.4          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 33 | 一括 | 平瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌か。器面不明瞭。                                                                   | 凸面                                                               | 縄目向き稜か。器面不明瞭。                 |              |  | 10Y7/3にぶい黄褐色                    | やや不良 | 密。黒色数0.2～0.5mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.5～1.0mm少量。                  | 4.9 | 5.8  | 1.8          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 34 | 一括 | 平瓦  | 広端部一部残。他は欠失。         | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm幅に12筋。          |              |  | 10YR7/2にぶい黄褐色                   | 良    | 密。黒色数0.1～0.2mm微量。白色数0.2～0.3mm微量。                                  | 8.1 | 5.2  | 3.1          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 35 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm巾に10条。器面不明瞭。    |              |  | 凹面5Y6/1灰色<br>凸面5Y7/1灰白色         | 良    | 密。黒色数0.3～0.8mm微量。白色数0.5～1.0mm微量。赤褐色数0.5～0.8mm少量。銀雲母粒?0.5～1.0mm微量。 | 6.4 | 7.3  | 2.2          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 36 | 一括 | 平瓦  | 右。隅縁部の一部及び広端部の一部残。   | 凹面                                                                            | 布目肌。ほとんど見えず。ナデか。                                                              | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm巾に6筋。           |              |  | 5Y7/1灰白色                        | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.5～1.0mm少量。                  | 6.3 | 7.3  | 2.0          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 37 | 一括 | 平瓦か | 広端部?のみ残。他は欠失。        | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 器面不明瞭。                        |              |  | 10YR8/4黄褐色                      | 良    | 密。黒色数0.2～0.4mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。                                  | 6.7 | 1.7  | 1.4          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 38 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。1cm巾に経5本×緯5本。粗い布。                                                         | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm四方10条×8筋。       |              |  | 凹面5Y6/1灰色<br>凸面2.5Y7/6黄褐色       | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。                                  | 7.9 | 5.2  | 1.7          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 39 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。                   |              |  | 7.5Y5/1灰色                       | 良好   | 密。黒色数0.1～0.3mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.2～0.5mm少量。                  | 8.0 | 5.1  | 2.5          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 40 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm巾で9条。           |              |  | 凹面5Y7/1灰白色<br>凸面5Y6/1灰色         | 良    | 密。黒色数0.1～0.3mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.2～0.5mm少量。                  | 6.7 | 8.5  | 2.5          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 41 | 一括 | 平瓦  | 右。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。1cm巾に経6本×緯6本。隅縁部付近布折り返しの際あり。隅縁部約1cm巾の面取り。                                 | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。                   |              |  | 5Y7/1灰白色                        | 良    | 密。黒色数0.1～0.2mm微量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.1～0.2mm微量。白色針状物0.2mm少量。     | 4.2 | 7.8  | 1.9          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 42 | 一括 | 平瓦  | 隅隅全て欠失。              | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。                   |              |  | N3/0暗灰色                         | 不良   | 粗。黒色数0.2～0.7mm少量。白色数0.2～0.5mm均等。赤褐色数1.0～2.0mm微量。                  | 9.9 | 7.8  | 2.6          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 43 | 一括 | 平瓦  | 狭端部及び右。隅縁部残。         | 凹面                                                                            | 布目肌。1cm巾に経5本×緯4本。粗い布。                                                         | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm四方10筋×7条。にへラナデ。 |              |  | 凹面N4/0灰色<br>凸面N5/0灰色            | 良    | 密。黒色数0.1～0.2mm少量。白色数0.2～0.3mm少量。赤褐色数0.2～0.5mm少量。                  | 8.1 | 6.7  | 1.5          |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 44 | 一括 | 平瓦  | 左。隅縁部のみ残。他は欠失。       | 凹面                                                                            | 布目肌。隅縁部付近5mm巾の面取り。                                                            | 凸面                                                               | 縄目向き稜(左燃り)。5cm巾で6条。           |              |  | 5Y7/1灰白色                        | 良    | 密。黒色数0.2～0.8mm微量。白色数0.2～1.0mm少量だが均等。                              | 8.5 | 4.7  | 3.1<br>接合面あり |
| 坊ヶ谷C | 一括  | 45 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                | 凹面                                                                            | 布目肌。                                                                          | 凸面                                                               | 正格子(10×10mm)向き稜。              |              |  | 凹面2.5Y7/2灰白色<br>凸面10YR8/3黄褐色    | 良    | 密。黒色数0.2～0.3mm少量。白色数0.2～0.5mm少量。赤褐色数0.3～0.5mm少量。小石粒1.0～2.0mm少量。   | 5.8 | 10.7 | 2.2          |

|       |     |    |    |     |                             |                                                          |                             |                               |               |  |                                   |      |      |      |                   |
|-------|-----|----|----|-----|-----------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------|--|-----------------------------------|------|------|------|-------------------|
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 46 | 一括 | 平瓦  | 左側縁部のみ残、他は欠失。               | 凹面 布目直を縦方向のナデで消している。布目奥若干残る。左側縁部付近0.3~1.0cm巾の面取り。左側縁部ナデ。 | 凸面 正格子(11×11mm)目吹き直。        |                               |               |  | 10YR7/4Cにぶい、黄褐色                   | 良    | 9.2  | 11.1 | 2.7               |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 47 | 一括 | 平瓦  | 左側縁部のみ残、他は欠失。               | 凹面 布目直。側縁部付近2.5cm巾の面取り。ナデ。                               | 凸面 長方形格子目(9mm×5mm)吹き直。      | 側縁部、ヘラケズリ及びヘナナデ。              |               |  | N8 0灰白色                           | 良    | 8.1  | 11.5 | 3.2               |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 48 | 一括 | 平瓦  | 左側縁部のみ残、他は欠失。               | 凹面 布目直。側縁部付近1cm巾の面取り。                                    | 凸面 長方形格子目(10×6mm)吹き直。       | 側縁部、ナデ。                       |               |  | 凹面10YR7/4にぶい、黄褐色<br>凸面5YR7/1暗灰白色  | 良    | 7.8  | 5.5  | 1.7               |
| 坊ヶ谷 C | 一括  | 49 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 長方形格子目(12×8mm)吹き直。       |                               |               |  | 凹面5Y6/1灰白色<br>凸面5Y7/1灰白色          | 良    | 7.5  | 7.3  | 2.2               |
| 坊ヶ谷 D | 001 | 3  | 覆土 | 軒瓦  | 瓦当部のみ残、単葉蓮華文か。              |                                                          |                             |                               | 瓦当部、単葉蓮華の一部残。 |  | 2.5Y7/1 灰白色                       | 良    | 4.5  | 1.7  | 5.7<br>隅角式系<br>み。 |
| 坊ヶ谷 D | 001 | 4  | 覆土 | 丸瓦  | 狭葉面及び左側縁部一部残。               | 凹面 布目直か、狭葉面端部、1cm幅の面取り整形。左側縁部付近、端8mm程度。の面取り整形。           | 凸面 ナデ調整。                    |                               |               |  | 10YR7/4 褐色                        | 不良   | 6.7  | 1.7  | 7.7               |
| 坊ヶ谷 D | 002 | 4  | 床直 | 平瓦  | 左側縁部のみ残、他は欠失。               | 凹面 布目直。左側縁部付近1cm巾の面取り。                                   | 凸面 長方形格子目(10mm×7mm)吹き直。     | 左側縁部、ナデ。                      |               |  | 5Y7/1灰白色                          | 良    | 5.0  | 4.7  | 2.0               |
| 坊ヶ谷 D | 002 | 5  | 床直 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 長方形格子目(10mm×6mm)吹き直。     |                               |               |  | 5Y7/1灰白色                          | 良    | 7.5  | 2.6  | 7.0               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 3  | 床直 | 丸瓦  | 右側縁部のみ残。                    | 凹面 布目直。わずかに残る。                                           | 凸面 縦方向ナデ。                   | 側縁部、ナデ。                       |               |  | 5YR6/0明茶褐色                        | 不良   | 2.6  | 6.1  | 2.1               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 4  | 床直 | 丸瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 縦方向のナデによって布目消すか。                                      | 凸面 ヘラケズリ及びナデ。               |                               |               |  | 2.5Y7/1灰白色                        | 良    | 5.8  | 4.8  | 1.9               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 5  | 覆土 | 軒平瓦 | 瓦当部、右凸面隅部のみ残、他は凹凸面を含めて全て欠失。 |                                                          |                             | 外区、内区の凸面及び珠文、右隅部分に唐草の一単位が見える。 |               |  | 7.5YR7/6褐色                        | 良    | 5.6  | 5.9  | 1.9               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 6  | 床直 | 平瓦  | 広葉面及び左側縁部一部残。               | 凹面 布目直。左側縁部手前に布縦直あり。凸型台一枚作りか。                            | 凸面 長方形格子目(9mm×5mm)吹き直。      | 側縁部、ナデ。左側縁部、ナデ。               |               |  | 凹面10YR6/2灰黄褐色<br>凸面10YR3/2灰黄褐色    | 良    | 11.0 | 6.4  | 2.1               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 7  | 覆土 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 縄目吹き直(左燃り)。5cm幅に10路。     |                               |               |  | 凹面7.5YR7/6褐色<br>凸面10YR7/2にぶい、黄褐色  | やや不良 | 7.7  | 7.6  | 2.2               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 8  | 床直 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。1cm四方6(縦)×6本(横)。                                  | 凸面 縄目吹き直(左燃り)。5cm四方7条×0路。   |                               |               |  | 2.5Y6/1 黄灰色                       | 良    | 6.5  | 6.7  | 2.4               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 9  | 床直 | 平瓦  | 狭葉面及び左側縁部一部残。               | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 長方形格子目(14mm×11mm)吹き直。    |                               |               |  | 凹面2.5Y7/1灰白色<br>凸面5Y6/1灰白色        | 良    | 14.2 | 10.7 | 2.2               |
| 坊ヶ谷 D | 003 | 10 | 床直 | 平瓦  | 右側縁部一部残。                    | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 長方形格子目(9mm×5mm)吹き直。      |                               |               |  | 10YR8/2 灰白色                       | 良    | 13.3 | 7.8  | 2.1               |
| 坊ヶ谷 D | 004 | 4  | 床直 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。かすかに残る。                                           | 凸面 縄目吹き直(左燃り)か、器面不明瞭。       |                               |               |  | 凹面7.5YR7/4にぶい、黄褐色<br>凸面7.5YR6/6褐色 | 不良   | 6.1  | 6.8  | 2.4               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 16 | 一括 | 丸瓦  | 右側縁部のみ一部残。                  | 凹面 布目直。側縁部付近3~5cm巾の面取り。                                  | 凸面 ナデ。                      | 側縁部、ナデ。                       |               |  | 凸面10YR7/2にぶい、黄褐色<br>凹面N3/0灰白色     | 良    | 6.4  | 6.2  | 1.8               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 17 | 一括 | 丸瓦  | 左側縁部のみ残。                    | 凹面 布目直。1cm巾に約9本×横6本。                                     | 凸面 ナデ。                      | 側縁部、ナデ。                       |               |  | 凸面2.5Y7/2灰黄褐色<br>凹面2.5Y7/1灰白色     | 良    | 5.4  | 7.5  | 2.1               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 18 | 一括 | 丸瓦  | 左側縁部のみ残。                    | 布目直か、器面不明瞭。                                              | 凸面 ナデ。                      | 側縁部、ナデ。                       |               |  | 凸面10YR7/4にぶい、黄褐色<br>凹面2.5Y7/2灰黄褐色 | やや不良 | 7.2  | 5.9  | 1.8               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 19 | 直上 | 丸瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。1cm巾縁糸5本。                                         | 凸面 ナデ。                      |                               |               |  | 凸面N6/0灰白色<br>凹面N3/0灰白色            | 良    | 3.3  | 4.3  | 2.7               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 20 | 一括 | 丸瓦  | 狭葉面及び右側縁部一部残。               | 凹面 丁寧なナデ。側縁部5cm巾の面取り。全体的に丁寧なナデ。                          | 凸面 丁寧なナデ。                   | 狭葉面、側縁部、ナデ。                   |               |  | 2.5Y7/1灰白色                        | 良    | 4.7  | 6.9  | 1.9               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 21 | 一括 | 軒平瓦 | 瓦当部一部残、他は欠失。                | 凹面 布目直。わずかに残る。                                           | 凸面 器面不明瞭。格子目吹き直面へに残存か。      |                               |               |  | 7.5YR7/4にぶい、黄褐色                   |      | 7.9  | 5.3  | 3.4               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 22 | 一括 | 平瓦  | 狭葉面及び右側縁部一部残。               | 凹面 布目直。狭葉部付近2cm巾の面取り。                                    | 凸面 縄目吹き直(左燃り)。5cm四方7条×0路。   | 狭葉部、ヘラケズリのうちヘナナデ。右側縁部、ナデ。     |               |  | N3/0暗灰色                           | 良    | 9.2  | 7.9  | 2.1               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 23 | 一括 | 平瓦  | 狭葉面及び右側縁部一部残。               | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 縄目吹き直(左燃り)。5cm巾で9条。      |                               |               |  | 凹面N6/0灰白色<br>凸面5Y6/1灰白色           | 良    | 4.1  | 5.7  | 1.8               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 24 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直？                                                  | 凸面 縄目吹き直(左燃り)。5cm巾で15条×11路。 |                               |               |  | 凹面10YR7/4にぶい、黄褐色<br>凸面7.5YR7/1灰白色 | 良    | 7.1  | 8.5  | 3.2               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 25 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 縄目吹き直(左燃り)か、器面不明瞭。       |                               |               |  | 凹面2.5Y6/2灰黄褐色<br>凸面2.5Y6/1暗褐色     | やや不良 | 7.8  | 6.0  | 1.6               |
| 坊ヶ谷 D | 一括  | 26 | 一括 | 平瓦  | 全て欠失。                       | 凹面 布目直。                                                  | 凸面 縄目吹き直(左燃り)。              |                               |               |  | 2.5Y7/2灰黄褐色                       | やや不良 | 5.0  | 5.8  | 1.8               |



|        |     |    |    |    |                     |  |    |                                   |                                                   |                                  |  |                                      |      |                                                            |     |     |     |  |
|--------|-----|----|----|----|---------------------|--|----|-----------------------------------|---------------------------------------------------|----------------------------------|--|--------------------------------------|------|------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|--|
| 西野 D3  | 046 | 5  | 覆土 | 平瓦 | 全て欠失。               |  | 凹面 | 布目痕。1cm巾に経6本×緯6本。                 | 凸面斜格子目(15×8mm)叩き痕。                                |                                  |  | 凹面7.5YR6/4にぶい褐色<br>凸面2.5Y7/1灰白色      | 不良   | 漆、黒色数0.2～0.4mm少量。白色数0.2～0.8mm少量だが均等。赤褐色数0.3～1.5mm少量。       | 8.5 | 8.5 | 2.3 |  |
| 西野 D3  | 047 | 4  | 覆土 | 平瓦 | 全て欠失。               |  | 凹面 | 布目痕。1cm巾に経7本×緯8本。                 | 凸面縄目叩き痕(行磨り)。                                     |                                  |  | 凹面5YR6/1灰色<br>凸面 NS/0灰色              | 良    | 漆、黒色数0.1～0.2mm少量。白色数0.2～0.5mm少量だが均等。小石粒1.0～1.5mm散在。        | 8.1 | 6.8 | 1.9 |  |
| 西野 D3  | 一括  | 26 | 床直 | 丸瓦 | 広瀬部及び左側縁部一部<br>残。   |  | 凹面 | 布目痕。器面不明瞭。                        | 凸面ナデ。左側縁部付近16mmの面取り。                              | 左側縁部ヘラカズリ、広<br>瀬部ヘラカスリ、ヘラナ<br>デ。 |  | 凸面5Y7/1灰白色<br>凹面10YR6/1褐色            | やや不良 | やや粗。黒色数0.2～0.7mm少量。白色数<br>2.2～1.0mm少量。赤褐色数0.5～1.5mm散<br>在。 | 6.2 | 4.4 | 1.8 |  |
| 西野 D3  | 一括  | 27 | 一括 | 丸瓦 | 全て欠失。               |  | 凹面 | 布目痕かすみに残るか。器面不明瞭。                 | 凸面ナデ。                                             |                                  |  | 凸面7.5Y/1灰色<br>凹面 NS/0褐色<br>凸面 NG/0灰色 | 良    | 漆、黒色数0.1～0.3mm少量。白色数0.2～2.0mm少量だが均等。赤褐色数0.5～2.0mm少量だが均等。   | 7.2 | 6.2 | 2.3 |  |
| 西野 D3  | 一括  | 28 | 床直 | 平瓦 | 全て欠失。               |  | 凹面 | 布目痕。1cm巾に経6本×緯6本。                 | 凸面縄目叩き痕(行磨り)。5cm四方10条×9条。                         |                                  |  | NS/0灰色                               | 良    | 漆、黒色数0.1～0.3mm少量。白色数0.1～1.0mm均等。                           | 6.1 | 6.7 | 2.3 |  |
| 西野 D3  | 一括  | 29 | 覆土 | 平瓦 | 広瀬部のみ残。             |  | 凹面 | 布目痕。1cm巾に経5本×緯6本。広瀬部付近16～7mmの面取り。 | 凸面縄目叩き痕(左磨り)。5cm四方10条×9条。上から別の叩き痕(格子状?)で叩き直しているか。 |                                  |  | NS/0灰色                               | 良好   | 漆、黒色数0.1～0.3mm少量。白色数0.2～0.7mm少量だが均等。小石粒1.0～2.0mm散在。        | 9.6 | 9.2 | 2.0 |  |
| 西野 D3  | 一括  | 30 | 覆土 | 平瓦 | 全て欠失。               |  | 凹面 | 布目痕。                              | 凸面斜格子目(16×14mm)叩き痕。                               |                                  |  | 5YR7/8褐色                             | 良    | 漆、黒色数0.2～0.3mm少量。白色数0.2～0.4mm少量。赤褐色数0.2～0.5mm散在。           | 6.0 | 6.1 | 2.6 |  |
| 西野 A   | 一括  | 2  | 一括 | 丸瓦 | 側面全て欠失。玉縁部分か。       |  | 凹面 | 布目痕あり。                            | 凸面ナデ。                                             |                                  |  | 10YR7/1灰白色                           | 良    | 漆、白色数0.1～0.2mm微量。黒色数0.5～1.8mm少量だが均等。                       | 3.2 | 4.3 | 1.7 |  |
| 西野 A   | 一括  | 3  | 一括 | 丸瓦 | 広瀬面?一部残。縁側は両方とも欠失。  |  | 凹面 | ナデか。                              | 凸面ナデ。                                             |                                  |  | 7.5YR7/6褐色                           | 良    | 漆、白色数0.1～0.2mm微量。黒色数0.1～0.3mm少量。                           | 3.2 | 5.7 | 1.2 |  |
| 宮原 A・B | 一括  | 16 | 一括 | 平瓦 | 狭瀬部のみ一部残。右側縁部のみ一部残。 |  | 凹面 | 布目痕。                              | 凸面縄目痕(左磨り)。                                       |                                  |  | 凹面2.5YR6/8褐色<br>凸面5YR6/8褐色           | 良    | 漆、白色数0.5～0.8mm少量。                                          | 5.7 | 4.6 | 2.4 |  |

第23表 金属器観察表

| 遺跡     | 遺構    | No. | 状況 | 種別     | 材質    | 遺存               | 特徴                        | 単位：cm  |      |      | 重量：g |    |
|--------|-------|-----|----|--------|-------|------------------|---------------------------|--------|------|------|------|----|
|        |       |     |    |        |       |                  |                           | 現存長    | 幅    | 厚さ   | 重量   | 備考 |
| 坊ヶ谷 A2 | 5トレ   | 3   | 覆土 | 板状製品   | 鉄     | 両端部欠失。           | 断面、方形を呈する。                | 11.9   | 5.8  | 5.0  | 46.1 |    |
| 坊ヶ谷 B2 | 一拵    | 5   | 覆土 | 釘      |       | 上端・下端欠失。下半部のみ残存。 | 断面、方形を呈する。                | (4.10) | 0.60 | 0.50 | 4.0  |    |
| 坊ヶ谷 B2 | 一拵    | 6   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端部欠失。           | 断面、方形を呈する。                | 2.60   | 0.70 | 0.60 | 2.4  |    |
| 坊ヶ谷 B2 | 一拵    | 7   | 床直 | 板状鉄製品  | 鉄     | 両端部欠失。           |                           | 4.10   | 2.90 | 0.25 | 12.0 |    |
| 十五沢 E  | 一拵    | 5   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 上半部欠失。           |                           | 4.60   | 0.60 | 1.10 | 5.9  |    |
| 十五沢 E  | 一拵    | 6   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 上半部欠失。           |                           | 3.00   | 0.60 | 0.48 | 2.1  |    |
| 十五沢 E  | 一拵    | 7   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端とも欠失。          |                           | 6.00   | 0.65 | 0.60 | 6.1  |    |
| 西野 B1  | 一拵    | 8   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端部欠失。           |                           | 4.30   | 0.50 | 0.45 | 12.9 |    |
| 西野 B1  | 一拵    | 9   | 一拵 | 釘か     | 鉄     | 両端部欠失。           |                           | 5.10   | 0.60 | 0.20 | 2.7  |    |
| 西野 B2  | 042   | 1   | 覆土 | 煙管     | 真鍮、銅か | 雁首部のみ完存          |                           | 6.20   | 1.00 | 0.90 | 9.9  |    |
| 西野 B2  | 010   | 1   | 一拵 | 円環状鉄製品 | 鉄     | 1/3残。            |                           | 3.00   | 1.40 | 0.25 | 6.2  |    |
| 西野 D1  | 38トレ  | 1   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 下端部のみ欠失。         |                           | 6.10   | 0.50 | 0.50 | 10.4 |    |
| 西野 D1  | 118トレ | 1   | 覆土 | 鎌か     | 鉄     | 切先・茎部欠失。         |                           | 6.80   | 2.10 | 0.25 | 29.6 |    |
| 西野 D1  | 118トレ | 2   | 覆土 | 釘      | 鉄     | 上端・下端ともに欠失。      |                           | 4.60   | 0.45 | 0.30 | 13.8 |    |
| 西野 D1  | 118トレ | 3   | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端とも欠失。          |                           | 2.80   | 0.50 | 0.30 | 1.9  |    |
| 西野 D1  | 一拵    | 22  | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端部欠失。           |                           | 6.40   | 0.95 | 0.70 | 37.2 |    |
| 西野 D1  | 一拵    | 23  | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端部欠失。           |                           | 4.70   | 0.70 | 0.60 | 9.3  |    |
| 西野 D1  | 一拵    | 24  | 一拵 | 釘      | 鉄     | 両端とも欠失。          |                           | 5.60   | 0.50 | 0.50 | 8.3  |    |
| 西野 D2  | 35トレ  | 7   | 覆土 | 釘      | 鉄     | 両端部欠失。           |                           | 3.80   | 0.30 | 0.25 | 3.9  |    |
| 西野 D3  | 002   | 3   | 覆土 | 板状鉄製品  | 鉄     | 周囲全て欠。           | 中央に穿孔あり。釘欠か。              | 2.55   | 2.45 | 0.60 | 2.4  |    |
| 西野 D3  | 050   | 5   | 覆土 | 釘      | 鉄     | 先端部欠失。           |                           | 4.70   | 0.50 | 0.55 | 4.3  |    |
| 西野 D3  | 一拵    | 31  | 一拵 | 釘      | 鉄     | 先端部欠失。           |                           | 3.80   | 0.60 | 0.45 | 1.8  |    |
| 宮原 A・B | 一拵    | 17  | 一拵 | 鉄鎌     | 鉄     | 刃左部分1/3欠損。他は残。   | 内面に細く傾斜し、刃となる。茎は、四面に凹を持つ。 | 1.10   | 0.50 | 0.45 | 13.6 | 磨蝕 |
| 宮原 A・B | 一拵    | 18  | 一拵 | 板状鉄製品  | 鉄     | 両端とも欠失。          | 断面、三角形形状を呈する。             | 3.60   | 2.00 | 0.75 | 12.0 |    |
| 宮原 A・B | 一拵    | 19  | 一拵 | 円環状鉄製品 | 鉄     | ほぼ完存。            |                           | 3.30   | 0.30 | 0.60 | 7.6  |    |

第24表 土製品観察表

| 遺跡     | 遺構   | No. | 状況 | 種別                   | 遺存            | 色調                   | 外面の特徴                                                                                                          | 内面の特徴                                   | 焼成   | 胎土                                                           | 長さ    | 幅    | 厚さ   | 孔径(土師)   | 重量    |
|--------|------|-----|----|----------------------|---------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------|-------|------|------|----------|-------|
| 坊ヶ谷 A2 | 一拵   | 8   | 覆土 | 土鍾                   | 上下端若干欠。       | 7.5YR7/4にぶい橙色        | ユビナデ。ユビオサエ。                                                                                                    | 径5.8×5.5mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 優    | 密・白粒0.2～0.4mm微量・黒粒0.1～0.3mm・赤褐粒0.2～0.4mm少量。                  | 4.60  | 1.40 | 1.35 | 5.8×5.5  | 7.4   |
| 坊ヶ谷 C  | 一拵   | 52  | 一拵 | 土製人形(顔玉)・木筒人形(顔)の類か。 | はは完存          | 5YR5/6明赤褐色一部赤彩顔料付着か？ | 前面 棒状・ヘラ状工具による指突やヘラケズリ。他はヘラ及び指によるナデ。<br>背面 ヘラナデ。(比較的丁寧なナデ)。一カ所、棒による浅い指突。<br>下面 棒(4.5～5.0mm)による穿孔(指突)。棒を入れて使用か？ | 長さ19×幅5mmの棒状工具による穿孔。                    | 良    | 密・黒粒0.1～0.2mm・白粒0.2～0.4mm少量。赤褐粒0.1～0.2mm微量。白色針状物0.2mm少量だが均等。 | 3.20  | 3.20 | 2.70 |          | 24.9  |
| 坊ヶ谷 D  | 一拵   | 32  | 一拵 | 管状土鍾                 | 下端部やや欠損。      | 7.5YR5/3にぶい橙色        | ナデ。一部。ユビオサエ。                                                                                                   | 径5.5×4.5mmの基状の棒状工具に粘土を巻いて引き抜く。          | やや不良 | やや粗・黒粒0.1～0.2mm・白粒0.2～0.4mm少量。                               | 4.20  | 1.25 | 1.25 | 0.55×0.4 | 7.4   |
| 坊ヶ谷 D  | 一拵   | 33  | 一拵 | 管状土鍾                 | 上端・下端部やや欠損。   | 7.5YR6/6橙色           | ナデ。一部。ユビオサエ。                                                                                                   | 径3.8×3.5mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・黒粒0.2～0.7mm少量だが均等。白粒0.2～0.5mm微量。赤褐粒0.5mm・小石粒1.0mm少量。       | 3.80  | 1.20 | 1.15 | 3.8×3.5  | 5.0   |
| 十五沢 E  | 7トレ  | 3   | 覆土 | 管状土鍾                 | 下端部若干欠失。      | 10YR6/4にぶい黄褐色        | ナデ。ユビオサエ。                                                                                                      | 径5.5mm程の基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。    | 良    | 密・黒粒0.2～0.3mm微量・黄褐粒0.5～1.0mm微量。白粒0.2～0.4mm少量。                | 4.60  | 1.45 | 1.40 | 5.5      | 9.1   |
| 西野 B1  | 8トレ  | 1   | 覆土 | 管状土鍾                 | 上端部若干欠失。      | 5Y2/1黒色              | ユビオサエ。ナデ。指頭直残る。                                                                                                | 径9.5×9.0mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・石英粒0.2～0.3mm・白色針状物0.7mm少量。                                 | 5.20  | 1.85 | 1.90 | 9.5×9.0  | 17.0  |
| 西野 B2  | 020  | 1   | 一拵 | 管状土鍾                 | 両端部欠失。        | 2.5YR6/8橙色           | ナデ。一部ユビオサエ。                                                                                                    | 径4.5mm程の基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。    | 良    | 密・黒粒0.1～0.3mm微量。白粒0.2～0.5mm少量。                               | 4.30  | 1.60 | 1.55 | 4.5      | 8.8   |
| 西野 B2  | 029  | 2   | 覆土 | 管状土鍾                 | 上端やや欠失。       | 7.5YR6/6橙色           | ナデ。一部ヘラケズリ。                                                                                                    | 径3.5mm程の基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。    | 良    | 密・黒粒0.1～0.2mm少量。白粒0.2～0.3mm微量・赤褐粒0.2～0.4mm微量。                | 3.20  | 1.00 | 0.95 | 3.5      | 2.9   |
| 西野 D2  | 17トレ | 1   | 一拵 | 管状土鍾                 | 両端部欠失。        | 10YR7/4にぶい黄褐色        | ナデ。ユビナデ。                                                                                                       | 径7.0mm程の基状の棒に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。       | 良    | 密・黒粒0.1～0.3mm少量。白粒0.1～0.2mm微量。                               | 3.40  | 1.80 | 1.80 | 5.0      | 10.6  |
| 西野 D2  | 35トレ | 6   | 覆土 | 土製支脚                 | 下半部欠失。        | 10YR6/3にぶい黄褐色        | ヘラナデ。ナデ。一部ヘラケズリ。                                                                                               |                                         | 良    | やや粗・黒粒0.1～0.4mm・白粒0.2～1.0mm少量。                               | 9.40  | 5.30 | 4.90 |          | 215.9 |
| 西野 D2  | 一拵   | 18  | 覆土 | 管状土鍾                 | 下端部若干欠失。はは完存。 | 7.5YR7/6橙色           | ナデ。                                                                                                            | 径7.0×5.5mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・黒粒0.1～0.4mm少量だが均等。白粒0.2～0.5mm・赤粒0.4～0.7mm微量。               | 5.60  | 2.10 | 2.05 | 7.0×5.5  | 19.1  |
| 西野 D2  | 一拵   | 19  | 覆土 | 管状土鍾                 | 下端部若干欠失。はは完存。 | 2.5YR8/3淡黄褐色         | ナデ。                                                                                                            | 径5.5×4.5mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・黒粒0.1～0.2mm少量。白粒0.3～0.4mm・赤褐粒0.3～0.5mm微量。                  | 4.70  | 1.35 | 1.25 | 5.5×4.5  | 7.2   |
| 西野 D2  | 一拵   | 20  | 覆土 | 管状土鍾                 | 両端部若干欠失。      | 7.5YR6/4にぶい橙色        | ナデ。                                                                                                            | 径7.0×6.8mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・黒粒0.1～0.2mm少量だが均等。白粒0.2～0.4mm・赤粒0.2～0.3mm微量。               | 4.80  | 1.75 | 1.80 | 7.0×6.8  | 12.4  |
| 西野 D2  | 一拵   | 21  | 床直 | 管状土鍾                 | 下端部若干欠失。      | 7.5YR6/6橙色           | ナデ。ユビナデ。                                                                                                       | 径6.0×5.0mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・黒粒0.1～0.2mm・白粒0.1～0.3mm少量。赤褐・石英粒0.3～0.5mm微量。               | 4.30  | 1.55 | 1.60 | 6.0×5.0  | 9.2   |
| 西野 D3  | 001  | 5   | 床直 | 土製支脚                 | 上端・下端部欠失。     | 7.5YR6/6橙色           | ナデ。ヘラナデ。一部ユビオサエ。                                                                                               |                                         | 良    | やや粗・黒粒0.1～0.3mm少量。白粒0.2～0.5mm・小石粒1.0～2.0mm微量。                | 16.70 | 7.35 | 6.00 |          | 519.4 |
| 西野 D3  | 037  | 7   | 一拵 | 管状土鍾                 | 両端部欠失。        | 10YR6/3にぶい黄褐色        | ナデ。ユビナデ。ユビオサエ。                                                                                                 | 径4mm程の基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。      | 良    | 密・黒粒0.2～0.3mm少量。白粒0.2～0.4mm・赤褐粒0.3～0.4mm微量。                  | 3.40  | 1.58 | 1.40 | 4.0×4.0  | 6.5   |
| 西野 C1  | 一拵   | 3   | 覆土 | 管状土鍾                 | 両端部欠失。        | 2.5YR4/6赤褐色          | ナデ。                                                                                                            | 径7mm程の基状の棒に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。         | 良    | 密・黒粒0.1～0.3mm少量。白粒0.2～0.4mm少量。                               | 4.20  | 1.60 | 1.60 | 7.0      | 7.1   |
| 西野 C1  | 一拵   | 4   | 床直 | 管状土鍾                 | 下端部若干欠失。      | 10YR7/4にぶい黄褐色        | ナデ。                                                                                                            | 径5mm程の基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。      | 良    | 密・黒粒0.1～0.3mm少量。白粒0.2～0.5mm微量。                               | 4.20  | 1.50 | 1.40 | 5.0      | 6.9   |
| 宮原 C-D | 一拵   | 2   | 一拵 | 管状土鍾                 | 両端部欠失。        | 10YR7/3にぶい黄褐色        | ナデ。ヘラナデ。ユビオサエ。                                                                                                 | 径6.5×6.0mmの基状の棒状工具に粘土を巻き付け、土鍾状に成形し引き抜く。 | 良    | 密・黒粒0.1～0.2mm・白粒0.2～0.4mm少量だが均等。小石粒2.0～3.0mm微量。              | 4.10  | 1.80 | 1.90 | 6.5×6.0  | 11.7  |

第25表 石器観察表

| 遺跡     | 遺構  | No. | 状況 | 種別 | 遺存                  | 色調                   | 特徴                                                       | 長さ   | 幅    | 厚さ   | 重量(g) | 備考    |
|--------|-----|-----|----|----|---------------------|----------------------|----------------------------------------------------------|------|------|------|-------|-------|
| 単位:cm  |     |     |    |    |                     |                      |                                                          |      |      |      |       |       |
| 重量:g   |     |     |    |    |                     |                      |                                                          |      |      |      |       |       |
| 坊ヶ谷 B2 | 一括  | 8   | 覆土 | 硯か | 上左端部のみ残存。           | N3/0暗灰色              | 表面刀子痕跡著に見える。磨り面の摩耗痕著しい。左下半部は刃部状に鋭利になっている。割れた後に刀子として再利用か。 | 4.2  | 2.7  | 1.0  | 10.3  | 頁岩か   |
| 坊ヶ谷 B2 | 一括  | 9   | 一括 | 石礫 | 基部欠損                | N1.5/0黒色             | 二辺にやや丸み帯びる。基部の剥りが大きい。                                    | 1.85 | 1.60 | 0.40 | 0.8   | 黒曜石   |
| 坊ヶ谷 D  | 一括  | 34  | 一括 | 石礫 | 先端及び基部欠損。           | 2.5Y4/1黄灰色           | 二等辺三角形を呈し、基部の剥りは大きい。                                     | 2.6  | 2.1  | 0.4  | 1.5   | チャートか |
| 坊ヶ谷 D  | 一括  | 35  | 一括 | 砥石 | 裏面及び上方は欠損。          | 10YR8/2灰白色           | 正面及び右側面摩耗著しい。タテ及びナナメ方向の刀子痕あり。仕上げ砥か。                      | 5.7  | 3.4  | 2.8  | 73.4  | 泥岩か   |
| 十五沢 E  | 一括  | 8   | 一括 | 砥石 | 上・下共欠損。             | 7.5YR8/6浅黄褐色         | 左側面部、刀子の研磨痕明瞭。裏面、残存面あるものの研磨痕跡殆どなし。                       | 5.1  | 3.2  | 1.4  | 39.1  | 泥岩質   |
| 西野 B1  | 8トレ | 2   | 覆土 | 砥石 | 上端・下端欠損。            | 7.5Y8/1灰白色           | 外面、側面全て研磨・使用著しい。                                         | 5.2  | 2.6  | 1.9  | 41.2  | 泥岩    |
| 西野 B2  | 046 | 3   | 覆土 | 砥石 | 両端部欠損。              | 7.5Y7/1灰白色、やや青色味がかる。 | 上面刀子の強い研磨痕残る。右・左側面及び裏面擦痕残る。よく摩耗している。                     | 5.50 | 2.95 | 1.45 | 44.3  | 泥岩質   |
| 西野 B2  | 036 | 6   | 覆土 | 砥石 | 上半分及び下端欠損。          | 2.5Y7/1灰白色           | 上面の研磨痕が極めて著しい。一部、刀子の研磨痕見える。                              | 6.30 | 2.60 | 2.75 | 68.9  | 凝灰岩か  |
| 西野 A   | 一括  | 4   | 一括 | 砥石 | 左側縁部わずかに残。他は周囲欠損。   | 10YR8/4浅黄褐色          | 上面の研磨痕が著しい。一部、刀子の研磨痕見える。裏面は、全て欠失。                        | 5.2  | 3.9  | 1.0  | 30.5  | 泥岩    |
| 宮原 A・B | 一括  | 22  | 一括 | 砥石 | 裏面及び側面において摩耗痕著しい。   | 10YR8/3浅黄褐色          | 裏面・右側面の研磨痕明瞭。右側面擦痕残る。                                    | 4.5  | 5.8  | 2.2  | 119.0 | 泥岩    |
| 宮原 A・B | 一括  | 23  | 一括 | 砥石 | 両端欠損。上面及び両側面摩耗痕著しい。 | 10YR8/2灰白色           | 裏面及び両側面研磨痕明瞭。                                            | 4.0  | 2.75 | 1.7  | 33.5  | 泥岩か   |

第26表 銭観察表

| 単位:mm  |     |     |    |        |       |       |       |       |      |     |                        |  |
|--------|-----|-----|----|--------|-------|-------|-------|-------|------|-----|------------------------|--|
| 単位:g   |     |     |    |        |       |       |       |       |      |     |                        |  |
| 遺跡     | 遺構  | No. | 状況 | 名称     | 直径(A) | 直径(B) | 内径(C) | 内径(D) | 銭厚   | 重目  | 備考                     |  |
| 坊ヶ谷 A2 | 4トレ | 2   | 覆土 | 「寛永通寶」 | 22.89 | 23.41 | 18.59 | 1.84  | 0.69 | 1.1 |                        |  |
| 坊ヶ谷 C  | 一括  | 50  | 一括 | 「寛永通寶」 | 22.72 | 22.83 | 18.50 | 1.85  | 1.20 | 2.3 |                        |  |
| 坊ヶ谷 C  | 一括  | 51  | 一括 | 「寛永通寶」 | 24.48 | 24.49 | 19.58 | 19.62 | 1.31 | 2.8 |                        |  |
| 十五沢 F  | 一括  | 1   | 一括 | 「寛永通寶」 | 24.38 | 24.41 | 19.57 | 19.81 | 1.22 | 3.0 | 古寛永か。頂部に径0.15mmの目釘穴あり。 |  |
| 西野 C1  | 一括  | 5   | 一括 | 「寛永通寶」 | 24.39 | 24.42 | 19.01 | 18.82 | 1.29 | 2.7 |                        |  |
| 宮原 A・B | 一括  | 20  | 一括 | 「寛永通寶」 | 23.62 | 23.48 | 18.61 | 18.98 | 1.21 | 2.8 |                        |  |
| 宮原 A・B | 一括  | 21  | 一括 | 「寛永通寶」 | 24.10 | 23.94 | 20.71 | 20.62 | 1.22 | 3.2 |                        |  |
| 花やしき塚  | 一括  | 4   | 一括 | 「十銭貨」  | 21.86 | 21.82 | 19.42 | 19.31 | 1.79 | 1.5 |                        |  |
| 花やしき塚  | 一括  | 5   | 一括 | 「五銭貨」  | 19.08 | 18.99 | 16.62 | 16.72 | 1.82 | 1.2 |                        |  |



第27表 木器觀察表

| 遺跡    | 遺構   | No. | 分析No. | 状況 | 種別         | 樹種   | 木取り  | 遺存                                           | 外面の特徴                                       | 内面の特徴              | 幅      | 厚さ    | 備考                       |        |
|-------|------|-----|-------|----|------------|------|------|----------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------|--------|-------|--------------------------|--------|
| 坊ヶ谷C  | 一括   | 53  | 39    | 一括 | 加工木        | 針葉樹  | 二方矩状 | 側面及び両端部欠。                                    | 刀子によるケズリ痕。                                  |                    | 7.3    | 2.1   | 1.5                      |        |
|       | 西野B1 | 9トレ | 2     | 一括 | 角縁状木製品     | 針葉樹  | 板目   | 下半部欠。                                        | 上面平滑に仕上げられている。台鋸使用か。                        |                    | 7.7    | 2.3   | 1.9                      |        |
| 西野B1  | 9トレ  | 3   | 11    | 一括 | 腕          | ケヤキ  | 横木取り | 底部～体部下半1/3残。                                 | 決下地施す。ロクロ目痕跡明瞭に残る。                          | 決下地施す。ロクロ目痕跡明瞭に残る。 | (9.0)  | 1.9   | 決下地施す。                   |        |
| 西野B2  | 001  | 10  | 4     | 覆土 | 礎版         | クリ   | 板目   | 中央にやや窪んだ所が見えるものの加工痕は全く見えず。                   |                                             | 12.0               | 8.4    | 2.2   |                          |        |
| 西野B2  | 001  | 7   | 1     | 床直 | 木柱         | スダジイ | 芯持丸木 | 底部手拵による成形痕、明瞭に残る。側面表皮なし。手拵によるハツリ裏跡殆ど残らず。     |                                             | 47.2               | 27.0   | 25.7  |                          |        |
| 西野B2  | 001  | 12  | 5     | 床直 | 礎版         | クリ   | 板目   | 上面平らになっており、生きている面と思われる。加工痕、柱の圧痕等は見えず。        |                                             | 5.9                | 9.6    | 1.3   |                          |        |
| 西野B2  | 001  | 8   | 2     | 床直 | 木柱         | クリ   | 芯持丸木 | 底部切斷痕、手拵による成形痕殆ど残存せず。側面表皮なし。手拵によるハツリ痕等殆ど残らず。 |                                             | 47.3               | 28.8   | 25.8  |                          |        |
| 西野B2  | 001  | 11  | 6     | 覆土 | 礎版         | スダジイ | 板目   | 上面平らになっており、生きている面と思われる。加工痕、柱の圧痕等は明瞭には見えず。    |                                             | 11.2               | 4.2    | 1.5   |                          |        |
| 西野B2  | 001  | 9   | 7     | 覆土 | 礎版         | クリ   | 板目   | 上面は生きているように思われる。しかし加工痕、柱の圧痕等は特に見えず。          |                                             | 9.8                | 9.5    | 1.8   |                          |        |
| 西野B2  | 002  | 3   | 8     | 床直 | 礎版         | クリ   | 板目   | 加工痕等全く見えず。                                   |                                             | 11.1               | 8.9    | 2.6   |                          |        |
| 西野B2  | 002  | 1   | 3     | 覆土 | 木柱？        | クリ   | 角状   | 生きている面は殆ど無いと思われる。加工痕等は全く見えず。                 |                                             | 6.5                | 12.4   | 5.5   |                          |        |
| 西野B2  | 002  | 2   | 9     | 覆土 | 礎版         | クリ   | 板目   | 中央下部にやや平らな面見えるが加工痕等は見えず。                     |                                             | 17.4               | 18.1   | 4.7   |                          |        |
| 西野D3  | 023  | 2   | 10    | 床直 | 腕          | ケヤキ  | 横木取り | 口縁～底部1/3残。                                   | ロクロ挽き。総高台か。底部以外、総黒色。                        | ロクロ挽き。総黒色。         | (16.9) | (8.1) | 6.0                      | 決下地施す。 |
| 西野B2  | 025  | 1   | 38    | 覆土 | 板状木製品(礎版か) | ケヤキ  | 板目   | 周囲全て欠。                                       | 加工痕殆ど見えず。木柱製材時の濡材で製作か。                      |                    | 9.8    | 10.7  | 3.4                      |        |
| 西野B2  | 050  | 1   | 37    | 覆土 | 板状木製品      | スギ   | 追鉋目  | 上半部欠。                                        | 両面ともカンナによる整形痕、先端部特に加工せず。                    |                    | 11.20  | 5.40  | 0.56                     |        |
| 宮原A・B | B8   | 1   |       | 一括 | 田下駄        | スギ   | 板目   | ほぼ完存。                                        | 手拵、ヤリガンナ？によるケズリ、整形痕ありか。三孔式。上下に持ち組を通した小孔ありか。 | 44.60              | 11.90  | 1.30  | 面が物成板を転用しており、側板をはめる溝が通る。 |        |
| 宮原A・B | B8   | 2   |       | 一括 | 大足の一部分     | イヌガヤ | 板目   | ほぼ完存。                                        | ケズリ整形痕あり。両端の枳り部、刀子によるケズリ痕明瞭。                | 45.40              | 2.40   | 2.20  |                          |        |
| 宮原A・B | B8   | 3   | 45    | 一括 | 加工木        | モミ属  | 追鉋目  | 右側部分及び下端部欠。                                  | カンナ？による整形痕、左側縁部は丸みを持つ。                      | 7.20               | 2.80   | 1.20  | 接合しにくい。3～5は同一の可能性あり      |        |
| 宮原A・B | B8   | 4   | 46    | 一括 | 加工木        | モミ属  | 追鉋目  | 右側部分及び下端部欠。                                  | カンナ？による整形痕、左側縁部は丸みを持つ。大型の円形板か。              | 6.60               | 5.30   | 1.20  | 接合しない。3～5は同一の可能性あり       |        |
| 宮原A・B | B8   | 5   | 47    | 一括 | 加工木        | モミ属  | 追鉋目  | 右側部分及び下端部欠。                                  | カンナ？による整形痕、左側縁部は丸みを持つ。                      | 6.10               | 3.15   | 1.20  | 接合しない。3～5は同一の可能性あり       |        |
| 宮原A・B | B8   | 6   | 48    | 一括 | 板状木製品      | モミ属  | 板目   | 両端部欠。                                        | カンナによる整形痕、丁寧な整形痕、左側下方に切れ込みありか。              | 8.20               | 2.50   | 1.35  |                          |        |
| 宮原A・B | DI3  | 1   |       | 覆土 | 棒状木器       | カヤ   | 芯持丸木 | ほぼ完存。                                        | 下端部先端を、枕状に加工。                               | 152.2              | 3.2    | 3.4   |                          |        |
| 宮原A・B | 一括   | 24  | 13    | 一括 | 板状木製品      | ヒノキ  | 板目   | 下半部欠。                                        | カンナ？による整形痕。                                 |                    | 9.2    | 4.5   | 1.3                      |        |
| 宮原A・B | 一括   | 25  | 19    | 一括 | 板状木製品      | モミ属  | 板目   | 両端部及び側面欠。                                    | 右側面上部にひし形？の切れ込みあり。                          |                    | 14.60  | 4.90  | 1.45                     |        |
| 宮原A・B | 一括   | 26  | 20    | 一括 | 板状木製品      | モミ属  | 板目   | 下半部及び右側欠。                                    | カンナによる整形痕。                                  |                    | 11.6   | 3.5   | 1.2                      |        |
| 宮原A・B | 一括   | 27  | 21    | 一括 | 板状木製品      | モミ属  | 板目   | 両端部及び右側欠。                                    | カンナによる整形痕、左側側面は丸みを持つ。                       |                    | 15.60  | 5.50  | 1.15                     |        |

|        |    |    |    |    |       |         |         |                |                                                         |  |  |       |      |      |          |
|--------|----|----|----|----|-------|---------|---------|----------------|---------------------------------------------------------|--|--|-------|------|------|----------|
| 宮原 A・B | 一括 | 28 | 22 | 一括 | 板状木製品 | モミ属     | 板目      | 先端部のみ残。下半部欠。   | 突起部は刀子によるケズリか。                                          |  |  | 5.70  | 2.45 | 0.70 | 繊維部材か    |
| 宮原 A・B | 一括 | 29 | 30 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 板目      | 両端部及び右側欠。      | カンナ?による整形痕。                                             |  |  | 8.9   | 2.2  | 1.2  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 30 | 29 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 板目      | 両端部欠。          | 加工痕見えず。                                                 |  |  | 7.9   | 2.0  | 1.1  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 31 | 34 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 柾目      | 左側部分欠。         | カンナ?による整形痕。台鋸による平滑な仕上がり。右側面部に13カ所の穿孔あり。木釘等によって他の板目と台板が? |  |  | 31.6  | 13.4 | 0.8  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 32 | 35 | 一括 | 板状木製品 | モミ属     | 板目      | 両側部及び下半部欠。     | 上部に穿孔痕あり。カンナによる整形痕。台鋸による平滑な仕上げ。                         |  |  | 26.7  | 5.9  | 1.1  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 33 | 14 | 一括 | 棒状木製品 | ヒノキ     | 側出      | 上端部欠。          | 刀子によるケズリ。                                               |  |  | 15.20 | 0.70 | 0.58 | 箸か       |
| 宮原 A・B | 一括 | 34 | 31 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 柾目      | 下半部欠。          | 刀子によるケズリ。                                               |  |  | 10.9  | 1.6  | 0.6  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 35 | 18 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 柾目      | 上半部欠。右側欠か?     | 刀子かカンナ?によるケズリ整形痕。丁寧な加工痕。一部刀子痕跡残る。                       |  |  | 9.50  | 4.60 | 0.48 |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 36 | 40 | 一括 | 木筒か   | サウラ     | 柾目      | 両端部欠。          | 刀子によるケズリ。両面に墨書あり。                                       |  |  | 1.80  | 1.90 | 0.15 | 「□門」か。   |
| 宮原 A・B | 一括 | 37 | 41 | 一括 | 木筒か   | スギ      | 板目      | 両端部欠。          | 刀子によるケズリ。墨書ありか                                          |  |  | 7.60  | 1.65 | 0.58 | 「□氏□□」か。 |
| 宮原 A・B | 一括 | 38 | 28 | 一括 | 板状木製品 | ニヨウマツツ類 | 柾目      | 両端部欠。          | カンナ?による整形痕。                                             |  |  | 8.5   | 2.0  | 0.8  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 39 | 27 | 覆土 | 板状木製品 | ツガ属     | 板目      | 両端部欠。          | カンナ?による整形痕。                                             |  |  | 4.9   | 1.8  | 1.0  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 40 | 26 | 覆土 | 板状木製品 | ツガ属     | 板目      | 両端部欠。          | カンナ?による整形痕。                                             |  |  | 2.90  | 1.70 | 0.45 |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 41 | 17 | 一括 | 板状木製品 | イヌガヤ    | 半裁側出・角状 | 両端部欠。          | 上方に方形の切れ込みあり。刀子及びカンナ?による整形痕。側面は丸みを帯びる。                  |  |  | 9.0   | 3.5  | 1.8  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 42 | 15 | 覆土 | 板状木製品 | モミ属     | 板目      | 右側部分及び下半部欠。    | 上部に穿孔痕。カンナ?による整形痕。                                      |  |  | 9.1   | 2.7  | 1.2  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 43 | 32 | 一括 | 板状木製品 | カヤ      | 板目      | 上半部欠。          | 刀子によるケズリ?                                               |  |  | 7.4   | 2.4  | 0.6  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 44 | 16 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 柾目      | 下半部欠。          | 刀子によるケズリ。丁寧な加工。                                         |  |  | 7.9   | 3.1  | 0.2  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 45 | 33 | 一括 | 板状木製品 | サウラ     | 柾目      | 下半部欠。          | 刀子によるケズリ?                                               |  |  | 7.0   | 1.2  | 0.4  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 46 | 43 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 柾目      | 上半部欠。          | カンナ?による整形痕。                                             |  |  | 10.7  | 3.4  | 0.5  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 47 | 44 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 板目      | 下半部欠。          | カンナ?による整形痕。                                             |  |  | 7.70  | 3.60 | 0.58 |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 48 | 42 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 柾目      | 両端及び側面欠。       | 上面に穿孔あり。カンナ?による平滑なケズリ。                                  |  |  | 6.1   | 2.8  | 0.4  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 49 | 25 | 一括 | 板状木製品 | スギ      | 追柾目     | 両端部欠。          | ケズリ痕あり。                                                 |  |  | 4.10  | 2.05 | 0.50 |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 50 | 24 | 一括 | 棒状木製品 | スギ      | 側出      | 両端部欠。          | カンナ?による整形痕か?                                            |  |  | 9.7   | 0.7  | 0.8  |          |
| 宮原 A・B | 一括 | 51 | 23 | 一括 | 加工木   | ニヨウマツツ類 | 二方柾状    | 下半及び側面部欠。      | ケズリ痕あり。                                                 |  |  | 6.10  | 3.85 | 2.20 |          |
| 宮原 C・D | 20 | 1  | 12 | 覆土 | 棒状木製品 | シキミ     | 芯持丸木    | 下端部欠。中央部接合でさき。 | 上部部、下部部手拵工具によるハツリ痕。上部部外面取り痕。                            |  |  | 153.6 | 4.7  | 4.4  |          |
| 宮原 C・D | 一括 | 3  | 36 | 覆土 | 板状木製品 | ツガ属     | 板目      | 上半部欠。          | カンナ、刀子によるケズリ整形痕。                                        |  |  | 6.7   | 3.1  | 0.9  |          |

# 写真図版



白山遺跡

図版 1

西野王田遺跡

西野遺跡群

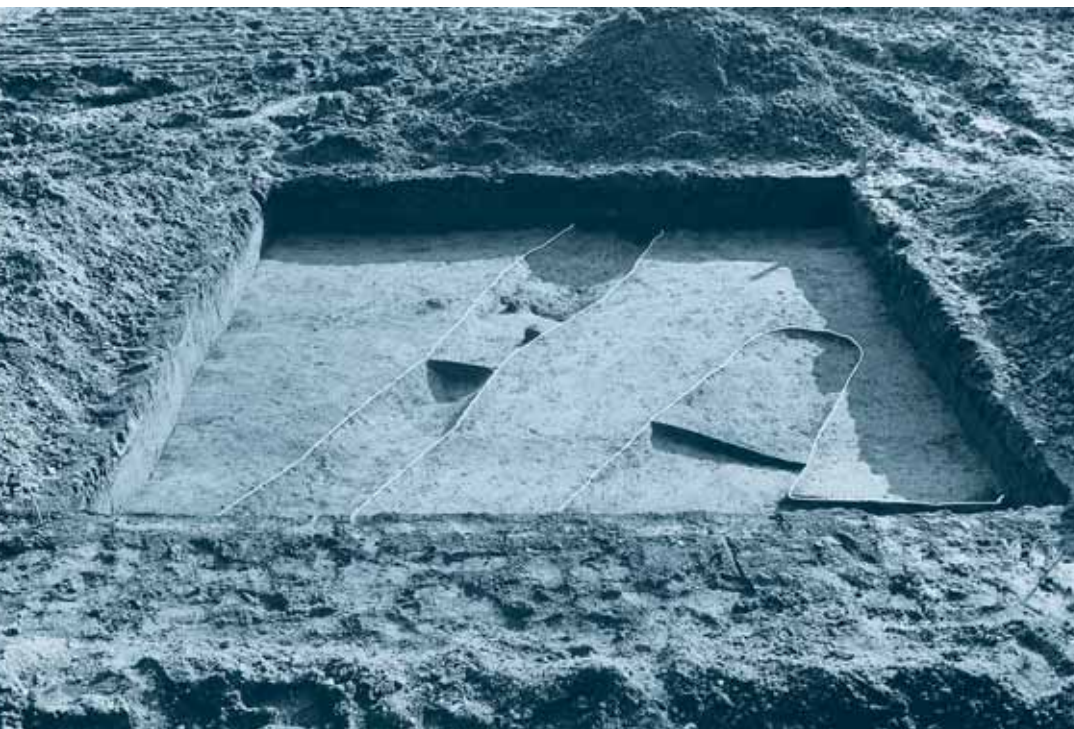
十五沢坊ヶ谷遺跡

空中写真（昭和 36 年撮影）





十五沢坊ヶ谷遺跡  
A1地点  
調査区遠景（北から）



8グリッド（北から）



十五沢坊ヶ谷遺跡  
A2地点  
4トレンチ（東から）



十五沢坊ヶ谷遺跡  
B 1 地点  
4 グリッド (西から)



4 グリッド (北から)



9 グリッド (南から)







十五沢坊ヶ谷遺跡  
B 2 地点  
4 グリッド（南東から）



10 グリッド（南から）



十五沢坊ヶ谷遺跡  
C 地点  
調査区遠景（南東から）





3 トレンチ (東から)



3 トレンチ (南から)



十五沢坊ヶ谷遺跡  
D地点  
調査区遠景 (南から)





001 号跡  
002 号跡（南西から）



003 号跡（南東から）



十五沢遺跡群  
E 地点  
第 28 トレンチ（東から）





第 30 トレンチ 001 (南東から)



十五沢遺跡群  
F 地点  
F - 5 トレンチ (東から)



西野遺跡群  
B 1 地点  
調査前風景 (南西から)





第5トレンチ



第8 A トレンチ 001 (東から)



西野遺跡群  
B 2 地点  
調査区遠景 (南東から)



調査区遠景（北東から）



調査区遠景（南から）



004 号跡  
005 号跡  
031 号跡  
(北から)







001号跡（南から）



001号跡  
P 4（西から）



002号跡（南から）



002 号跡  
P 4 (東から)



002 号跡  
P 4 (東から)



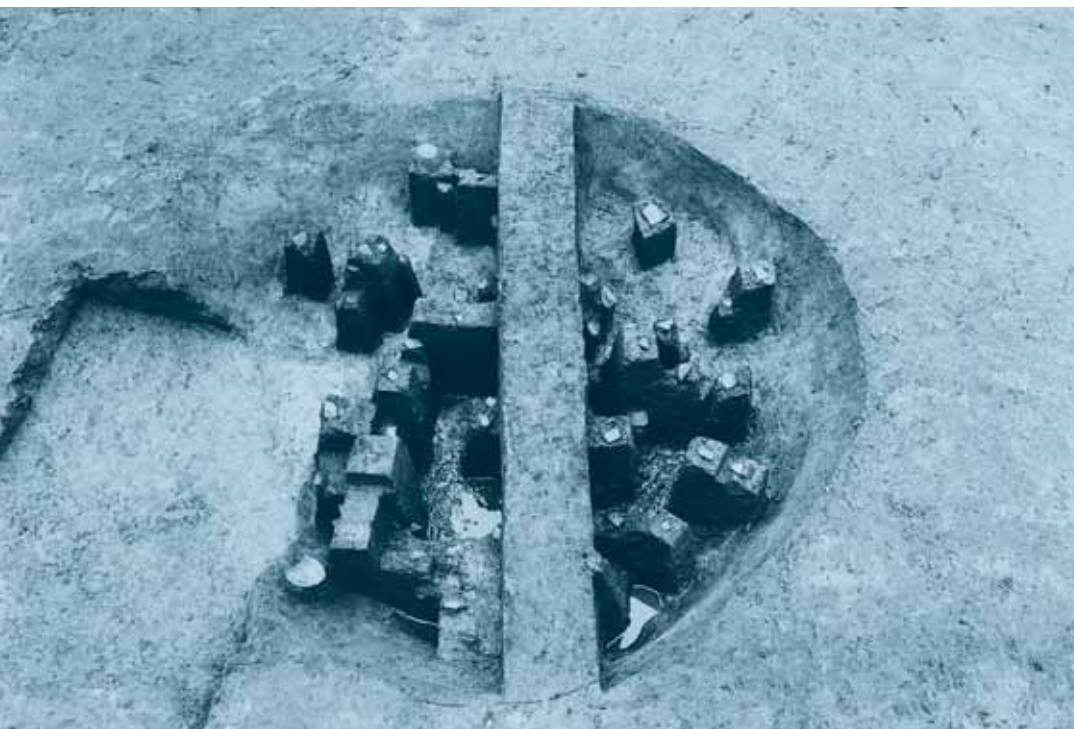
002 号跡  
柱穴断面  
P 7 (北から)



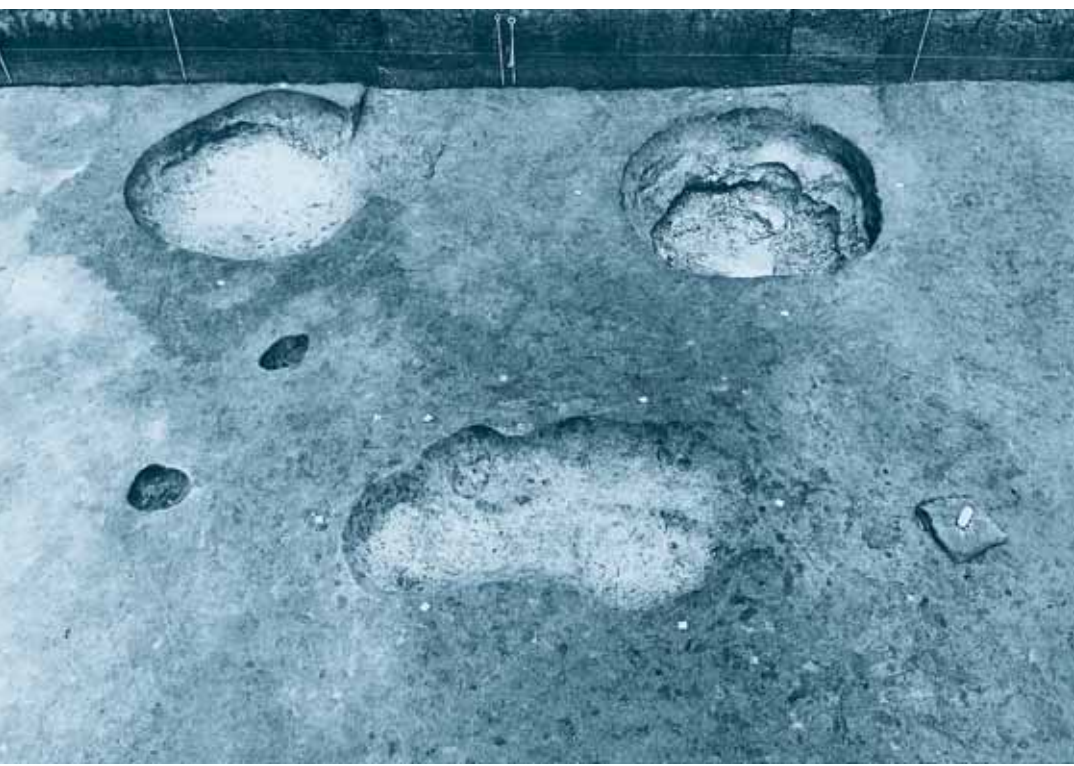




006 号跡（北から）



006 号跡（東から）



006・007・008 号跡（西から）



006 号跡（東から）



007 号跡（南から）



008 号跡（北から）







010・011 号跡（西から）



010 号跡（南から）

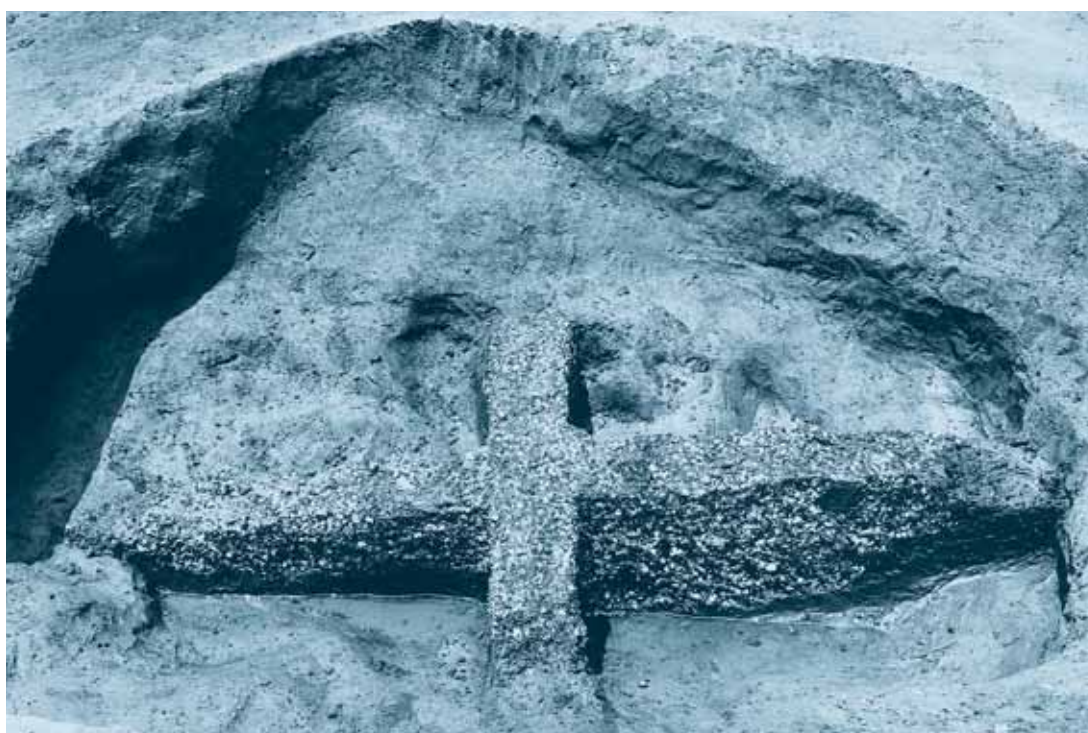


010 号跡（南から）





013 号跡付近（東から）



014 号跡（東から）

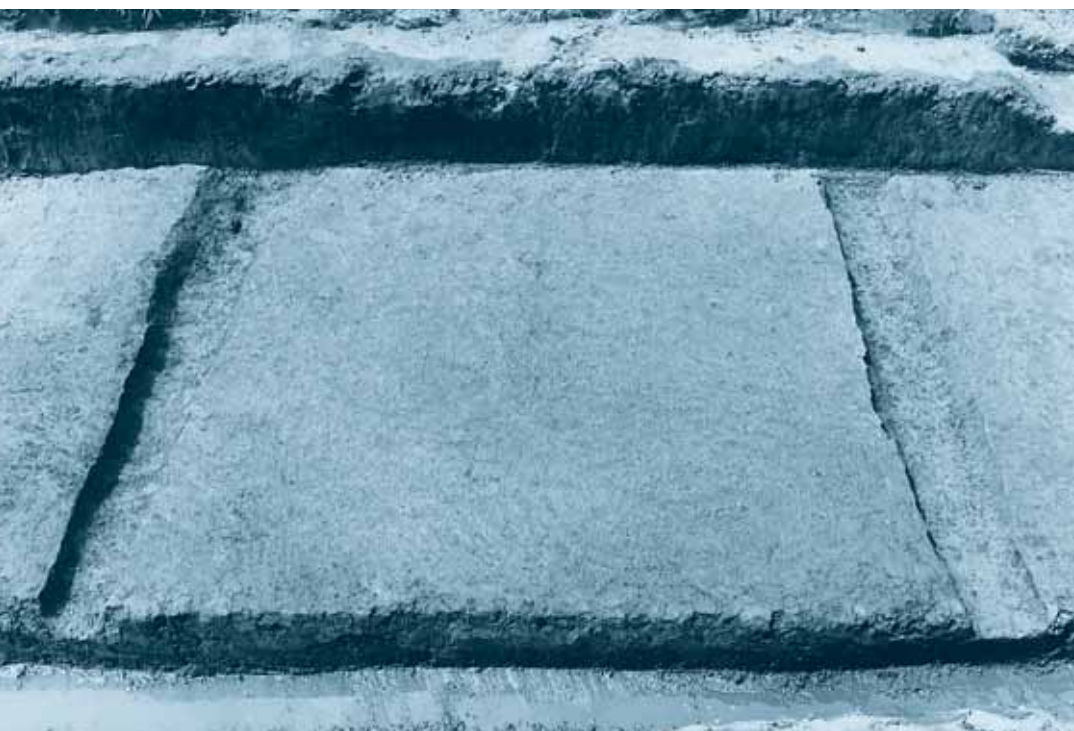


014 号跡（南から）





014 号跡 (南から)



028 号跡 (北から)



032 号跡 (西から)





046 号跡（南から）



046 号跡（北東から）



046 号跡（北から）





東側中央部分（北から）



055 号跡  
柱穴断面（西から）



西野遺跡群  
D 1 地点  
調査区遠景（南西から）





94 トレンチ (南から)



96 トレンチ (井戸)  
(西から)



西野遺跡群  
D 2 地点  
35 トレンチ 001 (南から)





35 トレンチ 001 (北東から)



西野遺跡群  
D 3 地点  
調査前風景 (南西から)



017 号跡 (北から)





046 号跡（北から）



041 号跡（北から）



041 号跡  
遺物出土状況（北西から）





041 号跡  
布状漆製品（鳥帽子片）  
出土状況（北西から）



005・022・041 号跡  
（航空写真・北から）



西野遺跡群  
C 1・C 2 地点  
調査区遠景（南から）



C 1 地点  
20 トレンチ (南から)



C 2 地点  
6 トレンチ (南東から)



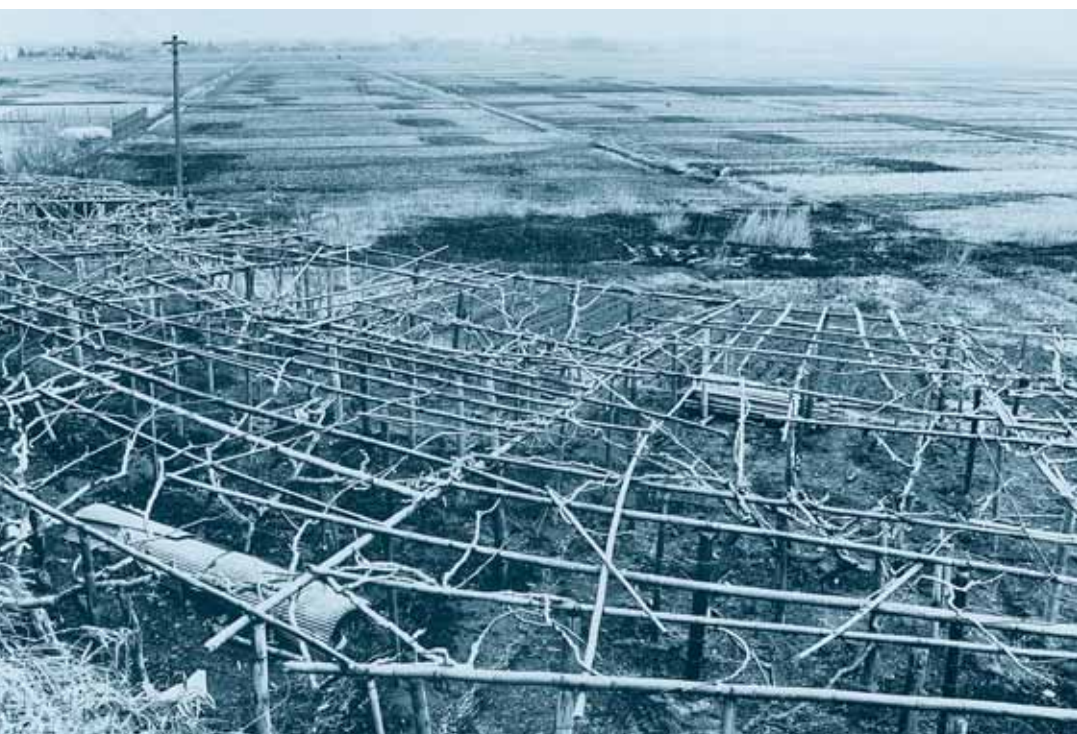
西野遺跡  
A 地点 (浅井小向地区)  
調査区遠景 (北東から)







I トレンチ (南東から)



宮原遺跡  
A・B地点  
調査区遠景 (南から)



調査区遠景 (南西から)





B 8 トレンチ (南から)



B 8 トレンチ (西から)



B 8 トレンチ (東から)





宮原遺跡  
C・D地点  
調査区遠景（南東から）



J-19 トレンチ（東から）



今富遺跡  
A地点  
調査風景（南西から）



001 号跡（東から）



花やしき塚供養塚  
調査区遠景（南西から）



4 トレンチ  
土層断面（南東から）





11-4G-1



11-4G-2



11-4G-6



16-4G-1



16-4G-2



16-4G-3



16-4G-4



16-4G-5



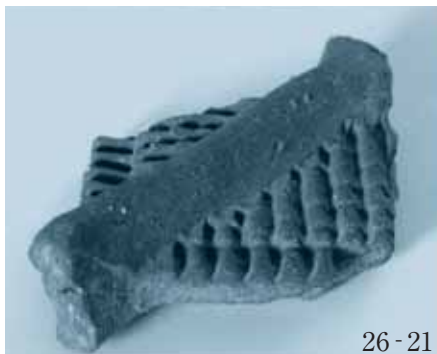
16-4G-6



16-4G-8



17-4G-13



26-21



57-001-6



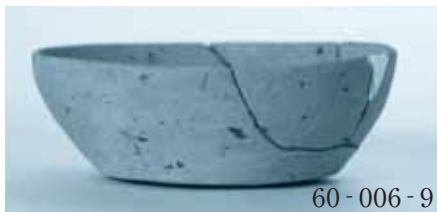
59-006-5



60-006-7



60-006-8



60-006-9



70-3



70-10



64-58t-1



70-19



74-4



74-5



74-11



74-16



91-001-1





91-001-3



93-022-1



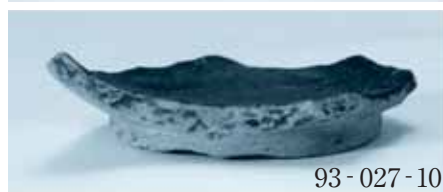
93-022-2



93-027-1



93-027-11



93-027-10



93-027-7



93-027-6



93-027-13



93-027-4



93-027-5



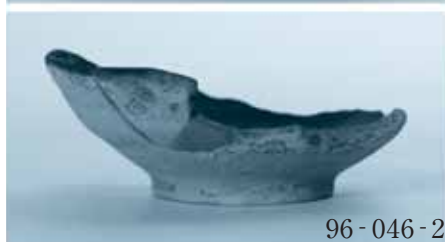
94-027-14



94-034-1



95-038-1



96-046-2



116-001-1



124-F-9



125-F-12



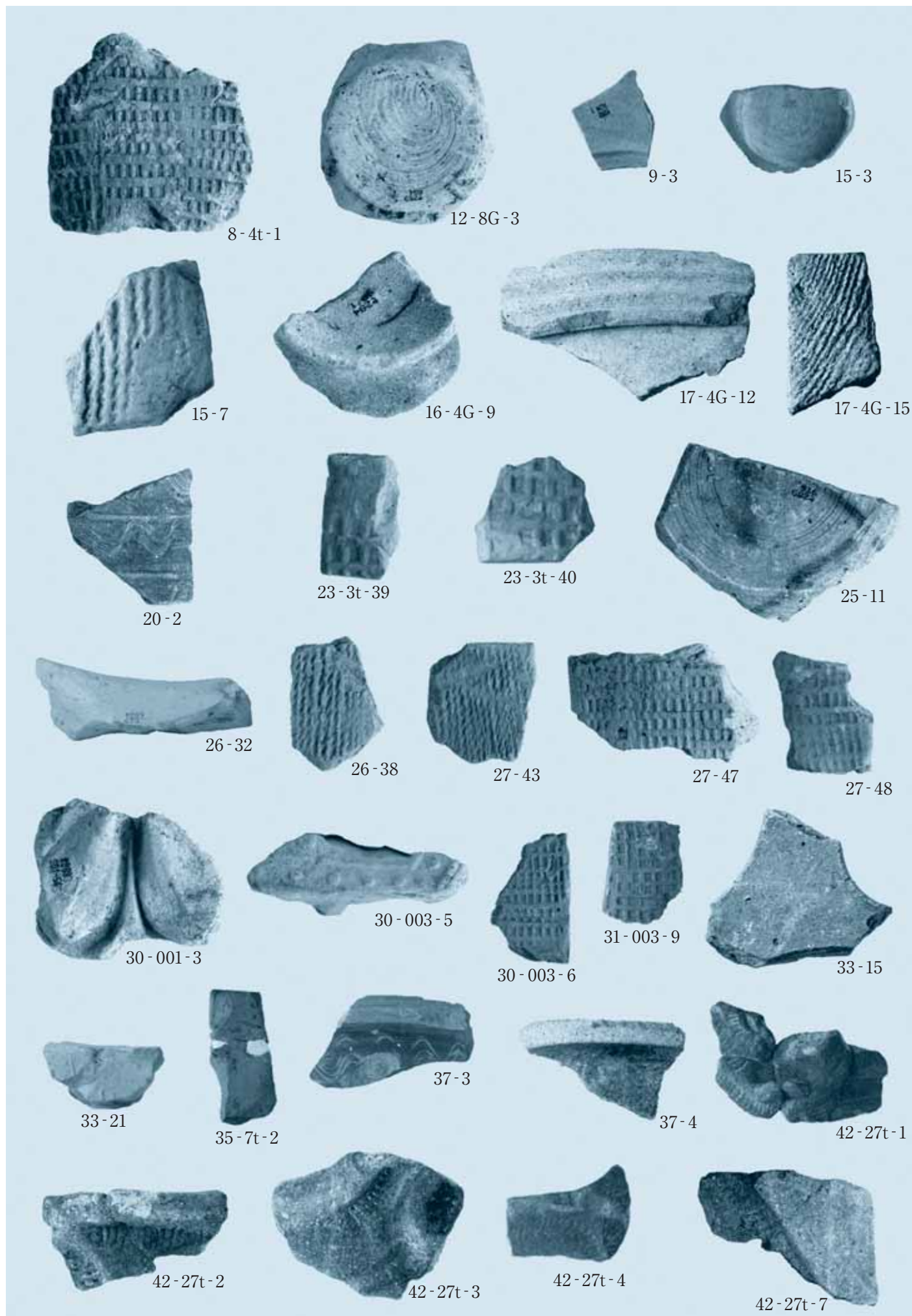
125-F-33

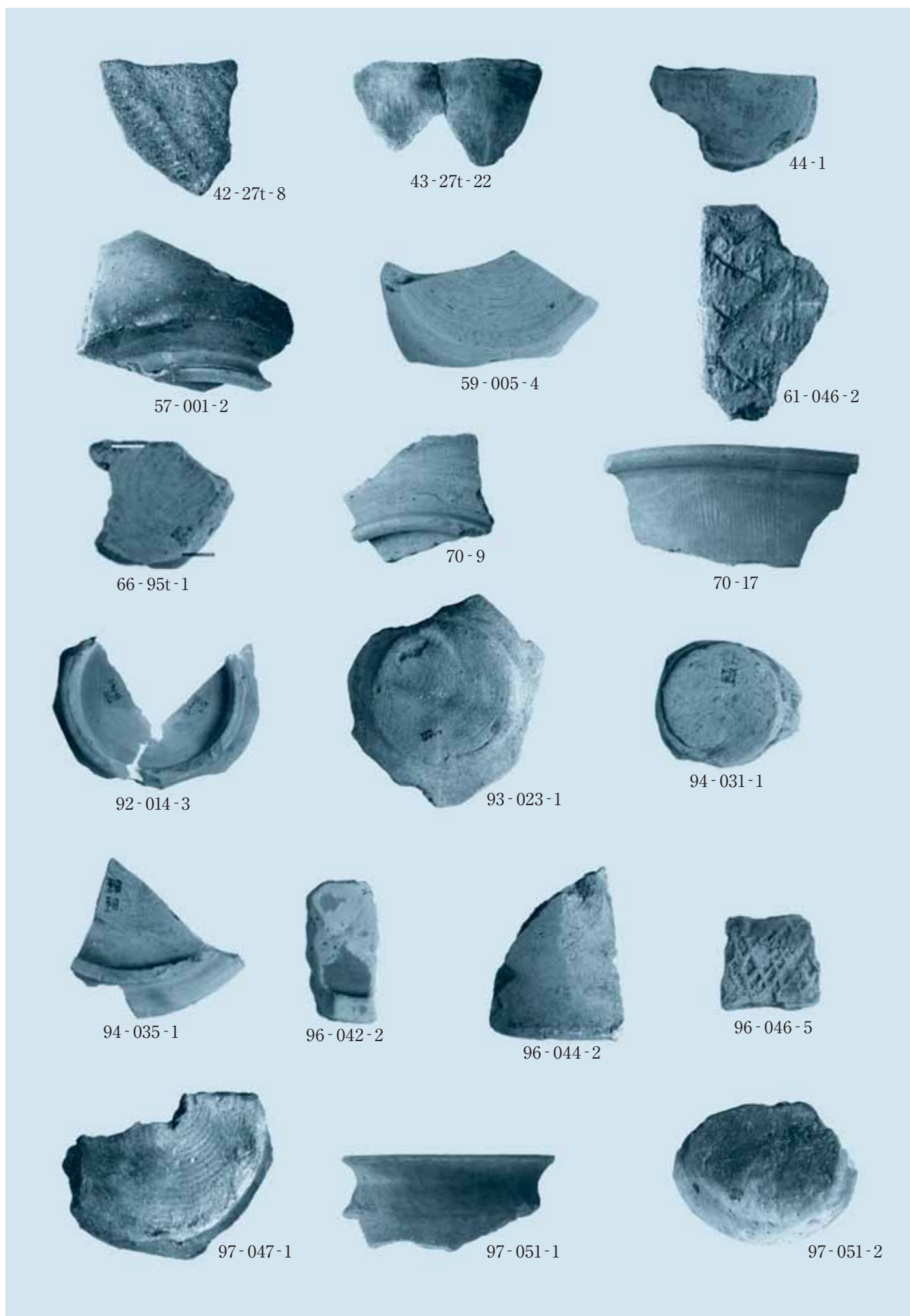


125-F-34

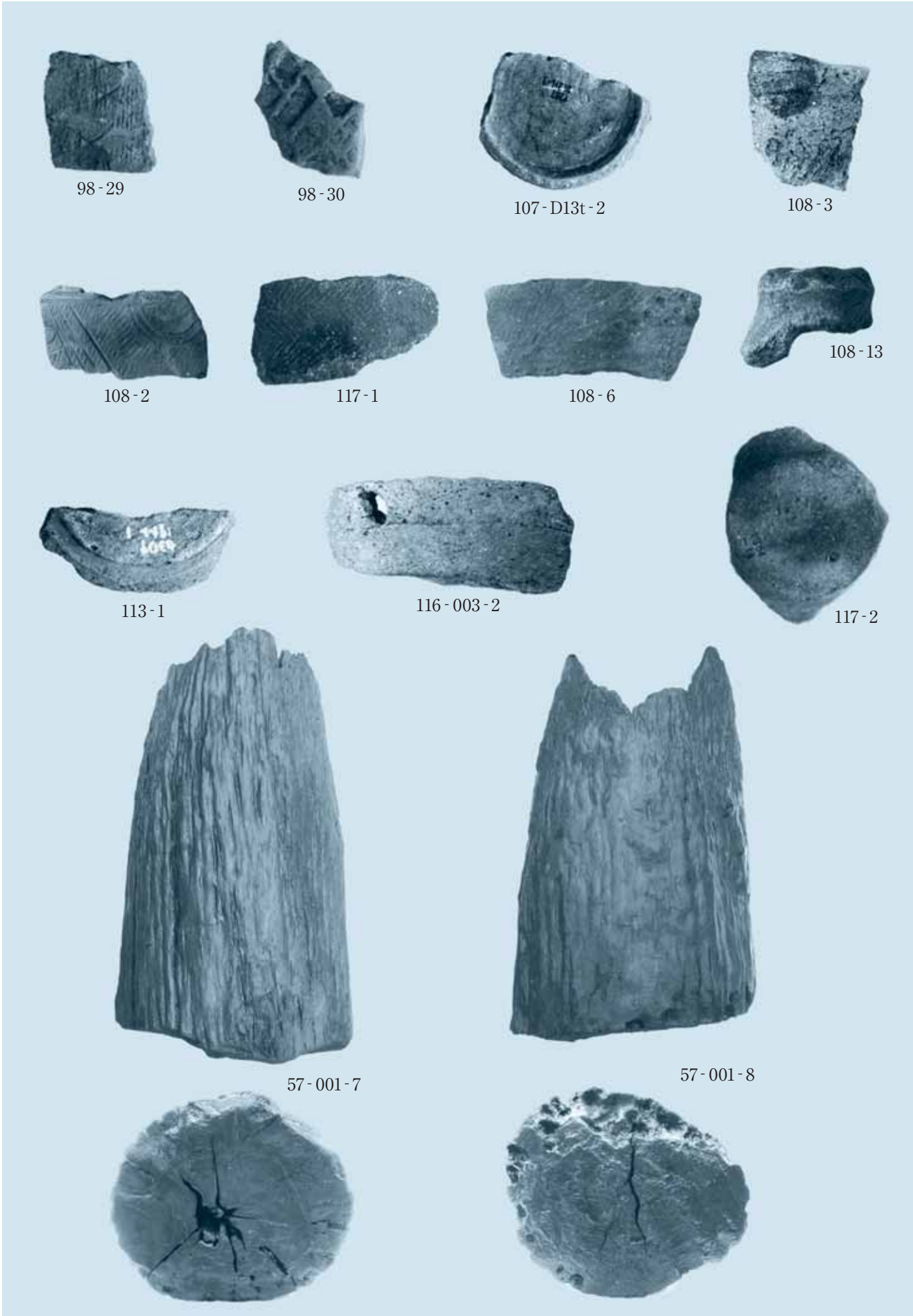


125-F-35

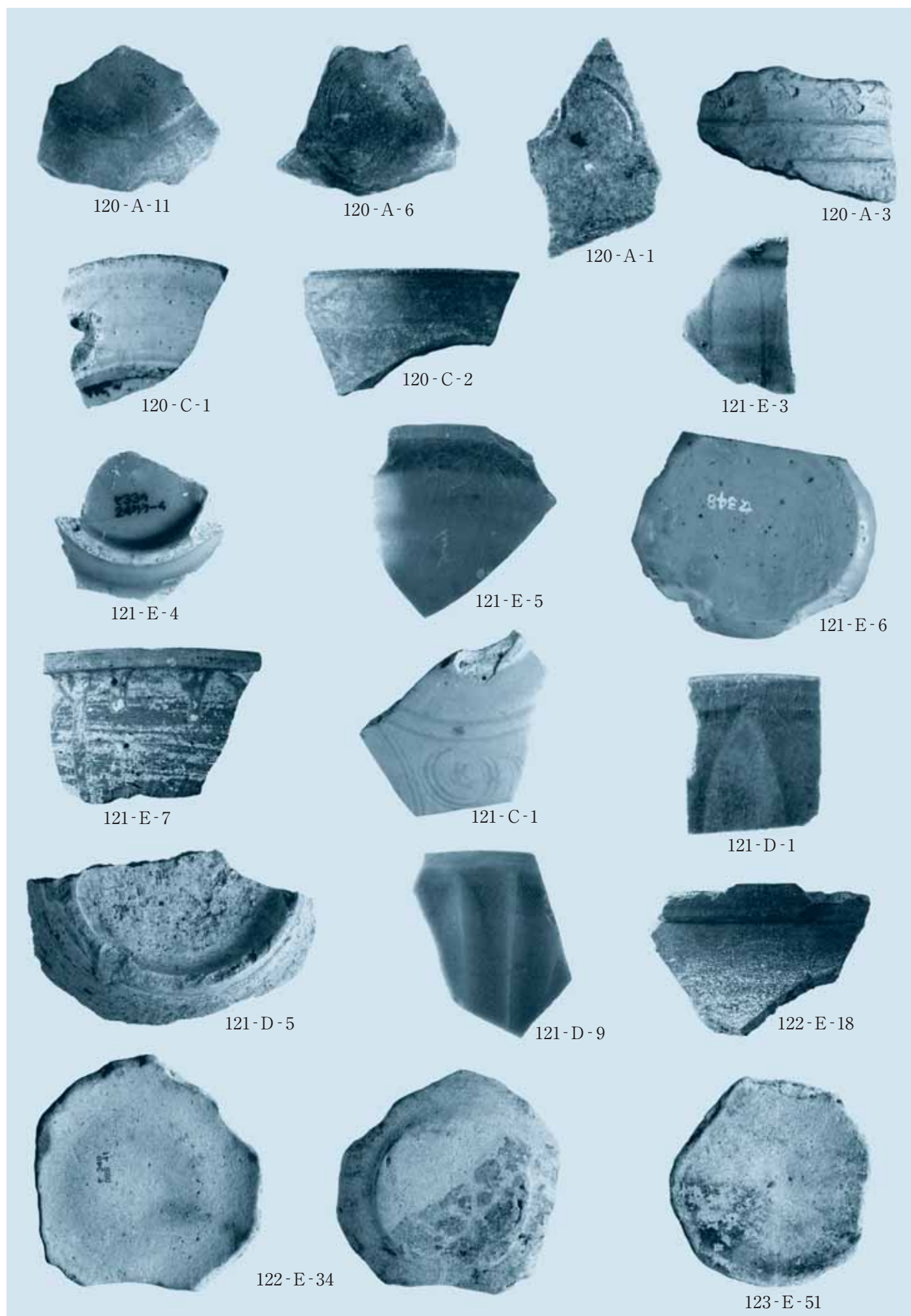




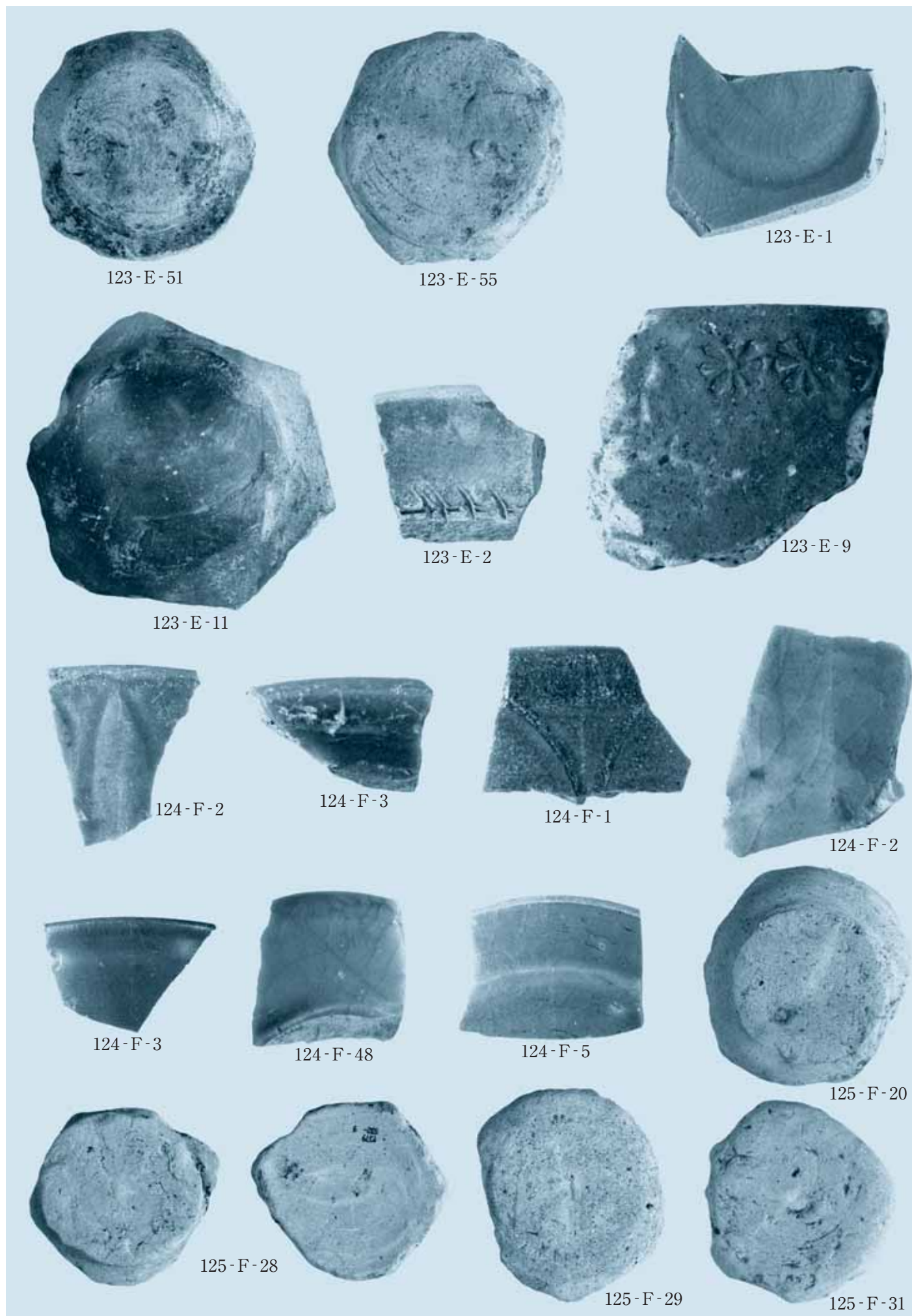




縄文土器・弥生土器・土師器・瓦・木柱









125-F-32



125-F-33



125-F-34



125-F-35



125-F-41



125-F-46



125-F-2



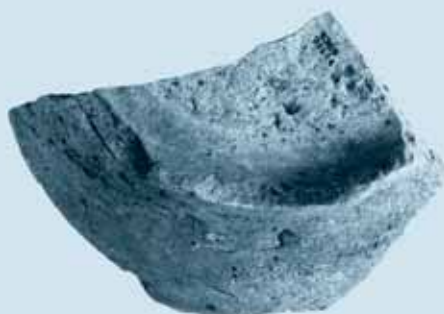
125-F-3



126-F-14



126-F-15

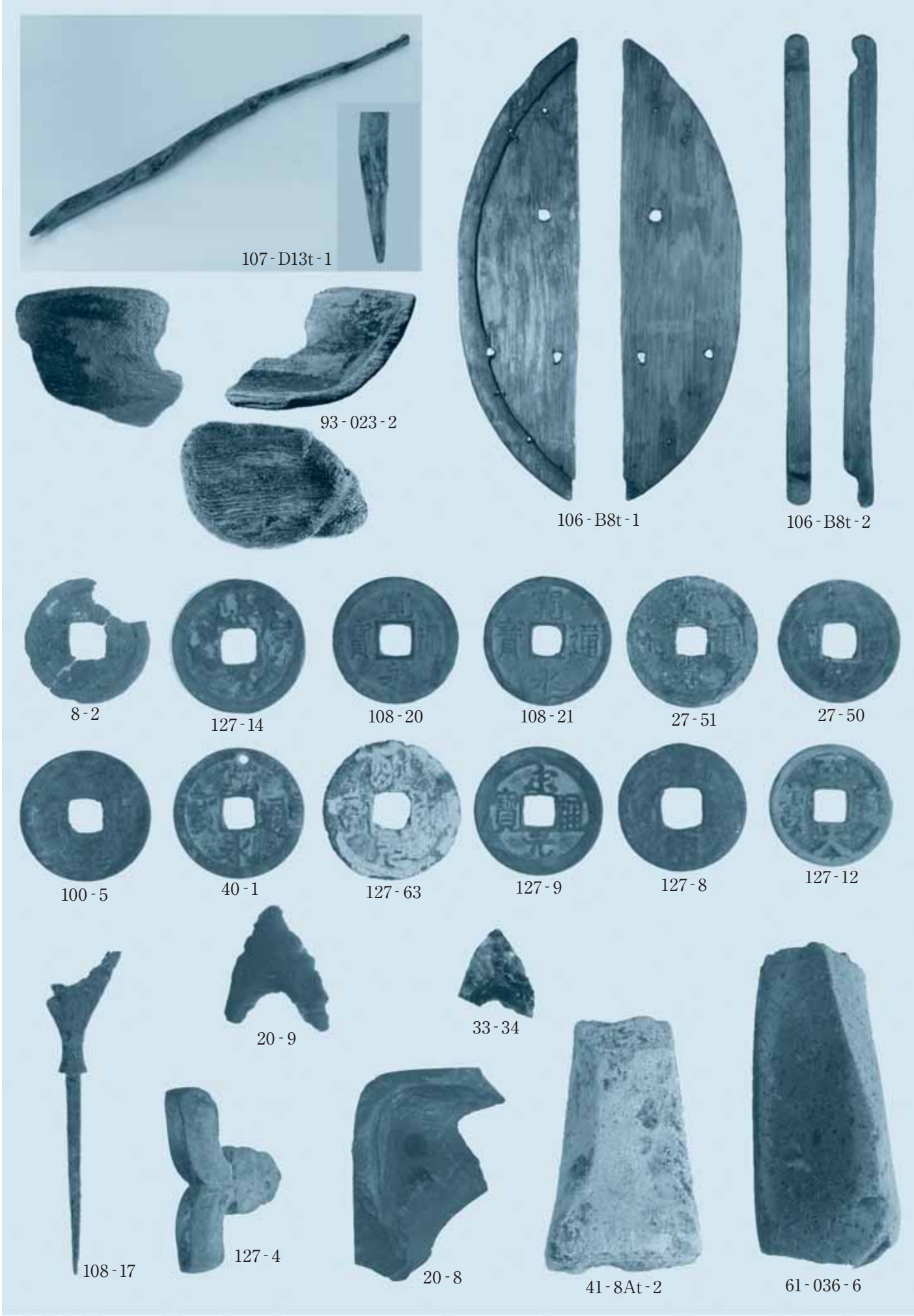


126-F-17



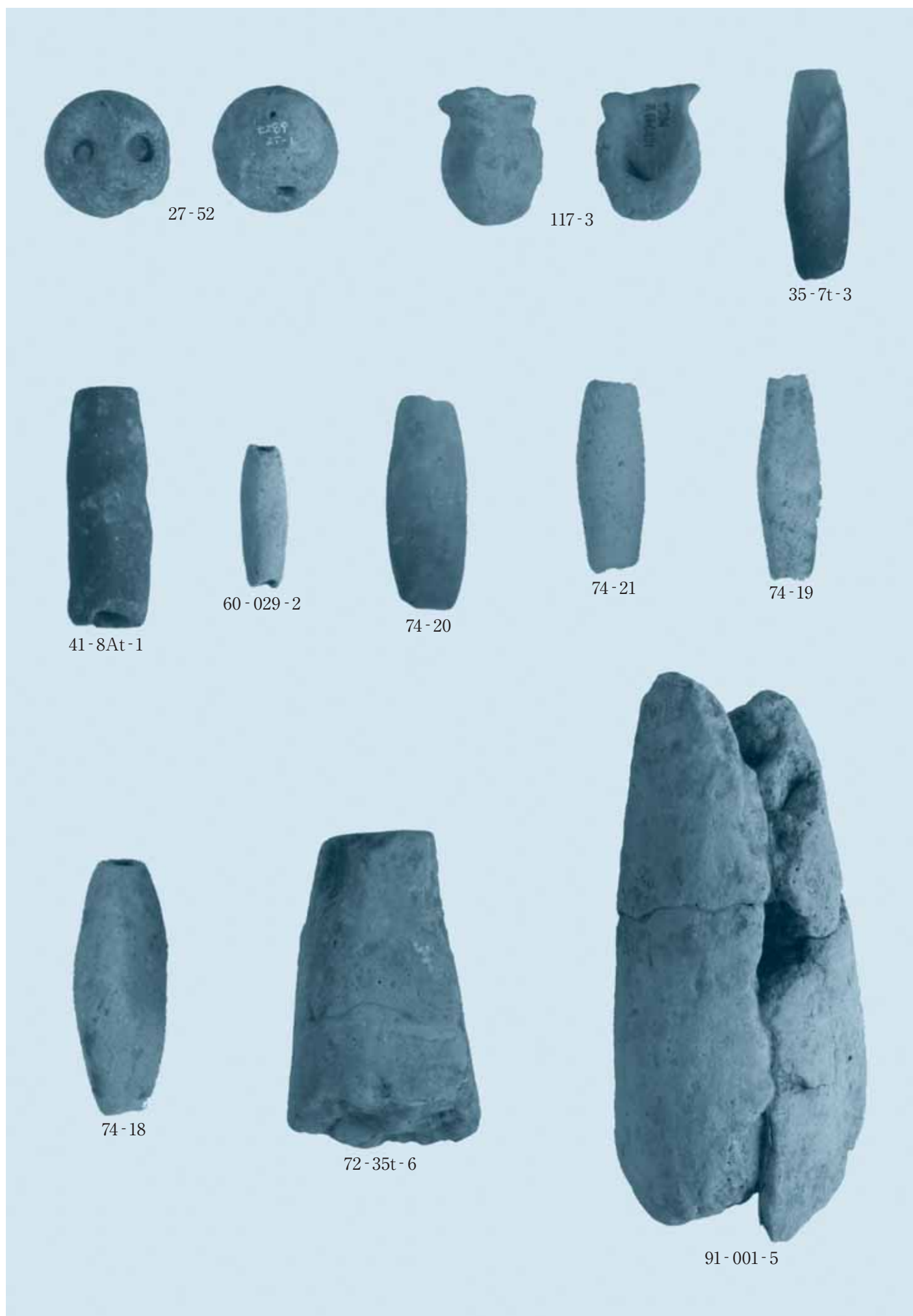
127-E-62



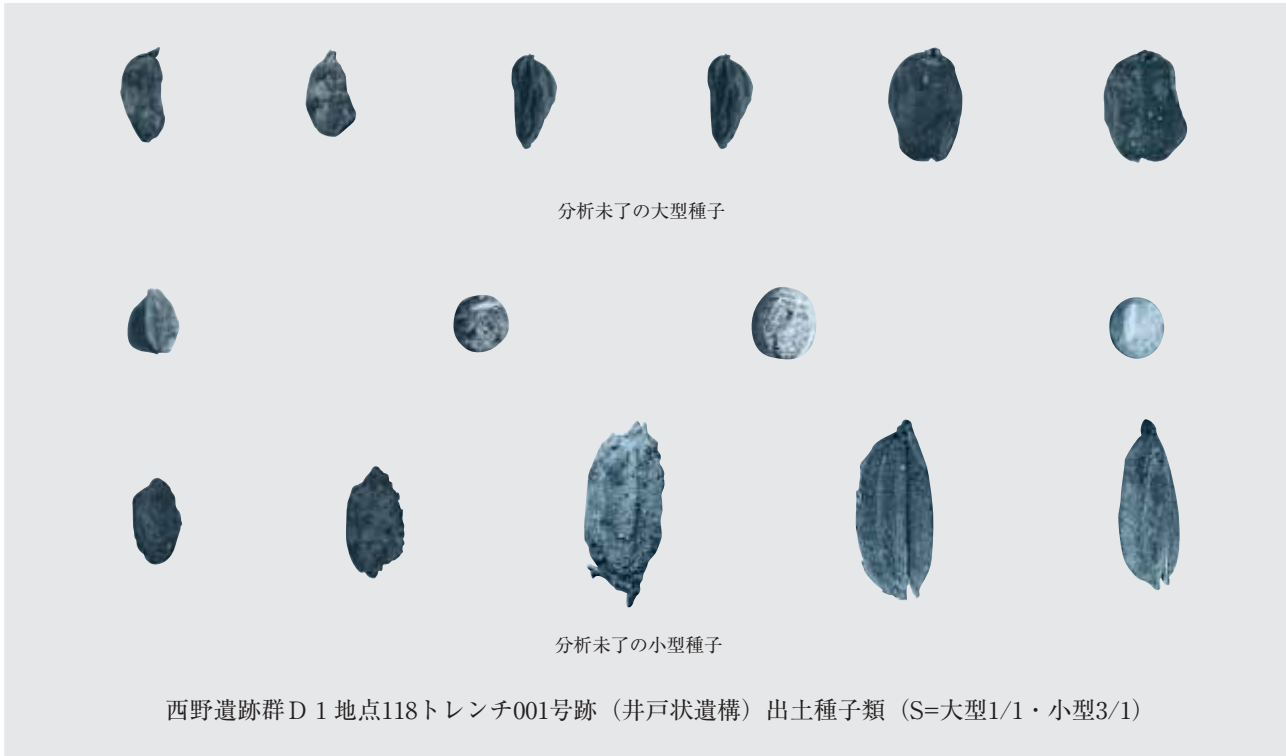
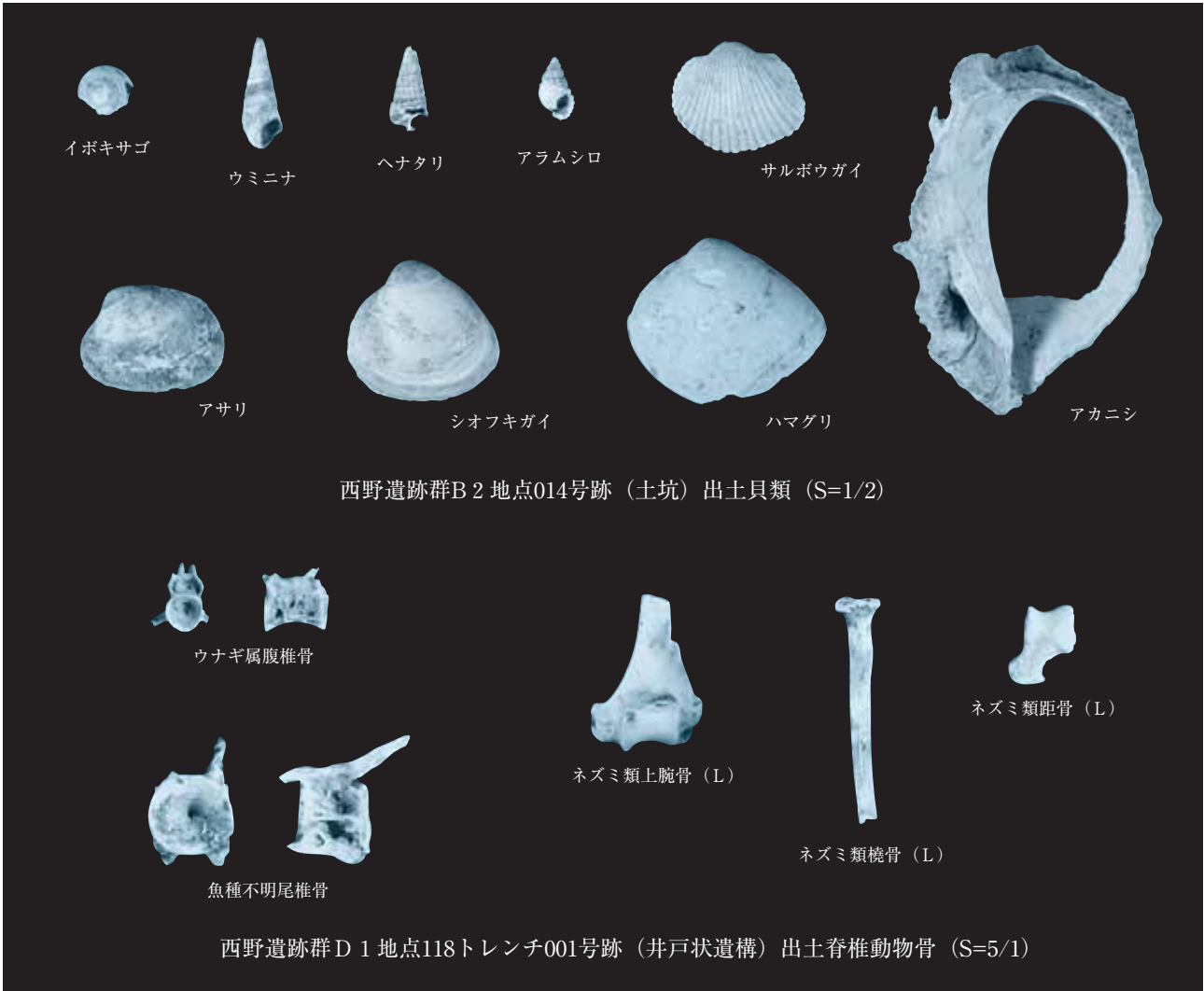


木製品・銭・金属製品・石製品

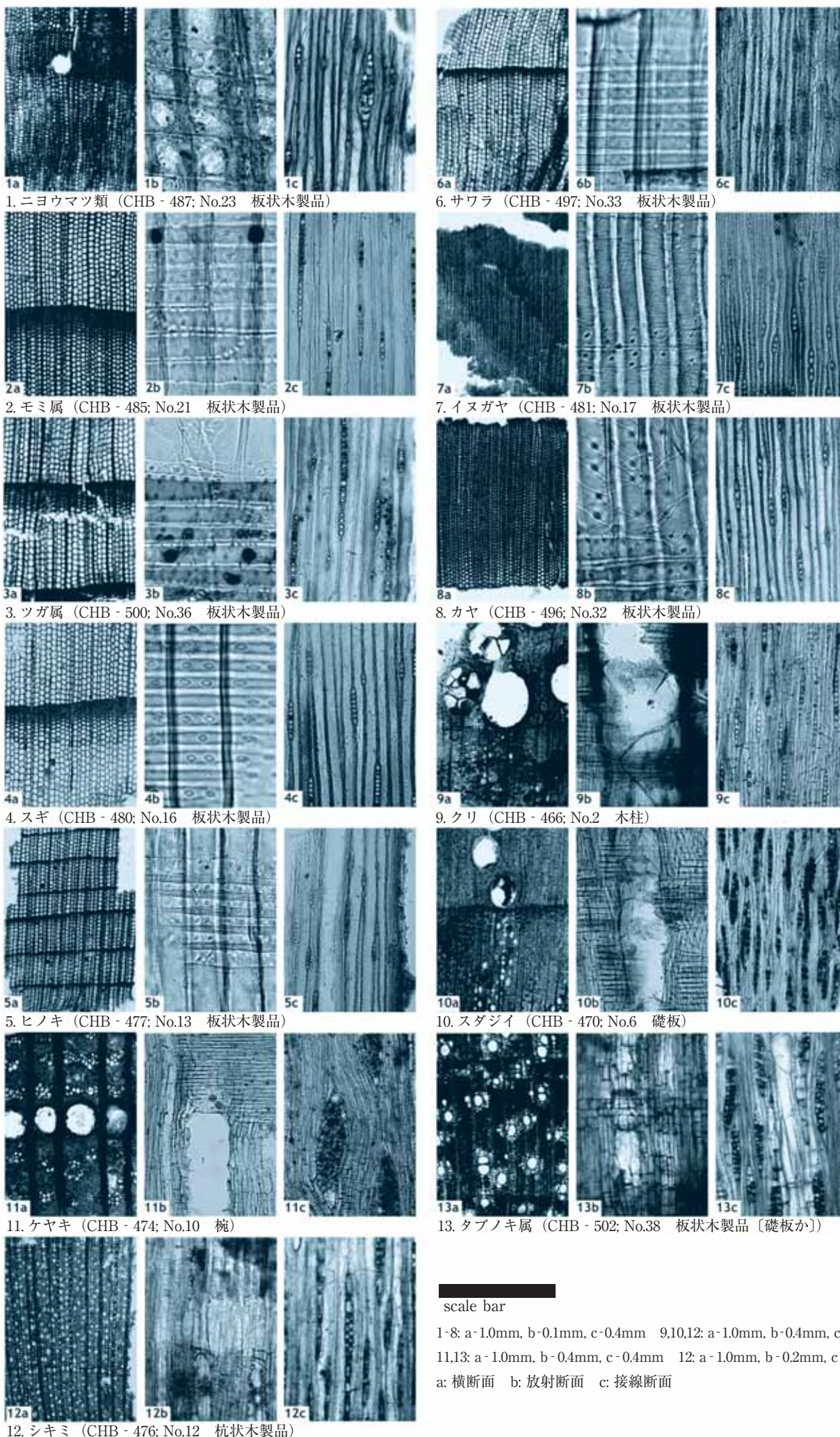




ミニチュア土製品・土錘・支脚







# 報告書抄録

| ふ り が な                                    | いちほらしうなかみちくいせきぐん                        |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------|-------|------|-------------------|--------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------|
| 書 名                                        | 市原市海上地区遺跡群                              |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| 副 書 名                                      |                                         |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| 巻 次                                        |                                         |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| シ リ ー ズ 名                                  | 財団法人 市原市文化財センター調査報告書                    |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| シ リ ー ズ 番 号                                | 第97集                                    |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| 編 著 者 名                                    | 小川浩一、櫻井敦史、鶴岡英一、上奈穂美、永嶋正春 他              |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| 編 集 機 関                                    | 財団法人 市原市文化財センター                         |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| 所 在 地                                      | 〒290-0011 千葉県市原市能満1498 TEL0436(41)7300  |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| 発 行 年 月 日                                  | 2005年11月28日                             |       |      |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| ふりがな<br>所収遺跡名                              | ふりがな<br>所 在 地                           | コード   |      | 北緯                | 東経                 | 調査期間                   | 調査面積<br>m <sup>2</sup> | 調査原因                                                |
|                                            |                                         | 市町村   | 遺跡番号 |                   |                    |                        |                        |                                                     |
| じゅうござわぼうがやつい<br>十五沢坊ヶ谷遺<br>跡 A 地点(第1<br>次) | いちほらしじゅうござわあざい<br>市原市十五沢字居<br>屋敷        | 12219 | セ261 | 35度<br>28分<br>59秒 | 140度<br>05分<br>43秒 | 19980121～<br>19980313  | 350/4,000              | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業・海上<br>地区遺跡発掘調査事<br>業(市単独費分含む) |
| じゅうござわぼうがやつい<br>十五沢坊ヶ谷遺<br>跡 A 地点(第2<br>次) | いちほらしじゅうござわあざい<br>市原市十五沢字居<br>屋敷259-2ほか | 12219 | セ282 | 35度<br>28分<br>55秒 | 140度<br>05分<br>40秒 | 19981208～<br>19990219  | 645/12,900             | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業                               |
| じゅうござわぼうがやつい<br>十五沢坊ヶ谷遺<br>跡 B 地点          | いちほらしにしのあざまえだ<br>市原市西野字前田<br>331他       | 12219 | セ283 | 35度<br>28分<br>47秒 | 140度<br>05分<br>45秒 | 19990106～<br>19990118  | 160/3,200              | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業                                    |
| にしのいせき<br>西野遺跡 A 地点                        | いちほらしあさいこむかい<br>市原市浅井小向<br>240-1ほか      | 12219 | セ285 | 35度<br>28分<br>09秒 | 140度<br>06分<br>38秒 | 19990106～<br>19990119  | 200/4,000              | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業                               |
| じゅうござわぼうがやつい<br>十五沢坊ヶ谷遺<br>跡 B 地点          | いちほらしにしのあざまえだ<br>市原市西野字前田<br>324他       | 12219 | セ284 | 35度<br>28分<br>47秒 | 140度<br>05分<br>49秒 | 19990119～<br>19990205  | 3,200/6,400            | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業(市単独費)                              |
| じゅうござわぼうがやつい<br>十五沢坊ヶ谷遺<br>跡 C 地点          | いちほらしみやばらあざおとろいだ<br>市原市宮原字老田<br>881-1他  | 12219 | セ289 | 35度<br>28分<br>46秒 | 140度<br>05分<br>41秒 | 19981208～<br>19990219  | 333/11,100             | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業                               |
| みやばらいせき<br>宮原遺跡 A 地点                       | いちほらしみやばらあざかねだ<br>市原市宮原字兼田<br>40-1ほか    | 12219 | セ286 | 35度<br>28分<br>21秒 | 140度<br>05分<br>46秒 | 19990201 ～<br>19990309 | 860/86,000             | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業                               |
| みやばらいせき<br>宮原遺跡 B 地点                       | いちほらしみやばらあざふたまた<br>市原市宮原字二又<br>2ほか      | 12219 | セ287 | 35度<br>28分<br>20秒 | 140度<br>05分<br>55秒 | 19990125 ～<br>19990309 | 612/61,200             | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業                               |
| いまだみいせき<br>今富遺跡 A 地点                       | いちほらしみやばら ばん<br>市原市宮原 343 番<br>地ほか      | 12219 | セ304 | 35度<br>28分<br>37秒 | 140度<br>05分<br>40秒 | 19990702 ～<br>20000208 | 200/2,000              | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業                               |

|                               |                                                   |       |      |                   |                    |                       |              |                       |
|-------------------------------|---------------------------------------------------|-------|------|-------------------|--------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|
| じゅうござわぼうがやついでん<br>十五沢坊ヶ谷遺跡B地点 | いちほらしじゅうござわ<br>市原市十五沢 250<br>ほか                   | 12219 | セ284 | 35度<br>28分<br>47秒 | 140度<br>05分<br>46秒 | 19990712～<br>19990910 | 640          | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| じゅうござわぼうがやついでん<br>十五沢坊ヶ谷遺跡D地点 | いちほらしじゅうござわ<br>市原市十五沢 250<br>ほか                   | 12219 | セ303 | 35度<br>28分<br>48秒 | 140度<br>05分<br>43秒 | 19990702～<br>19990910 | 156/15,600   | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| じゅうござわぼうがやついでん<br>十五沢坊ヶ谷遺跡D地点 | いちほらしじゅうござわ<br>市原市十五沢 250<br>ほか                   | 12219 | セ303 | 35度<br>28分<br>46秒 | 140度<br>05分<br>43秒 | 19991019～<br>20000208 | 300          | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| みやばらいせき ちてん<br>宮原遺跡C地点        | いちほらしみやめあぎでど<br>市原市分目字出戸<br>48-1番地ほか              | 12219 | セ309 | 35度<br>28分<br>16秒 | 140度<br>06分<br>04秒 | 19991019～<br>20000208 | 383/38,300   | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| みやばらいせき ちてん<br>宮原遺跡D地点        | いちほらしみやばらあぎむかいつつみ<br>市原市宮原字向堤<br>地先               | 12219 | セ310 | 35度<br>28分<br>26秒 | 140度<br>06分<br>00秒 | 19991025～<br>20000315 | 300/30,000   | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業      |
| はな つかくよう<br>花やしき塚供養<br>塚      | いちほらしじゅうござわあぎたか<br>市原市十五沢字高<br>沢96-1番地他           | 12219 | セ311 | 35度<br>28分<br>46秒 | 140度<br>06分<br>05秒 | 19991019～<br>20000208 | 250/2,500    | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| じゅうござわいせきぐん<br>十五沢遺跡群 E<br>地点 | いちほらしじゅうござわあぎど<br>市原市十五沢字土<br>橋144・字堂庭170<br>番地ほか | 12219 | セ333 | 35度<br>28分<br>53秒 | 140度<br>06分<br>09秒 | 20001130～<br>20010315 | 897/17,940   | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| じゅうござわいせきぐん<br>十五沢遺跡群 F<br>地点 | いちほらしじゅうござわあぎどう<br>市原市十五沢字堂<br>庭                  | 12219 | セ336 | 35度<br>28分<br>59秒 | 140度<br>06分<br>08秒 | 20010201～<br>20010306 | 178/3,560    | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群B地<br>点    | いちほらしいとひさあぎたかしま<br>市原市糸久字高島<br>30番地ほか             | 12219 | セ334 | 35度<br>28分<br>51秒 | 140度<br>06分<br>15秒 | 20001130～<br>20010130 | 775/15,500   | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群B地<br>点    | いちほらしいとひさあぎたかしま<br>市原市糸久字高島<br>26-1ほか             | 12219 | セ337 | 35度<br>28分<br>46秒 | 140度<br>06分<br>17秒 | 20010201～<br>20010327 | 900          | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群B地<br>点    | いちほらしにしのあぎなかわら<br>市原市西野字中村<br>470他                | 12219 | セ348 | 35度<br>28分<br>49秒 | 140度<br>06分<br>18秒 | 20010620～<br>20011016 | 1,830        | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群B地<br>点    | いちほらしにしのあぎなかわら<br>市原市西野字中村<br>470他                | 12219 | セ350 | 35度<br>28分<br>52秒 | 140度<br>06分<br>17秒 | 20010912～<br>20010928 | 320          | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業      |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群C地<br>点    | いちほらしごんげんどうあぎた<br>市原市権現堂字田<br>畑306-1ほか            | 12219 | セ358 | 35度<br>28分<br>56秒 | 140度<br>06分<br>37秒 | 20020128～<br>20020308 | 360/26,400   | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群C地<br>点    | いちほらしごんげんどうあぎた<br>市原市権現堂字田<br>畑339-1ほか            | 12219 | セ359 | 35度<br>28分<br>52秒 | 140度<br>06分<br>35秒 | 20020204～<br>20020212 | 41/3,160     | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業      |
| にしのいせきぐん ち<br>西野遺跡群D地<br>点    | いちほらしごんげんどうあぎた<br>市原市権現堂地先                        | 12219 | セ367 | 35度<br>28分<br>58秒 | 140度<br>06分<br>30秒 | 20020917～<br>20030213 | 1,508/53,360 | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |



| にし <i>の</i> いせきぐん <i>ち</i><br>西野遺跡群D地<br>点 | いちほらしにしのあざじゅうに<br>市原市西野字十二<br>天146ほか   | 12219                 | セ369                                        | 35度<br>28分<br>58秒 | 140度<br>06分<br>27秒                                                                         | 20021111～<br>20021211 | 266/5,320                                                                                                                               | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業      |
|--------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| にし <i>の</i> いせきぐん <i>ち</i><br>西野遺跡群D地<br>点 | いちほらしごんげんどうちさき<br>市原市権現堂地先             | 12219                 | セ379                                        | 35度<br>29分<br>02秒 | 140度<br>06分<br>25秒                                                                         | 20030825～<br>20040115 | 5,265                                                                                                                                   | 経営体育成基盤整備<br>(ほ場整備)事業 |
| にし <i>の</i> いせきぐん <i>ち</i><br>西野遺跡群D地<br>点 | いちほらしにしのあざじゅうに<br>市原市西野字十二<br>天115-1ほか | 12219                 | セ381                                        | 35度<br>28分<br>57秒 | 140度<br>06分<br>25秒                                                                         | 20031112～<br>20031203 | 685                                                                                                                                     | 海上地区遺跡発掘調<br>査事業      |
| 所収遺跡名                                      | 種別                                     | 主な時代                  | 主な遺構                                        |                   | 主な遺物                                                                                       |                       | 特記事項                                                                                                                                    |                       |
| 海上地区遺跡群                                    | 包蔵地<br>・塚                              | 古墳時代<br>奈良・平安時代<br>中世 | 掘立柱建物跡<br>竪穴建物(住居)跡<br>土坑跡<br>井戸状遺構<br>溝状遺構 |                   | 縄文・弥生土器<br>土師器・須恵器<br>灰釉・緑釉陶器<br>中世陶磁器・カワラケ<br>瓦塔・瓦<br>鉄鏃<br>木柱・礎板・田下駄<br>烏帽子(布状漆製品)な<br>ど |                       | 西野遺跡群B・D地<br>点及び十五沢坊ヶ谷遺<br>跡C地点を中心に、<br>掘立柱建物跡群が存在<br>していることがわかつ<br>た。<br>また、西野遺跡群D<br>地点の中世前期溝状遺<br>構において、烏帽子と<br>考えられる布状漆製品<br>が出土した。 |                       |

財団法人 市原市文化財センター調査報告書 第97集

市原市海上地区遺跡群

平成17年11月25日 印刷

平成17年11月28日 発行

編 集 財団法人 市原市文化財センター

発 行 千葉県 千葉農林振興センター

市原市 教育委員会

財団法人 市原市文化財センター

市原市能満1489 TEL0436(41)7300

印 刷 凸版印刷株式会社